

チワン語龍茗方言研究

「一橋大学審査博士学位論文」



一橋大学大学院言語社会研究科

博士課程

黄 海萍

LD141005

2018 年 6 月 29 日

目次

序章.....	5
0.1 問題の所在.....	5
0.2 チワン族とチワン語の概要	9
0.2.1 チワン族の概説	9
0.2.2 チワン族の言語使用状況.....	11
0.2.3 チワン語とその方言分布.....	13
0.3 研究対象.....	15
0.3.1 龍茗方言	15
0.3.2 話者の紹介.....	17
0.3.3 協力話者の紹介	22
0.4 先行研究.....	22
0.5 研究方法.....	28
0.6 論文の構成	28
第1章 龍茗方言の音韻体系.....	34
1.1 背景知識.....	34
1.1.1 タイ・カダイ (Tai-Kadai) 語族.....	34
1.1.2 タイ諸語 (Tai) の分類	42
1.2 音素の認定や音韻体系の記述の方法.....	47
1.3 子音	49
1.3.1 子音音素体系.....	49
1.3.2 子音音素目録.....	50
1.3.3 子音結合	54
1.3.4 末子音	58
1.4 母音	58
1.4.1 母音音素体系.....	59
1.4.2 母音音素目録.....	60

1.4.2.1 母音音素とその認定	60
1.4.2.2 母音音素目録	61
1.5 音節構造.....	62
1.6 韻表	64
第2章 龍茗方言の声調体系—単音節を中心に—.....	66
2.1 研究背景と先行研究	67
2.1.1 タイ諸語の声調に関する歴史的研究	67
2.1.2 チワン語諸方言の声調における先行研究.....	71
2.2 分析方法や手順.....	75
2.3 計測結果.....	79
2.4 考察及び声調分類の試み	83
2.4.1 各声調の本質的な特徴	83
2.4.2 声調分類の試み	89
2.5 龍茗方言の声調に関する通時的な考察.....	91
2.5.1 Li(1977) の枠組みに基づく考察	91
2.5.2 Gedney(1989)の枠組みに基づく考察.....	92
2.5.3 Liao(2016)の Tone Box に基づく考察	98
2.5.4 DS1'声調の正体	100
2.6 龍茗方言の音節の長さと言調の関係.....	102
第3章 龍茗方言の変調—2音節連続語を中心に—.....	105
3.1 2音節連続の分析方法と手順.....	105
3.2 2音節連続の計測結果.....	107
3.2.1 平音節における変調	107
3.2.1.1 平音節の A1 声調	107
3.2.1.2 平音節の A2 声調	110
3.2.1.3 平音節の B1 声調	113
3.2.1.4 平音節の B2 声調	115
3.2.1.5 平音節の C 声調	118
3.2.2 促音節における変調	120

3.2.2.1 DS1 声調.....	120
3.2.2.2 DS1'声調.....	123
3.2.2.3 DS2 声調.....	125
3.2.2.4 促音節の DL1 声調.....	127
3.2.2.5 促音節の DL2 声調.....	130
3.3 龍茗方言の変調規則と基本声調の素性表示.....	132
3.3.1 龍茗方言の変調規則.....	132
3.3.2 基本声調の素性表示と再解釈.....	134
3.4 2 音節連続語に見られる音節の等時性.....	138
第4章 龍茗方言表記法私案.....	143
4.1 目的と構成.....	143
4.2 チワン語表記の歴史と正書法.....	144
4.2.1 チワン語表記の歴史.....	144
4.2.2 標準チワン語の正書法.....	147
4.3 龍茗方言表記私案.....	153
4.3.1 表記法を作るために.....	153
4.3.2 龍茗方言の発音表記法.....	159
4.3.2.1 子音表記.....	159
4.3.2.2 母音表記.....	162
4.3.2.3 声調表記.....	164
4.3.2.4 その他の表記.....	164
4.4 龍名方言の文字表記法.....	166
4.4.1 シャム文字の概要.....	166
4.4.1.1 シャム語の子音字.....	166
4.4.1.2 シャム語の母音符号.....	170
4.4.1.3 シャム語の声調記号と声調規則.....	173
4.4.1.4 シャム語正書法の特徴.....	174
4.4.2 龍茗方言の文字表記法.....	175
4.4.2.1 龍茗方言の子音字.....	175
4.4.2.2 龍茗方言の母音符号.....	179

4.4.2.3 龍茗方言の声調規則と声調記号	181
4.4.2.4 その他の問題	186
4.5 結び	187
終章	188
5.1 各章の要約	188
5.2 今後の課題	190
謝辞	192
参考文献	194
付録について	203
附録 1	204
附録 2	216
附録 3	260
附録 4	280
附録 5	406

序章

本研究はチワン語龍茗方言（以降、龍茗方言）を母語とする筆者が、自分の母語を内省に基づき記述するものである。本章では本研究の問題の所在、本研究で取り上げるチワン族とチワン族の話すチワン語、本研究の研究対象、先行研究や研究方法及び本論文の構成などについて述べる。

0.1 問題の所在

中華人民共和国（以下、中国）の南部に位置する広西チワン族自治区（省に相当する行政単位、地図 1）には、中国最大の少数民族であるチワン族¹が居住している。約 1700 万人（2010 年のセンサス、中華人民共和国国家統計局編 2012:31）の人口を有するチワン族は、南アジア水稻耕作民世界に生きるタイ系民族の 1 つであり、後述する「チワン語」と呼ばれる言語を使用している。同自治区の西南地域はベトナムとの国境（中越国境）に接するが、その国境の南側（すなわちベトナム側）は、チワン族と同一と言ってよいほど類似した民族であるタイ・ヌン族²を擁する。

少数民族チワン族の言語は多様性に富む。そしてその地域変種の多くは十分に記述されていない。本論文はこれまで一度も記述されることがないチワン語の地域変種のひとつである龍茗方言を研究対象とする。龍茗方言とは、広西チワン族自治区崇左市天等県龍茗鎮で話されているチワン語の変種を指す。天等県³は広西チワン族自治区の下位行政区画のひ

¹ 中国では「壮族」（Zhuang Zu）と名付けられているが、日本では「壮、チワン、チュワン、チュアン、チョワン」などの表記が見られる。本稿では「チワン」の表記で統一する。

² ベトナム北部の中越国境地域に住むタイ系の民族には、ヌン族とタイ族がいる。伊藤正子（2003）の指摘によれば、タイ族はヌン族と同じ民族であったが、11 世紀の儂智高（チワン族、ヌン族、タイ族の中で民族の英雄として記憶されるそうである）の反乱の後、タイ族の祖先「トー」とチワン族・ヌン族の祖先の分化が始まり、「トー」がキン（筆者：キン族はベトナムの主要民族である）化する一方、ヌン族・チワン族は漢化する道を辿ったとのことである。ヌン族の多くは広西からベトナムに移住し、その移住時期はばらばらであることが伊藤の調査によって明らかになっている（伊藤 2003:15-17）。したがって、ヌン族と比べると、タイ族はチワン族との距離がより大きいと推測される。実際、筆者は 2009 年にベトナムのランソン省・カオバン省のあるヌン族の家に泊まったことがあるが、言葉はよく通じた。

³ 龍茗方言音では[tʰmAltaŋC] と言い、[tʰmAl]は石という意味で、[taŋC]は立つ、立てるという意味である。天等県の県城は四面から高い石山に囲まれて、石が林立する場所であることからこのように名付けられたと地元で伝わっている。漢語名の「天等」（TiānDěng、本来の漢語の語順で「等天」）は当て字である。その意味は本来のチワン語地名の意味を表していないが、天等県の県城は四面から高い石山に囲まれて、石が林立する厳しい環境なので、天の恩恵

とつであり、中越国境に比較的近い領域に位置する。龍茗鎮⁴はその天等県の下位行政区画のひとつである。

本論文の目的は、龍茗方言の共時的記述を行うことである。具体的には、龍茗方言の音声学的な性質、音節構造や声調体系を含めた音韻体系とともに、龍茗方言を表記する表記法⁵の私案を提案する。

近年、国家の共通語として「漢語（普通語）」を積極的に普及させた結果、現地住民の99%がチワン語母語話者の県⁶ですら「普通語」への言語転移現象が起きていると指摘されている（吉川 2012:28）。こうした現状を憂慮して、中国や日本の研究者は、チワン族の言語（その方言全般を含む）・文字（標準チワン語のみ）の普及事業が衰退しつつあると警鐘を鳴らしている（例えば、付 2008 や岡本 1999）。今後チワン族の言語・文字が普及する見通しは厳しく、どの程度保持できるかさえ定かではない。チワン語のように文献資料に乏しい言語は、どのような歴史を経験してきたかを解明するのが困難であり、現代において十分な記録がなされなければ、その言語の様相を研究することがほとんど不可能となる。したがって、チワン語の調査や研究に取り組むことは研究者の責務であり、もはや一刻の猶予も許されないと筆者は考える。

本研究では、龍茗方言の記録・記述を行うが、このことは、チワン語の一方言のデータを蓄積するにとどまらず、タイ・カダイ系諸言語全体の研究、特に比較言語学的研究に基礎研究データを提供することにもなる。そもそも東南アジアに分布する諸言語、とりわけ中越国境付近の諸言語は、十分な基礎的データを欠いているため、未解明の点が多い。本研究によってもたらされる成果は、これらの諸言語の研究を発展させるために重要な研究材料を提供するものとなるだろう。

前述の通り、本論文は龍茗方言の表記法私案を提案することを目的のひとつとしている。この表記法を用いることによって、龍茗方言辞典を編纂することも可能となる。将来、本格的な辞典を編纂するための基礎作りとして、本論文の巻末に龍茗方言の約 5000

を待つ以外の方法がないという意味で与えられているために、本来の意味と完全に無関係とはいえない。天等県は 1951 年 9 月に旧龍茗県と旧鎮向県と合併して鎮都県と命名され、県政府は旧龍茗県の添等鎮に設置された。1957 年 4 月 17 日に中国国務院によって、鎮都県は「天等県」に改称され、県政府所在地の添等鎮も「天等鎮」に改称された（天等県志編纂委員会編 1991:24）。

⁴ 龍茗方言音では[lɔŋA2mɿŋA1] と言い、漢語名は龙茗（LóngMǐng）である

⁵ 本論文では龍茗方言を表記するためにいくつかの方法を提案するが、これらはあくまでも音韻的妥当性をもつ、龍茗方言の語句やテキストの文書化をするための「表記法」（transcription）である。これらはいずれも龍茗方言の規範的綴り方を意味する「正書法」（orthography）ではないことを強調したい。

⁶ 吉川(2012)においては県名が明示されていないが、恐らく靖西県を指していると考えられる。

語の語彙集を掲載する。この付録には、基礎語彙だけでなく、例えば、現地固有の動植物の名称やそれに関連する語が含まれる。またこの表記法は、忘れられつつある民話、伝説、民謡、詩歌、行事用語などを記録する際にも有効である。したがって、表記法およびそれによって作成された付録は、言語学者、植物学者、生物学者、人類学者の研究の一助になるであろう。さらに、母語話者および非母語話者のチワン語学習を支援するものとなることが期待される。

チワン語の南部方言とされる諸方言は中越国境におけるローカル貿易の「共通言語」（意思疎通可能な言語）として使われ、中越国境において重要な役割を果たしている。例えば、広西チワン族自治区の靖西県龍邦鎮の边境市場（2013年3月6日調査）、大新県碩竜鎮の徳天边境貿易区（2014年3月29日調査）、憑祥市夏石鎮開發区（2015年3月9日調査）などが挙げられる⁷。中越国境付近の言語が持つ「共通性」を裏付ける報告（呉2013）がある。この報告によれば、中越国境に跨るチワン語⁸は、長い間国境線によって隔たれていたために、それぞれの地域で漢語やベトナム語の影響を受けて独自に発展したが、音韻や声調、また漢語からの借用語等において類似しているため、意思疎通には障害がなく、現在も交流があるという。龍茗方言は中越国境沿いに分布しているチワン語南部方言の左江方言の一つ（後述）で、上述した中越国境地帯の市場（貿易区）で意思疎通が可能な方言の一つでもある。この地域での「共通言語」の実態がどのようなものかは今後の研究を待たなければならないが、龍茗方言がこの共通語に一定の役割を演じているのは間違いないだろう。その意味で、龍茗方言の研究は中越国境におけるローカル貿易の「共通言語」を解明する一助になるだろう。

関・池部（2011:2-3）によれば、2000年代の中頃にはこれまで軌道の幅が異なっていた中国の鉄道線路とベトナムの線路が同じ軌道となったため、広西チワン族自治区の首府南寧からベトナムの首都ハノイまで、列車の相互乗入れが可能になった。こうした状況の下、南寧市においては毎年、世界の経済発展の一翼を担うASEAN⁹の大規模な博覧会が開

⁷ 筆者はこれらの边境市場（貿易区）に多くの中越边境民が貿易に参加し、買い物の際に意思疎通のためにチワン語諸方言（ベトナムではタイ・ヌン語諸方言）が使用されていたことを観察できた。取引される主な物は、工業品、米穀、豆類、落花生、豚肉、煙草、酒であるが、携帯電話のような電子製品もある。

⁸ 呉（2013）は中越国境付近のチワン語南部方言群を「境内壮語」（中国国境線の内側のチワン語）、ベトナムのタイ語、ヌン語を「境外壮語」（中国国境線の外側のチワン語）と呼んでいる。具体的に中越国境沿いで広西チワン族自治区区内にあるチワン語南部方言の徳靖方言（靖西県岳圩方言）、左江方言（龍州県榔橋方言）、邕南方言（寧明県旺英方言）を中国国境線の内側のチワン語、ベトナムのカオバン省のチャリン県（Huyện Trà Linh）方言、ランソン省のチーラン県（Chi Lăng）方言、ランソン省のロッビン県（Huyện Lộc Bình）方言を中国国境線の外側のチワン語の対象とする。

⁹ ASEAN とは Association of South-East Asian（東南アジア諸国連合）の略称である。1967年の

催され、南寧市内には ASEAN 各国の領事館が設置されているという。かくして広西チワン族自治区は北東アジアと東南アジアの結節点、交流拠点になりつつある。これに伴い、東南アジア新時代を迎え、中越国境地帯へ注目が集まり、人の往来が活発化して行くならば、その国境地帯で生活しているチワン族の言語生活、とりわけ国境貿易のために彼らが用いているチワン語は興味深いテーマとなって行くだろう。このように中越国境でも使われているチワン語の諸方言の研究は、極めて今日的かつ社会的需要が差し迫った課題でもあると言える。



地図1 広西チワン族自治区（中国地図出版社編著（2013）『広西チワン族自治区地図冊』中国地図出版社、4頁をもとに筆者が作成したものである。）広西チワン族自治区は中国の南部に位置する中越国境に接する多民族の地域である。略称は桂（グイ）、区都は南寧市である。

バンコク宣言によって設立され、原加盟国はタイ、インドネシア、シンガポール、フィリピン、マレーシアの5か国であった。現在はカンボジア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオスを加えた10か国で構成されている。詳細は関・池部（2011:28-46）あるいは黒柳ら（2015）を参照されたい。

0.2 チワン族とチワン語の概要

本節では、チワン族とその言語使用状況、チワン語とその方言分布及び正書法について概説する。チワン族と言っても、その居住地によって社会や文化は一樣ではないが、ここでは先行研究及び筆者の調査によって得られる知見に絞って言及したい。

0.2.1 チワン族の概説

チワン族は南アジア水稲耕作民世界に生きるタイ系民族で、人口約 1700 万人（2010 年統計）を擁する¹⁰中国最大の「少数民族」である。その約 9 割（約 1445 万人）は広西チワン族自治区内で生活し、その他に広東省、貴州省、雲南省、湖南省などにも分布が広がっている。日本人と同様にモチや刺身¹¹風の食品を好んで食べ、日本の平安時代に行われた夫が妻の家に通う妻問婚の習慣も持つ。糯米食品の灰汁巻き¹²、粽¹³、草餅¹⁴、五色に染めたオコワ¹⁵などや豚の丸焼き¹⁶を好んで食べる。また、今でも娯楽として歌の掛け合いが頻繁に行われている地域がある¹⁷。なお、チワン族の生活習慣及び年中行事などについて塚田（2000b）が詳しい。

塚田（2000a:3）によれば、チワン族が少数民族として認定されたのは新中国が成立した直後である。1951 年の中央訪問団による調査を経て一民族としての国家による統合がはじまった。その統合は 1953 年の第一次センサスを経て 1954 年には確定したという。塚田

¹⁰ 中華人民共和国国家統計局編（2012）『中国統計年鑑』（総第 31 期）中国統計出版社、31 頁。

¹¹ チワン族の「刺身」は淡水魚（例えば草魚、鯉など）である。日本では、醤油にワサビか生姜かを添えて食べるところを、かれら（地域差もある）は塩に唐辛子と漬物を添えて魚の生肉とあえて食べる（写真 0-1 チワンの「刺身」を参照）。

¹² 糯米から作る餅の一種である。灰汁（あく）に漬けておいた糯米を宗竹の皮か竹の葉などで包み、孟宗竹の皮を裂いて作った紐で縛って数時間煮て作る。蜂蜜や砂糖をつけて食べる。その味は日本の南九州で食べられる灰汁巻きと大差が無い（写真 0-2 灰汁巻き）。

¹³ 餡にはゴマ、緑豆、豚肉など様々で、植物の葉で包んで煮て作る（写真 0-3 粽作りの場面）。

¹⁴ 糯米に混ぜて餅を作る材料として、ヨモギやゴンゲイ（雑草の一種、学名不詳、龍茗方言では[kɔŋC ke:tDL1]と言う）などの草を採集して使用する（写真 0-4 ゴンゲイゲイ餅）。

¹⁵ 植物の葉、花や草で染める（写真 0-5 五色のオコワ）。

¹⁶ 市場の日に販売されることもあるが、正月、祭りやお祝いの時によく作る（写真 0-6 豚の丸焼き）。

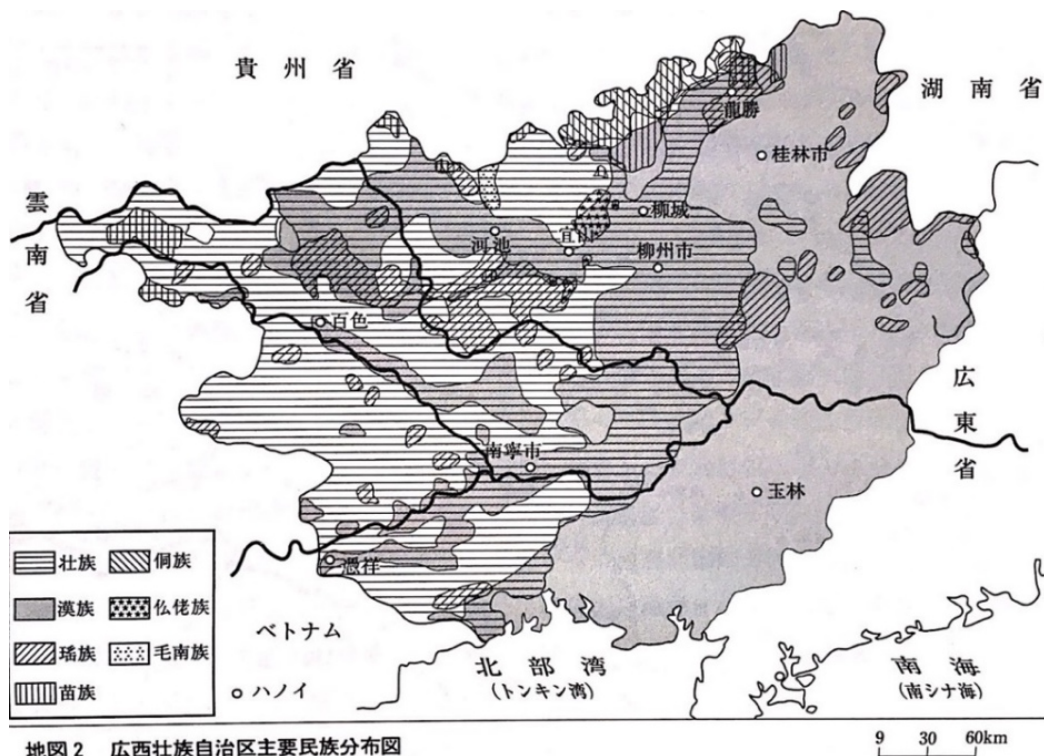
¹⁷ 本研究が対象とする地域である龍茗鎮は、毎年の旧暦 3 月 3 日以外、歌の掛け合いが行われていないが、筆者が訪問した苹果県と靖西県、田陽県では妻問婚が存在する。当地の人々によれば、雨でなければ、毎晩夕飯の後、町の主要道路、公園などに三々五々の男女が集まってきて、歌の掛け合いをするという。（写真 0-7、写真 0-8、写真 0-9 は筆者が撮影した歌の掛け合い場面である。）

(2000a:3) で述べる統合とは、「ブー・ヨイ (イエイ)」(布雅伊、布越伊)、「ブー・ノン」(布儂)、「ブー・トゥー」(布土)、「ガン・ヤン」(講央) 等、20 種類を越える異なる自称を持つ諸集団をまとめて一つの民族と捉えようとする国家施策を意味する。「これらの種々の呼び名を超えた統一的な名称として現在は、民族名には壮族、言語名には壮語という漢語名が用いられている。本稿ではそれぞれを「チワン族」と「チワン語」と称することにする。すなわち、チワン族とは言語や習俗などに一定程度の共通性が見られるものの、地域によって異なる諸集団が国家の政策によって統合され、「誕生」した民族なのである。また、チワン族の祖先 (の多く) は史料用語では「獠」(南宋～元)、「獞」(明～民国)、「狼」(明清時代、土官地域＝間接統治地域における称谓) などと表記される。また、唐代の「西原蛮」(のうちの多くのもの)・「黄峒蛮」、北宋時代の「広源州蛮」等も儂・黄といった姓から見てチワン族と関係があると見られる。したがって、壮族は唐宋時代以来の長い歴史を持つと考えられる¹⁸。なお、かつてはチワン族を「獞」と記していることが多いが、新中国が成立した後、「獞」の字は少数民族蔑視の現れとして廃止され、「獞」に改められた。新中国の成立から 1965 年までは「僮族」と書かれるが、1965 年同音で「強壯」を意味する「壮族」と改められて現在に至っている (黄 2014:4)。

「壮族は長期にわたり漢族の影響を受けてきた、漢化の度合いの高い民族集団として知られる。その社会・文化は漢族の影響を受けつつ変容を遂げてきたと考えられる。壮族は主に広西の西部・北部の山地や丘陵地に居住する。しかし広西中部の丘陵地にも、東部の平野地帯にも分布する。そのおおよその居住状況は地図 2 を参照されたいが、そこから壮族が広西西部に、漢族が東部に集中しており、その中間の中部で両者が接していること、しかし西部でも珠江水系に沿う平地には漢族が居住していることが見て取れる。このような居住状況から、漢民族が広西へ進出した結果、チワン族・漢民族間に歴史上密接な関係が生じたであろうことが想像される。また、チワン族集居地、チワン漢接触地、漢族集居地など居住状況の相違からチワン族・漢民族間関係の地域的相違が生じたであろうことも想像される¹⁹」。

¹⁸ この段落は塚田 (2000a:3) の記述による。なお、塚田も指摘したように、チワン族が中国の解放後に統一的な名称を付与された民族だとすると、解放前の「壮族の祖先」とは範囲のズレがあろう。しかし、本稿では便宜上、壮族の祖先を「チワン族」として括ることをあらかじめ断っておきたい。

¹⁹ この段落は塚田 (2001:1) の記述による。



地図2 広西壮族自治区主要民族分布図

地図2 出典：塚田誠之（2000a）、6 頁。

0.2.2 チワン族の言語使用状況²⁰

広西壮族自治区言語文字工作委员会審定（2005:4）によると、チワン語の話者人口は約1380 万人で、チワン族の人口よりも約300 万人以上少ない。そのうち北部方言の話者数は約900 万人で、南部方言の話者数は約400 万人と言われている。南寧市や桂林市、梧州市などの都市部に住むチワン族は、チワン語以外の言語、多くの場合は漢語の変種（粵方言、西南官話、普通語など）を母語としていると考えられる。

1998 年に中国国家言語委员会の指示の下で、広西チワン族自治の民族言語委员会が同自治区領内において住民の言語文字使用状況について大規模なサンプル調査を実施した。同自治区の90 カ所、合計13596 人を調査対象として調査が進められたが、そのうちチワン族が4829 人で全体の約35.5%（1714 人）を占めた。調査によって、同自治区において69 種の言語（あるいは方言）が使用されていることが判明した。調査結果によると、調査対象の約80%（3863 人）がバイリンガルやマルチリンガル（多言語使用者）で、3 つの言語

²⁰ この節では、特別な注釈がない場合、「広西壮族自治区言語文字工作委员会審定（2005）『広西語言文字使用問題調査与研究』広西教育出版社」によるものである。

が使用できる者は全体の約 29.23% (1416 人) を占めるのに対して、モノリンガル (単言語使用者) は全体の約 20% (966 人) であることが報告されている。このような多民族・多言語共生の社会環境下に生活するチワン族の言語使用状況も、多様性に富むであろうことが容易に想像できる。

調査に参加したチワン族の約 81.76% (1401 人) がバイリンガルやマルチリンガル (2 言語以上使用者) であり、2 つの言語が使用できる人は約 42.25% (724 人)、3 つ以上の言語が使用できる者は約 39.51% (677 人) がいるのに対して、モノリンガル (単言語使用者) は参加したチワン族全体のわずか 18.25% (313 人) であった。2 つの言語が使用できる場合は 1) チワン語 + 普通語²¹、2) チワン語 + 西南官話²²、3) チワン語 + 粵語²³、4) チワン語 + その他の少数民族言語など 4 つ組み合わせのいずれかになる。一方、3 つの言語ができる人の場合は、主に 1) チワン語 + 西南官話 + 普通語、2) チワン語 + 粵語 (あるいはその下位方言) + 普通語、3) チワン語 + その他の少数民族言語 + 西南官話の組み合わせである。

調査の時点では、「自民族の言語が話せるかどうか」という質問に対して、90% のチワン族が自民族の言語である「チワン語が話せる」と回答した。一方、家庭内で「チワン語を使用する」人の割合は「チワン語が話せる」人の割合を下回って 72.38% であった。また、家庭外で「チワン語を使用する」人は 29.46% で、家庭内での使用率の半分以下になる。この調査からまもなく 20 年が経過する。最近十数年間は、漢語による義務教育や普通語の積極的な推進、テレビメディアなどの普及によって、チワン族の教育・言語・生活環境が変化しつつある。そのために、現在の言語使用状況は、調査が行われた 20 年前とは異なることが予想される。筆者は、2011 年 8 月から 2015 年 3 月にかけて夏休みや冬休みを利用し、計 8 回広西チワン族自治区領内のチワン族が多く居住する 22 県 (行政区分) でフィールドワーク調査を実施した。その結果、現在では純粋なチワン語モノリンガル (単言語使用者) が急速に減りつつあり、一部の高齢者を除いて、筆者の出会った就学経験者は全員がバイリンガルもしくはマルチリンガルであった。このように、チワン語の衰退は肌で感じられる。

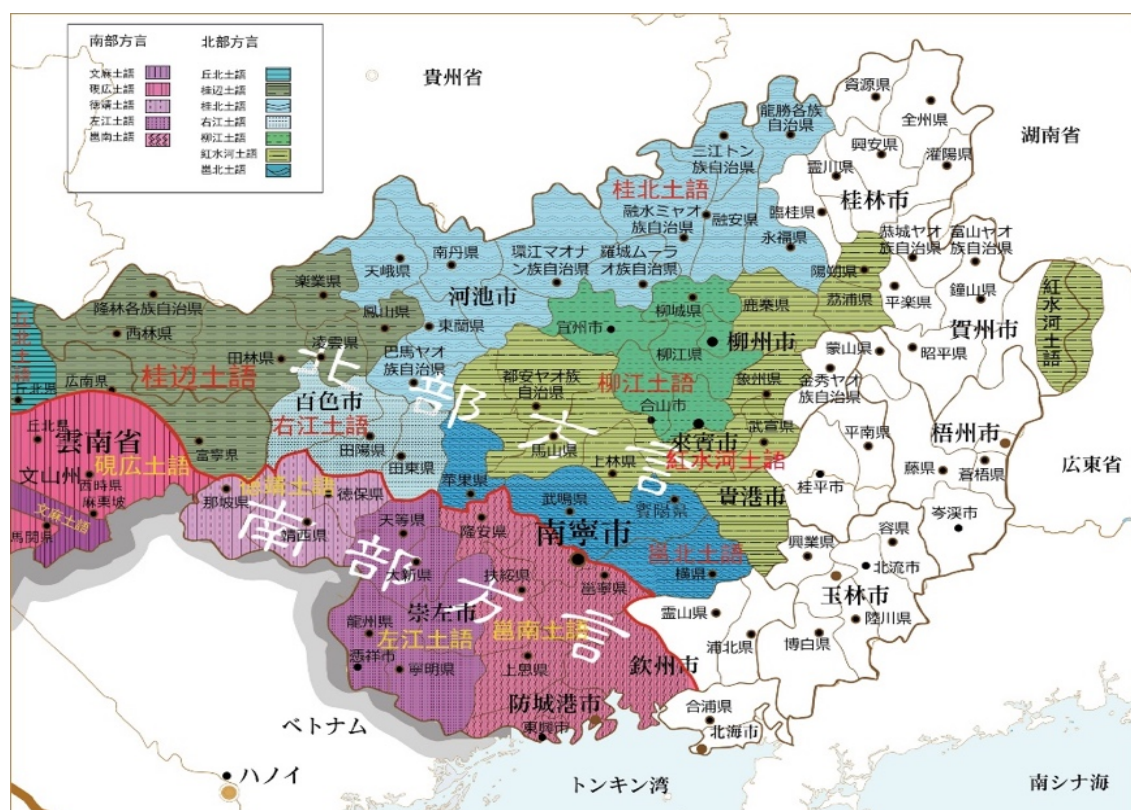
²¹ 中国において公用語として定められた中国語である。北京語を標準音とし、北方語を基礎語彙とし、典型的な現代白話文による作品を語法規範とする現代漢民族の共通語である。「普通」は「普 (あまね) く通る」「広く通用する」「一般」を意味する語である。

²² 中国西南部に広く使われている漢語の下位方言の 1 つである。広西チワン族自治区では、この方言が同自治の桂林市や柳州市に広く使われることから「桂柳話」と呼ぶことが多い。

²³ 粵語は中国広州市・広西チワン族自治区や香港をはじめ、シンガポールなど東南アジアにおいて、実用的なコミュニケーションの手段としてすなわち、広域共通語 (Lingua franca) として社会・文化・経済などの各方面で重要な機能を担っている (西田 2011:13)。

0.2.3 チワン語とその方言分布

中国の言語学者はチワン語を北部方言と南部方言（地図3）に大別する。1980年に刊行された『壮語簡誌』では北部方言を7つの方言（中国では「土語」という用語を使う）に、南部方言を5つの方言にそれぞれ下位分類している。両方言は文法が顕著に類似しているが、語彙と発音の違いが大きいため、相互理解可能性は低く、意思疎通はほぼ不可能である。北部方言は桂北方言、柳江方言、紅水河方言、邕北方言、右江方言、桂辺方言、丘北方言に分類されているが、その間の違いは比較的小さいため、意思疎通は容易である。一方、邕南方言、左江方言、徳靖方言、硯広方言、文麻方言に分類されている南部方言は内部差がかなり大きいため、一部の方言の間ではほとんど会話が成り立たない。例えば、南部方言の左江、徳靖、硯広土語の間の会話は可能であるが、邕南土語と文馬土語はお互いの会話が通じない上、それ以外の南部方言とも通じないと言われている（廖漢波 2010:71）。



地図3 チワン語分布概略地図（尹文成作成「壮語方言土語示意図」王鈞等（1984年）『壮侗語族語言簡誌』民族出版社）を基に、筆者が作成したものである。「土語」はここでは「方言」の意味である。

チワン語方言の詳しい分類は措くとしても、北部方言と南部方言の相違点として、かなり明瞭な言語現象を一、二例挙げることができる。例えば、北部方言には帯気頭子音がないのに対して南部方言にはある。この事実は両者を弁別する大きな差異である。また、北部方言は方言間の音韻対応が明瞭であるのに対して南部方言はそれより複雑であることや、北部方言の頭子音の[f]、[p]は南部方言の[m]、[v] 頭子音に対応するといったことも挙げられる（西田 2000:142-143）。このように多彩な方言が存在する理由としては、チワン語が「統一された言語ではなく、チワン族に纏められた諸集団が使う複数の言語を寄せ集めたものと捉えたほうがよい」ためであるとも解釈される（岡本 2008:547）。20 種類以上異なる自称を持つ諸集団の大集合であるチワン族の言語は均質なものではないと理解したほうが妥当である。

チワン語に対する漢語の影響は大きい。チワン族と漢民族の接触は、秦漢時代に始まると言われている²⁴。この2千年余の接触、往来の過程で、チワン語は多くの語彙を漢語から吸収して来た。新中国が成立する前（～1949年）にチワン族の分布地域で行われた漢語は、主に西南官話と粵語方言であり、広西チワン族自治区チワン語北部方言地域では西南官話が、南部方言地域では粵語方言が通用していた（なお、一部の粵語方言地域でも西南官話が通用する）。新中国が成立した後（1949年～）は、普通語の普及によってチワン地域の漢語の状況も一変するため、チワン語に対する漢語の影響もそれ以前とは異なる。また、政治、経済や文化のあらゆる面で接触が急激に増大したのは近代以降で、とりわけ新中国が成立した後のことである。これを基準にして、新中国が成立する前にチワン語に入り込み、すでにその一部になっているような漢語語彙を古借用語（中国では「老借字」）、新中国が成立した後に借用されたものを新しい借用語として新借用語（中国では「新借字」）と呼んで区別している学者がいる（王鈞 1962）。

しかし、張均如（1982）はチワン族の分布地域では西南官話や粵語方言が入る前に、平話²⁵が広西に居住する諸民族の共通語、行政機関や教育現場の使用言語として機能していたと報告している。平話は漢代から唐宋時代にかけて、約1千年間でチワン族地域の有力な漢語方言となっていた。明、清時代頃から西南官話と粵語方言は相次いでチワン族の分布地域に入り込んで、それぞれは広西チワン族自治区の南北に広まって、徐々に平話に取って代わった。したがって、古借用語は西南官話や粵語方言ではなく、平話の前身である古代平話からの借用語であるという。これらの古借用語の音韻はチワン語の音韻体系に取り込まれたので、古借用語と中古漢語とには明瞭な音韻対応があるという（張均如

²⁴ 壮族簡史編纂組（1980）『壮族簡史』広西人民出版社、7頁。

²⁵ 中国語の方言の1つで、広西チワン族自治区の桂林から南寧にかけての農村部を中心に話されている。

1982)。一方、新借用語の音対応は複雑であり、個人差や地域差などが見られる²⁶。新借用語は粵語方言ではなく西南官話あるいは普通語から借用したという（張均如等 1999:276）。

以上の両学説の相違を分かりやすくするために、両学説を表 0-1 にまとめる。

表 0-1 チワン語に関する漢語借用語の学説

借用語の分類	王均学説		張均如学説	
	借用の時代	借用元の言語	借用の時代	借用元の言語
古借用語	新中国成立前 (～1949 年)	西南官話 粵語方言	漢代から唐宋時代	平話
新借用語	新中国成立後 (1949 年～)	普通語	明、清時代頃以降	西南官話 普通語

0.3 研究対象

0.3.1 龍茗方言

本研究は、言語学的記録が全く存在しない龍茗方言を研究対象とするものである。龍茗方言とは行政区画天等県（地図 4）の下位行政区画である龍茗鎮で話されているチワン語の変種である。

天等県は広西チワン族自治区の西南部に位置し、県の西南部境界線は中越国境まで最短で 9 キロの距離にある。人口は約 45.4 万人であり、そのおよそ 98.9%がチワン族である²⁷。天等県においてチワン族が使用する方言はチワン語天等方言（以下、天等方言）と呼ばれるが、当然ながら、天等県のチワン族は自らの言葉をこのように称するわけではない。彼らは[kɲA² (人) tʰo:^c (土)]「土着の人」と自称し、自らの言葉を[va:^{B2} (話、語) tʰo:^c (土)]「土着の言葉」と称する。そして、常に自分が[kɑ:^ŋ^c (話す) tʰo:^c (土)]「土着の言葉を話す」人間であるという意識を持つ。龍茗鎮のチワン族も天等県の他地域の人々と同じように[kɲA² (人) tʰo:^c (土)]「土着の人」という自称を持ち、自らの言葉を[va:^{B2} (話、語) tʰo:^c (土)]「土着の言葉」と称し、自分たちが[kɑ:^ŋ^c (話す) tʰo:^c (土)]「土着の言葉を話す」人間であると強く意識する。しかし、同じ天等県と言っても地域ご

²⁶ 張均如等（1999:246-285）、張均如（1982）、張均如（1985）、張均如・梁敏（1987）、張均如（1988）など。

²⁷ 天等県人民政府網 <http://m.tiandeng.gov.cn/Home/Index/tiandeng>(2018 年 2 月 5 日に閲覧)。

とに言語上の差異があるために、各地域の人々は出身の鎮名で自らの言葉を名乗る。例えば、龍茗の人々は天等県のほかの地域の人々と区別するために常に自らを[kxm^{A2}(人) loŋ^{A2}mɿŋ^{A1}(龍茗)]「龍茗の人、龍茗出身の人」、自らの言葉を[va:^{B2} (話、語) loŋ^{A2}mɿŋ^{A1}(龍茗)]「龍茗の言葉、龍茗で話す言葉」と言う。本論文で記述の対象とする龍茗方言とは、龍茗の鎮都より約3キロ離れた龍茗東南村逐仗屯¹で話される言葉であり、これを「龍茗の言葉、龍茗で話す言葉」という意味で便宜的に「龍茗方言」と名付けた。

天等方言はチワン語の左江方言（南方方言区、地図3では「左江土語」と記す）に属するとされる。龍茗方言は天等方言の1つで、左江方言に属する。龍茗鎮は天等県の西南部に立地し、その下位に6つの行政区画である村が置かれて約90個の末端行政区画（屯/隊）を管轄する。同鎮の鎮都は天等県の県城である天等鎮から約19キロの距離にあり、旧龍茗県の県政府所在地でもあった²⁸。そのため、鎮都は1990年代後半まで天等県の経済の中核として機能し、当時は県城よりも繁栄した状況が続いた。その旧領域（地図5）は現在の天等県の県城も含んでおり、鎮都の旧称は龍英²⁹で、天等県の県城の旧称は添等³⁰である。

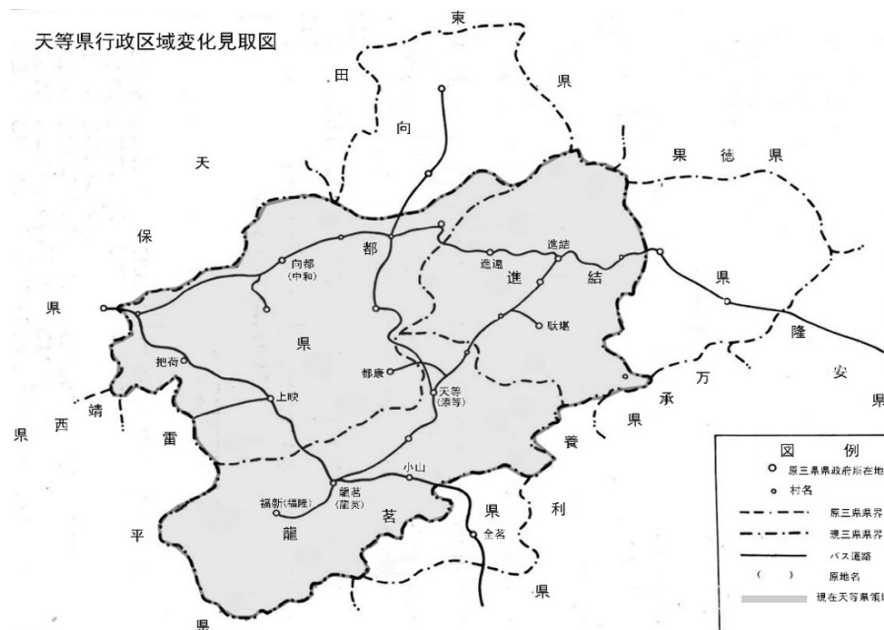


地図4 天等県地図（広西壮族自治区通史館編（1985年）『廣西市県概況』廣西人民出版社）の一般地図を下絵に筆者が作成したものである。

²⁸ 1951年9月に旧龍茗県と旧鎮向県が合併して鎮都県と命名され、県政府は旧龍茗県の添等鎮に設置された。1957年4月17日に中国国務院によって、鎮都県は「天等県」に改称され、県政府所在地の添等鎮も「天等鎮」に改称された（『天等県誌』、24頁）。

²⁹ 龍茗方言では [loŋA2ɿŋA2] で、漢語名は龍英 (LóngYīng) である。

³⁰ 龍茗方言では [tʰi:nA1 tənC] (或いは [tʰi:mA1 tənC])、漢語名は添等「TiānDěng」現在の「天等」と同じ発音である。



地図 5 天等県行政区域変化見取図（天等県志編纂委員会編（1991）『天等県志』南寧：広西人民出版社）の一般行政区域変化地図を下絵に筆者が作成したものである。

2017 年 10 月 11 日に公表されたデータによれば、龍茗鎮の人口は約 2 万 3 千人で、総面積は約 118.42 平方メートルである³¹。龍茗鎮の総人口に対するチワン族の割合に関するデータは公表されていないが、天等県のデータを基に考えれば、少なくとも 98.7%以上であると思われる。

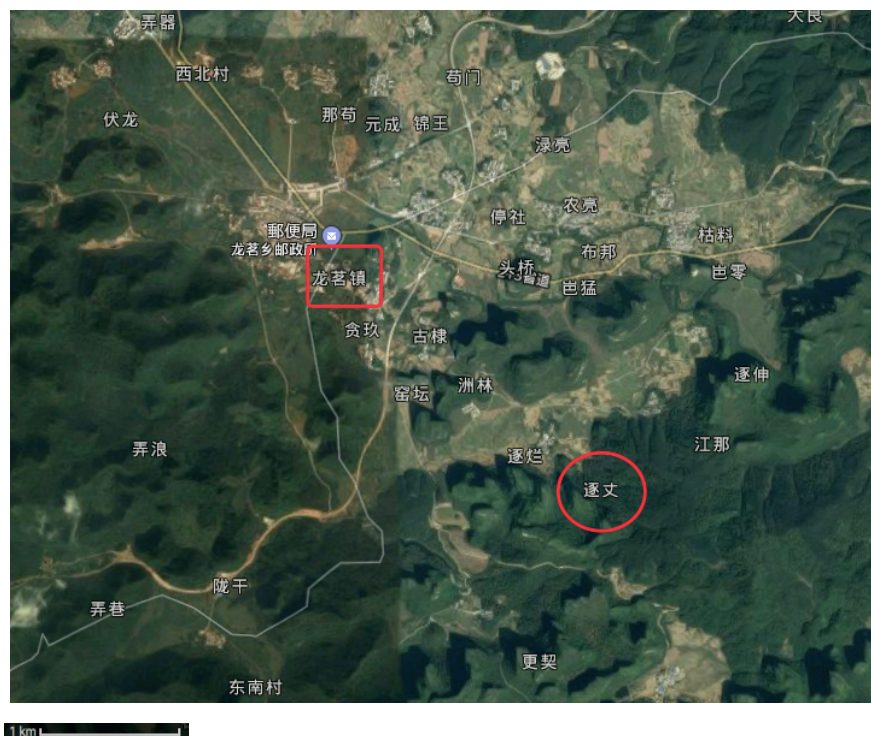
0.3.2 話者の紹介

以下、筆者自身の言語経験について詳しく述べる。

筆者の出身地は龍茗鎮の逐仗屯（地図 6）という村である。逐仗屯は、龍茗鎮の東南村委員会の管轄下にあり、四面を高い石山に囲まれ、約 3 キロ離れた龍茗の鎮都まで 1 本の道しかない小さな村である。人口は約 200 名で、中国湖南省から嫁いできた 1 名（漢民族）以外は全員チワン族である。村では龍茗鎮以外出身のチワン族の嫁も数人いるために、小さい村ではあるが、時々龍茗方言ではない方言を耳にすることができる。3 日に 1 回鎮都で開かれる定期市で農産物などを販売することによって生計を立てる人が多かった。ここ数十年、若者や壮年者が中国の広東省まで出稼ぎに行くために、年中行事や冠婚

³¹ 天等県人民政府網 <http://www.tiandeng.gov.cn/Home/Index/detailed/id/19570> (2018 年 6 月 1 日に閲覧)。

葬祭でなければ、村には年配者や児童しか見かけなくなり、村の様相は筆者の幼年時代と大きく変わった。



地図 6 龍茗鎮逐丈屯地図 <http://www.dljs.net/huanan/guangxi/>から 2018 年 6 月 2 日 08:15 取得。

筆者（1985 年生）はこの小さな村に生まれ育った。弟が誕生したことで、2 歳になる前から、私の世話は母の代わりに祖母や祖父がしてくれた。祖父（1937-2003）は村の漢方医であり、また同時に村で唯一の民話や昔話の語り手でもあった。1992 年に村で最初の白黒テレビが登場するまで、祖父の語った昔話を聞くために村の子供たちが家に集まってきた風景はまだ記憶に新しい。祖父のおかげで、筆者は同年代の子どもよりも言葉が早く覚えられたとよく祖母に言われた。

7 歳から村の小学校で義務教育を受けて漢語を学び始めたが、学校の教育で用いられる言語（教授言語）はほとんど龍茗方言であった。12 歳の時に鎮都にある中学校に進学し、漢語と並行して第一外国語として英語を学び始めた。中学校ではクラスメイト及び先生とコミュニケーションをする際に使用する言語は、ほとんど龍茗方言であった。英語や漢語の授業は地元訛りの漢語（普通語）で行われた。

筆者は 7 歳から 15 歳まで、よく祖母と一緒に鎮都の町へ出て果物、農産物、薪、家禽などを販売したり、祖父と一緒にチワン語の歌の集会に参加したりした。そのときのコミ

コミュニケーションに用いた言語は学校で習った漢語ではなく、もっぱらチワン語であった。龍茗鎮以外の出身者とコミュニケーションする機会も多かった。そのためか、筆者は「土話」（土地の言葉＝龍茗方言）をよく知っていると褒められたことがしばしばあった。また、町で粵語や西南官話を使用する外地商人と接する機会もあったため、多くの龍茗出身者と同じように粵語や西南官話もある程度理解が出来た。

15 歳から 17 歳まで天等県の県城にある高校で高校生活を送ることとなったが、高校までは天等県を離れた経験がほとんどなかった。高校では生徒の 99%以上がチワン族であったが、天等県の各地や県外から来た学生や先生がいるために、互いに通じにくい方言もあった。これに加えて、中国では普通語による大学入試が全国的に普及したために、高校では普通語が推奨され、すべての授業が普通語で行われていた。だが天等県城でも龍茗方言が通じたので、筆者は学校の外に出ると龍茗方言で意思疎通をはかった。18 歳から広西チワン族自治区の賓陽県の県城にある高校へ転校した。この高校では漢民族が多数の割合を占めており、またチワン族以外の少数民族の学生もいたので、授業は漢語（普通語）のみが使用されていた。学校においては地元の賓陽県出身の先生や学生が多くいたために、授業以外では賓陽官話³²が使用される場合も有った。2003 年当時の賓陽県城では普通語が通じないわけではなかったが、普通語を使って話しかけても賓陽官話で返答されることがしばしばあった。筆者は、1 年間で賓陽官話をある程度聞き取れたようになったが、それを話すことはできなかった。

19 歳の時に初めて広西チワン族自治区を離れ、中国湖南省の張家界³³にある大学に進学した。大学では日本語を専攻し、4 年間学んだ後、同省の省都である長沙で 3 年間日本語を教えた。学位取得の要件は漢語試験 HSK³⁴や大学英語試験（CET）³⁵に合格することであり、筆者はいずれも合格レベル以上の水準に達した。2007 年に中国国家レベル日本語ガイド資格を取得し、2005 年から 2007 にかけて研修ガイドとして張家界市や湖南省湘西土家族・ミャオ族自治州（湖南省西部）を回って、中国全国および日本やアメリカからの観

³² 西南官話の賓陽方言であり、筆者が理解できた天等県で使用された西南官話との差が大きいために、それを理解するのに長い時間を要した。地元では賓陽官話あるいは賓陽話と呼ばれる。

³³ 張家界市は湖南省西北部に位置する。中国初の国家森林公園である「張家界国家森林公園」の中の武陵園自然風景区域が 1992 年に世界遺産に登録された。2010 年の国勢調査によれば土家族が全市総人口の 66.80%であるのに対して漢民族は 24.73%であった。市には土家族以外にも白族、ミャオ族など合計 33 の民族が居住している。

³⁴ 中国語名：漢語水平考試（Hànyǔ Shuǐpíng Kǎoshì）の略称で、中国の教育部が認定する国際的な中国語の語学検定試験である。中国語を母語としない学習者（外国人、華僑や中国国内の少数民族）が対象となる。

³⁵ 中国の大学英語試験（College English Test）の略称である。CET の詳細については、井上裕子（2002）「大学生・大学院生対象英語検定試験—中国の場合」『北陸大学紀要』第 26 号、159-168 頁参照。

光客を案内していた。張家界市や湖南省西部の町では普通語で意思疎通が可能であったが、現地の運転手、農村部の旅館やレストランの関係者の共通言語は漢語の湘方言であった。そのため、筆者は湘方言を習得しようと努め、そのお蔭で仕事を遂行することが出来た。また、ガイドとして働く過程において、現地に住む多くの土家族やミャオ・ヤオ族などに接する機会も多かったために、未知の言語を聞くこともできた。2011年に日本に来た後は、中国語を教えたり、ロシア語、タイ語及びラオス語を学んだりする機会にも恵まれた上で、言語学に関する知識及び技能を学習した。

グリーソンは、言語学におけるもっとも優れた分析者は母語話者だと主張している³⁶。彼は、「立派な成果を挙げる実地言語学者は、たいてい研究言語に対する最小限の「勘」(feel)にとどまらず、対象言語を上手に流暢に発音できるように、少なくともある程度の努力をするのが普通である」とし、さらに「言語の構造の細部まで深く研究を進めるためには、高度な流暢さが絶対不可欠である」ことを指摘したうえで、「このことから考えれば、言語の最良の分析者は訓練された母語話者である」と主張している。グリーソンの見解に従えば、母語話者である筆者は龍茗方言の分析者として最適の立場にあると考えられる。

とは言え、自分の母語であるが故に重要な要素に気がつかなかったり見落してしまったりする恐れもある。グリーソンが「分析者は母語以外の諸言語に関するある程度の広範な経験を含めて十分な言語学的訓練を得るなら最良である」と述べているように、母語話者であるという事実だけで、最良の分析が行えるわけではない。他の言語の経験や知識、および言語学的訓練が必要である。後述するように、筆者は母語のほかに標準中国語（普通話）と日本語を習得しており、また広東語の運用能力もある。一般的な言語学者と比較しても十分な他言語の経験と知識を有するといって差し支えないだろう。

言語活動は全体としてみれば、多様性を有し混質的である。また、周知のように言語活動の一定部分である言語には個人差がある。龍茗方言も例外ではない。とはいえ、たとえ個人差があるにしても、「言語活動に結ばれたすべての個人の間には、一種の平均ができると思われる。母語話者は皆同じ概念と結合した同じ記号、むしろ精密にはないが、近似的に言語を再生する」³⁷。言語は常に完全に個別のものとして現われるために、その言語全体を研究するには、何にも先立ち、個人的な言語を分析する必要がある。何故なら、個人の言語の分析は直接言語事実に基づくものであり、言語を共時的に記述するのに不可欠であるためである。

³⁶ H.A.グリーソン著 (1970)、竹林 滋・横山 一郎(翻訳)『記述言語学』大修館書店、322-323 頁。

³⁷ 小林英夫訳 (1965) フェヂナン・ド・ソシュール『言語学言論』(改訳新版)、23 頁。

母語話者が自分の母語を徹底的に観察し分析することの重要性は、チョムスキーの提唱する生成文法においても強調されている。チョムスキーは、「言語の文法が母語話者の言語直観を正しく説明し、その言語の底にある規則性を表現する」³⁸ ために、母語話者の直観が文法研究に有益であることを主張している。

本研究で扱う龍茗方言の場合も、個人の言語を分析の出発点にしなければならない。筆者であれ筆者以外の母語話者であれ、誰を対象にしても個人差が予想され、結局のところ個人差は不可避である。個人差の存在それ自体は言語研究において致命的な問題ではない。繰り返しになるが、いかなる言語であれ、その出発点は個人の言語の分析である。このことは換言すれば、母語話者であれば誰であれ、龍茗方言の体系を明らかにするための研究の最初の分析対象とすることができるということである。筆者自身の言語を分析対象とすること自体には大きな問題は見つけられない。

もちろん、著者の個人言語を対象として得られた結果を一般化するためには、龍茗鎮でチワン語を用いる複数の話者を対象とした調査を行うべきである。しかしながら、それを阻害する政治的要因がある。龍茗鎮は中越国境地域に比較的近いと、往来が規制されており、現時点では自由な言語調査を行い難い状況にある。したがって多くの話者を対象にした研究は、不可能ではないにしろ困難であり、それを行うためには相当の時間を要する。博士論文における研究は、執筆に費やすことのできる時間が限られているため、複数の話者を対象とした調査を行うことは極めて難しい。それは今後の課題である。

いずれにせよ、今後多くの時間をかけたより大規模な調査を開始するためには、その基礎となる研究が絶対不可欠である。本論文はまさに龍茗鎮におけるチワン語研究に基礎を与えるものであり、極めて重要である。筆者が本研究を行わなかったと仮定してみよう。その時、龍茗鎮出身の別の母語話者であり、かつ言語分析の技能を身に付け、自らの言語を記述しようとする人物が今後出現するという保証はどこにあるのだろうか。仮に万が一そのような人物が出現したとしても、それはいつになるのだろうか。すでに話者人口が減少しているチワン語が、その時においても依然として、現在のような使用状況にあるという保証はどこにもない。その時チワン語は、現在よりもはるかに深刻に、消滅の危機に瀕しているかもしれない。龍茗鎮におけるチワン語研究は火急の課題なのであり、まさに今それを開始しなければならないのである。

以上のように、筆者自身の母語を分析対象とする本研究には、その結果を一般化できないという点において一定の問題をはらんでいる。しかしながら、その問題をはるかに上回る重要性を本研究は有している。

³⁸ N.チョムスキー、M.ハレ著（1972）、23頁。

0.3.3 協力話者の紹介

本研究は筆者の内省に基づいて龍茗方言を記述するが、すべての語を龍茗方言母語話者である筆者の祖母（1941 年生）と父（1962 年生）に確認してもらった。本論文ではこの二人を協力話者と呼ぶことにする。ここで本研究の協力話者である筆者の祖母や父について紹介する。

祖母（1941 年生、77 歳）は龍茗鎮の三北村岵猛屯（地図 6）で生まれ育った。岵猛屯は龍茗鎮の鎮都から約 2 キロに離れた位置に有り、筆者の村と約 2 キロ離れている。祖母は 13 歳の時に小学校で識字（漢字）教育を受け始め、漢字を西南官話の発音で覚えさせられたと言う。18 歳の時に中学校に進学し、20 歳（中学校 3 年の途中）の時に「下放」³⁹された後、21 歳の時に祖父と結婚して逐仗屯に移住した。巴孟屯と逐仗屯の方言差はほとんど感じられないほどである。龍茗鎮では祖母の世代（70 代）は高比率でバイリンガルかマルチリンガルであり、その多くは龍茗方言＋西南官話、龍茗方言＋粵語方言あるいは龍茗方言＋西南官話＋粵語方言が話せる。

父（1962 年生、56 歳）は筆者と同じように逐仗屯で生まれ育った。父は 7 歳の時に小学校で識字（漢字）教育を受け始め、漢字を普通語の発音で覚えさせられたそうである。12 歳の時に龍茗の鎮都にある中学校に入り、そこでは漢語の授業以外はチワン語によって行われた。18 歳で高校を卒業した際には普通語がまだ流暢に話せなかったが、広西チワン族自治区の区都にある師範学校⁴⁰に送られた。そこで教員養成コースに入学させられ、将来の初等教育の教員になるために 4 年間徹底的な普通語教育を受けた。父は卒業後村に戻って村の小学校で漢語、数学、社会、音楽などすべての科目を教えていたが、漢語の授業以外は龍茗方言で行った。2000 年にリストラされて広東省まで出稼ぎに赴いたために、粵語を聞く力や話す力がある程度身に付いた。父の世代（50 代）は学校で西南官話が教えられなかったために、バイリンガルが多く、龍茗方言＋普通語が話せる。逐仗屯の 50 代以下でマルチリンガルの場合は、これに粵語が加わる。

0.4 先行研究

龍茗方言は文字を持たない未だ記述されざる言語である。したがって、本研究が初めて

³⁹ 中国で行われた、幹部や知識人などを農村や工場に送り、一定期間労働に参加させて思想改造を行う運動である。

⁴⁰ 中国において教員を養成する学校であり、初等・中等学校教員の養成（師範教育）を目的とした中等・高等教育機関とされ、教員養成機関である。

龍茗方言を言語学的に記述するものとなる。チワン語の他の方言にはある程度の研究の蓄積がある。以下にチワン語研究史を概観しながら、本研究が参考にした先行研究について述べる⁴¹。

チワン族は正式に民族として「まとめられ、認められた」歴史が浅いが、言語研究の歴史はそれよりも長い。チワン語研究の功労者であった李方桂は夙に 1934 年チワン語の研究を始めた。1940 年にチワン語南方方言とされる龍州方言についての報告『龍州土語』を刊行した。同書において、龍州方言は、シャム語、ベトナムのノン語、僮語（チワン語の北部方言を指す）などと同じ語族とされ、タイ諸語（Tai languages、中国では「台語」）と命名されている（李方桂 1940:1）。李は同年チワン語北部方言の歌を詳しく紹介した「武鳴土歌的研究」も発表した。さらに、翌年 1941 年にチワン語北部方言とされる武鳴方言（現在のチワン語標準音）を調査した『武鳴土語』の原稿を香港に送り、出版する予定であった。しかし不運なことに当時は、日本軍が香港を占領した時期だったために、原稿が失われてしまい、その後、1956 年によりやうく台北で出版されたという（李方桂著/王・鄭訳 2008:40、316）。『武鳴土語』を刊行する前に、李は武鳴方言の音韻体系・文法構造などについて論じた「武鳴土話音系」を発表した。武鳴方言はチワン語（原文：僮語）の一方言で、貴州省の「仲家」（現在のプイ族）などの言葉に近く、これらはタイ諸語（Tai）に属するとされる（李方桂 1947:293）。龍州方言と武鳴方言はいずれもチワン語の代表的な方言として広く参照されている。本研究で使用する語彙リストの一部は、『龍州土語』と『武鳴土語』に挙げられた語から構成されている。両者に集録された民謡や物語は龍茗のそれと共通するものが多いため、筆者が自らの龍茗方言を内省する際のヒントとなった。また、『龍州土語』における龍州方言の漢語借用語の音韻体系についての分析は、本研究が直接参考とする箇所もあり、とりわけその分析方法は有益な示唆を与えてくれた。

新中国が成立してまもなく、「チワン族民族認定」作業が行われた際、言語学的な調査も実施された。1941 年に行方不明となった李方桂の『武鳴土語』は、1952 年に内部資料として中国文字改革委員会によって出版され、これは 1956 年の台北版よりも早かった⁴²。読者の求めに応じて、1953 年 2 月にそのタイトルを『武鳴土語』から『武鳴僮語』へ改名し、中国科学院によって 300 部増刷された。これはチワン語の調査・研究をする人々に必

⁴¹ 日本におけるチワン語の先行研究には岩佐（1982）と吉川（2017）がある。しかし、これらはいずれも他のチワン語の方言に関する先行研究であり、本論文の主旨（龍茗方言の音韻体系を明らかにすること）にはほとんど関わりがないために贅言しない。

⁴² 中国語文雑誌社編（1952）『中国語文』1952 年 7 月号（創刊号）、人民教育出版社、40 頁に「『武鳴土語』は中国文字改革委員会によって印刷中である」とある。

携の参考書となった⁴³。1940年代後半、のちにチワン語研究の大家となる韋慶穩⁴⁴、梁敏⁴⁵らが李方桂の『龍州土語』に学んで⁴⁶、チワン語の調査や標準チワン語正書法の制定に携わった。1950年代になると中国社会科学院少数民族語言研究所僮語小組と広西僮族自治区民族語言文字工作委员会⁴⁷によってチワン語の新しい調査がなされるようになったが、まとまった資料が乏しい段階では、李方桂の著作は極めて重要な参考書であった。

1952年のチワン語調査結果をもとに1953年に『一九五二年僮族語文工作報告』が刊行された。報告は5つの部分から構成されている。第一部の「広西チワン語方言分布概況及び文字案の立案について」と第五部の「左江チワン語調査報告—龍津方言を例として—」は袁家驊によって書かれ、第二部の「農民のチワン語読本の編纂について」は韋慶穩によって執筆された。また、第三部の「来賓県チワン語教学実験経験及び民衆の反応について」と第四部の「来賓県チワン語調査報告」の二部は張均如によるものである。この報告における龍津方言の記述は、同じくチワン語左江方言に属する龍茗方言を把握する良い参考となった。また、1958年にチワン語対漢語の語彙集『僮漢詞彙（初稿）』が刊行された。標準チワン語の旧正書法で書かれているが、1950年代に発行されたチワン語による書物を読む際には欠かせない参考書である。

1960年に中国社会科学院少数民族語言研究所僮語小組によって「僮語概況（チワン語の概況）」が発表された。チワン語を南北方言に分類し、北部方言を7つの下位方言、南部方言を5つの下位方言に分類した。この分類は現代中国においても概ね支持されている。また、南北方言の差異についても明示し、標準チワン語の音韻体系、文法（主に品詞）、語彙の統語構造や文字を紹介した。本研究の背景知識として重要な内容である。

1961年8月に内部参考資料として『壮語音系匯編』という冊子が刊行された。これは中国社会科学院少数民族語言研究所の指導の下に、広西僮族自治区民族語言文字工作委员会が1954年に58地点のチワン語を調査した結果の報告である。同書はチワン語諸方言の音韻体系や語例をまとめたもので、当時のチワン語研究者や標準チワン語教育者の参考資料として発行された貴重な資料である。この資料は1994年に『壮語方言土語音系』と改

⁴³ 北京大学の教授であった袁家驊は学生にこの『武鳴土語』を薦めたと、袁家驊の学生だった孫宏開が回想している（李方桂著/孫宏開編 2005:15-17）。

⁴⁴ チワン語正書法の立案に携わった重要な人物であり、チワン文字を採択する際に大きな役割を果たしたチワン族の研究者である。

⁴⁵ チワン語研究の重鎮で、国科学研究院の元研究員、中国の言語学者である。

⁴⁶ 梁敏先生への2013年9月7日のインタビュー、北京の娘さんのお宅にて。

⁴⁷ 当時の広西チワン族自治区における言語政策機関である。広西壮族自治区地方志編纂委員会編（2000年）『広西通志・少数民族語言志』南寧：広西人民出版社、732頁には「広西僮族自治区少数民族語言文字工作委员会」とあるが、これは間違いである。同委員会によって出版された数多くの書物から判断する限り、委員会の正式名称に「少数」の2文字は含まれない。

名し再刊されているが、その際旧版の誤植も訂正されている。『壮語音系匯編』の356～362頁には、天等県城麗川街の話者の音韻体系が記述されている。なお、本論文では、この『壮語音系匯編』に掲げられた表にある約300語に対応する龍茗方言の語形を付録に記載した（ただし対応する語形がないものもありそれらは除外している）。1957年に標準チワン語の普及事業の一環として標準チワン語による機関紙たる『壮文報』が発行された⁴⁸。この時期において、大量の新借用語（漢語）がチワン語の中に取り入れられた。1958年の半ばになると、漢語の語彙が日増しにチワン語の中に侵入し、定着して行くと報告されている（黄2014:55-56）。このような背景から、チワン語における漢語の影響の漸増が雑誌『中国語文』において紹介された。中でも重要なのは王鈞（1962）の「僮語中的漢語借詞」である。この論文はチワン語における漢語の影響についてほぼ論じ尽していると評価され⁴⁹、日本でも紹介された。岩佐（1982）の「チワン語—その紹介と漢語の影響—」がそれである。王鈞（1962）は本研究において龍茗方言の漢語からの借用を考える際の示唆を与えてくれた。

1966年から1976年にかけての文化大革命によって、標準チワン語の普及関連事業は停止し、標準チワン語による出版物も休刊となり、それに伴ってチワン語の研究も停滞した。藤井（2004:139-140）によれば、1980年5月、広西チワン族自治区党委員会と自治区人民政府は、積極的かつ着実に、計画的に段取り良く、チワン族地域の農村・学校・機関において逐次チワン語の使用を推進するという方針を明確に打ち出し、文化大革命期に解散・廃止されていたチワン語の教育・出版・推進等に関連する機関の回復を積極的に進めた。

こうした中、1960年に発行された「僮語概況」（チワン語の概況）の拡大版である『壮語簡誌』（韋慶穩・覃国生1980）が1980年に世に出た。この著作はチワン語南北方言の分類基準や標準チワン語の音韻、語彙の統語構造、文法項目を詳しく紹介している。その後、標準チワン語対漢語の語彙集である『壮漢詞彙』⁵⁰をはじめとするチワン語研究の書物が出版されるようになった。例えば、『壮侗語族語言簡志』（チワン・トン諸語概説）

（王鈞 等1984）、『壮語語法研究』（チワン語文法研究）（韋慶穩1985）や『壮語方言概論』（チワン語諸方言の概論）（覃国生1996）がある。『壮語語法研究』は標準チワン語の品詞や18種類の連語について詳しく論じたもので、本論文で龍茗方言の二音節連続の声調を論じる際に参照する一部の例字や連語は、本書から引用して龍茗方言の発音で綴っ

⁴⁸ 1950年代の標準チワン語普及事業及び『壮文報』の詳細は、黄（2014）を参考されたい。

⁴⁹ 岩佐（1982）、30頁。

⁵⁰ 1982年に制定された新チワン語文字案によって書かれたものである（広西壮族自治区少数民族語言文字工作委员会研究室編1984）。

た。

1999 年には『壮語方言研究』（チワン語諸方言研究）（張均如等 1999）が、1950 年代から 1990 年代までのチワン語研究の集大成として出版された。『壮語方言研究』では、36 地点のチワン語方言の音韻体系、各地の方言の対応関係、漢語の借用語などが詳しく論じられている。本論文の重要な参考書となった。その付録には、1465 語が 36 地点の方言で IPA（国際音声記号）によって記載されている。

2000 年代におけるチワン語研究の成果としては、2005 年に『壮漢英詞典』（チワン中英辞典）、『壮語通論』（標準チワン語の音韻、文字、語彙、文法、修辭について）（韋景雲・覃曉航 2006）、『老撾語—壮語共時比較研究』（ラーオ語とチワン語の共時比較研究）（覃国生・謝英 2009）等が挙げられる。また、『広西民族語言方音詞彙』（広西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 2008）はタイ・カダイ語族に属する 12 種の方言（24 箇所）における 4488 項目の語彙を収集している。本論文では、この『広西民族語言方音詞彙』に収められた 2004 語に対応する龍茗方言の語を付録に収めた。2010 年代以降、標準チワン語研究から個別方言研究まで数多くの研究書が次々と出版されるようになり、チワン語研究は新たな段階に入った。『壮語描写詞匯学』（チワン語の語彙学）（班昭 2010）はチワン語の語彙や語義を研究するものである。ここに収められた一部の植物名を参酌して、龍茗方言の語形を本論文の付録に入れた。個別方言の研究としては『都安壮語形態変化研究（チワン語都安方言の統語論研究）』（李旭練 2011）、『燕斉壮語参考語法』（チワン語燕斉方言参考文法）（韋景雲等 2011）、『大新壮語形容詞研究』（チワン語大新方言形容詞研究）（黄美新 2013）、『靖西壮語研究』（チワン語靖西方言研究）（鄭貽青 2013）などである。龍茗方言の記述においても、これらからヒントを得た。また、『跨界壮語研究』（中越国境に跨るチワン語）（吳小奕 2013）は中越に跨がる国境付近の方言の比較研究であり、本論文では色彩語彙の部分を参酌した。

以上 1980 年代以降にチワン語方言に関するこれらの専門書によって、現在の広西・広東・雲南の約 60 地点におけるチワン語方言の音韻と語彙の概略を窺い知ることができると言える。

ここで特筆すべき先行研究は Hudak (1991) である。これは William J. Gedney が行った Lungming 方言の研究をまとめた一書である。この著作は“Lungming”の方言を記述したものとされ、“Lungming”とは「龍茗」の当時の英字表記であるが、Gedney が記述した方言は以下に詳しく示すように、龍茗鎮の方言ではない。つまり本論文でいう龍茗方言とは異なる方言である。龍茗鎮の方言（すなわち龍茗方言）を初めて記述したのは本論文が初めてであり、Gedney ではないという事実は強調されなくてはならない。

まず、Hudak (1991)にも明示されているように⁵¹、Gedney が記述した Lungming 方言は旧龍茗県（行政区画範囲は地図 4）の下位行政区画たる「添等鎮」（現天等県の県城所在地付近）の方言である。当時の龍茗県は「添等鎮」（現天等県の天等鎮）の上位行政区画であった。そのため、方言名に旧龍茗県の名を借り「Lungming」と名付けたのだと思われる。現在の行政区画は逆で、天等は県、龍茗は鎮となっている。本論文でいう龍茗方言は現在の龍茗鎮で使用する方言である。それに対して、William J. Gedney が記述した Lungming 方言は、旧龍茗県の下位にある旧添等鎮（現天等鎮）の方言である。したがって Gedney の記述した方言は、本来であれば「天等方言」とでも名付けるべき方言である。しかしながら、本論文では、すでに Gedney の調査結果が幅広く引用されており（例えば Gedney 1995a, 1995b, 1995c; Sarawit 1973; 橋本 1981:47-53; Pittayawat 2009 etc.）、チワン語研究においてその名称（すなわち Lungming）が定着していることを勘案して、Gedney が記述した方言を「旧龍茗方言」と名付け、英語表記は原書のままで「Lungming」とする。一方、本論文で筆者が初めて記述する方言（現天等県龍茗鎮で使用する言語）を「龍茗方言」と称し、英語表記を「Longming」とする。

また、本論文が記述する龍茗方言は Gedney が記述した旧龍茗方言の娘（daughter language）ではない。すなわち、旧龍茗方言が時間の経過を経て変化した現在の姿が本論文の龍茗方言であるわけではない。このことは、旧龍茗方言における音素合流によって証明できる。タイ祖語においては *l と *r が対立していたが⁵²、旧龍茗方言は *r を /l/ に変化させ、*l と合流させてしまっている。一方、龍茗方言はこれを /l/ と /ɖ/ の対立として保っている。この事実は、旧龍茗方言が経験した音変化のすくなくともひとつ（*l と *r の合流）を龍茗方言が経験していないことを示す。このことは龍茗方言が旧龍茗方言より古い特徴を保っていることを意味し、したがって、龍茗方言は旧龍茗方言の娘ではないことを意味する。すこし詳しく示すと、龍茗方言、旧龍茗方言と龍州方言（前 2 者と同じくチワン語南部方言の左江方言の 1 つ）には以下のような音対応がある（龍茗方言、旧龍茗方言、龍州方言の順）。

l :: l :: l （*l に遡る）

ɖ :: l :: l （*r に遡る）

⁵¹ Hudak (1991)、pp.xvii-xviii.

⁵² Li (1977)、Sarawit (1973)、Ferlus (1990)、Pittayawat (2009) では両者の対立が認められている。4 者をまとめた Pittayawat (2009:289) の表が便利である。

具体的な語例は以下の通りである。(龍茗方言、旧龍茗方言、龍州方言の順)⁵³

*luk 「子供」 luk :: lok :: luk

*rɯ:n 「家」 ɔu:n :: lu:n :: ɬɯ:n

旧龍茗方言は *r>l の変化を経験し、*l と*r が l に合流してしまっている。一方、龍茗方言は*r>ɔ の変化を経験しているが、*l と*r の対立自体は保持している。龍州方言は*r>l の変化を経験しているが、*l と*r の対立は(龍茗方言とは異なる形で)保持している。

以上から分かるように、Gedney によって記述された旧龍茗方言と本研究が記述する龍茗方言と異なっているのは、時代が下るにしたがって旧龍茗方言が変化した結果ではない。両者は異なる方言である。

0.5 研究方法

本論文では次のような研究手法を用いた。

まず、天等県の麗川方言の音韻体系を記述した『壮語音系匯編』(1961: 356-362)、『広西民族語言方言詞彙』(広西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 2008)の語彙リスト、Pittayawat (2009:322-361)の語彙リスト、ミニマルペアを成す独自の語彙リストを加え、合わせて約 5000 個の語彙を筆者の内省に基づいて列挙した。それらの語彙のすべてを話者協力者である筆者の祖母と父に確認してもらった。筆者と話者協力者で異なった発音が観察された場合、その発音に注釈を付けて、双方の発音を併記した。

次に、筆者の発音で録音した付録の語彙リストの音声データを、音響分析ソフト Praat を用いて分析した。

0.6 論文の構成

本論文は全体で 6 章の本論及び付録からなる。

本論では龍茗方言の音韻、声調などに関する共時的記述を行い、それを踏まえて文字を持たない龍茗方言に文字案を提案する。本論文における記述は基本的に筆者の内省に基づ

⁵³ 龍茗方言は筆者による。旧龍茗方言は Hudak (1991) の xxvi 頁と xxix 頁、龍州方言は Pittayawat (2009) の 336 頁と 338 頁による。

くが、話者協力者である筆者の祖母や父に、すべての語彙項目について確認済みである。本論文では、筆者の内省と音響分析ソフト Praat による音響分析結果とを併用する形で得られた結果を報告する。

以下、各章の概要について述べる。

序章では本研究の問題の所在を述べ、本研究を理解するための背景知識を紹介する。また、本研究で取り上げるチワン族、およびチワン族の話すチワン語について概説した上で、本研究の対象、先行研究及び研究方法などを論じる。

第1章では龍茗方言の音韻体系を分析する。頭子音、母音、末子音についてそれぞれ根拠を提示しながら音素分析を行い、音素を立てる。特に問題となると思われる箇所については、より詳細な考察を実施しその結果を記述する。最後に、分析結果を音素目録として要約し、さらにそれを応用して、龍茗方言の音節総表、いわゆる「韻表」を提示する。

第2章では龍茗方言の単音節語の声調体系とその通時的考察を行う。単音節語の声調においては Praat を用いて分析し、龍茗方言の声調の分類を試みる。

第3章では声調言語の一部に認められる声調の変調が龍茗方言においても認められるのかについて考察する。2音節語の声調も Praat を用いて分析し、各声調はどのような変調のメカニズムを持つのかを明らかにする。

第4章では今まで得られた龍茗方言の音韻体系、声調体系を根拠として、各音素や声調についてそれぞれ異なる記号を割り当てた龍茗方言の表記法を提案する。

終章では、本研究の成果及び限界と今後の解題について述べる。

最後に付録を加える。付録本論文の参考となる龍茗方言の基礎語彙集であり、それ自体で独立した辞書としての構成を有する。

写真 0-1 チワンの「刺身」

生の草魚で、塩に醤油（唐辛子が入っている）と酸味の有る漬物にあえて食べる。2013年3月10日、広西チワン族自治区の苹果県海城郷陳啓仁氏の自宅にて。



写真 0-2 灰汁巻き



写真 0-3 粽作りの場面（筆者の祖母）2015年2月18日にて撮影。



写真 0-4 ゴンゲイ餅、2015 年 3 月 5 日祖母と従姉妹はゴンゲイ餅を作っている。



写真 0-5 五色のオコワ、2016 年 4 月 3 日に筆者が染めて蒸したものである。



写真 0-6 豚の丸焼き、2015 年 2 月 20 日龍茗鎮逐仗屯にて撮影した。



写真 0-7 2012 年 2 月 25 日に靖西県の県都で撮影したものである。靖西県の場合は男女両方とも即興の歌を作りながら掛け合いをしていた。



写真 0-8 2013 年 3 月 10 日に筆者が苹果県の県都で撮影した。苹果県の場合、男性は「歌書」（方塊壮字に書かれる歌の本）を見ながら歌うが、女性はそれを聞いて即時に歌を作りながら掛け合いをする。



写真 0-9 2013 年 7 月 14 日田陽県の思林鎮にて撮影したものである。苹果県と同じ、男性は「歌書」に頼り、女性は即時に歌を作りながら掛け合いをするのである。



一、僮族文字決定以桂西僮族自治區北部方言為基礎，以武鳴話為標準音。

大楷: A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

小楷: a b c d e ə f h i j k l m n ŋ o ɒ p r s t u ʏ w ɤ z ɕ ɸ

(1) 僮族文字採取音素標音法，共有二十九個字母，其中有輔音 16 個，元音 8 個，聲調符號 5 個，以這些字母拼寫標準音的全部音節。

輔音: b c d f h i k l m n n p r s t w

(b)(c)(d)(f)(h)(j)(k)(l)(m)(n)(p)(r)(s)(t)(w)

元音: а е ө і о у ы

[a][ɛ][ǣ][i][ɔ][ǫ][u][ʊ]

声調符號： ㄛ 3 4 5 6

(4) 字形(音節)結構形式有下列三種：

韻母——音節 əu(要) ək(胸膛) 聲母+韻母——音節 ma(四) mak(果子)

声母 + 韻母 + 調符 = 音節 mau (馬) məkɔ (墨)

(5) 僮族文字採取詞兒連寫的辦法，以詞為文字的單位，而不以音節為單位，複音詞或複合詞的：

詞素(音節)一律連寫。即:音節+音節=詞。如:rek tin fai (烏啄樹)是三個詞。

rektingfai (啄木鳥) 和 kuncantan (共產黨) 各是一個詞。

附註：有閩拼音法式，詞兒連寫，標寫調號以及大寫、縮寫、轉行、標點等問題。
另有僮族文字書寫條例詳細規定。

第1章 龍茗方言の音韻体系

本章は、龍茗方言の音声・音韻の共時的記述を行う。特に断りがない限り、分析の対象とするデータは筆者の内省に基づくものである。分析の対象は単音節語に限定する。付録に掲載したすべての語彙項目及び筆者が作成した最小対 (minimal pair) を成す語彙リスト、合わせて約 5000 語を、筆者の内省に基づいて記述する。なお、記述した語のすべては話者協力者の龍茗方言母語話者である筆者の祖母 (1941 年生) と父 (1962 年生) に確認してもらった。

本章の構成は次の通りである。

1.1 では本研究の研究対象である龍茗方言を含むチワン語の系統関係、タイ・カダイ (Tai-Kadai) 語族に関する背景知識を紹介する。1.2 では音素の認定や音韻体系の記述の方法について述べる。1.3 では子音の分析を行う。1.4 では母音を記述する。1.5 では子音、母音の音素分析を行った後に、音節構造を明らかにする。1.6 では龍茗方言の音韻の分析結果を要約し、龍茗方言の韻 (母音と末子音の組み合わせ) として可能なものを表にまとめて提示する。

1.1 背景知識

1.1.1 タイ・カダイ (Tai-Kadai) 語族

本研究の研究対象である龍茗方言を含むチワン語の系統を知るために、本節ではタイ・カダイ (Tai-Kadai) 語族に関する先行研究を概観する。

チワン語は、中国語学の枠組みにおいては「漢蔵語系壮侗語族壮傣語支」に属す言語である。すなわち、シナ・チベット語族 (漢蔵語系) チワン・トン語派 (壮侗語族) チワン・タイ語支 (壮傣語支) の一言語とされている。一方、タイ・カダイ語族の研究者の多くは、チワン語をシナ・チベット語族とは別系統をなすタイ・カダイ語族に属する言語であると考えている⁵⁴。前者の説で言うチワン・トン語派 (壮侗語族) に属する諸言語と、後者の説で言うタイ・カダイ語族に属する諸言語には大差はなく、また、いずれの説においても、チワン語がこのグループ (すなわちチワン・トン語派あるいはタイ・カダイ語族) に属するという結論は共通している。両説が異にする論点は、1) タイ・カダイ語族をシナ・チベット語族 (漢蔵語系) に分類するかどうか、2) タイ・カダイ語族に属する諸言語間の系統関係は如何なるものなのかの 2 点である。以下ではタイ・カダイ語族に関するいくつかの議論を紹介す

⁵⁴ なお、管見の限り、ロシアの研究者はタイ・カダイ (Tai-Kadai) 語族の分類及び系統については中国の学者の説をそのまま取っている。例えば、Л. Н. Морев, Ю. Я. Плам, М. Ф. Фомичева (1961)、Г. П. Сердюченко (1961) など。

る。

タイ・カダイ語族とは、中国南部からベトナムの北部、ラオス、ミャンマー、タイ、インドなどの東南アジア大陸に分布する同系統の諸言語の総称である。北は中国の貴州省、南はマレーシアの南半島、東は中国の広東省、西はインドのアッサム及びその周辺地域まで広がる。比較言語学的な研究が進むに連れて、この語族に属する言語の一部に対して極めて精緻な研究が行われ、その系統も部分的には明らかにされてきた。しかし、この語族の全体像を示す段階にはまだ達していない。当然、系統分類の仕方も学者によっては一貫しておらず、各分類群を指し示す名称も統一されているとは言い難い。

タイ・カダイ語族は、別名として「ダイ語派 (Daic)」(Shafer 1940:302-337)、「カダイ大語派 (Kadai)」(Benedict 1942:576-601)、「カダイ語派 (Kadaic)」(Haudricourt 1967:105-182)、「クラ・ダイ語族 (Kra-Dai)」(Weera 1999:1) などが用いられており、それによって指示される諸言語の範囲もさまざまである。一方、このタイ・カダイ語族に属する諸言語がシナ・チベット (Sino-Tibetan) 語族に含まれるという説を取る学者 (主として中国の学者) は、ほぼ本稿の「タイ・カダイ諸語」に相当するものを、シナ・チベット語族のチワン・トン

(Zhuang-Dong、壮侗) 語派あるいはトン・タイ (Dong-Tai、侗台) 語派と呼ぶ。日本では主に欧米の枠組みにしたがって、「タイ・カダイ語族」と呼ぶことが多い。本論文は、混乱を避けるために、このグループの言語全体を「タイ・カダイ語族」と呼ぶ。

前述のように、タイ・カダイ語族に属する諸言語を、シナ・チベット (Sino-Tibetan) 語族に属するとみなす見解がある。この見解は、当該の諸言語の研究の初期に提案されたものであり、現在では主流ではないが、主として中国の学者によって今も根強く支持されている。シェイファー (Shafer 1940) はタイ・カダイ語族に属する諸言語をシナ・チベット語族の中に含めた (図 1-1)。しかし、チワン語はこの時点ではまだ十分に知られていなかったため、系統分類に反映されていない。シェイファーは自身の分類体系の階層関係を明確にするために、階層的に最上位の「語族」には -an、その下位の「語派」(Division) には -ic を、そしてその下位の「語支」(Section) には -ish を用いている。

中国の研究者ら (周・游 1986 や馬・戴 1986 など) は、下位分類に関してはわずかなズレが見られるものの、タイ・カダイ語族に属する諸言語をシナ・チベット語族の下位語派と見なす点に関しては、シェイファーの見解と一致している。馬・戴ら (1986) は、タイ・カダイ語族に属する諸言語を「壮侗語族」(Zhuang-Dong チワン・トン) と名付け、その下位方言を「壮傣語支」(Zhuang-Tai チワン・タイ)、「侗水語支」(Kam-Sui カム・スイ)、「黎語語支」(Hlai リー) という 3 つのグループに分け、チワン語を「壮傣語支」(Zhuang-Tai チワン・タイ) に属する言語として分類した (図 1-2)。

シナ・チベット語族説の根拠となるものは一般に、単音節を根幹とする音韻体系が類似し

ていること、声調を有すること（しかも頭子音と密接な関係がある）などが挙げられた。シェイファーと中国学者による用語の対照を図 1-3 で示す。

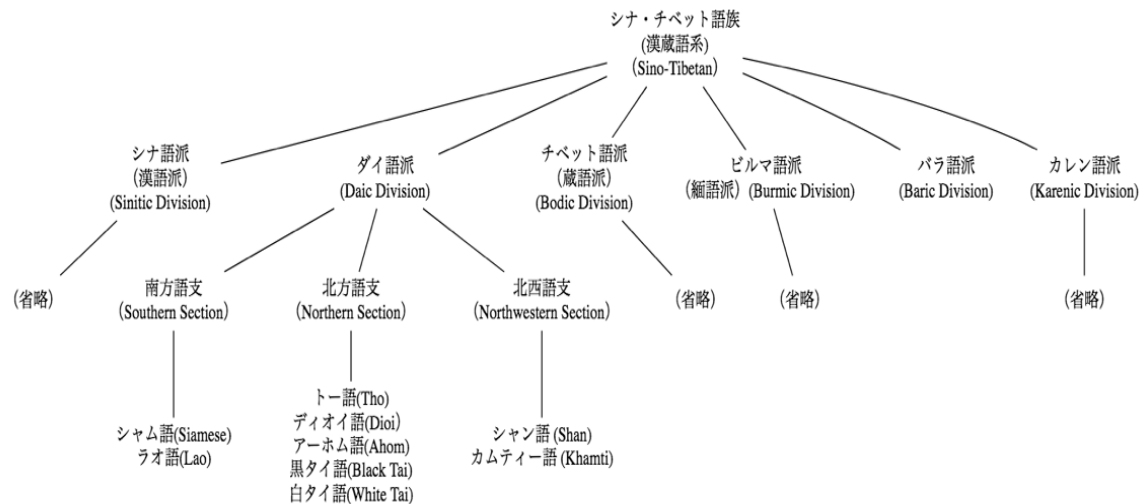


図 1-1 Shafer (1940) によるシナ・チベット語族の分類（筆者により簡略化）

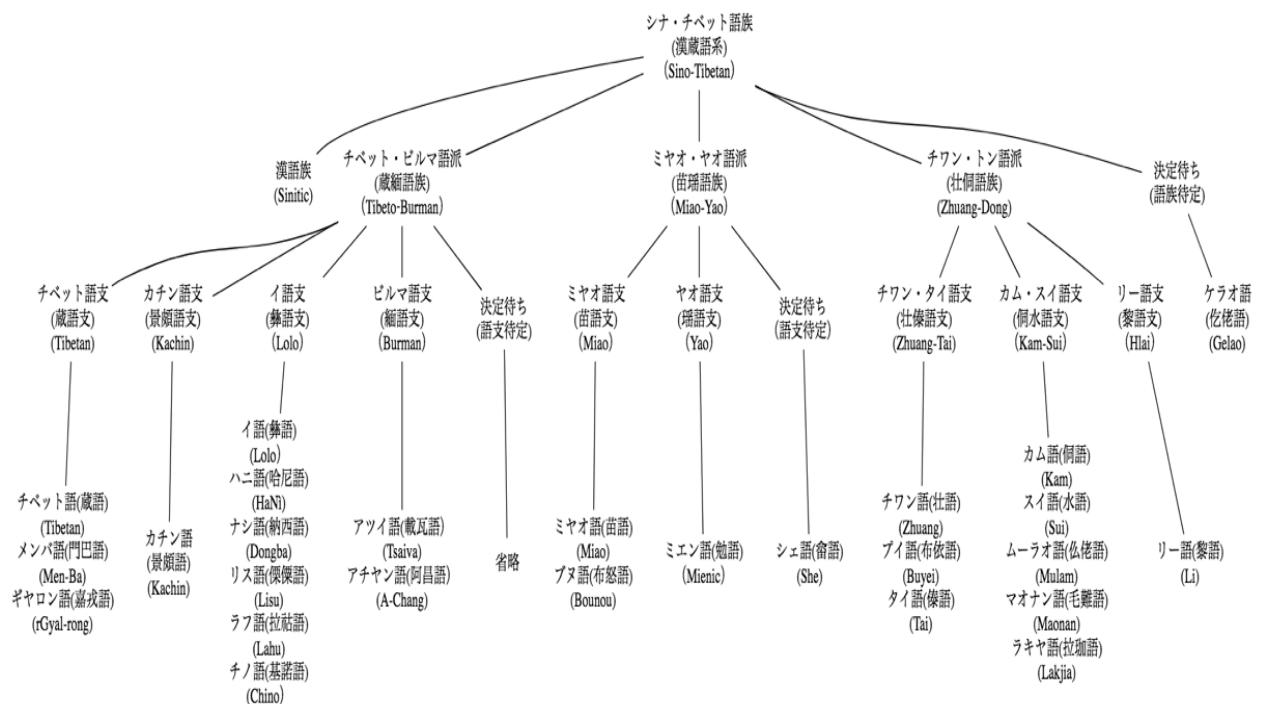


図 1-2 馬・戴 (1986) によるシナ・チベット語族の分類（筆者により簡略化）

シェイファー	中国学者
Family : -an (語族)	語系
Division : -ic (語派)	語族
Section : -ish (語支)	語支
Branch : -ish (語群)	
Unit : -ish (諸語)	
Language (言語)	語言

図 1-3 シェイファーと中国の研究者用語対照表⁵⁵

これに対してベネディクト (Benedict 1942) は、シナ・チベット語族 (中国語) とタイ・カダイ語族 (タイ語) の類似は借用関係によるものと主張して、これらをまったく別の系統であると主張した (Benedict 1942:589-591)。さらに、タイ語が属する「タイ語派」と、トンキン地方のラクワ語 (普標語 Laqua) とラチ語 (拉基語 Lachi)⁵⁶、中国南部のケラオ語 (仡佬語 Gelao)、そして海南島のリー語 (黎 Li) からなる「カダイ大語派⁵⁷」と、インドネシア語が属するインドネシア語派をまとめて、「タイ・カダイ・インドネシア語族」なる語族を提案した。すなわち、現在一般的にタイ・カダイ語族に属するとみなされる諸言語と、それとは一般的に別系統とみなされるオーストロネシア語族に属する諸言語との間に系統関係があると主張した。また、シナ・チベット語族を、「シナ語派」(Sinitic)、「チベット・ビルマ諸語」(Tibeto-Burman)、「カレン諸語」(Karen) の三派に大別し (図 1-4 (1))、東南アジアの言語系統樹を書き換えることを提案した。

ベネディクトの論文が発表された 1942 年には、貴州省に分布するタイ・カダイ語族のひとつであるマーク・スイ語 (Mak-Sui) は知られていなかったが、広西チワン族自治区に分布するチワン語 (Zhuang) やディオイ語 (Dioi) (貴州省で話される現在のプイ語[布依語]) は知られていた。しかし、ベネディクトはそれらの言語についても具体的には全く触れていない。その当時、系統がほぼ未解明であったラクワ語 (普標語 Laqua)、ラチ語 (拉基語 Lachi) や中国南部のケラオ語 (仡佬語 Gelao) を、タイ・カダイ・インドネシア語族と統括するベネディクトの仮説は説得力が足りない指摘されている (西田 2000:89)。その後、ベネディクトは何度も自らの提案を修正し、最終案と思われる 1990 年のそれには、日本語と琉球語をこの集団の第四の構成員とした構想を示した (図 1-4 (2))。かくして巨大集団となったカダイ大語派の構成は図 1-4 (3) のように構想されている⁵⁸。ベネディクトの構想では、

⁵⁵ 図 1-3 は西田龍雄によるものである。亀井孝ほか編 (1988-2001) 『言語大辞典 第 2 巻 世界言語編 (中)』171 頁。

⁵⁶ 原文は「Lati」となっているが、一般的な言い方であるラチ語 (拉基語 Lachi) で統一する。

⁵⁷ ベネディクトはカダイ大語派に属する 4 つの言語、すなわちラクワ語、ラチ語、ケラオ語、リー語に共通する特徴として、(1) 単音節言語であり、(2) 孤立語であり、(3) タイ語と同じような声調を有し、(4) 語順はタイ語及びインドネシア諸語と同じく目的語は動詞の後に、修辞語は被修辞語の後に来ることなどを挙げる。インドネシア語派との親縁性について挙げたのは (1) 音韻的類似、(2) 文法的類似、及び (3) 語彙的類似である。

⁵⁸ 「ベネディクトの論文が発表された 1942 年には…」の段落は西田 (2000: 88-89、191-192) の記

後述のチワン語南部方言である龍州方言（Lungchow）や天保方言（T'ien-pao、現徳保方言）以外のチワン語方言（後述のチワン語北部方言）について具体的に言及していない。

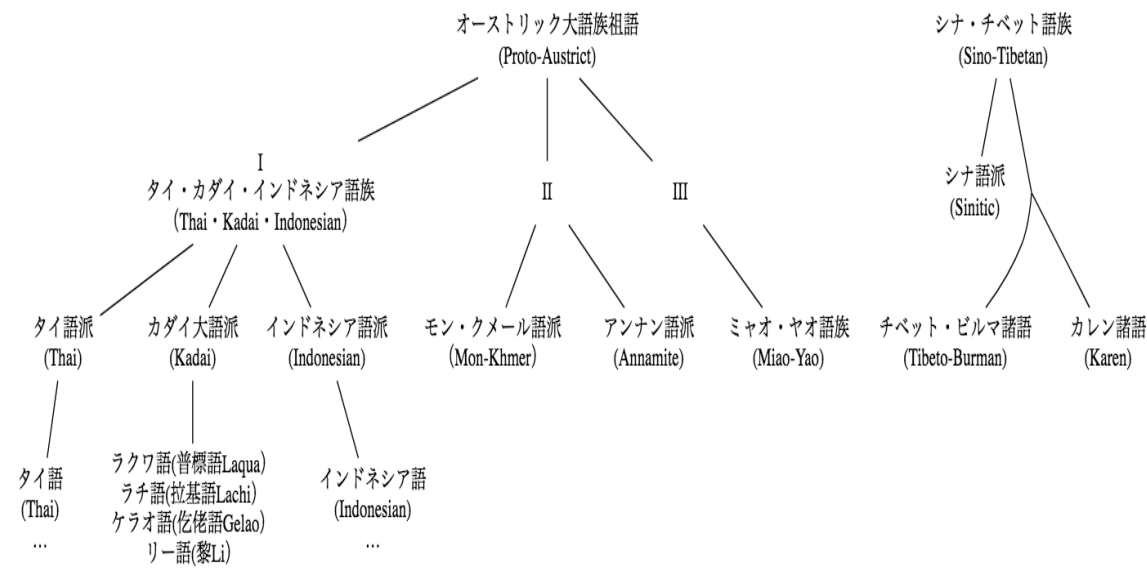


図 1-4 (1) ベネディクト（1942 年の提案）

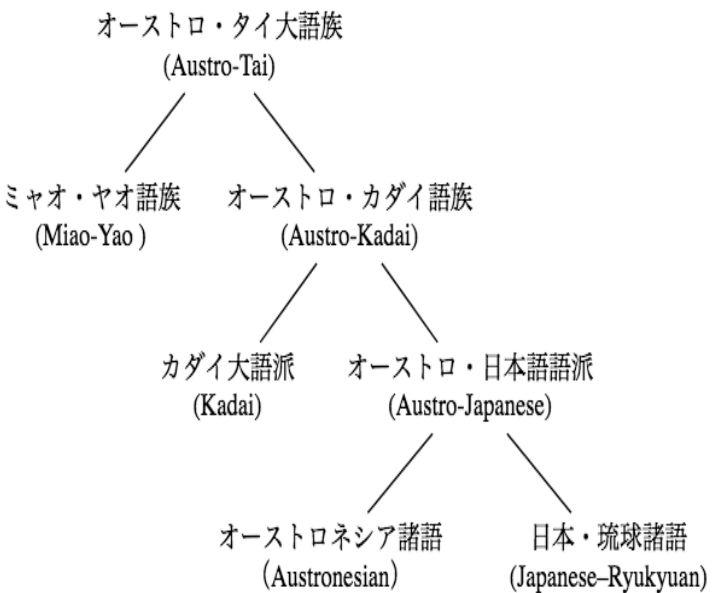


図 1-4 (2) ベネディクト（オーストロ・タイ大語族について 1990 年の提案）

述に基づいた。原典はベネディクトの 71 歳記念論文集 Graham Thurgood (1990) を参照されたい。
図 1-4 (1)、1-4 (2)、1-4 (3) は西田 (2000:191-192) の図に筆者が加筆して系統樹にしたものである。

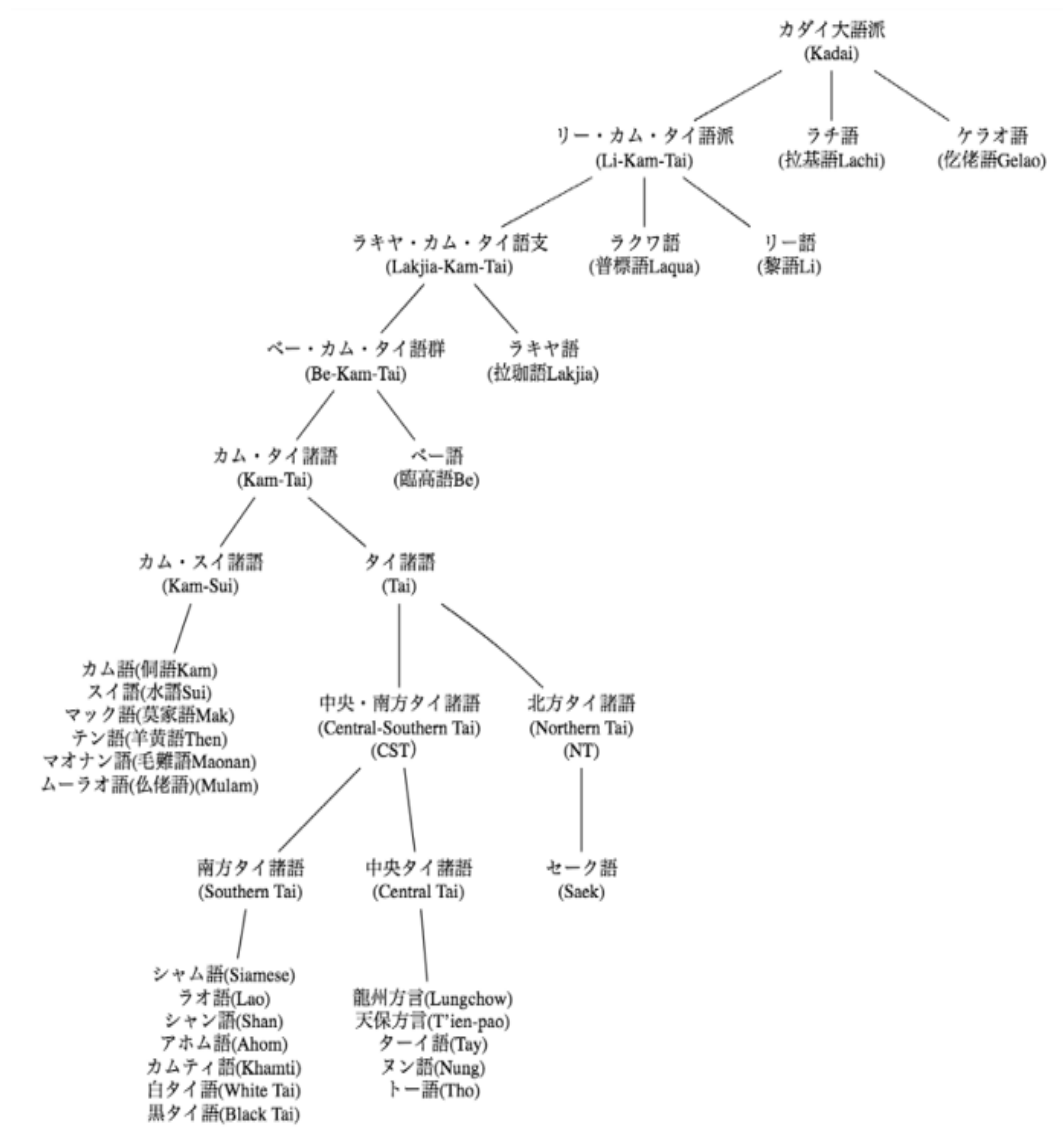


図 1-4 (3) ベネディクト (カダイ語派について 1990 年の提案)

タイ・カダイ語族の系統分類で最もよく知られている分類は、李方桂 (Li Fangkuei) (Li 1942, 1956, 1960, 1977) の比較研究による分類である。李は、現在多くの学者がタイ・カダイ語族に属するとみなしているリー語 (黎語 Li)、ケラオ語 (仡佬語 Gelao) などの言語 (タイ・カダイ語族に属する言語の中では系統関係は他より遠い言語) については言及していない。しかし、タイ・カダイ語族の主要部分をなす言語群について図 1-5 のように分類し、全体を「カム・タイ語派 (Kam-Tai)」と名付けた。これを中国語風に言い換えれば「侗台語族」(トン・タイ語派) (「侗傣語族」という言い方もある) ということになる。カム・タイ語派の下位にカム・スイ諸語 (Kam-Sui) とタイ諸語 (Tai) が立てられる。このタイ諸語の中

には、チワン語をはじめ、ラーオ語やシャム語⁵⁹が含まれる。さらにこのタイ諸語 (Tai) は、「北方タイ諸語 (Northern Tai 以下 NT)、中央タイ諸語 (Central Tai 以下 CT)、南西タイ諸語 (Southwestern Tai 以下 SWT) の3つに分けられる。李は、チワン語の方言群は CT と NT のいずれかに含まれると提案している。

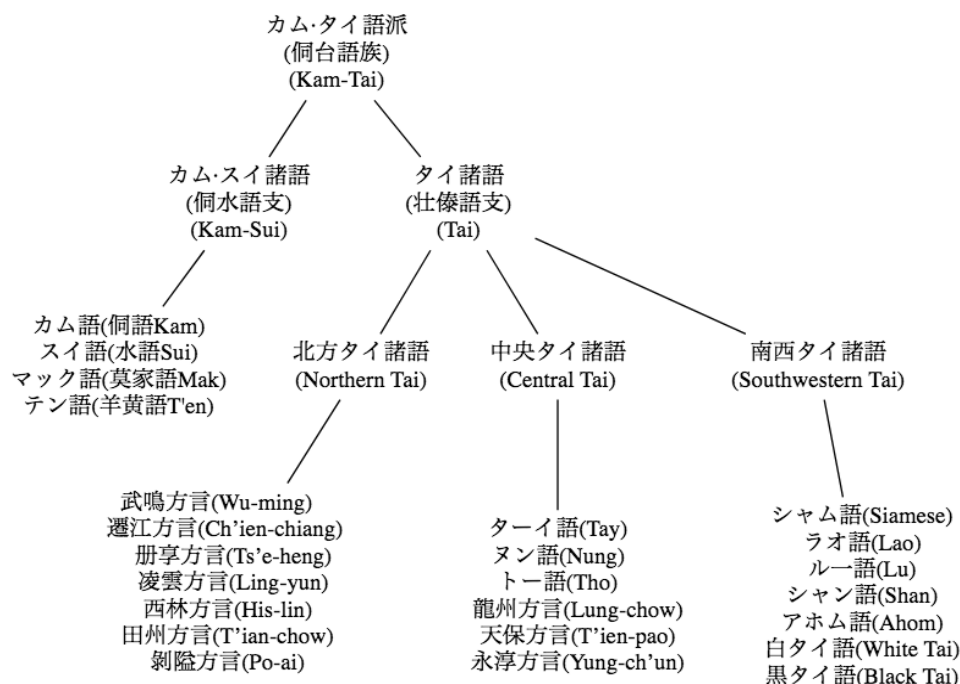


図 1-5 李方桂 (Li 1942, 1956, 1960, 1977) による分類 (〇〇方言はチワン語方言)

Edmondson & Solnit (以下 E&S) (1997) はベネディクトの「カダイ大語派 (Kadai)」という概念を踏襲し、タイ・カダイ語族をカム・タイ語派、リー語派及びその他のグループに分類した。彼らは、カム・スイ語派が二股に分岐した後、それぞれがさらに二股に分岐したことを示し、その下位語支の1つにチワン語、ラーオ語、シャム語等が含まれるタイ諸語を置いた。このタイ諸語を、李方桂と同様に、3つのグループに分類した。この分類において、E&S は、チワン語の南部方言と北方方言がそれぞれ CT と NT とに属することを示した (図 1-6)。

⁵⁹ ラーオ語はラオス人民民主共和国の公用語である。日本ではラオ語、ラーオ語もしくはラオス語の表記が見られるが、本論文ではラーオ語で統一する。ただし、原典に尊重するために一部の系統図に「ラオ語 (Lao)」と表記する。シャム語はタイ王国で公用語とされる言語 (Thai) である。本論文では原典に尊重するために一部の系統図に「タイ語 (Thai)」と表記するが、それ以外は全てシャム語で統一する。何故ならベトナムのタイ族のタイ語 (Tay)、中国のタイ (傣) 族 (Dai) のタイ語及びタイ諸語 (Tai) というような用語に混同することを避けたいからである。

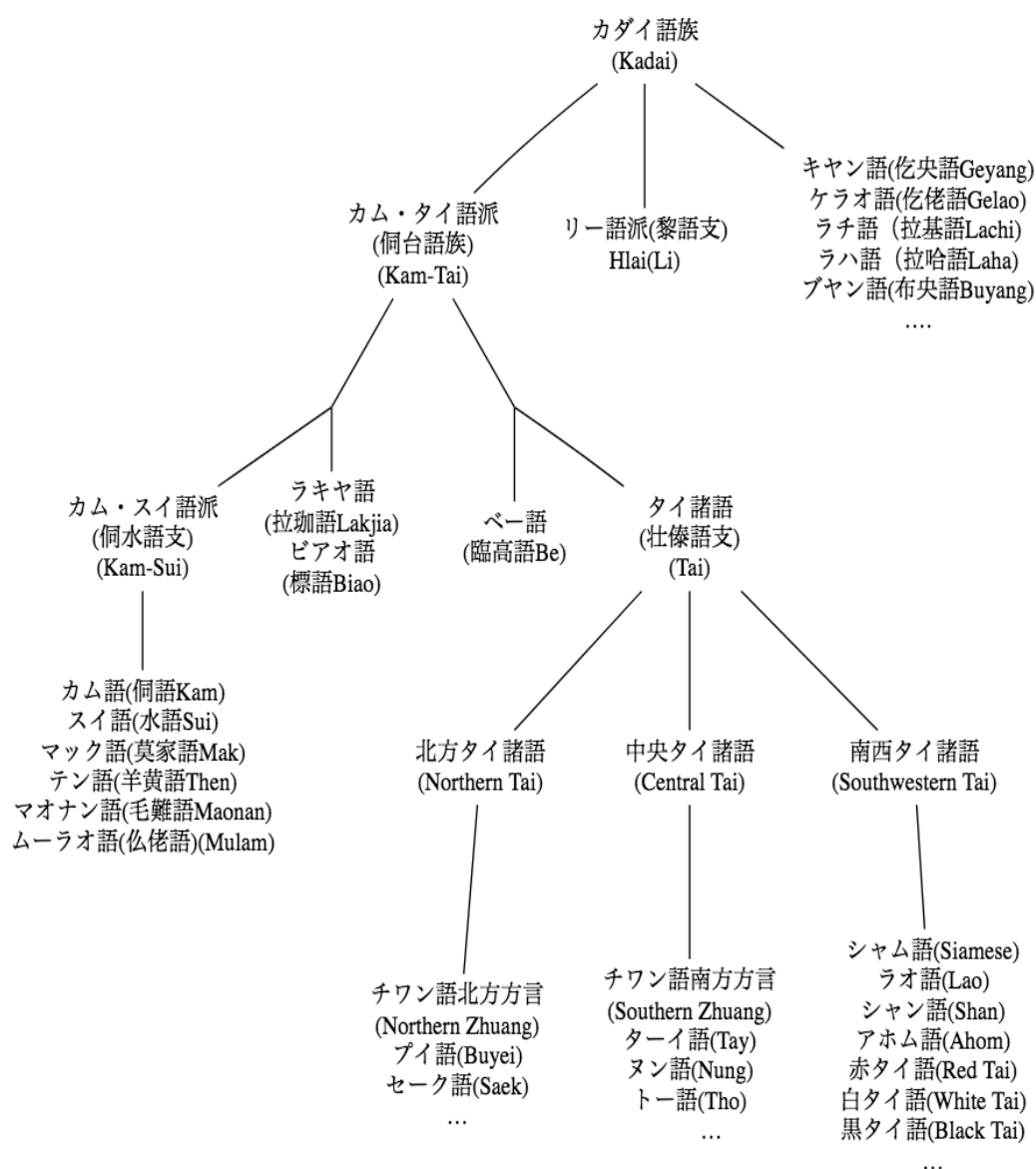


図 1-6 Edmondson & Solnit (1997) による分類 (筆者により簡略化)

また、「タイ・カダイ (Tai-Kadai) 語族」という概念を用いた Diller (2008) は、E&S (1997) と同じように、この語族を 3 つの語派に分類した。チワン語、ラーオ語、シヤム語などが含まれる系統群をみとめそれをタイ諸語と呼んでいる点も同一である。Diller の分類は、チワン語の南部方言と北方方言がそれぞれ CT と NT とに属することを示した点も E & S と同じであるが、E & S が「その他のグループ」にした言語群をクラ語派 (Kra) に纏めた点ならびにカム・タイ語派を 3 つのグループに分けた点において、E&S と異なる。その分類の概略を図 1-7 に示す。

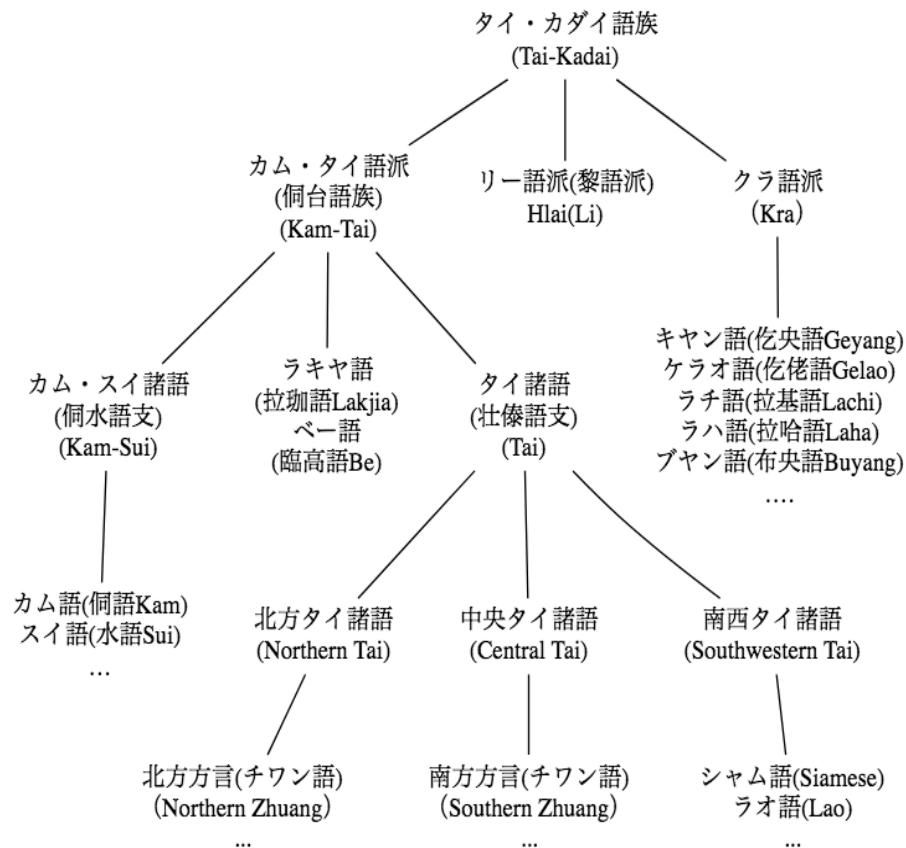
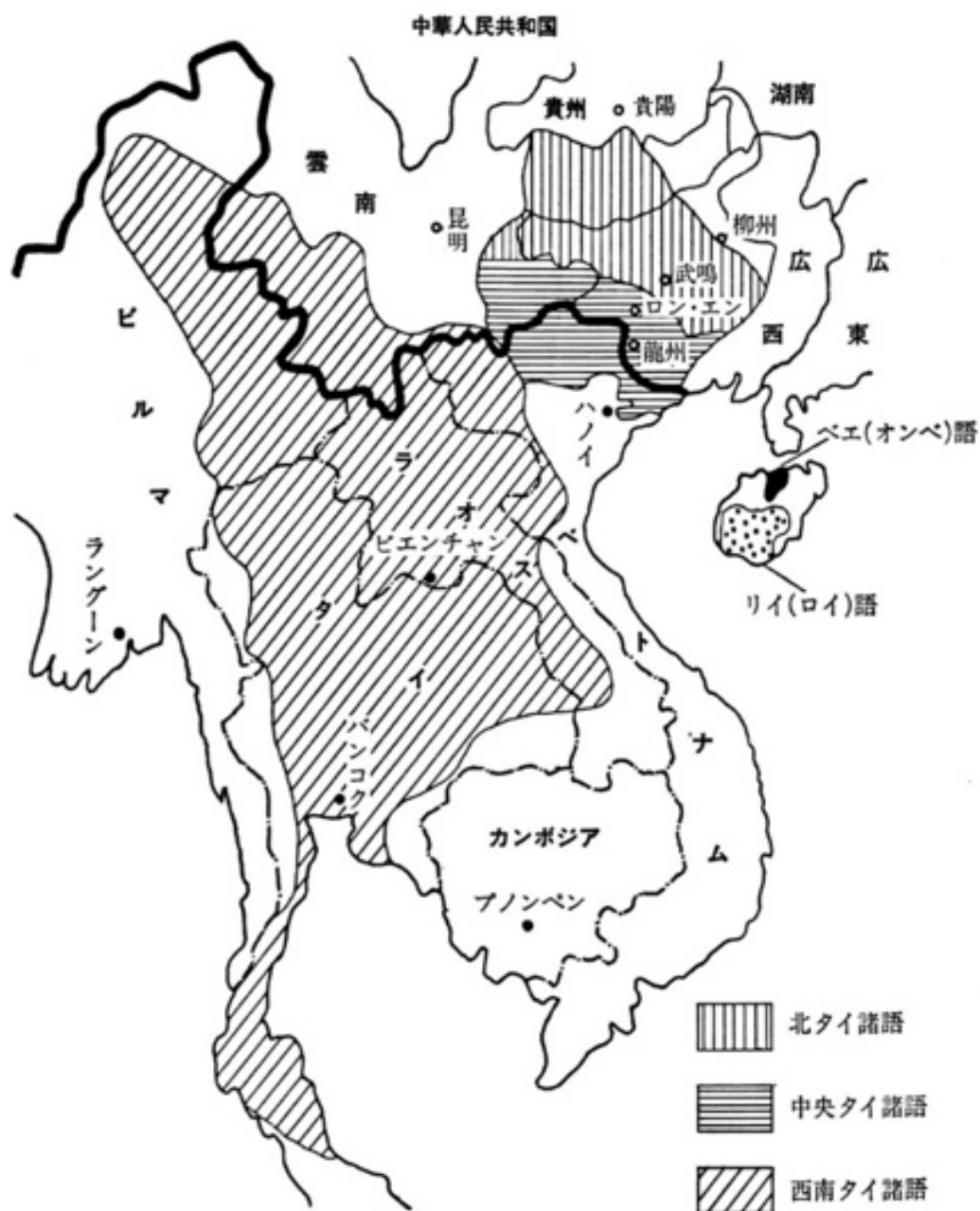


図 (1-7) Diller (2008) による分類 (筆者により簡略化)

上述から分かるように、多くのタイ・カダイ語族の研究者は、チワン語がタイ・カダイ語族の下位にあるタイ諸語に属する言語の1つであると考える。「タイ・カダイ語族」という概念は比較的新しく、その系統分類も研究者によって異なっている。とはいえ、タイ・カダイ諸語をシナ・チベット語族に含める見解は少数派であり、シナ・チベット語族とタイ・カダイ語族という独立した2つの系統を立てる見解が大勢を占めている。また、東南アジア地域に限っていえば、タイ・カダイ語族とタイ諸語 (Tai) はほぼ同義語として使用される場合がある (例えば、橋本萬太郎 1981)。その大まかな分布領域を示すと地図7のとおりである。

1.1.2 タイ諸語 (Tai) の分類

前述のように「タイ諸語」は、タイ・カダイ語族全体を指す用語として用いられることがあるが、本稿における用語法はこれとは異なる。ここで述べるタイ諸語 (Tai) とはタイ・カダイ語族の下位分類の1つであり、それに含まれる主要な言語は、チワン語、ラーオ語、シャム語などである。



地図 7 橋本によるタイ諸語分布図（タイ・カダイ語族）出典：橋本萬太郎（1981:46）

タイ・カダイ語族の分布地域は相当に広く、数多くの言語がこの語族に属することは前節で論じた。1940年代にマック・スイ（Mak-Sui 莫水あるいはカム・スイ Kam-Sui 侗水）語群の存在が明らかになり、1950年代には中国においてチワン語（Zhuang）、プイ語（布依語 Buyei）および黎語（Li）の大規模な調査が実施された。そして50年代終わりのセーク語（Saek）の発見、さらには80年代におけるマオナン語（毛難語 Maonan）、ムーラーオ語（仏

佬語 Mulam) の簡誌⁶⁰の刊行を経て、タイ・カダイ語族に属する諸言語の包括的な分類が可能となった。中でもタイ諸語に関する分類は広く議論されるようになった。

管見の限り、タイ諸語に関する分類法には以下に記す 5 つの主要な案がある。まず、第一の案として李方桂 (Li1959) による分類が挙げられる。李は、タイ諸語を系統分類するために、音対応のみを基準とすることの危険性を指摘し、語彙形式及び語彙の分布による分類を提唱した。李は、タイ諸語に属する 20 の言語を対象に、1800 語の語彙の分布を調べた上で、タイ諸語の下位分類を図 1-5 (前出) のように NT、CT、SWT に大別した。しかし、この分類ではカム・スイ諸語 (侗水 Kam-Sui) やリー語 (黎語 Li)、セーク語 (Saek)、マオナン語 (毛難語 Maonan)、ムーラーオ語 (仏佬語 Mulam) などは比較の対象から外れている。1977 年になって李はタイ諸語研究を *A Handbook of Comparative Tai* (Li 1977) の形でまとめた。同書はタイ諸語に属す 15 種の言語を中心に取り上げ、タイ祖語 (Proto-Tai、以下 PT) の子音と母音、そして声調体系を再建した。タイ諸語を NT、CT、SWT の 3 つに分類する案は保持したうえで、語彙分布の特徴を基準にした比較方法を用いることで、PT には単子音 39 個、/l-,r-/を副次音とする複子音 26 個、短母音 9 個、重母音 24 個、および 10 種類の声調型を立てている。李が提唱したタイ諸語の分類はタイ諸語の比較言語学研究分野において標準的な枠組みとして長い間受け入れられてきた。

二番目の分類法は Haudricourt (1956) によって提案されたものである。Haudricourt は、Dioi (プイ) 語群と Thai 語群⁶¹ (シャム語が含まれる言語群) とを PT から直接分岐する姉妹語群とし、さらに両者とは別に、Thai 語群と近縁関係にある別のグループを立てる仮説を提唱した。いわゆる 2 プラス 1 の分類法 (two plus one taxonomy) である。Gedney (1989) は多くの語彙・語句及び音韻などに基づいて比較研究を行った結果、李方桂により提案された CT と SWT を合わせてタイ諸語の 1 つの下位グループとし、それがタイ諸語のもう 1 つの下位グループである NT と姉妹関係にあることを主張した。しかし、Gedney は CT と SWT の違いをも認め、いくつかの根拠を示して CT と SWT を分割する「2 プラス 1」の分類を提案した。この提案は Haudricourt の仮説を支持するものであり、李の「3 枝」分類とは異なる。しかし、両者ともチワン語北方方言 (NZ) を北方タイ諸語 (NT) に分類し、チワン語の南方方言 (SZ) を中央タイ諸語 (CT) に分類した点は共通している。

第三の分類法は、Liao (2016) によって提案されたものである。Liao (2016) はタイ諸語に属する 42 カ所の方言データを用いて、PT の声調変化の軌跡を探ることにより PT の声調

⁶⁰ 中国の少数民族言語を紹介する研究書である。梁敏編著 (1980) 『毛難語簡誌』民族出版社や王均・鄭国喬編著 (1980) 『仏佬語簡誌』民族出版社。

⁶¹ Haudricourt (1956) の“Dioi” (プイ語) は Li (1977) で言う北方タイ諸語 (Northern Tai)、 “Thai” (タイ語) は Li (1977) でいう南西タイ諸語 (Southwestern Tai) とおおよそ一致している。

体系を再建し、それによってタイ諸語の再分類を試みた。Liao は声調の対応や語彙形式の比較結果を根拠にして、PT が分岐初期において二股、すなわち北方タイ祖語（Northern Proto-Tai、以下 NPT）と南方タイ祖語（Southern Proto-Tai、以下 SPT）に分かれたと推定し、さらにそれぞれの下位が二股に分かれたと推定する。Liao による分類は、一見 Gedney (1989) の「2 プラス 1」分類と大差なく、SZ を CT、NZ を NT に分類する点と同じように見えるが、CT に属する SZ の下位方言とされてきた邕南方言（YongNan、以下 YN）が CT よりも NT と近い関係にあることを明らかにした点において Gedney とは異なる。また、YN 方言が PT から直接分岐するのではなく NPT から分岐したとする点は後述の Pittayawat (2009) の提案とも異なる。Gedney の分類と区別するために、本研究では Liao の分類を「2 プラス 2」の分類と名付ける。

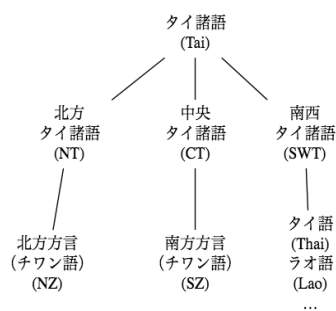


図 1-7 李の「3 枝」分類

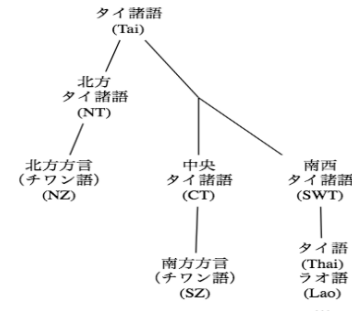


図 1-8 Gedney の「2 プラス 1」分類

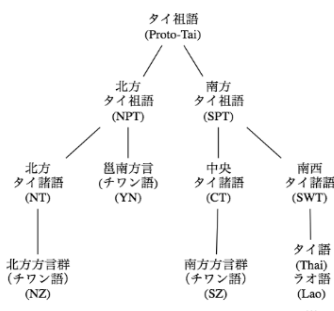


図 1-9 Liao の「2 プラス 2」分類

次に四番目の分類法について述べる。漢語とシャム語（Siamese）の両言語における著しい類似は、両者の深い系統的な繋がりによるものだと考える西田は、漢語とシャム語の比較研究を行った（西田 1960、T.Nishida 1975）。西田は漢語とタイ語の比較研究に基づき、1) 上古漢語の形を比較言語学的に修正できる、2) 共通タイ祖語（Common Proto-Tai、以下 CPT）の形を上古漢語から復元できるという 2 点を、両言語の同系性を証明するための有力な根拠とすることができると主張している。しかし、シャム語と漢語南部方言の類似とともに、両言語の比較研究は未知の部分の依然として多く残しているために結論が出されていない（西田 2000: 186-189）。西田のタイ系言語の系統関係に関する議論はともかくとして、西田が言う「タイ語支」は上記の三種類の分類法で用いられているタイ諸語の枠組みよりも大きいと思われる。したがって、西田による分類の結果も上記の三分類とは大きく異なることとなる。西田は李方桂の NT、CT、SWT という概念を用いず、CPT の下位の各語群にそれぞれ祖形を立て、祖形 1、祖形 2、祖形 3、祖形 4 とタイ国に分布するセーク語（Sack）を基に、共通祖先の CPT を再建できると考える。祖形 1 とされる語群は李方桂の SWT とほぼ一致するが、

チワン語南北方言を分けることなく一つのカテゴリーとし、それとプイ語などとを合わせて祖形2の語群に分類した。一方、西田（2000:149）は、北部チワン語と南部チワン語とが、それぞれ語源を異にする特有の語の形式を持つことで、顕著に対立する場合があると指摘したうえで、ほとんどの場合、南部チワン語の語彙形式は祖形1（シャム語、ラオス語など）に近く、北部チワン語の語彙形式はプイ語と繋がっていると認めている。また西田は、CTやNTの存在に言及せずに、李方桂の分類よりも複雑な分類を行い、タイ諸語の古形式を保存するものと言われている⁶²セーク語（Sack）を、CPTから直接分岐したものとする。西田のタイ語支（タイ諸語）に関する下位分類の構想概図は図1-10に示すとおりである。

第五の分類法として挙げるのは、西田と同様にタイ諸語には共通の祖先があると考えたPittayawat（2009）の案である。Pittayawatは現在の歴史言語学で標準的な方法である分岐分類学的手法でタイ諸語の比較研究を行い、PTの体系の再建を行って、タイ諸語に新たな分類案を提案している。Pittayawatは、PTが初期分裂の段階では4つのグループ（ABCD）に分かれたと推定する。これら4つのグループの中で、Aグループは李方桂が提案するSWTと、Dグループは李方桂が提案するNTとほぼ一致する。しかし、B、Cグループは共通改新が乏しく独自の変化特徴が見られたことを根拠として、Pittayawatは両者をそれぞれPTから直接分裂したと推定する。ここで、BやCグループの下位諸方言には、これまで一般的にSZ（あるいはCT）に属すとされてきた左江方言（Bグループ）や邕南方言（YN）（Cグループ）が含まれる点に注目したい。すなわち、Pittayawatは従来SZ（あるいはCT）と呼ばれてきた方言群は、系統的な分類群としては成立しないと主張していることになる（分岐分類学の用語で言えば、SZ（あるいはCT）とは側系統群であって単系統群ではないということである）。言い換えれば、これまでチワン語南部方言（SZ）として一括して分類されていた方言群は、従来考えられていたよりも多様性に富み、少なくとも系統的には、1つにまとめることは不可能であるとPittayawatは主張している。

Pittayawatは従来SZ（あるいはCT）に属すものとされた左江方言や邕南方言（YN）の一部の系統関係を覆し、タイ諸語ないしチワン語の系統分類に革新的な提案をしたことができる。すなわち、語彙形式の特徴、音韻、声調などを比較することによって、A、Dグループの下位方言に対してより詳細な系統分類を行い、チワン語に関してはSZの大部分をAグループ（SWT）に、残りのSZをBとCに、NZをD（NT）に分類する提案である。Pittayawatの分類は「4枝」分類と言え、これを図1-11に示す。

⁶² 西田（2000:170）によれば、オードリクール（Haudricourt 1963）はセーク語がタイ・カダイ語族の古い形式を保存したと証明したという。

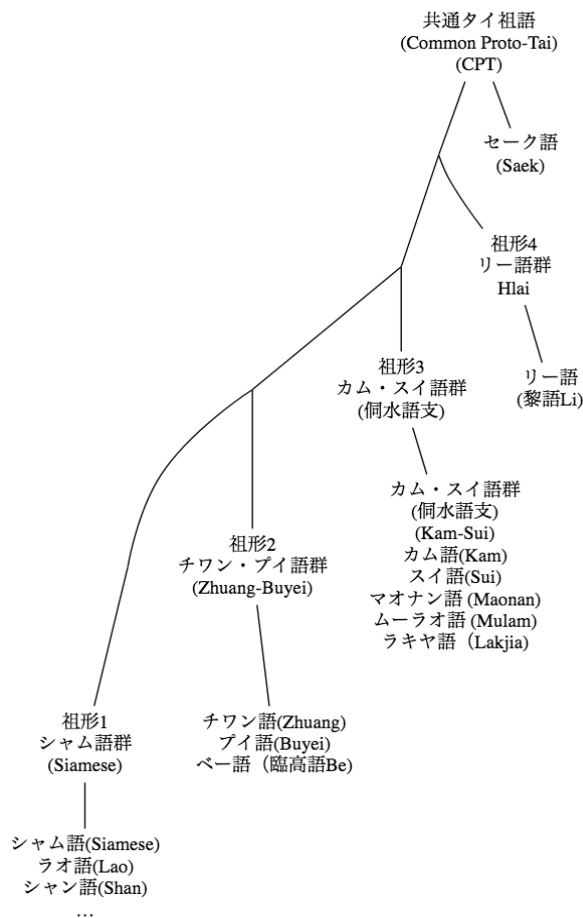


図 1-10 西田（1989）の共通タイ祖語構造

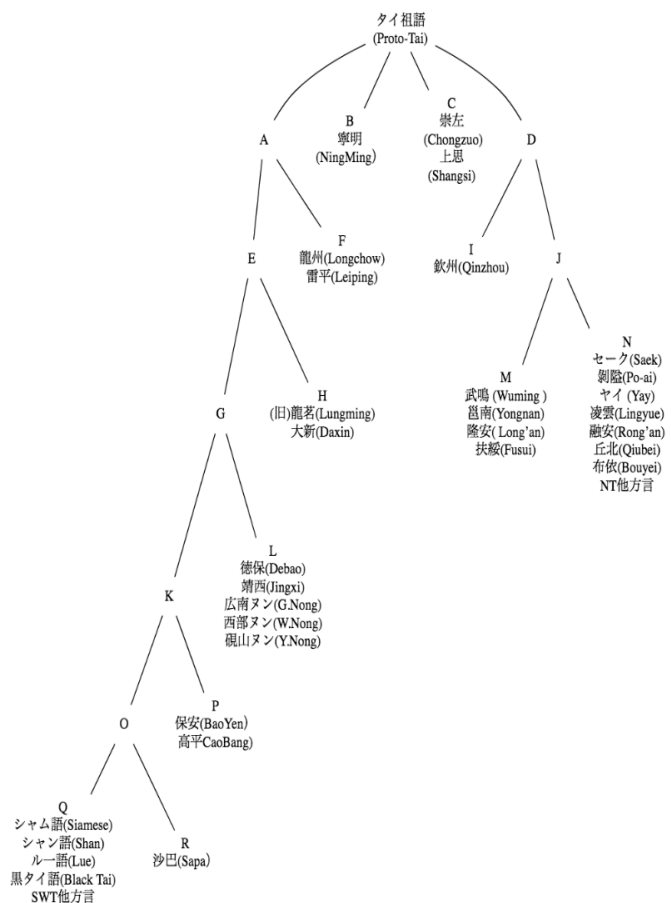


図 1-11 Pittayawat（2009）による分類

1.2 音素の認定や音韻体系の記述の方法

音素を認定する基準として、次の3つ原則を用いる。すなわち、1) 同一の音声環境に現れ、入れ替えると意味が変わる2つの単音は、互いに対立し、それぞれ異なった音素に属するという「最小対の対立」(minimal pair contrast)の原則、2) 音声的類似性を有する2つ(以上)の単音が同一の音声環境(位置)に現れない時、これらの単音は補いあう分布をなし、同一の音素に属する可能性が高いという「相補分布」の原則、3) 2つの単音が同一の音声環境に現れ、互いに入れ替えても、その意味に変化が生じない時、それらの単音は「自由変異」(free variation)の関係にあり、同一の音素に属するという原則である。

以上のような手続きにしたがって単音を分析すると、龍茗方言には45音素が認められる。母音音素の数は12であるが、そのうち長短の対立が認められるのは /i, i:/, /u, u:/, /o, o:/, /a, a:/ の4組である。また、平音節に5つの声調、促音節に5つの声調が認められ、合

計 10 の声調が観察される⁶³。本論文における声調表記は A, B, C, D 等のアルファベットを用いた。声調は音節構造に基づいて分類されており、A, B, C は平音節の声調を、D は促音節の声調を表す。平音節の声調はさらに A1, A2, B1, B2, C に下位分類される。促音節の声調もまた、まず DS と DL に下位分類され（DS は短母音促音節の声調、DL は長母音促音節の声調を表す）、それらがさらに DS1, DS2, DS1' と DL1, DL2 とに下位分類される。

Chao (1930) の 5 段数値表記法⁶⁴によってピッチパターンの表記を行うと、表 1-1 のようになる。なお、調値を表す 5 段階数字は、相対的な音の高さの幅で、絶対的なものではない。声調については次章で詳しく分析を行う。

表 1-1 観察された龍茗方言の声調

音節種類別	名称	調値	用例
平音節	A1	451	/na:/ [na:] A1 「厚い」
	A2	31	/na:/ [na:] A2 「田畑」
	B1	241	/na:/ [na:] B1 「竹の皮」
	B2	33	/na:/ [na:] B2 「母の妹」
	C	213	/na:/ [na:] C 「顔」
促音節	DS1	33	/pak/[pak] DS1 「差し込む」
	DL1	24	/pa:k/[pa:k] DL1 「口」
	DS2	31	/pak/[pak] DS2 「疲れる」
	DL2	33	/pa:k/[pa:k] DL2 「精神病」
	DS1'	45	/pak/[pak] DS1' 「北方」

⁶³ 平音節は開音節（open syllable、母音で終わる音節）すべてと、閉音節（closed syllable、子音で終わる音節）のうち末尾に共鳴音（sonorant）を持つ音節である。促音節は閉音節（closed syllable、子音で終わる音節）のうち末尾に閉鎖音（stop）を持つ音節である。両者の区別、ならびにそれら 2 つの音節タイプと音声学・音韻論の分野で言うところの「開音節と閉音節」との差異については第 2 章の 2.1.1 に参照。

⁶⁴ 5 段数値表記法とは、話者の声域を 5 段階に分割し、最低域を 1、最高域を 5 として、それぞれに 1 から 5 の数値を割り当ててピッチパターンを表記する方法である。2 つ並んだ数値は声調の始端と終端の 2 か所のピッチをそれぞれ表す。3 つの数値によって表記されているものは、両端の数値が始端と終端の高さを、真ん中の数値がピッチ変化の方向が変わる時点の高さを表す。

子音音素 (23)

p p^h t t^h c c^h k k^h ʔ m n ɲ ŋ f θ h w j ɰ ʙ d^h l r

母音音素 (12)

長母音音素 (7) i: u: u: e: ɤ: o: a:

短母音音素 (5) i u ɤ o a

声調素 (10)

平音節 (5) A1 A2 B1 B2 C

促音節 (5) DL1 DL2 DS1 DS2 DS1'

1.3 子音

1.3.1 子音音素体系

龍茗方言の子音音素は全部で 23 ある。これらは調音方法により、閉鎖音、鼻音、摩擦音、半母音、入破音及び流音に分類できる。ここでの閉鎖音には破擦音も含まれる (/c/ と /c^h/ は音声的に破擦音として実現される)。また接近音 (approximant) を半母音 (semivowel) と流音 (liquid) とに分類しているが、流音とは舌尖ないし舌端と歯茎で狭めを形成する接近音と定義し、半母音はそれ以外の接近音として定義する。半母音は音声的に母音とほぼ同一であるが、両者の決定的な差異は分布にある。すなわち半母音は音節の核を占めることができず、核を占める母音の直後あるいは直前にのみ現れる。

子音はまた調音位置により、唇音、歯茎音、硬口蓋音、軟口蓋音、声門音に分類できる。ここで歯茎音として分類した /θ/ と /r/ は、通常、歯間音 (interdental) として音声的に実現される。また、硬口蓋音として分類した /c/ と /c^h/ は、厳密には歯茎硬口蓋音 (alveolo-palatal) として音声的に実現される。

以下の表 1-2 は調音位置と調音方法を基に龍茗方言の子音体系を示したものである。

23 の子音のすべてが頭子音として立ち得る。声門閉鎖音 /ʔ/ を除くすべての閉鎖音に非帯気・帯気の対立がある。阻害音、共鳴音の区別に関わらず、無声・有声の対立は観察されない。入破音 [b, d] と共鳴音 (鼻音、半母音、流音) は音声的に有声であり、閉鎖音と摩擦音は音声的に無声である。

末子音として立ち得るのは /p, t, k, m, n, ŋ, w, j, ɰ/ の 9 子音である。すなわち、1) 硬口蓋音と声門音を除いた非帯気閉鎖音、2) 硬口蓋音を除いた鼻音、3) すべての半母音が末子音に立ち得る。子音結合は存在するが、頭子音に限られる。結合できる子音の数は最大 2 であり、第 2 子音は必ず /w/ あるいは /j/ のいずれかである (例えば、/kw-/、/kj-/)。/w/

あるいは /j/ と結合できる子音には一定の制約（本章の 1.3.3 に詳述）がある。

表 1-2 子音一覧表

調音位置 調音方法		唇音	歯茎音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
閉鎖音	非帯気	p	t	c	k	ʔ
	帯気	p ^h	t ^h	c ^h	k ^h	
鼻音		m	n	ɲ	ŋ	
摩擦音		f	θ			h
半母音		w		j	ɥ	
入破音		ɓ	d̪			
流音	側面的		l			
	中線的		r			

1.3.2 子音音素目録

表 1-3 は龍茗方言の子音音素の目録である。「音声とその環境」には、子音の置かれた音的環境により相補的に現れる異音、すなわち条件異音を示す。//内は音素、[]内は音声である。「[̚]」は無開放の閉鎖音、すなわち、いわゆる内破音を表す。音節末の閉鎖音は必ず内破音であり、内破音は音節末の閉鎖音に限られる。つまり閉鎖音が内破音であるか否かは、環境によって完全に予測可能なので、表記が煩雑になることを防ぐために、表 2 以外の記述ではこの記号を省略する。また、用例欄の A1、B1、C、DL1、DS2 などは声調表記である。同じく用例欄の「」内は語の日本語での意味である。

表 1-3 子音音素目録

調音方法	音素	音声とその環境	用例
閉鎖音	/p/	[p] 音節頭：無声両唇閉鎖音、開放する	/pa:/[pa:] A1 「遮って止める」
		[p̚] 音節末：無声両唇閉鎖音、開放しない	/pap/[pap̚] DS2 「折り畳む」
	/p ^h /	[p ^h]：無声帯気両唇閉鎖音	/p ^h a:/[p ^h a:] A1 「亀」
	/t/	[t] 音節頭：無声歯茎閉鎖音、開放する	/ta:/[ta:] A1 「手で叩く」

		る [ɿ] 音節末：無声両唇閉鎖音、開放しない	/mwat/[mwat̚] DS2 「蟻」
	/tʰ/	[tʰ]：無声帯気歯茎閉鎖音	/tʰaː/[tʰaː] A1 「目」
	/c/	[tɕ]：無声非帯気歯茎硬口蓋破擦音	/caː/[tɕaː] A1 「碎石」
	/cʰ/	[tɕʰ]：無声帯気歯茎硬口蓋破擦音 ※ [ɕ～tɕʰ] の自由変異音 (free variant) を持つ	/cʰaː/[tɕʰaː] A1 「不足する」 /cʰap/[ɕap̚]～[tɕʰap̚] DS1 「差し込む」 /cʰauw/[ɕauw]～[tɕʰauw] C 「一緒に」
	/k/	[k] 音節頭：無声軟口蓋閉鎖音、開放する [k̚] 音節末：無声軟口蓋閉鎖音、開放しない	/kaː/[kaː] A1 「カラス」 /lak/[lak̚] DS2 「盗む」
	/kʰ/	[kʰ]：無声帯気軟口蓋閉鎖音	/kʰaː/[kʰaː] A1 「足」
	/ʔ/	[ʔ]：無声声門閉鎖音	/ʔaː/[ʔaː] A2 「祖父の妹」
鼻音	/m/	[m]：有声両唇鼻音	/maː/[maː] A2 「来る」 /d̪am/[d̪am] A2 「黒い」
	/n/	[n]：有声歯茎鼻音	/naː/[naː] A2 「水田、稲田」 /fan/[fan] A2 「種」
	/ɲ/	[ɲ] 音節頭：有声硬口蓋鼻音	/ɲaː/[ɲaː] A2 「象の歯」
	/ŋ/	[ŋ] 音節末：有声軟口蓋鼻音	/ŋaː/[ŋaː] A2 「胡麻」 /d̪aŋ/[d̪aŋ] A2 「鼻」
摩擦音	/f/	[f]：無声唇歯摩擦音、摩擦は余り強くない	/faː/[faː] C 「空、天気」
	/θ/	[θ]：無声歯間摩擦音	/θaː/[θaː] C 「穴が大きめな竹の籠」
	/h/	[h]：無声声門摩擦音	/haː/[haː] C 「五」
接近音	/w/	[v] 音節頭：有声唇歯摩擦音、摩擦がやや弱い [w] 子音結合の第2要素 [w] 音節末：有声両唇接近音	/waː/[vaː] A2 「昨日」 /d̪waj/[d̪waj] A2 「はしご」 /ɓaw/[ɓaw] A2 「軽い」

	/j/	[j]～[j] 音節頭かつ母音の前：有声硬口蓋摩擦音あるいは接近音、摩擦がないか、あっても非常に弱い [j] 子音結合の第2要素：有声硬口蓋接近音 [j] 音節末：有声硬口蓋接近音 [j] 音節頭かつ /w/ の前：有声硬口蓋摩擦音	/ja:/[ja:]～[ja:] A2 「葉」 /pjaw/[pjaw] A2 「晩ご飯」 /faj/[faj] A2 「火」 /jwa:n/[jwa:n] A2 「びっくりする」
	/ɯ/	[ɯ] 音節頭：軟口蓋有声摩擦音 [ɯ] 音節末	/ɯa:/[ɯa:] A2 「チガヤ」 /ɯau/[ɯau] A2 「葉っぱ」
入破音	/b/	[b] 音節頭：両唇入破音	/ba:/[ba:] B1 「肩」
	/d/	[d] 音節頭：歯茎入破音	/da:/[da:] B1 「叱る」
流音	/l/	[l]：有声歯茎側面音	/la:w/[la:w] A1 「恐れる」
	/r/	[ɾ] 音節頭かつ母音の前：有声歯間摩擦音、摩擦は余り強くない [ɾ] 音節頭かつ/w/の前：有声歯茎接近音	/ra:w/[ɾa:w] A1 「(容器で物を) 量る」 /rwa:/[ɾwa:] B2 「(尿などが) 漏れる」

次に子音の特徴及び子音音素について詳述する。

(1) 語末の無声閉鎖音 /p, t, k/ は、一般に調音点での閉鎖により呼気の流れを止めるのみの発音で、閉鎖後の破裂を伴わない。

(2) 母音始まりの音節は存在しない。一見母音始まりに見える音節であっても音節頭に必ず声門閉鎖音がある（例えば /ʔa:/[ʔa:] A2 「祖父の妹」）。本論文では音素として声門閉鎖音 /ʔ/ を立てるが、その根拠は以下の最小対の存在にある。

/ʔjat/[ʔjat] DS1 「一」 vs. /jat/[jat] DS1 「飛び跳ねる」

(3) /ch/ は帯気歯茎硬口蓋破擦音の [tʰ] で実現することもあるれば、歯茎軟口蓋摩擦音 [ç] で実現することもある。すなわち自由変異 (free variation) が認められる。本研究の話者協力者である筆者の父（1962 生）は常に [tʰ] と発音するが、筆者及び話者協力者である筆

者の祖母（1942 生）は [ɛ~tɕʰ] のゆれが見られる。例えば、/tɕʰap/ DS1 「差し込む」の頭子音は破擦音としても摩擦音としても現れ得る。これらの音は同じ音声的環境に現れてお互いに交換可能であり（[ɛap] DS1 と言っても[tɕʰap] DS1 と言ってもよい）、この2音の違いは意味の区別には関係しない。

一方、以下に示すように、[tɕ] は、[ɛ] あるいは [tɕʰ] と対立する。したがって非帯気・帯気に対立する音素 /c/ と /cʰ/ を立てることができる。

/cam/ [team] A2 「自白を強要する」 vs. /cʰam/[cam]~[tɕʰam] A2 「沈没する」

/cat/[teat] DS1 「七」 vs. /cʰat/[eat]~[tɕʰat] DS1 「塗料」

/cik/[teik] DS1 「お悔やみに贈る贈り物」 vs. /cʰik/[eik]~[tɕʰik] DS1 「ものさし」

(4) 歯茎硬口蓋の鼻音 [ɲ] は、鼻音 /n/ と対立するだけでなく、子音結合の /ɲj/ とも対立する。

/na:p/[na:p] DL2 「納まる」 vs. /ɲja:p/[ɲja:p] DL2 「縫う」 vs. /ja:p/[ja:p] DL2 「縮む」

(5) 半母音の /w/, /j/, /ɥ/ はいずれも頭子音や末子音として現れる。しかし、/w/, /j/ の2音素のみが子音結合の第2要素として音節中にも現れるが、/ɥ/ は音節頭と音節末にしか現れない。

(6) /l/ と /r/ を流音 (liquid) と分析する。前述のように本論文では、流音を舌尖ないし舌端と歯茎とで狭めを形成する接近音と定義する。流音 /l/ では、舌端と歯茎によって、声道の中央に完全な閉鎖が形成されるが、調音位置の側面には閉鎖が形成されず、気流の通路が確保される。すなわち側面的な調音がなされる。したがって側面流音と解釈する。一方、流音 /r/ は舌端あるいは舌尖と歯茎あるいは歯とで狭めが形成されるが、声道の中央に気流の通路が確保される。すなわち中線的な調音がなされる。したがって中線流音と解釈する。

流音 /r/ は、以下の表に示すように、有声歯茎接近音 [ɹ] と有声歯間摩擦音 [ð] という条件異音 (conditional allophone) を持つ。表 1-4 は [ɹ] と [ð] とが相補分布することを表している。この事実に基づいて、歯茎接近音 [ɹ] 及び有声摩擦音 [ð] は、音素 /r/ に属する条件異音であると解釈する。ところで、龍茗方言の音韻体系では有声/無声の対立が存在しない。もし、[ɹ] と [ð] とを異音に持つ音素を有声摩擦音 /ð/ と見なすのならば、すでに音声的に無声で実現される音素 /θ/ を認めている以上、問題の2組の音素にのみ有声/無

声の対立を認めなければならないことになる。これは体系として経済的でない。一方、この音素を摩擦音としてではなく流音 /r/ として解釈すれば、体系の一貫性を保つことができる。

表 1-4 [ð]と[r]の条件異音

母音	[ð]	[r]
/i:/	/ri:/[ði:] A2 「(水を) かける」	
/u:/	/ru:/[ðu:] B2 「緩める」	
/u:/	/ru:/[ðu:] A1 「笑う」	
/e:/	/re:/[ðe:] A1 「魚網」	/rwe:/[rwe:] A1 「皮むき」
/o:/	/ro:/[ðo:] A1 「水虫」	
/a:/	/ra:/[ða:] C 「あざが付く」	/rwa:n/[rwa:n] A2 「四つん這いに這う」
/i/	/rip/[ðip] DS2 「募る」	
/u/	/ruk/[ðok] DS1 「繋がりになった物を数える助数詞」	
/ɤ/	/rɤw/[ðɤw] C 「知る、できる」	
/o/	/rok/[ðok] DS2 「すりばち」	
/a/	/ram/[ðam] A2 「もみがら」	

1.3.3 子音結合

龍茗方言の子音結合に見られる子音結合の第2要素は /w/ と /j/ の2音素のみで、シャム語のように /l/ や /r/ が第2要素に立つことはない。一方、子音結合の第1要素となり得る子音の種類は、龍茗方言では20であるが、シャム語は5（破裂音の /tʰ/ を除く /p, pʰ, t, k, kʰ/ ）であり、結合における制約はシャム語と比較して龍茗方言の方が緩やかである。

表 1-5 に龍茗方言における子音結合の体系を示す。/θj/、/hj/ のように漢語の借用語にのみ見られるもの、/ɲw/、/jw/ のようにごく少数の語にしか見出せないものなどがある。

表 1-5 子音結合

調音方法	頭子音音素	/-w-/	/-j-/
閉鎖音	/p/		/pj-/
	/p ^h /		/p ^h j-/
	/t/	/tw-/	/tj-/
	/t ^h /		/t ^h j-/
	/c/	/cw-/	
	/c ^h /	/c ^h w-/	
	/k/	/kw-/	/kj-/
	/k ^h /	/k ^h w-/	/k ^h j-/
	/ʔ/	/ʔw-/	/ʔj-/
鼻音	/m/	/mw-/	/mj-/
	/n/	/nw-/	/nj-/
	/ɲ/	/ɲw/	
摩擦音	/f/		
	/θ/	/θw-/	/θj-/
	/h/	/hw-/	/hj-/
接近音	/w/		
	/j/	/jw-/	
	/ɥ/		
入破音	/ɓ-/	/ɓw-/	/ɓj-/
	/ɗ-/	/ɗw-/	/ɗj-/
流音	/l/	/lw-/	/lj-/
	/r/	/rw-/	
合計	20	17	14

子音結合の第 1 要素になることができない子音は、/f/、/w/、/ɥ/ の 3 つである。子音結合の第 1 要素となる得る子音の種類は 20 あり、そのうち 17 は /w/ と結合し、14 は /j/ と結合する。それらの語例を以下の表 1-6 に示す。

表 1-6 子音結合の語例

調音 方法	頭子音 音素	/-w-/	/-j-/
閉鎖音	/p/		/pjuk/[pjok] DS1 「明日」 /pju:j/[pju:j] B1 「放牧する」 /pjo:ŋ/[pjo:ŋ] B2 「半分」 /pja:k/[pja:k] DL1 「移植する」
	/pʰ/		/pʰju:k/[pʰju:k] DL1 「サトイモ」 /pʰjɯm/[pʰjɯm] A1 「髪の毛」 /pʰjo:k/[pʰjo:k] DL1 「竹を薄く裂いたもの」 /pʰja:k/[pʰja:k] DL1 「日に当てる」
	/t/	/twat/[twat] DS1 「屁」	/tjat/[tjat] DS1 「切る」
	/tʰ/		/tʰjap/[tʰjap] DS1 「雹、霰」
	/c/	/cwɔj/[tewɔj] C 「指す」 /cwa:n/[tewa:n] B1 「腐った木に寄生する虫」	
	/cʰ/	/cʰwa:ŋ/[tɕʰwa:ŋ] B1 「窓」 /cʰwɔj/[tɕʰwɔj] C 「似る」	
	/k/	/kwi:n/[kwi:n] A2 「握り拳」 /kwe:n/[kʷøen] B1 「慣れている」 /kwɔt/[kwɔt] DS1 「シダ植物類」 /kwaj/[kwaj] A1 「遠い」	/kju:/[kju:] A1 「塩」 /kju:j/[kju:j] C 「バナナ」 /kjo:ŋ/[kjo:ŋ] A1 太鼓 /kjaɯ/[kjaɯ] C 「近い」
	/kʰ/	/kʰwi:n/[kʰwi:n] A1 「輪、丸、円」 /kʰwe:n/[kʰwøen] A1 「吊るす」 /kʰwɯn/[kʰwɯn] A1 「毛」 /kʰwan/[kʰwan] A1 「靈魂」 /kʰwa:/[kʰwa:] B1 「ズボン」	/kʰja:/[kʰja:] B1 「脅迫する」
	/ʔ/	/ʔwat/[ʔwat] DS1 「栓をする、塞ぐ」	/ʔjat/[ʔjat] DS1 「一」
	/m/	/mwat/[mwat] DS2 「蟻」	/mja:p/[mja:p] DL2 「欺く」
	/n/	/nwa:/[nwa:] B2 「イチジク」	/njat/[njat] DS1 「愛する」

鼻音	/ɲ/	/ɲwa:n/[ɲwa:n] B2 「〈詩などを〉吟唱する」	
	/ŋ/	/ŋwa:ŋ/[ŋwa:ŋ] B2 「馬鹿者」	
摩擦音	/f/		
	/θ/	/θwa:j/[θwa:j] A1 「遅れる」	/θja:w/[θja:w] A1 「小さい ; “小学”の“小”の音読み」
	/h/	/hwa:t/[hwa:t] DS1 「怯む」	/hjo:/[hjo:] A2 「学ぶ ; “小学”の“学”の音読み」
接近音	/w/		
	/j/	/jwan/[jwa:n] A2 「びっくりする」	
	/ɥ/		
入破音	/b-/	/bwa:t/[bwa:t] DS1 「漬物をする」	/bja:t/[bja:t] DS1 「釣り針」
	/d-/	/dwa:j/[dwa:j] A2 「はしご」	/dja:t/[dja:t] DS1 「濡れる」
流音	/l/	/lwa:j/[lwa:j] A1 「流れる」	/lja:p/[lja:p] DS2 「爪」
	/r/	/rwa:n/[rwa:n] A2 「四つ這いに這う」	

表 1-6 から分かるように、子音結合の第 2 要素である /w/ は、非円唇母音の /i:/, /e:/, /ɛ:/, /a, a:/ とは結合できるが、円唇母音とは結合できないという制約がある。

/k^hwi:n/[k^hwi:n] A1 「輪、丸、円」

/k^hwe:n/[k^hwøen] A1 「吊るす」 /k^hwɤn/[k^hwɤn] A1 「毛」

/k^hwan/[k^hwan] A1 「霊魂」 /k^hwa:/[k^hwa:] B1 「ズボン」

子音結合の第 2 要素である /j/ は後舌母音の /u, u:/, /ɯ/, /ɤ/, /o, o:/, /a, a:/ と結合できるが、前舌母音とは結合できないという制約がある。

/pjuk/[pjok] DS1 「明日、将来」 /pju:j/[pju:j] B1 「放牧する」

/p^hju:k/[p^hju:k] DL1 「サトイモ」 /p^hjɤm/[p^hjɤm] A1 「髪の毛」

/pjok/[pjok] DS1 「呼び醒ます」 /p^hjo:k/[p^hjo:k] DL1 「竹を薄く裂いた物」

/mwat/[mwat] DS2 「蟻」 /p^hja:k/[p^hja:k] DL1 「日に当てる」

1.3.4 末子音

すでに述べたように龍茗方言に見られる末子音は /p, t, k, m, n, ŋ, w, j, ɰ/ の9子音である。その内、無声閉鎖音 /p, t, k/ はどれも閉鎖の開放を伴わない内破音であるが、声調は促音節の声調（5種類）のいずれかで実現する。末子音として現れる /w, j, ɰ/ は音声学的人格から言えば母音の [u]、[i]、[ɯ] である。

以下の表 1-7 に末子音の最小対の例を示す。

表 1-7 末子音の最小対の例

調音方法	末唇子音	用例
閉鎖音	/p/	/θa:p/[θa:p] DL1 「ゴキブリ」
	/t/	/θa:t/[θa:t] DL1 「ブラシ」
	/k/	/θa:k/[θa:k] DL1 「すりこぎ」
鼻音	/m/	/θa:m/[θa:m] A1 「三」
	/n/	/θa:n/[θa:n] A1 「(籠などを) 編む」
	/ŋ/	/θa:ŋ/[θa:ŋ] A1 「棺桶」
接近音	/w/	/θa:w/[θa:w] A1 「未婚女性」
	/j/	/θa:j/[θa:j] A1 「紐」
	/ɰ/	/θa:ɰ/[θa:ɰ] A1 「澄みきったさま」

以上の分析をまとめる。龍茗方言の子音は全部で 23 あり、音節初頭には 23 の子音すべてが、そして音節末尾には 9 つが現れる。子音結合の第 1 要素となる得る子音は (/f/、/w/、/ɰ/ を除く) 20 あり、子音結合の組み合わせは 31 ある。子音結合は音節初頭にしか現れない。龍茗方言の子音体系の特徴は、1) 音節頭に立つ頭子音と音節末に立つ末子音とではその体系と音声学的人格が異なる、2) 頭子音については、有声の入破音が 2 つ (/b/、/d/) あり、3) 帯気音と非帯気音の対立が /p/ vs. /pʰ/、/t/ vs. /tʰ/、/c/ vs. /cʰ/、/k/ vs. /kʰ/ の 4 組に見られる。4) 末子音については、その種類が、無声閉鎖音 /p, t, k/、鼻音 /m, n, ŋ/、接近音 /w, j, ɰ/ の 9 つに限られており、そのうち無声閉鎖音は子音の開放を伴わない内破音である。

1.4 母音

1.4.1 母音音素体系

龍茗方言の母音音素体系には7つの長母音音素の /i:/, /ɯ:/, /u:/, /e:/, /ɤ:/, /o:/, /a:/ と5つの短母音音素の /i/, /u/, /ɤ/, /o/, /a/ がある。/ɤ:/ を除いたすべての長母音は開音節 (open syllable、母音で終わる音節) 及び閉音節 (closed syllable、子音で終わる音節) いずれにも現れ得る。一方、短母音は閉音節にのみ実現可能である。したがって、母音の長短の対立は閉音節にのみ見られ、開音節にはその対立はない。長短で対立する母音音素は /i,i:/, /u,u:/, /o,o:/, /a,a:/ である。一方、/ɤ:/ は開音節にのみ現れ、/ɤ/ は閉音節にのみ現れる。すなわち両者は相補分布 (complementary distribution) を成している。したがって両者を単一の音素の条件異音とみなすことが可能であるが、本論文ではその立場はとらず、それぞれ独立の音素、/ɤ:/, /ɤ/ と解釈する。その理由は、開音節と閉音節という条件の違いで相補分布し、かつ前者において長母音で、後者において短母音のみで実現されるような母音音素が、他に存在していないことにある。/ɯ:/ と /e:/ は長短の対立が見られず、常に長く発音される。

これらの単母音に加えて、二重母音や三重母音と解釈可能な母音が存在するが、本論文では二重母音や三重母音は認めない立場をとる。その代りに、問題の母音は単母音と子音の連鎖であると解釈する。例えば音声的に(1) [i:u, e:u, ɤu, au, a:u], (2) [ui, ɤi, o:i, ai, a:i] (3) [ɤu, au, a:u] のように実現される母音があるが、これらは単母音と尾子音の連鎖であり、その尾子音はそれぞれ、/w/, /j/, /ɥ/ と解釈する。同様に、音声的に(4) [ue:, uɤ, ua, ua:]、(5) [iu, iu, iɤ, io, ia] のように実現される母音があるが、これらは子音結合の第2子音と単母音の連鎖であり、その頭母音は /w/ と /j/ と解釈する。さらに、音声的に(6) [uɤi, uai, iu:i, iau] のように実現される母音が存在するが、これらは子音結合の第2子音(/j/ あるいは /w/)・短母音・尾子音(/j/ あるいは /w/)の連鎖と解釈する。

舌の前後位置によって龍茗方言の母音を分類すると次のようになる。

前舌母音 : /i:/ /i/ /e:/

後舌母音 : /ɯ:/ /u:/ /u/ /ɤ:/ /ɤ/ /o:/ /o/ /a:/ /a/

母音のほとんどは後舌母音である。短母音 /i/ は長母音 /i:/ よりやや広くて英語の it の [ɪ] に近く、舌の高さは長母音 /i:/ より低い。短母音 /ɤ/ は長母音 /ɤ:/ よりも舌の高さが低い。短母音 /u/ は長母音 /u:/ よりやや広くて英語の put の [ʊ] に近く、舌根が咽頭方向へ引かれる。短母音 /o/ は [ɔ] に近く、舌は長母音 /o:/ よりも低い位置にある。また、低母音である短母音 /a/ は長母音 /a:/ より若干後舌よりである。

以上述べた舌の各位置に加えて唇の形を基準に龍茗方言の母音をまとめると表 1-8 のようになる。この表の各欄は口腔の縦・横両面に対応している。

表 1-8 母音体系

	前舌	後舌	
	非円唇	非円唇	円唇
高	/i:/	/u:/	/u:/
	/i/		/u/
中	/e:/	/ɤ:/	/o:/
		/ɤ/	/o/
低		/a:/	
		/a/	

1.4.2 母音音素目録

前述したように、龍茗方言の母音音素には長短の対立があるが、その対立は閉音節のみに見られる（開音節では長母音しか現れない）。長短の対立は、/i, i:/, /u, u:/, /o, o:/, /a, a:/のみに認められる。一方、/u:/ と /e:/ は対立する短母音が存在しない。また、本論文が独立の音素として認めた /ɤ:/ と /ɤ/ は、前者は開音節のみに現れ、後者は閉音節のみに現れる（相補分布する）ために、厳密には長短の対立と見なすことはできない。以上のように、龍茗方言の母音における長短の対立には非対称性が認められる。

1.4.2.1 母音音素とその認定

母音によって対立する最小対として、次の語群が挙げられる。

/θi:/[θi:] A2 「成長が停滞する（単独で使わず ki:t DL1 θi: A2 と言う）」

/θu:/[θu:] A2 「風俗習慣（単独で使わず fɔŋ B1 θu: A2 と言う）」

/θu:/[θu:] A2 「単語」

/θe:/[θe:] A2 「雪」

/θɤ:/[θɤ:] A2 「色」

/θo:/[θo:] A2 「プラスチック（単独で使わず θo: A2 ljaw C と言う）」

/θa:/[θa:] A2 「浮き台、竹製の筏」

または、

/mi:/[mi:] A2 「夢中に」

/mu:/[mu:] A2 「(町に) 行く」

/mu:/[mu:] A2 「畑作業(仕事)に専念しすぎる」

/me:/[me:] A2 「竹の一種」

/mɛ:/[mɛ:] A2 「麦」

/mo:/[mo:] A2 「牛」

/ma:/[ma:] A2 「来る」

以上の最小対から、7つの長母音音素 /i:, u:, ɯ:, e:, ɛ:, o:, a:/ を取り出すことができる。

一方、

/kʰim/[kʰim] A1 「針」, /kʰam/[kʰam] A1 「曇る」, /kʰɯm/[kʰɯm] A1 「苦い」

/θuk/[θuk] DS1 「熟する」, /θik/[θik] DS1 「錫」

/cik/[tɛik] DS2 「まっすぐな、一直線の」, /cok/[tɛok] DS2 「痒い」

/cak/[tɛak] DS1 「割る」, /cuk/[tɛok] DS1 「粥」, /cok/[tɛok] DS1 「くすぐる」

/mɯk/[mɯk] DS2 「墨」, /muk/[muk] DS2 「(穀物の) 粉末」

/tɯk/[tɯk] DS1 「去勢する」, /tok/[tɔk] DS1 「落ちる」

の例から5つの短母音音素 /i, u, o, ɯ, a/ が認められる。

さらに、

/kim/[kim] A2 「ペンチ」, /ki:m/[ki:m] A2 「アンクレット」

/fuŋ/[fɔŋ] A2 「屋根を覆う」, /fu:ŋ/[fu:ŋ] A2 「部屋」

/koŋ/[kɔŋ] A1 「仕事、農作業」, /ko:ŋ/[ko:ŋ] A1 「小さい塊(糞便など)を数える助数詞」

/dɔŋ/[dɔŋ] A2 「鼻」, /dɔ:ŋ/[dɔ:ŋ] A2 「体、身体」

から音素 /i, i:/, /u, u:/, /o, o:/, /a, a:/ の対立が認められる。

1.4.2.2 母音音素目録

表 1-9 は龍茗方言の母音音素の目録をまとめたものである。「音声とその環境」には、母音の置かれた音的環境により相補的に現れる代表的な異音を示す。//内は音素、[]内は音声である。また、用例欄の A1、B1、C、DL1、DS1 などは声調表記で、同じく用例欄の「」内は龍茗方言における日本語の意味である。

表 1-9 母音音素目録

母音音素	音声とその環境	用例
/i/	[i] 短母音：非円唇前舌狭母音	/dip/[dip] DS1 「生の、生煮えの」
/i:/	[i:] 長母音：非円唇前舌狭母音	/di:p/[di:p] DL 1 「可愛いがる」
/u:/	[u:] 長母音：非円唇後舌狭母音	/tʰu:ŋ/[tʰu:ŋ] A1 「砂糖」
/u/	[o] 短母音：円唇後舌狭母音、軟口蓋音 /k, ŋ/ の前にしか現れない	/muk/[mok] DS1 「鼻水」
/u:/	[u:] 長母音：円唇後舌狭母音	/mu:k/[mu:k] DL1 「米のとぎ汁」
/e:/	[e:] 長母音：非円唇前舌半狭母音 ※ただし、/w/ の後ろでは [øe] で実現する。 [e:] と [øe] の相補分布が認められる	/kʰe:n/[kʰe:n] A1 「袖」 /ke:n/[ke:n] B1 「硬い」 /kʰwe:n/[kʰwøen] A1 「吊す」 /kwe:n/[kʷøen] B1 「慣れている」
/ɤ/	[ɤ] 短母音：中舌半狭母音、長い [ɤ:] よりやや広い	/ʔɤk/[ʔɤk] DS1 「胸」
/ɤ:/	[ɤ:] 長母音：中舌半狭母音、借用語、語気助詞、オノマトペなどにしか現れない ※[ɤ] と [ɤ:] は相補分布している	/θɤ:/[θɤ:] A2 「色」
/o/	[ɔ] 短母音：円唇後舌半広母音、軟口蓋音 /k, ŋ/ の前にしか現れない	/lok/[lok] DS1 「引き抜く」
/o:/	[o:] 長母音：円唇後舌半狭母音	/lo:k/[lo:k] DL1 「剥ぐ」
/a/	[a] 円唇中舌広母音、[a:] よりやや後ろよりである	/θap/[θap] DS1 「渋い」
/a:/	[a:] 円唇中舌広母音	/θa:p/[θa:p] DL1 「ゴキブリ」

以上からも分かるように龍茗方言の母音音素は 12 あり、音韻論的に /i, i:/, /u, u:/, /o, o:/, /a, a:/ の長短が区別される。音声的には、二重母音や三重母音と見なし得る母音が存在するが、本研究はこれらを独立の音素とは認めず、単母音と子音の連鎖と解釈する。

1.5 音節構造

龍茗方言は単音節声調言語である。すなわち、基本的な語のほとんどが 1 音節から成

り、その音節に声調がかぶさる⁶⁵。声調とは、単語の意味の区別に関与する、音節内部の音の高低の変化のことである。龍茗方言のすべての音節は、子音、母音、声調の3つから成り立っている。具体的には次の3要素に分かれる。

1) 頭子音: 音節頭の子音

2) 韻 (rhyme): 音節主核母音と任意の音節末子音からなる。末子音の有無は母音の長さに関係している。母音が長母音の時は末子音が任意であるが、短母音の時は常に末子音を要求する。

3) 声調: 音節にかぶさる超分節要素

龍茗方言の音節の構造を簡略に表すと、次のようになる。

音節 = 子音 1 (+子音 2) + 母音 + (子音 3) / 声調

音節初頭の子音 1 を頭子音、音節末尾の子音 3 を末子音と呼ぶ。以下では子音を C、母音を V、声調を T、子音結合を CC、長母音を VV で表す。龍茗方言の音節の種類には次の 6 種がある。

- | | | |
|-------------|---------------------|---------|
| (1) CVV/T | /tʰu:/ [tʰu:] A1 | 「頭」 |
| (2) CCVV/T | /pja:/ [pja:] A1 | 「魚」 |
| (3) CVC/T | /laŋ/ [laŋ] A1 | 「背中」 |
| (4) CVVC/T | /pa:k/ [pa:k] DL1 | 「口」 |
| (5) CCVC/T | /pʰjak/ [pʰjak] DS1 | 「野菜、料理」 |
| (6) CCVVC/T | /pjo:k/ [pjo:k] DL1 | 「花」 |

このように、龍茗方言に観察される 6 つの音節構造はどのような共通点があるか、単独発話と後続音節あるいは前接音節がくる環境ではどのような特徴が観察されるのかについては第 3 章で詳しく考察を行う。

⁶⁵ しかし、龍茗方言の単純語 (simple word) は必ずしも単音節 (monosyllable) ではないことに注意してほしい。龍茗方言では (複合語 compound word を除く) 語 (word) は単音節であることが多いが、2 音節の語もある。例えば、/kuŋ C kwe: B2/ [kuŋ C kwø: B2] 「トンボ」、/cuk DS1 ke:w A1/ [tʰok DS1 ke:w A1] 「唐辛子」などである。ここに 2 音節を有する単純語と複合語の両者の概念をはっきりと区別したいと思う。すなわち、1) 2 音節の単純語では、複合する各音節は独立した意味を持っていない、あるいは片方だけ意味を持っている。2) 2 音節の複合語では、複合する各音節は各々独立した意味を持ち、また相互に意味の関係を持っている。例えば、2 音節の複合語は /pxj A1 mau B1/ [pxj A1 mau B1] 「新年」 (/pxj A1/ は「年」、/mau B1/ は「新しい」)、/pʰjɿm A1 kʰa:w A1/ [pʰjɿm A1 kʰa:w A1] 「白髪」 (/pʰjɿm A1/ は「髪の毛」、/kʰa:w A1/ は「白い」) などである。

1.6 韻表

前述したように、韻は主核母音と任意の末子音に分類できる。以下にそれらの分布を示すものとして、龍茗方言の体系として許容される韻表（表 1-13、表 1-14）を示す。

表 1-13 龍茗方言韻表・促音節（音素表記）

開閉	促音節(28)					
末子音	p		t		k	
長短 母音	短	長	短	長	短	長
-a-	-ap	-a:p	-at	-a:t	-ak	-a:k
-i-	-ip	-i:p	-it	-i:t	-ik	-i:k
-u-				-u:t		-u:k
-u-		-u:p		-u:t	-uk	-u:k
-e-		-e:p		-e:t		-e:k
-ɤ-	-ɤp		-ɤt		-ɤk	
-o-		-o:p		-o:t	-ok	-o:k

表 1-14 龍茗方言韻表・平音節（音素表記）

開閉	平音節(46)												
末子音	無	m		n		ŋ		j		w		ɥ	
長短 母音	長	短	長	短	長	短	長	短	長	短	長	短	長
-a-	-aː	-am	-aːm	-an	-aːn	-aŋ	-aːŋ	-aj	-aːj	-aw	-aːw	-aɥ	
-i-	-iː	-im	-iːm	-in	-iːn	-iŋ	-iːŋ				-iːw		
-u-	-uː		-uːn				-uːŋ						
-u-	-uː		-uːm		-uːn	-uŋ	-uːŋ		-uːj				
-e-	-eː		-eːm		-eːn		-eːŋ				-eːw		
-ɤ-	-ɤː	-ɤm		-ɤn		-ɤŋ		-ɤj		-ɤw		-ɤɥ	
-o-	-oː		-oːm		-oːn		-oːŋ		-oːj				

表 1-13、表 1-14 より、促音節には 28、平音節には 46、合計 74 の韻が認められる。末子音 /j/ は非前舌母音の /a, a:/、/u:/、/ɤ/、/o:/ と結合し、末子音 /w/ は非円唇母音の /a, a:/、/i:/、/e:/、/ɤ/ と結合して韻を形成する。非狭母音かつ後舌母音の /a/ と /ɤ/ が末子音 /ɰ/ と韻を形成する。すべての末子音と韻を形成できる母音は /a, a:/ のみである。なお、長母音と /ɰ/ と結合する韻は存在しない⁶⁶。

本章は関心の対象を単独で発音された 1 音節語の考察に限定した。それらの素材から龍茗方言の子音音素および母音音素を設定する証拠を得ることができたと思われる。しかし、本論文に用いた素材が 1 音節語に限定されたものであったために、複数音節による異音や同化に関する考察が行われていない。実際に、龍茗方言では、複数音節における声調変化が見られるが、具体的にどのような変化があるのかに関しては次章に詳細な検討を行う。

⁶⁶ 黄海萍 (2018:349) の韻表では「-a:ɰ」 と記述したのは間違いである。

第2章 龍茗方言の声調体系—単音節を中心に—

本章の目的は、龍茗方言に観察される10個の声調の特徴を詳述するとともに、龍茗方言の声調がどのような通時的な変化を経験してきたのかについて初歩的に考察することにある。龍茗方言を含むチワン語はタイ・カダイ語族の諸言語と同じく声調言語である。声調⁶⁷ (tone) とはピッチに基づく音韻論的単位であり、語の意味の違いを区別する（すなわち弁別する）機能を有する。龍茗方言の声調の領域 (domain) は音節であり、ほぼすべての語が声調を持つ。

本章ではまず、単音節の語が単独で発話された場合の声調の音声実現を分析する。そしてその結果に基づき、龍茗方言ではいくつの声調がどのように区別されているのかを明らかにする。また、チワン語が所属するタイ諸語における声調の通時的変化に関する先行研究の成果に基づいて、龍茗方言の声調がどのような通時的な変化を経験してきたのかについて考察する。さらに、龍茗方言の声調の領域である音節が、単独発話においてどのような特徴を持つのかを明らかにする。

本章の構成は以下の通りである。

2.1 では本研究の背景を述べる。そこでは、チワン語が所属するタイ諸語の声調に関する通時的変化（タイ諸語の声調が歴史的にどのように発展してきたか）に関する先行研究を概観する。

2.2 では第1節で紹介した先行研究を踏まえて、本論文における龍茗方言の声調体系を明らかにするための方法を示す。具体的には、龍茗方言の声調をより客観的な形で分析するために用いる音響音声学的方法についても述べる。

2.3 では龍茗方言の単音節語の声調を音響分析し、龍茗方言の単音節語に観察される声調の種類と高さを記述する。また、音響分析の結果に基づいて、龍茗方言の声調目録と基本声調（1音節が単独で発話されたときの声調）の特徴を明らかにする。

2.4 ではチワン語諸方言の声調に関する従来の理論的枠組みを批判的に検討し、龍茗方言の声調をより簡潔に解釈するための声調分類を試みる。

2.5 ではタイ諸語一般における声調の通時的研究の分析成果に基づき、本論文における龍茗方言の声調に関する通時的な変化を考察する。

2.6 では龍茗方言の単音節語の単独発話のデータを対象として、声調の違いによる音節長（音節全体の持続時間）あるいは母音長（母音区間の持続時間）の変化を分析・比較し、音声学的観点から考察する。

⁶⁷ 強さアクセント (stress accent) が音韻論的な役割をはたす言語（例えば、英語）があるが、龍茗方言では、強さアクセントは音韻論的に問題にはならない。一方、母音の「長短」は龍茗方言において弁別機能を持つ。

2.1 研究背景と先行研究

2.1.1 タイ諸語の声調に関する歴史的研究

本節では、龍茗方言が属するタイ諸語の声調の通時的変化に関する先行研究に基づいて、龍茗方言の声調がどのように歴史的に発展してきたかを概観する。これらの先行研究は、龍茗方言の声調体系を明らかにするための理論的枠組みを提供する。

タイ諸語の声調の通時変化を理解するためには、タイ諸語における 2 種類の音節タイプ、すなわち平音節と促音節の区別（第 1 章参照）が重要である。何故なら音節タイプによって、タイ祖語における声調の分布が異なるだけでなく、その後の声調の発展（通時変化）のしかたが異なるためである。表 2-1 に平音節と促音節の区別、ならびにそれら二つの音節タイプと音声学・音韻論の分野で言うところの「開音節と閉音節」との差異についてまとめる。両者は一致していないことに注意されたい。

表 2-1 タイ諸語研究における 2 種類の音節タイプ（C 音節頭子音；V 短母音；VV 長母音あるいは二重母音；N 音節末共鳴子音；S 音節末閉鎖子音）

音声学・ 音韻論で の用語法	音節構造	タイ諸語研究における用語法		
		日本語	中国語	英語
開音節 open syllable	C(C)VV（母音で終わる音節）	平音節	舒声音節	live syllable (smooth syllable)
閉音節 closed syllable	C(C)V(V)N（共鳴子音で終わる音節）			
	C(C)VVS（閉鎖子音で終わる音節）	促音節	塞声音節	dead syllable (checked syllable)

西田（2000:119-121）によれば、タイ諸語の比較言語学的研究は早くにはフランスのアンリ・マスペロ（1911）⁶⁸によって始められたという。西田によると、マスペロはタイ諸語の 7 つの地域変種を比較し、それらの系統分類を行ったが、その際に声調の対応も提示したという。このようにマスペロの研究は当該分野の先駆的研究として位置づけることができる

⁶⁸ Maspéro, Henri (1911) ‘Contribution à l’étude du système phonétique des langues thai’, BEFEO 11, Hanoi.

が、本研究では、タイ諸語の比較言語学や歴史言語学の分野で広く受けられている枠組みを提案した李方桂（Li 1977）による研究、およびそれ以降に発表された一連の研究に基づいて議論を行う。

李方桂(Li 1977: 25-28)はタイ諸語の祖語（タイ祖語、PT）において、平音節には3種類の声調の対立が存在していたのに対して、促音節に現れる声調は1種類のみであったと推定している。李は平音節の3つの声調をそれぞれ*A、*B、*C、促音節の声調を*Dと名付けている。

チワン語諸方言を含むタイ諸語方言の多くでは、祖語におけるこれら4つの声調が、音節頭の子音の有声性による分裂を起こしたと言う。この有声性に基づく分裂が生じたか否か、生じたとしたら祖語におけるどの声調に生じたかは言語・方言ごとに異なる。有声性に基づく分裂が生じた場合、慣習的に、祖語において無声子音を音節頭に持った声調には数字の1が書かれ（A1, B1, C1, D1）、有子音を音節頭に持った声調には数字の2が書かれる（A2, B2, C2, D2）。したがって、有声性に基づく分裂が最も広範に生じた言語・方言では、声調の数が祖語における数の倍になる（A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2）。

李方桂によると、さらに促音節では、頭子音の有声性による分裂（D1、D2）だけでなく、母音の長短に条件付けられた分裂が多くの言語・方言で生じたという。母音の長短に条件付けられた分裂が任意の方言で生じた場合、慣習的に、祖語において短母音を有した音節の声調にはアルファベットのSが書かれ（DS1, DS2）、短母音を有した音節の声調にはアルファベットのLが書かれる（DL1, DL2）。

この李方桂の枠組みはタイ・カダイ語族あるいはタイ諸語研究で定説となっており、現在最も広く使われている。本研究でもこの慣習に従い、龍茗方言の平音節の声調をA1、A2、B1、B2、C、促音節をDS1、DS1'、DS2、DL1、DL2とアルファベットとアラビア数字による表記で統一する（C1とC2の区別を認めていないのは、祖語のCが有声性によって分裂した証拠が龍茗方言には見つからないためである。李方桂の枠組みにはないDS1'については後述する）。李の枠組みを分かりやすくするために表2-2に示す。タイ諸語の諸方言には平音節と促音節を合わせて最大10種類の声調が対立し得ることが分かる。

表 2-2 李方桂によるタイ諸語の声調体系（Li 1977 : 25-28 による）

頭子音	タイ祖語の声調 主核母音	*A	*B	*C	*D
無声	短	A1	B1	C1	D1S
	長				D1L
有声	短	A2	B2	C2	D2S
	長				D2L

一方、中国のチワン語研究学界においては、李方桂の見解を踏まえて、さらに中国語学の慣習に合わせて次のような枠組みが提案されている。すなわち、チワン語諸方言の声調が分裂を起こす前には*平声、*上声、*去声、*入声と言う 4 つの声調が存在し、これらの声調が頭子音の陰陽に基づいて分裂したとする枠組みである（張均如等 1999:24-28）。*平声、*上声、*去声、*入声という 4 つの声調は、李方桂のいう*A、*C、*B、*D とそれぞれ対応する。陰陽は頭子音の有声性を指し、陰が無声の頭子音、陽が有声の頭子音である。この組み合わせ（ex. 陰平、陽平...）によって、チワン語諸方言の声調を表記し、同時に祖語との対応を示す。また、中国語学の枠組みを援用して、調類（tonal category、声調の種類）という概念も導入され、これによっても声調を表記する⁶⁹。調類による表記では、1 から 10 のアラビア数字を用いる。奇数の数字の調類群（1、3、5、7、9）は無声の頭子音すなわち陰であることを表し、偶数の数字の調類群（2、4、6、8、10）は有声の頭子音すなわち陽であることを表す。これにより頭子音との関係が示される。同時に、同じ調類に属する語は頭子音の有声性を同じくすることも示される。これら 1 から 10 の声調が更なる分裂を起こす場合、その声調の右上に「'」を付けて示す。例えば、1' とは 1 類の声調から派生した声調であることを意味する⁷⁰。中国チワン語学界におけるチワン語の声調体系の表記方法と李方桂による声調体系の表記方法を合わせて表 2-3 に示す。各マス目には、上部に中国式の表記法、下部に李方桂の表記法（アルファベットとアラビア数字）が記されている。中国語学式の表記法は、括弧内に平上去入と陰陽の組み合わせによる声調表記、その左側に調値（アラビア数字）による声調表記が記されている。

表 2-3 中国におけるチワン語諸方言の声調体系（張均如等 1999：24-28 による）

頭子音	タイ祖語の声調 主核母音	*平声 (*A)	*上声 (*C)	*去声 (*B)	*入声 (*D)
陰 (無声)	短	1 (陰平) (A1)	3 (陰上) (C1)	5 (陰去) (B1)	7 (陰入) (DS1)
	長				9 (陰入) (DL1)
陽 (有声)	短	2 (陽平) (A2)	4 (陽上) (C2)	6 (陽去) (B2)	8 (陽入) (DS2)
	長				10 (陽入) (DL2)

⁶⁹ 韋・覃（1980）、王鈞（1984）、広西語委研究室編（1994）、覃国生（1996）、梁敏・張均如（1996）、張鈞如等（1999）など。

⁷⁰ 本論文の DS1'における「'」の用法も、これと類似した用法であり、DS1'という声調は DS1 から派生した可能性があるという筆者の解釈を表現している。

中国のチワン語研究学界における調類の番号の振り方にはいくつかのルールがある。まず、ある2つの語の声調が同じ調値⁷³ (tonal value、声調の実現値) であったとしても、その音節構造(平音節か促音節)、または(促音節の場合に限り) 母音の長短が異なれば、それぞれを別の声調、すなわち別の調類と見なす。例えば、33 という同じ調値の声調を持つ2つの語があったときに、それらの音節構造が、一方が平音節でもう一方が促音節であれば、その2つは別の調類となる。一方で、同じ音節構造を持ちかつ同じ調値を持つ声調は同じ調類とみなすというルールもある。例えば、頭子音が無声の促音節でかつ同じ調値を持つ声調は、母音の長短の区別にかかわらず、同じ調類と見なして同じ数字で表記する。さらに、平音節(または促音節) でかつ同じ調値を持つ声調は、頭子音の有声性の別に関わらず、同じ調類と見なして同じ数字で表記される。

しかし、中国のチワン語学界の、「同じ音節構造を持ちかつ同じ調値を持つ声調は同じ調類と見なして同じ数字で表記する」というこの方法には、問題があると指摘されている(Liao2016:13)。本論文で龍茗方言の声調体系を分析する際に中国のチワン語学界の習慣に従わないのもこの問題点に起因する。Liao の論点を借りてその問題点を表2-4で示す。

表 2-4 李方桂と中国学界による声調表記の相違 (Liao2016:13 の table3 に、筆者が龍茗方言のデータを加えた。馬隘方言はチワン語南部方言に属す徳保方言の下位方言である。)

番号	語の意味	タイ祖語の頭子音	李方桂による調類	シャム語		馬隘方言		龍茗方言	
				調値	中国学界による調類	調値	中国学界による調類	調値	中国学界による調類
I	犬	無声	A1	ma: ²⁴	1	ma: ⁵³	1	ma: ⁴⁵¹	1
II	脚		A1	k ^h a: ²⁴	1	k ^h a: ³¹	2	k ^h a: ⁴⁵¹	1
III	年		A1	pi: ³³	2	pej ⁵³	1	pxj ⁴⁵¹	1
IV	葉		A1	paj ³³	2	ʔboj ³¹	2	ɬau ³¹	2
V	天秤棒	有声	A2	k ^h a:n ³³	2	ka:n ³¹	2	ka:n ³¹	2
VI	ある		A2	mi: ³³	2	mej ³¹	2	mɿj ³¹	2

中国チワン語学界の枠組みでは、祖語の頭子音の有声性が調類の奇数・偶数に対応する。したがって、表2-4におけるI・II・III・IV(無声の頭子音)はシャム語・馬隘方言・龍茗方言それぞれで同じ調類で表されることが予測されるが、実際はそうなのではない。例えば、シャム語のIII・IV(無声の頭子音)はV・VI(有声の頭子音)と同じ調値になる。これは「同じ音節構造を持ちかつ同じ調値を持つ声調は同じ調類と見なして同じ数字で表記する」とい

⁷³調値は絶対的な音の高さではなく、相対的な高さである。

うルールによるもので、Ⅲ・ⅣがⅤ・Ⅵと同じ音節構造かつ同じ調値を持つためである。この事実は、「奇数の調類は陰（無声）、偶数の調類は陽（有声）の頭子音によって分裂した」という法則の反証となる。一方、李方桂の分析結果は頭子音の有声性と声調の関係を正確に反映している。

とは言え、李の説にも弱点がある。李の分析結果によれば、シャム語の A1 は 2 つの異なる調値の声調に分裂し、そのうちⅢ、Ⅳ番は A2 のⅤ、Ⅵ番と合流する。具体的にいうと語頭の有声性によって祖語の*A が A1（無声頭子音）と A2（有声頭子音）に分裂したが、シャム語ではさらなる改新があったために、語頭が無声の A1 グループに新たな分裂が起こったということになる。馬隘方言と龍茗方言にも類似の現象が見られる。

表 2-4 の例を見ても A1 の分裂の条件は定かではない。分裂の条件を明らかにすることは李方桂の枠組みを超える話である。このような現代タイ諸語の諸方言における複雑な声調の分裂や合流を捉えるために、Gedney (1989) は李方桂の枠組みを改定し、新たな声調体系を提示した。これに関する詳しい議論は本章の 2.5 に譲りたい。

2.1.2 チワン語諸方言の声調における先行研究

上述のように、タイ諸語の声調の研究は大きな成果を収めている。しかしながら、管見の限り、チワン語諸方言の声調研究の数は決して多くない。チワン語諸方言を対象とした先行研究⁷⁴の中には声調に関する記述も少なからず見受けられるが、その多くがチワン語諸方言の声調の通時的変化と個別方言の声調の数や高さを簡単に記述するにとどまっている。

チワン語声調研究に関する論文は五指に足りる。張元生（1984）はチワン語武鳴方言⁷⁵（以下、武鳴方言）の変調規則⁷⁶と一部の文法カテゴリーに特有な声調交替について論じている。張による武鳴方言の声調は表 2-5 に示す通りである。表 2-5 における調類欄のアラビア数字は先述したように、頭子音の有声性を示しており、奇数（1、3、5、7、9）が無声の頭子音、偶数（2、4、6、8、10）が有声の頭子音を示す。声調番号欄のアラビア数字は各声調に機械的に振られたラベルであり、頭子音の有声性などとは関わりない。

表 2-5 の声調番号 1、2、6、7、10、12 が一定の条件によって変調し、その他の声調は変

⁷⁴ 李方桂（1940a）、李方桂（1942）、李方桂（1956）、韋慶穩・覃国生（1980）、王鈞等（1984）、広西語委研究室編（1994）、梁敏・張均如（1996）、覃国生（1996）、張鈞如等（1999）、鄭貽青（2013）など。

⁷⁵ 張元生（1984）のいうところの武鳴方言が何を指すのか不詳だが、表記されている声調の数やその調値は、標準チワン語の標準音とされた武鳴方言の一つである雙橋方言とほぼ同じである。ただし、張元生（1984）は武鳴方言の第 2 調の調値を 21 としているが、標準チワン語の第 2 調は 31 と表記される。

⁷⁶ 考察対象は主に 2 音節連続であるが、3 音節連続の変調も言及している。3 音節連続は基本的に 2 音節連続変調の延長線上にあり、変調規則もおおむね同じで、意味関係が密接な 2 つの語の間に変調するが、文法的に要素が絡み合っておりより複雑であると指摘している。

調しないとする（張元生 1984:94）。張は武鳴方言の 2 音節連続における変調規則を 2 種類にまとめおり、一方を A 型変調、もう一方を B 型変調と呼んでいる。A 型変調は、第 1 音節⁷⁷が第 2 音節（任意の声調を持つ音節）と連続する時に、必ず変調を伴う変調タイプである。その変調は第 1 音節に生じ、第 1 音節が第 4 声調もしくは第 11 声調の調値 42 で実現する。一方、B 型変調は、第 1 音節の変調が第 2 音節によって制約され、かつ文法と深い関わりのある変調タイプである。例えば[ma:¹ ya:i¹]は、[ma:¹]犬+[ya:i¹]死ぬ、つまり名詞+動詞の構造であるが、これが述語関係にあると解釈されれば（「犬が死ぬ、犬が死んでいる、犬が死んだ」）、変調は生じないが、非述語関係にあると解釈された場合（「死んだ犬」）には I 番の変調規則が適用され第 1 音節の声調が別の声調へ変化する。表 2-6 に、A 型変調と B 型変調 2 種類の変調規則とその具体的な変調パターンを示す。

表 2-5 と表 2-6 を照合すると、武鳴方言には次のような特徴があることが分かる。1) 変調した声調は、固有の声調以外の調値で実現しない、2) 2 音節連続の場合、第 1 音節は変調が生じ得るが、第 2 音節は変調しない。3) 変調し得るのは 1・2・6・7・10・11 いずれかの声調を持つ第 1 音節である、4) 変調は調類内で生じる。すなわち陰類声調（奇数調類）は他の陰類声調のいずれかに変調し、陽類声調（偶数調類）は陽類声調のいずれかに変調する。5) 変調には文法的な条件も関与し得る。

表 2-5 武鳴方言の声調（張元生 1984:94、調類欄の括弧内の A1、A2 など筆者によるもので、調類声、調番号、調値などは張による。）

調類				声調番号	調値
平 音 節	陰平	1 (A1)		1	24
	陽平	2 (A2)		2	21
	陰上	3 (C1)		3	55
	陽上	4 (C2)		4	42
	陰去	5 (B1)		5	35
	陽去	6 (B2)		6	33
促 音 節	陰入	長母音	9(DL1)	7	35
			9' (DL1')	8	55
		短母音	7(DS1)	9	55
	陽入	長母音	10(DL2)	10	33
			10' (DL1')	11	42
		短母音	8(DS2)	12	33

⁷⁷ A 型変調が生じるときの第 1 音節は、助数詞を含み、その声調番号が 2、6 の平音節と 10、12 の促音節である。

表 2-6 武鳴方言の 2 音節連続における変調規則（張元生 1984 による、括弧内の数字は調値）

a（非文法的な範疇）			
類別		本来の声調	変調後の声調
A 型変調		声調 2・6 、 10・12+任意声調	声調 2・6→4（42）、10・12→11（42）+任意声調（不変）
B 型変調	非文法的な範疇	I 声調 1+声調 1・2・9・12	声調 3（55）+声調 1・2・9・12（不変）
		II 声調 2+声調 1・2・9・12	声調 4（42）+声調 1・2・9・12（不変）
		III 声調 6・10・12（33）+声調 1・2・3・5・6・7	声調 6→4（42）、10・12→11（42）+声調 1・2・3・5・6・7（不変）
		IV 声調 5+声調 5・7 声調 7+声調 5・7	声調 5→3（55）、声調 7→8（55）+声調 5・7（不変）
b（文法的な範疇）			
B 型変調	文法的な範疇	変調不可の組み合わせ	変調可の組み合わせ
		名詞+動詞（述語関係） 名詞+形容詞（述語関係） 意味的に並列の関係にある場合（手足、親子など） 人称代名詞、疑問代名詞を含む場合 同じ音節が反復する場合（reduplication） 漢語借用語 数量詞の[deu ¹]「一、唯一」を含む場合 動詞、形容詞+形容詞の[la:i ¹]「多い、すぎる」 動詞+動詞	名詞+名詞 名詞+動詞（非述語関係） 名詞+形容詞（修辭関係） 助数詞+名詞 数量詞+助数詞 数量詞+数量詞 動詞+形容詞

標準チワン語と定義されている武鳴方言の声調を対象にした研究に蔡培康（1987）がある。蔡培康（1987）では張元生（1984）で挙げられている一部の例字・語彙に加えて、独自に作成した例字・語彙・例文などを考察している。蔡培康（1987）が張元生（1984）を参照

したかどうかは参考文献に挙げられていないために不明であるが、張とほぼ同じ見解が述べられている。ただし、変調が同じ調類内に生じるという現象について蔡培康は、同じ調類内で変調が生じた声調は常に本来の調値より高い調値⁷⁸へと変調すると指摘している。声調の調値の変化の度合いが同じ調類同士の変調を起こす要因の一つであり、調値が常に小さい数字から大きい数字へと変化すると主張する。また、新しい借用語には変調が見られないが、古い時期の借用語には変調が見られるなどの事実を提示している。声調の調値の変化の度合いが同じ調類同士の変調を起こす要因の一つとして考える蔡培康（1987）に対して黄平文（2000）は反証を提示している。黄平文は、武鳴（雙橋）方言、横県（雲表）方言、苹果（城廂）方言、隆安（揚湾）方言の4つの方言⁷⁹における変調を簡単に比較し、声調の調値の変化の度合いが変調を起こす要因と考えるべき根拠はないと主張し、同じ調類内で変調が生じる場合は必ずしも本来の調値より高い調値へと変調しないと指摘している。黄平文は、チワン語南部方言の隆安（揚湾）方言において、同じ調類グループ内で変調を生じる声調は本来の調値より低い調値（35/55→33/42）で実現する事実を示し、これによって蔡培康（1987）の主張に反論した。

2000年代以降、実験音声学的な手法が一部のチワン語方言の声調研究に用いられるようになった。李洪彦・藍慶元・孔江平（2006）は龍州方言⁸⁰の単音節や2音節連続について考察を行ったものである。しかし、これらの報告においては分析結果のみ示されており、F0計測の手順や方法及び分析対象とした語などは不明である。また、文法的な要因が関与するかも考慮されていない。李洪彦ら（2006）によると、龍州方言の弁別的な声調は8つあり、変調が見られるのはそのうちの2声調のみである。一つ目は調値が44の第1調（A1）である。A1は2音節連続の第1音節にくる場合には変調しないが、第2音節に来る場合には調値が44から445に変化し僅かな下降が観察される。これは張元生（1984）が主張するところの「第1音節は変調が生じ得るが、第2音節は変調しない」という武鳴方言の変調規則と異なる特徴を示している。もう一つの声調は調値が354の第5調（B1）である。B1は2音節連続の第1音節に来る際は、常に調値が354から35へと変化し上昇調となる。一方、第2音節に来る場合には変調は生じない。これは武鳴方言の変調規則の（4）と一致している。

そのほかに、高玉彩（2008）は標準チワン語を対象に、単音節や2音節連続語の声調の実現における男女差や、単独に発話される単音節および2音節連続語における声調の継続時間や基本周波数の平均値を男女ごとに算出し、研究が進んでいる標準チワン語の声調の再解釈を

⁷⁸ これは単純な数字の大きさを指すと思われる。例えば、第1声調（24）は変調を起こす場合声調3（55）、第2声調（31）は変調後声調4（42）となる。

⁷⁹ 括弧内の地名は方言地点である。武鳴、横県、苹果方言はチワン語北方方言の邕北方言に属し、隆安方言はチワン語南方方言の邕南方言に属する。

⁸⁰ 具体的な地点が示されていない。

試みた。高玉彩（2008）は、音響分析の方法を用いて武鳴方言の2音節連続を再解釈したが、「第5声」と「第7声」に変調が見られないとしている点で張元生（1984）と異なる見解を示している。また高玉彩（2008）は、武鳴方言の2音節連続において、第1音節は必ず第2音節より持続時間が短い上、変調は第1音節に限ると指摘している（高玉彩 2008：90）。黄玉雄（2013）はチワン語南部方言諸言語に見られるC2調の考察を行った。覃玉彩（2017）はチワン語北部方言の紅水河方言の一つである武宣県古杭方言の単音節声調を分析対象としたものである。覃玉彩はPraatで分析を行い、同一話者による各声調の平均調値を算出しているが、分析対象の語や分析手法が提示されていないなどの問題点を抱えている。

以上、チワン語諸方言の声調に関する先行研究を概観した。このような状況にあって、チワン語における実験音声学的な声調研究はまだ端緒についたばかりであると言えよう。

2.2 分析方法や手順

第1節ではチワン語の声調の先行研究を紹介した。聴覚印象に基づいて声調の記述を行った研究や実験音声学的な声調研究も少なからず行なわれてはきているが、いずれの研究においても声調体系を明らかにするための手法を明示していないという問題がある。先行研究を踏まえて本論文では以下に示す分析方法によって龍茗方言の声調体系を明らかにする。

まず、聴覚印象及び実験音声学的手法を用いて声調の種類と高さを記述する。なお、各声調の記述に用いた調値声調の調値はChao (1930)の5段数値表記法を用いて表し、1が低域、2が次低域、3が中域、4が次高域、5が高域を表す。本論文ではLi (1977) がタイ祖語の声調体系を考察する際に用いた調査表を使用する。Li (1977: 25-28)の調査表には名詞、形容詞、動詞、助数詞を含む76語が含まれている。76語はいずれもタイ諸語使用地域で広く使われるもので、使用頻度の高い自立語だと思われる。一方、龍茗方言の促音節の声調の数は他方言より1つ多い（本論文ではDS1'声調と名付ける）。龍茗方言の促音節の声調の数がなぜ他方言より1つ多いのかを、Li (1977) の枠組みを用いて説明することは不可能である。したがって、声調が1つ多い事実を説明するためには、分析語数を増やして、より詳細な検討を行う必要があると考える。そのような語を詳細に検討した結果、龍茗方言で使用頻度が高いDS1'声調で実現する語を表2-8に示す。

次に、声調を認定する基準として、次の3つ原則を用いる。すなわち、1) 同一の音声環境（音節構造）に現れ、入れ替えると意味が変わる2つの声調は、互いに対立し、それぞれ異なった声調に属するという「最小対の対立」(minimal pair contrast)の原則、2) 音声的類似性を有する2つ(以上)の声調が同一の音声環境（音節構造）に現れない時、これらの声調は補いあう分布をなし、同一の声調に属する可能性が高いという「相補分布」の原則、3) 2つの声調が同一の音声環境（音節構造）に現れ、互いに入れ替えても、その意味に変化が生

じない時、それらの声調は「自由変異」(free variation)の関係にあり、同一の声調に属するという原則である。

以上のような手続きにしたがって単音節語の声調を分析する結果、龍茗方言には、(1) 平音節に 5 つの声調、(2) 促音節に 5 つの声調が認められ、合計 10 の声調が観察される。平音節をタイ祖語との対応に基づいてそれぞれ A1, A2, B1, B2, C と名付ける。促音節の最初の 4 つの声調は他方言との対応およびタイ祖語との対応が明確な声調であり、それぞれ DS1, DL1, DS2, DL2 と名付ける。最後の声調 (2e) については後述するが、これを DS1' と名づける。

- (1) a. ma: 451 (A1) 「犬」 b. ma: 31 (A2) 「来る」 c. ma: 251 (B1) 「浸す」
d. ma: 33 (B2) 「痺れる」 e. ma: 213 (C) 「馬」
- (2) a. pak 33 (DS1) 「差し込む」 b. pa:k 25 (DL1) 「口」 c. pak 31 (DS2) 「疲れる」
d. pa:k 33 (DL2) 「精神病」 e. pak 45 (DS1') 「北方」

Li の調査表は表 2-7a と表 2-7b に示す。シャム語、剝隘方言、龍州方言の表記や調値は Li によるものである。龍茗方言の調値は筆者の聴覚印象に基づくものである。ただし、表 2-7a の *A グループの 3 番 [ta:²⁴¹] ⁸¹ 「祖父 (母方)」や表 2-7a の 61 番 [kap³³ /ke:p²⁴] のような多音語を取り除く。さらに、この 76 語を含む調査表には現代シャム語、剝隘方言 (チワン語北方方言の桂辺方言の一つ)、龍州方言 (チワン語南部方言の左江方言の一つ) が併記されており、他方言の声調と比較することによって龍茗方言の声調体系の特徴が明確になるという狙いがある。また、龍茗方言の声調に関する通時的な考察でも有用である。

⁸¹ [ta:241] B1 「祖父」 (母方) は龍茗方言で特別な音変化を起こしたと推測する。タイ祖語には[*ta: A]が再建されている Li (1977:97)、Pittayaporn (2009:336)、Liao (2017:132)。しかし、Liao (2017) によれば、この語は中央タイ諸語において 2 通りの変化が起きている。2 通りの変化とも[*ta:j B] 「祖母 (母方)」という語への類推に起因するという。CT の一部 (徳保、靖西、天平等) の方言で [*ta:j B] 「祖母」への類推で、[*ta: A] 「祖父」が [ta: B1] となり、「祖父母」が[ta:B1 ta:jB1] となっている。一方、CT の龍州方言などでは [*ta:A] 「祖父」が祖語の声調を保っているとはいえず、[*ta:j B] 「祖母」が[*ta: A] 「祖父」への類推の結果[ta:j A1] 「祖母」となり、「祖父母」が[ta:A1 ta:j A1]となっていると言われている Liao (2017:132-133)。

表 2-7a Li (1977) による声調調査表

祖語の声調	番号	声調	英語	日本語	シャム語 (Siamese)	龍州方言 (Longzhou)	剝隘方言(Po- ai)	龍茗方言 (Longming)
*A	1	A1	to go	行く	pai 33	pai 33	pai 24	pɔj 451
	2	A1	year	年	pii 33	pii 33	pii 24	pɔj 451
	3	A1	monther's father	祖父 (母方)	taa 33	taa 33	taa 24	ta: 241(B1)
	4	A1	to eat	食べる	kin 33	kin 33	kīn 24	kīn 451
	5	A1	to sell	売る	khaai 24	khaai 33	kaai 24	k ^h a:j 451
	6	A1	white	白い	khaau 24	khaau 33	kaau 24	k ^h a:w 451
	7	A1	rain	雨	fon 24	phīn 33	hīn 24	p ^h yn 451
	8	A1	dog	犬	maa 24	maa 33	maa 24	ma: 451
	9	A1	grandchild	孫	laan 24	laan 33	laan 24	la:n 451
	10	A1	to fly	飛ぶ	bin 33	bin 33	min 31	βin 31
	11	A1	good	良い	dii 33	dai 33	nii 31	ɗaj 31
	12	A1	month	月	dīan 33	bīin 33	nīn 31	βw:n 31
	13	A1	to take	もらう	ʔau 33	ʔau 33	ʔau 31	ʔaw 31
	14	A2	rhatch grass	茅	khaa 33	kaa 31	haa 55	ya: 31
	15	A2	to be stuck	足止めされる	khaa 33	---	kaa 55	ka: 31
	16	A2	to smear	塗る	thaa 33	taa 31	taa 55	ta: 31
	17	A2	rice field	畑、水田	naa 33	naa 31	naa 55	na: 31
	18	A2	day	日、日中	wan 33	van 31	uɔn 55	van 31
	19	A2	monkey	猿	liɔ 33	liɔ 31	liɔ 55	liɔ 31
*B	20	B1	old	古い	kau 22	kau 55	kau 22	kaw 241
	21	B1	chicken	鶏	kai 22	kai 55	kai 22	kaj 241
	22	B1	to turn around	回転する	pan 22	pan 55	pan 22	pan 241
	23	B1	low	低い	tam 22	tam 55	tam 22	tam 241
	24	B1	to split, hew	割る	phaa 22	---	paa 22	p ^h a: 241
	25	B1	classifier of boards etc.	枚 (類別詞)	phɛɛn 22	pheen 55	pheen 22	p ^h e:n 241
	26	B1	knee	膝	khau 22	khau 55	hoo 22	k ^h aw 241
	27	B1	new	新しい	mai 22	mai 55	moo 22	mau 241
	28	B1	full, not hungry	満腹する	ʔim 22	ʔim 55	ʔim 22	ʔim 241
	29	B1	shoulder	肩	baa 22	baa 55	maa 22	βa: 241
	30	B1	well, spring	泉	boɔ 22	boo 55	moo 22	βo: 241
	31	B1	to scold	叱る	daa 22	daa 55	naa 22	ɗa: 241
	32	B2	father	父	phɔɔ 41	poo 11	poo 31	po: 33
	33	B2	wharf	埠頭	thaa 41	taa 11	taa 31	ta: 33
	34	B2	mother	母	mɛɛ 41	mee 11	mee 31	me: 33
	35	B2	to sit	座る	naɔ 41	naɔ 11	naɔ 31	naɔ 33
	36	B2	pangolin	センザンコウ	lin 41	---	lin 31	δin 33

表 2-7b Li (1977) による声調調査表

祖語の声調	番号	声調	英語	日本語	シャム語 (Siamese)	龍州方言 (Longzhou)	剥隘方言(Po- ai)	龍茗方言 (Longming)
*C	37	C1	nine	九	kau 41	kau 24	kau 44	kaw 213
	38	C1	to erect, build	縦にする	taŋ 41	taŋ 24	taŋ 44	taŋ 213
	39	C1	aunt	両親の姉	paa 41	paa 24	paa 44	pa: 213
	40	C1	to kill	殺す	khaa 41	khaa 24	khaa 44	k ^h a: 213
	41	C1	to wait	待つ	thaa 41	---	saa 44	t ^h a: 213
	42	C1	five	五	haa 41	haa 24	haa 44	ha: 213
	43	C1	face	顔	naa 41	naa 24	naa 44	na: 213
	44	C1	liquor	酒	lau 41	lau 24	lau 44	law 213
	45	C1	village	村	baan 41	baan 24	maan 44	ba:n 213
	46	C1	to get	受け取る、も らう	dai 41	dai 24	nai 44	daj 213
	47	C1	to open wide	開ける	ʔaa 41	ʔaa 24	ʔaa 44	ʔa: 213
	48	C2	stomach	腹部	thooŋ 453	toŋʔ 21	toŋ 33	to:ŋ 213
	49	C2	water	水	nam 453	namʔ 21	nam 33	nam 213
	50	C2	to string, a string of something	ひとつながり になったもの を数える類別 詞	rooi 453	tooiʔ 21	looi 33	do:j 213
*D	51	C2	horse	馬	maa 453	maaʔ 453	maa 33	ma: 213
	52	DS1	to fall	落ちる	tok 22	tuk 55	tok 55	tok 33
	53	DS1	seven	七	ɛet 22	ɛit 55	ʂet 55	teat 33
	54	DS1	duck	アヒル	pet 22	pit 55	pit 55	pjat 33
	55	DS1	heavy	重い	nak 22	nak 55	nak 55	nak 33
	56	DS1	vegetable	野菜	phak 22	phjak 55	pjak 55	p ^h jak 33
	57	DS1	six	六	hok 22	huk 55	lok 55	ɔok 33
	58	DS1	raw, uncooked	生、生の	dip 22	dip 55	nip 44	dip 33
	59	DS1	water goes down, dry land	水が下がる、 水が引いた畑	bok 22	buk 55	muk 44	ɔok 33
	60	DS1	chest	胸	ʔok 22	ʔik 55	ʔak 44	ʔyk 33
	61	DS2	narrow	狭い	khap 55 (kheɛp 41)	kap 31	kep 44	kap 33 (ke:p 24 DL1)
	62	DS2	to wash clothes	(衣類を) 洗 う	sak 55	ʔak 31	ʔak 44	θak 31
	63	DS2	ant	蟻	mot 55	müt 31	mot 44	mwat 31
	64	DL1	mouth	口	paak 22	paak 55	paak 22	pa:k 24
	65	DL1	eight	八	peet 22	peet 55	peet 22	pe:t 24
	66	DL1	mustard plant	芥子菜	kaat 22	kaat 55	kaat 22	ka:t 24
	67	DL1	taro	タロイモ	phiak 22	phiik 55	piik 22	p ^h ju:k 24
	68	DL1	to be broken, torn	使い古した、 すり切れた	khaat 22	khaat 55	kaat 22	k ^h a:t 24
	69	DL1	to carry things on both ends of a pole	天秤棒で担ぐ	haap 22	haap 55	laap 22	t ^h a:p 24
	70	DL1	hungry	腹が減る	jaak 22	jaak 55	jiik 22	ja:k 24
	71	DL1	hot	熱い	diat 22	diit 55	naat 22	d ^h u:t 24
	72	DL1	to go out	出掛ける、出 る	ʔook 22	ʔook 55	ʔook 22	ʔo:k 24
	73	DL2	dragon, mythical aquatic animal	竜	ɣiak 41	ɣiik 31	ɣiik 31	ɣu:k 33
	74	DL2	root	根	raak 41	laak 31	laak 31	la:k 33
	75	DL2	alone	一人で	thook 41	took 31	took 31	to:k 33
	76	DL2	rope	ロープ	ɛhiak 41	ɛiik 31	ʂaak 31	ɬu:k 33

表 2-8 DS1'声調一覧表

番号	声調	語彙
1	DS1'	/tak/[tak] 「徳、道德」
2	DS1'	/fuk/ [fok] 「幸福（人名）」 ⁸²
3	DS1'	/hap/ [hap] 「虐める、脅かす」
4	DS1'	/lap/ [lap] 「竹で編んだ籠」
5	DS1'	/mak/ [mak] 「美貌」
6	DS1'	/pak/ [pak] 「北、北方」
7	DS1'	/jik/ [jik] 「億」

最後に、音響音声学的方法を用いて Li の調査表と表 2-8 DS1'声調一覧表を分析する。この計測には音響分析ソフト Praat を用いる。Praat の設定はデフォルトのままである。各音節の持続時間の測定区間（始まりと終わり）を、音声波形とサウンドスペクトログラムを同時に表示した画面上で、手動で決定した。単音節では、持続時間の測定区間を定めた後に、Praat の Pitch メニューの Pitch listing を利用して、各音節の基本周波数（F0）と持続時間を計測した。Excel に抽出した各声調の F0 や持続時間の値を記録した。ここで注記しなければならないのは、音節の F0 の取り扱いである。すべての音節は測定区間を決めた上で、F0 の始端と終端を決めた。頭子音の F0 が大きな誤差を生むことを避けるために、始端は母音始端にし、終端は音節終端（平音節かつ開音節の場合は母音終端、平音節かつ閉音節の場合は末尾子音終端、促音節の場合は母音終端）にしたために、F0 の始端と終端は必ずしも音節の始端と終端と一致しない。

具体的な分析の手順は以下の通りである

- 1) 表 2-7a と表 2-7b の声調調査表を使用して、筆者による発音で音声を録音する。
- 2) Praat を用いて F0 と持続時間を計測する。本論文では各声調のサンプリングポイントを設け、各声調の F0 や持続時間を抽出する。
- 3) 計測した F0 と持続時間に基づいて、F0 の時間推移を表すグラフを作成することによって声調を可視化する。グラフの描写は Anaconda ソフトを利用して Python（プログラミング言語）で作成する。

2.3 計測結果

本節では、10 個の声調を単独で発話した場合について述べる。第 2 節で示した方法や手

⁸² 「幸福」の意味を指す場合は DS1 で実現するが、「幸福な意味を込めている人名」として使う場合は DS1'で実現して区別する。

順で単音節単独型における F0 曲線から各声調の記述を行い、計測できた F0 や持続時間を F0 の時間推移としてグラフで可視化し、各声調の弁別的特徴を明らかにする。

上述の Li (1977) の調査表と表 2-12 DS1' 声調一覧表を用いて分析した結果、龍茗方言の声調の体系は表 2-9 で示すような体系であることが明らかになった。龍茗方言には、先述の通り、平音節に 5 つの声調、促音節に 5 つの声調、合計 10 個の声調が観察されることになる。

表 2-9 龍茗方言の声調（括弧内の数字は調値）

平音節			促音節	
			短母音	長母音
A1 (451)	B1 (251)	C (213)	DS1' (45)	DL1 (25)
			DS1 (33)	
A2 (31)	B2 (33)		DS2 (31)	DL2 (33)

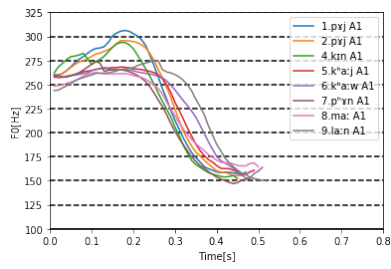
しかし、現在までに調査された 58 地点のチワン語諸方言のほとんどにおいて、平音節には 6 声調（A1, A2, B1, B2, C1, C2）、促音節には 4 声調（DS1, DS2, DL1, DL2）、合計 10 声調が認められる（広西語委研究室編 1994:18-20）。龍茗方言の平音節の声調の数は他方言より少なく、促音節の声調の数は他方言より 1 つ多い。すなわち、龍茗方言は他のチワン語諸方言と異なる声調体系を有する。そこで本論文は、龍茗方言の声調に関する通時的な考察を第 5 節で行うが、以下の図 2-1 にそれぞれの声調の基本周波数（F0）曲線を示す。

各声調の語数が均等ではないが、観察された 10 個の声調の特徴が確認することができた。また、各声調の F0 曲線は語によって多少の差異はあるものの、大きく異なるということはないと言える。図の左列は 5 つの平音節、右列は 4 つの促音節である。

A1 声調には、バリエーションが見られる。1、2 と 4 番のように、次高域（250Hz）を上回るところから始まり、次高域から高域（250Hz 以上、300 Hz）を上回るところまで上昇して低域（150Hz）まで一気に下降する山型タイプがある。また、1、2 と 4 番のように上昇が顕著ではなく次高域（250Hz）を上回るところから一気に下降するタイプもある。さらに、次高域（250Hz）を少し下回るところから緩やかに上昇してから低域まで一気に下降するタイプもある。上昇の程度は語によって差異が認められるものの、次高域（250Hz）以上から低域までに下降する点は共通である。したがって、図 2-1（A1）で示すように、A1 声調は概ね調値が[451]の高昇下降調と言える。

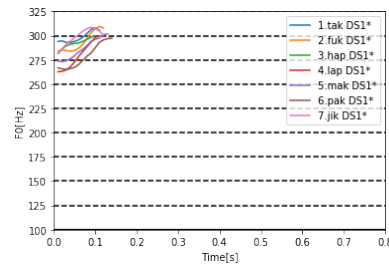
A2 声調は、F0 の始点値には変動が大きくなく、ほとんどが次低域（200 Hz）から中域（225Hz）よりから始まる。中域から上昇せずに低域まで下降する。図 2-1（A2）で示すように、A2 声調は概ね調値が[31]の中降調と言える。

平音節

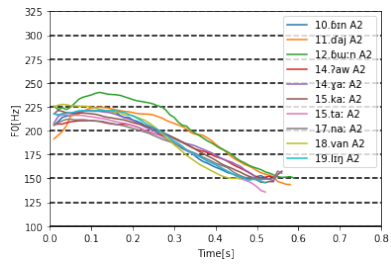


A1

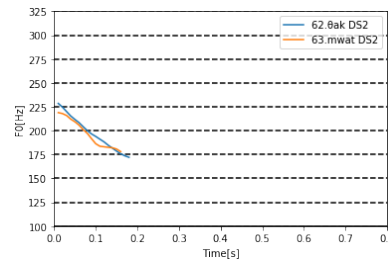
促音節



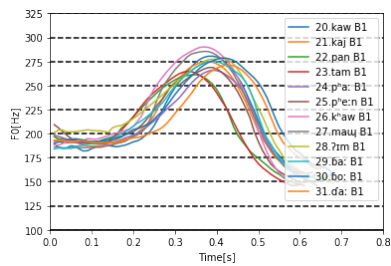
DS1'



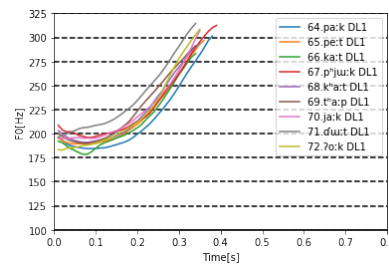
A2



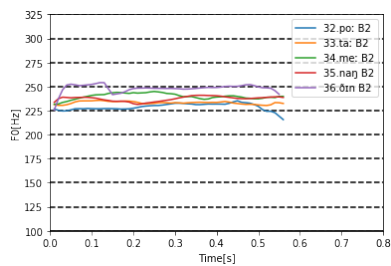
DS2



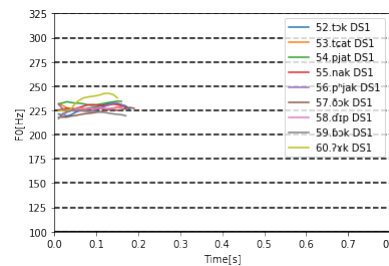
B1



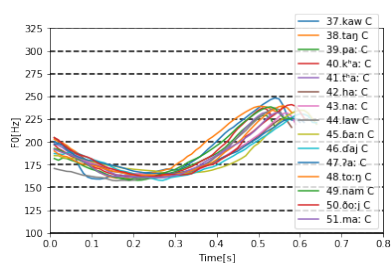
DL1



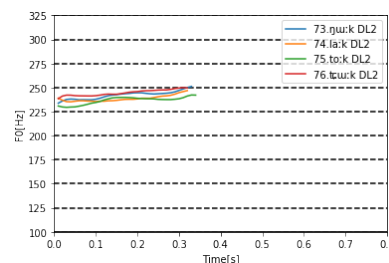
B2



DS1



C



DL2

図 2-1 各声調の F0 曲線

B1 声調は、次低域（200Hz）あるいはその以下に始まり、少し時間をかけて高域（250 Hz 以上）まで上昇してから低域まで下降する。持続時間が他の声調に比べて長い。黄（2018: 345）では聴覚印象に基づいて調値を[241]としているが、高域まで上昇しているという分析結果に基づいて調値を[251]に記述した方がより適切である。したがって、図 2-1（B1）で示すように、B1 声調は概ね調値が[251]の上昇下降調と言える。

B2 声調は、中域（225Hz）から始まり、そのまま平らに持続する。図 2-1（B2）で示すように、概ね調値が[33]の中平調と言える。

C 声調は、次低域（200Hz）あるいはその以下に始まり、低域まで下降して中域まで緩やかに上昇する。谷底が中央にある谷型である。全ての語の語末に声門閉鎖が伴われるために、語末に少し下降が観察されている。図 2-1（C）で示すように、C 声調は概ね調値が[213]の下降上昇調と言える。

DS1' 声調は、促音節短母音声調で、F0 値の領域は常に 250Hz 以上の高域内にあり、持続時間は短い。上昇は常に高域内で実現するために、概ね調値が[45]の促音節短母音の高昇調と言える。

DS1 声調は、促音節短母音調で、中域（225 Hz）に始まり、そのまま平らに持続する。持続時間は後述の促音節長母音調のほぼ半分となり、平音節の B1 声調の持続時間の半分に及ばないが B1 の調値とほぼ同じである。したがって、図 2-1（DS1）で示すように、DS1 声調は概ね調値が[33]の促音節短母音の中平調と言える。

DL1 声調は、促音節長母音調で、次低域（200Hz）あるいはその以下に始まり、高域（250 Hz 以上）の高い領域まで上昇する。黄（2018:345）では聴覚印象に基づいて調値を[24]としているが、高域の高い領域まで上昇しているという分析結果に基づいて調値を[25]にすべきである。図 2-1（DL1）で示すように、DL1 声調は概ね調値が[25]の上昇調と言える。

DS2 声調は、促音節短母音調で、中域（225 Hz）に始まり、そのまま低域まで下降する。持続時間は同じく促音節短母音調の DS1 声調とほぼ同じであり、調値は平音節の A2 声調とほぼ同じである。したがって、図 2-1（DS2）で示すように、DS2 声調は概ね調値が[31]の促音節短母音の中降調と言える。

DL2 声調は、促音節長母音調で、中域（225Hz）から始まり、そのまま平らに持続する。平音節の B2 と促音節短母音の DS1 声調とほぼ同じ調値で実現する。したがって、図 2-1（DL2）で示すように、DL2 声調は概ね調値が[33]の促音節長母音の中平調と言える。

2.4 考察及び声調分類の試み

2.4.1 各声調の本質的な特徴

本節の目的は平音節と促音節における各声調の本質的な特徴を明らかにすることと、対立する 10 個の声調をより簡潔に解釈することである。

各声調の本質的な特徴を明らかにするために、音節内における各声調の F0 曲線を声調別に検討する。すなわち、韻全体 (rhyme) の F0 と主核母音 (vowel) 区間の F0 を計測し、その特徴を見出す。平音節と促音節それぞれは、1 の声調につき調査語 3 語⁸³ (開音節で長母音を伴う語 1 つ、閉音節で長母音を伴う語 1 つ、閉音節で短母音を伴う語 1 つ) を用意する。5 つの声調で合計 15 語 (5 声調×3 語=15 語) である。各声調の弁別の特徴を明らかにするために、ほぼ同じ条件で比較されるような最小対を選ぶ⁸⁴。選んだすべての語は自立語である。

また、頭子音の F0 が大きな誤差を生むことを避けるために、始端は母音始端とし、終端は音節終端 (平音節かつ開音節の場合は母音終端、平音節かつ閉音節の場合は末尾子音終端、促音節の場合は母音終端) とする。子音の部分で F0 値が計測できなくなることを避けるためには、頭子音は F0 が途切れることのない子音、すなわち声帯振動を伴う子音である (さらに共鳴音である鼻音または接近音である) ことが望ましい。しかし、促音節では頭子音が有声かつすべての声調が揃うような最小対は存在しないために、すべての声調が揃う、非帯気閉鎖音が頭子音の語で最小対を選んだ。なお、平音節は有声音のうち、頭子音が鼻音ですべての声調が揃うような最小対を選び、母音は広母音の/a/で統一した。調査用の語彙一覧を表 2-10 に示す。

さらに、平音節語の韻と母音区間のそれぞれの F0 曲線を図 2-2 に示す。促音節語は頭子音と内破音である末子音の F0 が大きな誤差を生むことを避けるために、母音区間の F0 のみを計測し、図 2-3 に示す。

⁸³ 平音節の 5 つの声調を揃って母音の長短で対立する最小対の数に限りがあるためである。

⁸⁴ しかし、C 声調に関してはどうしても鼻音の /n/ で終わる閉音節で長母音を伴う語と閉音節で短母音を伴う語の最小対が見つからないために、語尾が同じ振る舞いをする鼻音の /m/ にした。

表 2-10 声調特徴を分析する一覧表

語彙 音節 構造	声調	調値	語彙
平音節	A1	45	/ma:/[ma:]「犬」、/ma:n/[ma:n]「元金 ⁸⁵ を取り返す」、/man/[man]「人民元の単位（元）」
	A2	31	/ma:/[ma:]「来る」、/ma:n/[ma:n]「腕白な」、/man/[man]「タピオカ」
	B1	251	/ma:/[ma:]「浸す」、/ma:n/[ma:n]「子供が作れない女性・雌性動物」、/man/[man]「堅固な」
	B2	33	/ma:/[ma:]「痺れる」、/ma:n/[ma:n]「ゆっくりと」、/man/[man]「呪われる ⁸⁶ 」
	C	213	/ma:/[ma:]「馬」、/ma:m/[ma:m]「脾臓」、/mam/[mam]「（口を）閉じる」
促音節	DS1'	45	/pak/[pak]「北、北方」、/tak/[tak]「徳、道徳」、/kap/[kap]「オオヤモリ」
	DS1	33	/pak/[pak]「挿し込む」、/tak/[tak]「盛りつける」、/kap/[kap]「蛙」
	DS2	31	/pak/[pak]「疲れる」、/tak/[tak]「（毛糸で）編む」、/kap/[kap]「捕まる」
	DL1	25	/pa:k/[pa:k]「口」、/ta:k/[ta:k]「竹の籤 ⁸⁷ 」、/ka:p/[ka:p]「繫げる」
	DL2	33	/pa:k/[pa:k]「狂う」、/ta:k/[ta:k]「測量する」、ka:p/[ka:p]「提携する」

図 2-2 (A1-a) から分かるように、A1 声調の F0 曲線は語によって多少の差異はあるものの、末子音の有無を問わず、また母音の長短を問わず、F0 が高域まで上昇してから低域まで下降する点はおおよそ等しい。言い換えると、平音節では末子音の有無あるいは母音の長短

⁸⁵ 一般的に賭博やビジネスで負けた元金を指す。

⁸⁶ 蠱毒（こどく）という呪術で呪われること、あるいは蠱毒に撒かれたことを指す言葉である。蠱毒（こどく）とは虫などの動物を使った呪術の一種である。蠱道（こどう）、蠱術（こじゅつ）、巫蠱（ふこ） などともいう。人がこの毒に当たると、症状はさまざまであるが、毒を撒いた人から解毒薬がもらえない場合、一定期間のうちに命が落とされる。

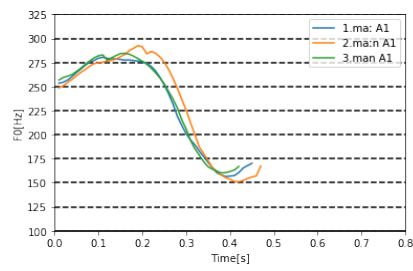
⁸⁷ 外側の皮が付かない白い竹の籤を指す。

は A1 声調を弁別する要素ではない。しかし、図 2-2 (A1-b)の母音区間の F0 に注目すると、閉音節では母音の長短を問わず声調の最高点まで上昇する特徴がある。下降は末子音区間で開始され、母音区間では下降が行われない。F0 曲線上の下降開始点が末尾子音の始端付近に同期しているという特徴がある。すなわち、A1 声調の「高昇」という特徴を反映し、その末子音は A1 声調の「下降」する働きを担う。一方、開音節には末子音が存在しないために長母音が「高昇」及び「下降」という 2 つの役割を担うために、閉音節の長母音よりも長く継続する。何れにせよ、A1 母音区間における (F0 の) 特徴は声調の高域まで上昇することである。

図 2-2 (A2-a)では A2 声調のいずれも中域から低域まで下降する、末子音の有無を問わず、また母音の長短を問わず、その F0 曲線がほぼ重なっている。図 2-2 (A2-b)の母音区間の F0 を見ると、閉音節の母音は中域から低域の途中まで下降している。開音節の長母音は中域から低域まで下降する働きをし、継続時間は平音節の母音より長い。下降開始点は、末子音を伴う場合でも母音区間内に現れている。この点、子音区間に下降開始点がある A1 声調とは異なる特徴を持つ。A2 声調における母音の共通点は声調の中域から下降することである。

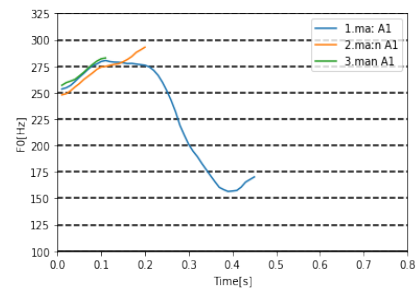
図 2-2 (B1-a)によると、B1 声調の閉音節で長母音を伴う語の開始 F0 値がやや低い。また、閉音節で長母音を伴う場合は他の音節と同じくしばらく平らに持続するが、上昇が少し遅れ、他の音節より高域まで上昇している。B1 声調の母音の共通な特徴は平らに持続してから上昇する兆しを示すことである。

韻区間の F0 曲線

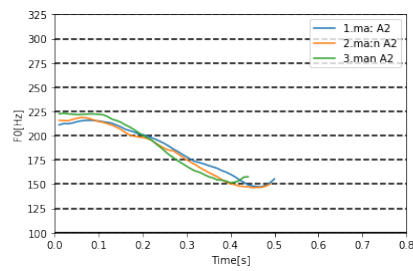


A1-a

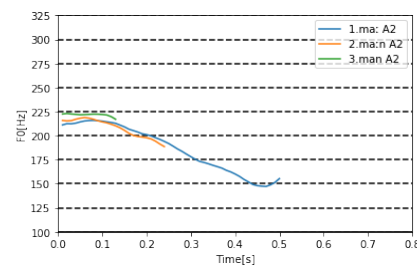
母音区間の F0 曲線



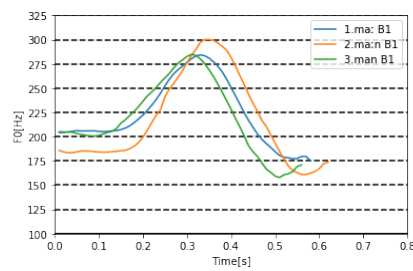
A1-b



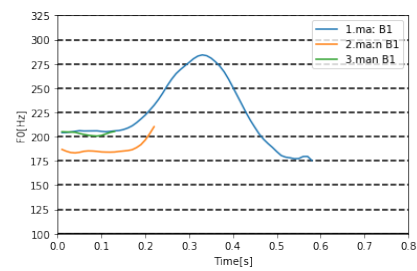
A2-a



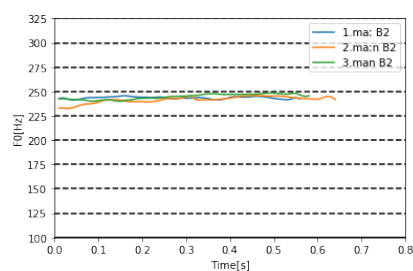
A2-b



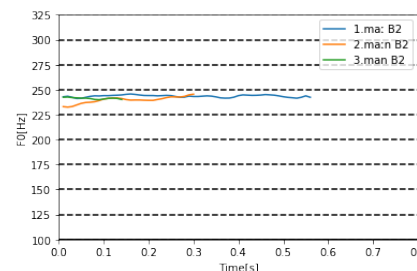
B1-a



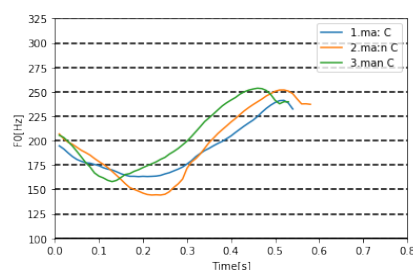
B1-b



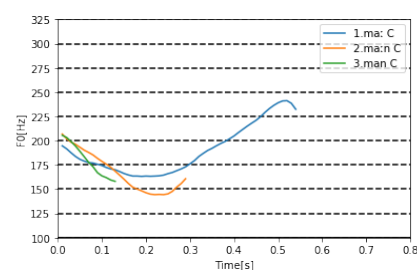
B2-a



B2-b



C-a



C-b

図 2-2 平音節における声調のピッチ特徴

図 2-2 (B2-a)から分かるように、B2 声調において末子音の有無を問わず、また母音の長短を問わず、その F0 曲線がほぼ同じである。開音節の長母音の継続時間は閉音節の長母音のそれよりも約倍長く、閉音節の長母音の継続時間は閉音節の短母音のそれよりも約 2 倍長い。三者の異なる点は持続する時間の長さにあるが、B2 声調における母音はいずれも中域からそのまま平らに持続するという共通点がある。

C 声調は末子音の有無を問わず、また母音の長短を問わず、語末に声門閉鎖が伴う。図 2-2 (C-a)によれば、C 声調の開始 F0 値は大体 200Hz であるが、閉音節で短母音を伴う場合は他の音節よりやや早く下降して早く上昇する。閉音節で長母音を伴う場合は他の音節より低く下降するが、他の音節と大体同じ高さまで上昇する。図 2-2 (C-b)の母音区間の F0 を観察すると、開音節の長母音は下降してから音節末まで上昇するが、閉音節の長母音が下降して上昇し始めたばかりのところで末子音がくる。一方、閉音節の短母音が下降して上昇しようとするところを見せたところに末子音が後続する。したがって、C 声調の母音は低域まで下降して上昇するあるいはしようとする特徴を持つ。

以上の計測結果によって観察された各声調の特徴を表 2-11 に纏めて示す。

表 2-11 平音節の各声調における母音区間のピッチ特徴

声調	特徴	図示
A1	高域まで上昇する	
A2	中域から下降する	
B1	平らに持続して上昇する	
B2	平らに持続する	
C	下降して上昇（しよう）する	

促音節における各声調の母音区間の F0 を抽出し、以下図 2-3 のようにグラフ化した。

図 2-3 によると、促音節における各声調の母音区間のピッチ特徴は長母音が短母音の約 2 倍となっている。

DS1'声調は、高域から声調の最高点まで上昇する特徴がある。平音節の A1 声調と同じような「高昇」という特徴を反映している。

DS1 と DL2 声調の母音区間の F0 は母音の長短に関わらず、どの語でもほぼ平らに持続する。平音節の B2 声調と同じく母音が中域からそのまま平らに持続するという点で共通である。

DS2 声調は、開始 F0 が第 3 節で観察された開始 F0 値 200～225Hz よりやや低くなっているが、低域までに下がっている点は変わらない。母音区間の F0 が平音節の A2 声調と共通点

があり、いずれの母音も中域から下降する。

DL1 声調は、しばらく平らに持続してから高域まで上昇している。平音節の B1 声調と共通した特徴を持つことが分かる。

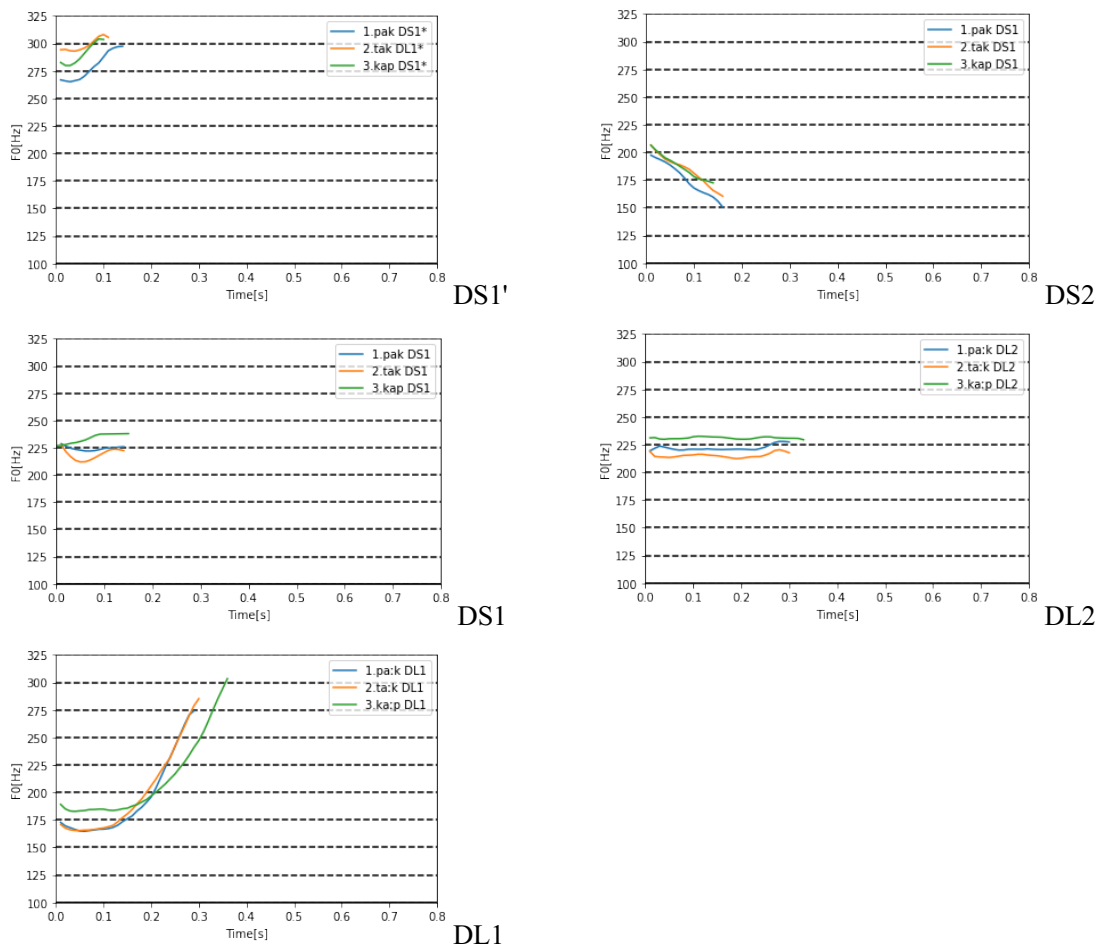


図 2-3 促音節における声調のピッチ特徴

以上の計測結果によって観察された各声調の特徴を表 2-12 に纏めて示す。

表 2-12 促音節の各声調における母音のピッチ特徴

声調	特徴	図示
DS1'	高域まで上昇する	
DS2	中域から下降する	
DL1	平らに持続して上昇する	
DS1、DL2	平らに持続する	

2.4.2 声調分類の試み

声調の数をどのように数えるかは、用いられる枠組みによって異なる。広西語委研究室編（1994）の声調表記は、中国語学の枠組みにしたがって、調類（tonal category、声調の種類）という概念を用いている。この枠組みでは、同じ調値⁽¹⁰⁾（tonal value、声調の実現値、ピッチパターン）を持つ声調でも、音節構造（平音節あるいは促音節）、または母音の長短が異なれば、それぞれを別の声調、すなわち調類と見なす。本論文における A, B, C, D 等のアルファベットを用いた声調表記も同様である。この枠組みでは、A, B, C は平音節の声調を、D は促音節の声調を表しており、声調の分類に音節構造の違いという基準が用いられている。促音節の声調はさらに DS と DL に下位分類される。前者は短母音を伴う促音節の声調であり、後者は長母音を伴う促音節の声調であり、したがって促音節の声調の分類に、母音の長短という基準が用いられている。後述するように、例えば龍茗方言の B2, DS1, DL2 はほぼ同一の調値を持つが、音節構造の違いによって B2 と DS1, DL2 とに分類され、後者は母音の長短によって DS1 と DL2 とに分類される。

本節では新たに、もっぱら調値に基づいて、龍茗方言の声調の分類を試みる。伝統的な枠組みを用いると、龍茗方言には、先述の通り、平音節に 5 つの声調、促音節に 5 つの声調、合計 10 個の声調が観察されることになる。しかしながら、音節構造および母音の長短に関わらず、同じ調値を持つ声調を同一の声調とみなすことで、声調の数は 10 から 5 に減じられる。

前出の図 2-1 において各声調を比較すると、A2 は DS2 とほぼ同じ調値（31）であり、B2 は DS1 と DL2 と同じ調値（33）であることが分かる。これらを音節構造の違いによる条件異音であり、本論文の提案する新たな枠組みにしたがうと、A2 と DS2 は調値 31 を持つ同一の声調であり、B2 と DS1 と DL2 は調値 33 を持つ同一の声調とみなすことができる。

加えて、まったく同じ調値を持つわけではないが、A1（451）と DS1'（45）のペア、および B1（251）と DL1（25）のペアのピッチ曲線が顕著に類似している。これらも音節構造の違いによる条件異音であると解釈する。こうすることによって A1 と DS1' は同じ声調であり、B1 と DL1 は同じ声調であると解釈される。表 2-14 に示す声調の最小対とその F0 曲線（図 2-4）も積極的にこの解釈支持する。

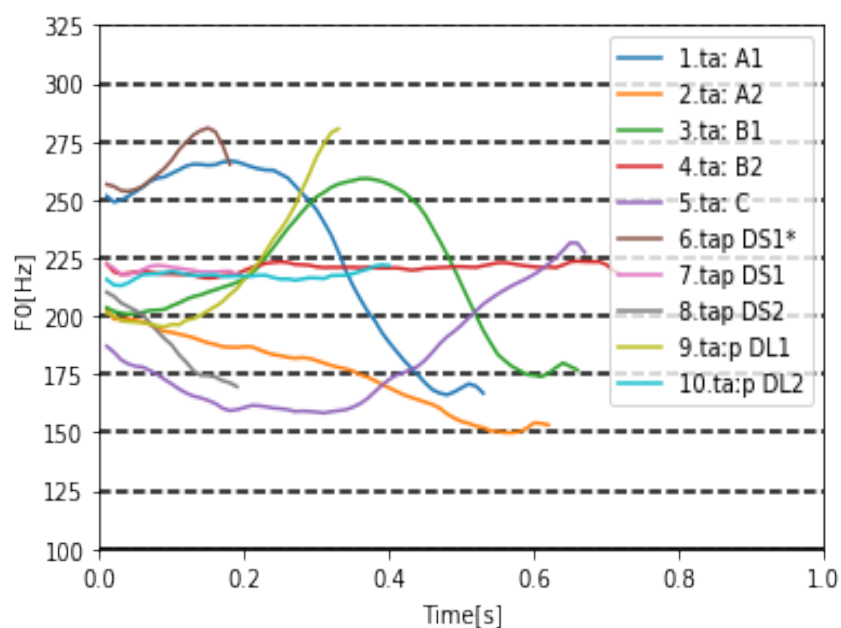


図 2-4 単音節声調の最小対の F0 曲線

表 2-14 単音節声調の最小対一覧表

声調・語彙 音節構造	番号	声調	調値	語彙
平音節	1	A1	451	/ta:/[ta:]「はたく」
	2	A2	31	/ta:/[ta:]「塗る」
	3	B1	251	/ta:/[ta:]「(母方の) 祖父」
	4	B2	33	/ta:/[ta:]「川」
	5	C	213	/ta:/[ta:]「物を数える単位、10 個の 1 組」
促音節	6	DS1'	45	/tak/[tak]「徳、道徳」
	7	DS1	33	/tak/[tak]「盛りづける」
	8	DS2	31	/tak/[tak]「(毛糸で) 編む」
	9	DL1	25	/ta:k/[ta:k]「竹の籤 ⁸⁸ 」
	10	DL2	33	/ta:k/[ta:k]「測量する」

これまで観察された龍茗方言の声調をまとめると下の表 2-15 のようになる。

⁸⁸ 外側の皮が付かない白い竹の籤を指す。

表 2-15 龍茗方言の声調体系

声調番号	声調型	調値	平音節	促音節 (短母音調)	促音節 (長母音調)
第 1 声調	高昇下降・高昇調	451～45	A1	DS1'	
第 2 声調	中降調	31	A2	DS2	
第 3 声調	上昇下降・上昇調	251～ 25	B1		DL1
第 4 声調	中平調	33	B2	DS1	DL2
第 5 声調	下降上昇調	213	C		

2.5 龍茗方言の声調に関する通時的な考察

現在までに調査された 58 地点のチワン語諸方言のほとんどにおいて、平音節には 6 声調 (A1, A2, B1, B2, C1, C2)、促音節には 4 声調 (DS1, DS2, DL1, DL2)、合計 10 声調が認められる (広西 1994:18-20)。しかし、龍茗方言は多くのチワン語諸方言と比較して、平音節の声調の数が 1 つ少なく、促音節の声調の数が 1 つ多い。すなわち、龍茗方言は他のチワン語諸方言と異なる声調体系を有する。龍茗方言にはどのような変化が起きたのだろうか。本節では龍茗方言の声調に関する通時的な変化を考察する。タイ諸語一般における声調の通時的研究に基づき、分析を行う。

2.5.1 Li(1977) の枠組みに基づく考察

第 1 節で述べたように、李方桂 (Li1977) は、タイ祖語の声調に *A, *B, *C, *D の 4 種類を再建している。すなわち、平音節には 3 種類の声調 *A, *B, *C、促音節には 1 種類の声調 *D があると推定している。祖語におけるこれら四つの声調が、語頭の有声性に基づいて分裂を起こし、その数を最大 8 倍すなわち祖語における数の倍 (A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2) 一にまで増やした (1 は祖語における無声、2 は祖語における有声を表す)。促音節ではさらに、母音の長短に条件付けられた分裂が生じ、声調の数が増加した (DS1, DS2, DL1, DL2) (S は祖語における短母音、L は祖語における長母音を表す)。ここでは定説である Li (1977) の研究成果に基づいて龍茗方言の声調変化を考察してみる。

Li (1977: 25-28) がタイ祖語の声調体系を考察する際に用いた調査表の表 2-7a と表 2-7b を再び思い出されたい。表 2-7a と表 2-7b における各方言の声調をタイ祖語の声調体系と対照させたのが表 2-16 である。

表 2-16 各方言とタイ祖語の声調体系照合表

言語	声調									
タイ祖語	*A		*B		*C		*D			
シャム語	A1	A2	B1	B2	C1	C2	DS1	DS2	DL1	DL2
	A2									
龍州方言	A1	A2	B1	B2	C1	C2	DS1	DS2	DL1	DL2
剥隘方言	A1a	A2	B1	B2	C1	C2	DS1	DS2	DL1	DL2
	A1b						DS2			
龍茗方言	A1	A2	B1	B2	C		DS1	DS2	DL1	DL2
	A2									

現代シャム語（タイ王国の公用語）、チワン語剥隘方言（北方方言の桂辺方言の一つ）、チワン語龍州方言（南方方言の左江方言の一つ）と龍茗方言の比較によれば、龍茗方言の平音節において、祖語の声調*A, *B は分裂を起こしているが、声調*C は分裂を起こしておらず、平音節の声調の数が他方言より少ないことに注目せよ。表中にはセルが上下に分割されているものがあるが、これは当該セルの上部にある声調が、さらなる変化を経験することによって、上下の2つの声調に分裂したことを意味する。例えば、シャム語と龍茗方言の場合は、*A 声調が分裂を起こして A1 と A2 声調になった後、A1 声調がさらに分裂を起こして2つの声調となった。この時、もともと A1 であった語の一部には声調変化が生じなかったのに対して、残りの語には声調変化が生じたわけであるが、後者の語の声調の調値は、A2 と同じものへ変化したために、A2 と合流することになった。剥隘方言の場合は、もともとの A1 声調に分裂が生じたが、他の声調と合流することはなかった。そのため、声調の数が1つ増加する結果となった。

祖語の声調*C に分裂が生じていないという点において、龍茗方言は祖語の体系をより忠実に保持する古風な声調体系を持つといえる。しかし、Li (1977) の枠組みに基づくだけでは促音節の声調の数が他方言より1つ多い理由は不明である。

2.5.2 Gedney (1989) の枠組みに基づく考察

このような現代タイ諸語の諸方言における複雑な声調の分裂や合流を捉えるために、Gedney は Li (1977) の枠組みを改定し、新たな声調体系を提示した。

Gedney (1989) はタイ祖語の平音節には3種類の声調*A, *B, *C が対立し、促音節には祖語の段階で母音の長短によって*DS（短母音）や*DL（長母音）の2種類の声調があり、合計5

種類の声調があったと推定している。

Gedney は、再建されたこれらの 5 つの声調が現代のタイ諸語の諸方言において、複数の異なる声調へと分岐したと考えている。声調の分岐を条件付ける頭子音のクラスとして有声と無声のみを想定していた李とは異なり、Gedney は voiceless friction sounds、voiceless unaspirated sounds、glottal sounds、voiced の 4 種類を再建している⁹⁰。したがって、祖語で 5 であった声調の数は、頭子音のクラスに基づく分裂によって、最大 20 まで増加し得ることになる (Gedney1989: 202)。

Gedney の枠組みは西南タイ諸語 (SWT) の諸方言 (シャム語、ラーオ語など) の声調研究に広く使われている。そして、タイ祖語の時点で声調が上記四つの音声的条件によって 2 つあるいは 3 つの異なる調値の声調に分裂し、さらに他のグループと合流する場合をも説明することが可能となる。したがって、単に頭子音の有声性によって声調が分裂するとした李の理論より妥当性があると評価されている (Liao2016:14-16)。また、柳村 (2012:75-76) は、Gedney の枠組みに基づいて、ラーオ語のビエンチャン方言の声調の分岐や合流の様子を分析しており、ビエンチャン方言における声調の分裂と合流の過程を明らかにしている。

このように、Gedney の枠組みは西南タイ諸語 (SWT) における声調の分裂や合流を解釈するのに優れているのだが、一部の現代中央タイ諸語 (CT) 及び北部タイ諸語 (NT) については、その複雑な声調変化と頭子音の関連性 (主に「Voiceless friction」の子音グループ) を説明しきれない短所があるとも指摘されている⁹¹ (Liao2016: 16-20)。しかし、Li (1977) の枠組みに基づくだけでは龍茗方言の声調体系や声調交替のプロセスを説明できないために、本論文においても Gedney の枠組みに基づいて、龍茗方言の分析を試みる。

Gedney の枠組みを表 2-17 に示す。Gedney はタイ諸語における声調体系を記述するための枠組みを「Tone Box」と名付けた。表 2-17 の列は、タイ祖語における音節構造と 5 つの声調カテゴリー、すなわち平音節に現れる 3 つの声調 *A, *B, *C と、短母音促音節の声調 *DS 長母音促音節の声調 *DL を表す。行は、声調の分岐を条件付ける 4 つの頭子音クラスを表す。各セルの中数字は、列にあるそれぞれの声調カテゴリーが行にあるそれぞれの頭子音クラスによって変化で生じた声調を表す。例えば、*A 声調が有声音の頭子音クラスによって変化で生じた声調を 4 とし、*B 声調が有声音の頭子音クラスによって変化で生じた声調を 8 とする。

⁹⁰ なお、柳村 (2012 : 75) はこの 4 種類の頭子音に無声有気音、無声無気音、前声門化音、有声音という用語を使用している。

⁹¹ Gedney (1989: 204) も、自分の枠組みに当該の問題があることを認識している。具体的には、ベトナム北部のノン語 (Nung, CT の 1 つ) 及びタイ国のセック語 (Sack, NT の 1 つ) において 4 つの頭子音グループだけでは、声調変化と頭子音の関連性を知るのに不十分であると明確に示している。

Gedney の Tone Box で用いられた調査表を表 2-18 に示す。なお、シャム語の語形は Gedney によるものであるが、シャム語の調値は筆者によるものである。龍茗方言は音素表記である。

表 2-17 Gedney の Tone Box (Gedney 1989:202-204 による)

音節構造とタイ 祖語の声調 頭子音	平音節			促音節	
	*A	*B	*C	*D	
				*DS	*DL
Voiceless friction sounds ⁹² , *s-, *hm-, *ph-, etc.	1	5	9	13	17
Voiceless unaspirated stops ⁹³ , *p-, *t-, *k-, etc.	2	6	10	14	18
Glottal ⁹⁴ *ʔ-, *ʔb-, etc.	3	7	11	15	19
Voiced ⁹⁵ *b-, *m-, *l-, *z-, etc.	4	8	12	16	20

表 2-18 Gedney の Tone Box 調査語彙一覧表

祖語 声調	Box 番号	番号	英語	日本語	シャム語 (Siamese)	龍茗方言 (Longming)
*A	Box1	1	ear	耳	huu 25(A1)	ɔ̃rw 451(A1)
		2	leg	足	khaa 25(A1)	k ^h a: 451(A1)
		3	head	頭	hua 25(A1)	t ^h u: 451(A1)
	Box2	4	year	年	pīi 33(A2)	pɔ̃j 451(A1)
		5	eye	目	taa 33(A2)	t ^h a: 451(A1)
		6	to eat	食べる	kin 33(A2)	kin 451(A1)

⁹² Gedney の voiceless friction sounds という用語は無声摩擦音だけでなく、無声の鼻音・側面音や帯気音を含む概念である。Gedney の言う voiceless friction sounds とは、1)voiceless fricatives s, f, x, h; 2)voiceless aspirated stops such as ph, th, kh; 3)preaspirated or perhaps voiceless sonorants such as hm and hl. などである (Gedney 1989: 200-201)。

⁹³ 「無声非帯気音」である。

⁹⁴ 「声門音」あるいは「声門化音」である。

⁹⁵ 「有声音」である。

	Box3	7	to fly	飛ぶ	bin 33(A2)	ḃin 31(A2)
		8	red	赤い	dɛɛŋ 33(A2)	dɛ:ŋ 31(A2)
		9	star	星	daaw 33(A2)	d̥a:w 31(A2)
	Box4	10	hand	手	mii 33(A2)	mɪuɣ 31(A2)
		11	water buffalo	水牛	khwaay(A2)	wa:j 31(A2)
		12	rice field	畑、水田	naa 33(A2)	na: 31(A2)
*B	Box5	13	egg	卵	khay 11(B1)	raj 251(B1)
		14	to split	割る	phaa 11(B1)	p ^h a: 251(B1)
		15	knee	膝	khaw 11(B1)	k ^h aw 251(B1)
	Box6	16	forest	林、森林	paa 11(B1)	pa: 251(B1)
		17	chicken	鶏	kay 11(B1)	kaj 251(B1)
		18	old	老けた、古い	kɛɛ 11(B1)	ke: 251(B1)
	Box7	19	shoulder	肩	baa 11(B1)	ḃa: 251(B1)
		20	young man	男の子	baaw 11(B1)	ḃa:w 251(B1)
		21	to scold	叱る	daa 11(B1)	d̥a: 251(B1)
	Box8	22	older sibling	年上の人	phii 41(B2)	pxj 33(B2)
		23	father	父	phɔɔ 41(B2)	po: 33(B2)
		24	dry field	乾燥地	ray 41(B2)	raj 33(B2)
*C	Box9	25	rice	米	khaw 41(C1)	k ^h aw 213(C)
		26	shirt	シャツ	sia 41(C1)	θur: 213(C)
		27	to kill	殺す	khaa 41(C1)	k ^h a: 213(C)
		28	fever	発熱	kyay 41(C1)	raj 213(C)
		29	five	五	haa 41(C1)	ha: 213(C)
	Box10	30	aunt(old sister of either parent)	両親の姉	paa 41(C1)	pa: 213(C)
		31	rice seedlings	秧	klaa 41(C1)	kja: 213(C)
		32	to boil	煮る、茹でる	tom 41(C1)	tɪm 213(C)
	Box11	33	crazy	狂う	baa 41(C1)	ḃa: 213(C)
		34	village	村	baan 41(C1)	ḃa:n 213(C)
		35	to open(the	開く	?aa 41(C1)	?a: 213(C)

			mouth)			
	Box12	36	water	水	nam 453(C2)	nam 213(C)
		37	younger sibling	年下の人	no:ŋ 453(C2)	no:ŋ 213(C)
		38	wood	木	may 453(C2)	maj 213(C)
		39	horse	馬	maa 453(C2)	ma: 213(C)
*DS	Box13	40	flea	ノミ	mat 11(DS1)	mat 33(DS1)
		41	cooked, ripe	熟した	suk 11(DS1)	θuk 33(DS1)
		42	vegetable	野菜	phak 11(DS1)	p ^h jak 33(DS1)
	Box14	43	frog	蛙	kop 11(DS1)	kap 33(DS1)
		44	liver	肝臓	tap 11(DS1)	tap 33(DS1)
		45	to hurt	痛める	cep 11(DS1)	cap 33(DS1)
	Box15	46	fishhook	釣り針	bet 11(DS1)	βjat 33(DS1)
		47	raw, unripe	生の	dip 11(DS1)	dip 33(DS1)
		48	the chest	胸	ʔak 11(DS1)	ʔk 33(DS1)
	Box16	49	bird	鳥	nok 45(DS2)	nok 31(DS2)
		50	to tie up	絞る	mat 45(DS2)	rat 31(DS2)
		51	to steal	盗む	lak 45(DS2)	lak 31(DS2)
*DL	Box17	52	broken, torn	使い古した、すり切れた	khaat 41(DL1)	k ^h a:t 25(DL1)
		53	the gums	歯茎	ŋjak 41(DL1)	hu:k 25(DL1)
		54	to carry on a shoulder pole	天秤棒で担ぐ	haap 41(DL1)	t ^h a:p 25(DL1)
	Box18	55	the lungs	肺臓	poot 41(DL1)	pɔt 33(DS1)
		56	wing	翼	piik 41(DL1)	pik 33(DS1)
		57	to pound	連打する	took 41(DL1)	to:k 25(DL1)
	Box19	58	sunshine	日光	dɛet 41(DL1)	dɛ:t 25(DL1)
		59	to bathe	シャワーを浴びる	ʔaap 41(DL1)	ʔa:p 25(DL1)
		60	flower	花	dook 41(DL1)	βjo:k 25(DL1)
	Box 20	61	knife	ナイフ	miit 453(DL2)	mit 33(DS1)

	62	(one's)child	子供	luuk 453(DL2)	luk 33(DS1)
	63	blood	血液	liat 453(DL2)	lu:t 33(DL2)
	64	outside	外	no:k 453(DL2)	no:k 33(DL2)

表 2-18 に挙げている Gedney の調査語彙一覧表に基づいて、タイ祖語の 5 つの声調カテゴリと 4 つの頭子音クラスの組み合わせで龍茗方言の声調体系を確認したが、龍茗方言には促音節の声調の数が他方言より 1 つ多い理由は依然として不明である。

龍茗方言の声調はどのように変化してきたのかについても考察を行った。Gedney の Tone Box を用いると、第 1 節の 1.1 で Li (1977) の枠組みでは十分に説明できなかった A1 声調の分裂の条件を明らかにすることができるようになる。龍茗方言における声調変化を検討するにあたって最も重要となる Gedney の提案は、glottal (声門化音) を潜在的な分裂の条件の 1 つとして位置づけたことにある。龍茗方言における祖語の *A の分裂の条件は、無声音 (1 voiceless friction sounds と 2 voiceless unaspirated stops) かそれ以外 (3 glottal と 4 voiced) かであり、*A の分裂に関する限り、声門化音は有声音と同一の環境を形成する。一方、祖語の *B の分裂の条件は、有声音 (8 voiced) かそれ以外 (5 voiceless friction sounds と 6 voiceless unaspirated stops と 7 glottal) かであり、*B の分裂に関する限り、声門化音は無声音と同一の環境を形成する。*D の分裂の条件も *B の場合と同様である。龍茗方言におけるこのような分裂は、声門化音を分裂の条件として独立させる Gedney の枠組みを用いてはじめて説明することができる。

ところで、Gedney の tonebox を龍茗方言との対応で見ると、いくつか興味深い点がある。Gedney によると、Box18 には祖語において頭子音が voiceless friction sounds でありかつ声調が *DL (すなわち祖語において長母音を含む促音節に現れる声調) であるものが、Box20 には祖語において頭子音が voiced でありかつ声調が *DL であるものが含まれるはずである。すなわち、現代のタイ諸語において Box18 は DL1、Box20 は DL2 で実現することが期待される。しかしながら、龍茗方言においてはその期待から外れた声調の実現を示す語が少数ながら存在する。たとえば、Box18 の 55 番 /pɹt/ 「肺臓」と 56 番 /pik/ 「翼」は龍茗方言においてはそれぞれ DS1 で実現し、Box20 に含まれる 61 番 /mit/ 「ナイフ」と 62 番 /luk/ 「子供」も、龍茗方言において DS1 で実現する。

Pittayaporn (2009) によるタイ祖語の再建形のリストによると、56 番 /pik/ 「翼」については、祖語の再建形は *pi:k であり、長母音を持っていたことが分かる。すなわち、龍茗方言においてはこの語は長母音が短母音になるという例外的な変化を経たと考えられる。しかし、55 番 /pɹt/ 「肺臓」と 61 番 /mit/ 「ナイフ」については Pittayaporn (2009) によるとそれぞれ *pwɹt (55 番) と *mit (61 番) と再建され、祖語の段階で短母音であったことが分かる。こ

れは、Box18 も Box20 も祖語において長母音をもっていたとする Gedney の理論と一致しないことになってしまう。ここから言えることは、1. Pittayaporn が当該の語の再建形を誤っている、2. Gedney が当該の語の再建形を誤っている、のいずれかである。1 の場合、やはり祖語から現代諸方言へと分岐する過程で、龍茗方言では長母音が短母音になるという例外的な変化が当該の語に生じたと考えねばならない。2 の場合、Gedney が各 Box に入れた語彙に再考の余地があることを示唆する。

表 2-19 Gedney の Tone Box による龍茗方言の声調の通時的な変化（1～20 の数字は Box の番号である。（）内は龍茗方言の声調名で、数字は当該声調の調値である）

音節構造とタイ 祖語の声調 頭子音	平音節			促音節	
	*A	*B	*C	*DS	*DL
Voiceless friction sounds *s-, *hm-, *ph-, etc.	1 (451A1)	5 (251B1)	9 (213C)	13 (33DS1)	17 (25DL1)
Voiceless unaspirated *p-, *t-, *k-, etc.	2 (451A1)	6 (251B1)	10 (213C)	14 (33DS1)	18 (25DL1) DL1=DS1
Glottal *ʔ-, *ʔb-, etc.	(31A2)	7 (251B1)	11 (213C)	15 (33DS1)	19 (25DL1)
Voiced *b-, *m-, *l-, *z-, etc.	3 (31A2)	8 (33B2)	12 (213C)	16 (31DS2)	DL2=DS1 20 (33DL2)

2.5.3 Liao (2016) の Tone Box に基づく考察

Gedney の Tone Box を用いて龍茗方言の通時的な変化をほとんど把握することができるが、タイ諸語の声調に関する最新の研究である Liao (2016)にも目を配りたい。Liao (2016) は、上述の Li (1977) 及び Gedney (1989) の枠組みには限界⁹⁶があると指摘し、新たな提案をしている。この提案（Liao 2016）はタイ諸語の3つの言語群（SWT, CT, NT）を網羅した

⁹⁶ Gedney (1989)の限界については Li (1977:19) の Table8 に参照されたい。*A は頭子音の有声性によって A1 と A2 に分裂するが、中央タイ諸語に属する徳保方言、文麻方言（チワン語南部方言）などの場合、A1 は声調頭子音が無声摩擦音のうちの帯気音グループに分裂し、A2 に合流している事実は Gedney (1989)の Tone Box では説明できないと指摘している。

42 地点のタイ諸語方言の声調を通時的に詳しく検討した結果に基づいている。Liao の枠組みを表 2-20 に示す。本論文ではこれを「Liao の Tone Box」と名付ける。

まず Liao (2016) は、タイ諸語の声調の分裂が頭子音の有声性によるとする Li (1977) の見解を踏襲する。また、タイ祖語の段階でタイ諸語の促音節の声調は、母音の長短によって *DS や *DL にすでに分裂しているとする点で Gedney (1989) と見解を共有する。Li (1977) と Gedney (1989) とが異なるのは、Liao (2016) はタイ諸語の声調が分裂する条件としてより複雑な頭子音の種類を想定している点にある。すなわち、無声帯気音 (Aspirated sounds)、無声非帯気音 (Unaspirated stops)、継続音 (Continuant sounds)、声門音 (Glottal sounds)、有声破裂音と継続音 (Plosives+Continuants) の 5 種類が想定されている。

表 2-20 の各行はタイ祖語の頭子音及び声調の分岐を条件付ける 5 つの頭子音クラスを表す。列はタイ祖語における音節構造と 5 つの声調カテゴリーである。各セルの中の A1-A などのような記号は、列にあるそれぞれの声調カテゴリーが行にあるそれぞれの頭子音クラスによって変化で生じた声調の名称である。セルの中の表記について、上述の Li (1977) の表記方法 (A1, B1, C1, DS1, DL1 など) の後に、声調の分岐を条件付ける 5 つの頭子音クラスの英語の頭文字が続く。例えば A1-A は *A 声調カテゴリーの A1 声調と帯気音 (Aspirated sounds: A) の組み合わせを指す。

表 2-20 Liao の Tone Box (Liao2016:211 による)

タイ祖語 の頭子音	音節構造とタイ 祖語の声調 分裂後の頭子音	平音節			促音節	
		*A	*B	*C	*D	
					*DS	*DL
*無声	Aspirated sounds p ^h -(f-), t ^h , k ^h , h- etc.	A1-A	B1-A	C1-A	DS1-A	DL1-A
	Continuant sounds n-, m-, ŋ-, w-, l- etc.	A1-C	B1-C	C1-C	DS1-C	DL1-C
	Unaspirated stops p-, t-, k-, tɕ- etc.	A1-U	B1-U	C1-U	DS1-U	DL1-U
	Glottal sounds ʔ-, ʔb-, ʔd-, ʔj-, ʔw- etc.	A1-G	B1-G	C1-G	DS1-G	DL1-G
*有声	Plosives+Continuants b-, d-, m-, l-, r- etc.	A2	B2	C2	DS2	DL2

Liao の Tone Box は、Gedney (1989) の Tone Box が適用できた SWT はもちろん、CT, NT の

声調変化と頭子音との関係性を説明するのに役に立つという (Liao2016:17)。しかし、この Tone Box で用いる具体的な調査語彙が示されていないのが不便である。そこで、筆者は (Liao2016) の付録にある語彙一覧表 (巻末の付録 1 にある「Liao の Tone Box 調査語彙一覧表」) を抜粋して祖語に遡ると思われる 157 語で龍茗方言の声調に関する考察を行った。

Liao の Tone Box 調査語彙一覧表で調査した結果、龍茗方言は Gedney (1989) の Tone Box に基づいた考察結果と同じであることを判明した。具体的な結果を表 2-21 に示す。

表 2-21 Liao の Tone Box による龍茗方言の声調の通時的な変化

タイ祖語 の頭子音	音節構造とタイ 祖語の声調 分裂後の頭子音	平音節			促音節	
		*A	*B	*C	*D	
					*DS	*DL
*無声	Aspirated sounds p ^h -(f-), t ^h , k ^h , h- etc.	451	251	213	33	25
	Continuant sounds n-, m-, ŋ-, w-, l- etc.	451	251	213	33	25
	Unaspirated stops p-, t-, k-, tɕ- etc.	451	251	213	33	25 DL1=DS1
	Glottal sounds ʔ-, ʔb-, ʔd-, ʔj-, ʔw- etc.	31	251	213	33	25
*有声	Plosives+Continuants b-, d-, m-, l-, r- etc.	31	33	213	31	DL2=DS1 33

2.5.4 DS1'声調の正体

以上はタイ諸語における声調の通時的研究の成果である Li (1977)、Gedney (1989)、(Liao2016) に基づいて、龍茗方言の声調を考察してみた。しかし、いずれの枠組みも龍茗方言の促音節の声調の数がなぜ他方言より 1 つ多い事実を説明することができない。したがって、龍茗方言の促音節の声調が 1 つ多い事実を説明するためには、分析語数を増やして、より詳細な検討を行う必要がある。

この目的のために、Pittayawat (2009) によって再建されたタイ祖語の語彙リスト (788 語) は有用である。この語彙リストには、龍茗方言の DS1' で実現する語として、以下の 2 語が含まれている。

(3) /θak/[θak] DS1' “plugged” 「妨げられる」⁹⁷

(4) /θuk/[θok] DS1' “tie, to” 「縛る」⁹⁸

語 (3) は Pittayawat (2009) に挙げられているタイ諸語⁹⁹ではすべて DS1 声調で実現する。語 (4) はタイ諸語の対応は複雑である。Pittayawat (2009) に挙げられているシャム語などの西南タイ諸語 (SWT) や中央タイ諸語 (CT) に属する CaoBang 方言では促音節長母音声調の DL1 で実現し、Shangsi 方言では促音節長母音声調の DL2、北タイ諸語 (NT) の Yay 方言では促音節長短音声調の DS2 で実現する。また、中央タイ諸語 (CT) に属する龍州方言では促音節長短音声調の DS1 で実現する。さらに、張均如等 (1999:744) によれば、中央タイ諸語 (CT) に属する硯広方言 (序章の地図 0-2 を参照) の下位にある広南や硯山方言などでは DS1 で実現することがわかる。すなわち、語 (4) のタイ諸語における対応は複雑であるが、中央タイ諸語 (CT) に属するチワン語南部方言の多くにおいて、龍茗方言の DS1 に対応する声調で実現されている。したがって、龍茗方言の DS1' 声調は、DS1 声調が何らかの要因によって分裂した結果生じた新しい声調である可能性が高いと言える。

DS1' 声調の発生の要因が何であるかをより詳細に検討するために、DS1' 声調で実現される龍茗方言の語を数多く収集した。その結果、龍茗方言において DS1' 声調で実現する語で使用頻度が高いものは、ほとんどの場合、同じく広西チワン族自治区で話されている粵語 (シナ・チベット語族・シナ語派) からの借用語であることが判明した。そのような語を表 2-22 に示す。

表 2-22 から分かるように、粵語からの借用語であり龍茗方言において DS1' 声調で実現されるものは、借用元の粵語の語形に分節音だけでなく声調も酷似している。声調については、龍茗方言の DS1' 声調 (調値 45) と粵語の第 1 声調 (調値 55、高平調、陰平/陰入) が対応している。粵語の第 1 声調は陰平/陰入とされるが、これは古漢語における陰類 (無声) の頭子音から発展してきた声調であることを意味する。龍茗方言には、DS1' を除くと、粵語の第 1 声調 (調値 55) に類似する声調が存在しない。DS1' 声調は、粵語の語 (第 1 声調) を借用するために、龍茗方言に新たに発生した声調である可能性も検討する価値があるだろう。あるいは単に、粵語を借用する以前から存在した DS1' 声調を、粵語を借用する際に利用しただけかもしれない。DS1' 声調が DS1 声調の変化によって生じた新しい声調であるのか、粵語

⁹⁷ Pittayawat (2009:347) の 490 番、祖語の形は *sak^A とされているが、*sak^D の誤植だと思われる。

⁹⁸ Pittayawat (2009:354) の 651 番、祖語の形は *cm.ruk^D と再建されている。なお、Shangsi 方言 (チワン語南部方言の上思方言) におけるこの語は /suk^{DL2}/ と表記されているが、これは誤植だと思われる。Pittayawat (2009) が引用している張均如等 (1999: 744) では Shangsi 方言におけるこの語を /su:k¹⁰/ と掲載されている。Pittayawat (2009) の表記法に従えば、/su:k^{DL2}/ となるべきである。

⁹⁹ Pittayawat (2009:347) では CaoBang 方言 (ベトナム北部のカオバン省の方言) や Shangsi 方言のみが挙げられている。CaoBang 方言や Shangsi 方言とも龍茗方言と同じく中央タイ諸語 (CT) に属する。

の語（第1声調）を借用する際に生じる新しい声調であるのか、現段階においては結論できない。

表 2-22 DS1'声調一覧表（粵語の出典は対応漢字の注を参照）

番号	龍茗方言	粵語	対応漢字
I	/tak/ DS1' 「徳、道德」	/tak ¹ / 「徳、道德」	徳 ¹⁰⁰
II	/fuk/ DS1' 「幸福（人名）」 ¹⁰¹	/fuk ¹ / 「幸福」	福 ¹⁰²
III	/hap/ DS1' 「虐める、脅かす」	/hap ¹ / 「虐める」	恰 ¹⁰³
IV	/lap/ DS1' 「竹で編んだ籠」	/lap ¹ / 「竹で編んだ笠；籠」	笠 ¹⁰⁴
V	/mak/ DS1' 「美貌」	/mak ¹ / 「容貌、様子」	嘜 ¹⁰⁵
VI	/pak/ DS1' 「北、北方」	/pak ¹ / 「北」	北 ¹⁰⁶
VII	/jik/ DS1' 「億」	/jik ¹ / 「億」	億 ¹⁰⁷

2.6 龍茗方言の音節の長さと声調の関係

龍茗方言の声調にはもう1つの特徴がある。それは音節の等時性（isochrony）と密接な関係があることである。すなわち、同じ声調である音節1つ分の長さ¹⁰⁸は、末子音の有無を問わず、また母音の長短を問わず、おおよそ等しい。ただし音節の等時性は、音節の単独発話においては、音響音声学的手法を用いる限り、平音節に関してのみ確認できる特徴である。促音節の場合、語末子音は無声の内破音であり、音響的には無音であるため、語末子音終端（すなわち音節の終端）が同定できない。促音節に関しては後に論じることとして、以下ではまず平音節の等時性を論じる。

平音節の3語、すなわち、開音節で長母音を伴う/ka:/A1「カラス」、閉音節で長母音を伴う/ka:n/A1「涸れる」、閉音節で短母音を伴う/kan/A1「尾行する」を例にとり、それぞれを対比

¹⁰⁰ 千島（2005:199）。

¹⁰¹ 「幸福」の意味を指す場合はDS1で実現するが、「幸福な意味を込めている人名」として使う場合はDS1'で実現して区別する。

¹⁰² 千島（2005:310）。

¹⁰³ 千島（2005:455）。

¹⁰⁴ 千島（2005:553）。

¹⁰⁵ 千島（2005:641）。

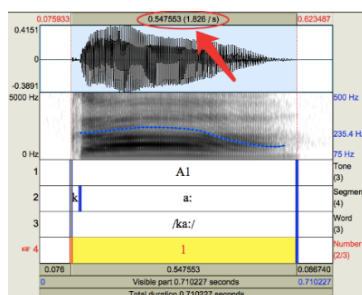
¹⁰⁶ 千島（1998:130）。

¹⁰⁷ 千島（2005:1094）。

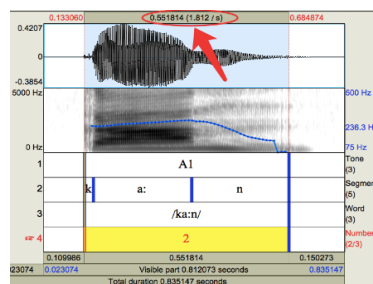
¹⁰⁸ 音節の長さ（syllable duration）は音節の継続の時間を指す。本論文では「音節長」という用語を使用する。すなわち、音節長は音節の初めから終わりまでで、頭子音がある場合は頭子音も含まれ、末子音がある場合は末子音も含まれる。

しょう（図 2-5）。これらの 3 語における子音・母音の長さの分布は、模式図的に、以下のよう
に示すことができる

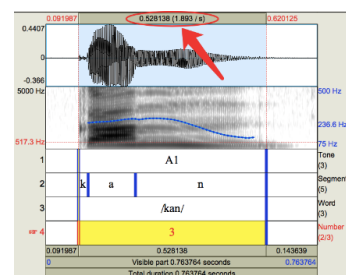
種類	音節の長さ		
長母音開音節	k	a:	
長母音閉音節	k	a:	n
短母音閉音節	k	a	n



/ka:/A1 「カラス」



/ka:n/A1 「涸れる」



/kan/A1 「尾行する」

図 2-5 平音節の音節長

すなわち、音節全体の長さ（あるいは韻全体の長さ）はおおよそ等しいが、核母音、末尾子音の長さが異なる。母音の長さは開音節の語が最も長く、次に長母音閉音節語、次に短母音閉音節語が続く。長母音閉音節語の母音の長さが短母音閉音節語より長いことは、長母音と短母音の対立の反映であることを考慮すれば、当然のことである。この環境における長母音と短母音の長さの比率はおおよそ 2 対 1（長母音は短母音の 2 倍の長さ）となっている。両者において末子音の長さがそれぞれ異なる事実は興味深い。すなわち、長母音閉音節語の末子音の長さは短母音閉音節語より短く、それによって音節全体の長さがおおよそ等しくなっている。この子音の長さの変動は、音節の長さを等しく保つ働きの反映であると解釈することができる。同じ長母音を有するにも関わらず、長母音開音節語の母音の長さが、長母音閉音節語より長い事実も、同様に音節の長さを等しく保つ働きの反映であると解釈することができる。

一方、前述のように、音節単独発話における促音節の末子音の終端は原理的に同定不可能であるため、音節長を計測することができない。そこでここでは、代わりに母音の長さを計測した。その結果、促音節で長母音を伴う語の音節長は促音節で短母音を伴う語の 2 倍であ

ることが判明した。すなわち、DL1 声調の音節長は DS1 声調の約 2 倍、DL2 声調の音節長は DS2 声調の約 2 倍となる。この事実は長母音と短母音の対立を反映している。

図 2-6 が示しているように、同じ促音節で短母音を伴う語同士でもやや母音長¹⁰⁹が異なり、その長さは DS1、DS2、DS1' の順に短くなる。同じ促音節で長母音を伴う語同士でも音節長と母音長が異なり、その長さは DL1、DL2 の順に短くなる。促音節における等時性については、第 3 章で詳しく分析する。

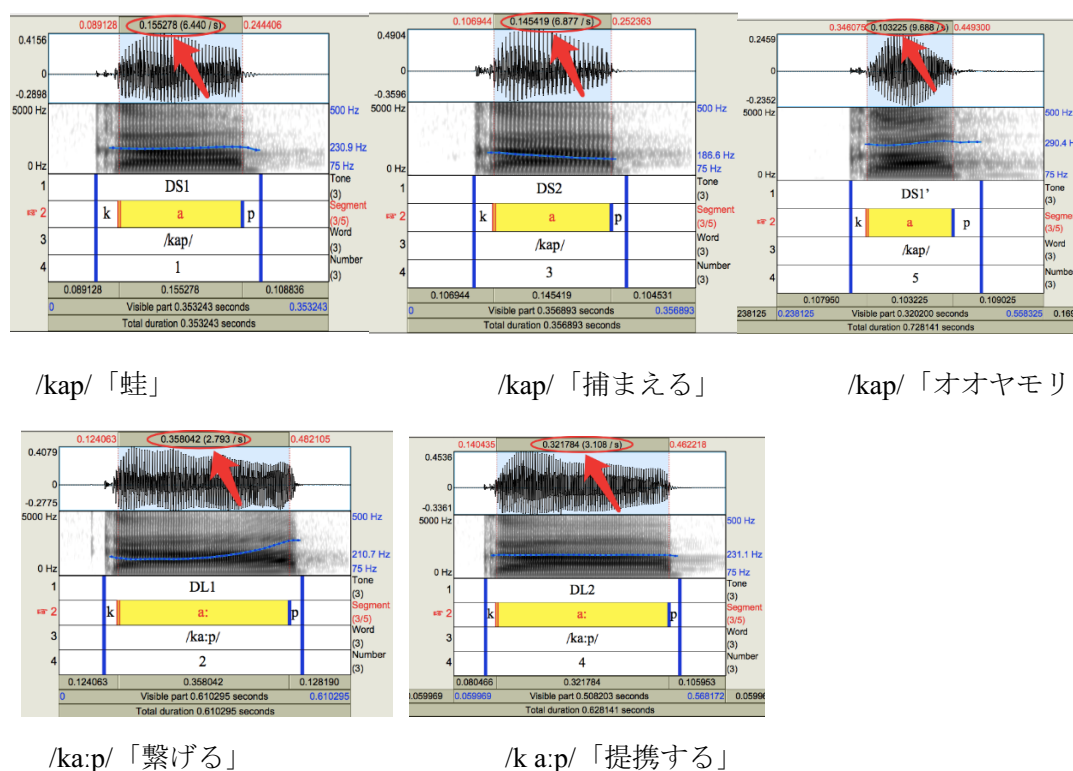


図 2-6 促音節単独発話の母音の長さ

¹⁰⁹ 母音の長さ (vowel duration) は母音の継続の時間を指す。本論文では「母音長」という用語を使用する。

第3章 龍茗方言の変調—2 音節連続語を中心に—

第2章では龍茗方言の単音節語における基本声調体系を明らかにした。分析の結果に基づき、龍茗方言には10個の基本声調が存在するが、音節構造の種類によって相補的に分布しているので、この事実を音韻論的に解釈して、声調の数を最小限の5個に抑えられることを示した。この新解釈は、声調の調値と分布に基づくものであるが、この解釈の妥当性を示す別の証拠はないだろうか。あるとしたらどのようなものであろうか。新解釈において同一の声調とまとめられたものが、特定の音韻現象において、同一のふるまいを示すのであれば、新解釈が妥当であることが確認される。

本章では、変調と呼ばれる音韻現象に焦点を当て、新解釈の妥当性を検討する。変調 (tone change) には「連続変調 (tone sandhi)」と「派生変調 (連続変調ではない変調)」の2種類がある。連続変調とは、「声調言語において、2つ以上の音節連続の中で、声調が特定の条件（たとえば音韻的な条件、あるいは意味的条件）によって当該言語の声調体系に属する別の声調に交替すること」を指す。派生変調とは、「連続変調ではない変調」を指す。具体的にいうと、派生変調は「2つ以上の音節連続の中で、特定の条件（音韻的な条件、あるいは意味的条件）によらず常に声調が変化すること」をさす。この場合、変化した後の新しい声調が当該言語の声調体系に含まれない別の声調になったり単独発話の持続時間より短くなったりする。本章では2音節連続における声調を詳しく分析し、変調が龍茗方言においても認められるのか、認められるのであればそのメカニズムはどのようなものであるかを明らかにする。

本章の構成は以下の通りである。まず、3.1では本章の実験方法及び手順について述べる。次に、3.2では2音節連続の計測結果を論じる。具体的には平音節の声調の変調を3.2.1で考察した上で、促音節の声調の変調を3.2.2で考察を行い、3.3では3.2で行われた2種類の音節から得られた龍茗方言の変調規則をまとめる。最後に、3.4では龍茗方言における2音節連続語の音節あるいは母音の長さについても考察し、龍茗方言の声調領域である2音節連続における音節の特徴を明らかにする。

3.1 2音節連続の分析方法と手順

2音節連続語の分析は、同じ語が2音節連続の第1音節にある場合と第2音節にある場合のそれぞれの声調の実現を観察することで行う。その際、ターゲットとなる語が龍茗方言に現れる10声調すべてと組み合わせるような語あるいは句を作成する。語の選び方は

益子（2013）、益子・鈴木（2017）を参考にした。2音節連続語の分析で用いた調査語・句の内訳は表 3-1a と 3-1b に示す。

なお、作成した調査語・句はどれも統語的・意味的に結合度が高く、1つの単位として捉えられるような2音節連続である。ただし、DS1'声調については他の9つの声調と組み合わせる際に、意味的に結合度の高い2音節連続がどうしても見つからない場合は、「～さんの～」、「～さんを～する」と言うような人名を含む場合がある。

表 3-1a と表 3-1b を録音し、音響分析ソフトウェア Praat を用いて録音された音声の F0 と持続時間を計測した。第1音節と第2音節の音節境界を第2音節の頭子音の始端に決めた上で、単音節の測定方法と同じように各音節の F0 と持続時間を計測した。すなわち、頭子音の F0 が大きな誤差を生むことを避けるために、平音節の場合は母音始端にし、終端は音節終端にした。一方、促音節の場合は母音のみを計測した。

以上のような手順を経て、2つの声調が隣接した場合の変異を F0 の計測に基づいて検討する。2つの声調が連続する場合、先行声調が後続声調に与える影響と、後続声調が先行声調に与える影響の双方を検討することによって、2音節連続語の変調のメカニズムを明らかにする。

表 3-1a 2音節連続の一覧表 I（第1音節を分析対象とする¹¹²⁾

第2音節 第1音節	平 A1	平 A2	平 B1	平 B2	平 C	促 DS1	促 DS1'	促 DS2	促 DL1	促 DL2
平 A1	名動	名名	名形	名名	名名	名名	名名	名名	名名	名形
平 A2	名名	名形	名形	名形	名名	名形	名名	名類	名名	名名
平 B1	名数	名名	数名	名形	名数	名数	名名	名動	名数	名動
平 B2	名名	名名	名名	名動	名名	名名	名名	名名	名動	名動
平 C	名名	名名	名動	名名	名名	名形	名名	名名	名動	名名
促 DS1	名名	名名	名名	名形	名形	名形	名数	名名	名形	名名
促 DS1'	名名	名名	名名	名名	名名	名名	名名	名形	名名	名名
促 DS2	名形	名形	名動	名動	名名	名動	名名	名形	名形	名形
促 DL1	名名	名名	名名	名名	名名	名形	名名	名名	名名	名形
促 DL2	名形	名形	名形	名名	名形	名名	名名	名動	名形	名形

¹¹²⁾ 用いた 200 通りの 2 音節連続語文法構造については、「名詞(被修辞語)＋名詞(修辞語)」という名詞のみからなる名詞句のほか、「名詞(被修辞語)＋形容詞(修辞語)」という名詞句や、「他動詞＋名詞(補語)」といった動詞句などのものがランダムに選ぶ。表内では、「名名」は「名詞＋名詞」、「動名」は「他(自)動詞＋名詞」、「名動」は「名詞＋他(自)動詞」、「名数」は「名詞＋数詞」、「類名」は「助数詞＋名詞」、「名形」は「名詞＋形容詞」などを表している。

表 3-1b 2 音節連続の一覧表 II (第 2 音節を分析対象とする)

第 2 音節 第 1 音節	平 A1	平 A2	平 B1	平 B2	平 C	促 DS1	促 DS1'	促 DS2	促 DL1	促 DL2
平 A1	動名	名動	数名	名名	動名	動名	名名	名動	動名	動名
平 A2	動名	動名	名名	動名	名名	動名	名名	動名	動名	動名
平 B1	動名	動名	数名	動名	名名	名名	名名	動名	動名	動名
平 B2	動名	動名	名名	動名	動名	名名	名名	名名	動名	類名
平 C	動名	動名	数名	動名	動名	動名	名名	動名	動名	動名
促 DS1	名名	数名	数名	名名	名名	数名	名数	動名	動名	動名
促 DS1'	動名	動名	動名	動名	動名	動名	名名	動名	動名	動名
促 DS2	動名	動名	動名	名名	動名	動名	名名	動名	動名	動名
促 DL1	動名	数名	数名	名名	動名	数名	名名	動名	動名	動名
促 DL2	動名	動名	名名	動名	動名	名名	名名	動名	動名	動名

3.2.2 音節連続の計測結果

3.2.1 では平音節の変調、3.2.2 では促音節の変調について考察を行う。本論文では各声調が単独で発話された場合の調値(及びそれ以外の環境におけると同一の調値)を基本調値と呼び、特定の環境下でそれと異なる調値を変調調値と名付ける。

3.2.1 平音節における変調

3.2.1.1 平音節の A1 声調

A1 声調を分析するために、表 3-2 の 2 音節連続を用いる。表 3-2 の「構造」欄は文法構造と音節構造を示している。例えば、「名自動」は「名詞＋自動詞」、「名名」は「名詞＋名詞」、「他動名」は「他動詞＋名詞」、「名形」は「名詞＋形容詞」である。平は平音節、促は促音節という意味で、その組み合わせを「平平」、「平促」などで表す。以降で示す表の「構造」欄も同様である。また、F0 曲線の図のキャプションに記されている「○」は任意の音節を表している。

A1 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる A1 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはター

ゲットの A1 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。A1 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、A1 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. A1+A1, A1+A2, A1+B1, A1+B2...)。なお、ターゲットとなる A1 声調の語をすべて /pja:/ A1 「魚」で統一した。

表 3-2 A1 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
1	/pja: lwaj/[pja: lwaj]	A1 A1	タウナギ	名自動・平平
2	/pja: nwaj/[pja: nwaj]	A1 A2	鯉	名名・平平
3	/pja: ɬɿw/[pja: ɬɿw]	A1 B1	淡水魚の一種 ¹¹³	名形・平平
4	/pja: na:/[pja: na:]	A1 B2	叔母 ¹¹⁴ の魚	名名・平平
5	/pja: wa:n/[pja: va:n]	A1 C	草魚	名名・平平
6	/pja: ɬuk/[pja: ɬok]	A1 DS1	ウナギ	名名・平促
7	/pja: jik/[pja: jik]	A1 DS1'	イクさんの魚	名名・平促
8	/pja: nok/[pja: nok]	A1 DS2	鳥の魚餌	名名・平促
9	/pja: kʰe:k/[pja: kʰe:k]	A1 DL1	よその魚	名名・平促
10	/pja: pe:k/[pja: pe:k]	A1 DL2	ハクレン ¹¹⁵	名形・平促
11	/kin pja:/[kin pja:]	A1 A1	魚を食べる	他動名・平平
12	/ʔaw pja:/[ʔaw pja:]	A2 A1	魚をもらう	他動名・平平
13	/caw pja:/[teaw pja:]	B1 A1	魚を揚げる	他動名・平平
14	/caŋ pja:/[tean pja:]	B2 A1	魚を計る	他動名・平平
15	/kʰa: pja:/[kʰa: pja:]	C A1	魚を殺す	他動名・平平
16	/tap pja:/[tap pja:]	DS1 A1	魚の肝臓	名名・促平
17	/cuk pja:/[tɕok pja:]	DS1' A1	魚を刺す	他動名・促平
18	/lak pja:/[lak pja:]	DS2 A1	魚を盗む	他動名・促平
19	/co:p pja:/[teo:p pja:]	DL1 A1	魚を釣る	他動名・促平
20	/la:p pja:/[la:p pja:]	DL2 A1	魚を干す	他動名・促平

ターゲットとなる /pja:/ A1 「魚」の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-1a のグラフ

¹¹³ 大きさは 10 センチ前後で、骨がほとんどない魚。

¹¹⁴ 母の妹。

¹¹⁵ 鰱魚の一種。

にした。次に、/pja:/A1「魚」が第1音節にくる場合（番号1～10）のF0と持続時間を計測し、図3-1bのグラフにした。そして、/pja:/A1「魚」が第2音節にくる場合（番号11～20）のF0と持続時間を計測し、図3-1cのグラフにした。図3-1bおよび図3-1cそれぞれの(左)は2音節連続中のターゲットの区間のF0曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む2音節連続全体のF0曲線を表示したものである。

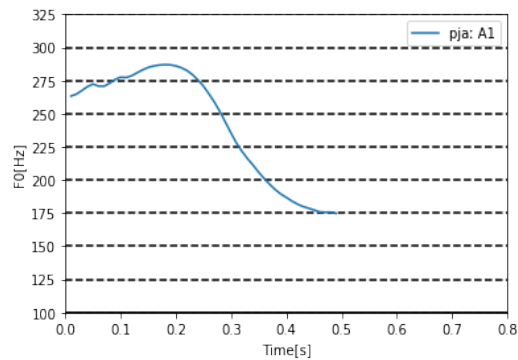
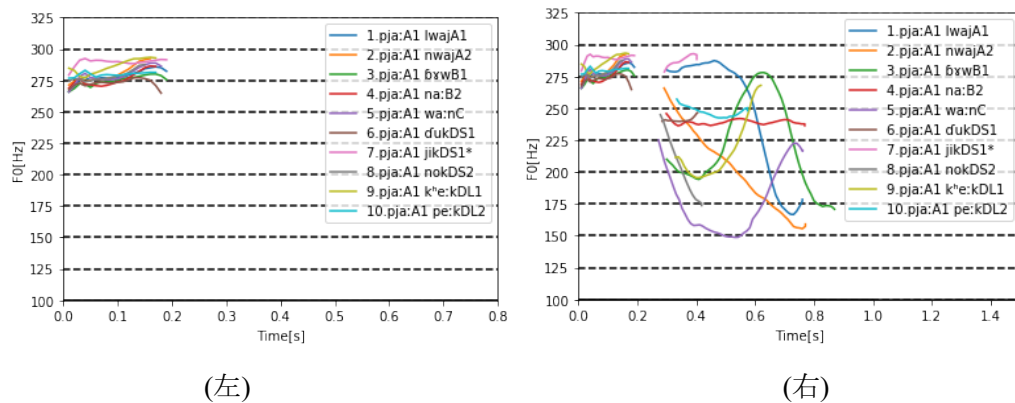


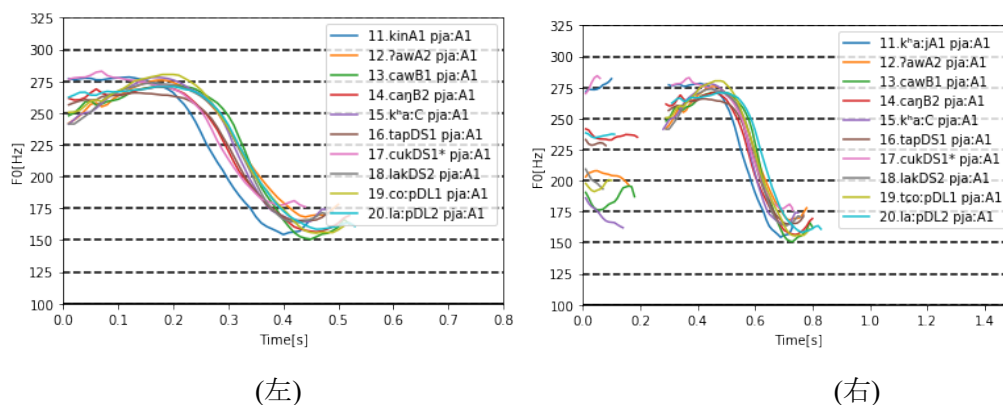
図 3-1a A1 声調の単独発話の F0 曲線



(左)

(右)

図 3-1b A1 声調が第1音節に現れる場合 (A1+○)



(左)

(右)

図 3-1c A1 声調が第2音節に現れる場合 (○+A1)

まず、ターゲットとなる A1 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-1b(左)より約 0.2 秒で、これは単独発話の持続時間 (0.5 秒弱) の半分以下である (図 3-1a)。その F0 曲線はいずれも高く始まり、如何なる声調が後続しても、その音節全体でわずかな上昇が観察される。上昇する持続時間が短い上、上昇の度合いが急峻ではないため、実現調値は概ね 45 と認められる。すなわち、A1 声調は第 1 音節に来る場合に 451→45 という変調を起こし、この変化は単独発話の F0 曲線 (図 3-1a) と第 1 音節にくる場合の F0 曲線 (図 3-1b) を比較すると明らかなように、単独発話の前半の部分のみが実現したものと解釈できる。一方、後続の声調は第 2 章で観察された単字調の典型的な F0 曲線が維持されているように思われる。

一方、図 3-1c で示しているように A1 声調が第 2 音節に現れる場合、その F0 曲線は単独発話の F0 曲線とほぼ同じである。すなわち、ややピッチが上昇したのち、低域まで下降する。ただし、第 1 音節が A1 と DS1' である場合には、第 2 音節の音節頭の小さな上昇は観察されず、高く平らかに始まっている。この原因については、第 1 音節にある A1 と DS1' が高く平らかなまま終わるため、それによる順行同化¹¹⁶であると考えられる。

総じて言えば、A1+A1、A1+DS1' の組み合わせに見られる僅かな違いを除けば、A1 声調は後続声調が付く場合、継続時間が短くなり、単字調の F0 曲線の前半のみが実現し、単独発話もしくは発話末に現れる場合、単字調の F0 曲線で実現する。

3.2.1.2 平音節の A2 声調

A1 声調の分析と同様、A2 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる A2 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの A2 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。A2 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、A2 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. A2+A1, A2+A2, A2+B1, A2+B2...)。なお、ターゲットとなる A2 声調の語をすべて /kɯn/ A2 「人」 で統一した。

表 3-3 A2 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
21	/kɯn ka:j/[kɯn ka:j]	A2 A1	町の人	名名・平平

¹¹⁶ 音節の高さは直前の音節の高さに等しくなる現象である。

22	/kɤn pɤj/[kɤn pɤj]	A2 A2	肥満した人	名形・平平
23	/kɤn ke:/[kɤn ke:]	A2 B1	年配者、老人	名形・平平
24	/kɤn ŋwa:ŋ/[kɤn ŋwa:ŋ]	A2 B2	知的障害者	名形・平平
25	/kɤn ɬa:n/[kɤn ɬa:n]	A2 C	村の人、田舎者	名名・平平
26	/kɤn rak/[kɤn ɖak]	A2 DS1	勤勉な人	名形・平促
27	/kɤn pak/[kɤn pak]	A2 DS1'	北方人	名名・平促
28	/kɤn mat/[kɤn mat]	A2 DS2	1 人ごとに 1 粒	名類・平促
29	/kɤn kʰe:k/[kɤn kʰe:k]	A2 DL1	客	名名・平促
30	/kɤn no:k/[kɤn no:k]	A2 DL2	他所の人	名名・平促
31	/law kɤn/[law kɤn]	A1 A2	人を恐れる	名自動・平平
32	/mɤj kɤn/[mɤj kɤn]	A2 A2	人がいる	自動名・平平
33	/ko: kɤn/[ko: kɤn]	B1 A2	人を雇う	他動名・平平
34	/jo:ŋ kɤn/[jo:ŋ kɤn]	B2 A2	人を使う	他動名・平平
35	/kʰa: kɤn/[kʰa: kɤn]	C A2	人を殺す	他動名・平平
36	/θip kɤn/[θip kɤn]	DS1 A2	10 人	数名・促平
37	/hap kɤn/[hap kɤn]	DS1' A2	人を虐める	他動名・促平
38	/kap kɤn/[kap kɤn]	DS2 A2	人を捕まえる	他動名・促平
39	/pe:t kɤn/[pe:t kɤn]	DL1 A2	8 人	数名・促平
40	/mja:p kɤn/[mja:p kɤn]	DL2 A2	人を騙す	他動名・促平

ターゲットとなる /kɤn/ A2 「人」 の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-2a のグラフにした。次に、/kɤn/ A2 「人」 が第 1 音節にくる場合（番号 21～30）の F0 と持続時間を計測し、図 3-2b のグラフにした。そして、/kɤn/ A2 「人」 が第 2 音節にくる場合（番号 31～40）の F0 と持続時間を計測し、図 3-2c のグラフにした。図 3-2b および図 3-2c それぞれの(左)は 2 音節連続中のターゲットの区間の F0 曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む 2 音節連続全体の F0 曲線を表示したものである。

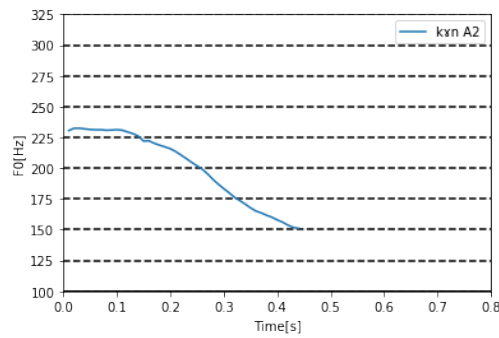


図 3-2a A2 声調の単独発話の F0 曲線

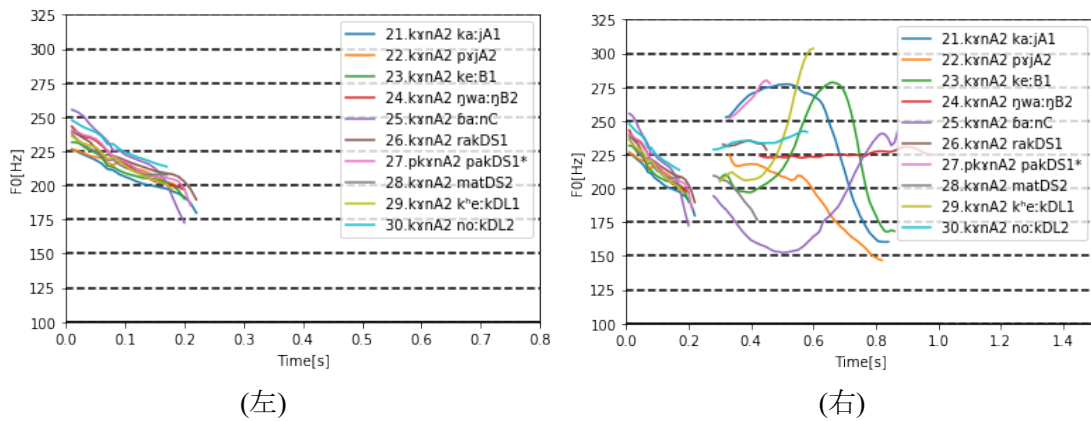


図 3-2b A2 声調が第 1 音節に現れる場合 (A2+○)

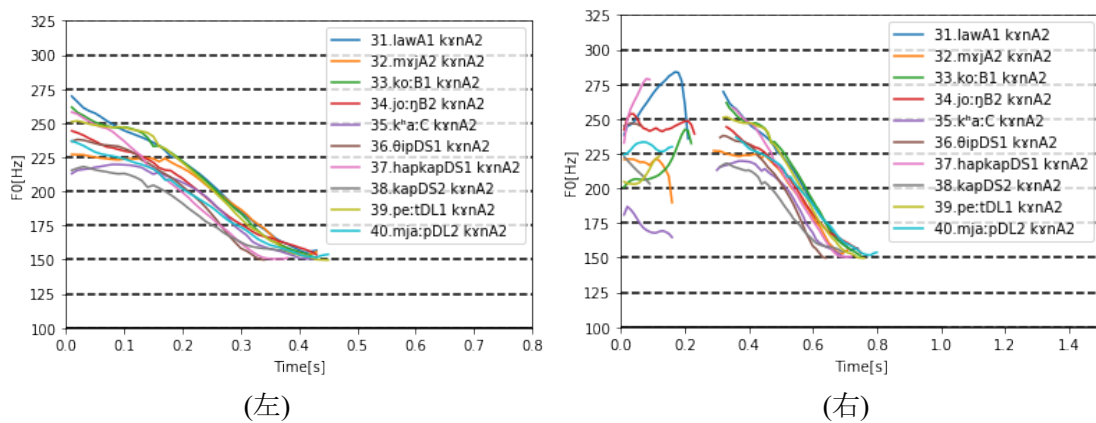


図 3-2c A2 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+A2)

まず、ターゲットとなる A2 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-2b(左)より約 0.2 秒で、これは単独発話の持続時間 (約 0.45 秒) の半分以下である (図 3-2a)。また、その F0 曲線は、第 2 音節の声調の種類に関らず、ちょうど A2 声調の単独発話の F0 曲線の前半部分のみが実現したような曲線を描いている。

一方、ターゲットの A2 声調が第 2 音節にある場合は、図 3-2c が示すように、単独発話の F0 曲線とほぼ同様の F0 曲線である。単独発話の場合には A2 声調の出だしの F0 の周波数はおよそ 230Hz だが、第 2 音節にある場合には、出だしのピッチの高さにばらつきがある (215Hz~275Hz)。このばらつきは、先行する第 1 音節の声調の終わりの高さの影響によるものであると考えられる。しかし、第 1 音節の声調は後続する A2 の調値を大きく変えるようなことはなく、したがって、先行声調による変調は認められない。分析の結果、A2 声調は後続音節がある場合、継続時間が短くなり、単字調の F0 曲線の前半しか実現しないが、単独発話もしくは発話末に現れる場合、先行声調を問わず単字調の F0 曲線で実現する。

3.2.1.3 平音節の B1 声調

A1 声調の分析と同様、B1 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる B1 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの B1 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。B1 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、B1 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. B1+A1, B1+A2, B1+B1, B1+B2...)。なお、ターゲットとなる B1 声調の語をすべて /ʔa:w / B1 「叔父 (父の弟)、男性」で統一した。

表 3-4 B1 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
41	/ʔa:w θam/[ʔa:w θam]	B1 A1	3 番目の叔父 ¹¹⁷	名数・平平
42	/ʔa:w kɤn/[ʔa:w kɤn]	B1 A2	男性	名名・平平
43	/ʔa:w θɤj/[ʔa:w θɤj]	B1 B1	4 番目の叔父	数名・平平
44	/ʔa:w taj/[ʔa:w taj]	B1 B2	1 番目の叔父	名形・平平
45	/ʔa:w ŋo:/[ʔa:w ŋo:]	B1 C	5 番目の叔父	名数・平平
46	/ʔa:w cat/[ʔa:w cat]	B1 DS1	7 番目の叔父	名数・平促
47	/ʔa:w pak/[ʔa:w pak]	B1 DS1'	北方の男性	名名・平促
48	/ʔa:w lak/[ʔa:w lak]	B1 DS2	泥棒	名他動・平促
49	/ʔa:w pe:t/[ʔa:w pe:t]	B1 DL1	8 番目の叔父	名数・平促
50	/ʔa:w pa:k/[ʔa:w pa:k]	B1 DL2	狂った男性	名自動・平促
51	/θam ʔa:w/[θam ʔa:w]	A1 B1	3 人の男性	数名・平平
52	/dɤŋ ʔa:w/[dɤŋ ʔa:w]	A2 B1	叔父の鼻	名名・平平
53	/θɤj ʔa:w/[θɤj ʔa:w]	B1 B1	4 人の男性	数名・平平

¹¹⁷ 父の弟である。

54	/mɯm ʔa:w/[mɯm ʔa:w]	B2 B2	叔父の髭	名名・平平
55	/ha: ʔa:w/[ha: ʔa:w]	C B1	5 人の男性	数名・平平
56	/cat ʔa:w/[teat ʔa:w]	DS1 B1	7 人の男性	数名・平平
57	/ha:p ʔa:w/[ha:p ʔa:w]	DS1' B1	叔父を大声で責める	他動名・促平
58	/tɯp ʔa:w/[tɯp ʔa:w]	DS2 B1	叔父を殴る	他動名・促平
59	/pe:t ʔa:w/[pe:t ʔa:w]	DL1 B1	8 人の男性	数名・促平
60	/me:k ʔa:w/[me:k ʔa:w]	DL2 B1	叔父の麦	名名・促平

ターゲットとなる /ʔa:w/ B1 「叔父（父の弟）、男性」の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-3a のグラフにした。次に、/ʔa:w/ B1 「叔父（父の弟）、男性」が第 1 音節にくる場合（番号 41～50）の F0 と持続時間を計測し、図 3-3b のグラフにした。そして、/ʔa:w/ B1 「叔父（父の弟）、男性」が第 2 音節にくる場合（番号 51～60）の F0 と持続時間を計測し、図 3-3c のグラフにした。図 3-3b および図 3-3c それぞれの(左)は 2 音節連続中のターゲットの区間の F0 曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む 2 音節連続全体の F0 曲線を表示したものである。

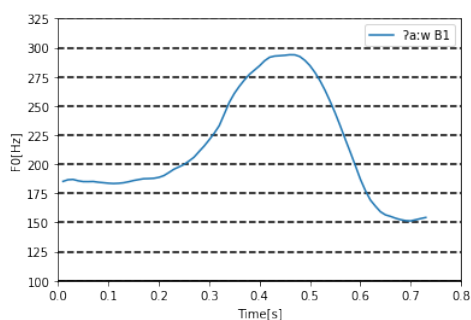


図 3-3a B1 声調の単独発話の F0 曲線

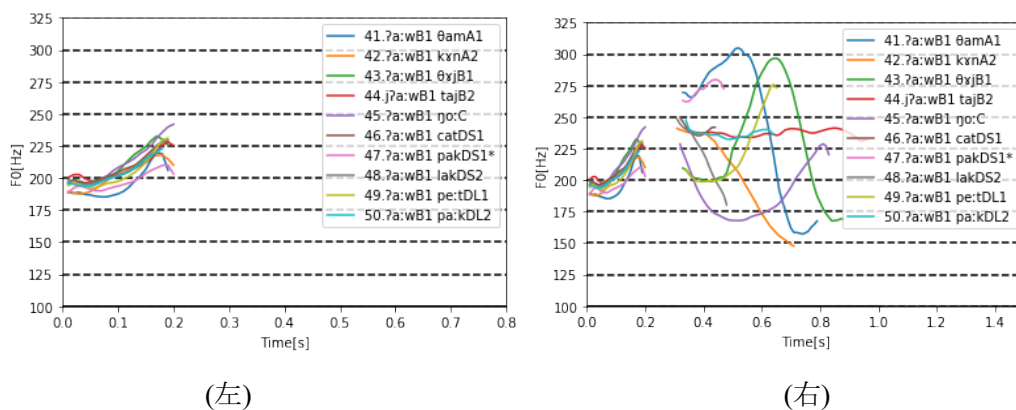


図 3-3b B1 声調が第 1 音節に現れる場合 (B1+○)

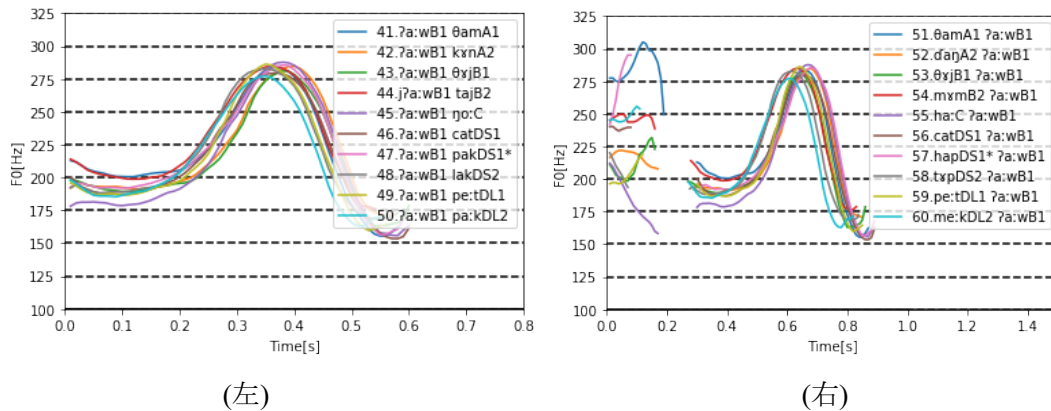


図 3-3c B1 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+B1)

まず、ターゲットとなる B1 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-3b(左)より約 0.2 秒で、これは単独発話の持続時間 (約 0.7 秒) よりもはるかに短い (図 3-3a)。単独発話の場合、上昇に先立って低平に続く区間 (単独発話全体のおよそ 3 分の 1 強) がある。音節連続の第 1 音節にある場合でもこの低平区間は観察されるが、それは第 1 音節全体のおよそ 2 分の 1 である。すなわち上昇のタイミングは、単独発話と比較して、2 音節連続における第 1 音節のほうが早い。更に、単独発話の場合、B1 は上昇ののち大きな下降があるが、第 1 音節にある場合にはそれが見られない。

一方、B1 声調が第 2 音節に現れる場合、先行する第 1 音節の声調の種類による影響は観察されず、すべて単独発話とほぼ同じような F0 曲線で実現している。

分析の結果、B1 声調は、後続する音節がある場合には、継続時間が短くなり、上昇開始位置が早まるが、上昇の度合いは単独発話と比して低く、さらに上昇のあとの下降が実現しない。第 2 音節にある場合には、単独発話とほぼ同様の F0 曲線で実現する。

3.2.1.4 平音節の B2 声調

A1 声調の分析と同様、B2 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる B2 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの B2 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。B2 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、B2 声調と龍苅方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. B2+A1, B2+A2, B2+B1, B2+B2...)。なお、ターゲットとなる B2 声調の語をすべて/me:/ B2「母、妻、女性」で統一した。

表 3-5 B2 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
61	/me: lan/[me: lan]	B2 A1	継母	名名・平平
62	/me: lu:/[me: lan]	B2 A2	嫁	名名・平平
63	/me: ta:j/[me: ta:j/]	B2 B1	祖母（母方）	名自動・平平
64	/me: pɤj/[me: pɤj]	B2 B2	姉、上の娘	名名・平平
65	/me: no:ŋ/[me: no:ŋ]	B2 C	妹、下の娘	名名・平平
66	/me: pjat/[me: pjat]	B2 DS1	雌アヒル	名名・平促
67	/me: pak/[me: pak]	B2 DS1'	北方の女性	名名・平促
68	/me: pɤt/[me: pɤt]	B2 DS2	巫女	名名・平促
69	/me: ʔo:k/[me: ʔo:k]	B2 DL1	母親	名自動・平促
70	/me: pa:k/[me: pa:k]	B2 DL2	狂った女性	名自動・平促
71	/mɤw me: / [mɤw me:]	A1 B2	雌の豚	名名・平平
72	/ʔaw me: / [ʔaw me:]	A2 B2	結婚（男性）	他動名・平平
73	/dā: me: / [dā: me:]	B1 B2	妻を叱る	他動名・平平
74	/li:w me: / [li:w me:]	B2 B2	ナンパする	他動名・平平
75	/cau me: / [cau me:]	C B2	妻の世話をする	他動名・平平
76	/pjat me: / [pjat me:]	DS1 B2	雌のアヒル	名名・平平
77	/hap me: / [hap me:]	DS1' B2	妻を虐める	他動名・促平
78	/nok me: / [nɔk me:]	DS2 B2	雌の鳥	名名・促平
79	/pʰju:k me: / [pʰju:k me:]	DL1 B2	（種としての）芋	名名・促平
80	/lu:k me: / [lu:k me:]	DL2 B2	妻を選ぶ	他動名・促平

ターゲットとなる/me:/ B2「母、妻、女性」の単独発話のF0と持続時間を計測し、図3-4aのグラフにした。次に、/me:/ B2「母、妻、女性」が第1音節にくる場合（番号61～70）のF0と持続時間を計測し、図3-4bのグラフにした。そして、/me:/ B2「母、妻、女性」が第2音節にくる場合（番号71～80）のF0と持続時間を計測し、図3-4cのグラフにした。図3-4bおよび図3-4cそれぞれの(左)は2音節連続中のターゲットの区間のF0曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む2音節連続全体のF0曲線を表示したものである。

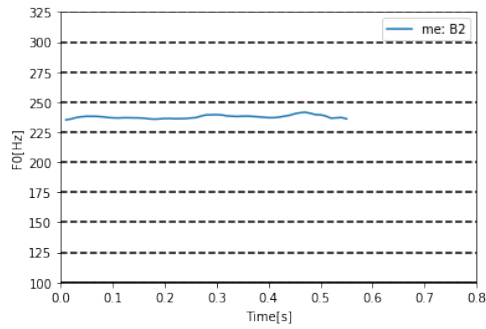


図 3-4a B2 声調の単独発話の F0 曲線

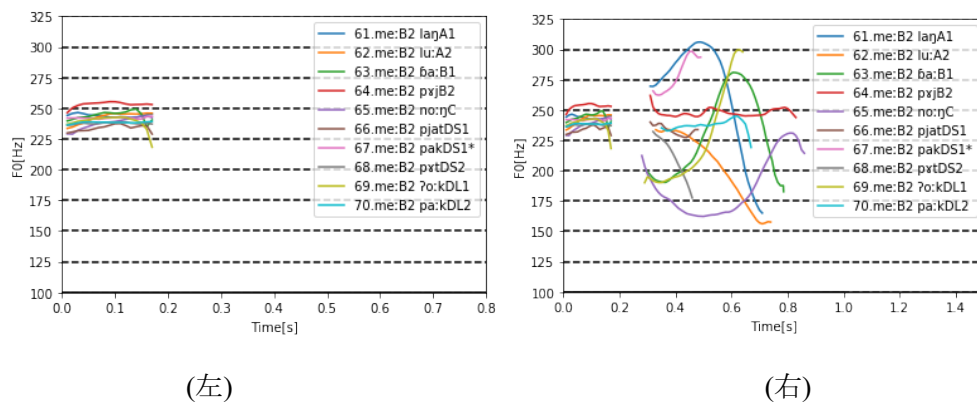


図 3-4b B2 声調が第 1 音節に現れる場合 (B2+○)

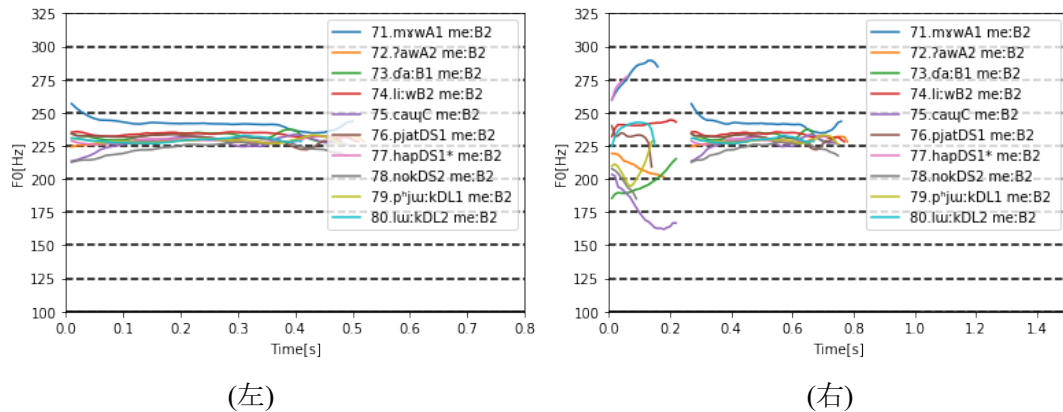


図 3-4c B2 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+B2)

ターゲットとなる B2 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-4b(左)より約 0.2 秒で、これは単独発話の持続時間 (約 0.55 秒) の半分以下である (図 3-4a)。また、その F0 曲線は、第 2 音節の声調の種類に関らず、ちょうど B2 声調の単独発話の F0 曲線には顕著な違いはみとめられない。

一方、ターゲットの B2 声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であ

り、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。先行する第 1 音節が A1 声調である場合、後続する B2 はほかと比べて約 20Hz 高くなっているが、これは先行の A1 声調が高く終わるためであろう。

分析の結果、B2 声調は、後続する音節がある場合には、継続時間が短くなるが、F0 曲線には顕著な違いは観察されず、第 2 音節にある場合および単独発話とほぼ同様の F0 曲線で実現することが明らかになった。

3.2.1.5 平音節の C 声調

A1 声調の分析と同様、C 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる C 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの C 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。C 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、C 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. C+A1, C+A2, C+B1, C+B2...)。なお、ターゲットとなる C 声調の語をすべて /maj / C 「樹木」で統一した。

表 3-6 C 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
81	/maj laj/[maj laj]	C A1	樹が多い	名形・平平
82	/maj lɤj/[maj lɤj]	C A2	梨の木	名名・平平
83	/maj maw/[maj maw]	C B1	泥水で長年漬けた木材	名他動・平平
84	/maj ɲa:n/[maj ɲa:n]	C B2	竜眼の樹	名名・平平
85	/maj ji:n/[maj ji:n]	C C	樹名 ¹¹⁸	名名・平平
86	/maj nak/[maj nak]	C DS1	重い樹 (木材)	名形・平促
87	/maj jik/[maj jik]	C DS1'	イクさんの樹	名名・平促
88	/maj rak/[maj ɖak]	C DS2	南洋油桐、学名 : <i>Jatropha carcas</i> L. 毒性が強い樹。	名名・平促
89	/maj dō:k/[maj dō:k]	C DL1	腐った樹	名自動・平促
90	/maj mu:k/[maj mu:k]	C DL2	樹名 (印鑑彫刻用)	名名・平促
91	/caj maj/[teaj maj]	A1 C	樹を植える	他動名・平平
92	/ɬauɥ maj/[ɬauɥ maj]	A2 C	樹の葉	名名・平平
93	/no: maj/[no: maj]	B1 C	竹の子	名名・平平
94	/jo:ŋ maj/[jo:ŋ maj]	B2 C	樹を使う	他動名・平平
95	/pjam maj/[pjam maj]	C C	立木を切る	他動名・平平

¹¹⁸ 固い樹、よくまな板の製作を用いる。

96	/kok maj/[kok maj]	DS1 C	樹の根部	名名・促平
97	/θuk maj/[θok maj]	DS1' C	木材を縛る	他動名・促平
98	/lak maj/[lak maj]	DS2 C	樹を盗む	他動名・促平
99	/6a:k maj/[6a:k maj]	DL1 C	樹を切る	他動名・促平
100	/lu:k maj/[u:k maj]	DL2 C	樹を選ぶ	他動名・促平

ターゲットとなる/maj/C「樹木」の単独発話のF0と持続時間を計測し、図3-5aのグラフにした。次に、/maj/C「樹木」が第1音節にくる場合（番号81～90）のF0と持続時間を計測し、図3-5bのグラフにした。そして、/maj/C「樹木」が第2音節にくる場合（番号91～100）のF0と持続時間を計測し、図3-5cのグラフにした。図3-5bおよび図3-5cそれぞれの(左)は2音節連続中のターゲットの区間のF0曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む2音節連続全体のF0曲線を表示したものである。

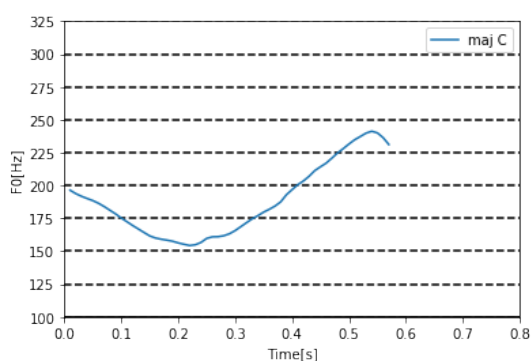
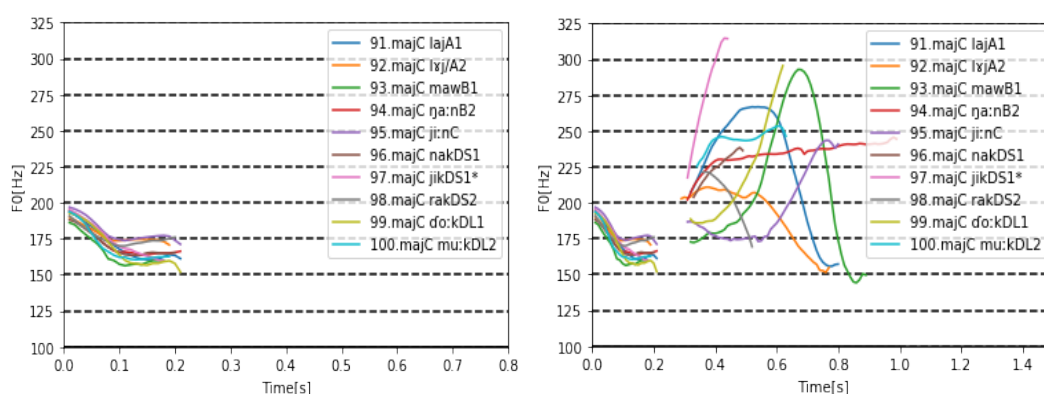


図 3-5a C 声調の単独発話の F0 曲線



(左)

(右)

図 3-5b C 声調が第 1 音節に現れる場合 (C+○)

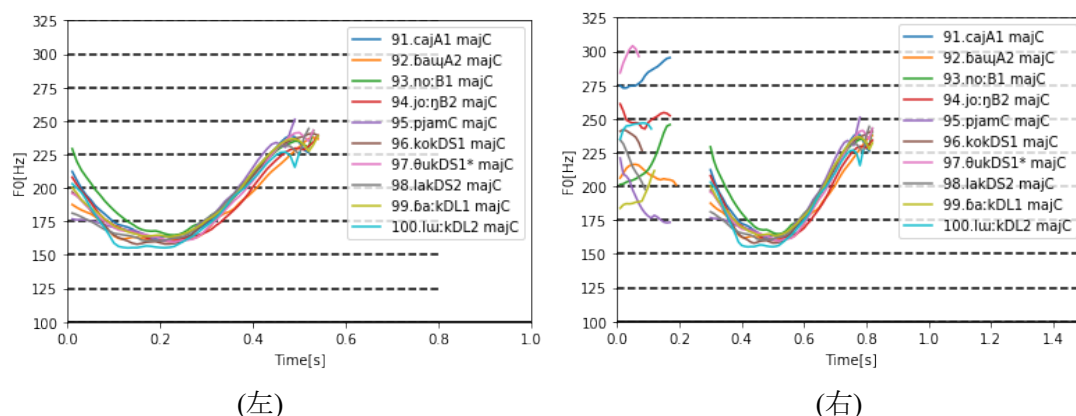


図 3-5c C 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+C)

ターゲットとなる C 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-5b(左)より約 0.2 秒で、これは単独発話の持続時間 (約 0.6 秒) よりも短い (図 3-5a)。また、その F0 曲線は、第 2 音節の声調の種類に問わず、ちょうど C 声調の単独発話の F0 曲線の前半部分だけが実現したような曲線を描いている。単独発話で見られる下降のあとの上昇は、この場合観察されない。

一方、ターゲットの C 声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であり、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。先行する第 1 音節の声調の種類による影響はほとんど観察されない。

3.2.2 促音節における変調

誤差を防ぐために、促音節においては母音のみを計測したので、以下で提示する促音節のピッチ曲線は母音区間のみのピッチ曲線であり、頭子音および尾子音の区間は図には含まれていないことに注意されたい。

3.2.2.1 DS1 声調

DS1 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる DS1 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの DS1 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。DS1 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、DS1 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. DS1+A1, DS1+A2, DS1+B1, DS1+B2...)。なお、ターゲットとなる DS1 声調の語をすべて /lok / DS1 「子ども」で統一した。

表 3-7 DS1 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
101	/luk mɿw/[lok mɿw]	DS1 A1	子豚	名名・促平
102	/luk ŋɿw/[lok ŋɿw]	DS1 A2	小蛇	名名・促平
103	/luk ɬaw/[lok ɬaw]	DS1 B1	男の子	名名・促平
104	/luk na:/[lok na:]	DS1 B2	叔母（母の妹）の子ども	名形・促平
105	/luk uɿw/[lok ɥɿw]	DS1 C	知的障害を持つ子ども	名形・促平
106	/luk rak/[lok ɔak]	DS1 DS1	勤勉な子	名形・促促
107	/luk jik/[lok jik]	DS1 DS1'	1 人の子供ごとに 1 億	名数・促促
108	/luk mwat/[lok mwat]	DS1 DS2	小さい蟻	名名・促促
109	/luk nu:k/[lok nu:k]	DS1 DL1	耳が聞こえない子	名形・促促
110	/luk uo:p/[lok ɥo:p]	DS1 DL2	小さい箱	名名・促促
111	/θe:ŋ luk/[θe:ŋ lok]	A1 DS1	出産する	他動名・平促
112	/mɿj luk/[mɿj lok]	A2 DS1	子どもがいる	自動名・平促
113	/ʔa:w luk/[ʔa:w lok]	B1 DS1	息子	名名・平促
114	/me: luk/[me: lok]	B2 DS1	母と子	名名・平促
115	/ʔɿm luk/[ʔɿm lok]	C DS1	子どもを抱く	他動名・平促
116	/cat luk/[teat lok]	DS1 DS1	7 人の子ども	数名・促促
117	/hap luk/[hap lok]	DS1' DS1	子どもを大声で責める	他動名・促促
118	/lak luk/[lak lok]	DS2 DS1	子どもを盗む	他動名・促促
119	/pe:t luk/[pe:t lok]	DL1 DS1	8 人の子ども	数名・促促
120	/ɲo:k luk/[ɲo:k lok]	DL2 DS1	叔父の麦	名名・促促

ターゲットとなる /lok / DS1 「子ども」の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-6a のグラフにした。次に、/lok / DS1 「子ども」が第 1 音節にくる場合（番号 101～110）の F0 と持続時間を計測し、図 3-6b のグラフにした。そして、/lok / DS1 「子ども」が第 2 音節にくる場合（番号 111～120）の F0 と持続時間を計測し、図 3-6c のグラフにした。図 3-6b および図 3-6c それぞれの(左)は 2 音節連続中のターゲットの区間の F0 曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む 2 音節連続全体の F0 曲線を表示したものである。

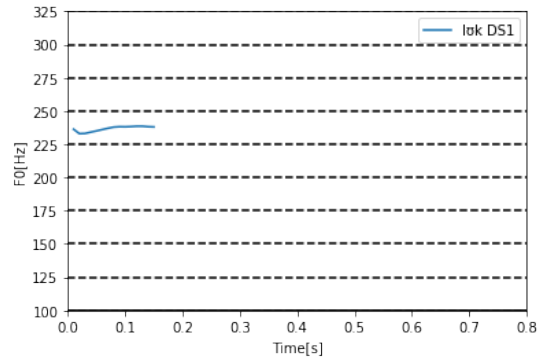


図 3-6a DS1 声調の単独発話の F0 曲線

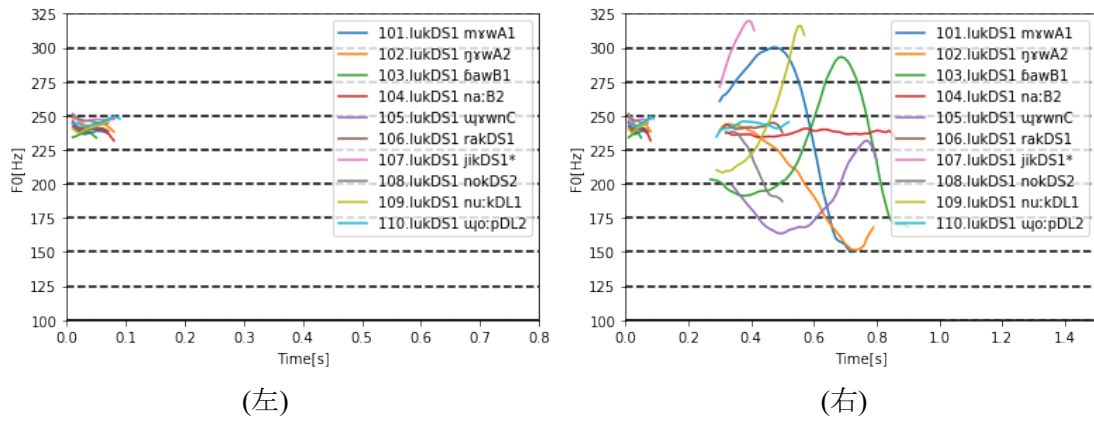


図 3-6b DS1 声調が第 1 音節に現れる場合 (DS1+○)

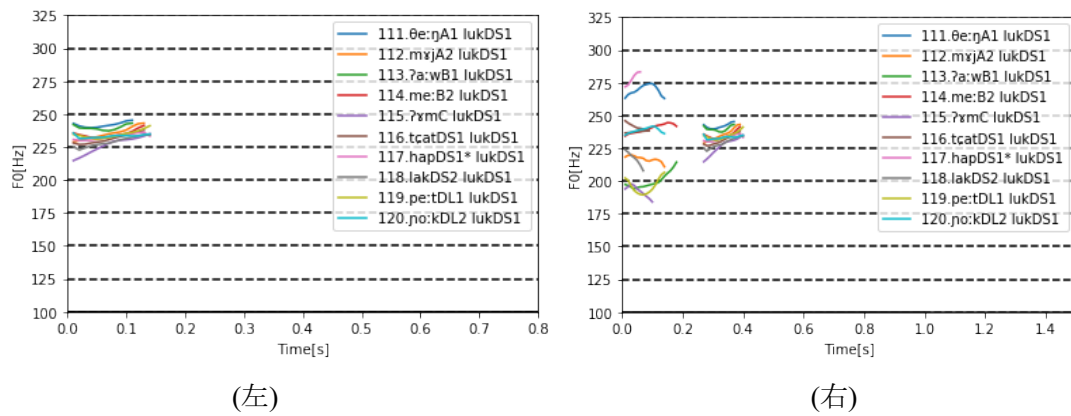


図 3-6c DS1 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+DS1)

ターゲットとなる DS1 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-6b(左)より 0.1 秒未満で、これは単独発話の持続時間 (0.2 秒弱) よりも短い (図 3-6a)。ピッチの変動の様子、すなわち調値は単独発話とさほど変わらない。後続する第 2 音節の声調による影響は見られない。

一方、ターゲットの DS1' 声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であり、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。第 2 音節の出だしのピッチの高さにややばらつきがある（215Hz～240Hz）が、これは先行する第 1 音節の声調の終端の高さが影響していると考えられる。

3.2.2.2 DS1' 声調

DS1' 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる DS1' 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの DS1' 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。DS1' 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、DS1' 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる（ex. DS1'+A1, DS1'+A2, DS1'+B1, DS1'+B2...）。なお、ターゲットとなる DS1' 声調の語をすべて /lap / DS1' 「籠」で統一した。

表 3-8 DS1' 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
121	/lap te:/[lap te:]	DS1' A1	彼（女）の籠	名名・促平
122	/lap ?a:/[lap ?a:]	DS1' A2	叔母 ¹¹⁹ の籠	名名・促平
123	/lap ?a:w/[lap ?a:w]	DS1' B1	叔父 ¹²⁰ の籠	名名・促平
124	/lap na:/[ap na:]	DS1' B2	叔母 ¹²¹ の籠	名名・促平
125	/lap pa:/[lap pa:]	DS1' C	叔母 ¹²² の籠	名名・促平
126	/lap p ^h jak/[lap p ^h jak]	DS1' DS1	野菜の籠	名名・促促
127	/lap jik/[lap jik]	DS1' DS1'	イクさんの籠	名名・促促
128	/lap cɤp/[lap tɤp]	DS1' DS2	籠が濡れる	名自動・促促
129	/lap ma:k/[lap ma:k]	DS1' DL1	果物の籠	名名・促促
130	/lap me:k/[lap me:k]	DS1' DL2	麦の籠	名名・促促
131	/θo:ŋ lap/[θo:ŋ lap]	A1 DS1'	2 籠	数名・平促
132	/jɤm lap/[jɤm lap]	A2 DS1'	籠を借りる	他動名・平促
133	/θɤj lap/[θɤj lap]	B1 DS1'	4 籠	数名・平促
134	/jo:ŋ lap/[jo:ŋ lap]	B2 DS1'	籠を使う	他動名・平促
135	/ha: lap/[ha: lap]	C DS1'	5 籠	数名・平促

¹¹⁹ 父方の祖父の妹である。

¹²⁰ 父の弟である。

¹²¹ 母の妹である。

¹²² 母の姉である。

136	/hat lap/[hat lap]	DS1 DS1'	籠を作る	他動名・促促
137	/θuk lap/[θok lap]	DS1' DS1'	籠を縛る	他動名・促促
138	/lak lap/[lak lap]	DS2 DS1'	籠を盗む	他動名・促促
139	/p ^h ja:k lap/[p ^h ja:k lap]	DL1 DS1'	籠を日に当てる	他動名・促促
140	/lu:k lap/[lu:k lap]	DL2 DS1'	籠を選ぶ	他動名・促促

ターゲットとなる /lap/ DS1' 「籠」の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-7a のグラフにした。次に、/lap/ DS1' 「籠」が第 1 音節にくる場合（番号 121～130）の F0 と持続時間を計測し、図 3-7b のグラフにした。そして、/lap/ DS1' 「籠」が第 2 音節にくる場合（番号 131～140）の F0 と持続時間を計測し、図 3-7c のグラフにした。図 3-7b および図 3-7c それぞれの(左)は 2 音節連続中のターゲットの区間の F0 曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む 2 音節連続全体の F0 曲線を表示したものである。

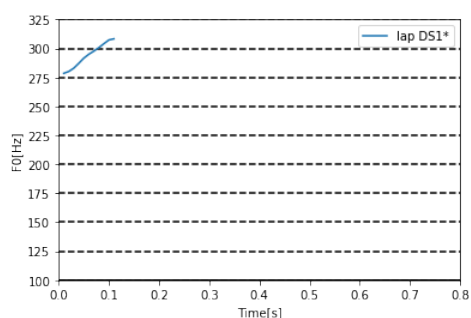


図 3-7a DS1'声調の単独発話の F0 曲線

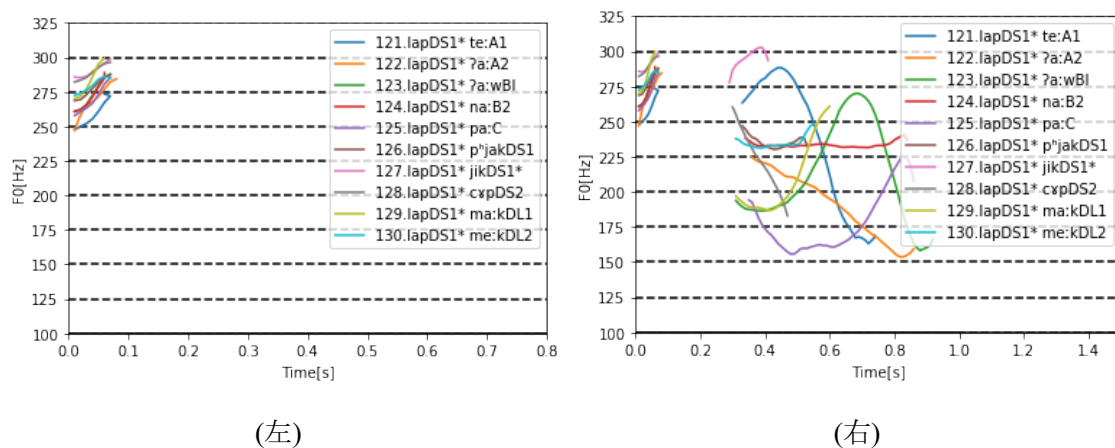


図 3-7b DS1'声調が第 1 音節に現れる場合 (DS1'+○)

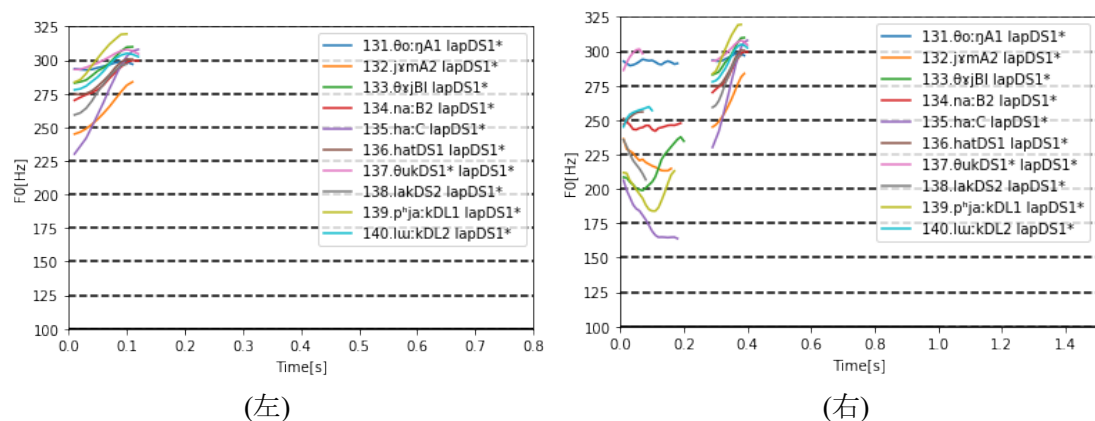


図 3-7c DS1'声調が第 2 音節に現れる場合 (○+DS1')

ターゲットとなる DS1'声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-7b(左)より 0.1 秒未満で、これは単独発話の持続時間 (0.1 秒強) よりも短い (図 3-7a)。F0 曲線には後続する第 2 音節の声調による影響は見られない。

一方、ターゲットの DS1'声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であり、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。第 2 音節の出だしのピッチの高さかなりばらつきがある (225Hz~300Hz) が、これは先行する第 1 音節の声調の終端の高さが影響していると考えられる。

3.2.2.3 DS2 声調

DS2 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる DS2 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの DS2 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。DS2 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、DS2 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. DS2+A1, DS2+A2, DS2+B1, DS2+B2...)。なお、ターゲットとなる DS2 声調の語をすべて/mɤk/ DS2 「インク、墨」で統一した。

表 3-9 DS2 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
141	/mɤk ho:m/[mɤk ho:m]	DS2 A1	香しい墨	名形・促平
142	/mɤk dām/[mɤk dām]	DS2 A2	黒いインク	名形・促平
143	/mɤk 6a:/[mɤk 6a:]	DS2 B1	インクが溢れる	名自動・促平
144	/mɤk ru:/[mɤk ɔu:/]	DS2 B2	インクが漏らす	名自動・促平
145	/mɤk nam/[mɤk nam]	DS2 C	インク、墨汁	名名・促平

146	/mɤk kja:t/[mɤk kja:t]	DS2 DS1	インクが詰まる	名自動・促促
147	/mɤk jik/[mɤk jik]	DS2 DS1'	イクさんのインク	名名・促促
148	/mɤk kwɤt/[mɤk kwɤt]	DS2 DS2	濃いインク	名形・促平
149	/mɤk mo:k/[mɤk mo:k]	DS2 DL1	灰色のインク	名形・促促
150	/mɤk pe:k/[mɤk pe:k]	DS2 DL2	白いインク	名形・促促
151	/ha: mɤk/[ha: mɤk]	A1 DS2	インクを探す	名他動・平促
152	/jɤm mɤk/[jɤm mɤk/]	A2 DS2	インクを借りる	他動名・平促
153	/θu:j mɤk/[θu:j mɤk]	B1 DS2	インクを洗い出す	他動名・平促
154	/caŋ mɤk/[teaŋ mɤk]	B2 DS2	墨を量る	名名・平促
155	/θɤu mɤk/[θɤu mɤk]	C DS2	墨を買う	他動名・平促
156	/cʰip mɤk/[ɕip mɤk]	DS1 DS2	墨を嗅ぐ	他動名・促促
157	/θak mɤk/[θak mɤk]	DS1' DS2	インクを塞ぐ	他動名・促促
158	/cat mɤk/[teat mɤk]	DS2 DS2	インクを拭き取る	他動名・促促
159	/ʔo:k mɤk/[ʔo:k mɤk]	DL1 DS2	インクを出す	自動名・促促
160	/lu:k mɤk/[lu:k mɤk]	DL2 DS2	インクを選ぶ	他動名・促促

ターゲットとなる/mɤk/ DS2「インク、墨」の単独発話のF0と持続時間を計測し、図3-8aのグラフにした。次に、/mɤk/ DS2「インク、墨」が第1音節にくる場合（番号141～150）のF0と持続時間を計測し、図3-8bのグラフにした。そして、/mɤk/ DS2「インク、墨」が第2音節にくる場合（番号151～160）のF0と持続時間を計測し、図3-8cのグラフにした。図3-8bおよび図3-8cそれぞれの(左)は2音節連続中のターゲットの区間のF0曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む2音節連続全体のF0曲線を表示したものである。

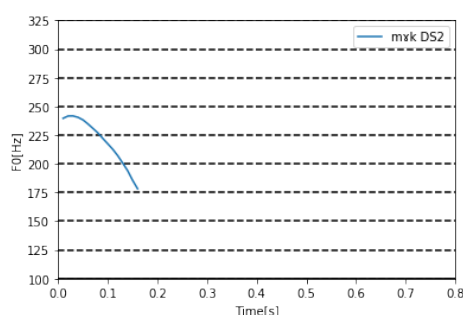


図 3-8a DS2 声調の単独発話のF0 曲線

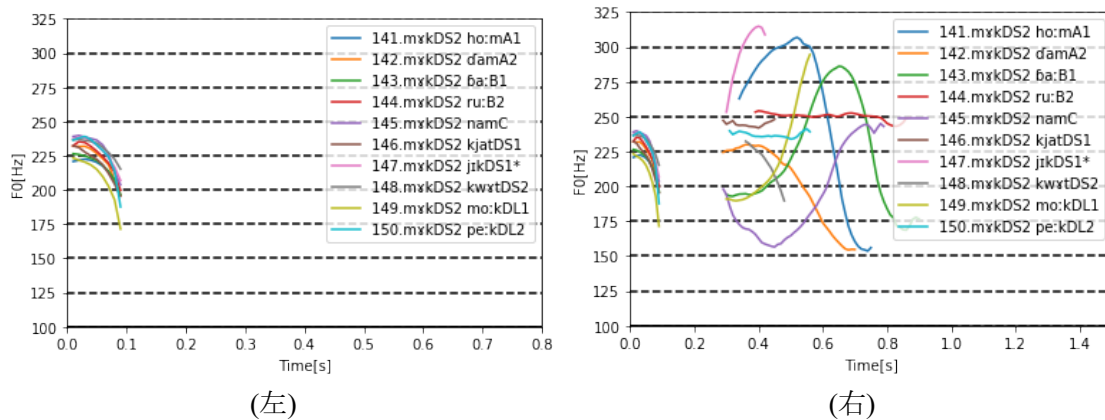


図 3-8b DS2 声調が第 1 音節に現れる場合 (DS2+○)

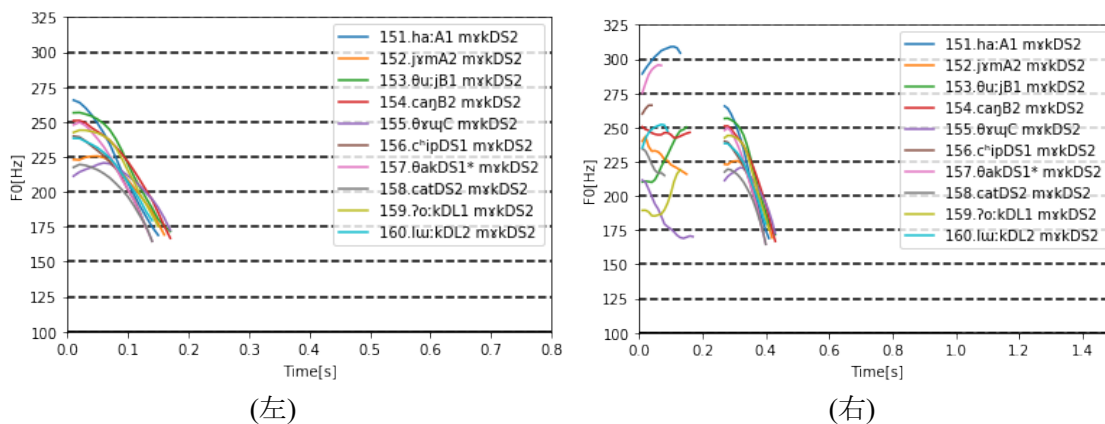


図 3-8c DS2 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+DS2)

ターゲットとなる DS2 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-8b(左)より 0.1 秒未満で、これは単独発話の持続時間（約 0.18 秒）よりも短い（図 3-8a）。F0 は単独発話の F0 曲線の前半のみが実現したような曲線を描く。後続する第 2 音節の声調による影響は見られない。

一方、ターゲットの DS2 声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であり、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。第 2 音節の出だしのピッチの高さにかなりばらつきがあり（210Hz～270Hz）、それによって下降が開始するタイミングもやや異なるが、これは先行する第 1 音節の声調の終端の高さが影響していると考えられる。しかし、おおむね 31 で表されるような調値に収束しているとみなせる。

3.2.2.4 促音節の DL1 声調

DL1 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる DL1 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはタ

ターゲットの DL1 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。DL1 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれは、DL1 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる (ex. DL1+A1, DL1+A2, DL1+B1, DL1+B2...)。なお、ターゲットとなる DL1 声調の語をすべて /ma:k/ DL1 「果物」 で統一した。

表 3-10 DL1 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
161	/ma:k kam/[ma:k kam]	DL1 A1	みかん	名名・促平
162	/ma:k lɔj/[ma:k lɔj]	DL1 A2	梨	名名・促平
163	/ma:k tʰaj/[ma:k tʰaj]	DL1 B1	栗	名名・促平
164	/ma:k ŋa:n/[ma:k ŋa:n]	DL1 B2	竜眼	名名・促平
165	/ma:k man/[ma:k man]	DL1 C	スモモ	名名・促平
166	/ma:k dɪp/[ma:k dɪp]	DL1 DS1	未熟な果物	名形・促促
167	/ma:k jik/[ma:k jik]	DL1 DS1'	イクさんの果物	名名・促促
168	/ma:k mat/[ma:k mat]	DL1DS2	ワンピ ¹²³	名名・促促
169	/ma:k kʰe:k/[ma:k kʰe:k]	DL1 DL1	よその果物 ¹²⁴	名名・促促
170	/ma:k ka:t/[ma:k ka:t]	DL1 DL2	渋い果物	名形・促促
171	/kin ma:k/[kin ma:k]	A1 DL1	果物を食べる	他動名・平促
172	/cim ma:k/[tɛim ma:k]	A2 DL1	果物を味見る	他動名・平促
173	/tʰa:ŋ ma:k/[tʰa:ŋ ma:k]	B1 DL1	果物を探す	他動名・平促
174	/caŋ ma:k/[tɛaŋ ma:k]	B2 DL1	果物を量る	他動名・平促
175	/θɯŋ ma:k/[θɯŋ ma:k]	C DL1	果物を買う	他動名・平促
176	/ʔip ma:k/[ʔip ma:k]	DS1 DL1	果物を拾う	他動名・促促
177	/juk ma:k/[jok ma:k]	DS1' DL1	果物を採る ¹²⁵	他動名・促促
178	/lak ma:k/[lak ma:k]	DS2 DL1	果物を盗む	他動名・促促
179	/tʰa:p ma:k/[tʰa:p ma:k]	DL1 DL1	果物を担う	他動名・促促
180	/lu:k ma:k/[lu:k ma:k]	DL2 DL1	果物を選ぶ	他動名・促促

ターゲットとなる /ma:k/ DL1 「果物」 の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-9a のグラフにした。次に、/ma:k/ DL1 「果物」 が第 1 音節にくる場合 (番号 161～170) の F0 と持続時間を計測し、図 3-9b のグラフにした。そして、/ma:k/ DL1 「果物」 が第 2 音節にくる場合 (番号 171～180) の F0 と持続時間を計測し、図 3-9c のグラフにした。図 3-9b およ

¹²³ 学名 : *Clausena lansium* (Lour.) Skeels.

¹²⁴ 「客の果物」としても言う。

¹²⁵ (樹の上にある) 果物を (長い棒で) 採る。

び図 3-9c それぞれの(左)は 2 音節連続中のターゲットの区間の F0 曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む 2 音節連続全体の F0 曲線を表示したものである。

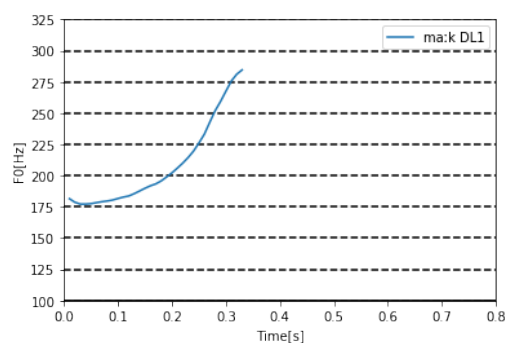
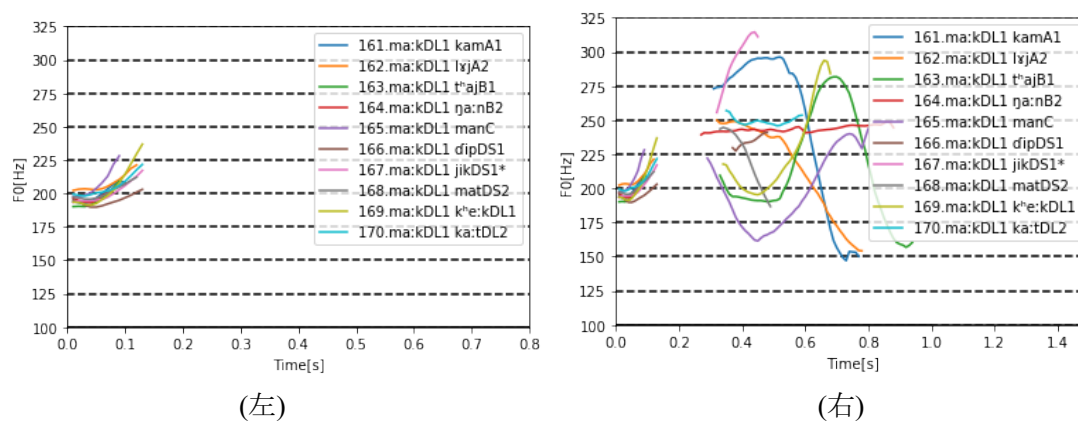
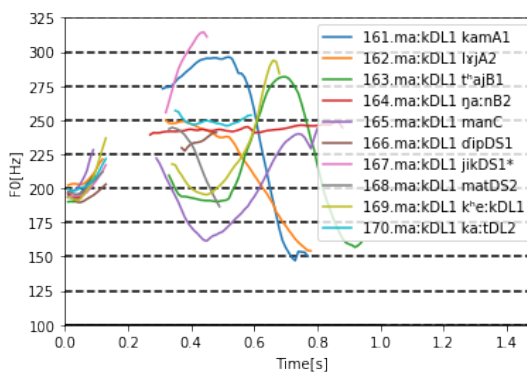


図 3-9a DL1 声調の単独発話の F0 曲線

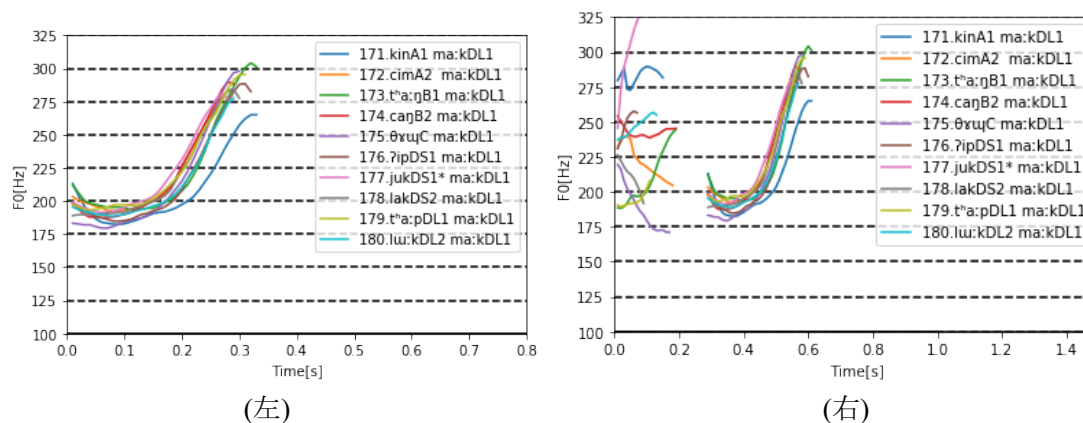


(左)

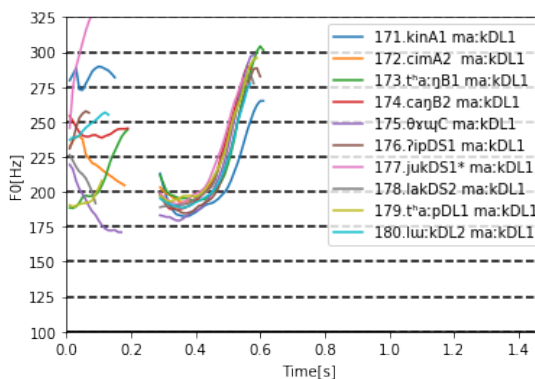


(右)

図 3-9b DL1 声調が第 1 音節に現れる場合 (DL1+○)



(左)



(右)

図 3-9b DL1 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+DL1)

ターゲットとなる DL1 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-9b(左)より約

0.1 秒で、これは単独発話の持続時間（約 0.35 秒）よりも短い（図 3-9a）。F0 曲線も単独発話の F0 曲線の前半のみが実現したような曲線を描く。単独発話の場合と音節連続の第 1 音節にある場合それぞれの母音の開始の F0 値はほぼ同じ（175Hz～200Hz）である。しかし終端のピッチの高さは大きく違い、単独発話では 275Hz 付近まで上昇していくのに対して、第 1 音節にある場合では最大 225Hz 付近までしか上昇しない。後続する第 2 音節の声調による影響はほとんど見られない。

一方、ターゲットの DL1 声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であり、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。すなわち、200Hz 付近から始まり、275Hz～300Hz まで上昇していく。この点が、第 1 音節にある場合と大きく異なる。

3.2.2.5 促音節の DL2 声調

DL2 声調の変調の分析に用いた 2 音節連続のセットは 20 あり、そのうちの 10 セットはターゲットとなる DL2 声調が 2 音節連続の 1 番目の音節にあるもの、残り 10 セットはターゲットの DL2 声調が 2 音節連続の 2 番目にあるものである。DL2 声調が第 1 音節にあるセット、第 2 音節にあるセットそれぞれの、DL2 声調と龍茗方言の 10 声調の組み合わせからなる（ex. DL2+A1, DL2+A2, DL2+B1, DL2+B2...）。なお、ターゲットとなる DL2 声調の語をすべて /ma:t/ DL2 「靴下」で統一した。

表 3-11 DL2 声調分析一覧表

番号	語彙	声調	意味	構造
181	/ma:t k ^h e:w/[ma:t k ^h e:w]	DL2 A1	緑色の靴下	名形・促平
182	/ma:t d ^h e:ŋ/[ma:t d ^h e:ŋ]	DL2 A2	赤い靴下	名形・促平
183	/ma:t mau/[ma:t mau]	DL2 B1	新しい靴下	名形・促平
184	/ma:t na:/[ma:t na:]	DL2 B2	叔母の靴下	名名・促平
185	/ma:t tin/[ma:t tin]	DL2 C	短い靴下	名形・促平
186	/ma:t luk/[ma:t luk]	DL2 DS1	子供の靴下	名名・促促
187	/ma:t jik/[ma:t jik]	DL2 DS1'	イクさんの靴下	名名・促促
188	/ma:t cɤp/[ma:t tɤp]	DL2 DS2	濡れた靴下	名自動・促促
189	/ma:t mo:k/[ma:t mo:k]	DL2 DL1	灰色の靴下	名形・促平
190	/ma:t jɤ:t/[ma:t jɤ:t]	DL2 DL2	弾力のある靴下	名形・促促
191	/k ^h a:j ma:t/[k ^h a:j ma:t]	A1 DL2	靴下を売る	他動名・平促
192	/jo: ma:t/[jo: ma:t]	A2 DL2	靴下を片付ける	他動名・平促
193	/θe:w ma:t/[θe:w ma:t]	B1 DL2	靴下に刺繍する	他動名・平促
194	/kɤw ma:t/[kɤw ma:t]	B2 DL2	靴下のペア	類名・平促

195	/θɯɯ ma:t/[θɯɯ ma:t]	C DL2	靴下を買う	他動名・平促
196	/pap ma:t/[pap ma:t]	DS1 DL2	靴下を畳む	他動名・促促
197	/cuk ma:t/[tɕuk ma:t]	DS1' DL2	靴下を刺す	他動名・促促
198	/θak ma:t/[θak ma:t]	DS2 DL2	靴下を洗う	他動名・促促
199	/p ^h ja:k ma:t/[p ^h ja:k ma:t]	DL1 DL2	靴下を干す	他動名・促促
200	/lu:k ma:t/[lu:k ma:t]	DL2 DL2	靴下を選ぶ	他動名・促促

ターゲットとなる/ma:t/ DL2「靴下」の単独発話の F0 と持続時間を計測し、図 3-10a のグラフにした。次に、/ma:t/ DL2「靴下」が第 1 音節にくる場合（番号 181～190）の F0 と持続時間を計測し、図 3-10b のグラフにした。そして、/ma:t/ DL2「靴下」が第 2 音節にくる場合（番号 191～200）の F0 と持続時間を計測し、図 3-10c のグラフにした。図 3-10b および図 3-10c それぞれの(左)は 2 音節連続中のターゲットの区間の F0 曲線だけを表示したもの、(右)はターゲットを含む 2 音節連続全体の F0 曲線を表示したものである。

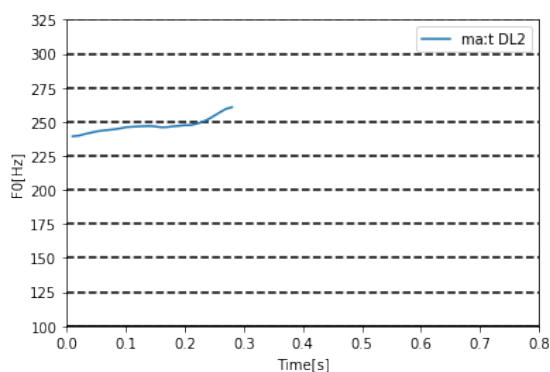


図 3-10a DL2 声調の単独発話の F0 曲線

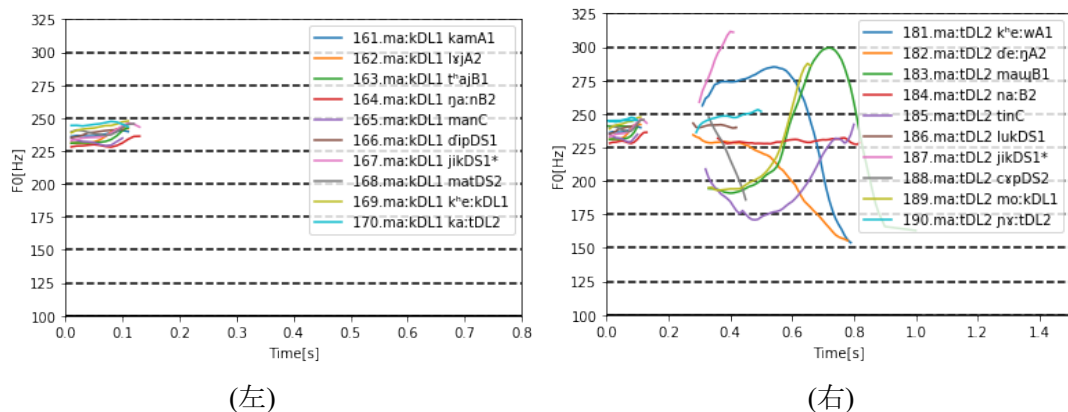


図 3-10b DL2 声調が第 1 音節に現れる場合 (DL2+○)

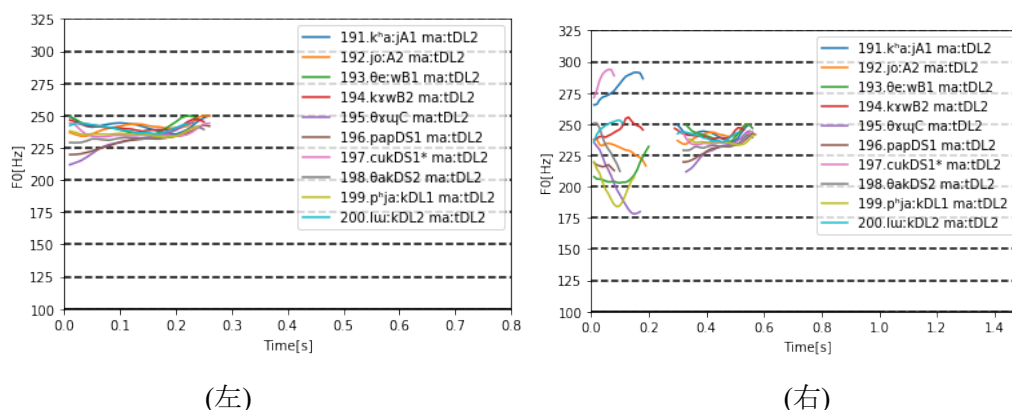


図 3-10b DL2 声調が第 2 音節に現れる場合 (○+DL2)

ターゲットとなる DL2 声調が第 1 音節にある場合、その持続時間は図 3-10b(左)より約 0.1 秒で、これは単独発話の持続時間 (0.3 秒弱) よりも短い (図 3-10a)。単独発話ではゆるやかな上昇を示す F0 曲線を描くが、音節連続の第 1 音節にある場合には、ほとんど平坦である。後続する第 2 音節の声調による影響はほとんど見られない。一方、ターゲットの DL2 声調が第 2 音節にある場合、単独発話とほぼ同じ持続時間であり、F0 曲線も単独発話と同様な実現を示している。母音の始端の高さにややばらつきが観察されるが、これは先行する第 1 音節の声調の終端の高さの影響を受けていると考えられる。

3.3 龍茗方言の変調規則と基本声調の素性表示

3.3.1 龍茗方言の変調規則

3.2 では、龍茗方言の平音節に現れる 5 種の声調および促音節に現れる 5 種の声調について、それぞれが 2 音節連続の第 1 音節にある場合、第 2 音節にある場合の (単独発話と比較した) 声調の変化の分析を行った。本節では、以上で明らかになった龍茗方言の変調規則をまとめる。そして、第 2 章で述べたように A1 と DS1'、A2 と DS2、B1 と DL1、B2 と DS1 及び DL2 は音節構造の種類によって相補的に分布しており、音韻的には対立せずに同一の基底表示を持つと解釈できることを明らかにする。

まず、3.2.1.節で分析した平音節に現れる 5 種の声調 (A1、A2、B1、B2、C) の声調の変化の特徴を以下に示す。

1) 平音節に現れるすべての声調は、2 音節連続の第 1 音節の声調として現れる場合、ピッチの持続時間はいずれも約 0.2 秒であり、単独発話の持続時間よりも半分以下に短くなっている。

2) 2 音節連続の第 1 音節の声調として現れる場合、B2 声調以外のいずれの声調でも基本調値から新たな調値をとる。すなわち、A1 は 451 から 45、A2 は 31 から 32、B1 は 251 から 23、C は 213 から 211 と調値が変わる。ただし、変調調値はそれぞれ声調の基本調値の最大変動幅（基本調値が取り得る F0 の最大値と最小値）を超えることはなく、かつ、変調調値は基本調値の前半部分の特徴とほぼ一致している。変調によって他の声調と中和するという事はない。

3) 2 音節連続の第 1 音節の声調に見られる変調のプロセスには、後続する第 2 音節の声調の種類や音節連続の意味構造・統語構造は関与しない。

4) 2 音節連続の第 2 音節の声調として現れる場合、先行する第 1 音節の声調の影響による声調の変化は認められない。また、その調値は単独発話の調値とほぼ同じであり、持続時間もほぼ同じである。

次に、2.2.節で分析した促音節に現れる 5 種の声調（DS1、DS1'、DS2、DL1、DL2）の声調の変化の特徴を以下に示す。

1) 2 音節連続の第 1 音節として現れる場合、短母音促音節に現れる DS1、DS1'、DS2 は母音のピッチの持続時間がいずれも 0.1 秒未満であり、単独発話の持続時間より短い。また、長母音促音節に現れる DL1、DL2 は母音のピッチの持続時間が何れも 0.2 秒未満であり、単独発話の持続時間より短い。

2) 平音節と同じように、2 音節連続の第 1 音節にある場合には変調が生じうるが、第 2 音節にある場合には変調しない。この第 1 音節に見られる変調はいずれもそれぞれの単独発話の声調の最大変動幅を超えず、かつ他の声調と中和することはない。また、先行する第 1 音節の声調の種類や意味構造・統語構造はこの声調の変化には関与しない。

以上の分析の結果、以下が明らかになった、

- a) 変調は第 1 音節にのみ生じ、第 2 音節には変調も音節の持続時間の顕著な変動も観察されない。
- b) 第 1 音節の持続時間は、その声調の違いに関わらず、単独発話の場合の半分以下に短くなる。
- c) 第 1 音節の F0 は、単独発話の場合の F0 曲線の前半部分とほぼ一致する（後半部分が切り詰められる）。
- d) 変調によって、ある声調が別の声調と中和することはない。変調する場合の変調調値はそれぞれ声調の基本調値の最大変動幅（基本調値が取り得る F0 の最大値と最小値）を超えることはない。
- e) 変調のプロセスには、意味構造・統語構造、および後続音節の声調の種類は関与しない。

龍茗方言の 2 音節連続における変調は、声調の種類の違いや意味・統語構造の違いに関わらず、第 1 音節の音節持続時間の短縮によって、その音節のピッチ曲線の後半部分が切

り詰められるというものであり、武鳴方言や龍州方言などの他のチワン語方言に報告されている変調と比較して単純である。声調言語の一部に認められる声調の連続変調（tone sandhi）は龍茗方言においては認められないと言える。

3.3.2 基本声調の素性表示と再解釈

繰り返して述べたように龍茗方言には 10 個の基本声調が存在するが、どの声調が出現するのは音節構造からかなりの程度予測することが可能である。音節構造ごとに見た基本声調の分布を表 3-13 に示す。なお、表 3-13 では当該の声調が出現する環境を＋、出現しない環境を－で示す。音節構造については、音節の末子音が共鳴音であればそれを N で表し（ex. CVN）、末子音が閉鎖音であればそれを q で表す（ex. CVq）。

表 3-13 を見ると、「A1、A2、B1、B2、C」、「DS1'、DS1、DS2」及び「DL1 と DL2 は同じ環境で出現するため音韻論的に対立することが分かる。一方、A1 と DS1'、A2 と DS2、B1 と DL1、B2 と DS1 及び DL2 は、互いに同一ないし類似の調値を持ち、かつ相補的に分布している。したがって、これらは音韻的には対立しない条件異音と解釈することが可能である。この解釈には龍茗方言の声調の数を最小限に抑えられる利点がある。

表 3-13 基本声調の出現分布と音節構造の関係

声調名 調値 音節構造	A1	A2	B1	B2	C	DS1'	DS1	DS2	DL1	DL2
	451	31	251	33	213	45	33	31	25	33
① CVV	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-
② CCVV	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-
③	CVN	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	CVq	-	-	-	-	+	+	+	-	-
④	CCVN	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	CCVq	-	-	-	-	+	+	+	-	-
⑤	CVVN	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	CVVq	-	-	-	-	-	-	-	+	+
⑥	CCVVN	+	+	+	+	-	-	-	-	-
	CCVVq	-	-	-	-	-	-	-	+	+

しかし、この解釈は本当に妥当だろうか。A1 と DS1'、A2 と DS2、B1 と DL1、B2 と DS1 及び DL2 は条件異音であるという解釈を支持する根拠を、2 音節連続の分析結果に求めたい。

図 3-11a、図 3-11b、図 3-11c、図 3-11d、図 3-11e に 2 音節連続の第 1 音節の F0 曲線を並

べて比較する。これにより、龍茗方言の各声調が持つ特徴の内より安定した特徴が何かを明らかにすることができる。そこで、本論文では後述する Wang (1967) が提案している声調素性体系を参考し、表 3-14 に素性を用いて各声調の特徴を整理する。

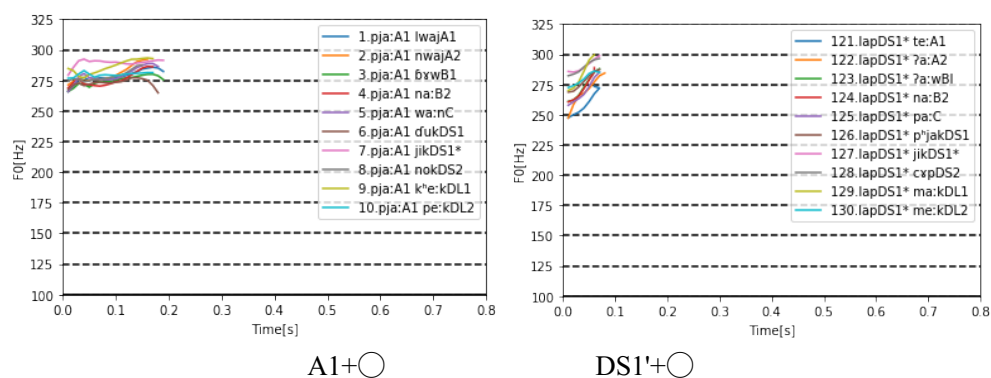


図 3-11a A1& DS1' 声調

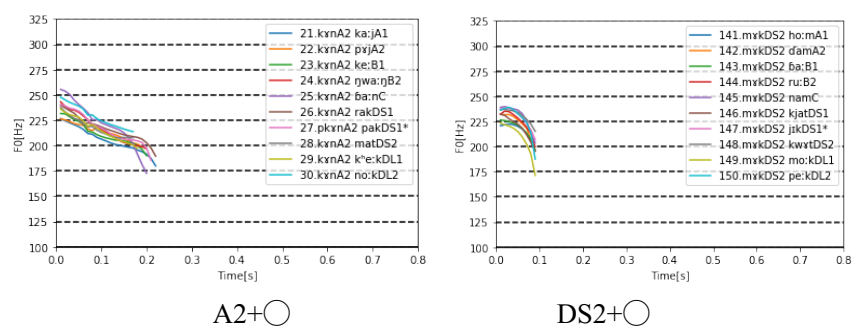


図 3-11b A2& DS2 声調

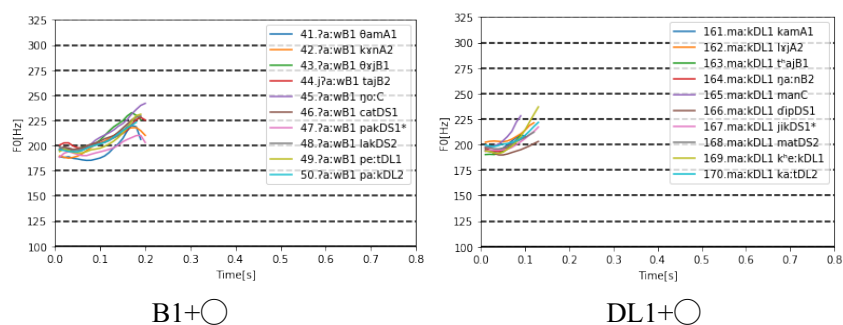


図 3-11c B1& DL1 声調

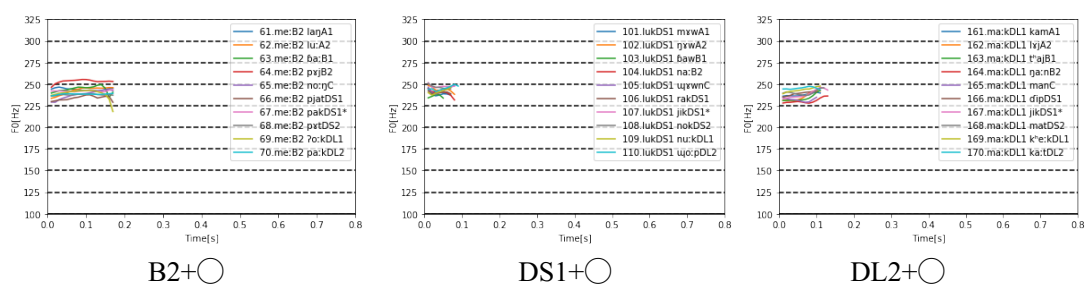


図 3-11d B2, DS1& DL2 声調

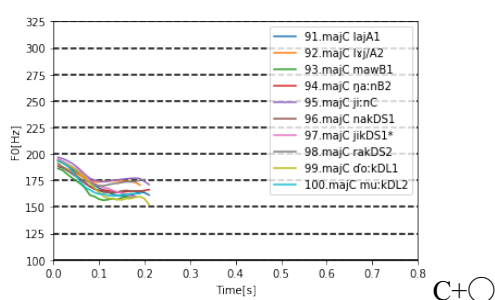


図 3-11e C 声調

Wang(1967)は、3種類の素性[±high]、[±central]、[±mid]を用いて、5段階の高さ（H, IH, M, hL, Lの順に低くなる）の水平声調（level tone）を区別する。[±high]は5段階の高さの両端を指定するもので、[+high]で最も高いHを、[-high]で最も低いLを表現する。

[+central]は中央の高さ（M）に近いことを指定する素性である。[±mid]はMを指定するための素性であり、[+mid]でMを、[-mid]はそれ以外を指定する。

(1) Wang(1967)による水平声調の素性表示

	H	IH	M	hL	L
high	+	+	-	-	-
central	-	+	+	+	-
mid	-	-	+	-	-

さらに、Wang(1967)は、[±contour]、[±rising]、[±falling]、[±convex]そして[±high]の5種類の素性を用いて曲線声調（contur tone）の形や高さを区別する。[±contour]は曲線声調か否かを区別する素性で、すなわち、曲線声調は[+contour]となり、水平声調は[-contour]となる。[±rising]は上昇調か否か、[±falling]は下降調か否かを指定する素性である。[±convex]

は、龍茗方言における B1 の基本声調（上昇下降調）のように、上昇下降調や下降上昇調を他から区別する素性である。前者は[+convex]、後者は[-convex]で指定される。曲線声調における高さの違いを指定するには[±high]を用いる。つまり、高い上昇調（高上昇）と低い上昇調（低上昇）、あるいは高い下降調（高下降）と低い下降調（低下降）は、それぞれ[+high]と[-high]で区別される。

(2) Wang(1967)による曲線声調の素性表示

	高上昇	低上昇	高下降	低下降	高い 上昇下降	低い 上昇下降	高い 下降上昇	低い 下降上昇
contour	+	+	+	+	+	+	+	+
high	+	-	+	-	+	-	+	-
rising	+	+	-	-	+	+	+	+
falling	-	-	+	+	+	+	+	+
convex	-	-	-	-	+	+	-	-

本論文では Wang(1967)の理論を基にして、龍茗方言の声調を以下のように素性を用いて表示する。ただし、龍茗方言における 2 音節連続の第 1 音節には上昇下降調あるいは下降上昇調は現れないため、[±convex]は用いない。用いるのは、曲調声調素性の[±contour]、[±high]、[±rising]、[±falling]の 4 つである。曲線声調素性の[±high]については、声調間の相対的な高さを表すもので、実際の調値の高さを表すわけではないことに注意されたい。

表 3-14 各声調の素性

	A1	A2	B1	B2	C	DS1'	DS1	DS2	DL1	DL2
contour	+	+	+	-	+	+	-	+	+	-
high	+	+	-	-	-	+	-	+	-	-
rising	+	-	+	-	-	+	-	-	+	-
falling	-	+	-	-	+	-	-	+	-	-

表 3-14 のうち、5 つの素性が一致している声調を同色で示すと上のようになる。すなわち、A1 と DS1'、A2 と DS2、B1 と DL1、B2 と DS1 と DL2、それぞれの素性が一致する。C は他の声調と素性は一致しない。素性の共有によってまとめられた各声調群は、次のような音声的な特徴によってまとめることができる（表 3-15）。

表 3-15 各声調の音声的な特徴

声調	音声的な特徴
A1、DS1	高いピッチから始まり上昇する
A2、DS2	中くらいのピッチから始まり下降する
B1、DL1	低いピッチから始まり上昇する
B2、DS1、DL2	中くらいのピッチから始まり平進する
C	低いピッチから始まり下降する

以上の表 3-13、表 3-14、表 3-15、図 3-11 の分析結果、龍茗方言の声調は表 3-16 のように分類できる。

表 3-16 龍茗方言の声調

声調	内訳
第 1 声調	A1、DS1'
第 2 声調	A2、DS2
第 3 声調	B1、DL1
第 4 声調	B2、DS1、DL2
第 5 声調	C

3.4 2 音節連続語に見られる音節の等時性

3.2 では龍茗方言の 2 音節連続語のピッチを観察し、分析を行った。その結果、平音節ではいずれの声調でも、第 1 音節の韻 (rhyme) の区間の持続時間はおよそ 0.2 秒であった。この分析結果から言えるのは、後続音節がある場合の先行音節において韻 (rhyme) には等時性が認められるということである。

しかし、頭子音も含んだ音節全体の長さにおいても等時性は見られるのだろうか。さらに、3.2 では検討しなかったが、後続音節がある場合の先行音節において母音の長短の対立は観察されるのであろうか。以上を検証するために、3 つの平音節の語：長母音開音節を伴う /ka:/A1 「カラス」、長母音閉音節を伴う /ka:n/A1 「涸れる」、短母音閉音節を伴う /kan/A1 「尾行する」をターゲットとして、それぞれの後ろに /ma:/ 「来る」という語を後続させた場合で以上 2 つの問題を検証してみる。それぞれの計測結果を図 3-12 に示す。

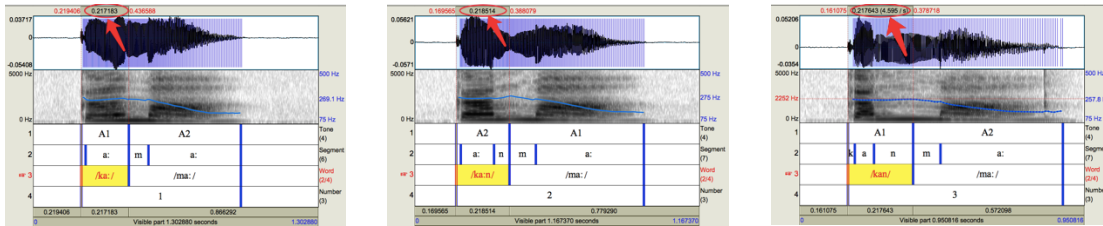


図 3-12 平音節の 2 音節連

まず、頭子音を含めた音節全体の持続時間をターゲット語 3 つそれぞれについて見てみると、/ka:/A1「カラス」は約 0.217 秒、/ka:n/A1「涸れる」は約 0.219 秒、/kan/A1「尾行する」は約 0.218 秒である。すなわち、頭子音を含めた場合でも 1 音節の長さはほぼ等しい（約 0.22 秒）ことが分かる。また、以上の結果から同時に、音節構造が異なっても音節全体の長さはそれぞれほぼ等しいことも分かる。

以上より、後続音節がある場合の先行音節における音節（全体）に等時性が認められるということが分かった。次に、音節全体の長さが等しくなる場合においても、母音の長短の対立があるかどうかであるが、同じく図 3-12 より明らかなように、/kan/A1「尾行する」の短母音の区間の持続時間は、/ka:/A1「カラス」や/ka:n/A1「涸れる」といった長母音の区間の持続時間と比較して短い。したがって、音節の等時性がある場合でも母音の長短の対立は保持されていると言える。

注目すべきは、同じく長母音を持つ/ka:/A1「カラス」と/ka:n/A1「涸れる」とでも、母音の持続時間が異なるという点である。すなわち、開音節長母音（/ka:/A1「カラス」）のほうが閉音節長母音（/ka:n/A1「涸れる」）よりも持続時間が長いのである。更に、末子音の持続時間にも注目すると、短母音に後続する末子音（/kan/A1「尾行する」）のほうが長母音に後続する末子音（/ka:n/A1「涸れる」）よりも、持続時間が長いのである。およそ等しい長さの音節の中での母音や末子音の持続時間の変動は、音節の長さを等しく保とうとする働きの反映であると解釈することができる。

これらにおける子音・母音の長さの分布は、模式図的に、以下表 3-17 のように示すことができる。

表 3-17 2 音節連続語に見られる音節の等時性

種類	第 1 音節の長さ			第 2 音節の長さ
長母音開音節	k	a:		ma:
長母音閉音節	k	a:	n	ma:
短母音閉音節	k	a	n	ma:

一方、第2章で述べたように、音節単独発話における促音節の末子音の終端は原理的に計測できないため、音節長を計測することができない。そこで、促音節の単独発話ではなく、促音節に後続する音節が存在する発話を調べることによって促音節における等時性を検証する。

ターゲットとなる4語：/kap/DS1「蛙」、/ka:p/DL1「合流する」、/kap/DS2「捕まえる」、/ka:p/DL2「提携する」それぞれに、/na:/B2「叔母（母の妹）」を付けて意味のある2音節連続を作り¹²⁶、それぞれの音節長と母音長を計測した。

図3-13は1) /kap^{DS1} na:/B2/「叔母の蛙」、2) /ka:p^{DL1} na:/B2/「叔母と合流する」、3) /kap^{DS2} na:/B2/「叔母を捕まえる」、4) /ka:p^{DL1} na:/B2/「叔母と提携する」の4つの2音節連続によって計測できた促音節の音節長を対比したものである。

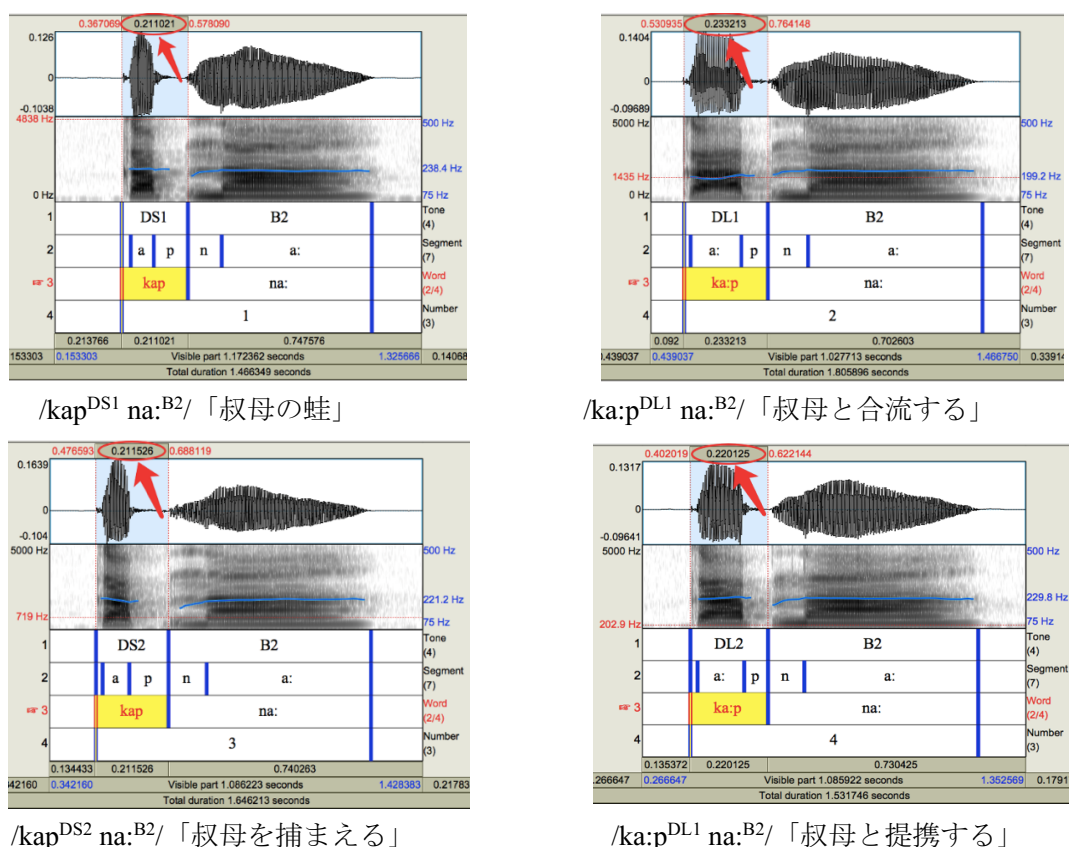
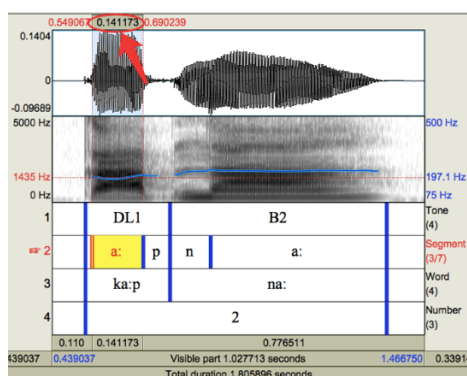


図 3-13 2音節連続における促音節の音節長

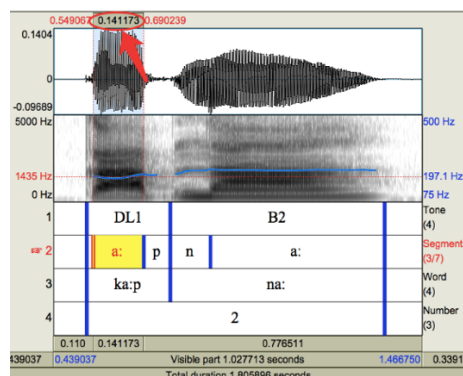
¹²⁶ /kap/DS1'「オオヤモリ」は後ろに何かがある時に常に/kap^{DS1} kaj^{B2}/と言うために、検証の対象から外した。

図 3-13 によると、促音節は母音の長短を問わず、後続音節が存在する発話においてはその音節長がおおよそ等しい（約 0.21 秒 ～ 0.23 秒）ことが分かる。すなわち、平音節同様促音節においても、後続音節がある場合の先行音節における音節（全体）に等時性が認められるということが分かった。平音節が 1 音節単独で発話した場合においても等時性が見られるのに対し、促音節は先述した理由により、末子音が同定可能な時にのみ観察される。

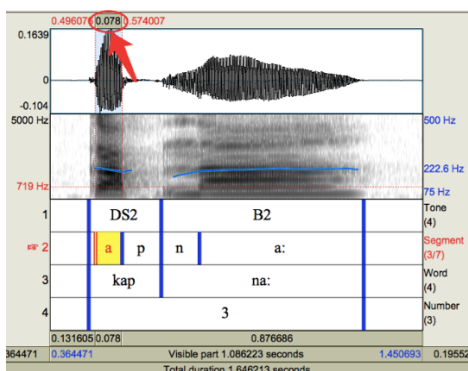
図 3-14 は後続音節がくる促音節の母音長を示す。促音節の母音の長さは、後続音節がある場合、単独発話の時よりも短くなっている。しかし、そのような場合においても、短母音と長母音の長さの対立が保たれているのは図 3-3 より明らかである。その長さの比率は、短母音：長母音＝1：2 である。この短母音と長母音の長さの比率は、単独発話の場合のそれとほぼ同じ結果である。すなわち、後続音節があることによる促音節の母音全体が短くなったとしたとしても母音の長短の対立は保持されると言える。



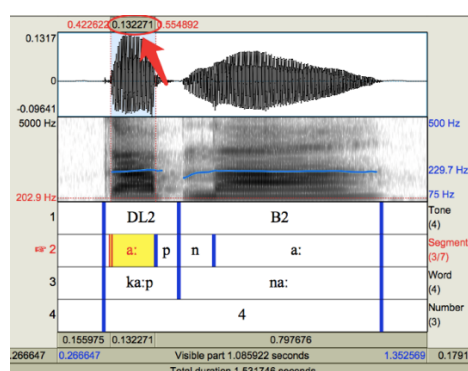
/kap^{DS1} na:B2/ 「叔母の蛙」



/ka:p^{DL1} na:B2/ 「叔母と合流する」



/kap^{DS2} na:B2/ 「叔母を捕まえる」



/ka:p^{DL1} na:B2/ 「叔母と提携する」

図 3-14 後続音節がくる促音節の母音長

このように、龍茗方言に見られる母音が短化するという特徴は促音節だけではなく平音節でも後続音節がくる環境では観察される。これらすべての音節は母音の短化と音節の等時性という特性がピッチの長さを関与すると考える。

第4章 龍茗方言表記法私案

4.1 目的と構成

本章の目的は、龍茗方言の表記法を提案することである。すなわち、これまでに明らかにした龍茗方言の音韻体系、声調体系を根拠として、各音素や声調について適切な記号を割り当てた龍茗方言の表記法を提案する。

本論文で提案するのは、あくまで表記法（transcription）であって、正書法（orthography）ではない。正書法は、ある言語集団や政治集団、国家などが取り決める規範的なつづり方を意味することが多いが、ここで提案する表記法は、規範を示すことを目的としておらず、また特定の集団の後ろ盾もない。龍茗方言の語彙、語句やテキストを文書化し、龍茗方言コミュニティの成員が共有するためには、一貫した表記法が必要である。本章で提案する表記法は、この目標の達成を唯一の目的としている。

この試案は、筆者が調査のための必要性を満たす言語学的表記であること、および龍茗方言コミュニティの成員が、ある程度使える表記であることの2点を両立できるように作成する。そうすることにより、今後筆者の作成する文法書、語彙集、民話、民謡などが、チワン語龍茗方言のコミュニティに資料として還元されることを期待したい。なお、本論文で提案する表記法は、龍茗方言の母語話者が不自然あるいは習得するのが難しいと感じる場合、今後適宜改訂すべきものである。

本論文では龍茗方言の発音表記法と文字表記法の2つを提案する。本論文でいう「発音表記法」は主にラテン文字を使った表記法を指すのに対して、「文字表記法」は特定の文字体系を用いた表記法を指す。そして、本章では音素にラテン文字もしくは記号を割り当てることを「転写」と言い、このラテン文字と記号による表記を「転写表記」と名付ける。龍茗方言の文字表記法の「転写表記」はこのラテン文字による発音表記法を意味する。

本章は以下のように構成される。

4.2 では、チワン語の表記史と正書法について概観する。チワン族は、主に祭祀者・巫女・歌手¹⁵⁶などがチワン語の記録のために漢字を利用したり、あるいは漢字を基に新たに作り出した固有文字で「方塊壮字」¹⁵⁷などを利用してきたりした（4.2.1）。1950年代にはたラテン文字で綴る標準チワン語の表記が考案された（4.2.2）。4.3 では龍茗方言の発音表記法の試

¹⁵⁶ 掛け合いの歌を歌う男性歌手を指す。方塊壮字によって書かれる歌本のほとんどは男性歌手が持ち、女性歌手は即席で歌を掛け合う。

¹⁵⁷ 中国におけるチワン族の固有文字に対する呼び方には「古壮字」「土俗字」「方塊壮字」などがあるが、本稿は「方塊壮字」で統一する。「方塊」には「四角い」「角張った」という意味があり、「方塊字」と言えば漢字か、漢字のような四角い文字を指す。したがって書き言葉としての「壮（チワン）族の四角い文字（漢字）」という意味であえて「方塊壮字」と呼ぶことにする。

案を提示し、小文字の使い分け、特殊記号の使い方についても述べる。4.4 ではシャム文字を用いた龍茗方言の文字表記法の試案を提案し、文字の書き方及び組み合わせ方について解説する。さらに、この試案を用いた表記の例についても述べる。

最後に、4.5 で結びにかえ、まとめと龍茗方言を含むチワン語諸方言のローカル表記法の可能性について展望する。

4.2 チワン語表記の歴史と正書法

4.2.1 チワン語表記の歴史

チワン語を表記する手段として、「方塊壮字」或は「古壮字」、「土俗字」と呼ばれる擬似漢字（標準チワン語では *saw ndip* と呼び、「未熟な字、生の字」という意味）が歴史的に使われてきた。これらは、ベトナムの字喃（チュノム）と同じように、漢字の造字法を真似て作ったチワン族独自の文字である。例えば「山」を表す語は[p^hja:^A]（龍茗方言）であるが、この語を表す方塊壮字は「𠵿」である。この字は意味を表す部分（語義要素）と音を表す部分（語音要素）から構成される。「山」が語義要素であり、その意味は漢字と共通して「山」である。「巴」部分が語音要素であり、それが表す音は[p^hja:^A]である。「巴」の字の中世漢語における音は[*pa]（加納 2008:19）であると推定され、音が類似していることがわかる。さらに、タイ祖語における「山」を意味する語は[*pa:^A]（Li 1977: 67）あるいは[*pra:^A]（Pittayawat 2009: 334）と再建され、より古い時代にはより音が類似していたことがわかる。この音の類似性を利用して、「山」の意味を表す方塊壮字の語音要素として「巴」が選択されている。

現存する最古の方塊壮字は、682 年（唐代永淳元年）に澄州刺史が刻んだ石碑だとされることが多かったが、研究が進むにしたがって、方塊壮字はより古い時代（漢朝時代）に使用されていたことが明らかにされている（覃曉航 2010: 33-35）。南宋の范成大が著した『桂海虞衡志』（1175 年）の中に「辺遠俗陋、牒訴卷約、專用土俗字、桂林諸区皆然」という文があることも指摘されている¹⁵⁸。また、明清の時代に会同館と四夷館（後の四訳館）で編纂された書物『華夷訳語』の中に広西のチワン語を記録した資料が三種類残っている。これらは、いわゆる乙集本訳語と呼ばれている体裁をとっていて、各項目の中央にチワン語と漢語が対照されている。チワン語は方塊文字で書かれ、その発音が漢字で表記されている。この書物の中には、チワン語の南部方言を記録した「鎮安府属土州県司訳語」（全 16 頁、天文門はじめ 11 の意味部門に分けて、71 語を収録している）、「太平府属土州県司訳語」（全 21 頁、天文門など 9 の意味部門に分けて、107 語を収録している）、北部方言を記録した「慶遠府属

¹⁵⁸ 例えば、李樂毅（1984）「方塊壮字与喃字的比較研究」『民族語文』第 4 号、66 頁。

土州県司訳語」(全 32 頁、天文門から通用門に及ぶ 15 の部門に分けられ、162 語を収録している)よりなる 3 つの貴重な資料がある¹⁵⁹。これらの資料を読めば、方塊壮字が広範囲のチワン語分布圏で使われ、地域ごとに特徴を持っていたことが確認できる。しかし、正字法または正書法が存在しなかったため、チワン文字としての統一には至らなかったのである。こうした方塊壮字は、現在でも広西チワン族自治区の各農村地域において、道士の写経、掛け歌の覚え書き、家譜などの表記に広く用いられており、生きている文字であるといえるが、方塊壮字によって書かれた書物(写真 4-1、写真 4-2、写真 4-3、写真 4-4)から窺えるように地域差(方言差)や個人差がある。

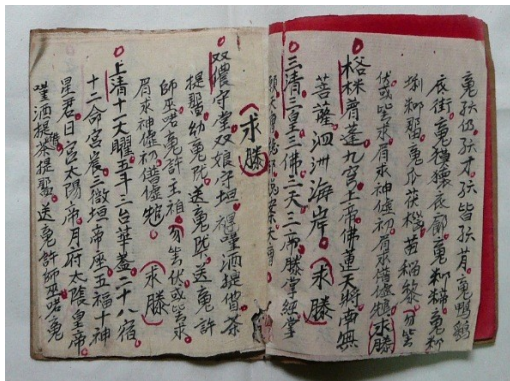


写真 4-1 広西天等県上映郷広原村下庄屯の黄承宗氏の経文書(魂を迎える歌)、1987 年に書かれ、現在も使われている(黄 2014:92)。

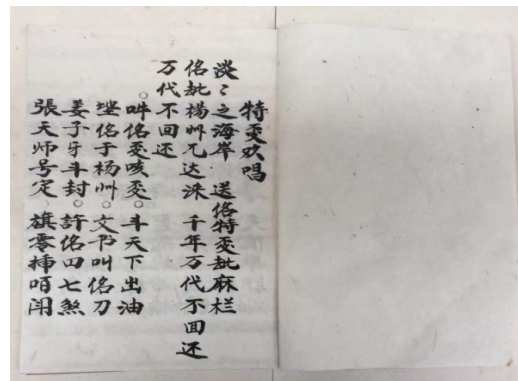


写真 4-2 広西都安県澄江郷紅渡村板城屯の藩毓軒氏所持の経文書(葬儀の魂を送る歌)、年代不詳、現在も使われている(蘇柳朱氏 2018 年 6 月 16 日提供)。



写真 4-3 広西平果県法律宣伝書物 2009 年 8 月の「一人っ子政策」の宣伝歌、その左半分は漢字で、右半分は方塊壮字である(黄 2014:93)。



写真 4-4 広西平果県県城内の夜の歌掛け合の際に男性が使った方塊壮字の歌本(黄 2014:93)。

上記の写真から、方塊壮字には方言的な差異が反映されており、それぞれの土地で独特の

¹⁵⁹ 資料は中国故宮博物館に所蔵。鎮安府は現在の「徳保県」、太平府は「崇左市」、慶遠府は「宜山県」に相当する。西田(1984)は『華夷訳語』における「方塊壮字」のいくつかの字例を紹介し、字の意味及び字の構造などについて詳しく説明している。

字形が考案されたことが分かる。また、いずれのチワン語方言でも漢字をそのまま、あるいは漢字の構成方法を使って作り出した文字が用いられている。

チワン族と言語的な系統に近いベトナムの北部に居住するタイー（Tay）族・ヌン（Nung）族も、同じく漢字を利用して作った「タイーノム」と呼ばれる文字を持っている。その起源は、ベトナム人研究者の主張によると 15 世紀で、13-14 世紀に既に現れていたベトナム語の字喃（チュノム）の影響を受けて作られたとされている¹⁶⁰。「タイーノムは方塊壮字と大同小異ではあるが、両者を比較すればタイーノムの方がより複雑である」と指摘されている(呉小奕 2005:105)。ただし、「大同小異」という表現が用いられてはいるが、詳細な相違点は不明である。ただ、以下の字例を見れば大まかなイメージを掴むことが出来る。

タイーノム	=	語音要素	+	語義要素	タイーノムの意味	方塊壮字	=	語音要素	+	語義要素	方塊壮字の意味
𑜄𑜂𑜫	=	巷	+	口	話す	𑜄𑜂𑜫	=	康(巷)	+	口(言)	話す
𑜄𑜂𑜫	=	斤	+	人	人間	𑜄𑜂𑜫	=	云	+	イ	人間
𑜄𑜂𑜫	=	征	+	月	1月	𑜄𑜂𑜫	=	春(正)	+	月	一月、正月

タイーノムの例は伊藤正子（2003:197）
 方塊壮字の例は『古壮字字典（初稿）』、177、71、492 頁から、2 つの文字がある場合、二番目は異体字とされる字である。

結局、タイーノムも方塊壮字もタイー・ヌン族とチワン族の固有文字として定着し、普及することはほとんどなかった。また、チワン族はこの方塊壮字以外の文字を用いて、独自の表記法を作ることはなかったようである。その理由は、チワン語は漢語と同じく単音節言語であるために、漢字の字形を借りた表記が便利であり、それで事足りたからであろうと推測される。しかし、結果 2 つ以上の字形全体を借りて組み合わせた文字が多くなってしまい、方塊壮字一字の筆画が繁雑になる事態が避けられなかった。したがって、標準チワン語の正書法に携わった韋慶穩（後述）は、方塊壮字の代わりにチワン語表音文字を創作する必要性を次のように訴えた。

「チワン族の言語は広西省全体に広がっているが、その地域全体で通用する文字は存在していない。方塊壮字は現在用いられておらず、使われていても字形がそれぞれ異なっている。したがって、チワン族の文字問題は改良ではなく創造にある。（中略）方塊壮字は複雑で習得しにくいから、今日提唱すべきではない。漢語・漢字もまたチワン族大衆の学力を高

¹⁶⁰ 伊藤正子（1999） 、92 頁の注 7。

めるためには時間がかかり過ぎ、とくに児童にとっては不適切である。(中略) ピンイン¹⁶¹ チワン文字 (筆者注:チワン語表音文字) の創造と普及は一刻の猶予も許さないのである。」 (韋 1953: 21-22)

本論文でも繁雑な方塊壮字を用いない龍茗方言の表記法を提案したい。

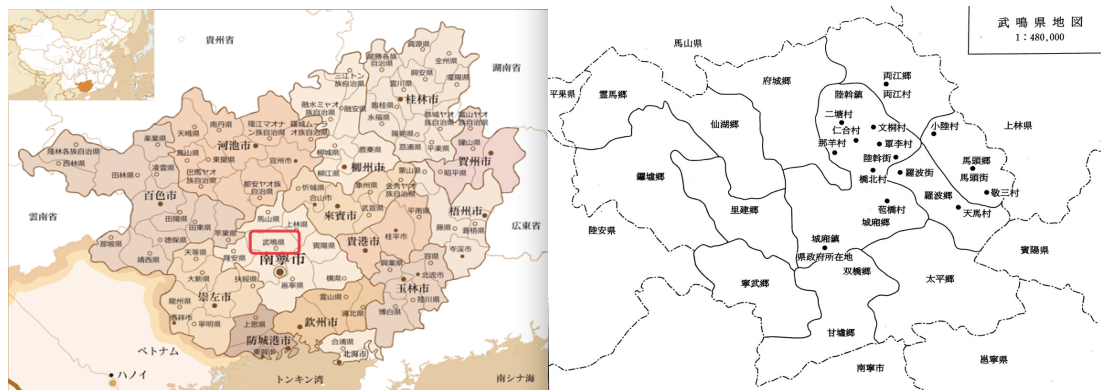
4.2.2 標準チワン語の正書法

チワン語には方言が多く存在するため、音韻体系、語彙ともに地域差が著しい。標準チワン語とは、チワン語の標準音と見做されている区域の南寧に隣接する武鳴県 (地図 4-1) のチワン語方言のことを指す。

チワン語の標準語は 1955 年にソ連の言語学者セルジュチェンコ (Г. П. Сердюченко) の指導のもとに定められた。基礎方言をチワン語北部方言とし、標準発音を北部方言区に位置する武鳴県のものとしている¹⁶²。ゆえに北部方言は正書法と比較的一致するのだが、基礎方言から地理的にも離れた南部方言は正書法と異なる部分が多くなる。吉川 (2012:34) によると、チワン語の表記法は 1952 年から現在に至る間に 6 つあるという。現在のチワン語の公式の書き言葉は、1955 年にチワン語の標準語の指定と同時に制定された正書法で、1982 年に更に改訂された完全なラテン文字表記を用いたシステムである。これは 1957 年 11 月 29 日の国務院全体会議第 63 回会議において審議・公認され、公式の文字として普及されることになったものである (黄 2014:38)。中国の中央民族大学と広西民族大学などのチワン語基礎教材、地方政府の公文書や出版物 (雑誌『三月三』、機関紙『広西民族報』の 2 点のみ) は漢語の他に、この正書法による標準チワン語で書かれることになっている。本論文ではこの正書法を「標準チワン語の正書法」と呼ぶことにする。

¹⁶¹ ピンイン「拼音」という言葉は日本人には馴染まないが、「音を綴る」という意味である。「字母」(アルファベット、中国では「字母」と言う) を綴ることである。つまり、表音文字を寄せ集めて、単語をあらわしたものが拼音である。意識すれば、表音文字ということであろう。

¹⁶² 標準チワン語文字案及びその制定の詳細については Г. П. Сердюченко (1961)、黄 (2014) を参照されたい。



地図 4-1 武鳴県の位置と武鳴県地図（右の武鳴県地図は手塚恵子（2002:13）から引用。）

序章で述べた 1998 年言語文字使用状況の調査¹⁶³において、この標準チワン語の正書法を知っているのはチワン族調査対象（4829 人）のわずか 2.35%にあたる 97 人であった。そのうち、この正書法で読み書きができる人は 44 名、頻繁に使用する対象者はわずか 6 名で、時々使用する対象者は 19 名であった。1950 年代から民族語教育及びチワン語による出版、放送はこの標準チワン語によって行われていた¹⁶⁴が、方言差が激しいなどの理由でほとんど普及していないのが現状である。

吉川（2012）は標準チワン語の正書法の「表記体系の適性」について詳しく検証することによって、「壮語の複雑な音韻体系を合理的に表記する上で、幾つもの障害を抱えている。（中略）壮文が表層で壮語の音韻体系を合理的に表すよりは、むしろ深層で「漢語拼音」と整合性を確保し、漢語習得の側面支援たることを第一義とした、当時の言語政策の産物と考えるべきものである」と結論している¹⁶⁵。筆者もこの結論に首肯するところで、傾聴に値する。よって、本論文で提案する龍茗方言の表記法は「音韻体系を合理的に表記すること」を心掛けた。

以下は韋景雲・覃曉航（2006）を参照し、標準チワン語の正書法について紹介する。

標準チワン語の正書法に用いる文字はすべてラテン文字である。アルファベット 26 文字のうち、6 個が母音字、16 個が子音字、5 個が声調符号、そして 1 個が子音字と声調符号を兼ねる。

¹⁶³ 広西壮族自治区语言文字工作委员会審定（2005）『広西语言文字使用問題調査与研究』広西教育出版社、23 頁。

¹⁶⁴ 黄（2014）を参照。

¹⁶⁵ これは「チワン文は漢語ピンインと字母の上でできるだけ一致させることを意識して作られた物であり、（省略）使い勝手のいいものではないようである」と認識している岡本（岡本 2008）と大体同じ意見であろう。

6 個の母音字: a e i o u w

16 個の子音字: b c d f g h k l m n p r s t v y

5 個の声調符号: z j x q h

1 個の子音字と声調符号を兼ねる文字: h

標準チワン語には全部で 23 の頭子音があるが、声門閉鎖音[ʔ]をゼロ声母¹⁶⁶として扱い、表記しないことにしている。したがって、表記上は 22 の頭子音字が設けられている。頭子音の目録は表 4-1、韻の目録を表 4-2、声調を表 4-3 に示す。

下の表 4-1、表 4-2、表 4-3 から分かる標準チワン語の音韻体系と、これまでの章で分析してきた龍茗方言とは、次の点において異なる特徴を持つ。

- (1) 頭子音には非帯気閉鎖音[p]、[t]と対立する声門閉鎖が先行する有声閉鎖音[ʔb]、[ʔd]があるが、龍茗方言のように、帯気閉鎖音[pʰ]、[tʰ]、[kʰ]、[tɕʰ]はない。
- (2) 龍茗方言の中線的流音/r[ð~ɹ]は標準チワン語に見られない。
- (3) 標準チワン語に見られる子音結合は 5 つのみであるが、龍茗方言では子音結合の第 1 要素となる子音の種類は 20 あり、そのうち 17 は/w/、14 は/j/と結合するため、合計 31 個にもなる。
- (4) 標準チワン語には単母音が 6 つ（[a:]、[i:]、[u:]、[e:]、[o:]、[u:]）あり、そのうち[e:]を除いて全て長短の対立がある。一方、龍茗方言には単母音が 7 つ（[a:]、[i:]、[u:]、[e:]、[ɛ:]、[o:]、[u:]）あり、そのうち[e:]と[u:]は常に長く発音し、長短の対立が見られない。
- (5) 標準チワン語の声調には平音節が 6 つ、促音節が 4 つであるのに対して、龍茗方言には平音節が 5 つ、促音節が 5 つである。

表 4-1 標準チワン語の頭子音表記（22 個、[]内は IPA による音声表記）

b [p]	mb [ʔb]	m [m]	f [f]	v [v]		
d [t]	nd [ʔd]	n [n]	s [θ]	l [l]		
g [k]	gv [kw]	ng [ŋ]	h [h]	r [ɹ]		
c [ɕ]	y [j]	ny [ɲ]	ngv [ŋw]	by [pj]	gy [kj]	my [mj]

¹⁶⁶ 中国の用語では、頭子音を「声母」という。ゼロ声母は頭子音が存在しないという意味ではなく頭子音を文字で表記しないという意味である。

表 4-2 標準チワン語の韻（108 個）

平 音 節	単 母 音	a [a:]		i [i:]		u [u:]		e [e:]	o [o:]		w [w:]	
	複 母 音	ai [a:i]	ae [ai]	iu [i:u]		ui [u:i]		ei [ei]	oi [o:i]		wi [w:i]	
		au [a:u]	aeu [au]					eu [e:u]		ou [ou]		
			aw [au]									
	鼻 母 音	am [a:m]	aem [am]	iem [i:m]	im [im]	uem [u:m]	un [un]	em [e:m]	om [o:m]	oem [om]		
		an [a:n]	aen [an]	ien [i:n]	in [in]	uen [u:n]	un [un]	en [e:n]	on [o:n]	oen [on]	wen [w:n]	wn [un]
		ang [a:ŋ]	aeng [aŋ]	ieng [i:ŋ]	ing [iŋ]	ueng [u:ŋ]	ung [uŋ]	eng [e:ŋ]	ong [o:ŋ]	oeng [oŋ]		wng [uŋ]
促 音 節	語 尾 p t k	ap [a:p]	aep [ap]	iep [i:p]	ip [ip]	uep [u:p]	up [p]	ep [e:p]	op [o:p]	oep [op]		
		at [a:t]	aet [at]	iet [i:t]	it [it]	uet [u:t]	ut [ut]	et [e:t]	ot [o:t]	oet [ot]	wet [w:t]	wt [ut]
		ak [a:k]	æk [ak]	iek [i:k]	ik [ik]	uek [u:k]	uk [uk]	ek [e:k]	ok [o:k]	oek [ok]		wk [uk]
	語 尾 b d g	ab [a:p]	aeb [ap]	ieb [i:p]	ib [ip]	ueb [u:b]	ub [ub]	eb [e:p]	ob [o:p]	oeb [op]		
		ad [a:t]	aed [at]	ied [i:t]	id [it]	ued [u:t]	ud [ut]	ed [e:t]	od [o:t]	oed [ot]	wed [w:t]	wd [ut]
		ag [a:k]	aeg [ak]	ieg [i:k]	ig [ik]	ueg [u:k]	ug [uk]	eg [e:k]	og [o:k]	oeg [ok]		wg [uk]
	注：p、t、k 列と b、d、g 列の音構成は同じであるが、声調が異なる。前者は第 7 声調で高い音調、後者は第 8 声調で低い音調である。											

表 4-3 標準チワン語の声調（音節末に字母を加えることで調類を表す。）

音節構造	平音節						促音節			
調類	1	2	3	4	5	6	7 短	7 長	8 短	8 長
調値	24	32	55	42	35	33	55	35	33	33
表記	無表記	z	j	x	q	h	p, t, k	p, t, k	b, d, g	b, d, g

上記 (1) から (5) より分かるように、分節音や声調において標準チワン語にはなくて龍茗方言にはあるような特徴が存在するため、標準チワン語の正書法をそのまま用いて龍茗方言を表記するのは困難であると考えられる。

また、表 4-1 から分かるように、標準チワン語の閉鎖音[p]と[ʔb]には、それぞれ b と mb が当てられている。標準チワン語の標準音となる武鳴方言をはじめ北部チワン語方言には閉鎖帯気音[pʰ]が無いいため、[p]に p、[ʔb]に b を当てても文字体系内で問題が生じないが、漢語に同じ音価がある閉鎖非帯気音[p]にはピンイン方案と同じ綴字 b を用い、漢語に同じ音

価の無い[ʔb]には敢えて文字数の多い綴字 mb を用いる。歯茎閉鎖音の[t]にはピンイン方案と同じ綴字 d を使い、漢語に同じ音価の無い [ʔd] には多い綴字 nd を用いる。これにより、標準チワン語の複雑さは増すが、吉川（2012:37）によると漢語のピンイン方案との整合性は高められる。

字母 e は、長母音[e:]および二重母音[ei]の第 1 要素を表す働きのほかに、別の母音を表す字母と組み合わせて、その母音の長短を表す働きがある（[e]と[e:]のような長短の対立が標準チワン語にはない）。後者の方法は、長母音か短母音のいずれか一方に、一律に字母 e を付加するような単純なものではない。字母 a と字母 o の場合、それ単独ではそれぞれ長母音[a:]、[o:]を表すのに対して、a と o の直後に字母 e 付加した ae と oe はそれぞれ短母音[a]と[o]を表す。一方で、字母 i、字母 u、字母 w の場合、それ単独ではそれぞれ短母音[i]、[u]、[u:]を表すのに対して、それぞれに字母 e を付加した ie、ue、we はそれぞれ長母音[i:]、[u:]、[u:]を表す。すなわち字母 e が多重の基準で用いられ、字と音の対応関係を複雑なものにしている。

また、標準チワン語の[a:]に a を当てると、漢語ピンイン方案と標準チワン語の表記の間では、語レベルで表記が相似することになり、延いては表記上の一致を実現することができ、漢語ピンイン方案との整合性が高まると吉川（2012:38-40）が分析している。実際、標準チワン語の表記はあまりにも漢語ピンインに似ているため、しばしばチワン語の表記を間違った漢語ピンインと誤解する市民がいるとニュース¹⁶⁷に取り上げられたこともある。例えば、写真 4-5 のように上のアルファベット表記はチワン語（NANZGENLU）、次に漢字、漢字の下には漢語のピンイン（NANJIAN LU）が表記されている。



写真 4-5 チワン語、漢字、漢語のピンインによる道路標識¹⁶⁸

吉川（2012:38-40）が指摘するように標準チワン語の韻の表記はルールが複雑な上に、例外もある。表 4-2 では、例外に該当する枠に色を付けて示している。e は基本的には次の三つの機能を持っている：1. e そのものの音価を表す、2. 直前の母音が a あるいは o の場合に後続させてその母音が短母音であることを表す、3. 直前の母音が i, u, u の場合に後続させてその母音が長母音であることを表す。基本的にはこの基準にしたがって韻は表記される

¹⁶⁷ <http://news.gxnews.com.cn/staticpages/20090728/newgx4a6f0700-2185003.shtml>
2018 年 6 月 15 日 20:09 に取得。

¹⁶⁸ 同注 167。

が、例外がある。例えば、字母 *e* を付加しない *i*、*u*、*w* はそれぞれ短母音のはずであり、基準に従えば[i:u]は *ieu* と表記されるべきだが、実際には *iu* と表される。

表 4-3 によると、平音節では 5 つの字母で 6 つの声調（第 1 声調～第 6 声調）を区別する。すなわち、平音節で無表記ならば第 1 声調であることを示し、第 2 声調から第 6 声調を示すにはそれぞれの字母を語末に付加する。促音節では、語末の *p/t/k* と *b/d/g* によって 2 つの声調（第 7 声調～第 8 声調）を区別する。すなわち、語末の子音が *p/t/k* であれば第 7 声調であり、*b/d/g* であれば第 8 声調である。*p/t/k* は *b/d/g* 音節末子音の有声性の対立は表しておらず、声調の違いを表しているのである。具体的な例字は以下の表 4-4 に示す。

表 4-4 声調の例字

調類	調値	声調表記	例字
第 1 声調	中昇調 24	無表記	son 教える
第 2 声調	低降調 31	z	mwngz あなた
第 3 声調	高平調 55	j	hwnj 上る
第 4 声調	中降調 42	x	max 馬
第 5 声調	高昇調 35	q	gvaq 渡る
第 6 声調	中平調 33	h	dah 川
第 7 声調 (促音節)	高昇調 35	長母音 + <i>p/t/k</i>	dap 塔 bat 盥 bak 口
	高平調 55	短母音 + <i>p/t/k</i>	daep 肝臓 baet 掃除 baek 差し込む
第 8 声調 (促音節)	中平調 33	長母音 + <i>b/d/g</i>	hab 箱 mad 靴下 bag 割る
		短母音 + <i>b/d/g</i>	haeb 咬む moed アリ baeg 疲れる

この標準チワン語の声調法は 1982 年以降にチワン語の教科書に使われるようになった。以下は Gyangsih (1984) 『BONJ HAG CIH』といった標準チワン語の識字教科書に書かれた標準チワン語である。それぞれは同書の 29 頁 (写真 4-6) と 43 頁 (写真 4-7) から引用した。

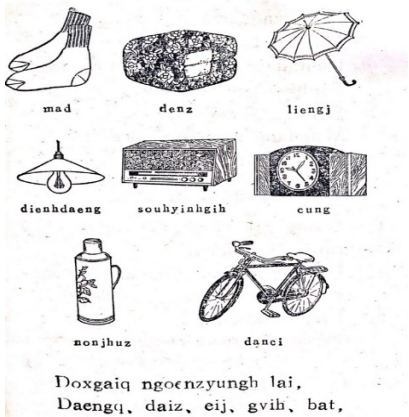


写真 4-6 チワン語による日常用品名

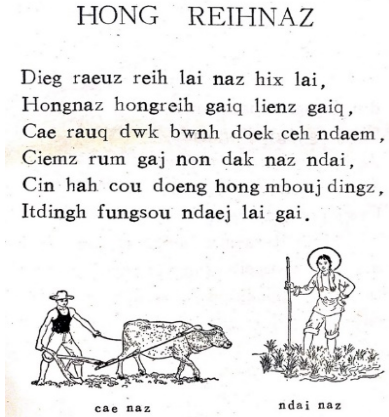


写真 4-7 チワン語による農作業の歌¹⁶⁹

¹⁶⁹ 写真内容：『農作業をする』我々の故郷には畑が多く、水田と畑（乾地）の仕事が絶えな

以上、標準チワン語の正書法を見てきた。そこにはラテン文字以外の補助記号、変形字母などは用いられていない。したがって、単一の文字で表記できるという優れた点を認めることができる。しかし同時に、吉川（2012）が指摘するように、字と音の対応関係に、漢語ピンインとの整合性が優先されたために、不合理な部分がある。

「ルネッサンス時代の印刷革命でも知られているように、文字、正書法が大衆化するためには、その言語で書かれたものが印刷物になることが必須の条件である。逆に、印刷物がほとんどないということは、正書法が大衆化されていないことを意味する」（阿部 2006:253）。この意味において方塊壮字だけでなく、標準チワン語の正書法も、チワン族の間で普及したことはないと言える。現状においてはチワン族の言語・文字の普及事業が衰退しつつあると、中国や日本の研究者は警鐘を鳴らしている（例えば、岡本 1999、付 2008、吉川 2012 など）。さらに、今後チワン族の言語・文字がどの程度普及するのか見通しさえ明らかではない。

そこで、次節では大衆化されてない方塊壮字と標準チワン語の正書法とは異なる文字体系を用いて本論文で記述する龍茗方言について初めての表記法を提案することにしたい。

4.3 龍茗方言表記私案

4.3.1 表記法を作るために

4.2 では、チワン族の固有文字である方塊壮字と標準チワン語の正書法を概観してきた。本節では、こうした背景を考慮した上で、表記の伝統がない龍茗方言には、どのような表記法が可能かを考察する。

表記法を利用する対象は、言語学者、研究者及びその言語を話す現地コミュニティであると想定されるが、両者が表記法に求めるニーズは異なる。「言語学者や研究者は、言語記述の視点から、その言語に弁別的な要素を過不足なく表記に反映しようとする。一方、現地コミュニティの母語話者は、弁別性よりも、使いやすさ・利便性を求める。コンテキストから推論できるのであれば、逐次表記しなくてもよい場合があるからである。日本語のテキストに語のアクセントを表す記号が付いていなくても日本語母語話者であれば適当なアクセントをつけて読むことができる、ということと同じである」（阿部 2006:260）。これに加えて、区別しなくともよいものを区別することは言語学的記述ではあってはいけないが、母語話者は受け入れる。そして時にそれが便利である。例えば、英語は *knight* と *night*、*right* と *write* のように同音異義語を綴り分ける。

い。土を耕し、種を撒く。春夏秋冬一年中休まず、必ず大収穫となる。

このように両者のニーズが異なるため、龍茗方言について言語学者用と母語話者用の二つの表記法を作成するのが望ましい。また、言語学者が記述する語彙集、方言辞書、民謡、民話のデータ等を、将来的に現地コミュニティに還元することを考えると、その二つの表記法は可能な限り強い関連性を持つもの、あるいは近似するものであった方が良い。

龍茗方言の表記法の作成には、二つの立場によるものが考えられる。すなわち、宗教的・行政的な権威を有する者あるいはそれらの後ろ盾がある者による作成と、そうでない者による作成である（阿部 2006 も参照）。前者による表記法は、その目的が情報伝達、殊に經典や行政的資源など、既に別の言語で書かれた情報を龍茗方言に翻訳することにある。この背景には、当該言語でなければ情報を伝えられないような現地コミュニティの存在がある。

後者、たとえば筆者のように宗教的、行政的後ろ盾のない言語学者かつ龍茗方言コミュニティの一員であるという立場の者による表記法は、龍茗方言による情報を書記化することを最大の目的としている。もちろん別の言語を龍茗方言に翻訳するという作業も言語調査の中に生じ得るが、翻訳自体が目的ではない。

両者とも龍茗方言の表記法を作成するという最終的な目標は同じだが、両者の立場の違いは表記法にも以下に記すような影響を少なからず与えると予測される。すなわち、前者による表記法では、一度表記や翻訳が定まるとそれに権威が与えられ、そして規範となる。言語学的には改訂・修正が望ましくても、権威ある正書法を改めることは容易ではなく、それらを否定したり疑問視したりすることには抵抗が生じるだろう。ところが後者の立場のように、特に権威を持たない者が提案した表記法は、龍茗方言コミュニティと協議しつつ、いつでも改定することができる。

現在、龍茗方言の話者が置かれた状況を見ると、龍茗方言の話者コミュニティは既に漢語普通話あるいは漢語の変種の少なくとも 2 言語使用が定着しているため、敢えて行政が情報を龍茗方言に翻訳する必要もない。また、漢語によって書かれた宗教の經典（を含むあらゆる文書）を龍茗方言に翻訳する必要もない。よって宗教的、行政的後ろ盾を持つ者による龍茗方言の表記法作成の計画は今後もないであろう。一方、龍茗方言による口頭伝承を書き残し、龍茗方言を次世代に伝承したいと望む場合には龍茗方言のテキスト化が重要になってくる。そのためには、龍茗方言の話者コミュニティ以外の言語学者か、あるいは龍茗方言の話者コミュニティ自体が、表記法を考える以外の選択肢はない。筆者には言語学者としても龍茗方言の話者コミュニティの一員としても、表記法を広く人々に普及させるための権威や後ろ盾がない。このような場合に、筆者が龍茗方言の表記法作成のために協力できることが何だろうか。

まず、筆者ができることは、龍茗方言が表記可能であることを龍茗方言の話者コミュニティに示すことである。そのためには、龍茗話者にとって容易に読み書きできる表記法を提案しなければならない。表記法普及のために十分な人的、経済的余裕がない以上、人々がな

るべく少ない労力で習得可能なものを提案する努力が必要である。

簡便な表記法を作成しようとするれば、いくつかの条件は必然的に決定される。第一に、文字の種類の選択。第二に、龍茗方言の話者にとって新たな努力を要求しない簡単なものであること。

龍茗方言の話者は一定の教育を受けた人であれば、誰でも漢字及び漢字の読み方を示すピンイン（ラテン文字）の読み書きができる。したがって、漢字を龍茗方言の文字表記に用いることが考えられる。古来よりチワン族の先祖は漢字のままではチワン語を表記することに限界があると気付き、前述の方塊壮字を考案し使用してきた。しかし、方塊壮字は未だに体系化されず、結局のところチワン語の通用的な表記法になっていない。確かに漢字は形態素と語に対応しているが、字画と分節音との間には組織的な対応関係はない上、漢字が持つ複雑さと数の多さは合体字が無限に増殖する事態をもたらす（フロリアン・クルマス著/斎藤伸治訳 2014:63）。その結果、学習者の負担が大きくなる。さらに、漢語を知っている話者が漢字の読み方を漢語で覚えた場合、チワン語に同じ漢字が用いられれば混乱を招く可能性が高いと思われる。そうであるならば別の文字体系による表記を考えなければならない。そこで、筆者はチワン語と同系言語のシャム語¹⁷⁰で用いられる音節シャム文字、もしくはラーオ語¹⁷¹に使われているラーオ文字¹⁷²を提案したい。龍茗方言とシャム語は系統的に近縁な言語であり、歴史的にも長く使用されてきた。

また、龍茗方言の表記法にシャム文字を用いるメリットは、朱（2007）が指摘するように、現在広西チワン族自治区と東南アジアを取り巻く環境という点からも提案できる：

「東南アジア地域では、地域経済協力が日増しに活発に行われるようになっている。広西チワン族自治区は中国と東南アジア、南アジア市場を陸路と海路で結ぶ重要なルートとなり、中国西南の内陸から ASEAN へ向けての国際的なメイン・ルートとなっており、中国と ASEAN 諸国の貿易自由化の架け橋、拠点となっている。例えば、広西チワン族自治区の防城港はベトナム・ハイフォンまで 151 海里、タイ・バンコクまで 1439 海里である。中国大陆から東南アジア諸国へ通じる最も近い港湾となっている。また、同自治区では 8 つの県（市）がベトナムと国境を接し、現在国境の陸上港は 12 ヲ所、このほか 25 の辺境住民通商ルートがあり、それぞれの国境港と国境貿易点はいずれも道路が通じている。広西チワン族自治区は東南アジアへのゲートウェーとして位置づけられる。」（朱

¹⁷⁰ 本章では断りがなければ、シャム語についての記述は三谷恭之（1998）「タイ語」東京外国語大学語学研究所[編]（1998）『世界の言語ガイドブック〈2〉アジア・アフリカ地域』三省堂、93-107 頁と三谷恭之（1989）シャム語」『言語学大辞典 第2巻』、529-545 頁から引用する。

¹⁷¹ 本章では断りがなければ、ラーオ語についての記述は上田玲子（1998）「ラオス語」東京外国語大学語学研究所[編]（1998）『世界の言語ガイドブック〈2〉アジア・アフリカ地域』三省堂、374-387 頁から引用する。

¹⁷² 音節シャム文字もラーオ文字もブラーフミー文字から派生した。

2007:84)。こうした環境の中で、龍茗鎮から国境貿易点に直通する道路が整備されつつあるということで、龍茗方言の話者も東南アジアの地域経済に活発に参加しつつある。国境近辺の少数民族であるチワン族は東南アジアとの交流を深め中国との架け橋として、その文字言語としても機能ができるようになれば、中国の国境経済・社会の発展にきわめて有利なものとなると期待される。

次に、シャム文字とラーオ文字について具体的に検討したい。

シャム語には頭子音が 21 であるのに対して、子音を表す子音字が 42 ある。ラーオ語には頭子音が 20 あるが、子音を表す子音字が 27 ある。シャム文字とラーオ文字の対応を表 4-5 に示す。なお、8 番の[n]シャム語には存在しない子音字である。この音はシャム語では y に対応するため、ここではシャム文字 ย,ญ [j]を入れた。

表 4-5 シャム文字、ラーオ文字の対応表 ([]は各文字の音声表記)

番号	ラーオ文字	シャム文字	番号	ラーオ文字	シャム文字
1	ᨠ [k]	ᨠ [k]	15	ᨡ [p]	ᨡ [p]
2	ᨢ [kʰ]	ᨢ [kʰ]	16	ᨣ [pʰ]	ᨣ [pʰ]
3	ᨤ [kʰ]	ᨤ,ᨦ [kʰ]	17	ᨧ [f]	ᨧ [f]
4	ᨩ [ŋ]	ᨩ [ŋ]	18	ᨪ [pʰ]	ᨪ,ᨫ [pʰ]
5	ᨬ [tɕ]	ᨬ [tɕ]	19	ᨭ [f]	ᨭ [f]
6	ᨮ [s]	ᨮ, ᨯ, ᨰ, ᨱ [s]	20	ᨲ [m]	ᨲ [m]
7	ᨳ [s]	ᨳ,ᨴ,ᨵ [tɕʰ]	21	ᨶ [j]	ᨶ [j]
8	ᨷ [ɲ]	ᨷ,ᨸ [j]	22	ᨹ [l]	ᨹ [r]
9	ᨺ [d]	ᨺ,ᨻ [d]	23	ᨼ [l]	ᨼ [l],ᨽ[l]
10	ᨾ [t]	ᨾ,ᨿ [t]	24	ᨿ [w]	ᨿ [w]
11	ᩁ [tʰ]	ᩁ,ᩂ [tʰ]	25	ᩃ [h]	ᩃ [h]
12	ᩄ [tʰ]	ᩄ,ᩅ,ᩆ,ᩇ [tʰ]	26	ᩈ [ʔ]	ᩈ [ʔ]
13	ᩊ [n]	ᩊ,ᩋ [n]	27	ᩌ [h]	ᩌ [h]
14	ᩍ [b]	ᩍ [b]	28		

上の表 4-5 から分かるように、シャム文字とラーオ文字は非常によく似た形をしている。これらの文字による表記の例を写真 4-8 で示す。

1. タイ文字によるタイ語 (タイ国語)

ควรเป็นที่สังเกตว่า นักแปลนวนิยายภาษาอังกฤษออกเป็นภาษาไทยสมัยเริ่มแรกนั้น มักสนใจแปลหนังสือที่ต้นเค้าดี ไม่นับแปลหนังสือที่มีคุณค่าทางวรรณกรรมที่กลายมาเป็นวรรณคดีของอังกฤษในสมัยนี้ เช่น วอลเตอร์ สก็อต ชาร์ลส์ ดิกเก้นส์ ชอร์จ เอลเลียต เทกเคอเรย์ เป็นต้น ในรัชกาลที่ ๖ ความสนใจของนักแปลก็ยังไม่เปลี่ยนไปมากนัก นวนิยายของอังกฤษที่แปลออกเป็นภาษาไทยมักจะลงในหนังสือรายวันเป็นตอนสั้นๆ และ

2. ラーオ文字によるラーオ語 (ラオス国語)

ພາຍລຸນມາ, ດ້ວຍຄວາມຫມັ້ນພຽງໃບການຮູ້
ຮຽນແລະດ້ວຍກິລິຍາດີຂອງຕົນ, ທ້າວພັນກໍໄດ້ຮັບ
ໜ້າທີ່ທ່ວຣາຊການຫລວງອັນສຳຄັນຜູ້ນຶ່ງ.

写真 4-8 シャム文字とラーオ文字による表記 (大野 1987:128-129)

シャム文字はブラーフミー系文字 (インド系文字) に由来すると言われている (フロリアン・クルマス著/斎藤伸治訳 2014:167-174)。13 世紀にスコタイ王朝の三代目の王ラームカムヘーン (Ram Khamhaeng) がクメール文字¹⁷³を基に考案したと言われているが、文献資料によるシャム語史は確立していないと言う (東京外国語大学語学研究所[編]1998:94)。ラーオ文字に関しては、スコシャム文字から派生したとする説や、それ以前に、すでにラーオ文字の元となる文字が存在していたとする説など様々で、この背景にはシャム文字からラーオ文字が派生したとは考えたくないというラオス側のナショナリスティックな感情が隠されていると言われている (矢野 2008:22-23)。シャム文字とラーオ文字が使われた歴史はまだ明らかになっていないが、いずれの文字も古代インドの文字を起源とし、それが東南アジア大陸部へ伝播する過程において、独自に発展を遂げてきたものであると言えよう。

シャム文字とラーオ文字はいずれもインド系の表音文字に由来するものなので、それぞれの文字の組み立て方法は酷似している。表 4-5 に挙げたシャム文字・ラーオ文字はいずれも子音を表す文字であり、母音の違いは子音字の上下左右に記号を付加することで表す。文字は左から右、上から下へたいてい一筆で書く。文字の配列は左から右へ連らねるが、単語の分かち書きはせず、適当な所で間隔を空ける。なお、シャム文字やラーオ文字の並べ方は声道の奥で調音する音から前で調音する音、そして流音・半母音という順になっており、これはサンスクリットの影響を受けている (大野 1987:133)。

表 4-5 より、シャム文字の子音字のほうがラーオ文字より 16 字多い。その理由は、シャム語の表記に必要な文字以外に、サンスクリット語とパーリ語からの借用語を語源の音に対応させた同音異字 (同じ発音で異なる文字) が多く存在するためである。大野 (1987:133) によると、この子音文字の同音異字が、サンスクリット語では異音であったのが、シャム語の音韻体系では同音になってしまったもの、文字受容の過程で音が変化してしまい、新たにシャム語に合う文字を案出したりしたものである。

シャム文字とラーオ文字は表音文字であるため、固有語に関しては基本的に音韻の通りに綴る。しかし、借用語に関してはシャム語では語源の形を反映させた方法を取り、いわ

¹⁷³ カンボジアの公用語であるクメール語を書くのに使われる文字である。

ゆる語源型正書法¹⁷⁴を採用している。一方、現代ラーオ語の正書法では、ラーオ語の固有語であれ、サンスクリット語とパーリ語からの借用語であれ、すべては発音する通りに綴る方法を取り、いわゆる音韻型正書法¹⁷⁵を採用している。借用語の語源を反映させたシャム語の語源型正書法は、ラーオ語正書法と比べてはるかに複雑である。その反面、シャム語の方がラーオ語より同音異義語の区別が付きやすいものとなっている。ラーオ語は発音通りに綴るため、同音異義語については文脈から意味を判断する必要がある。矢野（2008:23）及び矢野（2013:113）で挙げた具体例を以下に示す。

	タイ語	ラーオ語		タイ語	ラーオ語
銀行	ธนาคาร <i>thanaakhaan</i>	ທະນາຄານ <i>thanaákhaan</i>	動物	สัตว์ <i>sàt</i>	ສັດ <i>sát</i>
動物	สัตว์ <i>sàt</i>	ສັດ <i>sát</i>	誠実	สัตย์ <i>sàt</i>	ສັດ <i>sát</i>
先生	อาจารย์ <i>?aacaan</i>	ອາຈານ <i>?āacāan</i>			

まず、左の表を注目したい。たとえば、シャム語でもラーオ語でも「銀行」は /thanaakhaan/ [tʰana:kʰa:n]と発音する。これはパーリ語の *dhana*(財)と *agāra* (家) を合成してできた語であるという（矢野 2008:23）。現代ラーオ語は発音/thanaakhaan/通りと綴るのに対し、シャム語では、*dhanaagāra* と綴り、語源の音*dh,*g,*rを辿ることができるものとなっている¹⁷⁶。次に、左の表に挙げている「動物」は、両言語ともサンスクリット語の *sattva*(衆生)からの借用語/sat/[sat]である。しかし、ラーオ語では/sat/と綴るのに対し、シャム語では/satv/と綴り、語末の文字を黙音字とすることで、語源の形が残されている。さらに、シャム語でもラーオ語でも「動物」と「誠実」は同音異義語（発音は同じだが、互いに区別される語）である。シャム語では「動物」を/satv/と綴り、同じ発音である「誠実」を/saty/（y が黙音字¹⁷⁷）との区別が一目瞭然である。一方、ラーオ語はどちらも/sat/と綴るため、文脈から意味を判断する必要がある。

以上、シャム文字とラーオ文字のそれぞれの特徴を確認した。正書法の綴る習慣を抜きにして見れば、龍茗方言と同系であるという点ではどちらの文字も龍茗方言の表記に適うものである。しかし、頭子音の数という点から三者を見ると、シャム語は 21、ラーオ語は 20、そして龍茗方言は 23 である。すなわち、龍茗方言と音韻的に対応する頭子音の数が、シャム語のほうがラーオ語よりも 1 つ多いのである。さらには、シャム語と一見対応していない

¹⁷⁴ 矢野（2008:24）にならい、シャム語の正書法を「語源型正書法」と言う。

¹⁷⁵ 矢野（2008:24）にならい、ラオス語の正書法を「音韻型正書法」と言う。

¹⁷⁶ 頭子音字 ᨾ/th/はシャム文字でパーリ語を表記する際、パーリ語の*dh に、ᨾ/kh/は*g に対応する文字である。表 4-5 の 3 と 12 を見ればわかるように、/kh/に対してシャム文字には 2 つ、/th/には 4 つの同音異字が存在している。これらはパーリ語を表記する際には、それぞれ異なるパーリ語の子音に対応する。シャム語の ᨾ は黙音字符号（付けられた文字が発音しないと示す印）である。

¹⁷⁷ 発音しない文字である。シャム語の場合は、文字の上に ᨾ という黙音字符号を付けて印す。

ように見える龍茗方言の残りの2子音 (**ɲ, ɰ**) は、実はすべて先行研究においてシャム語との対応が確認できるものである。その対応は後述 4.4.2 で確認する。

したがって、筆者は文字数が多く、正書法の歴史が長いシャム文字を第1の表記法として龍茗方言に取り入れたいと考える。ただし、文字の選択は音韻型表記のラーオ語の正書法に倣い、語源型正書法を考慮しながらも音韻型表記を重視して文字数を減らすことによって、シャム語よりも単純な表記法を考案することを目指す。具体的には、42 あるシャム文字の中から30の子音字を用いて、龍茗方言の文字表記法を考案したい。その詳細は4.4で述べる。

一方で、ラテン文字が龍茗方言の話者にとっては習得済みであり、新たに努力しなくても簡単に応用できることも考慮すべきことである。したがって本論文では、龍茗方言の第2の表記法としてラテン文字を、シャム文字の発音記号（読み方）として取り入れた。ただし、科学的な分析に耐えられる表記、つまり言語学的に弁別的なものを表記し分けられるものでなければならない。こうした言語学的・科学的ニーズを満たしつつ、実用的なニーズも同時に両立して満たすためには、補助記号を駆使するのが現実的であると考ええる。そこで、表記と発音の間に大きな乖離が生じる場合は新たな記号を導入したい。こうすることによって、ラテン文字のみを使用する標準チワン語の正書法と区別したいと考える。また、間違った漢字のピンインと誤解されない利点もある。

以下、子音、母音、声調について、龍茗方言の表記法私案を示す。

4.3.2 龍茗方言の発音表記法

4.3.2.1 子音表記

表記の習慣がない言語に、文字を与えること、すなわち表記法を作ること自体は理論上決して困難ではない。まず、その言語の音韻分析をし、音素を立て、そしてその音素にそれぞれ異なる記号を割り当ててばよい。

龍茗方言の子音音素は、全部で23あり、末子音として成り得るのは **/p, t, k, m, n, ŋ, w, j, ɰ/** の9子音である。子音結合は存在するが、頭子音に限られる。結合できる子音の数は最大2であり、第2子音は必ず **/w/** あるいは **/j/** のいずれかである。子音結合の第1要素に成り得ない子音は、**/f/**、**/w/**、**/ɰ/**の3つである。子音結合の第1要素と成り得る子音の種類は20あり、そのうち17は**/w/**と結合し、14は**/j/**と結合する。

龍茗方言の母音音素は、7つの長母音音素の **/i:/, /u:/, /e:/, /ɛ:/, /o:/, /a:/** と5つの短母音音素の **/i/, /u/, /ɛ/, /o/, /a/** がある。**/ɛ:/**を除いたすべての長母音は開音節及び閉音節いずれにも現れ得る。母音の長短の対立は閉音節にのみ見られ、開音節にはその対立はない。長短

で対立する母音音素は /i,i:/, /u,u:/, /o,o:/, /a,a:/ である。一方、/ɤ:/ は開音節にのみ現れ、/ɤ/ は閉音節にのみ現れるが、本論文ではその立場はとらず、それぞれ独立の音素、/ɤ:/、/ɤ/ と解釈した。また、/u:/ と /e:/ は常に長く発音され、長短の対立が見られない。

龍茗方言の声調は、平音節に 5 つの声調 (A1, A2, B1, B2, C)、促音節に 5 つの声調(DS1, DS1', DS2, DL1, DL2)が認められ、合計 10 の声調が観察される。しかし、本論文では音韻的には対立しない条件異音と解釈することによって、5 つの声調にまとめた。それぞれは、第 1 声調が A1 と DS1'、第 2 声調が A2 と DS2、第 3 声調が B1 と DL1、第 4 声調が B2、DS1 及び DL2、第 5 声調 C である。

このように明らかになった龍茗方言の音素に記号を割り当てる基準として、次の 5 つ原則を用いる。すなわち、1) ラテン文字を使用し、IPA など特殊な音声記号を用いない原則、2) ラテン文字に補助記号を加えるが、印字が簡単であるものを選ぶ原則、3) 音韻分析による異音規則に基づいて、異なる音声を同じものであると見做し、同一音素に対する綴字を統一する原則、4) 1 音素が 1 文字で表せない場合は複数の文字で一つの音素を表すという手段を取って字と音の対応関係を国際的慣習に合致させる原則、5) 一つの補助記号に対して一つの機能を割り当て、記号の使用に一貫性を持たせるという原則である。

以上のような手続きにしたがって龍茗方言の音素に記号を割り当た。まず、以下の表 4-6 に、龍茗方言の子音のラテン文字表記を示す。表 4-6 に龍茗方言の子音の転写表記、音素、音価 (IPA) の対応を示す。

声門閉鎖音[ʔ]を除いたすべての音素をラテン文字で転写する。ラテン文字には声門閉鎖音用の記号が用意されていないため、漢語のピンイン及び標準チワン語の正書法において単語区切り記号として用いられる「'」を採用する。それだけでなく、「'」で声門閉鎖を表す方法は、様々な言語の発音表記 (転写) 法で一般的に見られる。例えば、日本のアイヌ語、琉球、九州諸方言などはそうである。ただし、日本語方言の場合、文字表記になると省略される場合が多いが、龍茗方言では対立が有るため、ほとんどの場合表記する必要がある。国際的慣習にしたがって、龍茗方言の声門閉鎖音[ʔ] は「'」を用いて表記する。

閉鎖音の帯気音の/pʰ/, /tʰ/, /cʰ/, /kʰ/は 1 音素を 2 文字で表記し、ph, th, ch, kh で対応させる。また、有声硬口蓋鼻音[p̃]を ny、有声軟口蓋鼻音[ŋ̃]は ng、これは標準チワン語の表記を援用し、1 音 2 文字に対応させる。その他の頭子音 (ただし、子音結合を除く) はすべて 1 音 1 文字で対応させる。その内、軟口蓋有声摩擦音[ɣ]は音素表記の/ɰ/と異なる記号 q で対応させる。子音結合は頭子音それぞれを第 2 要素の j あるいは w と結合させる。例えば、/kʰj-/は khj、/ŋw/は ngw と表記する。末子音は 9 つあり、それぞれを p, t, k, m, n, ng, w, q と表記する。

特に注意しなければならないのは、漢語のピンインと標準チワン語が確立している表記を援用できない音がある点である。問題の箇所を以下の表 4-7a と表 4-7b に示す。

表 4-6 龍茗方言の子音とその転写表記

子音 番号	頭子音			子音結合/-j-/			子音結合/-w-/			末子音		
	転写	音素	音声	転写	音素	音声	転写	音素	音声	転写	音素	音声
1	p	/p/	[p]	pj	/pj-/	[pʲ]				p	/p/	[p̚]
2	ph	/pʰ/	[pʰ]	phj	/pʰj-/	[pʰj]						
3	t	/t/	[t]	tj	/tj-/	[tʲ]	tw	/tw-/	[tʷ]	t	/t/	[t̚]
4	th	/tʰ/	[tʰ]	thj	/tʰj-/	[tʰj]						
5	c	/c/	[tɕ] ¹⁷⁸				cw	/cw-/	[tɕʷ]			
6	ch	/cʰ/	[tɕʰ]				chw	/cʰw-/	[tɕʰʷ]			
7	k	/k/	[k]	kj	/kj-/	[kʲ]	kw	/kw-/	[kʷ]	k	/k/	[k̚]
8	kh	/kʰ/	[kʰ]	khj	/kʰj-/	[kʰj]	khw	/kʰw-/	[kʰʷ]			
9	ʔ	/ʔ/	[ʔ]	ʔj	/ʔj-/	[ʔj]	ʔw	/ʔw-/	[ʔʷ]			
10	m	/m/	[m]	mj	/mj-/	[mʲ]	mw	/mw-/	[mʷ]	m	/m/	[m]
11	n	/n/	[n]	nj	/nj-/	[nʲ]	nw	/nw-/	[nʷ]	n	/n/	[n]
12	ny	/ɲ/	[ɲ]	ny			nyw	/ɲw-/	[ɲʷ]			
13	ng	/ŋ/	[ŋ]	ng			ngw	/ŋw/	[ŋʷ]	ng	/ŋ/	[ŋ]
14	f	/f/	[f]	f								
15	s	/θ/	[θ]	sj	/θj-/	[θʲ]	sw	/θw-/	[θʷ]			
16	h	/h/	[h]	hj	/hj-/	[hʲ]	hw	/hw-/	[hʷ]			
17	w	/w/	[v] ¹⁷⁹							w	/w/	[u]
18	j	/j/	[j] ¹⁸⁰				jw	/jw-/	[jʷ]			
19	q	/ɥ/	[ɥ]							q	/ɥ/	[ɥ]
20	b	/β/	[β]	bj	/βj-/	[βʲ]	bw	/βw-/	[βʷ]			
21	d	/ɖ/	[ɖ]	dj	/ɖj-/	[ɖʲ]	dw	/ɖw-/	[ɖʷ]			
22	l	/l/	[l]	lj	/lj-/	[lʲ]	lw	/lw-/	[lʷ]			
23	r	/r/	[ʈ] ¹⁸¹	r			rw	/rw-/	[rʷ]			

¹⁷⁸ [ɕ～tɕʰ]の自由変異音（free variant）を持つ。¹⁷⁹ 有声唇歯摩擦音、摩擦がやや弱い。¹⁸⁰ [j]～[j]音節頭かつ母音の前：有声硬口蓋摩擦音あるいは接近音[j]、摩擦がないか、あっても非常に弱い。音節頭かつ/w/の前は有声硬口蓋摩擦音[j]で実現する。¹⁸¹ [ʈ]～[ɹ]音節頭かつ母音の前：有声歯間摩擦音[ʈ]、摩擦は余り強くない。音節頭かつ/w/の前は有声歯茎接近音[ɹ]で実現する。

表 4-7a 非帯気・帯気子音の表記

調音方法 表記法	閉鎖音				入破音	
	非帯気 [p]	帯気 [pʰ]	有声 [ʔb]	有声 [ʔd]	有声 [b]	有声 [d]
龍茗方言	p	ph			b	d
漢語のピンイン	b	p				
標準チワン語	b	p	mb	nd		

表 4-7b その他の子音の表記

調音方法 表記法	声門閉鎖音 [ʔ]	軟口蓋有声摩擦音 [ɣ]	歯間有声摩擦音 [ð]	そり舌音 [ɻ]
龍茗方言	ʔ	ɣ		
漢語のピンイン	無表記			r
標準チワン語	無表記	r	r	

4.3.2.2 母音表記

龍茗方言の母音のうち標準チワン語と共通するのは[a:], [i:], [u:] [e:], [o:], [w:]の5つである。標準チワン語の正書法ではそれぞれを a, i, u, e, o, w を採用する。本論文もそれにしたがって、a, i, u, e, o を採用するが、w はすでに子音字として用いたため、母音の[w]を v で表記する。標準チワンにはない母音の[ɤ] は â (a の上にサーカムフレックス) を用いて表記する。

龍茗方言の母音は、長短の区別が意味の弁別に関与しており、長短を a(短)と aa(長)のように書き分ける必要がある。ただし、母音の[e:]と[w:]は常に長母音で実現し、それぞれを e と v 表記しても区別が可能であるが、表記の整合性を考えて他の長母音と同じく ee と vv のように書くことを規定する。龍茗方言の母音の転写表記、音素、音価 (IPA) の対応を表 4-8 に示す。

表 4-8 龍茗方言の母音とその転写表記

番号	長母音			短母音		
	転写	音素	音声	転写	音素	音声
1	aa	/a:/	[a:]	a	/a/	[a]
2	ii	/i:/	[i:]	i	/i/	[ɪ]
3	uu	/u:/	[u:]	u	/u/	[ʊ]
4	ee	/e:/	[e:]			
5	oo	/o:/	[o:]	o	/o/	[ɔ]
6	vv	/ʊ:/	[ʊ:]			
7	ââ	/ɤ:/	[ɤ:]	â	/ɤ/	[ɤ]

本論文では二重母音や三重母音は認めない立場をとるため、当該の母音は単母音と子音の連鎖であると解釈する。例えば [ki:u] を kiiw、[θ au] を saq と表記する。

龍茗方言の促音節には 28、平音節には 46、合計 74 の韻が認められる。そのラテン文字による転写を表 4-9 に示す。

表 4-9 龍茗方言の韻とその表記（74 個）

	単母音	a		i		u		e	o		v	ââ	â
		[a:]		[i:]		[u:]		[e:]	[o:]		[ʊ:]	[ɤ:]	[ɤ]
平音節	鼻母音	aam	am	iim	im	uum		eem	oom				
		[a:m]	[am]	[i:m]	[ɪm]	[u:m]		[e:m]	[o:m]				
		aan	an	iin	in	uun		een	oon		vvñ		ân
		[a:n]	[an]	[i:n]	[ɪn]	[u:n]		[e:n]	[o:n]		[ʊ:n]		[ɤn]
		aang	ang	iing	ing	uung	ung	eeng	oong	ong	vvng		âng
		[a:ŋ]	[aŋ]	[i:ŋ]	[ɪŋ]	[u:ŋ]	[ʊŋ]	[e:ŋ]	[o:ŋ]	[ɔŋ]	[ʊ:ŋ]		[ɤŋ]
	複合韻	aaj	aj			uuj			ooj				âj
		[a:j]	[aj]			[u:j]			[o:j]				[ɤj]
		aaw	aw	iiw				eeu					âw
促音節	語尾 p t k	[a:w]	[aw]	[i:w]				[e:w]					[ɤw]
			aq										âq
			[au]										[ɤu]
		aap	ap	iip	ip	uup		eep	oop				âp
		[a:p]	[ap]	[i:p]	[ɪp]	[u:p]		[e:p]	[o:p]				[ɤp]
		aat	at	iit	it	uut		eet	oot		vvñ		ât
		[a:t]	[at]	[i:t]	[ɪt]	[u:t]		[e:t]	[o:t]		[ʊ:t]		[ɤt]
		aak	ak	iik	ik	uuk	uk	EEK	ook	ok	vvk		âk
		[a:k]	[ak]	[i:k]	[ɪk]	[u:k]	[uk]	[e:k]	[o:k]	[ɔk]	[ʊ:k]		[ɤk]

4.3.2.3 声調表記

龍茗方言では、声調が意味の弁別機能を担う。先述のように分析によって 5 種類の声調が区別されている。したがって、表記上も 5 つの声調を区別できるように工夫しなければならない。先述の標準チワン語の正書法では、声調表記は平音節の場合はアルファベットで表し、促音節は語尾にアルファベットを付加することによって区別する。このような方法は印刷上で便利であるが、頭子音としても使う **h** などにも使われるため、混乱しやすくなる。そこで本論文は声調を表すための 4 つの補助記号を用いて 5 つの声調を区別する。しかし、現段階において文書作成ソフトウェア **Microsoft Word** で簡単にそれらの記号を入力することができないため、数字で代用する方法を取る。テクノロジーが進めれば、声調記号を数字に変換する所存である。声調記号と声調を表示する数字の対応を表 4-10 に示す。

声調表記のルールは以下のようなものである。

- 1) 声調記号を用いる場合、主核母音の真上に記号を付ける。なお、長母音の場合、最初の母音字に声調記号を付ける。例えば、**kāaw**、**ngāam** のように声調記号を付ける。
- 2) 数字を用いる場合、単語の右上に 1 から 5 までの数字表記する。例えば、**kap**¹、**baq**² などのように表記する。

表 4-10 龍茗方言の声調記号と声調を表示する数字の対応表

声調	声調記号	代用数字
第 1 声調 (A1, DS1')	∧	1
第 2 声調 (A2, DS2)	∖	2
第 3 声調 (B1, DL1)	～	3
第 4 声調 (B2, DS1, DL2)	無表記	4
第 5 声調 (C)	∨	5

4.3.2.4 その他の表記

以上、ラテン文字を用いて龍茗方言の発音表記について述べた。文字以外にも、カンマや読点、ピリオド、コロン、セミコロン、疑問符や感嘆符といった約物の記号も用いる。また、ダブルクォーテーション (二重引用符)、クォーテーション (引用符)、二重山カッコ、丸カッコ、省略記号、ダッシュなどの記号も用いる。これらの記号は基本的に漢語及び標準チワ

ン語と同じである。ただし、標準チワン語と同じく文の終わりを示すのはピリオドで、漢語のように丸い句点ではない。それらの使い方を表 4-11 のように規定する。

表 4-11 龍茗方言の表記法に用いる特殊記号とその用法

記号	用法
カンマ ,	文中での停頓、息継ぎなどを示す。
点 、	文中で並列されている単語やフレーズを示す。
ピリオド .	文の終わりを示す。
コロン :	以下に文を示す場合や上の文で述べたことを総括する時に使う。
セミコロン ;	文中で並列されている文句（節）を示す。
疑問符 ?	疑問を示すときに用いる。
感嘆符 !	強い感情を示したりする感嘆文の後ろに使う。
ダブルクォーテーション “ ”	会話部分や特別に強調する場合などに使う。
クォーテーション ‘ ’	「 “ ”」が「 “ ”」の中に現れるときに使う。
二重山カッコ 《 》	書籍、歌曲などの題名を示す。
丸カッコ ()	文中の注釈部分を示す。
省略記号 …	文中の省略部分を示す。
ダッシュ —	次が注釈や説明であることを示す。

また、ラテン文字を表記法とする現行の言語は大文字・小文字の使い分けをしているものがほとんどである。龍茗方言の発音表記法もこの習慣にしたがって、文頭の文字を大文字にする。固有名詞あるいは強調を意図する際に、大文字を使うことによって、それが普通名詞ではないことを際立たせる役割がある。しかし、大文字・小文字の別は、言語学的表記としては余剰的なので、筆者は基本的に小文字の表記を提案する。ただし、話者が自由に大文字・小文字を使い分けられるように表 4-12 に大文字・小文字の対応を示す。

表 4-12 龍茗方言に使われる大文字・小文字の対応表（ラテン文字の Gg, Xx を除き、Ââ を含めた、合計 25 アルファベットと 1 つの記号を使用する）

大文字	A	B	C	D	E	F	H	I	J
	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
	T	U	V	W	Y	Z	Â	,	
小文字	a	b	c	d	e	f	h	i	j
	k	l	m	n	o	p	q	r	s
	u	v	w	y	z	â	,		t

4.4 龍名方言の文字表記法

4.4.1 シャム文字の概要

4.4.1.1 シャム語の子音字

シャム語は 21 の頭子音であるのに対し、子音字は 42 ある。シャム語子音音素の一覧を表 4-13 に示す。音素 /r/ に関しては、シャム語では /r/ [r] であるが、龍茗方言の /r/ [ð~ɹ] に対応する。また、/y/ と /j/ はいずれも [j] の音素であるが、シャム語と龍茗方言では異なる表記をする。さらに、シャム語の有声音 /b/、/d/ は龍茗方言の入破音 /b̥/、/d̥/ と対応する。

表 4-13 シャム語子音音素一覧表（東京外国語大学語学研究所[編]1998:96）に準拠し、筆者が調音位置と調音方法により分類である。）

調音位置 調音方法		唇音	歯茎音	硬口蓋音	軟口蓋音	声門音
閉鎖	非帯気	p	t	c	k	ʔ
	帯気	ph	th	ch	kh	
鼻音		m	n		ŋ	
摩擦音		f	s			h
半母音		w		y		
有声音・入破音		b	d			
流音	側面的		l			
	中線的		r			

シャム語の 21 頭のうち、末子音に成り得る子音は p, t, k, ʔ, m, n, ŋ, y, w の 9 つである。このほか、子音字で表される「閉鎖音+r, l, w」の子音結合が 11 ある。それらは pr, pl, phr, phl, tr, kr, kl, kw, khr, khl, khw である。

シャム文字は表音文字で、その子音字は図 4-1 に示したように 42 ある。「同音異字があるのは、インド系借用語の綴りをもとのインド語¹⁸²の綴りに対応させるためである」と言われている（東京外国語大学語学研究所[編]1998:94）。各字母を単独で発音するときは、/kɔw/, /khɔw/, /khɔw/ … のように、母音 /ɔw/ をつけて発音する習慣がある。

ก	ข	ค	ฆ	ง	จ	ฉ
kɔw	khɔw	khɔw	khɔw	ŋɔw	cɔw	chɔw
ช	ซ	ฌ	ญ	ฎ	ฏ	ฐ
chɔw	sɔw	chɔw	yɔw	dɔw	tɔw	thɔw
ท	ฒ	ณ	ด	ต	ถ	ท
thɔw	thɔw	nɔw	dɔw	tɔw	thɔw	thɔw
ธ	น	บ	ป	ผ	ฝ	พ
thɔw	nɔw	bɔw	pɔw	phɔw	fɔw	phɔw
ฟ	ภ	ม	ย	ร	ล	ว
fɔw	phɔw	mɔw	yɔw	rɔw	lɔw	wɔw
ศ	ษ	ส	ห	ฬ	อ	ฮ
sɔw	sɔw	sɔw	hɔw	lɔw	ʔɔw	hɔw

図 4-1 シャム語の子音字（42 個）

子音結合の文字上での組合わせを表 4-14 に示す。

表 4-14 シャム語の子音結合

頭子音	-ร (r)	-ล (l)	-ว (w)
ก- (k)	กร (kr)	กล (kl)	กว (kw)
ข- (kh)	ขร (khr)	ขล (khl)	ขว (khw)
ค- (kh)	คร (khr)	คล (khl)	คว (khw)
ป- (p)	ปร (pr)	ปล (pl)	
ผ- (p)	พร (pr)	พล (pl)	
พ- (ph)	พร (phr)	พล (phl)	
ต- (t)	ตร (tr)		

¹⁸² サンスクリット、パーリ語を指す。シャム語はカンボジア語を通じて、インドの古典語サンスクリット語を吸収し、ビルマやスリランカを経由して伝えられた上座部仏教から、仏教経典用語のパーリ語をもシャム語に取り入れた。このインド系のサンスクリット、パーリ語は、日本語の中の漢語のような役割をし、思想や文化を表現する抽象名詞に多く、新しい概念にはサンスクリット語による造語が今日でも盛んに行われている（大野 1987:132-133）。

シャム文字を構成する要素は「子音字」「母音符号」「声調記号」の三つである。語を綴るときは、子音字の左右上下に母音記号を付けて子音+母音を表わし、さらにその後に子音字を書いて子音+母音+子音を表わすというのが基本原則である。そのほかに声調記号があるが、綴り字の声調は子音字の種類と声調記号の組み合わせなどによって決まる。子音字は高子音、中子音、低子音という3つのグループに分けられる。頭子音字がどのグループに属するかによって、声調規則が異なる。詳しい声調規則は後述するが、その声調を決定する要素は、1) 子音字のグループ（中子音字／高子音字／低子音字）、2) 音節の種類（平音節／促音節）、3) 声調記号（記号なし／第一／第二／第三／第四）の三つであるため、頭子音字がどのグループに属するかが重要である。

高子音（10字）： **ข kh, ฉ ch, ถ th, ฐ th, ผ ph, ฝ f, ส s, ศ s, ษ s, ห h**

中子音（9字）： **ก k, จ c, ด d, ฎ d, ต t, ฏ t, บ b, ป p, อ ?**

低子音（23字）： **ค kh, ฅ kh, ฌ ch, ฌ ch, ฌ th, ฌ th, ฌ th, ฌ th, ฌ ph, ฌ ph, ฌ f, ฌ s, ฌ h, ฌ ฌ, ฌ n, ฌ n, ฌ m, ฌ y, ฌ y, ฌ r, ฌ l, ฌ l, ฌ w**

このうち、高子音に属するアルファベットは10文字、中子音に属するアルファベットは9文字、低子音に属するアルファベットは23文字である。中子音字が表す音は、他のグループの音と重複していない。

低子音の23文字は、さらに、「単独字」と「対応字」の2種類に分かれる。「単独字」と「対応字」の違いは、発音にある。簡単にいうと、1) 単独字は高子音字にはない音、2) 対応字は、高子音に全く同じ発音があるものである。この2種類のうち、「単独字」に属する低子音は「**ฌ ฌ, ฌ n, ฌ n, ฌ m, ฌ y, ฌ y, ฌ r, ฌ l, ฌ l, ฌ w**」の10文字である。この10文字のうち8文字「**ฌ ฌ, ฌ n, ฌ m, ฌ j, ฌ y, ฌ r, ฌ l, ฌ w**」はそれぞれ高子音の**ห h**と組み合わせられ、高子音と同じ声調規則を持つこととなる。この場合「**ห h**」は単なる「声調の記号」に過ぎず、発音はされない。「音声」としては「**ห**」の次に続く「低子音文字」の「音声」になる。このような高子音・低子音字の組み合わせを表4-14に示す。

表 4-15 高子音・低子音単独文字の組み合わせ

高子音	低子音	高子音化	発音記号
ห	ง	หง	ŋ
	ญ	หญ	y
	น	หน	n
	ม	หม	m
	ย	หย	y
	ร	หร	r
	ล	หล	l
	ว	หว	w

シャム語の頭子音には、同音異字がある。それらを以下に挙げる（スニサー2016：別冊7頁）。

kh	ข ค ฅ	ch	ฉ ช ฅ	s	ส ศ ษ ซ	d	ด ฎ
t	ต ฏ	th	ถ ฐ ท ฑ ฒ	ph	ผ พ ภ	f	ฝ ฟ
y	ย ญ	n	น ณ	l	ล ฬ	h	ห ฮ

また、末子音は音声上 9 であるが、その末子音字は頭子音と同じく同音異字がある。なお、末子音の声門閉鎖音[-ʔ]は文字として表記されない。末子音の同音異字を以下に示す（スニサー2016：別冊7頁）。

同音異字有

-k	ก ข ค ฅ
-t	จ ด ต ถ ท ฑ ฏ ฐ ฒ ฌ ษ ฌ ศ ษ ส
-p	บ ป พ ภ ฟ
-n	น ณ ญ ร ล ฬ

同音異字無

-ŋ	ง
-m	ม
-y	ย
-w	ว

注)・末子音として使用されない子音字：อ ฌ ฌ ผ ฝ ห ฮ

シャム語は、基本語彙の多くが1語1音節で、龍茗方言と同じである。1語の文字構成の例を図4-2（東京外国語大学語学研究所[編]1998:95）、複数音節に構成された文の例を図4-3（スニサー2016:別冊2頁）に示す。

กิน	「食べる」	ก	+	ิ	+	น	声調記号なし 平声 (aa)
kin	キン	k-		i		-n	
ดื่ม	「飲む」	ด	+	ู	+	ม	声調記号 ' 低声 (âa)
dùrum	ドゥーム	d-		uu		-m	
เมื่อ	「～とき」	ม	+	เ-อ			声調記号 ' 下声 (âa)
mûa	ムア	m-		ua			
ข้าว	「飯, 米」	ช	+	-า	+	ว	声調記号 ˆ 下声 (âa)
khâaw	カーウ	kh-		aa		-w	

図 4-2 シャム語の文字構成用例

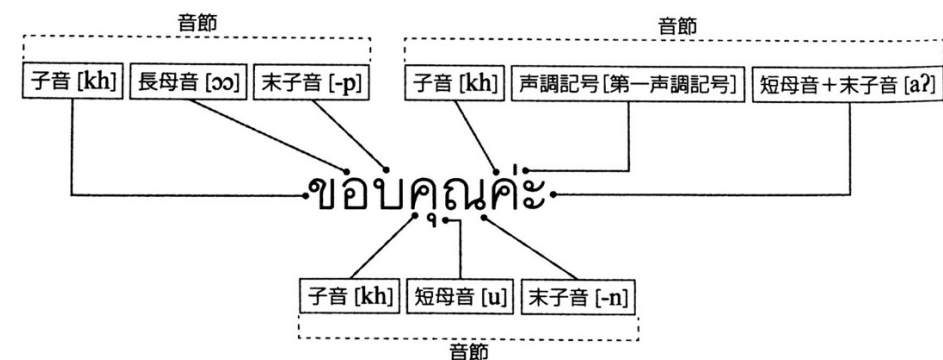


図 4-3 ขอบคุณคะ (khòp-khun khâ?) ありがとうございます (女性用語)

4.4.1.2 シャム語の母音符号

シャム語には 9 つの基本母音がある。そして、この 9 つの基本母音は、長短の対立がある。シャム文字では長短をそれぞれ異なる記号を用いて表記する。シャム語の母音を以下の母音台形 (図 4-4 (スニサー2016:11)) に示す。

		舌 の 位 置				
		前	中央	奥		
舌 の 位 置	上	[i]	[ɯ]	[u]	閉	
	中	[e]	[ə]	[o]	半閉	開口度
	下	[ɛ]	[a]	[ɔ]	半開	開

図 4-4 シャム語の母音

すなわち、シャム語の母音音素は長短合計で 18 ある。それぞれの母音符号を以下の図 4-5（スニサー2016:別冊 9 頁）に示す。

○=子音字 □=末子音字

短母音				長母音			
発音記号	末子音字		補足	発音記号	末子音字		補足
	無	有			無	有	
a	ະ	້□		aa	ာ	ာ□	
i	ိ	ိ□		ii	ီ	ီ□	
u	ီ	ီ□		uuu	ိဝ	ိ□	
u	ု	ု□		uu	ူ	ူ□	
e	ေး	ိ□ ေး□	(※1)	ee	ေ	ေ□	(※1)
ε	ေး	ိ□ ေး□	(※1)	εε	ေ	ေ□	(※1)
o	ေး	ိ□ ဝ□	(※1)	o	ဝ	ဝ□	(※1)
o	ေး	ဝ□	(※2)	oo	ို	ို□	
ə	ေဝး	ိ□	(※3)	ə	ေဝ	ိ□ ေ့	(※3) (※4)

図 4-5 シャム語母音符号

(※1) 「短母音・末子音字有」の中で声調記号がある場合は、[̃]はなくなる。「長母音・末子音字有」と全く同じ表記となる。

(※2) 末子音字がある場合は、母音符号が表記されない。ただし、他にも母音符号が表記されないケースがある。

(※3) 「短母音・末子音字有」と「長母音・末子音字有」は全く同じ表記となる。

(※4) 末子音字が ဂ の場合は ေ့ となり、ိ がなくなる。

図 4-5 の母音符号を使用した字例を以下の図 4-6（スニサー2016:別冊 10 頁）に示す。

母音符号使用例

短母音			長母音		
発音 記号	末子音字		発音 記号	末子音字	
	無	有		無	有
a	กะ kà? 予定する	ดัง dan 有名な	aa	นา naa 田	งาน gaan 仕事
i	ติ ti? 非難する	กิน kin 食べる	ii	ปี pii 年	ปีน piin 登る
uu	ดี tui? 臭う	ดิน din 土	uuu	มือ muu 手	ยืน yuun 立つ
u	ดุ dù? 厳しい/ 叱る	ยุง yun 蚊	uu	งู guu ヘビ	รูป rūp 写真
e	เตะ tè? 蹴る	เย็น yen 冷たい เล่น lén 遊ぶ	ee	เท thee 捨てる	เอง ʔeen 自分で
ɛ	แกะ kɛ? 羊	แข็ง khɛŋ 固い เล่น lén 進む	ɛɛ	แก kɛɛ あなた	แตง tɛɛŋ 瓜
ɔ	เกาะ kò? 島	ช็อก chók ショック บ่อน bòn 賭場	ɔɔ	งอ guo 曲がって いる	คอย khooy 待つ
o	โปะ pò? (パウダー などを) つける	จน con 貧しい	oo	โบ boo リボン	โคน khoon 木の根元
ə	เยอะ yá? たくさん	เงิน ɲən お金	əə	เธอ thəə あなた	เคย khəəy ~した ことがある

図 4-6 シャム語母音符号使用例

このほか、シャム語には原則 [ia/ua/wa] のような二重母音が 3 つある。2 番目の母音は声門閉鎖が伴い、明確に短く発音する場合ある。この場合、語尾を短母音の◌ะに足して表す。ただし、これらは外来語や擬音語などのみに使用される。シャム語の二重母音を以下の図 4-7 に示す。/ua/ のみ、末子音の有無で形が異なる。

二重母音

○=子音字 □=末子音字

					末子音字	
					無	有
ia	ไ	ua	ไ	ua	ัว	ัว□
ia?	ไ	ua?	ไ	ua?	ัวะ	

図 4-7 シャム語の二重母音字

さらには、/am,aw,ay,ay/のような「母音＋子音」をセットで表すものもある。それぞれは am→ำ , au→เ, ay→ไ, ay→ไ である。

4.4.1.3 シャム語の声調記号と声調規則

シャム語の声調は5つあり、第1声調は中平型[33]、第2声調は低平型[11]、第3声調は全降型[52]、第4声調は高昇型[45]、第5声調は全昇型[14]である¹⁸³。声調を示す声調記号は4つある。それぞれは以下図4-8のようである（シャム語声調曲線はスニサー（2016:19）、声調記号は同書の別冊14頁による）。



図 4-8 シャム語の声調と声調記号

これらの記号がどういった影響を及ぼすかは、子音字のグループ（高子音、中子音、低子音）によって異なる。すなわち、1) 頭子音が低子音か中子音か高子音か、2) 平音節か促音節かによってシャム語の声調が決められる。頭子音字と声調の関係を示す規則を以下の表4-14にまとめる。このような複雑な体系に至った背景については、4.2.3で述べる。

¹⁸³ 調値は三谷恭之（1989）『言語学大辞典 第2巻』、531頁による。

表 4-16 シャム語の声調規則表（スニサー2016:別冊 14 頁の「声調規則」をもとに、筆者が作成した。マス目の中はそれぞれの声調の調値である。）

声調記号 頭子音字	平音節					促音節	
	無表記	◌̎	◌̌	◌̍	◌̋	無表記	
高子音	14	11	52			11	11
中子音	33	11	52	45	14	11	11
低子音	33	52	45			45	52

4.4.1.4 シャム語正書法の特徴

以上、シャム語の子音字、母音記号、声調規則などについて述べてきた。ここでは本論文と関わりがあるシャム語正書法のいくつかの特徴を紹介する。

第一に、先述したシャム文字からも分かるように、シャム語は同音異字が多く存在する。これはシャム語にある数多くの同音異義語（発音は同じだが、互いに区別される語）を文字上で区別するためには有効である。例えば、シャム語には[rót]という同音異義語がある。この単語の発音を聞いただけではどちらの意味なのか、文脈を見ないと判断できないが、シャム語では同音異字を用いることによって文字上で区別できるようになっている。[rót]は **รถ** rót 「車」と **รถ** rót 「水をかける・やる」のように区別されている。

第二に、シャム文字では1つの字に多様な機能を持つ字が多く存在する。シャム文字の中には、頭子音と末子音の両方に使われる文字があり、その中に両者の発音が異なる文字がある。末子音字の同音異字は複雑である。例えば、その中の1つである子音字 **ร** が多彩な変化を持つ。初子音としては **ร** で実現するが、末子音としては **-ร** となる。さらには、子音 **ร** が **รร** と重なった場合には母音の役割を果たす。しかも、以下のような3つのケースがあり得る。

- 1) 音節の中央に入った場合は、**กรรม** 「業、運命、罪」 /kam/と読み、**รร** は-a-の母音の役割をする。
- 2) 第一音節の末尾に入った場合1は、**กรรไกร** 「ハサミ」 /kan krai/と読み、**รร** は-an と母音、末子音の役割をする。
- 3) 第一音節の末尾に入った場合2は、**ภรรยา** 「妻」 /phan ra yaa/と読み、**รร** は-an-ra と母音、末子音、一字再読の役割をする。

子音 **ร** はそれ以外でもまだまだ機能がいくつかあるが、これらは本論文で意図する考察の範囲を超えるため、さらなる記述は差し控える。

第三に、シャム語は分かち書きをしない特徴がある。子音字を中心に母音記号を上下左右に配置して音節となるが、音節と音節の分かち書きがなく、一文が終わるまで文が続く。例えば、**ผมเดินทางท่องเที่ยวค่ะ**「私は旅行者です。」のように一目では音節の単位が明瞭ではない。しかし、複合語や句といった単語より大きな単位（日本語なら読点を付す単位にほぼ相当するもの）の間に、明示的なスペースが置かれる。したがって、句読点が用意されずピリオド「.」は略語のときのみに使われる。例えば、**ส.ว. (สมาชิกวุฒิสภา)**「上院議員」の略、**พ.ร.บ. (พระราชบัญญัติ)**「法律」の略、**กทม. (กรุงเทพมหานคร)**「バンコク」の略などがある。

4.4.2 龍茗方言の文字表記法

本論文ではシャム文字を用いる龍茗方言の文字表記法の考案を試みる。その際、シャム文字を龍茗方言の音素に割り当てる基準として、次の 5 つの原則を用いる。すなわち、1) シャム文字以外の新しい文字や記号を用いない原則、2) 同音異意語を区別するため、優先的に同音異字表記の方法を取るが、同一音素に対し最大 2 つの文字を割り当てる原則、3) 頭子音に使われる子音字は末子音としても使う方法を取るが、シャム語のように末子音の同音異字表記を採用せず、1 つの末子音に 1 つの文字を割り当てる原則、4) 龍茗方言固有の語彙であれ、借用語であれ、発音する通り綴る方法を取る原則、5) タイ諸語の歴史を継承し、シャム語のように子音字を高、中、低に分類し、頭子音と声調規則に結び付けるという原則である。

4.4.2.1 龍茗方言の子音字

以上のような原則にしたがって、42 のシャム文字から龍茗方言と対応する 30 の子音字を選ぶ。選ばれたこれらの文字を「シャム式龍茗文字」と名付け、ラテン文字による「転写表記」を「龍茗転写文字」と呼ぶ。それぞれを「龍茗文字」と「転写文字」と略称する。シャム文字と龍茗文字の対応を表 4-17 に示す。

表 4-17 龍茗方言の子音字とシャム文字の対応表

番号	転写 文字	龍茗 文字	シャム 文字	番号	転写 文字	龍茗 文字	シャム 文字
1	k	ก [k]	ก [k]	16	b	บ [b]	บ [b]
2	kh	ข [kʰ]	ข [kʰ]	17	p	ป [p]	ป [p]
3	kh	ข [kʰ]	ค, ข [kʰ]	18	ph	ผ [pʰ]	ผ [pʰ]
4	ng	ง [ŋ]	ง [ŋ]	19	ph	พ [pʰ]	พ, ภ [pʰ]
5	c	จ [tɕ]	จ [tɕ]	20	f	ฝ [f]	ฝ [f]
6	ch	ฉ [tɕʰ]	ฉ [tɕʰ]	21	f	ฟ [f]	ฟ [f]
7	ch	ช [tɕʰ]	ช, ฉ [tɕʰ]	22	m	ม [m]	ม [m]
8	s	ส [θ]	ส, ศ, ษ [s]	23	j	ย [j]	ย, ญ [j]
9	s	ซ [θ]	ซ [s]	24	r	ร [ð]	ร [r]
10	ny	ญ [ɲ]	ญ [j] ¹⁸⁴	25	l	ล [l]	ล [l], ฬ [l]
11	d	ด [d]	ด, ฎ [d]	26	w	ว [w]	ว [w]
12	t	ต [t]	ต, ฏ [t]	27	h	ห [h]	ห [h]
13	th	ถ [tʰ]	ถ, ฐ [tʰ]	28	q	ค [ɣ]	ค [kʰ] ¹⁸⁵
14	th	ท [tʰ]	ท, ฑ, ฒ, ฒ [tʰ]	29	'	อ [ʔ]	อ [ʔ]
15	n	น [n]	น, ณ [n]	30	h	ฮ [h]	ฮ [h]

表 4-17 に記載した 30 文字のすべてを頭子音として用いる。そのうち、龍茗方言に現れる 9 つの末子音をこの 30 の文字から選出する。本論文では、表 4-18 で示す 9 つの子音字を龍茗方言の末子音字として用いる。

表 4-18 龍茗方言の末子音字

¹⁸⁴ 10 番の[ɲ]はシャム語には存在しない子音である。この音はシャム語の[j]と対応するために、[j]で表記する ย, ญ の中から ญ を選んで[ɲ]を表記する。例えば、シャム語では หญา [ja:cC1(52)] 「草」となり、龍茗方言では [ɲa:C(213)]/ 「草」となり、[j]と[ɲ]が対立する。したがって、龍茗方言の[ɲ]に ญ を割り当て、「草」を หญา /ɲaa5/と表記できる。形態上シャム語と同じく表記できる。

¹⁸⁵ 30 番の[ɣ]はシャム語には存在しない子音である。Pittayaporn (2009: 322-361)によって再建されたタイ祖語のリストによれば、Pittayaporn (2009:321)の 22 番*yo: A 「喉、首」は、シャム語では คอ[kʰɔ:33(A2)] 「喉、首」である。これは龍茗方言の [yo:31(A2)] 「喉、首」と対応している。したがって、龍茗方言の[ɣ]に ค を割り当て、「喉、首」を คอ と表記できる。形態上シャム語と同じく表記できる。

末子音音素	転写表記	龍茗文字	シャム文字
/p/	-p	ป	บ พ ภ ป ฟ
/t/	-t	ด	ด ฐ ฒ ศ ษ ฑ ฒ ฒ ฏ ฎ ษ ฌ จ ฌ ล
/k/	-k	ก	ก ข ค ฆ
/m/	-m	ม	ม
/n/	-n	น	น ณ ฌ ร ฬ
/ŋ/	-ng	ง	ง
/w/	-w	ว	ว
/j/	-j	ย	ย
/ɰ/	-q	ค	

龍茗方言に選ばれた末子音はシャム語の中で使用頻度が高いものとなる。しかし、/ɰ/のような末子音がシャム語に存在しないため、頭子音字として選ばれた ค を末子音にも採用する。また、龍茗方言では非狭母音かつ後舌母音の /a/ と /ɤ/ のみが末子音 /ɰ/ と韻を形成するため、ค を使用する環境が限られる。

次に、龍茗の子音結合を表 4-19 に示す。龍茗方言の子音結合の第 2 要素として立ちうるのは /-j/ と /-w/ である。これらの子音結合の第 2 要素は同時に頭子音としても現れる。したがって、頭子音と同じ字を割り当てることにする。龍茗方言の子音結合文字一覧を表 4-19 に示す。

表 4-19 龍茗方言の子音結合文字一覧

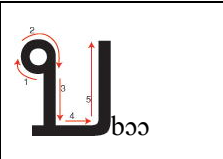
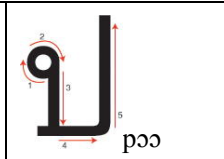
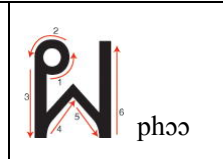
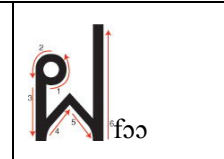
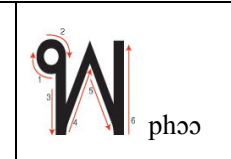
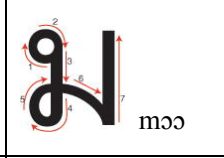
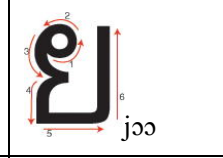
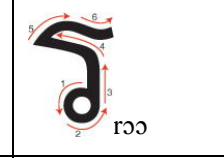
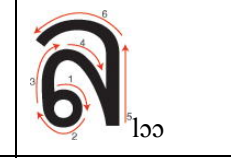
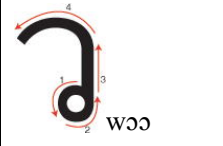
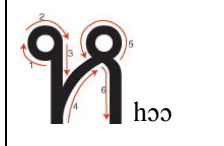
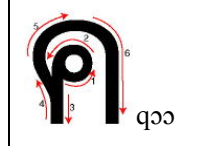
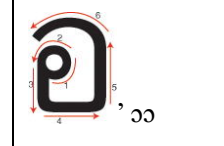
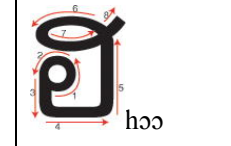
第 2 子音 第 1 子音	子音結合 /-j-/ย		子音結合 /-w-/ว	
	転写文字	龍名文字	転写文字	龍名文字
/p/	pj	ปย-		
/p ^h /	phj	ผย- พย-		
/t/	tj	ตย-	tw	ตว-
/t ^h /	thj	ถย- ทย-		
/c/			cw	จว-
/c ^h /			chw	จว- ขว-
/k/	kj	กย-	kw	กว-
/k ^h /	khj	ขย- ฌย-	khw	ขว- ฌว-

/ʔ/	ʔj	อ ย-	'w	อ ว-
/m/	mj	ม ย-	mw	ม ว-
/n/	nj	น ย-	nw	น ว-
/ɲ/			nyw	ญ ว-
/ŋ/			ngw	ง ว-
/f/				
/θ/	sj	ส ย- ช ย-	sw	ส ว- ช ว-
/h/	hj	ห ย- ฮ ย-	hw	ห ว- ฮ ว-
/w/				
/j/			jw	ย ว-
/ɯ/				
/b/	bj	บ ย-	bw	บ ว-
/d/	dj	ด ย-	dw	ด ว-
/l/	lj	ล ย-	lw	ล ว-
/r/			rw	ร ว-

上記のように龍茗方言の頭子音字、末子音字、子音結合にシャム文字を割り当てた。以下はこれらの文字の書き方¹⁸⁶を示しながら、龍茗方言の話者が各文字を覚えやすいように、それぞれに名前を与える。丸があるときは、丸の付け根から一筆書きするように書く。

表 4-19 龍茗方言子音字の書き順

¹⁸⁶ <http://www.thaismile.jp/ThaiLanguage/1alpha/ThaiCharas1.html> 2018 年 6 月 22 日 16:00 取得。

 baw	 paw	 phaw	 faw	 phaw
 faw	 maw	 jaw	 raw	 law
 waw	 haw	 qaw	 vaw	 haw

4.4.2.2 龍茗方言の母音符号

龍茗方言には7つの長母音/i:/, /u:/, /u:/, /e:/, /ɛ:/, /o:/, /a:/ と5つの短母音/i/, /u/, /ɛ/, /o/, /a/ がある。龍茗方言の母音はシャム語の母音よりも数が少なく、かつ龍茗方言の母音はすべてシャム語にも存在する。すなわち、龍茗方言の母音はすべてシャム語と共通している（逆は真でない）。したがって、シャム語の母音符号を用いて龍茗方言の母音を表記するのが便利である。しかし、龍茗方言では母音が長母音の時、末子音は任意であるが、短母音の時は常に末子音を要求する。一方、シャム語も音声的に龍茗方言と同じような特徴を持つが、短母音の後ろに声門閉鎖音がくるときは文字上で表記しない。この規則により、図4-5で示したように、短母音の形は短母音の後ろにある末子音字の有無により変化する。龍茗方言ではすべての短母音の後ろに閉鎖音、共鳴音、および半母音が現れるため、文字上すべて末子音字が付くように要求される。このため、シャム文字の母音符号を選ぶときは、常に短母音の後ろに子音字がくる母音符号の形を選択する。なお、シャム語の短母音/o/は末子音字が来るとき記号が省略される。シャム語との対応を考えて、龍茗方言も短母音/o/を表記しないことにする。また、シャム語と同じように、短母音 a[ɾ] は末子音字が u[j] の場合は ɛu[cej] となり、ə がなくなる。表4-20に龍茗方言に採用した母音符号を示す。

表 4-20 龍茗方言の母音符号(◦は頭子音)

短母音			長母音		
転写文字	音素	龍茗文字	転写文字	音素	龍茗文字
a	/a/	◌̣-	aa	/a:/	◌̣◌
i	/i/	◌̥	ii	/i:/	◌̥◌
			vv	/u:/	◌̥◌
u	/u/	◌̣	uu	/u:/	◌̣◌
			ee	/e:/	◌̣◌
o	/o/	◌̣-	oo	/o:/	◌̣◌
â	/ɤ/	◌̣◌̥-	ââ	/ɤ:/	◌̣◌̥◌

表 4-20 で示したように、龍茗方言には短母音/o/を除いて4つの声調符号あるのに対して、長母音字は7ある。

先出の図 4-7 で示したようにシャム語には原則 [ia/ua/uua] のような二重母音が3つある。ただし、これらは外来語や擬音語などのみに使用される。龍茗方言にはシャム語と共通する二重母音音素が存在しないために、シャム語の二重母音符号を採用しない。

しかし、シャム文字にある4種類の「母音＋子音」セット符号はすべて採用する。龍茗文字とシャム文字を対応するこれらの特殊符号を表 4-21 に示す。

表 4-21 「母音＋子音」の特殊符号

転写文字	音素	龍茗文字	転写文字	音素	シャム文字
am	/am/	◌̣◌	am	/am/	◌̣◌
aw	/aw/	◌̣◌	aw	/aw/	◌̣◌
aj	/aj/	◌̣◌	ay	/aj/	◌̣◌
aaj	/a:j/	◌̣◌	ay	/aj/	◌̣◌

以上、シャム文字を用いて割り当てられた龍茗方言の子音字（頭子音字＋末子音字）、母音符号を組み立て、龍茗方言の韻表を表 4-22 に示す。

表 4-22 龍茗方言の韻とその表記 (74 個、○は頭子音字)

平 音 節	単 母 音	a ာ	a ဲ-	ii ီ	i ိ	uu ူ	u ု	ee ေ	oo ို	o ဝ-	vv ီ	ââ ေဝ	â ဲိ-
	鼻 母 音	aam ာမ	am ာံ	iim ိမ	im ိမ	uum ူမ		eem ေမ	oom ိုမ				
		aan ာန	an ာန်	iin ိန်	in ိန်	uun ူန်		een ေန်	oon ိုန်		vvn ီန်		ân ဲိန်
		aang ာဂ	ang ာံဂ	iing ိံဂ	ing ိံဂ	uung ੂੰဂ	ung ုံဂ	eeng ေံဂ	oong ိုံဂ	ong ဝံဂ	vvng ီံဂ		âng ဲိံဂ
	複 合 韻	aaj ါ	aj ါ			uuj ူ့			ooj ို့				âj ဲ့
		aaw ာာ	aw ော	iïw ိာ				eeew ော					âw ဲာ
			aq ာဲ										âq ဲဲ
促 音 節	語 尾 p t k	aap ာပ	ap ာပ်	iip ိပ	ip ိပ	uup ူပ		eep ေပ	oop ိုပ				âp ဲပ
		aat ာတ	at ာဲ	iit ိဲ	it ိဲ	uut ူဲ		eet ေဲ	oot ိုဲ		vvt ီဲ		ât ဲဲ
		aak ာက	ak ာဲ	iik ိဲ	ik ိဲ	uuk ူဲ	uk ုဲ	EEK ေဲ	ook ိုဲ	ok ဝဲ	vvk ီဲ		âk ဲဲ

表 4-22 において、シャム語の特殊表記を用いたのは韻 am (ာံ) 、aw (ော) 、aaj (ါ) 、aj (ါ) の 4 つである。これらは規則の通りに書けば am (ာံ) 、aw (ော) 、aaj (ါ) 、aj (ါ) であるが、シャム語との対応を文字上でも反映させるために、あえてシャム語と同じ表記を採用した。また、短母音 â[x] は末子音字が ㅃ の場合、規則通りなら ဲ ㅃ と書くべきであるが、これもシャム語との対応を考慮した結果、ㅃ がなくなった ㅃ (eej) 採用した。龍茗方言には ㅃ (eej) のような韻が存在しないため、混乱は起こらないと考えられる。文字上の対応を残す理由は、そうすることによって、龍茗方言の母語話者は近い将来シャム語文字を使う人々との筆談がある程度可能になると考えられるからである。すなわち、漢字を使う日本人と中国人との間である程度の筆談ができるのと同様の状況が期待できる。

4.4.2.3 龍茗方言の声調規則と声調記号

龍茗方言は解釈によって 5 つの声調にまとめることができる。それぞれは、第 1 声調 (A1, DS1')、第 2 声調 (A2, DS2)、第 3 声調 (B1, DL1)、第 4 声調 (B2, DS1, DL2)、第 5 声調 (C) である。5 つの声調を 4 つの声調記号を用いて表記するのが経済的である。先述のようにシャム語には 4 つの声調がある。これらの声調記号をすべて龍茗方言の声調記号とし

て用いることができれば便利である。

4.1.3 で述べたように、シャム語では頭子音字、音節構造と声調記号で声調を決定する。例えば、先述の表 4-16 におけるシャム語の声調規則表によれば、中子音字と声調無表記を組合わせて第 1 声調[33]となり、中子音字と ◌ (第 1 声調記号) を組合わせて第 2 声調となる。上田 (1994:111) によれば、シャム語はかつての正書法において、声調記号なし、第 1 声調記号の ◌, 第 2 声調記号の ◌ が用いられたが、シャム語の声調に分裂が起こり、表 4-23 に示すような声調体系を持つようになったという。上田 (1994:111) は表 4-23 の H 類、M 類、L 類はタイ祖語 (Proto-Tai)における頭子音の類別(シャム語の正書法では高子音字、中子音字、低子音字に相当する)、0、1、2 は、タイ祖語における声調素 (シャム語の正書法では、それぞれ、声調記号なし、第 1 声調記号(◌), 第 2 声調記号(◌) に相当する)を表すとする。さらに、シャム語の /p, t, c, k, ʔ, b, d, y/ はタイ祖語の M 類子音¹⁸⁷に、その他の頭子音は H 類 (または L 類子音) に遡るものと指摘している。

表 4-23 シャム語の声調分岐表 (表は上田 1994:111 から引用した。)

	平 音 節			促 音 節	
	0	1	2	(長)	(短)
H 類	/˥˥/	/˥˥˥/	/˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥˥/
M 類	/˥˥˥/	/˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥˥˥/
L 類	/˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥˥˥/	/˥˥˥˥˥˥˥˥/

龍茗方言とシャム語の声調の対応関係を分かりやすくするために、上田 (1994) が示すシャム語の声調分岐表を本論文で用いる Li (1977) の表記方式に変えて示す。表 4-24 は Li (1977) の方式によるシャム語の声調分岐表、表 4-25 は Li (1977) の方式による龍茗方言の声調分岐表である。

表 4-24 は Li 方式によるシャム語の声調分岐表(「()」内の数字は当該声調の調値である)

祖語 頭子音	祖語声調 シャム語	*A	*B	*C	*D	
		無表記	◌	◌	*DL	*DS
無声	H 類子音	A1 (14)	B1 (11)	C1 (52)	DL (11)	DS1 (11)
	M 類子音	A2 (33)	B1 (11)	C1 (52)	DL (11)	DS1 (11)
有声	L 類子音	A2 (33)	B2 (52)	C2 (45)	DL (45)	DS2 (52)

しかし、龍茗方言の /p, t, c, k, ʔ, b, d, j/ (シャム語の M 類子音に属する /p, t, c, k, ʔ, b, d, y/ と対応する) 子音はすべての声調で実現可能である。シャム語よりも複雑な声調変化を経験して

¹⁸⁷ /p, t, c, k, ʔ, b, d, y/ は、それぞれ、タイ祖語の *p, *t, *c, *k, *ʔ, *b, *d, *y に遡ると言われている (上田 1994:111、注 14)。

いる。

表 4-25 は Li 方式による龍茗方言の声調分岐表(「()」内の数字は当該声調の調値である)

祖 語 頭子音	祖語声調 龍茗方言	*A	*B	*C	*D	
		無表記	◌̊	◌̋	*DL	*DS
無声	H 類子音	A1 (451)	B1 (251)	C (213)	DL1 (25)	DS1 (33)
						DS1' (45)
	M 類子音	A2 (31)	B1 (251)	C (213)	DL1 (25)	DS1 (33)
					DL2 (33)	DS2 (31)
有声	L 類子音	A2 (31)	B2 (33)	C (213)	DL2 (33)	DS2 (31)

表 4-24 で示しているように、シャム語の B2 (52) と C1 (52) は異なるタイ祖語の声調に遡られるが、現在のシャム語では同じ調値で実現している。すなわち、B2 (52) と C1 (52) は合流したということになる。しかし、タイ祖語の声調表記の枠組みを用いる限り、B2 (52) と C1 (52) は異なる頭子音字と声調記号によって区別できるようになっている。L 類子音 + 第 1 声調 ◌̊ は B2 (52)、H と M 類子音 + 第 2 声調 ◌̋ は C1 (52) を表現し、歴史を反映することによって文字上で両者を区別する。

引き続き表 4-24 に注目し、シャム語に存在する 4 つの声調記号とシャム語の中子音字は他のどのグループの子音とも重なっていないことを想起されたい。表 4-24 によると、シャム語の正書法の第 3 声調記号 ◌̋ と第 4 声調記号 ◌̌ はタイ祖語の枠組みで存在しなかったことが分かる。これはシャム語がタイ祖語から新たな変化を経て、タイ祖語に用意された記号が新しい声調に対応できなくなったことを物語っている。シャム語には L 類子音を H 類子音化できる仕組み (先述表 4-15) があるため、H と L 類子音はどの声調で実現されても表記できるようになっている。一方、M 類子音で声調が A1 または B2 で実現されるものが現れた場合、新たな記号を用意しなければ表記できない。実際にそのような音変化が生じた為、第 3 と第 4 の声調記号を加え、先述の表 4-16 のような体系が出来上がったと考えられる。

表 4-24 を踏まえて、表 4-25 と比較してみる。比較した結果、シャム語と龍茗方言の声調が 1 対 1 に対応していないことがわかる。龍茗方言の *C と *DS 声調はシャム語と異なる変化を起きている。*C は分裂していないのに対して、*DS は 3 つの声調に分裂している。それにしても、龍茗方言の声調体系とシャム語の声調体系には共通点が多く、龍茗方言

にもシャム語と同じように M 類子音の声調が A1 または B2 で実現されるものがある。したがって、シャム語の第 3 声調記号 ◌̎ と第 4 声調記号 ◌̏、及び高子音化を導入することで、新たな記号を使わずに龍茗方言の全ての音を表記できる。このように、シャム語の声調表記は龍茗方言の声調を表記する際の参考としてきわめて有用である。

龍茗方言の声調規則を明らかにするために、シャム語のように子音字の分類を行う必要がある。各頭子音に現れる声調を考慮し、龍茗方言における 30 の子音字を以下のように分類する。

高子音 (7 字) : ข kh, ฉ ch, ถ th, ผ ph, ฟ f, ส s, ห h

中子音 (8 字) : ก k, จ c, ด d, ต t, บ b, ป p, ย y, อ ʔ

低子音 (15 字) : ฆ kh, ช ch, ท th, พ ph, ฝ f, ษ s, ฮ h,
ง ɲ, น n, ม m, ญ ɲ, ร r, ล l, ค q, ว w

また、低子音の ง ɲ, น n, ม m, ญ ɲ, ร r, ล l, ค q, ว w はそれぞれ高子音の ห と組み合わせられ高子音のように発音し、表 4-26 のような組み合わせを作る。

表 4-26 高子音・低子音単独文字の組み合わせ

高子音	低子音	高子音化	発音記号
ห	ง	หง	ɲ
	ญ	หญ	y
	น	हन	n
	ม	หม	m
	ล	หล	l
	ร	หร	r
	ค	หค	q
	ว	หว	w

次に、シャム語の声調記号を導入し、それぞれの声調記号を龍茗方言での呼び方を決める。ここで、注意しなければならないのは、声調記号の番号は声調の番号と一致しないことである。龍茗方言の 4 つの声調記号及びそれぞれの読み方を表 4-27 に示す。

表 4-27 龍茗方言の声調記号と呼び方（例字は中子音字 ๑ と長母音 ๑ の組み合わせ）

声調記号番号	声調記号	龍茗の呼び方	タイの呼び方	例字
0				อา ʔaa ²
第 1 声調記号	◌◌	ไมเอน maj ⁵ -ʔeek ³	ไมเอน mây-ʔèek	อา ʔaa ³
第 2 声調記号	◌◌	ไมโท maj ⁵ -thoo ²	ไมโท mây-thóo	อา ʔaa ⁵
第 3 声調記号	◌◌	ไมตือ maj ⁵ -twii ²	ไมตือ mây-trii	อา ʔaa ⁴
第 4 声調記号	◌◌	ไมจัตวา maj ⁵ -cat ³ -ta-waa ²	ไมจัตวา mây-càt-ta-waa	อา ʔaa ¹

上記で分類された龍茗方言の頭子音字と声調記号を用いて龍茗方言声調規則を表 4-28 に示す。頭子音字と声調記号が声調を決定する。平音節では、第 1 声調記号 ◌◌ と第 2 声調記号 ◌◌ はいずれの子音とも組み合わせられるが、第 3 声調記号 ◌◌ と第 4 声調記号 ◌◌ は中子音とのみが組み合わせられる。また、促音節では、第 1 声調記号 ◌◌ と第 2 声調記号 ◌◌ は中子音とのみ組み合わせる。

表 4-28 龍茗方言の声調規則表（マス目の中はそれぞれの声調の実現調値である。）

声調記号 頭子音字	平音節					促音節				
	無	◌◌	◌◌	◌◌	◌◌	無	◌◌	◌◌	◌◌	◌◌
高子音	451	251	213			25 長	33 短			45 短
中子音	31	251	213	451	33	25 長	33 短	33 長	31 短	45 短
低子音	31	33	213			33 長	31 短			

以上の声調規則では 1 つの問題がある。それは低子音字と高子音字（音素/kh, ch, th, ph, f, s, h/）がどちらも 213 調値で実現する際、低子音字と高子音字のどちらを使うのかという問題である。例えば、龍茗方言の khaw⁵[kʰaw213(C)]「米、ご飯」を表記するとき、低子音字 Ɂ kh あるいは高子音字 Ɂ kh のどちらを選ぶかという問題が生じる。この際、シャム語の表記が参考となる。เขี้ยว khaw⁵[kʰaw213(C)]「米、ご飯」の場合は、高子音字で表記し、高子音字 Ɂ kh と韻 ɔ aw を組み合わせて表記する。なぜならシャム語は เขี้ยว khâaw「米、ご飯」と表記するからである。龍茗方言とシャム語の母音は異なるが、高子音字を使って両者の整合性を保つことを原則とする。一方、龍茗方言の khaa⁵[kʰa:213(C)]「殺す」を表記するときもシャム語が参考となる。シャム語では「殺す」を Ɂ khâa と表記されている。すなわち、低子音字 Ɂ kh + 長母音 ɔ aa に第 1 声調記号 ◌◌ を加わる。表 4-24 で確認すれば、低子音字 + 第一声調記号 ◌◌ の Ɂ khâa は B2 と同じ調値で実現されることが分かる。しかし、シャム語の B2 と C1 は同じ調値（52）で実現するため、「殺す」 Ɂ khâa はタイ祖語の *C 声調の後

って、分かち書きをする分かち書きの基準は、その要素が「語」なのか「形態素」なのかに準拠する。すなわち、語であれば分けるが形態素については、分かち書きはしない。

また、シャム語は複合語や句といった単語より大きな単位の中に、明示的なスペースが置かれる習慣がある。しかし、龍茗方言は分かち書きをするためスペースは挿入が不要であり、表 4-11 で挙げたすべての記号を使用する。そのほか、シャム語正書法で使われる省略記号 ๑ と反復記号 ๑ も取り入れたい。さらに、シャム式数字記号も採用し、表 4-29 に示す。

表 4-29 龍茗方言のシャム式数字

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
๐	๑	๒	๓	๔	๕	๖	๗	๘	๙	๑๐

4.5 結び

龍茗方言は、言語学的に記述された歴史がほとんどなかったため、龍茗方言を表記しようという試みも行なわれてこなかった。筆者は、龍茗方言の表記法を 2 つ提案した。本稿で提案したラテン文字発音表記法（転写表記）は、龍茗方言の話者が既に身につけている漢語ピンインにできる限り近づけ、必要以上に習得の努力のいらないものとする。一方、シャム式龍茗文字表記はシャム語・シャム文字を知っている龍茗方言話者にとって便利な道具となるだろう。また、シャム語・シャム文字を知っている人々が龍茗方言を理解するのに役に立つだろうと思われる。

ここで提案した表記法が、果たして実用化されるのかについては疑問が残る。筆者には、権威的後ろ盾があるわけでもないし、龍茗方言話者コミュニティに表記法を教授するだけの人的、経済的余裕もない。さらに今日、龍茗方言は農村部においてさえも若年層に継承されなくなってきたと危惧されている。加えて、携帯電話の普及によって、龍茗方言よりも漢語の利用が優勢になる可能性もある。

そこで龍茗方言の表記法を用いて、方言辞書、文法書、語彙集、民話、民謡などを書記化できれば、書き言葉としての龍茗方言が徐々に定着する可能性はある。本論文で提案する龍茗方言の表記法は小さな一歩であるが、龍茗方言の話者コミュニティの成員が龍茗方言を書くあるいは見直すきっかけとなると期待される。

終章

本論文は、これまで明らかにされてこなかったチワン語龍茗方言の音韻体系、声調体系、基礎語彙を記述した。龍茗方言とは中国広西チワン族自治区崇左市天等県龍茗鎮の逐仗屯で話されている言語で、タイ・カダイ語族中央タイ諸語に属すチワン語南方方言の1つである。

本論文における龍茗方言の語彙データは、母語話者である筆者の内省によって収集したが、その際、著者が独自に作成した語彙リスト（最小対のリスト）のほかに、以下の語彙リストを利用して、約 5000 語の単音節語のデータを得た。すなわち、『壮語音系匯編』（1961:356-362）、『広西民族語言方言詞彙』（広西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 2008）、Pittayaporn (2009:322-361)、Li (1977:25-28)である。筆者はこの約 5000 語のすべてを実際に発話し、録音した。録音された音声を 2 種類の手法、すなわち聴覚印象および音響学音声学に基づいた手法により分析した。

本論文の研究の成果は以下のように要約できる。第 1 に、龍茗方言の音韻体系、音節の特徴、声調体系とその通時的な変化を明らかにした。第 2 に、龍茗方言の 2 音節における変調の規則などを明らかにした。第 3 に、龍茗方言の 10 個の声の一部を、音節構造の違いによる条件異音とみなし、対立する声調を 5 種類とする解釈を提案した。第 4 に、本論文の成果の総括として、龍茗方言の表記法を提案した。これにより、本論文は龍茗方言研究ないしチワン語方言研究に重要な役割を果たすと思われる。

以下は、これまで論じてきた内容を「各章の要約」において総括し、未解決の問題点を指摘し、さらに今後の課題を提示したい。

5.1 各章の要約

序章では、本研究の問題意識、研究の意義と目的について述べた。本論文で取り上げるチワン語と、それを用いるチワン族について紹介した上で、本研究の対象とする龍茗方言、チワン語に関する先行研究及び本論文が用いる研究方法などについて論じた。

第 1 章では龍茗方言の音韻体系を明らかにした。まず本論文を理解するための背景知識としてタイ・カダイ語族そしてタイ諸語に関する先行研究を紹介した。ついで、最小対の対立、相補分布、自由変異といった 3 つの原則に基づいて、龍茗方言の音素を認定した。龍茗方言の頭子音には 23 音素、母音には 12 音素、末子音には 9 音素を立てた。龍茗方言には子音結合が存在し、結合できる子音の数は最大 2 であり、第 2 子音は必ず /w/ あるいは /j/ のいずれかであることを明らかにした。また、龍茗方言には共鳴音終わりの音節（平音

節) と、阻害音終わりの音節 (促音節) の 2 つの音節タイプ、6 つの音節構造 ((1)CVV/T, (2)CCVV/T, (3)CVC/T, (4)CVVC/T, (5)CCVC/T, (6)CCVVC/T) が認められる。平音節は 6 つの音節構造を持つことが可能であるのに対して、促音節は 4 つの音節構造を有することを明らかにした。さらに、分析結果を音素目録として要約し、龍茗方言の「韻表」を提示した。

第 2 章では、龍茗方言の単音節語について聴覚印象及びおよび基本周波数 (F0) の抽出により分析を行った。分析の結果、龍茗方言には平音節に 5 種類、促音節に 5 種類の声調が対立することが明らかになった。龍茗方言の平音節では祖語の声調*A, *B は分裂を起こしているが、声調*C は分裂を起こしておらず、したがって 6 つの平音節の声調を持つ他のチワン語諸方言より 1 つ少ないことが明らかになった。タイ祖語の声調*C に分裂が生じていないという点において、龍茗方言は祖語の体系をより忠実に保持する声調体系を持つと言える。一方、龍茗方言の促音節の声調の数は 4 つの促音節の声調を持つ他のチワン方言と比較して 1 つ多いことも明らかになった。促音節の声調の数が 1 つ多い理由を検討し、何らかの要因によって声調が分裂した可能性のあることを示唆し、また当該の声調で実現される語は粵語からの借用語に偏っていることを示した。

加えて、龍茗方言の声調体系がどのような通時的変化を経験したのか考察した。チワン語が所属するタイ諸語の声調に関する通時的研究である Gedney (1989)、Liao (2016) の成果を踏まえ、龍茗の声調体系の通時的変遷過程について考察を行ったところ、龍茗方言の平音節における声調が分裂あるいは合流するプロセスが解明できた。しかし、龍茗方言の促音節においては疑問が残された。例えば、頭子音の有声性と母音の長短に条件付けられた分裂が起きたが、しばしば例外がある。これらの例外を説明するためには龍茗方言を他のチワン語諸方言と比較研究を行う必要がある。しかし、そのような比較は本論文の主旨を超える。龍茗方言の促音節に関するより詳細な声調変化の方向性とその特徴を十分に明らかにするのは今後の課題である。

最後に、龍茗方言の声調は音節の等時性 (isochrony) と密接な関係があることに言及した。すなわち、同じ声調を持つ音節の長さは、末子音の有無を問わず、また母音の長短を問わず、おおよそ等しいことが明らかにされた。

第 3 章では、龍茗方言の 2 音節連続における変調を記述した。2 音節語の声調を音響分析し、各声調はどのような変調のメカニズムを持つのかを明らかにした。本論文では変調を連続変調 (tone sandhi) と派生変調の二種類に分けたが、音響分析の結果、龍茗方言には連続変調は認められなかった。派生変調については、龍茗方言においては後続声調がある場合音節の持続時間が短くなり、当該声調の前半の部分のみ実現するという規則があることが明らかになった。また、音響分析の結果に基づいて、龍茗方言の声調の数は 10 から 5 に減じら

れると解釈でき、龍茗方言の声調体系をより簡潔にまとめた。

さらに、2音節連続における第1音節目の音節の長さについて分析を行った。平音節に関しては第2章で検証できた音節の等時性が2音節連続にも認められた。促音節に関してもまた、後続音節が存在する発話において、母音の長短を問わず、その音節長がおおよそ等しいことを明らかにした。平音節であれ、促音節であれ、後続音節が来る場合、母音の持続時間が短くなるが、母音の長短の対立は保持されることも明らかにされた。

第4章では、ラテン文字をベースにした発音表記法とタイ文字を用いた文字表記法の2種類の龍茗方言の表記法を提案した。両者は強い関係性を持ち、ラテン文字による発音表記はタイ文字による文字表記を転写するための表記法である。本論文で提案するのは表記法であり、正書法ではない。この試案は筆者が調査のために必要な言語学的表記と、龍茗方言コミュニティの成員がある程度使える表記であることの2点の両立を目指すものであるが、龍茗方言の母語話者が不自然あるいは習得するのが難しいと感じる場合、積極的に改訂する。

本論文の付録には語彙集を掲載した。この語彙集に収録される語彙は先述した『壮語音系匯編』(1961: 356-362)、『広西民族語言方音詞彙』(広西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 2008)、Pittayaporn (2009: 322-361)の語彙リストなどを合わせたものである。これは5000語を少し超えるだけのささやかな「辞書」であり、日本語、英語、中国語との意味対応を整理した段階のものであるが、本格的辞典の原型として今後の研究の基礎になり得るものである。なお、語彙項目については付録に掲載されるすべての語彙は母語話者の協力者2名に確認済みである。特に言及する場合は、備考欄にて説明した。

チワン語をはじめとするタイ・カダイ語族の研究は、十分に解明されていない点が多い。本論文における龍茗方言の共時的な記述は、チワン語を含むタイ・カダイ語族の共時的・通時的研究をさらに発展させるため基礎データになるだろう。

5.2 今後の課題

最後に、残された課題について述べる。本論文は龍茗方言を記述したが、記述の対象は主として龍茗方言の音韻および声調である。今後は龍茗方言の文法調査を行い、龍茗方言の全体像をより明確に描き出すために、文法を詳細に記述する必要がある。

本論文に付録した語彙集に関しては、例文が収集できていないことや、語彙配列の検討が不十分であることなど、まだまだ多くの課題が残される。これをより汎用性のある辞書に編纂するための用例をすべての語彙について付けなければならない上、利用しやすくするための配列を工夫する必要がある。第1段階として、高齢者の言葉は何となくわかり、方言を使

ってみたいが、自力ではなかなか文を生成することが出来ない若年の母語話者などが、広く利用できるような辞書を編纂することを今後の課題としたい。

本論文で提案する龍茗方言の2つの表記法を併記した、龍茗方言のテキストを編纂し、龍茗方言のコミュニティーに還元することも将来の課題である。

龍茗方言の声調の歴史的変化の解明を目的として、他のチワン語諸方言の記述研究を進め、チワン語諸方言の比較を行うことも課題として挙げられる。このような研究は、龍茗方言のタイ・カダイ語族における系統的位置の解明につながるだけでなく、タイ・カダイ語族全体に及ぶ声調の通時的な変遷過程を明らかにする一助となるだろう。

謝辞

博士学位論文を提出するにあたって、多くの方々のご指導とご助力を頂きました。最初に、指導教員である一橋大学大学院言語社会研究科の星名宏修先生と安田敏朗先生に厚く御礼申し上げます。同じ「人文学」の枠組みに含まれる研究とはいえ、星名先生のご専門である植民地文学研究と直接的には関連しない研究テーマを遂行させていただいたことに、感謝いたします。安田先生からときには厳しくご指導をいただいたこと、また優しく励ましていただいたことを通して、私自身の至らなさを実感することが出来たことは、今後の糧になるものであります。

また、本研究の遂行にあたり、一橋大学大学院社会学研究科の五十嵐陽介先生にご丁寧なご指導を頂きました。博士論文だけではなく投稿論文や学会発表などについてもご指導を賜りました。五十嵐先生のご指導が無ければ、この博士論文を完成させることはできませんでした。心より厚く御礼を申し上げます。

次に、論文執筆において多数の参考資料をご提供くださり、ご助言も頂いた青山学院大学の遠藤光暁先生、東京大学の吉川雅之先生及び京都大学の伊藤正子先生、そして IPA の学習でお世話になった東京外国語大学の益子幸江先生、音韻論学習でお世話になった東京外国語大学の中川裕先生、ラオス語及びタイ・カダイ語族に関する勉強などでお世話になった鈴木玲子先生、本論文を執筆するうえで大変貴重なご意見を頂いた一橋大学大学院言語社会研究科の糟谷啓介先生にも、感謝の意を表したいと思います。

本研究で提示した系統図について、そのプログラミング技術を伝授して頂いたチワン族の梁顯寧氏、数多くのご助言・ご指導をいただいた香港大学博士課程の廖漢波氏にも、心より感謝申し上げます。廖氏には論文執筆においても有用な資料の提供を頂き、最後までご協力を頂きました。遅々として進まず落ち込みがちな筆者を支えてくれた先輩の吉岡佳子さんから、有益なご指摘と心温まる励ましを頂きました。本研究の良い面をシンプルかつ明確に指摘してくださったことに、厚く御礼申し上げます。後輩の吉田真悟さんには、何度も語彙集の日本語確認及び貴重なコメントを頂きました。後輩の山田高明さんには、何度も本研究の録音に協力していただきました。研究の過程においては、度々立ち止まることもありましたが、その都度、親友の荒井直美さんとお母様のお言葉に背中を押して頂きました。

日本留学の手続きをご指導頂いた上、資金面で手助けして頂いた石田清史先生、在学中に数多くの参考書のご提供頂いただけでなく、多岐にわたりご支援を頂きました元日刊新民報社常松尚会長に厚くお礼を申し上げます。

研究を進めるにあたり、ご支援、ご協力を頂きながら、ここにお名前を記すことが出来なかった多くの方々にも心より感謝申し上げます。

最後に、多くのことを教えて頂き、私の大学入学そして日本留学を心待ちにしながらも残念ながら 2004 年に永眠した祖父にこの論文を捧げるとともに、煩わしさを厭うことなく研究調査に協力してくれた祖母、父、いつも心の支えになってくれた母、弟、姪、義父母に心から感謝します。そして、三十路を過ぎてからの博士課程入学を快く承諾し、どのような状況においても応援してくれた素晴らしい夫に心から感謝します。

本研究は、国費外国人留学生制度の恩恵を受けています。筆者は、国費留学生国内採用で 2014 年から 2017 年にかけて、日本文部科学省の国費奨学金を受給しました。記して感謝の意を表する次第です。

参考文献

■チワン語

Gyangjsih Bouxcuengh Swcigih Saujsu Minzcuz Yijyenz Vwnzsw Gungh zoz Veijyenzvei bien hoiz
(1984) 『BONJ HAG CIH』 (識字教科書) GVANGJSIH MINZCUZ CUZBANJSE.

■中国語

- ・馬学良・戴慶厦 (1986) 「藏緬語族」『民族 (中国大百科全書) 』 中国大百科全書出版社.
- ・范宏貴・顧有識等 (1997) 『壮族歷史与文化』 広西民族出版社.
- ・范宏貴 (1999) 『越南民族与民族問題』 広西民族出版社.
- ・付哈利 (2008) 「南寧市壮語言語功能衰弱的原因及对策」『梧州学院学報』 18 (1), 23-26.
- ・天等県志編纂委員会編 (1991) 『天等県志』 広西人民出版社.
- ・李方桂 (1940a) 『龍州土語』 (北京: 国立中央研究院歷史語言研究所单刊甲種 16) 商務印書館.
- ・李方桂 (1940b) 「武鳴土歌的研究」『国立北京大学四十年記念論文集』 (乙編上・民国 29 年初版) 西南聯大出版社.
- ・李方桂 (1942) 『莫話記略』 (1) 導論 国立中央研究院歷史語言研究所.
- ・李方桂 (1956) 『武鳴土語』 (中央研究院歷史語言研究所单刊甲種之 19) 中央研究院歷史語言研究所.
- ・李方桂 (1962) 「台語系聲母及聲調的關係」『國立中央研究院曆史語言研究所集刊』 (第 34 冊・民国五十一年) 31-36 國立中央研究院歷史語言研究所.
- ・李方桂著/孫宏開編 (2005) 『李方桂全集 4 武鳴土語』 清華大学出版社.
- ・李方桂著/王啓龍・鄭小詠訳 (2008) 『李方桂全集 13 李方桂先生口述史』 清華大学出版社.
- ・李思敬著/慶谷壽信・佐藤進編訳 (1987) 『音韻のはなし: 中国音韻学の基本知識』 光生館.
- ・梁敏・張均如 (1996) 『侗台語概論』 中国社会科学院出版社.
- ・李洪彦・藍慶元・孔江平 (2006) 「壮语龙州话声调的声学分析」『民族語文』 2006 年 第 6 期 39-46.
- ・李旭練 (2011) 『都安壮語形態变化研究』 民族出版社.
- ・廖漢波 (2010) 「台語支中部組俛僂 (德靖土語) 音系概況与拼音方案詳解」 李富強編

『中国壮学』 (4), 70-192 民族出版社.

• 戴心厦・成燕燕・傅愛蘭・何俊芳 (1999) 『中国少数民族语言文字应用研究』 昆明: 云南民族出版社.

• 广西僮族自治区民族语言文字工作委员会・中国社会科学院少数民族语言研究所 (1961)

「天等僮音系」『壮语音系汇编』(内部参考资料) 357-362 广西僮族自治区民族语言文字工作委员会・中国社会科学院少数民族语言研究所.

• 广西僮文工作委员会研究室編 (1958) 『僮漢詞彙 (初稿)』 广西人民出版社.

• 广西壮族自治区少数民族语言文字工作委员会研究室編 (1984) 『壮漢詞彙』 广西人民出版社.

• 广西語委研究室編 (1994) 『壮語方言土語音系』 广西民族出版社.

• 广西壮族自治区少数民族语言文字工作委员会『壮漢英詞典』編委会編 (2005) 『壮漢英詞典』 民族出版社.

• 广西壮族自治区通史館編 (1985) 『廣州市縣概況』 广西人民出版社.

• 广西壮族自治区民族務委員會編 (1986) 『广西少数民族』 广西人民出版社.

• 广西壮族自治区少数民族古籍整理出版规划领导小组編 (1989) 『古壮字字典』 (初稿) 南寧: 广西民族出版社.

• 广西壮族自治区地方志编纂委员会編 (1992) 『广西通志・民俗志』 广西人民出版社.

• 广西壮族自治区地方志编纂委员会編 (1998) 『广西通志・政府志』 广西人民出版社.

• 广西壮族自治区統計局編 (2012) 『广西統計年鑑』 (30) 中国統計出版社.

• 广西壮族自治区言語文字工作委员会審定 (2005) 『广西語言文字使用問題調查与研究』 广西教育出版社.

• 中華人民共和国国家統計局編 (2012) 中国統計年鑑』 (總第 31 期) 中国統計出版社.

• 广西壮族自治区言語文字工作委员会審定 (2005) 『广西語言文字使用問題調查与研究』 广西教育出版社.

• 广西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 (2008) 『广西民族語言方音詞彙』 民族出版社.

• 广西壮族自治区少数民族语言文字工作委员会『壮漢英詞典』編委会編 (2005) 『壮漢英詞典』 北京: 民族出版社.

• 广西壮族自治区民族務委員會編 (1986) 《广西少数民族》 南寧: 广西人民出版社.

• 广西壮族自治区少数民族古籍整理出版规划领导小组編 (1989) 『古壮字字典 (初稿)』 南寧: 广西民族出版社.

• 覃曉航 (2010) 『方塊壮字研究』 北京: 民族出版社.

• 高玉彩 (2008) 『標準壮語声調声学实验研究』 (修士論文) 广西大学.

- 黃平文 (2000) 「壯語連讀變調探析」『民族語文』 (5), 14-17.
- 黃美新 (2013) 『大新壯語形容詞研究』 中國社會科學出版社.
- 黃玉雄 (2013) 「壯語南部方言第 4 調的聲學表現與共時比較」『廣西民族大學學報 (哲學社會科學版) 35(6), 12-19.
- 覃國生 (1996) 『壯語方言概論』 廣西民族出版社.
- 覃國生・謝英 (2009) 『老撾語—壯語共時比較研究』 民族出版社.
- 覃玉彩 (2017) 「廣西武宣古杭壯語聲調實驗分析」『欽州學院學報』 32(4), 36-40.
- 周振鶴・游汝杰著 (1986) 『方言與中國文化』 上海人民出版社.
- 『中國各民族宗教與神話大詞典』編審委員會編 (1990) 『中國各民族宗教與神話大詞典』學苑出版社.
- 中華人民共和國國家統計局編 (2012) 『中國統計年鑑』 (31) 中國統計出版社.
- 中國地圖出版社編著 (2013) 『廣西チワン族自治区地圖冊』、北京：中國地圖出版社.
- 壯族簡史編纂組 (1980) 『壯族簡史』 廣西人民出版社.
- 張聲震 (1997) 『壯族通史』 民族出版社.
- 中國科學院少數民族語言研究所僮語小組 (1960) 「僮語概況」中國語文雜誌社編『中國語文』 10(11), 72-79 人民教育出版社.
- 張元生 (1983) 「壯語連讀變調規律及其與語法的關係」『民族語文研究』 93-113 四川民族出版社.
- 張均如等 (1999) 『壯語方言研究』 (中國少數民族語言方言研究叢書) 四川民族出版社.
- 張均如 (1982) 「廣西中南部地區壯語中的老借詞源於漢語古“平話”考」『語言研究』 (2).
- 張均如 (1985) 「廣西中南部地區壯語中新借用語讀音的發展」『民族語文』 (3), 40-42.
- 張均如 (1987) 「記南寧心壩平話」『方言』 4, 241-250.
- 張均如・梁敏 (1987) 「廣西平話中的壯語借詞」『語言研究』 (10).
- 張均如 (1988) 「廣西平話對當地壯侗語族語言的影響」『民族語文』 (3), 51-56.
- 曾曉渝 (2001) 「高田壯語的聲調演變」『民族語文』 (4), 1-8.
- 鄭貽青 (2013) 『靖西壯語研究』 廣西民族出版社.
- 蔡培康 (1987) 「武鳴壯話的連讀變調」『民族語文』 (1), 20-26.
- 陳忠敏 (1992) 「壯語漢語方言連讀變調對比研究」『民族語文』 (3), 33-40.
- 袁家驊・韋慶穩・張均如 (1953) 『一九五二年僮族語文工作報告』中國科學語言研究所編『語言學專刊』 中國科學院出版.
- 王鈞 (1962) 中國科學院民族研究所少數民族語言研究組僮文小組 (王鈞執筆) 「僮語中的漢語借詞」『中國語文』 6, 251-264.
- 王鈞等 (1984) 『壯侗語族語言簡志』 民族出版社.

- ・ 吳小奕 (2013) 『跨界壯語研究』 広西民族出版社.
- ・ 韋慶穩・覃国生 (1980) 『壯語簡誌』 民族出版社.
- ・ 韋慶穩著 (1985) 『壯語語法研究』 広西民族出版社.
- ・ 韋景雲・覃曉航 (2006) 『壯語通論』 中央民族大学出版社.
- ・ 韋景雲等 (2011) 『燕齊壯語参考語法』 中国社会科学出版社.

■ 日本語

- ・ 阿部優子 (2006) 「アフリカ諸語・スワヒリ語の正書法とベンデ語表記方試案」 塩原朝子・児玉茂昭(編)『表記の習慣のない言語の表記 Writing unwritten languages』 243-271 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- ・ 岩佐昌 (1982) 「チワン語：その紹介と漢語の影響」『言語科学 17』 19-30 九州大学.
- ・ 伊藤正子著 (2003) 『エスニシティ＜創生＞と国民国家ベトナム：中越国境線地域タイ一族・ヌン族の近代』 三元社.
- ・ 今井昭夫編集代表・東京外国語大学東南アジア課程編 (2014) 『東南アジアを知るための 50 章』 明石書店.
- ・ 井上裕子 (2002) 「大学生・大学院生対象英語検定試験—中国の場合」『北陸大学紀要』 第 26 号、159-168 頁.
- ・ 上田鈴子 (1994) 「現代ラオス語ヴィエンチャン方言の音韻体系」『言語研究』 (106), 95-115.
- ・ 大野徹 (1987) 「東南アジア大陸の言語」 大学書林.
- ・ 岡本雅亨著 (1999) 『中国の少数民族教育と言語政策』 社会評論社.
- ・ 岡本雅亨著 (2008) 『中国の少数民族教育と言語政策』 (増補改訂版) 社会評論社.
- ・ 加納喜光 (2008) 『植物の漢字語源辞典』 東京堂出版.
- ・ 亀井孝ほか編 (1988-2001) 『言語学大辞典』 第 1 巻-第 6 巻 三省堂.
- ・ H. A. グリースン (1970) / 竹林 滋・横山 一郎(訳) 『記述言語学』 大修館書店.
- ・ 黒柳米司・金子芳樹・吉野文雄編著 (2015) 『ASEANを知るための 50 章』 明石書店.
- ・ 黄海萍 (2014) 『1950 年代中国広西チワン族自治区におけるチワン文普及事業』 一橋大学修士論文.
- ・ 小林英夫訳 (1965) フェヂナン・ド・ソシュール『言語学言論』 (改訳新版) 岩波書店.
- ・ 小林英夫訳 (1978) ソシュール『一般言語学講義』 岩波書店.
- ・ 関満博・池部亮 編 (2011) 『「交流の時」を迎える中越国境地域:中国広西チワン族自治区の北部湾開発』 新評論.
- ・ 斎藤純男[ほか] 編 (2015) 『明解言語学辞典』 三省堂.

- ・朱 振明 (2007) 「中国とメコン地域開発—雲南と広西の参画」『大メコン圏経済協力を
実現する3つの経済回廊—』 81-115 日本貿易振興機構アジア経済研究所.
- ・城生佰太郎 (1977) 「現代日本語の音韻」大野晋・柴田武編『岩波講座日本語音韻』
107-146 岩波書店.
- ・スニサー・ウィッタヤーパンヤーノン (2016) 『表現を身につける初級タイ語 (MP3
付)』 三修社.
- ・田中春美他(編) (1988) 『現代言語学辞典』 成美堂.
- ・手塚恵子 (2002 年) 『中国広西壮族歌垣調査記録』 大修館書店.
- ・千島 英一 (1998) 『エクスプレス広東語』 白水社.
- ・千島 英一 (2005) 『東方広東語辞典』 東方書店.
- ・N.チョムスキー・M.ハレ著 (1972) 橋本萬太郎・原田信一訳『現代言語学の基礎』 大
修館書店.
- ・塚田誠之 (2006) 「中国広西壮 (チワン) 族とベトナム・ヌン族の民族間関係—文化の比
較と交流を中心として—」塚田誠之(編)『国立民族学博物館調査報告 中国・東南アジア大
陸部の国境地域における諸民族文化の動態』 63, 129-147 国立民族博物館.
- ・塚田誠之 (2000a) 『国立民族学博物館研究叢書 3 壮族社会史研究 — 明清時代を中心と
して — 』.
- ・塚田誠之 (2000b) 『壮族文化史研究 — 明代以降を中心として — 』 第一書房.
- ・塚田誠之 (2001) 『壮族社会文化史研究 — 明代以降を中心として』 (学位論文).
- ・塚田誠之 (2006) 「中国広西壮 (チワン) 族とベトナム・ヌン族の民族間関係—文化の比
較と交流を中心として—」塚田誠之(編)『国立民族学博物館調査報告 63 中国・東南アジア
大陸部の国境地域における諸民族文化の動態』 国立民族博物館 129-147.
- ・東京外国語大学語学研究所(編) (1998) 『世界の言語ガイドブック 〈2〉アジア・アフリ
カ地域』 三省堂.
- ・西田龍雄 (1960) 「タイ語と漢語」『東西学術研究所論叢』 49 関西大学東西学術研究所.
- ・西田龍雄 (1984) 『漢字文明圏の思考地図：東アジア諸国は漢字をいかに採り入れ変容さ
せたか(二十一世紀図書館 (0042))、PHP 研究所.
- ・西田龍雄 (1989) 「シナ・チベット語族」亀井孝ほか(編)(1989) 『言語大辞典 第2巻
世界言語編 (中)』 167-187 三省堂.
- ・西田龍雄著 (2000) 『東アジア諸言語の研究 I —巨大言語群：シナ・チベット語族の展
望』 京都大学学術出版会.
- ・西田文信 (2011) 「香港粵語の音声・音韻について (その1)」『秋田大学教養基礎教育
研究年報』 (15), 75-82.

- ・橋本萬太郎 (1981) 『現代博言語学』 大修館書店.
- ・H.A.グリースン著 (1970)、竹林 滋・横山 一郎(翻訳)『記述言語学』 大修館書店.
- ・フロリアン・クルマス著/斎藤伸治訳 (2014) 『文字の言語学: 現代文字論入門』 大修館書店.
- ・益子幸江 (2013) 「タイ語の2音節連続に現れる声調の音響的特徴について」『東京外国語大学論集』 (86), 43-62.
- ・益子幸江・鈴木玲子 (2017) 「ラーオ語の声調についての音響音声学的研究」『東京外国語大学論集』 (94), 19-36.
- ・三谷恭之 (1984) 「東南アジア諸言語の系譜」大林大良編『東南アジアの民族と歴史』山川出版社.
- ・三谷恭之 (1977) 「タイ・カダイ諸語の言語年代学的考察」『東南アジア研究』 15(3), 421-429 京都大学東南アジア研究所.
- ・矢野順子 (2008) 『国民語が「つくられる」とき ラオスの言語ナショナリズムとタイ語』 風響社.
- ・矢野順子 (2013) 『国民語の形成と国家建設——内戦期ラオスの言語ナショナリズム』 風響社.
- ・吉川雅之 (2012) 「非国家語のラテン文字表記法: 中国の壮語 (チワン語) の事例」 東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻 編『Language information text 19』 27-55.
- ・吉川雅之 (2017) 「広西那坡県の壮語(チワン語)の一方言について」『楊凱榮教授還暦記念論文集・中日言語研究論叢』 朝日出版社、383-397.

■欧米語

- ・ Г. П. Сердюченко (1961) : Чжуанский язык / Академия наук СССР, Институт народов Азии. — М.: Издательство восточной литературы.
- ・ Л. Н. Морев, Ю. Я. Плам, М. Ф. Фомичева (1961) : Тайский язык, Москва.
- ・ Benedict, Paul K (1942) , "Thai and Indonesian A New Southeast Asia adai Alignment Asia", in American Anthropologist, Vol. 44. No. 4, Pt. 1 (1942) , 576-601.
- ・ Chao, Y. R. (1930) , A system of tone letters. Le Maître Phonétique, 45, 24-27.
- ・ Diller, Anthony (2008) , Introduction. In Anthony v. N. Diller, Jerold A. Edmondson & Yongxian Luo (ed.) , "The Tai-Kadai languages", 3-8. utledge language family series. London & New York: Routledge.
- ・ Edmondson, Jerry A. & Solnit, David B. (1997) . "Introduction", In J. A. Edmondson & D. B. Solnit (Eds.) , "Comparative Kadai: The Tai Branch" , 1-26. Arlington, Tx: The Summer Institute of

Linguistics and the University of Texas at Arlington.

- Ferlus, Michel. (1990) , Remarques sur le consonantisme de proto thai-yay revision du proto-tai de Li Fangkuei) . Paper circulated at the 23rd International Conference on Sino-Tibetan Languages and Linguistics, University of Texas at Arlington.

- Gedney, William J. (1989) , "Future directions in comparative Tai linguistics". In Robert J. Bickner, John Hartmann, Thomas John Hudak, & Patcharin Peyasantiwong (ed.) , "Selected papers on comparative Tai studies", 7-116. Michigan Papers on South and Southeast Asian Studies 29. Michigan: The University of Michigan.

- Gedney, William J. (1995a) , " Linguistic Diversity Among Tai Dialects in Southern Kwangsi " , In William J. Gedney's Central Tai Dialects: Glossaries, and Translations, edited by Thomas John Hudak, 803-22. Ann Arbor, MI Center for South and Southeast Asian Studies, University of Michigan.

- Gedney, William J. (1989) , "A checklist for determining tones in Tai dialect " , In Robert J. Bickner, John Hartmann, Thomas John Hudak, and Patcharin Peyasantiwong (ed.) , Selected papers on comparative Tai studies, 191-206. Michigan: Center for South and Southeast Asian studies 29. Michigan: the University of Michigan.

- Gedney, William J. (1995b) , " A Comparative Central Tai Wordlist", In William J Gednev's Central Tai Dialects: Glossaries, Texts, and Translations, edited by Thomas John Hudak, 883-962. Ann Arbor, MI: Center for South and Southeast Asian Studies, University of Michigan.

- Gedney, William J. (1995c) , "An Areal vowel Change in Tai Dialects in Kwangsi and Kweichow", In William J Gedney s Central Tai Dialects: Glossaries, Texts, and Translations, edited by Thomas John Hudak, 823-58. Ann Arbor, MI: Center for South and Southeast Asian Studies, University of Michigan.

- Graham Thurgood (1990) , "Benedict's Work: past and present " , G. Thurgood, J. Matisoff, D. Bradley eds. Linguistic of Sino Tibetan Area: The State of the Art. Pacific Linguistics, Series C No. 87, The Australian National University.

- Haudricourt, André-Georges (1967) , "La langue lakkia", BSLP 62 (1967) , 105-182. Haudricourt, André-Georges (1956) , "De la restitution des initiales dans les langues monosyllabiques: le probleme du thai commun". Bulletin de la Société de Linguistique de Paris 52 (1) , 307-322.

- Haudricourt, André-Georges (1963) , "Remarques sur les initiales complexes de la langue Sek," BSLP 58, Paris.

- Hudak, Thomas John (1991) , "William J. Gedney's The Tai dialect of Lungming : glossary,

texts, and translations ", Center for South and Southeast Asian Studies, University of Michigan.

• Hudak, Thomas John (2008), " William J. Gedney's Comparative Tai Source Book ", Univ. of Hawaii

• Katherine Palmer Kaup (2000 (2000ne Palmer Kaupang:Ethnic politics in China", Lynne Rienner Publishers.

• Li,Fang Kuei (1957) 「THE JUI DIALECT OF PO-AI AND THE NORTHERN TAI」『國立中央研究院曆史語言研究所集刊』 (第 29 冊・民國四十六年) 台北：國立中央研究院歷史語言研究所 315-322.

• Li,Fang Kuei (1959) , "Classification by vocabulary: Tai dialects", Anthropological Linguistics,1.2.15-21.

• Li,Fang Kuei (1960) , " A Tentative Classification of Tai Dialects", in S. Diamond (ed.) , Culture in History: Essays in Honor of Paul Radin, 951-959, New York:Columbia University Press.

• Li,Fang Kuei (1977) , "A handbook of comparative Tai",Honolulu: The University of Hawaii Press.

• Liao,Han Bo (2016) ,“TONAL DEVELOPMENT OF TAILANGUAGES”, Presented in Partial Fulfillment of the Requirements for the Degree of MASTER OF ARTS IN LINGUISTICS, Payap University, Chiang Mai, Thailand.

• Liao, Hanbo (2017) , "Proto-Tai reconstruction of 'maternal grandmother' revisited: *na:j A, *ta:j A or ta:j B? ", Language and Linguistics 18:1, 116-140.

• Maspéro, Henri (1911) , " Contribution à l'étude du système phonétique des langues thai", BEFEO 11, Hano.

• Palmer Katherine Ellyson (1998) , "Creating the Zhuang:Ethnic Politics in the People's Republic of China",Michigan,UMI Dissertation Services.

• Pittayawat Pittayaporn (2009), "The phonology of Proto-Tai" New York: Cornell University dissertation.

• Shafer, Robert (1940) , "The vocalism of Sino-Tibetan", Journal of the American Oriental Society 60 (3) . 302-337.

• Shafer, Robert (1955) , "Classification of the Sino-Tibetan Languages", Word 11-i, 94-11.

• Shafer, Robert (1957,1963) , "Bibliography of Sino-Tibetan languages", Vol.1,2, Otto Harrassowitz,Wiesbaden.

• Shafer, Robert (1966-73) , "Introduction to Sino-Tibetan",5parts,Otto Harrassowitz,Wiesbaden.

• Shafer, Robert (1974) , "Introduction to Sino-Tibetan", Otto Harrassowitz,Wiesbaden.

• Sarawit, Mary. (1973) , "The Proto-Tai Vowel System",Ph.D.dissertation,University of Michigan.

- Tatsuo, Nishida. (1975), "Common Tai and Archaic Chinese", *Studia Phonologica* IX, 『音声科学研究』 京都大学音声科学総合研究部会, 1-12.
- Weera Ostapirat (1999), "Proto-Kra", the UNIVERSITY OF CALIFORNIA, BERKELEY.
- Wang, W. (1967), "The phonological features of tone", *International Journal of American Linguistics* 33.2: 93-105.
- Yip, Moira (2002), "Tone", Cambridge: Cambridge University Press.

付録について

本論文の付録は 5 つの付録から成る。付録 1 は Liao (2016)、付録 2 は Pittayaporn (2009)、付録 3 は『壮語音系匯編』(1961:356–362)、付録 4 は張均如等 (1999) 『壮語方言研究』、付録 5 は『広西民族語言方音詞彙』(広西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 2008) を基に、筆者のデータを追加したものである。それぞれの付録は独立しており、合計で約 5000 語の基礎語彙を含む。

本格的な龍茗方言辞典の作成には、例文の収集や、語彙配列の検討などいまだ多くの課題が残される。特に、語彙の配列については、まず意味ごとに配列されているため、検索上の不便があることは否めない。しかし、付録がそれぞれ独立しており、また基本的には参照した 5 つの先行研究と同じ構成にしているため、先行研究のリストを使ってチワン語諸方言と龍茗方言を比較する場合には便利であろう。

付録 3 と付録 4 の動物・植物などの学名は以下のような情報源から調べた。

- ・李林春編著 (2015) 『中国魚類図鑑/中国之美・自然生態図鑑 (精装)』、山西科学技術出版社。
- ・万谷幸男編(1995) 『植物学名大辞典』、植物学名大辞典刊行会。
- ・豊国秀夫編(2009) 『植物学ラテン語辞典 復刻・拡大版』、初版:至文堂 1987 年刊。
- ・C. Chicheley Plowden (1968) , “*A manual of plant names, by C. Chicheley Plowden*”, Philosophical Society.
- ・ <http://libproject.hkbu.edu.hk/was40/search?lang=cht&channelid=47953> (中薬材圖像數據庫-HKBU Library) .
- ・ <http://ylist.info/> (琉球大学熱帯生物学研究センター西表研究施設) .
- ・ http://ameba.i.hosei.ac.jp/BIDP/MakinoCD/makino/html_j/index0.html (東京都立大学牧野標本館所蔵 タイプ標本データベース) .
- ・ <http://www.biologie.uni-ulm.de/systax/> (ドイツの植物園にある 140,000 件近い植物標本のデータベース) .
- ・ <http://www.biologie.uni-ulm.de/systax/> (ドイツの植物園にある 140,000 件近い植物標本のデータベース) .
- ・ <http://www.plantnames.unimelb.edu.au/Sorting/Frontpage.html> (メルボルン大学の有志で運営する植物名データベース) .
- ・ <http://plants.usda.gov/> (United States Department of Agriculture : USDA、アメリカ合衆国農務省の植物データベース) .
- ・ <https://books.google.co.jp/books?isbn=4529034232> (完璧版爬虫類と両生類の写真図鑑)

付録 1

タイ祖語の声調と声調、および英語・中国語・シャム語・徳保方言・武鳴方言の語彙は Liao (2016) に基づくものである。Liao (2016) のリストをもとに、筆者が対応する龍茗方言の語彙および日本語訳を加えた。番号は筆者によるものである。

タイ祖語 の声調	声調	番号	英語	中国語	日本語	シャム語	徳保方言	武鳴方言	龍茗方言
*A	A1-A	1	leg	脚	足	k ^h a:	k ^h a:	ka:	k ^h a: 451
		2	head	头	頭	huə	t ^h u:	--	t ^h u: 451
		3	cliff (SWT), hill (CT, NT)	石山、山崖	山	p ^h a:	p ^h ja:	pla:	p ^h ja: 451
		4	to seek	找	探す	ha:	k ^h ja:	ɣa:	ha: 451
		5	lid, cover, wall	盖子, 墙	蓋、壁	fa:	p ^h a:	fa:	p ^h a: 451
		6	tail	尾巴	尻尾	ha:ŋ	t ^h a:ŋ	ɣiəŋ	t ^h a:ŋ 451
		7	to add on, in addition	添加, 等下, 再	追加する、加える	t ^h ɛ:m	t ^h e:m	te:m	t ^h e:m 451
	A1-C	8	dog	狗	犬	ma:	ma:	ma:	ma: 451
		9	thick	厚	厚い	na:	na:	na:	na: 451
		10	turn face up	仰望, 抬头	顔を上に向ける	ŋa:j	ŋa:i	--	--

		11	paper (CT, NT)	紙	紙	--	la:	θa:	θa: 451
		12	three	三	三	sa:m	la:m	θa:m	θa:m 451
		13	clean	干净	綺麗な、透き通っている	saj	loi	θau	θau 451
	A1-U	14	crow	乌鸦	カラス	ka:	ka:	ka:	ka: 451
		15	to eat	吃	食べる	kin	kin	kun	km 451
		16	door	门	ドア	tu:	tou	tou	trw 451
		17	fish	鱼	魚	pla:	pja:	pla:	pja: 451
		18	to go	去	行く	paj	pɛi	pai	pxj 451
	A1-G	19	baby sling (CT, NT)	婴儿背带	おんぶ紐	--	ʔda:	ʔda:	da: 31
		20	bloom	(花) 开	花が咲く	ba:n	ʔba:n	--	--
		21	star	星星	星	da:w	ʔda:u	ʔda:u	da:w 31
		22	father's younger sister	姑姑	父の妹	ʔa:	ʔa:	ʔa:	ʔa: 31
		23	medicine	药	薬	ja:	ʔja:	ʔju:	ja: 31
		24	to fly	飞	飛ぶ	bin	ban	bin	6m 31

*B	A2	25	spread on; paint; daub	涂(色), 涂(漆)	塗る	t ^h a:	ta:	ta:	ta: 31
		26	get stuck; stick	卡住	動かない、物がひっかかって開けられない	k ^h a:	ka:	ka:	ka: 31
		27	wife	妻子	妻	--	pa:	pa:	--
		28	buffalo	水牛	水牛	k ^h wa:j	va:i	wa:i	va:j 31
		29	rice field	水田, 稻田	畑、水田	na:	na:	na:	na: 31
		30	to come	来	来る	ma:	ma:	--	ma: 31
		31	hand	手	手	mi:	moŋ	fuŋ	mɯŋ 31
	B1-A	32	chop, split	劈开	割る	p ^h a:	p ^h a:	pa:	p ^h a: 241
		33	galangal	南姜, 良姜	ガラングル	k ^h a:	k ^h a:	--	k ^h a:ŋ 241
		34	egg	蛋	卵	k ^h aj	k ^h jɛi	kjai	ɔaj 241
		35	knee	膝盖	膝	k ^h aw	k ^h ɛu	ho	k ^h aw 241
		36	few and far between	稀疏	疎らだ	ha:ŋ	ha:ŋ	ha:ŋ	ha:ŋ 241
		37	to cover up	盖 (被子)	上からかける	hom	hɛm	hom	hɯm 241
		38	charcoal	碳	炭	t ^h a:n	t ^h a:n	ta:n	t ^h a:n 241
	B1-C	39	soak	泡 (米)	浸す	ma:	ma:	--	ma: 241
		40	tired	累, 衰弱	疲れる、体が怠い	niəj	nu:i	na:i	na:j 241
		41	to snow, to scatter	撒 (米), 抛 (秧)	撒く	wa:n	va:n	wa:n	ɽwa:n 241

		42	to blow one's nose	擤（鼻涕）	鼻をかむ	saŋ	ləŋ	θaŋ	fu: 241
		43	to send, conduct	送	送る	soŋ	ɬo:ŋ	θoŋ	θo:ŋ 241
		44	four	四	四	si:	lei	θei	θej 241
	B1-U	45	forest, trees	森林	森、森林	pa:	pa:	--	pa: 241
		46	chicken	鸡	鶏	kaj	kɛi	kai	kaj 241
		47	turtle , tortoise	龟	亀	taw	tɛu	--	taw 241
		48	low	低, 矮	低い	tam	tɛm	tam	tam 241
		49	old	老	老けた、古い	ke:	ke:	ke:	ke: 241
		50	to blow	吹	吹く	paw	pɛu	po	paw 241
	B1-G	51	shoulder	肩膀	肩	ba:	ʔba:	ʔba:	ʂa: 241
		52	to scold	骂	叱る	da:	ʔda:	ʔda:	ɖa: 241
		53	young man	男青年	男の子	ba:w	ba:u	ba:u	ʂa:w 241
		54	potash, lye, alkaline salt	碱水	灰汁、あく汁	da:ŋ	ʔdaŋ	ʔdaŋ	ɖaŋ 241
		55	to be exist, on, at, in	在	有る、いる	ju:	ʔjou	ʔjou	jɤw 241
		56	tender, soft	软	柔らかい	ʔo:n	ʔo:n	ʔo:n	ʔo:n 241

	B2	57	river(NT,CT), wharf (SWT)	河	川	t ^h a:	ta:	ta:	ta: 33
		58	father, male	父亲、雄性	父、男性、雄	p ^h ɔ:	po:	po:	po: 33
		59	pair (chopsticks, shoes)	双, 一〜鞋 ; 对, 一〜筷子	一对、ひと組 (類別詞)	k ^h u:	kou	kou	kɤw 33
		60	farm, dry farmland, upland field	旱田 ; 旱地	乾燥地	raj	ɤei	yei	ɔaj 33
		61	under (SWT), the ground floor	牛栏 ; 老子的第一层	牛を飼うための囲い、高床式建物を一階	la:ŋ	la:ŋ	yiəŋ	la:ŋ 33
		62	easy	容易	容易な	ŋa:j	ŋa:i	ŋa:i	ŋa:j 33
		63	rot	腐烂	腐りただれる	naw	nɐu	nau	naw 33
*C	C1-A	64	cloth, a sheet	云、(片状的量词) 一〜云 ; 一〜布条	雲などを数える類別詞	p ^h a:	p ^h a:	--	p ^h a: 213
		65	to kill	杀	殺す	k ^h a:	k ^h a:	ka:	k ^h a: 213
		66	to wait, if	等候	待つ	t ^h a:	t ^h a:	ɛa:	t ^h a: 213
		67	five	五	五	ha:	ha:	ha:	ha: 213

		68	sick, fever	病怏怏, 发烧	熱がある	k ^h aj	k ^h jɛi	--	--
		69	to walk	走, 步行	歩く	--	p ^h ja:i	pla:i	p ^h ja:j 213
		70	to give	给	上げる	haj	hɔi	hau	hauɣ 213
	C1-C	71	face	脸	顔	na:	na:	na:	na: 213
		72	to grow up, to branch out	生长	成長する	--	ma:	ma:	ma: 213
		73	grass	草	草	ja:	ɲja:	ɲu:	ɲa: 213
		74	to swim	游泳	泳ぐ	wa:j	va:i	--	va:j 213
		75	intestine	肠子	腸	saj	ɬei	θai	θaj 213
		76	sour	酸	酸っぱい	som	ɬem	θom	θɤm 213
	C1-U	77	aunt (parents' older sister)	姑妈、姨妈 (父或母 的姐姐)	両親の姉	pa:	pa:	pa:	pa: 213
		78	seedling	秧苗	秧	kla:	kja:	kja:	kja: 213
		79	nine	九	九	kau	kɛu	kou	kaw 213
		80	fishbone	鱼刺, 鱼骨头	魚の骨	ka:ŋ	ka:ŋ	ka:ŋ	ka:ŋ 213
		81	to erect, establish	竖起来	縦にする	taŋ	tɛŋ	taŋ	taŋ 213

	82	south, below	下面	下	taj	toi	--	tauɿ 213
C1-G	83	crazy	疯	狂う	ba:	ʔwa:	ba:	6a: 213
	84	to open	张开 (嘴)	開く	ʔa:	ʔa:	ʔa:	ʔa: 213
	85	village	村	村	ba:n	ʔba:n	ʔba:n	6a:n 213
	86	to get	得到	もらう	da:j	ʔdei	ʔdai	daj 213
	87	sugarcane	甘蔗	サトウキビ	ʔo:j	ʔo:i	ʔo:i	ʔo:j 213
	88	to make fire, build fire	生火		daŋ	ʔdeŋ	--	dəŋ 31
	89	bride, daughter-in-law	新娘, 媳	息子の嫁	sa-p ^h aj	poi	pau	pauɿ 213
C2	90	crutch	拐杖	柺	t ^h a:w	təu	turŋ	taw 213
	91	to chew	嚼, 咀嚼	噛む	k ^h iəw	ke:u	ke:u	ke:w 213
	92	horse	马	馬	ma:	ma:	ma:	ma: 213
	93	water	水	水	na:m	nəm	ram	nam 213
	94	tree, wood	树, 木头	木	maj	mɛi	fai	maj 213
	95	bad, very much	烂, 厉害, 非常	物事 (の状態) が 好ましくない、凄 い、非常に	ra:j	ɿa:i	ya:i	ða:j 213
*DS	96	vegetable	菜, 蔬菜	野菜	p ^h ak	p ^h jək	plak	p ^h jak 33

	DS1-A	97	hot, pungent	辣	辛い	p ^h et	p ^h et	--	--
		98	to coil, coiled up, twisted	弯曲、卷曲、偏差 口音~	訛り	k ^h ot	k ^h o:t	kut	k ^h wat 33
		99	to do	做	やる、作る	het	h ^h et	--	hat 33
		100	to shut	关闭	閉める	hap	h ^h ep	hap	hap 33
		101	hailstone	冰雹	霰	hep	t ^h ep	--	t ^h jap 33
	DS1-C	102	flea	跳蚤	ノミ	mat	m ^h et	mat	mat 33
		103	heavy	重	重い	nak	n ^h ek	nak	nak 33
		104	nod, shaking, shaky	点头	頷く	ŋok	ŋ ^h ek	ŋak	ŋwak 33
		105	to be late, get to sleep	天黑, 闭眼	暗くなる、目を閉 じる	lap	l ^h ep	lap	lap 33
		106	have a cold	感冒	風邪	wat	w ^h et	--	vat 33
		107	color	颜色	色	sak	l ^h ek	θak	θak 33
	DS1-U	108	frog	青蛙, 田鸡	蛙	kop	k ^h ep	kop	kap 33
		109	to bite, to be very cold	啃咬、冷得手脚冻	食いつく、寒くて 手足が冷たい	kat	k ^h et	kat	kat 33
		110	liver	肝脏	肝臓	tap	t ^h ep	tap	tap 33

		111	scoop (rice, alcohol)	舀（饭），打（饭）	掬う	tak	tək	tak	tak 33
		112	to stab	刺，插，熬煮	突き刺す	pak	pək	pak	pak 33
		113				pet	pət	pit	pjat 33
	DS1-G	114	to extinguish	灭	消す	dap	ʔdɛp	dap	dap 33
		115	fishhook	鱼钩	釣り針	bet	ʔbɛt	ʔbit	ɕjat 33
		116	chest	胸部	胸	ʔok	ʔɛk	ʔɛk	ʔɤk 33
		117	unripe, raw	生（肉）	生の	dip	ʔdɛp	ʔdip	dip 33
		118	deep night	睡着，深夜	寝つく、深夜	dik	ʔdɛk	ʔdak	dak 33
		119	one	一（十一的“一”）	一（十一の一）	ʔet	ʔɛt	ʔit	ʔjat 33
	DS2	120	very tired, rest	累	疲れる	pʰak	pək	pak	pak 31
		121	mortar	石臼	臼	krok	kjo:k	--	ðok 31
		122	to recieve, to welcome	接	迎える	rap	ɹɛp	--	ðap 31
		123	a grain (CLF)	粒、颗（量词）一～ 米	粒（類別詞）	met	mɛt	nat	mat 31
		124	ant	蚂蚁	蟻	mot	mɔ:t	mot	mwat 31

		125	to steal	偷	盗む	lak	lək	ɛak	lak 31
		126	bird	鸟	鳥	nok	nɔ:k	yok	nɔk 31
*DL	DL1-A	127	to be broken, worn out	(线)断, (衣服) 烂	使い古した、すり 切れた	kʰa:t	kʰa:t	ka:t	kʰa:t 24
		128	to carry at both ends of a pole	挑	天秤棒で担ぐ	ha:p	tʰa:p	ɣa:p	tʰa:p 24
		129	forehead	额头	額	pʰa:k	pʰja:k	pla:k	pʰja:k 24
		130	to entrust	委托, 付托	(届け物を)託す	fa:k	pʰa:k	--	pʰa:k 24
		131	guest	客人	客	kʰɛ:k	kʰe:k	he:k	kʰe:k 24
		132	circumference, anniversary	周年	周年	kʰuəp	kʰu:p	ho:p	kʰu:p 24
	DL1-C	133	fruits	果	果物	ma:k	ma:k	ma:k	ma:k 24
		134	gums	齿龈	歯茎	ŋiək	ŋy:k	hu:k	hu:k 24
		135	deaf	聋, 听不见	聾者	nuək	nu:k	nuk	nu:k 24
		136	cockroach	蟑螂	ゴキブリ	sa:p	la:p	θa:p	θa:p 24

		137	pestle	木杵	杵	sa:k	la:k	sa:k	θa:k 24
		138	to smart, pierchingly painful	辣痛, 刺痛	ひりひりする	se:p	le:p	θe:p	θe:p 24
	DL1- U	139	mouth	嘴	口	pa:k	pa:k	pa:k	pa:k 24
		140	to hug	搂抱	抱締める	ko:t	ko:t	ko:t	ko:t 24
		141	wing	翅膀	翼	pi:k	pək	--	pɪk 33
		142	to pound, to hammer in	捶打	連打する	to:k	to:k	to:k	to:k 24
		143	cliff, waterfall	悬崖、瀑布、陡	崖	ta:t	ta:t	ta:t	ta:t 24
		144	mustard plant	芥菜	カラシナ	ka:t	ka:t	ka:t	ka:t 24
	DL1- G	145	scar, time	次数	回数を数える類別 詞	ba:t	ʔba:t	ʔba:t	ʃa:t 24
		146	hot	热	熱い	diət	ʔdu:t	ʔda:t	du:t 24
		147	flower	花	花	do:k	ʔdo:k	--	ʃjo:k 24
		148	to bath	洗澡, 下水, 游泳	シャワーを浴び る、泳ぐ	ʔa:p	ʔa:p	ʔa:p	ʔa:p 24
		149	sunshine	阳光, 晴天	晴れる、日光	de:t	ʔde:t	ʔde:t	de:t 24

		150	to want, to be hungry	饿	飢える	ja:k	ʔja:k	ʔiək	ja:k 24
	DL2	151	dry blood sucker	旱蚂蟥	ヤマビル	tʰa:k	ta:k	ta:k	ta:k 33
		152	rope	绳	ロープ	tɕʰiək	tɕy:k	ɕa:k	tɕu:k 33
		153	crazy	疯, 傻	狂気の	--	pa:k	pa:k	pa:k 33
		154	blood	血	血	liət	lu:t	luət	lu:t 33
		155	root	根	根	ra:k	la:k	ra:k	la:k 33
		156	full, plenty	饱满	たっぷり詰まっ ている	ma:k	ma:k	ma:k	ma:k 33
		157	knife	刀, 匕首	ナイフ	mi:t	mət	mit	mɪt 33

付録2

番号、英語、タイ祖語語形、タイ祖語声調は Pittayaporn (2009) によるものである。Pittayaporn (2009) のリストの各語彙に対応する龍茗方言の語形および声調、意味、註は筆者によるものである。タイ祖語声調欄で空欄になっている部分は、Pittayaporn (2009) において空欄になっている箇所である。

番号	英語	タイ祖語語形	タイ祖語声調	龍茗方言語形	龍茗方言声調	龍茗方言・意味	龍茗方言・註
	A. Body parts						
1	head (1)	*kraw	*C				
2	head (2)	*truə	*A	tʰu:	A1	頭	
3	head hair	*prɯm	*A	pʰjɯm	A1	髪の毛	
4	hair knot	*klaw	*C	kjaw	C	髪の毛の結び目	髪結び用の棒を[tɕa:mA1]と言う。
5	body hair, feather	*q.puɭ	*A	kʰwɯn	A1	体毛、羽、動物の毛など	
6	gray-haired	*ʰŋwu:k	*D	ho:k	DL1	白髪	
7	forehead	*pra:k	*D	pʰja:k	DL1	額	[na: C pʰja:kDL1]とも言う。
8	nose	*ɗaŋ	*A	ɗaŋ	A2	鼻	
9	mucus of the nose	*mu:k	*D	mok	DS1	鼻水	
10	face	*ʰna:	*C	na:	C	顔	
11	eye	*p.ta:	*A	tʰa:	A1	目	
12	mouth	*pa:k	*D	pa:k	DL1	口	
13	tongue	*li:n	*C	lɯn	C	舌	

14	tooth	*wan	*A				歯は[k ^h e:wC]と言う。象の歯を[ja:A2]と言う。
15	gum; gill	* ^h ɲuək	*D	hu:k	DL1	歯茎	
16	saliva	*la:j	*A	na:j	A2	唾液	
17	cheek	*ke:m	*C	ke:m	C	頬	
18	ear	*krwu:	*A	ðɤw	A1	耳	
19	fang	*ɣe:w	*C	k ^h e:w	C	犬歯	[k ^h e:wC]は歯、[k ^h e:wC ma:A1]は犬歯。
20	chin, jaw	*ga:ŋ	*A	ka:ŋ	A2	下あごの先	
21	beard	*mom	*B	mɤm	B2	口ひげ	
22	neck	*yo:	*A	yo:	A2	首	
23	goiter	* ^h niəŋ	*A	ni:ŋ	A1	喉仏	
24	shoulder	*ɕ.ba:	*B	ʃa:	B1	肩	
25	arm	*qe:n	*A	k ^h e:n	A1	腕	
26	elbow	*ɕ.swo: k	*D	θo:k	DL1	肘	肘は[kəkDS2 θo:kDL1]とも言う。
27	hand	*mwu:	*A	mɤu	A2	手	
28	finger, toe	*ni:w	*C				[ni:wA1]（関係が）親密である。手の指を[ləkDS1 mɤu A2]、足指を[ləkDS1 k ^h a:A1]と言う。
29	fingernail, toenail	*ɕ.lep	*D	ljap	DS2	爪	手の爪を[ljapDS2 mɤu A2]、足の爪を[ljapDS2 k ^h a:]と言う。

30	joint	*χo:	*C				「接合個所、継ぎ目; 結ぶ」を[k ^h o:t DL1] と言う。
31	leg	*p.qa:	*A	k ^h a:	A1	足	
32	knee	*χow	*B	k ^h aw	B1	膝	[t ^h u:A1 k ^h a:wB1] とも言う。
33	shin, lower leg	*ye:ŋ	*B	ye:ŋ	A2	膝から踝までの部分	
34	foot	*ti:n	*A	tn	A1	足（踵から爪先まで）床に付く部分	足（踵から爪先までの部分）全体を [panC k ^h a:A1] と言う。
35	heel	*sɣn	*C	θɣn	C	踵	
36	chest	*ʔɣk	*D	ʔɣk	DS1	胸	
37	back	* ^h laŋ	*A	laŋ	A1	後ろ、背中	
38	waist (1)	*ʔje:w	*C	ji:w	A1	腰	
39	waist (2)	*ç.wuət	*D				
40	stomach, belly	*dwu:ŋ	*C	to:ŋ	C	腹部	胃を[məkDS1] と言う。
41	navel (1)	*ɖwu:	*A	ɖɣj	C	へその緒	単独では用いず、[ɖəkDS1 ɖɣjC] と言う。
42	navel (2)	*ɖli:	*C				
43	buttock	*kon	*C	kɣm	B1	臀部	
44	pubic hair	* ^h mwu:j	*A				陰毛を[k ^h unA1 hi:A1] と言う。
45	vagina	*hi:	*A	hi:	A1	膣	
46	penis	*ɣwaj	*A	vaj	A2	ペニス	
47	testicles	*tram		t ^h am	A1	睾丸	
48	pubic mound	* ^h naw	*B				
49	urine	*niəw	*B	ne:w	B2	尿	

50	excrement	*ç.qwɯj	*C	kʰi:	C	糞便	
51	fart	*k.tɹt	*D	twat	DS1	屁	
52	bone	*ç.duk	*D	dok	DS1	骨	
53	bone marrow	*ʔwu:k	*D	ʔok	DS1	髄、脳味噌	単独では用いず、[ʔok DS1 ʔa:jB1]は 脳、脳味噌を指す。骨髓を[ku:A2 θxjA1]と言う。
54	tendon	*ʔjen	*A	jɪn	A2	腱	
55	side, ribs	*k.ra:ŋ	*C	ða:ŋ	C	肋骨	
56	blood	*luət	*D	lu:t	DL2	血、血液	
57	meat, flesh	*n.mɹ:	*C	ða:j	B1	肉	
58	skin	*ʰnaŋ	*A	naŋ	A1	皮、皮膚	
59	sweat	*r.tuə	*B	tʰu:	B1	汗	
60	pus	*ʰno:ŋ	*A	no:ŋ	A1	膿	
61	impetigo	*krit	*D	kja:k	DL1	膿痂疹	単独では用いず、膿痂疹を [kja:kDL1 lɹjA2]と言う。
62	wound	*ða:t	*D	ða:t	DL1	傷の跡	
63	scurf	*ymj	*A	ɣaj	A2	ふけ	
64	brain	*ʔe:k	*D	ʔok	DS1	(脳) 髄	単独では用いず、[ʔokDS1 (髄) ʔa:jB1 (脳)]は脳、脳味噌を指す。
65	heart, breath	*cɹɯj	*A	tɕʰa:w	A1	呼吸する、息をする	呼吸を[tɕʰa:wA1 hɹɯjB1]と言う。心 臓を[θɪmA1 ta:wA2]と言う。
66	lung	*pɹɹt	*D	pɹt	DS1	肺臓	
67	intestine	*saj	*C	θaj	C	腸	

68	liver	*tap	*D	tap	DS1	肝臓	
69	spleen	*ma:m	*C	ma:m	C	脾臓	
70	gallbladder, bile	*ɬli:	*A	ɬɟj	A2	胆嚢	
71	illness, fever	*k.raj		ɔaj	C	全身寒気がした後に、発熱する	[k ^h awB1 ɔajC]と言う。
72	cold (n.)	*q.wat	*D	vat	DS1	風邪の症状、鼻が詰まる状態	
73	epidemic	*ra:	*B	ɔa:	B2	伝染病	
74	kidney-stones	* ^h ni:w	*C	ji:w	A2	腎臓	
	B. Animals						
75	dog	* ^h ma:	*A	ma:	A1	犬	
76	pig	* ^h mu:	*A	mɿw	A1	豚	
77	mouse, rat	* ^h nu:	*A	nɿw	A1	ネズミ	
78	water buffalo	*ɣwa:j	*A	va:j	A2	水牛	
79	horse	*ma:	*C	ma:	C	馬	
80	bear	* ^h mɯwɯj	*A	mɿj	A1	熊	
81	jackal	*nwaj	*A				ジャッカルを[hi:nA1 ma:A1]と言う。
82	elephant	*ja:ŋ	*C	tɕu:ŋ	B2	象	
83	deer	*kwuəŋ	*A	kwaŋ	B1	麝香鹿	「鹿」は[lɔk DS2]とも言う。
84	antelope	*wa:l	*A				
85	monkey	*li:ŋ	*A	lɿŋ	A2	猿	
86	ape	*kaŋ	*A	ka:ŋ	B2	オランウータン	

87	flying squirrel	*ba:ŋ	*B	ʃa:ŋ	B1	ムササビ	
88	squirrel	*ro:k	*D	lɔk	DS2	シカ	リス(栗鼠)を[teo:nC]と言う。
89	porcupine	* ^h men	*C	min	C	ハリネズミ	
90	civet cat	* ^h nel	*A	hm	A1	ジャコウネコ	ジャコウネコ(麝香猫)を[hm A1(野生、野獣) me:wC (猫)]と言う。
91	otter	*na:k	*D	ʃu:n	C	カワウソ	
92	pangolin	*lil	*B	ðm	B2	センザンコウ	
93	chicken	*kaj	*B	kaj	B1	鶏	
94	young hen	*ç.qʁ:ŋ	*B	k ^h u:ŋ	B1	未産卵の(若い雌鶏)	未産卵の雌鶏を[kaj B1 k ^h u:ŋ B1]と言う。
95	duck	*pit	*D	pjat	DS1	家鴨	
96	goose	*ha:n	*B	ha:n	B1	鶴	ガチョウを[pɣn B2]と言う。
97	bird	*ç.nok	*D	nɔk	DS2	鳥	
98	crow	*ka:	*A	ka:	A1	カラス	
99	swallow (n.)	*ʔe:n	*B	ʔe:n	B1	燕	学名: <i>Hirundo rustica</i>
100	owl	*gaw	*C	kɣm	C	フクロウ	フクロウを[lam A2 kɣm C]と言う。
101	hawk	*lam	*B	lam	B2	鷹	
102	fish	*pla:	*A	pja:	A1	魚	
103	catfish	*ç.dok	*D	ðɔk	DS1	ナマズ	[pja:A1 ðɔk DS1]と言う。
104	shellfish	*ho:j	*A	ho:j	A1	淡水の貝	
105	crab	*puw	*A	pɣw	A1	蟹	
106	shrimp	*kuŋ	*B/C	kuŋ	C	海老	
107	small shrimp	*ŋiəw	*A	ŋu:	A2	小エビ	

108	frog	*kɤp	*D	kap	DS1	蛙	
109	small frog	*krwe:	*C				「小さい蛙」を[ði:t DL1]と言う。
110	tree frog	*pa:t	*D	pa:t	DL1	アマガエル	
111	turtle	*taw	*B	taw	A1	海ガメ	漢語から借用する[kwɤjA1]も用いる。
112	water tortoise	* ^h wuə	*A	p ^h a:	A1	亀	
113	snake	*ɣwu	*A	ɣɤw	A2	蛇	
114	crocodile	*ɣuə:k	*D	ɣu:k	DL2	鱷	伝説の龍も[ɣu:k]と言う。
115	land leech	*da:k	*D	ta:k	DL2	ヤマビル	
116	aquatic leech	*pli:ɣ	*A	pɪɣ	A1	蛭	
117	bedbug	*ɕ.ruət	*D	lu:t	DL2	南京虫、床虫	単独では用いず、[tu:A1 lu:tDL2]と言う。
118	grasshopper	*p.tak	*D	θak	DS1	蝗	
119	mosquito	*ɟuɣ	*A	ɟoɣ	A2	蚊	
120	wasp	*b.twi:l	*A	p ^h e:n	A1	スズメバチ	
121	bee	*to:	*B	to:	B1	樹蜂 wasp	蜜蜂を[p ^h jɤnC]と言う。
122	insect	*m.le:ɣ	*A	me:ɣ	A2	蠅	
123	ant	*mɤc	*D	mwat	DS2	蟻	
124	termite	*mo:t	*D	mo:t	DL2	アズキゾウムシ	白蟻を[mwat DS2 k ^h a:wA1]と言う。
125	Worm	* ^h no:l	*A	no:n	A1	虫	
126	earthworm	*t.nuəl	*A	dū:n	A2	蚯蚓	
127	gadfly	* ^h luək	*D				虻（アブ）を[me:ɣA2 mɤmC]と言う。

128	head louse	*traw	*A	t ^h aw	A1	頭ジラミ	
129	tick	*trep	*D	t ^h jat	DS1	小さな虫	(哺乳動物の被毛や鳥類の羽毛に見られ、血を吸う)小さな有色の斑点のように見える虫
130	flea	* ^h mat	*D	mat	DS1	ノミ	
131	body louse	*m.lel	*A	mɪn	A2	シラミ	
132	chicken louse	*rwɔj	*A	ɣaj	A2	ふけ	単独で用いる場合は「ふけ」を指す。ニワトリハジラミを[ɣajA2 kajB1]と言う。
133	spider	*krwa:w	*A	ða:w	A1	蜘蛛	単独では用いず、[tei: B1 ða:wA1]と言う。
134	coconut grub	*dũəŋ	*C	tewa:n	B1	腐った木に寄生する虫、食用可	単独では用いず、[tu:A1 tewa:nB1]と言う。
135	stink bug	*ge:ŋ	*A	ke:ŋ	A2	亀虫/椿象	単独では用いず、[me:ŋA2 ke:ŋA2]と言う。
136	caterpillar	*ç.boŋ	*C				毛虫を[no:nA1 ɲa:ŋC]と言う。
137	silkworm	*mo:n	*C	mo:n	C	蚕	
138	butterfly	*bɣ:j		fɔj	C	蝶	単独では用いず、蝶を [ka:A1 fɔj C]と言う。
139	centipede	*q.sip	*D	ðe:p	DL2	蜈蚣	単独では用いず、[tei:B1 ðe:pDL2]と言う。
140	cockroach	*sa:p	*D	θa:p	DL1	ゴキブリ	

141	horn	*qaw	*A				(牛・羊・ヤギなどの) 角を [ko:kDL1]と言う。
142	tusk, ivory	*ŋa:	*A	ŋa:	A2	(ゾウの) 牙 (きば)	
143	wing (1)	*wuəɓ	*D				
144	wing (2)	*pi:k	*D	pɪk	DS1	翼	
145	tail	*trwɔ:ŋ	*A	tʰa:ŋ	A1	(動物の)尾	
146	fish scales	*klec	*C	kjap	DS1	鱗	
147	fishbone	*ka:ŋ	*C	ka:ŋ	C	魚の骨	
148	egg	*qraj		ðaj	B1	卵	
149	gizzard	*p.tau	*A	tauɥ	A1	砂嚢	
150	cockscorn	*ho:n	*A	ho:n	A1	鶏冠 (トサカ)	
151	cockspur	*t.nɔ:j	*A	tea:j	B1	蹴爪 (ケツメ) .	
152	hump of an ox	* ^h no:k	*D	no:k	DL1	背中のこぶ (牛)	
153	stinger (of a bee)	*laj	*A	laj	A2	(昆虫の) 針	
	C. Plants						
154	tree, wood	*mwaj	*C	maj	C	木	
155	leaf	*ɓauɥ	*A	ɓauɥ	A2	葉っぱ	
156	big leaf for wrapping	*k.to:ŋ	*A	to:ŋ	A1	植物の大きな葉っぱ	
157	flower	*ɓlo:k	*D	ɓjo:k	DL1	花	
158	banana blossom	*pli:	*A	ɗu:	A2	バナナの花	
159	stem	*ka:n	*C	kan	C	(草木の)茎	

160	peel, bark	*pluək	*D	pu:k	DL1	樹皮、果実の外殻（特に米、麦、コーリアンの殻など）	
161	husk	*ka:p	*D	p ^h ak	DS1	豆類の殻	
162	thorn	* ^h na:m	*A	na:m	A1	（植物の）とげ、針；（動物の）とげ状のもの	
163	fruit	* ^h ma:k	*D	ma:k	DL1	果物	
164	sheath, pod	*q.wak	*D	p ^h ak	DS1	（刀剣の）鞘(サヤ)	
165	grain	*m.lec	*D	me:k	DL2	麦	
166	stump	*to:	*A	to:	A1	（立木の）基部	やや古いことば、50 代以降の人はほとんど[kwɤnB1]と言う。
167	root	*ɕ.ra:k	*D	la:k	DL2	（植物の）根	
168	clump (as of bamboo)	*ko:	*A	ko:	A1	木を数える類別詞	植物を数えることばとしても用いる。
169	sprout, shoot	* ^h no:	*A	no:	B1	植物の芽	
170	bamboo shoot	*r.na:ŋ	*A				竹の子を[no: B1 majC]と言う。
171	ear (of rice)	*rwu:ŋ	*A	ðu:ŋ	A2	（米の）穂	
172	rice	*ɕ.qaw	*C	k ^h aw	C	米	
173	rice seedling	*kla:	*C	kja:	C	稲の苗	
174	husked rice	*sa:l	*A	ðam	A2	米の殻	
175	millet	* ^h w:uəŋ	*C	p ^h a:ŋ	C	アワ	単独では用いず、脱穀したアワを[k ^h awC p ^h a:ŋC]と言う。
176	resin	*ʔja:ŋ	*A	ja:ŋ	A2	樹脂	

177	banana	*kluəj	*C	kju:j	C	バナナ	
178	sugarcane	*ʔo:j	*C	ʔo:j	C	サトウキビ	
179	bamboo	*praj	*B	p ^h e:w	A1	竹	
180	cucumber, melon	*p.rwe:ŋ	*A	p ^h e:ŋ	A1	キュウリ	
181	ashgourd	*wak	*D	fak	DS2	大根	単独では用いず、大根を[la: A2 fakDS2]と言う。トウガンを[tæe:A2 kwa:B1]と言う。
182	wild olive	*ko:k	*D				
183	starfruit	*gwuəŋ	*A	fu:ŋ	A2	ゴレンシ	ゴレンシを[ma:kDL1 fu: A2]と言う。
184	plum	*man	*C	man	C	スモモ	スモモを[ma:kDL1 manC]と言う。
185	pomelo	*bu:k	*D	pa:ŋ	A2	ブンタン	ブンタンを[ma:kDL1 pa:ŋA2]と言う。
186	acacia	*ge:	*A				
187	banyan	*raj	*A	ðaj	A2	ヨウジュ (榕樹)	榕樹を[majC ðajA2]と言う。
188	vegetable	*prak	*D	p ^h jak	DS1	野菜	
189	morning glory	*ʃuŋ	*C	ʃoŋ	C	アサガオ	アサガオを[k ^h awA1 ʃoŋC]と言う。
190	mustard green	*ka:t	*D	ka:t	DL1	カラシナ	カラシナを[p ^h jakDS1 ka:tDL1]と言う。
191	yam	*man	*A	man	A2	キャッサバの塊根	さつま芋、山芋などを[θɿuŋ A2]と言う。
192	taro	*pruək	*D	p ^h ju:k	DL1	サトイモ	
193	ginger	*χi:ŋ	*A	k ^h ŋ	A1	生姜	

194	galangal	*xa:	*B	k ^h a:ŋ	B1	バンウコン	単独では用いず、[k ^h a:ŋB1 mɪnC]と 言う。
195	sesame	*r.ŋa:	*A	ŋa:	A2	胡麻	
196	tea	*ja:	*A	tea:	A2	茶	
197	raisin	*ʔit	*D	ʔit	DS1	ぶどう	単独では用いず、[[ma:kDL1 ʔitDS1 (ぶどう)]]と言い、やや古い言い 方である。現在漢語から借用した [p ^h u: A2 t ^h a:wB2]と言う。
198	rattan	*ç.wa:j	*A	ʙa:j	A2	籐かご	塵取りに似たような道具、米、豆、 トウモロコシを詰める時によく使 う。
199	reed	*ʔo:	*C	ʔo:	C	葦 (アシ)	単独では用いず、葦 (アシ) を [majC ʔo:A2]と言う。
200	grass	*ɲuə	*C	ɲa:	C	草	
201	thatch grass	*ɣa:	*A	ɣa:	A2	チガヤ	
202	mushroom	* ^h rwet	*D				きのこを[teo:pDL1 tɛxjC]と言う。
203	fern	*ku:t	*D	kwɪt	DS1	シダ植物類	
204	duckweed	* ^h ne:	*A	ne:	A1	湖か池の底に有る海藻 (葉っぱが細 長い)	浮草を[p ^h ɪm A1]と言う。
205	aquatic moss	*daw	*A	taw	A2	蘚苔	単独では用いず、[tawA2 tajA2]と言 う。
	D. Nature						
206	water	*ç.nam	*C	nam	C	水	

207	fire	*wɤj	*A	faj	A2	火	
208	flame	*ple:w	*A	pi:w	A1	火炎	単独では用いず、火炎を[i:wA1 fajA2]と言う。
209	smoke	*ɣwan	*A	van	A2	煙	
210	soot	* ^h mi:	*C	mɤj	A2	煤	
211	hard firewood	*wu:l	*A	fɤn	A2	薪	
212	bamboo firewood	* ^h luəw	*A				
213	leaf ashes	*braw	*B	ɬauɣ	A2	葉っぱ	
214	ashes (wood)	*daw	*B	pjaw	B2	灰	
215	iron (1)	* ^h lek	*D	lɪk	DS1	アイロンを掛けた後の状態	「アイロンを掛ける」を[to:ŋB1]と言う。漢語からの借用である。
216	iron (2)	*mwa:	*A				
217	salt	*klwuə	*A	kju:	A1	塩	
218	lye	*ɖaŋ	*B	ɖaŋ	B1	灰汁	
219	grease, fat	*man	*A				脂肪を[la:wA2]、肥満を[pxjC]と言う。
220	soil	*tuum	*A	tɤm	A1	土	
221	earth	*ɖin		tɤj	B2	地球、土地	漢語からの借用した「地球」[ti:C kɤɤwA2]も使用されている。
222	sand	*zwuəj	*A	θa:j	A2	沙	
223	stone	*tri:l	*A	t ^h ɪn	A1	石	
224	dry land	*ɬok	*D	ɬok	DS1	乾燥した（水がなくなる状態）	乾燥地帯を[ðaj B2]と言う。

225	wild	*ç.tuən	*B				
226	forest	*dŋ	*A	dŋ	A2	森林地帯	木が大きい
227	grove, wood	*pa:	*B	p ^h a:	C	森林(類別詞)	森を[dŋA2]と言う。
228	place, ground	*di:	*B	tɿj	B2	場所	
229	mountain	*ç.do:j	*A	dŋ	A2	土山	低木、灌木が多い。
230	stone mountain	*pra:	*A	p ^h ja:	A1	石山	
231	cave	*cram	*C	ŋu:m	A2	洞窟	
232	hole	*ru:	*A	ðɿw	A2	洞穴	
233	crack, hole	*jo:ŋ	*B	ðo:ŋ	B1	裂け目	
234	pit	*ç.kum	*A	k ^h ɿm	A1	穴、くぼみ	
235	well, spring	*bo:	*B	bo:	B1	泉	
236	mountain stream	*qrwxj	*C	lu:k	DL2	谷	単独で用いれば、谷を指す。山の小川を指す場合、[lu:kDL2 namC]と言うことが多い。
237	creek	*ro:ŋ	*B				小川を[mur:ŋA1]と言う。
238	river	*da:	*B	ta:	B2	河	
239	river bank	* ^h waŋ	*B	pan	A2	(河)岸	河岸を[panA2 ta:B2]と言う。
240	beach, sandbar	*ha:t	*D	yan	A2	(海)辺	海辺[yanA2(辺) ha:jC (海)]と言う。
241	mud	*lɿm	*B	pa:m	B2	泥	
242	moon, month	*ɬluən	*A	ɬu:n	A2	...月 (がつ) 、...ヶ月	
243	star (general)	*t.na.w	*A	da:w	A2	星	
244	star (in the sky)	*di:	*B	dɿj	C	(空の) 星	幼児に対して使う言葉。

245	moonlight	* ^h ŋaːj	*A	haːj	A1	月	
246	sunshine	* ^ç .dwiːt	*D	d̪eːt	DL2	日の光、晴れる	
247	cloud	* ^h wuə	*C	p ^h aː	C	雲	雲を指す場合、[vɤnA2 p ^h aːC]と言う
248	fog	* ^h moːk	*D	moːk	DL1	霧	
249	wind	* ^ç .lum	*A	lɤm	A2	風	
250	sky, heaven	* ^ɬ uun	*A				天帝を[boːB2 t ^h iːnA1]と言う。
251	sky, weather	*vaː	*C	faː	C	空、天気	空、天気
252	rain	* ^ç .wuun	*A	p ^h ɤn	A1	雨	
253	gust (of rain)	*kraː	*B	ðaː	B1	にわか雨	にわか雨を[p ^h ɤnA1 ðaːB1]と言う。
254	lightning	*m.leːp	*D	p ^h eːk	DL1	(空) が割れる	「雷をする時」は[faːC p ^h eːkDL1]、 雷は[faːC d̪aŋB1]と言う。
255	thunder	*praː	*C				
256	hoarfrost	* ^h muəj	*A	muːj	A1	白霜	
257	dew, mist	* ^ç .nwaːj	*A	naj	A1	靄	
258	hail	*trep	*D	t ^h jap	DS1	雹、霰	
259	steam, vapor	*s.ʔwɤːj	*A	jaːj	A2	蒸気	
260	shade	*rɤm	*B	lɤm	B2	陰 (にする)	
261	shadow, reflection	*ŋaw	*A	ŋaw	A2	影、陰影	
262	dry season	* ^ç .leːŋ	*C	leːŋ	C	乾期	
	E. Society					E. 社会	
263	father, man	*boː	*B	poː	B2	父親、男性、夫	漢語から借用する[paːA1]もよく使われている。

264	mother, woman	*me:	*B	me:	B2	母親、女性、妻	「母親」を漢語から借用する [ma:B1]がよく使われる。
265	older sibling	*bi:	*B	pyj	B2	自分より年上の人	
266	younger sibling	*nwo:ŋ	*C	no:ŋ	C	自分より年下の人	
267	paternal grandfather	*puw	*B				父方の祖父を[koŋA1]と言う。
268	maternal grandfather	*ta:	*A	ta:	B1	母方の祖父	[koŋA1 ta:B1]もよく言う。
269	maternal grandmother	*na:j	*A	ta:j	B1	母方の祖母	
270	child (offspring)	*lu:k	*D	lok	DS1	子ども	
271	great-grandparent	*juə	*C				曾祖母を[teo:C]と言う。
272	nephew, niece, or grandchild	* ^h la:n	*A	la:n	A1	孫	
273	great-grandchild	* ^h len	*C	lm	C	曾孫	
274	parent's older brother	*luŋ	*A	loŋ	A2	母の兄	父の兄を[je:C]、[pa:A1 ke:B2]とも言う。 母の兄が[loŋ A2]と言う。
275	parent's older sister	*pa:	*C	pa:	C	父の姉	
276	father's younger sister	*ʔa:	*A	ʔa:	A2	父の妹、父方の祖父の妹	父の妹を[mu:B1]、[ku:B1]とも言う。 父方の祖父の妹を[ʔa:A2]と言う。
277	mothers younger sibling	*na:	*C	na:	B2	母の妹	

278	father's younger brother	*ʔa:w	*A	ʔa:w	B1	父の弟	
279	wife of man's younger brother	*luəw	*A	lu:	A2	嫁	息子の妻、嫁を指す。弟の妻を指す場合、[no:ŋA2 (自分より年下の人) lu:A2 (嫁)]と言う。
280	wife	*miə	*A	me:	B2	母親、女性、妻	
281	son-in-law	*ç.kuəj	*A	k ^h u:j	A1	娘の夫、 婿	
282	daughter-in-law	*bau	*C	pau	C	息子の妻、嫁	田舎臭い言い方である。[lu:A2]と言うのが一般的である。
283	person, human being	*gwu:n	*A	kɤn	A2	人、人間	
284	child (young person)	*dɛk	*D	dɪ:k	DL1	子供、小柄な人	
285	man, male	*za:j	*A				男、男性を[tujA2 bo:B2]と言う。
286	unmarried man	*ʃa:w	*B	ʃa:w	B1	未婚の若い男性	
287	unmarried woman	*sa:w	*A	θa:w	A1	未婚女性	
288	girl	*ʃu:k	*D				
289	lady	*na:ŋ	*A	na:ŋ	A2	既婚女性	
290	related by marriage	*t.no:ŋ	*A				
291	widowed	* ^h ma:j	*C	ma:j	C	未亡人	未亡人を[me:B2 ma:jC]と言う。
292	orphan	*gɤ.ra:	*C	pja:	C	孤児	[lɔk(子ども) pja:C(孤児)]と言う。
293	name	*ɣ:	*B	ju:	A1	...と申する (動詞)	田舎臭い言い方である。名前を[mi:ŋA2]と言うのが一般的である。

294	master, owner	*ɛɾw	*C	teaw	C	飼い主（犬、牛など）	
295	slave (1)	*χɔːj	*B	kʰoːj	B1	奴隸	
296	slave (2)	*kraː	*C				
297	Vietnamese	*keːw	*A	keːw	A1	ベトナム人	やや古い言い方、70代のお年寄り が使う言葉。現在は[kɾnA2 heːA2 nana2]と言う。
298	shaman	*ʰmoː	*A	moː	A1	（まじない師）が呪い文句を言う （動詞）	「まじない師」を[pɾtDS2]と言う。
299	spirit (1)	*priː	*A	pʰɿj	A1	魂、鬼	
300	spirit (2)	*mwaːŋ	*A	maŋ	B2	生気が有る、たくましい様子	
301	soul; whorl in the hair	*qwan	*A	kʰwan	A1	靈魂	
302	village	*ɬaːn	*C	ɬaːn	C	村、村落	
303	township	*muəŋ	*A				
304	debt	*ʰniː	*C	nɿj	C	借金、負債	
	*						
	F. Material culture					F. 物質文化	
305	liquor	*ʰlaw	*C	law	C	酒	
306	medicine	*ʔjuə	*A	jaː	A2	薬	
307	vinegar	*ʰmiː	*B	mɿj	B1	米米酢	
308	flour	*ɬuə	*A	mok	DS2	（穀物の）粉（末）	
309	house	*rɿːn	*A	ɔuːn	A2	家、住宅	

310	granary	*ʔjuəw	*C	ji:w	A2	かまど	(れんがや陶器などを焼く) かまど
311	stake	* ^h lak	*D	lak	DS2	盗む	かけ金を[ɲɽɥ:nA2(金)kɔkDS2(根、元)]と言う。
312	eaves	*za:j	*A	la:j	A2	軒	
313	door	*tu:	*A	tɽw	A1	ドア	
314	stairs, ladder	*dɽwaj	*A	dɽwaj	A2	はしご	
315	pillar	*saw	*A	θe:w	A1	柱	
316	partition, lid	*hwa:	*A	p ^h a:	B1	分割	
317	split bamboo flooring	*wa:k	*D	fa:k	DL1	竹で作った板	ベットに敷いてござの下に置く板である。
318	window	*ta:ŋ	*B	tɛ ^h wa:ŋ	B1	窓	
319	stool	*taŋ	*B	taŋ	B1	背もたれのない腰掛け	
320	tripod	*giəŋ	*A	ki:ŋ	A2	三脚台	
321	board	*pe:n	*C	pe:n	C	板	
322	thing	*χɔ:ŋ	*A	hu:	B1	もの	
323	knife	*mit	*D	mɪt	DS1	ナイフ	
324	machete, big knife	*jm.ra:	*C	pja:	C	包丁、鉋	
325	chopping board	*χiəŋ	*A	k ^h i:ŋ	A1	まないた	
326	spear	*kro:k	*D	ðo:k	DL1	槍	
327	crossbow	* ^h nɽwɯə	*C				
328	axe	*xwa:n	*A				斧を[fɽwB1]と言う。
329	chisel	*siəw	*B	θɪw	B1	鑿(タガネ)	
330	hook	*xɔ:	*A	k ^h o:	A1	鉤かぎ	

331	pliers, thongs	*gi:m	*A	kim	A2	ペンチ	物をつかんだり、はさんでひねったりするのに用いる。
332	handle (of a knife)	*d̥a:m	*C	d̥a:m	C	ナイフの取っ手	
333	handle, rod	*gal	*A	kan	C	(細長く丸い) 棒、竿	
334	carrying pole (1)	*tra:p	*D	t̥ha:p	DL1	担ぐ	1人で天秤棒で物を担う。基本的に肩を使う。
335	carrying pole (2)	*ga:n	*A	t̥ha:m	A1	運ぶ	2人かその以上、天秤棒で物を運ぶ。
336	rope, cord	*jɾ:k		t̥ɕu:k	DL2	縄	
337	top for spinning	*k.ra:ŋ	*B	ka:ŋ	A1	紡績	布団を紡績すること
338	basin	*ʔa:ŋ	*B	ʔa:ŋ	B1	盥 (たらい)	
339	jug	*kraɟ	*A				
340	pot	* ^h mo:	*C	mo:	C	深なべ	アルミ製の深鍋を[mo:C t̥ajA1]と言う。[mo:C]の声調が変わる。
341	bamboo tube	*baŋ	*B/C	bat	DS1	竹の筒	お米や穀物などの容量を測るために使う類別詞。
342	bag	*croŋ	*A	t̥hoŋ	C	バケツ	袋を[tajB1]と言う。漢語から借用。
343	walking cane	*daw	*C	taw	C	杖	
344	comb	* ^h rwu:j	*A	vɾj	A1	櫛(くし)	
345	writing, book	*su:	*A	θɾu	A1	本	
346	broom	*ju:	*A				ほうきを[θa:A1 patDS1]と言う。
347	thread (1)	*ç.da:j	*C	θa:j	A1	糸(1)/紐	
348	thread (2)	* ^h maj	*A	maj	A1	糸(2)	

349	hemp	*pa:n	*B	pa:n	B1	麻（植物名）	
350	loom	*truk	*D	tʰuk	DS1	織機	
351	shuttle of loom	*p.raw	*B	pʰjaw	B1	織機の杼（あるいはシャトル）	織機の部品の一つ、両端が尖っている。中には糸巻きの枠が入っている。織物を織るときに、経糸（たていと）の間に緯糸（よこいと）を通すのに使われる道具である。
352	spool	*h wu:t	*D	lo:t	DL2	糸巻きの枠	両端が丸まっている。
353	indigo (1)	*g.ra:m	*A	ða:m	B1	タイワンコマツナギ（木藍）	学名: <i>Indigofera tinctoria</i> 、染料（藍）として用いられる。葉っぱは小さい。
354	indigo (2)	*krom	*C	ðo:m	B1	リュウキュウアイ（琉球藍）	学名: <i>Baphicacanthus cusia</i> (Nees) Bremek、染料（藍）や健康食品などとして用いられる。葉っぱが大きい。
355	bamboo strip for tying or weaving	*b.twu:k	*D	pʰjo:k	DL1	竹を薄く裂いたもの	
356	needle	*qem	*A	kʰim	A1	針	
357	strand (of rope)	*kliəw	*A	kjaw	C	撚る。綯う。	
358	lacquer	*rak	*D	teʰak	DS1	塗料	
359	bamboo hat	*klɿp	*D				
360	puppet, marionette	*hun	*B				操り人形を[mokDS2 ɲawA1]と言う。

361	marking, patterns	*ç.la:j	*A	la:j	A2	斑点	
362	paddy field	*na:	*A	na:	A2	水田、 稲田	
363	dry field	*rɿj	*B	ðaj	B2	畑地、乾田	
364	open field	*doŋ	*B	tɔŋ	B2	広々とした野原	
365	garden	*swu:n	*A	θu:n	A1	庭、庭園、花園、果樹園、菜園	
366	ditch	* ^h muəŋ	*A	mu:ŋ	A1	溝(みぞ)、排水溝	河より小さいもの（自然の小川及び人口で作った小川）がほとんど [mu:ŋA1] と言う。
367	dike between rice fields	*ɣal	*A	te:j	A2	畑と畑の間の堤防道	
368	dam	*hwa:j	*A	p ^h a:j	A1	ダム	
369	water pipe	*lin	*A				送水管を[ko:nA1] と言う。漢語から借用した。
370	plough	*crwaj	*A	t ^h aj	A1	犁(すき)	
371	part of yoke under neck	*ʔe:k	*D	ʔe:k	DL1	牛の首に掛けるくびきの上半分	
372	part of yoke under neck	*ʔo:ŋ	*C	ʔɔŋ	C	牛の首に掛けるくびきの下半分	単独では用いず、[ta:p DL1 ʔɔŋC] と言う。
373	mortar (1)	*grok	*D	ðɔk	DS2	すりばち	石で作る
374	mortar (2)	* ^h rum	*A	lu:	B2	すりばち (2)	木で作る
375	pestle	*sa:k	*D	θa:k	DL1	すりこぎ	木で作る。すりばち (2)を使う時に使う。通常セットで2本である。

376	winnowing basket	*dɔŋ	*C	dɔŋ	C	(穀物などを) ふるい分ける道具	竹で編む(穀物などを) ふるい分ける道具である。
377	bran	*ram	*A	ðam	A2	もみがら	
378	straw, stubble	*wɯəŋ	*A	fa:ŋ	A2	稲わら	
379	fish hook	*bet	*D	ɕjat	DS1	釣り針	
380	fish net	*kre:	*A	ðe:	A1	魚網	
381	fish trap	*zaj	*A	θaj	A2	魚を捕る時のわな	竹、藤で編む魚を捕る時のわな。小さいものは[θajA2]、大きいものは[θo:ŋC] と言う。
382	snare	*re:w	*C	me:w	A1	(小動物を捕まえる) 罠	単独では用いず、[ti:t DL1 me:wA1] と言う。
383	gutter, trough	*rwɯəŋ	*A	ða:ŋ	A2	(家畜用の細長い) 飼い葉桶	
384	cooked in bamboo tube	* ^h la:m	*A				
385	boat	*ɕ.rwɯə	*A	lu:	A2	船	
386	raft	*be:	*A	p ^h e:	A1	(水面に固定した) 浮き台、竹で作る。	
387	road	* ^h rwɿŋ	*A				道、道路を漢語から借用した[lo:B2]あるいは[k ^h a:A1 lo:B2]を使用する。
388	track	*rwu:j	*A	ðo:j	A2	足跡	
389	saddle	*ʔa:n	*A	ʔan	A2	鞍	

390	drum	*klo:ŋ	*A	kjo:ŋ	A1	太鼓	
	G. Adjectives					G. 形容詞	
391	red	*ɕ̥.dwi:ŋ	*A	d̥e:ŋ	A2	赤い	
392	black	*ɕ̥.dam	*A	d̥am	A2	黒い	
393	white	*xa:w	*A	kʰa:w	A1	白い	
394	green	*xiəw	*A	kʰe:w	A1	緑	
395	yellow	*ʰluəŋ	*A	ðu:ŋ	A2	薄い黄色い	稲が収穫できる前の色。[黄色い]を [he:nC] と言う。
396	dark(red)	*klam	*B	kam	B 1	暗い赤	単独では用いず、暗い赤を [kamB 1 (暗い色)d̥e:ŋA2 (赤い)] と言う。
397	gray	*ʰmo:ŋ	*A	mo:k	DL1	灰色	
398	white-spotted	*ɬla:ŋ	*B	ɬa:ŋ	B1	窪み、凹み	
399	clear, clean	*sau	*A	θau	A1	澄みきったさま	
400	dark	*mu:t	*D	mu:k	DL1	(顔色が) 青白い、血の気が通って ない	
401	bright, light (n.)	*roŋ	*B	ðoŋ	B2	明るい、光り	
402	thin (not fat)	*pro:m	*A	pʰjo:m	A1	痩せた	痩せ過ぎるという意味で使われている。
403	fat	*bwi:	*A	pɕj	A2	太い、肥満	
404	long	*ruj	*A	ðɕj	A2	長い	
405	short (not long)	*tin	*B	tɪn	C	短い	
406	big (1)	*ʰluəŋ	*A	lu:ŋ	A1	大きい (1)	
407	big (2)	*ɬu:k	*D				

408	small	*no:j	*C	no:j	B1	少ない	
409	low, short (not tall)	*tam	*B	tam	B1	低い、身長が短い	
410	heavy	* ^h nak	*D	nak	DS1	重い	
411	light (in weight)	*ç.baw	*A	ɓaw	A2	軽い	
412	thick	* ^h na:	*A	na:	A1	厚い	
413	thin (not thick)	*ç.ba:ŋ	*A	ɓa:ŋ	A2	薄い	
414	new	* ^h mɔ:l	*B	mauɣ	B1	新しい	
415	old (of living beings)	*ke:	*B	ke:	B1	老ける	
416	old (of things)	*kaw	*B	kaw	B1	古い	
417	senior	*craw	*C	taw	A2	大きい	「年上の」を[bɔɣɯjB1]と言う。
418	young, soft	*ʔwu:n	*B	ʔo:n	B1	若い、柔らかい	
419	raw, not ripe	*çdip	*D	dip	DS1	生の、生煮えの	
420	hard	*k.re:ŋ	*A	ke:n	B1	硬い	単独は用いず、「困難な」を[ki:nA1 ke:nB1]と言う。
421	coarse, tough	* ^h ja:p	*D	ja:p	DL1	(物が) 折れない、堅い、強い、破れない。柔らかくて丈夫であること。	
422	deep	*ɣk	*D	dak	DS1	(縦方向に)深い	
423	loose	* ^h lo:m	*A	ðu:ŋ	B2	ゆったりしていて、ゆとりの有るさま	
424	tight, narrow	*gap	*D	kap	DS1	(物の) 幅が狭い	

425	steep	* ^h liŋ	*B	liŋ	B1	(坂などが) 険しい、急な	
426	stuck	*ga:	*A	kja:ŋ	C	生意気	
427	straight	*zɤ:	*B	tɛɪk	DS2	まっすぐな、一直線の	
428	crooked	*got	*D2	kwat	DS2	曲がる	
429	hot	* ^h rwu:l	*C	ɖu:t	DL1	暑い	
430	warm	*ʔun	*B	ʔu:n	C	心地よくいる様子	暖かいを[t ^h awC]と言う。
431	blind	*ɓo:t	*D	ɓo:t	DL1	盲	
432	night blind	* ^h wa:ŋ	*A	faŋ	A2	夜盲の	単独を用いず、「夜盲症」を[t ^h a:A1 faŋA2 kajC]と言う。
433	deaf	* ^h nuək	*D	nu:k	DL1	聾	
434	bitter	*ɕ.qɤm	*A	k ^h ɤm	A1	苦い	
435	astringent in taste	* ^h wuət	*D	θap	DS1	渋い	
436	sour	*sɤm	*C	θɤm	C	すっぱい	
437	sweet, delicious	*ɕwa:l	*A	va:n	A1	甘い	
438	insipid	*cu:t	*D	tɛɪt	DS1	(飲食物が) 風味がない	
439	core	*ke:l	*B	ke:n	B1	硬い	
440	fragrant	*ho:m	*A	ho:m	A1	(花・ごちそうなどが) 香る	
441	stinky	* ^h men	*A	mɤn	B1	(生) 臭い	鶏肉、カモ肉の独特な臭い。
442	putrid	*xwi:w	*A	k ^h i:w	A1	腐臭	

443	fishy	*ɣa:w	*A	tea:w	A2	魚が生臭い	羊や牛の「生臭い」を[θi:ŋA1]と言う。
444	empty	*plɤw	*B	pjaw	B2	空っぽ	
445	full	*k.tem	*A	tɪm	A1	いっぱい	
446	deficient	*bro:ŋ	*B	pjo:ŋ	B2	半分	
447	good	*dɤj	*A	daj	A2	良い	
448	bad	*rwɤ:j	*C	ða:j	C	悪い	
449	long (of time)	*hɤŋ	*A				
450	slow	*na:n	*A	na:n	A2	(時間が) 長い	「遅い」を[ma:nB2]と言う。
451	late	*hla:	*C				「(予定) より遅い」を[θwa:jA1]と言う。
452	near	*k.rauɥ	*C	kjauɥ	C	近い	
453	far	*k.laj	*A	kwaj	A1	遠い	
454	face down	*qwam	*C	kɤm	C	顔を下に向けた	
455	face up	*hŋa:j	*A	ma:j	A1	顔を上に向けた	
456	sharp-pointed	*hle:m	*A				
457	sharp, sharp edge	*ɣɤm	*A	ɣɤm	A2	鋭い (刃の)	
458	slippery, smooth	*m.lu:l	*B	lu:n	C	滑らかな	
459	sticky	*hniəw	*A	nu:ŋ	A1	ねばねばする	
460	liquid, soft	*hle:w	*A	ɣe:w	A2	液体の状態にさせる	
461	rotten	*naw	*B	naw	B2	腐る	
462	withered	*hriəw	*B	he:w	B1	枯れる、痩せる	
463	dried up	*hre:ŋ	*C				

464	dry	*χau	*B	haw	C	乾燥した	
465	wet	*dom	*A	tɤm	A2	湿っているさま	田舎臭い言い方である。普段「湿っているさま」を[teɤpDS1]と言う。
466	mute	*ɣwam	*C	vam	C	唾、言葉をしゃべれない	
467	dumb	*ɖɤu	*C	ɖau	C	言語能力を失った	
468	easy	*ɣa:j	*B	ɣa:j	B2	容易な	
469	drunk (1)	*maw	*A	maw	A2	酔っぱらい (1)	
470	drunk (2)	*mwi:	*A				
471	sterile	* ^h man	*A	ma:n	B1	(人・動物が) 子供ができない	
472	entangled	*ɲuɲ	*B/C	ɲoɲ	A/C	(糸・網などを) もつれさせる	
473	blistered	*bo:ɲ	*A	po:p	DL1	水疱	
474	expensive	*be:ɲ	*A	pe:ɲ	A2	高価な	
475	familiar	*gun	*C	kwø:n	B1	慣れている	
476	asleep	*ɖāk	*D	ɖāk	DS1	(睡眠が) 深い	
477	hungry	*ʔjuək	*D	ja:k	DL1	飢える	
478	satiated	*ʔi:m	*B	ʔim	B1	満腹	
479	swollen	*gau	*B	kau	B2	腫れ上がった、膨れた、膨らんだ、膨張した	
480	stiff and tired	*muəj	*B	fu:j	B2	疲れて体が硬い	
481	tired, exhausted	* ^h nuəj	*B	ɖu:	C	疲れ切る	
482	lazy	*kli:k	*D				[怠惰な、怠ける]を[ða:nC]と言う。

483	tired, bored	* ^h na:j	*B	na:j	B1	疲労困憊の	
484	idle, free	*dɯɤ:j	*A	dɑ:j	A2	何もしていない、暇な	単独は用いず、[jɤwB1 dɑ:jA]と言う。
485	disgusted	*ɬuə	*B	ɬu:	B1	飽きた、退屈な、うんざりした	
486	crazy	*ɬa:	*C	ɬa:	C	気が狂う	
487	hurt (1)	*cep	*D	teap	DS1	痛い	(人・体の一部を) 傷つけるという意味も有る。
488	hurt (2)	*ke:t	*D				
489	torn	*qa:t	*D	k ^h a:t	DL1	破れた	
490	plugged	*sak	*A	θak	DS1'	妨げられる	
491	bruised (1)	*Jam	*C	ðam	C	傷をつける (1)	
492	bruised (2)	*wok	*D	fɔk	DS2	むくみ	
493	lost	* ^h loŋ	*A	toŋ	A1	見失う	
494	alive	*jaŋ	*A	jaŋ	A2	生きた状態	
495	strong, strength	*re:ŋ	*A	ðe:ŋ	A2	力	
	H. Verbs						
496	weave, to (cloth)	*tam	*B	tam	B1	(布を) 織る	
497	dye, to	*jɯwɤ:m	*C	jo:m	C	染める	
498	sew, to	*nep	*D	njap	DS1	縫う	
499	embroider, to	*se:w	*B	θe:w	B1	刺繍を施す	
500	weave, to (baskets, mats)	*sa:n		θa:n	A1	(籠などを) 織る	

501	sow, to; scatter, to	*ç.wa:l	*B	ðwan	B1	(種子を) まく	
502	transplant, to	*t.nam	*A	d̪am	A2	植え換える	
503	plant, to	*plwu:k	*D	pʰja:k	DL2	(植物、 草木を) 移植する	
504	sift, to	*qrɿ:k	*A	ðɿŋ	A1	(...を) ふるいにかける	
505	imprison, to	*k.raŋ	*A	ðaŋ	A1	束縛する	
506	hunt, to	*p.raw	*B	tɿk	DS1	狩猟をする	
507	mark, to; aim, to	*ʰma:j	*A	ma:j	A1	書き取る、印を付ける	
508	shoot, to	*ɲuŋ	*A	jaŋ	A2	撃つ、発射する、射る	
509	poison (fish), to	*ç.buə	*A				
510	tend animal, to	*ɲuəŋ	*C	teu:ŋ	C	飼う	
511	raise, to	*liəŋ	*C	lɿt	DS2	...を上げる, 持ち上げる	
512	make noise, to	*d̪aŋ	*A	d̪aŋ	A2	騒音をたてる、雷の騒音	
513	differ, to	*ta:ŋ	*B	taŋ	B2	争う	
514	count, to	*nap	*D	tap	DS2	数える	
515	heap up, to	*ko:ŋ	*A	ko:ŋ	A1	火、牛糞などを数える類別詞	
516	weigh, to	*jaŋ	*B	teŋ	B2	量る	
517	announce, to	*pa:w	*B	pa:w	B1	告知する	
518	answer, to	*ɣa:n	*A	ɣa:n	B2	返事する	約束する意味もある。
519	ask, to	*c.ra:m	*A	kʰam	B1	質問する	

520	beg, to	*k.ro:	*A	ho:	A1	(慈善・施しなどを人に) 請う、求める	
521	order, to; blow the nose, to	*saŋ	*B	θaŋ	B1	指示する、伝言する	
522	scold, to; revile, to	*d̥a:	*B	d̥a:	B1	叱る	
523	warn, to	*tuən	*A	tu:n	A1	(人に…を) 警告する	同じことを何回注意する場合も用いる。
524	weep, to	*t.haj	*C	haj	C	泣く	
525	moan, to	*gra:ŋ	*A	ða:ŋ	A2	うめき声を出す	
526	bark, to	* ^h raw	*B	haw	B1	犬のほえ声	
527	crow, to	*χal	*A	k ^h an	A1	(雄鶏が) 鳴く	
528	laugh, to	*kruəw	*A	ðu:	A1	笑う	
529	recite, to	*ʔa:n	*B	ɲwa:n	B2	(詩などを) 吟唱する	
530	open (the mouth), to	*ʔa:	*C	ʔa:	C	(口を) 開く	
531	eat, to	*kuɲ	*A	km	A1	食べる	
532	chew, to	*giəw	*C	ke:w	C	嚼む	
533	lick, to	*ç.lwiə	*A	lɤj	A2	舐める	
534	put out of the mouth, to	*ya:j	*A	ya:j	A2	口の中から物を戻す	
535	vomit, to	*rwuək	*D	ða:k	DL2	吐く	
536	take a bite, to	*kat	*D	kat	DS1	…に咬み食いつく	
537	hold in the mouth, to	*ʔɤm	*A	ʔɤm	A2	口に物を入れている	

538	bite, to	*ɕqɤp	*D	kʰap	DS1	咬む	
539	nibble, to; peck, to	*tɔ:t	*D	tu:k	DL1	くちばしでつつく	
540	kiss, to	*cu:p	*D	tɛɤp	DS1	キスする	
541	yawn, to	*ʰra:w	*A	ha:w	A1	あくびをする	
542	blow, to	*pow	*B	paw	B1	吹く	
543	snore, to	*klɤl	*A	kʰu:	A2	いびきをかく	
544	cough, to	*ʔaj	*A	ʔaj	A2	咳をする	
545	hold the breath, to	*klan	*C	ɖan	C	息を止める	
546	hug, to; embrace, to	*ko:t	*D	ko:t	DL1	抱擁する、抱き締める	
547	build, to	*ko:	*B	ko:	B1	火をつける	
548	close (the eyes), to	*ʰlap	*D	lap	DS1	目を閉じる	
549	lie down, to, sleep, to	*nwu:n	*A	no:n	A2	寝る	
550	incubate, to	*wak	*D	fak	DS2	孵化する	
551	hold in the jaws, to	*ga:p	*D	kʰa:p	DL2	上顎と下顎とで挟んで固定する	
552	hold in the closed hand, to	*kam	*A	kam	A1	握る、手で持つ	
553	take up in the two cupped hands, to	*ko:p	*D	ko:p	DL1	両手で物を掬う	
554	pick up, to	*ʔjip	*D	ʔip	DS1	拾い上げる	
555	grasp, to; perch, to	*cap	*D	ɕap	DS1	(棒などの物を) 止まる	[tɕʰapDS1]とも言う。
556	squeeze, to	*gal	*C	kan	C	強く押す	

557	pinch, to	* ^h ni:p	*D	ne:p	DL1	挟む	
558	raise, to	* ^ɲ ɤk	*D	jo:k	DL2	高い場所に有る物を下に落とす	
559	lift, to	* ^ɲ o:	*A	jaw	C	引き [持ち] 上げる	
560	carry in the arms, to	* ^ɲ u:m	*C	ʔɤm	C	抱く	
561	carry (a bag), to	*tri:w	*C	t ^h i:w	C	鞆を持つ	
562	carry on the back, to	*trwa:m	*A	t ^h a:m	A1	2人で物を運ぶ	「背負う」を[ti:]と言う。
563	pull, to; drag, to	* ^ɕ .la:k	*D	la:k	DL2	移動させる	
564	bend over, to	*kɤm	*C	kɤm	C	腰を屈める	
565	turn upside down or inside out, to	*pli:n	*C	p ^h i:n	B1	避け合う	
566	lean back, to	*ʔi:ŋ	*A	ʔŋ	A2	寄りかかる	
567	point, to	*ji:	*C	tewɤj	C	指す	
568	stroke, to; carress, to	* ^ɕ .lu:p	*D	lɤp	DS1	なでる	
569	scratch, to	*kaw	*A	k ^h aw	C	(人・体の一部・物などを) (... で) ひっかく、 傷をつける	
570	put, to	*s.cɤ:l	*B	laɟ	B2	(物を) (有る場所・位置に) 置く	
571	snap, to	* ^ɕ li:t	*D	ɕit	DS1	(...)をポキッと折る	
572	stamp (on), to	*du:p	*D				
573	step on, to (1)	* ^ɲ am	*B	ja:m	B1	踏み出す (1)	
574	step on, to (2)	* ^ɲ jiəp	*D	ʔi:p	DL1	踏み出す (2)	

575	repeat, to	*zam	*C	ʔam	A2	繰り返す	
576	tremble, to	*sal	*B	θan	A2	身震いする	
577	shake, to	*ç.waj	*A	va:j	C	泳ぐ	
578	wrestle, to	*plam	*C	pjam	C	木を切る、倒す	
579	twist, to; wring, to	*ʃit	*D	ʃjat	DS1	(...)を)ねじる、曲げる	
580	stretch out, to	*ʔjiət	*D	ʔi:t	DL1	伸ばす	
581	sit, to	*naŋ	*B	naŋ	B2	座る	
582	come, to	* ^h ma:	*A	ma:	A2	来る	
583	go, to	*paj	*A	pɤj	A1	行く	
584	arrive, to	*ç.tɤŋ	*A	t ^h ɤŋ	A1	到着する	
585	go upward, to	*muə	*A	mu:	A2	下から上へ向かう	
586	ascend to	*χum	*C	k ^h ɤn	C	上昇する、上りになる	
587	descend, to	*n.loŋ	*A	loŋ	A2	降りる、下りになる	
588	enter, to	*χaw	*C	k ^h aw	C	入る	
589	exit, to	*ʔo:k	*D	ʔo:k	DL1	出る	
590	cross, to	*χa:m	*C	k ^h a:m	C	超える	
591	cross over, to	*kwa:	*B	kwa:	B1	通り超える	
592	drop, to	*tok	*D	tɔk	DS1	落ちる	
593	fall off, to	* ^h lɤn	*B	lu: n	C	つるつるする	
594	fall down, to	*lɤm	*C	lɤm	C	転落する	
595	slip and fall, to	*bla:t	*D	pa:p	DL2	顔が空に向けて転落する	
596	stand, to	*ç.ju:n	*A	jin	A2	立てる	

597	walk, to	*pra:j	*C	p ^h ja:j	C	歩く	
598	fly, to	*6il	*A	6im	A2	飛ぶ	
599	crawl, to	*g.lwɤ:n	*A	ðwa:n	A2	四つ這いに這う	
600	crawl over, to	*twaj	*B	t ^h i:w	B1	飛び上がる	
601	climb, to	*pi:n	*A	pm	A1	登る	
602	flow, to	* ^h lwaj	*A	lwaj	A1	流れる	
603	flood, to	*ç..tuəu	*B	t ^h u:m	C	(洪水) 氾濫する	
604	spill, to	*6a:	*B	6a:	B1	(倒して) 流出する	
605	pour, to	*rwa:t	*D	va:t	DL1	(液体を) 移す	
606	swim, to	*lo:j	*A				「泳ぐ」を[vajC]と言う。
607	float, to	*wu:	*A	fɤw	A2	浮く	
608	sink, to	*cɤm	*A	tɛ ^h am	A2	沈没する	
609	dive, to	*dɛm	*A	dɛm	A2	潜る	
610	close, to	*hap	*D	hap	DS1	閉じる	
611	revolve, to; spin, to	*pan	*B	pan	B1	回転する	
612	go hungry, to	*ʔɤt	*D	ja:k	DL1	飢える	
613	hate, to	*jaŋ	*A	tɛa:ŋ	A2	嫌がる	
614	quit, to	*ʔja:	*B	ʔja:	B2	やめる、終わる	
615	see, to	*tran	*A	han	A1	見える	
616	hear, to	*ŋin	*A	ɲim	A2	聞こえる	
617	taste, to	*jim	*A	tɛim	A2	試食〔試飲〕する	
618	smell (tr.), to	*dɤm	*A	ɛip	DL2	においを嗅ぐ	

619	forget, to	*lu:m	*A	lɤm	A2	忘れる	
620	dream, to	*hwan	*A	p ^h an	A1	夢を見る	
621	believe, to	*ɟwə	*B				「信じる」を[θi:nB1]と言う。
622	recognize, to	*cak	*D				「見分ける」を[ba:nA1 bi:tDL1]と言う。
623	know, to	*ru:w	*C	ðɤw	C	知る、できる	
624	be, to; become, to	*m.pel	*A	pɪn	A2	成る	
625	be (in a place), to	*ʔju:	*B	jɤw	B1	...にいる	
626	fear, to (1)	* ^h la:w	*A	la:w	A1	恐れる (1)	
627	fear, to (2)	*ja:n	*C	jwa:n	A2	びっくりする	
628	itch, to (1)	*ɣal	*A	ɖan	C	痒い (1)	
629	itch, to (2)	*ɣom	*A	ɣan	A2	痒い (2)	虫、草、芋等接した後に、体が痒くなる状態である。
630	seek, to	*kra	*A	ha:	A1	探す	
631	join, to	*to:	*B	to:	B2	結合する、組み立てる	
632	divide, to	*pan	*A	pan	A1	分ける、分割する	
633	separate, to	*bra:k	*D	pja:k	DL2	切り離す	
634	castrate, to	*to:n	*A	ɬk	DS1	去勢する	(牛と水牛を) 去勢する。
635	cut, to	*tac	*D	tjat	DS1	切る、カットする	
636	slash, to	*wal	*A	vat	DS2	(ナイフ・剣などで) 深く切りつける	
637	chop, to	*tram	*C	pjam	C	(枝などを) (木などから) 切り落とす	

638	weed, to	*6la:j	*A	6ja:j	A2	(畑の雑草を) 採る作業をする	
639	break, to	*t.rak	*D	pak	DS2	休憩する	単独で用いる場合、「疲れる」という意味になる。「休憩する」を[ʔi: B1 (手足を伸びる様子) pakDS2 (疲れる)]と言う。
640	burst, to	*p.re:k	*D	p ^h e:k	DL1	破裂する	
641	pluck, to	*ç.dec	*D	tɔk	DS2	引き抜く	
642	take down, to; put down, to	*ploŋ	*A	pɾn	B1	倒す	
643	peel, to	*po:k	*D	po:k	DL1	剥く	
644	hammer, to	*yo:l	*C	kjo:ŋ	A1	金づち	
645	pound, to	*tam	*A	tam	A1	何度も強く打つ	
646	pound (rice), to	*zom	*C	eo:p	C	殻を外した米を白くするために、何度も優しく打つ	[te ^h opDS1]とも言う。
647	slap, to	*tɾp	*D	tɾp	DS2	平手打ち	
648	pound, to (2)	*dup	*A	ɬu:p	DL1	何度も強く打つ (2)	
649	pound, to (1)	*to:k	*D	to:k	DL1	何度も強く打つ (1)	
650	come into contact, to	*ç..tuw:k	*D	θɔk	DS2	接触する	接触して親しくなる様子である。
651	tie, to	*cm.ruk	*D	θɔk	DS1'	縮む、縛る	
652	tie up, to	*la:m	*B	la:m	B2	結ぶ	
653	undo, to; untie, to	*ke:	*C	ke:	C	外す	

654	fold, to	*bap	*D	pap	DS2	折り畳む	
655	fold double, to	*dop	*D	tap	DS2	重ねる	
656	stretch, to	*ɲu:t	*D	ɲɤ:t	DL2	伸縮する	
657	erect, to	*taŋ	*C	taŋ	C	直立する	
658	plug (a hole), to	*ʔwuut	*D	ʔwat	DS1	栓をする、塞ぐ	
659	salt, to	*ʔuəp	*D	ʔɤp	DS1	(食塩で) 漬ける	(食塩で) 漬けて密封する。
660	pickle, to	*dɔ:ŋ	*A	dɔŋ	A2	(短時間で) 蒸す	「酢漬けにする」を[ðe:pDL2]と言う。 [nɤŋ C]は木で作った道具を使って蒸すこと。もち米のご飯を蒸す時に使うことば。
661	soak, to (2)	* ^h ma:	*B	ma:	B1	浸すこと	
662	scoop, to	*tak	*D	tak	DS2	しゃもじで掬う	
663	soak, to (1)	*je:	*B	tɤp	DS2	ずぶぬれになる	
664	burn (intr.), to	* ^h maj	*C	maj	C	焦げる	
665	burn (tr.), to	*praw	*A	paw	A1	煎じる、じっくり煮る	薬やスープ料理の作り方である。
666	roast, to	*ʔjuəŋ	*C	ja:ŋ	C	あぶる	
667	boil (tr.), to	*tom	*C	tɤm	C	煮る	
668	boil (intr.), to	*dɤ:t	*D	dɤu:t	DL1	冷めた料理、ご飯を温まる	
669	scald, to	*luək	*D	lu:k	DL2	(熱湯で) 茹でる	
670	cook (rice), to	*truŋ	*A	ðu:ŋ	A2	煮たきする	
671	steam, to	* ^h nuŋ	*C	tɤŋ	A1	蒸す	
672	make a fire, to	*dɔŋ	*A	dɔŋ	A2	火を起す	

673	extinguish, to	*d̥ap	*D	d̥ap	DS1	(火・明かりなどを) 消す	
674	roof, to	*mwuŋ	*A	fʊŋ	A2	屋根を覆う	
675	cover (with cloth), to	*hɤm	*B	hɤm	B1	(布団などで) 覆う	
676	deceive, to	*bra:ŋ	*A	mja:p	DL2	欺く	
677	buy, to	*z.ju:	*C	θɤu	C	買う	
678	sell, to	*p.qa:j		kʰa:j	A1	売る	
679	borrow, to	*ʔju:m	*A	jɤm	A2	借りる、貸す	
680	defeat, to;be defeated, to	*be:	*C	pe:	C	負ける	
681	have, to	*mi:	*A	mɤj	A2	有る	
682	take, to	*ʔaw	*A	ʔaw	A2	もらう	
683	obtain, to	*d̥aj	*C	d̥aj	C	手に入れる	
684	pick, to	*kep	*D	kjap	DS1	拾う	
685	steal, to	*ç.lak	*D	lak	DS2	盗み取る	
686	give, to	*hau	*C	hɤu	C	あげる	
687	dust off, to	*pac	*D	pat	DS1	掃除する	
688	sweep, to	*kwa:t	*D	kwa:t	DL1	掃く	
689	wipe, to	*jet	*D	teat	DS2	拭き取る	
690	rinse, to	*C.lwɤ: ŋ	*C	la:ŋ	C	すすぐ	
691	wash (clothes), to	*zak	*D	θak	DS2	(服などを) 洗う	

692	wash, to	*za:w	*D	θu:j	B1	洗う	
693	bathe, to	*ʔa:p	*D	ʔa:p	DL1	水泳する	
694	teach, to	*so:l	*A	θo:n	A1	教える	
695	rest, to	*bak	*D	pak	DS2	休憩する	
696	wait, to	*cra:	*C	taŋ	B1	待つ	
697	be left over, to	* ^h luə	*A	lu:	A1	残り物をする	
698	leak, to	*rwo:	*B	ðu:	B2	～に漏らす	
699	awaken (someone), to	*plok	*D	pjo:k	DL2	人を覚ます	
700	wake up, to	*k.tu:n	*B	tɤn	B1	起きる	
701	grow, to; rise, to	* ^h ma:	*C	ma:	C	成長する	
702	shrink, to	* ^h rot	*D	ðo:t	DL2	(ファスナーなど) を閉じる	「縮まる」を[jno:C]と言う。
703	disappear, to	* ^h rwɤ:j	*A				
704	die, to	*p.ta:j	*A	t ^h a:j	A1	死ぬ	
705	kill, to	*qa:	*C	k ^h a:	C	殺す	
706	expose to the sun, to	*p.ra:k	*D	p ^h ja:k	DL1	日に当てる、干す	
707	hang up, to	*qwe:n	*A	k ^h we:n	A1	吊るす	
708	hang down, to	*ho:j	*C	ho:j	C	吊り下がる	
709	smear, to	*da:	*A	ta:	A2	塗りつける	
710	lay (a cloth, etc.) across, to	*ba:t	*D	pa:t	DL2	〔服などを〕 (椅子などに) 投げ掛 ける	
711	drive away, to	*k.rap	*D	kap	DS2	捕まる	

712	chase, to	*laɟ	*B				「...を追いかける」を[te:p]と言う。
713	be finished, to	*le:w	*C	le:w	C	終わる	
714	to commission	*zauɟ	*C	hɤuɟ	C	…にさせる	
715	entrust, to	* ^h wa:k	*D	p ^h a:k	DL1	委託する	
	I. Miscellaneous						
716	1s pronoun (weak)	*ku:	*A				
717	1s pronoun (strong)	*kaw	*A				
718	2s pronoun (weak)	*muuɟ	*A				
719	2s pronoun (strong)	*mau	*A				
720	3s pronoun (weak)	*muun	*A				
721	3s pronoun (strong)	*man	*A				
722	1p pronoun	*raw	*A	ðaw	A2	私たち	
723	one	*nu:ɟ	*B	de:w	A2	一、唯一	
724	two	*so:ɟ	*A	θo:ɟ	A1	二	
725	three	*sa:m		θa:m	A1	三	
726	four	*si:	*B	θɤj	B1	四	
727	five	*ha:	*C	ha:	C	五	
728	six	*krok	*D	ðɔk	DS1	六	
729	seven	*cet	*D	teat	DS1	七	
730	eight	*pe:t	*D	pe:t	DL1	八	
731	nine	*kɤw	*C	kaw	C	九	
732	hundred; string, to	*ro:j	*C	ɣo:j	A2	回（肩で担う）	

733	single, only one	*d̥iəw	*A	d̥e:w	A2	一個、1 つだけ	
734	pair	*gu:	*B	kɾw	B2	(靴、靴下、手袋、箸などの) ペア	
735	how many, several	*ki:	*C	ki:	C	いくつか	
736	all	*daŋ	*A	taŋ	A2	全部	
737	many, much	* ^h la:j	*A	la:j	A1	多い、たくさん	
738	little, few	* ^h no:j	*B	no:j	B1	少ない	
739	one or so, any	*sak	*D	θak	DS1	いくつか	
740	half	*grɿŋ	*B	pu:ŋ	B1	半分	
741	each other, together	*kan	*A	kan	A1	一緒に	
742	other	*ʔu:n	*B				「ほかの、別の」を[kawB2 d̥ajA2]という。
743	measure from thumb to fingertip	*ɣu:p	*D	jɔk	DS2	手で物を測る	
744	bite (n.), speech	*gam	*A	kam	A1	掴む	「咬む」を[k ^h apDS1]という。
745	classifier for things	*ʔal	*A	pan	A1	物を分ける	
746	cord, string	*sa:j	*A	θa:j	A1	紐	
747	classifier for long, thin, object	*sel	*C	θi:n	C	分類する、選ぶ	
748	classifier for tools	*mwa:k	*D	fa:k	DL2	分離道具	米を収穫する時に、米を分離するための道具である。木で作ったもので、機械がない時代に使われた。現在はほとんど使われていない。

749	litter (of young)	*gro:k	*D	yo:k	DL2	多産動物が産んだ子どもの群れ	
750	time (classifier)	*baj	*A	paj	A2	...回	
751	name of first month	*ciəj	*A	tei:ŋ	A1	一月、正月	
752	last (year)	*kla:j	*A	kja:j	A1	一昨年	
753	daytime	*ŋwan	*A	van	A2	昼間	
754	night	*yuu:n	*A	yɯn	A2	夜、夜中	
755	day	*mwu	*C				
756	early morning	*jaw	*C	teaw	C	朝、朝ご飯	
757	night	*yam	*B	yam	B2	夜	
758	late at night	*dɯk	*B	dak	DS1	深い	
759	early meal	*ŋa:j	*A	ŋa:j	A2	昼ご飯	朝ご飯を[teawC] と言う。
760	late meal	*ɕ.lwi:ŋ	*A	le:ŋ	A2	昼ご飯と晩ご飯の間食	
761	evening meal	*jm.raw	*A	pjaw	A2	晩ご飯	
762	day before afterday	*zum	*A	θɯn	A2	一昨日	
763	yesterday	*ŋwa:	*A	va:	A2	昨日	
764	tomorrow	*jm.ruk	*D	pjok	DS1	明日	
765	day after tomorrow	*ɕ.ru:	*A	lɯɥ	A2	明後日	
766	year	*pi:	*A	pɤj	A1	年	
767	upstream, above	* ^h nuə	*A	nu:	A1	...の上に	
768	downstream, below	*tau	*C	tauɥ	C	...の下に	
769	below	*lwɤ:ŋ	*B	laŋ	A1	後ろ、背中	
770	inside	*ɕ.dau	*A	dauɥ	A2	内側	

771	outside	*l.no:k	*D	no:k	DL2	外側	
772	middle	*kla:ŋ	*A	kja:ŋ	A1	中間	
773	side	*ɕ.buəŋ	*C	ɕu:ŋ	C	(物体の) 面、側	
774	this	*naj	*C	nɤj	B2	これ	
775	before	*ko:n	*B	ko:n	B1	この間	
776	tip, end	*pla:j	*A	pja:j	A1	先端、末	
777	tip, highest point	*no:t	*D	no:t	DL2	頂上	
778	edge	*ri:m	*A	li:m	B1	ものの端、縁、稜	
779	gradually, slowly	*go:j	*B	ko:j	B2	ゆっくり	単独で用いず、[tɕa:ŋA2 ko:jB2] と言う。普段はよく [tɕajB2 ko:nC] と言う。
780	not (strong 1)	*ɕaw	*B	ɕaw	A2	軽い	
781	not (strong 2)	*bo:	*B	po:	B2	ない	
782	not (weak)	*mi:	*A	mɤj	A2	有る	
783	not yet	*paj	*B				「まだ」を[tɕa:ŋA2]と言う。
784	do not	* ^h na:	*B	ja:	B1	...しない	
785	which	*ɕauɥ	*A	hauɥ	A1	どちら、どれ、どの	
786	also	*ko:	*C	ko:	B2	同様に	
787	with, and	*kap	*D	ka:p	DL1	...と (いっしょに)	
788	matter	*ɥwa:m	*A	vam	A2	濁っている	

付録3

中国語の欄は『壮語音系匯編』(1961:356–362) によるものである。その他の欄は筆者によって加えられた。『壮語音系匯編』はチワン語天等方言の調査のためのリストである。この付録3のリストは今後、龍茗方言の周辺の方言を調査する際に役立つものである。

番号	龍茗方言 語形	龍茗方言 声調	日本語	英語	中国語	備考
1	na:	A1	厚い	thick	厚	
2	pxj	A1	年	year	年	
3	ma:	A1	犬	dog	狗	
4	na:	A2	田畑	farmland	田	
5	pxj	A2	肥満	fat	肥胖	
6	ma:	A2	来る	come	来	
7	na:	C	顔	face	脸	
8	pi:	C	比べる	compare with	比	
9	ma:	B1	水に浸す	soak	水“涨”	
10	ma:	C	馬	horse	马	
11	nam	C	水	water	水	
12	koŋ kwø:	C B2	トンボ	dragonfly	蜻蜓	
13	dā:	B1	叱る	scold	骂	
14	mɔj	B1	米酢	vinegar	醋	

15	ʃa:	B1	肩	shoulder	肩	
16	ta:	B2	川	river	河	
17	naŋ	B2	座る	sit	坐	
18	lo:	B2	道、道路	road	路	[kʰa:A1 lo:B2]とも言う。
19	tap	DS1	肝臓	liver	肝	
20	tjat	DS1	(布などを) 切る、カットする	scissor	“剪”布	
21	ɬok	DS1	骨	bone	骨	
22	njat	DS1	愛する	love	爱	
23	hap	DS1'	脅かす	scare	吓	
24	tk	DS1'	滴 (量詞)	drip	滴	
25	jik	DS1'	億	a hundred million	亿	
26	pa:k	DL1	口	mouth	嘴	
27	ma:k	DL1	果物の総称	fruit	果子	
28	ʃo:t	DL1	盲	blind	瞎	
29	lok	DS2	六月の「六」の発音	June	“六”月	数字は[ðokDS1]と言う。六月を[lɔkDS2 ŋu:tDL2]と言う。六ヶ月を[ðokDS1 6u:nA2]と言う。
30	fok	DS1	蓆、ゴザ	mat	席子	
31	θu:	A2	風俗の「俗」の発音	custom	风“俗”	風俗を[fɪŋB1 θu:A2]と言う。

32	la:p	DL2	薫製や陰干す	cured	腊	
33	ma:t	DL2	靴下	socks	袜子	
34	lu:k	DL2	谷	valley	山谷	
35	vɤj	A1	髪をとかす	comb(hair)	“越”发	
36	pɤw	A1	蟹（カニ）	crab	蟹	
37	pɤt	DS1	肺臓	lung	肺	
38	pɤj	A1	年	year	年	
39	pɤj	A2	肥満	fat	肥胖	
40	p ^h a:	C	雲	cloud	云	
41	p ^h ɤj	A1	鬼	ghost	鬼	
42	maj	A1	糸	thread	线	
43	mo:	A2	牛	ox	黄牛	
44	ɓm	A2	飛ぶ	flit	飞	
45	me:ŋ	A2	蠅	fly	苍蝇	
46	fa:	C	空	sky	天	
47	fɤn	A2	薪	hard firewood	柴	
48	faj	A2	火	fire	火	
49	va:j	A2	水牛	buffalo	水牛	
50	vam	C	哑者	dumb	哑巴	
51	vat	DS2	掘る	dig	挖	
52	ta:	B2	川	river	河	

53	trw	A1	門	door	門	
54	to:ŋ	C	お腹	tripe	肚子	
55	t ^h a:	A1	目	eye	眼	
56	t ^h a:j	A1	死ぬ	die	死	
57	t ^h aj	A1	犁	plough	犁	
58	t ^h a:p	DL1	担う	tote	挑	
59	na:	A2	畑	farmland	田	
60	no:n	A2	寝る	sleep	睡	
61	nɾw	A1	ネズミ	mouse	老鼠	
62	lm	C	舌	tongue	舌	
63	lo:	B2	道	road	路	
64	t ^h a:ŋ	B1	探す	look for	寻找	
65	θu:	A1	虎	tiger	老虎	
66	θwa:	C	錠	lock	锁	
67	θo:j	C	耳飾り	ear pendants	耳环	
68	teat	DS1	七	seven	七	
69	tca:	A2	お茶	tea	茶	
70	teo:ŋ	A2	テーブル	table	桌子	
71	tɕ ^h ɪk	DS1	ものさし	ruler	尺	
72	tɕ ^h u:ŋ	B1	歌う	sing	唱	
73	ɲa:	C	草	grass	草	

74	jɣw	B1	～に有る/いる	stay	在	
75	ɲoŋ	A2	蚊	mosquito	蚊子	
76	ka:	A1	カラス	crow	乌鸦	
77	kɣn	A2	人、人間	people	人	
78	ki:m	A2	アンクレット	bracelet	镯	
79	k ^h a:	A1	足	foot	脚	
80	k ^h wɣn	A1	体毛、羽、動物の 毛など	body hair, feather	毛	
81	k ^h e:w	C	歯	tooth	牙齿	歯は[k ^h e:wC]と言う。象の歯を [ɲa:A2]と言う。
82	ɲa:	A2	ごま	sesame	芝麻	
83	ɲɣn	A2	銀、お金	silver	银	
84	ɲɣw	A2	蛇	snake	蛇	
85	ʔaw	A2	要る	take	要	
86	ʔo:j	C	サトウキビ	sugarcane	甘蔗	
87	ʔim	B1	満腹	full	饱	
88	ha:	C	五	five	五	
89	hɣuɰ	C	あげる	give	给	
90	ho:j	A1	淡水の巻貝の通称	spiral shell	螺蛳	
91	ɣɣm	C	ぐるぐる巻く	coil	围、绕	

92	ve:	B2	(図を) 書く、 (絵を) 描く	draw	画	
93	pjaw	A2	晩ご飯	dinner	晚饭	
94	pja:	C	包丁	knife	刀	ナイフを[mtDS1]と言う。
95	pjo:ŋ	B2	半分	half	“半”天	半日を[pjo:ŋB2(半分) vanB2(一日)]と言う。
96	mja:k	DL2	滑る、つるつる状	smooth	滑	
97	ɸjo:n	A2	目玉	eyeball	“眼”珠	[mjo:n]とも言う。
98	ɸjo:k	DL 1	花	flower	花	
99	ɸja:j	A2	植えて有るものに 肥料をあげる	ploughing	耘田	
100	kja:	C	さなえ	seedling	秧	
101	kjo:ŋ	A1	太鼓	drum	鼓	
102	kja:j	A1	一昨年	the year before last	“前”年	単独で用いず、一昨年を [pɯɥA1 kja:jA1] と言う。
103	kjap	DS1	拾う	pick up	“拾”糞	
104	kwa:	A1	カボチャ	pumpkin	瓜	
105	kwaj	A1	遠い	far	远	
106	p ^h a:	A1	カメ	tortoise	龟	
107	k ^h wɤj	B1	(馬、バイク、自 転車など) に乗る	ride	骑	

108	k ^h wa:	B1	ズボン	trousers	裤	
109	ljak	DS1	鉄	iron	铁	
110	ljap	DS2	爪	fingernail	指甲	
111	ŋwak	DS1	うなずく	nod one's head	“点”头	
112	k ^h i:	C	大便	dung	屎	
113	pi:w	A1	裏なしの衣類	jacket	单衣	
114	mi:w	B2	廟	temple	庙	
115	ki:w	A2	橋	bridge	桥	
116	θim	A1	心	heart	心	
117	tɛim	A2	味見	taste	尝	
118	k ^h im	A1	針	needle	针	
119	li:m	A2	鎌	sickle	镰刀	
120	θi:m	C	尖る	pointed	尖	
121	kin	A1	食べる	eat	吃	
122	pi:n	A1	むち	strap	鞭子	
123	tɛ ^h i:n	A1	千	thousand	千	
124	ʔi:n	A2	煙	smoke	烟	
125	li:n	B2	センダンの木	bead tree	苦楝树	単独で用いず、[majC (木) li:nB2 (センダンの木)]と 言う。
126	lnɿ	A2	猿	monkey	猴子	

127	tɕʰɪŋ	A2	漢語「県城」の 「城」の読み方	county town	(县)城	漢語の「県城」（行政区分、 県政府所在地）を[hɛ:nC (県) tɕʰɪŋA2 (城)]と言う。
128	tɕʰɪŋ	C	招待する	invite	请	漢語からの借用語
129	kʰi:ŋ	A1	まな板	chopping block	砧板	
130	ki:ŋ	A2	金属製の三つ足の かまど	triangle kitchen range	三角灶	
131	ni:ŋ	A1	鶏やカモなどの家 禽の消化器官	crop	鸡嗉子	
132	dɪp	DS1	生の、生煮えの	unripe	“生”肉	
133	ʔɪp	DS1	拾う	collect	拾	
134	njat	DS1	愛する	love	爱	
135	tɕi:p	DL1	迎える	reception	迎接	
136	ɬɪt	DS1	採る	pluck	摘	
137	pɪt	DS1	ペン	pen	笔	
138	θe:j	A2	雪	snow	雪	
139	ʔi:t	DL1	休憩	take a rest	休息	
140	pɪk	DS1	つばさ	wing	翅膀	
141	tʰɪk	DS1	蹴る	kick	踢	
142	kʰi:k	DL1	薪を割る	split	劈柴	
143	tɪp	DS2	皿	dish	碟子	

144	tei:t	DL2	赤字	lose money in business	赔本	
145	vxj	A1	髪をとかす	comb(hair)	“越”发	
146	teik	DS2	まっすぐ	straight	直	
147	me:	B2	妻	wife	妻子	
148	tee:	A1	姉	elder sister	姐	
149	p ^h e:	A1	(手で) 殴る	hit by hand	用掌“打”	
150	ke:w	C	嚼む	masticate	嚼	
151	k ^h e:w	A1	緑	green	青色	
152	ʔe:w	C	折る	break off	折断	
153	te:m	B2	埋めて平にする	fill	填	
154	ne:m	A1	ねばる	adhere to	粘	
155	pe:n	C	板	board	板	
156	ʃe:n	A2	包み	wrap	包起来	
157	k ^h e:n	A1	袖	sleeve	袖子	
158	pe:ŋ	A2	高価な	expensive	贵	
159	p ^h e:ŋ	A1	キュウリ	cucumber	黄瓜	
160	le:ŋ	A2	昼ご飯と晩ご飯の 間食	late meal	下午茶	
161	ke:p	DL1	菰	(Chinese)chives	韭菜	
162	pe:t	DL1	八	eight	八	

163	d̥e:t	DL1	晴れる	sunlight	阳光	
164	he:k	DL1	鍋	pan	锅	
165	ke:k	DL1	分け隔てる	separation	隔开	
166	k ^h e:k	DL1	客	guest	客	
167	ðe:p	DL2	もみ殻	husk(of rice)	谷壳	
168	te:p	DL2	追い付く	overtake	赶	[d̥e:pDL2] も区別せずに併用する。
169	pe:k	DL2	漢語「明白」の 「白」の読み方	clear	(明) 白	
170	me:k	DL2	麦	wheat	麦	
171	ma:	A2	来る	come	来	
172	na:	A1	厚い	thick	厚	
173	d̥a:	B1	叱る	curse	骂	
174	maj	A1	糸	thread	线	
175	faj	A2	火	fire	火	
176	d̥aj	A2	良い	nice	好	
177	la:j	A1	多い	many,much	多	
178	k ^h a:j	A1	売る	sell	卖	
179	t ^h a:j	A1	死ぬ	die	死	
180	law	C	お酒	liquor	酒	
181	haw	B1	吠える	bark	吠	

182	ʔaw	A2	要る	take	要	
183	la:w	A1	怖がる	fear	怕	
184	ka:w	A1	舟をこぐ	boat	划船	
185	taw	A1	おみこし	palanquin	轿子	
186	θauɿ	A1	清い	unmixed	清	
187	d̪auɿ	A2	奥、中	inside	里	
188	nauɿ	A1	朝	morning	早晨	
189	tam	A1	米をつく	husk rice	搗米	
190	d̪am	A2	黒い	black	黑色	
191	lam	B2	タカ	hawk	鷹	
192	tʰa:m	A1	持ち上げる	raise	抬	
193	taŋ	C	入口の敷居	threshold	(門)檻	
194	ka:m	A1	ミカン	citrus	柑橘	
195	pʰan	A1	夢	dream	梦	
196	fan	A2	種	seed	种子	
197	d̪an	C	かゆい	itch	痒	
198	ʃa:n	C	村	village	村	
199	fa:n	B2	萬	ten thousand	万	
200	na:n	C	赤麂	barking deer	黄獐	小さな角を持ち、吠えるよう になく小さなアジアの鹿、学 名:Muntiacus muntjak

201	d̪aŋ	A2	鼻	nose	鼻子	
202	naŋ	B2	座る	sit	坐	
203	taŋ	C	縦	upright	竖	
204	d̪a:ŋ	A2	からだ	body	身体	
205	θa:ŋ	A2	ベッド	bed	床	
206	d̪a:ŋ	C	寒い	cold	冷	
207	tap	DS1	肝臓	liver	肝	
208	d̪ap	DS1	(明かり、火などを) 消す	put out	熄 (灯)	
209	kap	DS2	捕まる	seize	捉	
210	ŋa:p	DL1	〈物が〉折れない、堅い、強い、破れない。柔らかくて丈夫である。こと。	coarse, tough	韧	
211	tʰa:p	DL1	担ぐ	shoulder pole	挑	
212	tjat	DS1	(布などを) 切る、カットする	scissor	剪	
213	pat	DS1	掃除する	sweep	扫	
214	mat	DS1	ノミ	flea	跳蚤	
215	ʃa:t	DL1	傷あと	scar	傷疤	
216	θa:t	DL1	ブラシ	brush	刷子	[tɕʰa:tDL1]とも言う。

217	vat	DS2	掘る	dig	挖	
218	dak	DS1	深い	deep	深	
219	lak	DS2	盗む	steal	偷	
220	pak	DS1'	北	north	北	[pr:A2]とも言う。
221	pa:k	DL1	口	mouth	口	
222	ma:k	DL1	果物	fruit	果子	
223	la:p	DL2	魚や肉を薫製や陰干しにする。	cured	腊	
224	mja:p	DL2	騙す	cheat	哄骗	
225	ma:t	DL2	靴下	socks	袜子	
226	bu:n	C	カワウソ(川獺)	otter	水獺	
227	mja:k	DL2	(路面が)滑る	slippery	(路)滑	
228	bo:	B1	泉	spring	泉	
229	yo:	A2	首	neck	颈	
230	ho:	C	貧しい	misery	穷苦	
231	to:	C	容量の単位、升(マス)	dou(a measure for grain)	斗 (米)	
232	ho:j	A1	淡水の巻貝の通称	spiral shell	螺蛳	
233	da:ŋ	A2	雷	thunder	雷	「雷が鳴る」を[fa:C da:ŋA2]と言う。
234	ʔo:j	C	サトウキビ	sugarcane	甘蔗	

235	mɤw	A1	豚	pig	猪	
236	pɤw	A1	蟹（カニ）	crab	蟹	
237	nɤw	A1	ネズミ	mouse	老鼠	
238	ŋɤw	A2	蛇	snake	蛇	
239	lɤm	A2	風	wind	风	
240	mɤm	B2	ひげ	beard	胡须	
241	tʰɤm	A1	池	pool	池塘	
242	mo:j	A2	頭の鉢	the top of the head	囱脑门	やや古い言い方、[6a:kDL1 mo:jA2]と言う。一般的な言い方は[6a:kDL1 6awB1]と言う。
243	ho:m	A1	かおり、香しい	fragrant	香	
244	kʰwɤn	A1	毛	body hair, feather	毛	
245	kwɤn	C	沸騰する	boiling (water)	滾（水）	
246	kwe:	B1	刈り取る	cut(paddy)	割（禾，草）	
247	no:n	A2	寝る	sleep	睡	
248	ma:n	A1	枕	pillow	枕头	単独で用いず、[ma:nA1 tʰu:A1]と言う。
249	θo:n	A1	教える	teach	教	
250	ɸuŋ	A2	森	woods	树林	
251	θoŋ	A1	高い、高さ	high	高(山)	
252	loŋ	A2	下りる	go down (hill)	下(山)	

253	no:ŋ	A1	膿み	pus	脓	
254	θo:ŋ	A1	二	two	二, 两	
255	to:ŋ	A2	銅	copper	铜	
256	to:ŋ	C	お腹	abdomen	肚子	
257	tap	DS1	叩く	clap	拍 (手)	「拍手」を[tapDS1 mɤuŋC]と言う。
258	kʰap	DS1	咬む	bite	咬	
259	ko:p	DL1	両手で捧げ持つ	hold in both hands	一捧 (米)	
260	ʔwat	DS1	穴に物を入れて塞ぐ	fill in	塞 (洞眼)	
261	ʃo:t	DL1	目が見えない	blind	瞎	
262	tɔk	DS1	失う。なくす。	throw away	丢掉	
263	dʊk	DS1	骨	bone	骨	
264	lɔk	DS1	引き抜く	pull up(weeds)	拔 (草)	
265	ko:k	DL1	かど、つの	horn	角	
266	ʔo:k	DL1	出る	go out	出	
267	ʃjo:k	DL1	花	flower	花	
268	lɤp	DS1	そっとなでる	fondle	抚摸	
269	yo:p	DL2	箱	box	盒	
270	no:t	DL2	(木などの) 芽	bud	(樹) 芽	

271	lɔk	DS1	一般の子ども	child	儿子	「息子」を[lɔkDS1 ɬawB1]と 言う。
272	to:k	DL2	毒	toxin	毒	
273	no:k	DL2	外（側）	outsider	外	
274	ðu:	A1	笑う	laugh	笑	
275	tʰu:	A1	あたま	head	头	
276	tʰu:	B1	豆	peas	豆	
277	tʰu:j	C	茶わん	bowl	碗	
278	kʰu:j	A1	婿	son-in-law	婿	
279	kju:j	C	バナナ	banana	芭蕉	
280	ɣɣm	C	ぐるぐる巻く。	surround	围、绕	
281	kɣm	A1	燃やす	burn	放火（烧山）	
282	ŋu:m	A2	洞窟	cave	岩洞	
283	tʰu:m	C	水につかる	water logging	水淹	
284	ke:n	B1	（太鼓を）たたく	beat	打(鼓)	
285	pu:n	A1	運ぶ	move	搬	
286	θu:n	A1	にわ	garden	园	
287	tɕɔŋ	B2	当たる	hit te target	(打)中	
288	pu:ŋ	A2	（船などに使う） 日よけ、覆い	awning	(船) 篷	
289	lu:ŋ	A1	大きい	big	大	

290	ɕip	DS1	(においを) 嗅ぐ	smell	闻	[te ^h ip]とも言う。
291	kap	DS1	蛙	frog	田鸡	
292	k ^h u:p	DL1	一周年、一歳	one year old	一周岁	
293	kwɔt	DS2	濃度が濃い	thick	(粥)稠	
294	poŋ	A1	(穴を) 塞ぐ、隙間を埋める。	fill in	塞 (洞眼)	
295	teɔk	DS1	くすぐる	scratch itch	呵痒	
296	θuk	DS1	熟する、火を通して熟する	cooked	熟(肉)	
297	lək	DS1	引き抜く	pull up (weeds)	拔 (草)	
298	nu:k	DL1	耳が聞こえない	deaf	聋	
299	ku:k	DL1	鋤	hoe	锄头	
300	ŋu:t	DL2	月 (がつ)	May	(五)月	例えば、「五月」を[ŋo:C(五) ŋu:tDL2 (月)]と言う。
301	θu:	A2	風俗の「俗」の発音	custom	风“俗”	漢語からの借用語。風俗を[fɯŋB1(風) θu:A2 (俗)]と言う。
302	lək	DS2	六月	June	六 (月)	六月を言う時の六の発音、六月を[ləkDS2(六) DL2 (月)]と言う。数字の6を[ðəkDS2]と言う。
303	fok	DS1	蓆、ゴザ	mat	席子	

304	lu:k	DL2	谷	valley	山谷	
305	θu:	A1	虎	tiger	老虎	
306	p ^h u:	A1	くまで、かき集める	rake	耙	
307	k ^h u:	A1	茄子	eggplant	茄子	
308	t ^h u:	B1	汗	sweat	汗	
309	pɤn	B2	ガチョウ	goose	鵞	
310	p ^h ɤn	A1	雨	rain	雨	
311	fɤn	A2	たきぎ	firewood	柴	
312	θu:n	A2	げつ	monthly	月	
313	d̪u:n	A2	ミミズ	earthworm	蚯蚓	
314	ðu:n	A2	ハウス	house	房子	
315	tɤŋ	A1	電灯	lamp	灯	
316	t ^h ɤŋ	A1	到着する	arrive	到	
317	t ^h u:ŋ	A1	砂糖	sugar	糖	
318	θu:ŋ	C	思う、考える	think	想	
319	teu:ŋ	C	飼う、養う	raise	养	
320	pɤt	DS1	肺臓	lung	肺	
321	twat	DS1	屁	fart	屁	
322	mwat	DS2	アリ	ant	蚂蚁	
323	d̪u:t	DL1	熱い、暑い	hot-water	热(水)	

324	ʔɤk	DS1	胸	chest	胸	
325	mɤk	DS2	墨	ink	墨	
326	pʰjɯ:k	DL1	サトイモ	taro	芋头	
327	hɯ:k	DL1	歯茎	gum	牙龈	
328	lɯ:t	DL2	血液	blood	血	
329	lɯ:k	DL2	選ぶ	choose	选择	
330	pɤj	A1	...年、とし	year	年	
331	pɤj	A2	肥満、(肉など) 脂肪が多い	fat	肥胖	
332	mɤj	A2	有る	have	有	
333	mɤj	B1	米酢	vinegar	醋	
334	θɤɯ	A1	本	book	书	
335	ʃɤɯ	A2	やけどする、とても熱い	burn	烫	
336	lɤɯ	A2	明後日	the day after tomorrow	后(天)	単独で用いず、[vanA2(昼、一日) lɤɯ B1 (不詳)] と言う。
337	tʰɤɯ	A1	(犁で) 田畑を耕す	plough	犁(田)	
338	pɤ:	A2	漢語「北京」の「北」の読み方	Bei(jing)	"北"京	

339	tx:	A2	漢語「道德」の 「徳」の読み方	(Dao)de	道"徳"	
340	twat	DS1	屁	fart	屁	
341	mwat	DS2	アリ	ant	蚂蚁	
342	ɸu:t	DL1	熱い、暑い	hot-water	热(水)	
343	p ^h ju:k	DL1	サトイモ	taro	芋头	
344	hu:k	DL1	歯茎	gum	牙龈	
345	lu:k	DL2	選ぶ	choose	选择	
346	lu:t	DL2	血液	blood	血	

付録 4

張均如等 (1999) 『壯語方言研究』の付録 (36 地点のチワン語諸方言で共通する 1465 語) をもとに、対応する龍茗方言の語彙および日本語訳を筆者が加えた。さらに、筆者により龍茗方言で使われる異音同義語、類義語など計 123 語が加えられた。番号、英語、中国語欄は『壯語方言研究』のままで、その他の欄は筆者による。また、522.1 と 522.2 のような番号がある場合、522.1 は『壯語方言研究』の付録によるもので、522.2 は筆者によるものである。録 4 の見出しを以下に示す。

番号	日本語	英語	中国語
【1】	名詞	nouns	名词
1～111 (1)	天体、地理、方位、時間	nature; earth; locality; time	天象、地理、方位、时间
112～300 (2)	動物、植物	animals; plants	动物、植物
301～375 (3)	身体、生理機能	body; physiology	身体、生理
376～446 (4)	親族、呼称	kinship; types of people	亲属、人的称呼
447～470 (5)	居住、交通	dwelling; transportation	居住、交通
471～496 (6)	衣服	clothing	服饰
497～591 (7)	容器、道具	utensils; tools	用具、工具

592～650 (8)	經濟、文化、民俗、病氣	commerce; culture; customs; diseases	经济、文化、民俗、疾病
651～706 (9)	食品、飼料及びその他	foods; feeds and others	食品、饲料及其他
【2】	動詞	verbs	动词
707～767 (1)	自然、動物、植物の生態と変化	activities and changes of natural world; animals and plants	自然界及动植物的活动和变化
768～814 (2)	判断、傾向、願望助動詞、心理活動、病氣	thinking verbs; directional verbs; psychological activities; diseases	判断、趋向、能愿动词、心理活动、疾病
815～967 (3)	感覚用器官と日常生活動作	five sense organs and daily life actions and movements	五官及日常生活一般动作
968～1073 (4)	手足の動作	actions of hand; actions of foot	手的动作、腿的动作
1077～1113 (5)	手工業、農業、料理	manual operations; agricultural labour; cooking	手工业、农业、炊事劳动
1134～1165 (6)	經濟活動及びその他	economic activities and others	经济活动及其他
【3】 1166～1315	形容詞	adjectives	形容词
【4】 1316～1351	数詞	numerals	数词

【5】 1352～1407	助数詞	classifiers	量詞
【6】 1408～1436	代名詞	pronouns	代詞
【7】 1437～1465	副詞、接続詞、前置詞	adverbs; conjunctions; prepositions	副詞、連詞、介詞

付録 4

順番	龍茗方言	声調	日本語	英語	中国語	備考
1	fa:	C	天、空	sky	天	
2	t ^h a: van	A1 A2	太陽	sun	太阳	直訳は「昼間の目」 ([t ^h a: A1(目) vanA2 (日・昼間)]) 。
3	ha:j	A1	月	moon	月亮	助数詞の [ʔanA2](個、1つ)を加えて、[ʔanA2 ha:j A1] (1つの月) と言うことが多い。また、[na:ŋA2 ha:jA1]や[ha:jA1 ta:jB1]という「お月様」のような言い方がある。
4	d̪a:w	A2	星	star	星星	

5	nɣm va:	A2 A2	虹	rainbow	彩虹	協力者(祖母と父)は「虹」を[nɣmA2 va:A2]と言うが、空に「虹」の様子を表現する際に[nɣmA2 va:A2 kmA1 namC 6o:B1]と言う。[nɣmA2 va:A2]は「神様の名前」、[kmA1]は「飲む」、[namC 6o:B1]は「泉の水」である。直訳すると、「神様が泉の水を飲む」となる。しかし、筆者から下の世代の多くは「虹」を[mo: A2 va:jA2 kmA1 namC 6o:B1]と言う。[mo: A2 va:jA2]は「牛と水牛」で、直訳すれば、「牛や水牛が泉の水を飲む」となる。これに関する伝説は伝わっていない。
6	vɣn p ^h a:	A2 B1	雲	cloud	云	

7	fa: dɔŋ	C A2	雷	thunder	雷	直訳は「空が怒る」 ([fa:C(空) dɔŋA2 ((①怒る②大きな音がする)])。
8	ɭɯm	A2	風	wind	风	風そのものを指す。風が吹く天気のこと は [fa:C(空) ɭɯm(風)] と言う。なお、「台風」は [tʰa:jA2(台) fɔŋB1(風)] と言う。
9	θe:	A2	雪	snow	雪	
10	tʰjap	DS1	雹	hail	雹子; 冰雹	
11	hɔj	B1	空気	air	空气	[kʰɔŋB1 kʰi:C] とも言う。
12	nam	C	水	water	水	
13	pʰɯn	A1	雨	rain	雨	「雨水」は [namA1 pʰɯnC] と言う。
14	pʰɯn mo:n	A1 B1	霧雨	drizzle	毛毛雨	[pʰɯn mɯn] とも言う。
15	pʰɯn ða:	A1 B1	にわか雨	shower	阵雨	
16	naj	A1	霜	frost	霜	
17	mo:k	DL1	霧	fog	雾	
18	na:j	A2	露	dew	露水	

19	tɤj	B2	地、地面	the earth	地（天地）	「天」（1 番）の対義語。
20	p ^h ja:	A1	岩山	stone hill; rocky hill	石山	
21	ɖo:ŋ	C	丘、小山	earth hill; soil heap	土山	
22	lu:k	DL2	谷	valley	山谷	
23	ŋu:m	A2	洞穴	cave	山洞	石山の洞穴を指す。
24	k ^h ɤm	A1	窪み	pit	坑	
25	ha:j	C	海	sea	海	
26	ta:	B2	川	river	河	
27	lu:k		（深くて細い） 谷川、溪流	ravine	溪（山中之水）	一般の小川は[mur:ŋ A 1] と言う。
28	t ^h ɤm	A1	池	pond	池塘	
29	mur:ŋ	A1	小川、溝	ditch	沟; 水沟	水が流れていない状態の 川を[mur:ŋA1 t ^h a:jA1]（死 んだ小川）と言う。
30	p ^h a:j	A1	ダム	dam	水坝	
31	ɖaŋ	A2	淵、深い水溜まり	pool; deep pool	潭	
32	po:p	DL1	泡、水泡	bubble in water	水泡（水面上的）	水の中に出来る気泡のよ うな大きめの泡を指す。 石鹸の泡、尿の泡などの

						ような細かい泡は [p ^h u:kDL1]と言う。
33	fo:	B1	泉	spring	泉	
34	pa:m	B2	泥	silt; mud	泥; 稀泥; 淤泥	
35	mo:ŋ	A1	埃	dust	尘土	
36	tɯm	A1	土	earth; soil	土	
37	na:	A2	田、水田	paddy rice field	田; 水田	
38	te: na:	A2 A2	畦道	footpath between paddy fields	田埂	
39	ðaj	B2	灌漑のできない 乾燥地	arid land	地; 旱地	
40	tɯj laj d̪a:j	B2 B2 A2	荒地	wasteland	荒地	
41	t ^h m	A1	石	stone	石头	
42	θa:j	A2	砂	sand	沙子	
43	kɯm	A1	金	gold	金	
44	ŋɯn	A2	銀	silver	银	銀の他に、貨幣やお金を 指すこともある。

45	t ɔŋ	A2	銅	copper	铜	
46.1	ljak	DS1	鍊鉄	wrought iron	铁（熟铁）	
46.2	k ^h a:ŋ	A1	銑鉄	pig iron	铁（生铁）	
47	θɪk	DS1	錫	tin	锡	
48	ka:ŋ	B1	鋼鉄	steel	钢	
49	mɤj	A2	石炭	coal	煤	
50	faj	A2	火	fire	火	
51.1	t ^h a:n	B1	炭、木炭	charcoal; wood coal	炭; 木炭	
51.2	t ^h a:n faj	B1 A2	熾火（おきび）、 火のついている 炭	live charcoal	火炭（正燃的）	
51.3	t ^h a:n mɤj	B1 C	火の消えた炭	black rust	火炭（不燃的）	
52	van faj	C A2	煙	smoke	烟（吹烟）；火烟	
53	to:ŋ	A1	東	east	东	
54	θɤj	A1	西	south	南	
55	na:m	C	南	west	西	

56	pak	DS1'	北	north	北	[pɤ:A2]とも言う。
57	ɬu:ŋ nu:	C A1	上部、上側	the upper part; the top of	上面	
58	ɬu:ŋ tau	C C	下部、下側	the lower part	下面	
59	nam no:k	C DL2	外側	outside; exterior; outward	外面	
60	nam ɬau	C A2	内側	inside; interior; inward	里面	
61	nam na:	C C	前、前方	front	前面	
62	nam laŋ	C A1	後、後方	back; behind	后面	
63	ɬu:ŋ θwa:j	C C	左側	the left side	左边	
64	ɬu:ŋ θwa:	C A 1	右側	the right side	右边	
65	ye:n	A2	隣	near by position adjacency; next	旁边	
66	txj fu:ŋ	B2 A1	場所	place	地方	
67	te ^h ɣn	B1	春	spring	春季	
68	hja:	C	夏	summer	夏季	
69	te ^h ɣw	B1	秋	autumn	秋天	
70	to:ŋ	A1	冬	winter	冬季	
71.1	pxj	A1	年	year	年	
71.2	pxj	A1	歳、年齢	age	岁 (年～)	

72	pxj ne:	A1 B2	今年	this year	今年	
73	pxj na:	A1 C	来年	next year	明年	
74	pxj kwa:	A1 B1	去年、昨年	last year	去年	
75	pxj kja:j	A1 A1	一昨年	the year before last	前年	
76	pxj laŋ	A1 A1	再来年	the year after next	后年	
77	pxj jɤn	A1 B2	うるう年	leap year	闰年	
78	ya:m dɔp	B2 DS1	(旧暦の) 大晦日	New Year Eve	除夕	
79	ɬu:n tɕi:ŋ	A2 A1	旧正月	Lunar New Year	春节	
80	ɬu:n	A2	(暦の上の)月	month	月 (月份)	
81	ɬu:n tɕi:ŋ	A2 A1	(旧暦の) 一月、 睦月	the first month of the lunar year	正月; 一月	新暦の一月は[ji:A2 je:A2]という。以下の新暦は漢語から借用語である。
82	ɬu:n jɤj	A2 B2	(旧暦の) 二月、 如月	the second month of the lunar year	二月	新暦の二月は[ʔɤ:C je:A2]という。
83	θa:m ŋu:t	A1 DL2	(旧暦の) 三月、 弥生	the third month of the lunar year	三月	新暦の三月は[θa:nB1 je:A2]という。
84	θɤj ŋu:t	B1 DL2	(旧暦の) 四月、 卯月	the fourth month of the lunar year	四月	新暦の四月は[θu:B1 je:A2]という。

85	ŋo: ŋu:t	C DL2	(旧暦の) 五月、 皐月	the fifth month of the lunar year	五月	新暦の五月は [ʔu:A1 je:A2] と言う。
86	lɔk ŋu:t	DS2 DL2	(旧暦の) 六月、 水無月	the sixth month of the lunar year	六月	新暦の六月は [lu:A2 je:A2] と言う。
87	tɛat ŋu:t	DS1 DL2	(旧暦の) 七月、 文月	the seventh month of the lunar year	七月	新暦の七月は [tɛʰi:A2 je:A2] と言う。
88	pɛ:t ŋu:t	DL1 DL2	(旧暦の) 八月、 葉月	the eighth month of the lunar year	八月	新暦の八月は [pa:A2 je:A2] と言う。
89	kaw ŋu:t	C DL2	(旧暦の) 九月、 長月	the ninth month of the lunar year	九月	新暦の九月は [kjɤ w A1 je:A2] と言う。
90	tɛɪp ŋu:t	DS2 DL2	(旧暦の) 十月、 神無月	the tenth month of the lunar year	十月	新暦の十月は [θu:A2 je:A2] と言う。
91	tɛi: ʔit	B2 DS1	(旧暦の) 十一 月、霜月	the eleventh month of the lunar year	十一月	新暦の十一月 [θu:A2 ji:A2 je:A2] はと言う。
92	ɸu:n la:p	A2 DL2	(旧暦の) 十二 月、師走	the twelfth month of the lunar year	十二月; 腊月	新暦の十二月 [θu:A2 ʔɤ:C je:A2] はと言う。
93	van	A2	(暦の上の) 日	day	天; 日	
94	van ne:	A2 B2	今日	today	今天	
95	van va:	A2 A2	昨日	yesterday	昨天	
96	van θɤn	A2 A2	一昨日	the day bfore yesterday	前天	
97	to:j van	B1 A2	一昨昨日 (さき おととい)	two days ago	大前天	

98	van pjok	A2 DS1	明日	tomorrow	明天	
99	van lxuq	A2 A2	明後日	day after tomorrow	后天	
100	to:j van	B1 A2	明明後日	three days form today	大后天	
101	ʔa: van	A2 A2	昼間	daytime	白天	
102	ʔa: yxn	A2 A2	夜間	nighttime	夜里	
103	nauq teaw	A2 C	早朝	morning	早晨	
104	ʔa: yam	A2 B2	夜	evening; night	晚上	
105	kja:ŋ yxn	A1 A2	真夜中	midnight	午夜; 半夜	
106	θxj ŋa:j	A2 A2	昼ごろ、正午前 後	around noon	中午	
107	te ^h o: ʔjat	A1 DS1	朔日（ついた ち）、（旧暦の） 新年または毎月 の初日	the beginning of new year; first day of chinese lunar calendar (of a lunar month)	初一	
108	ʔjat ŋa:w	DS1 B2	一日（ついたち）	fist day of the month	一号	
109	θip ha:	DS1 C	（旧暦の）新年 または毎月の十 五日	the fifteenth day of the New Year; the fifteenth day (of a lunar month)	十五（阴历）	
110	tei:t	DL1	祝日、祭日	festival (day)	节; 节日	

111	te ^{hi} :ŋ mi:ŋ	B1 A2	清明節（二十四節気の一）	pure brightness (5th solar term)	清明	漢語から借用した [te ^{hi} :ŋA1 mi:ŋA2] と言う場合も有る。中国の祝日で、墓参りに行き、草むしりをして墓を掃除する日でありことから、「掃墓節」とも呼ばれ、毎年4月5日である。なお、チワン族の伝統的な「掃墓節」は旧暦の3月3日である。お花や草などで染めた五色（白、赤、紫、黄、黒などの五色、家庭によって色の差異がある）のもち米を食べる習慣がある。さらに、歌の掛け合いを行う地域もある。チワン族にとって年に一度の大切なお祭りである。
112	wa:i		水牛	water buffalo	水牛	
113	mo:	A2	黄牛	ox; cattle	黄牛	中国や東南アジアで飼育される、家畜の牛の一品種である。

114.1	mo: va:j tɤk	A2 A2 DS2	雄牛	bull; ox	公牛（一般的）	
114.2	mo: va:j ji:m	A2 A2 A2	（去勢された）雄牛	(castrated) ox	公牛（阉过的）	
114.3	mo: va:j θe:ŋ	A2 A2 A1	繁殖用の雄牛、種牛	bull	公牛（配种的）	
115.1	mo: va:j me:	A2 A2 B2	雌牛	cow	母牛	
115.2	mo: va:j me:	A2 A2 B2	（経産）雌牛	cow(parous)	母牛（已生崽的）	
115.3	mo: va:j θɤŋ	A2 A2 B1	（未産）雌牛	cow(nonparous)	母牛（未生过崽的）	
115.4	mo: va:j man	A2 A2 A1	（生殖能力がない）雌牛	cow(agenesia)	母牛（无生殖力的）	
116	ma:	C	馬	horse	马	
117	ðe:	C	羊	sheep; goat	羊	
118	mɤw	A1	豚	pig	猪	
119	mɤw fan	A1 A2	繁殖用の豚、種豚	breeding boar	种猪	
120	ma:	A1	犬	dog	狗	「ノラ犬」は [ma:A1 la:ŋB2]（流浪する犬）と言う。
121	me:w	A2	猫	cat	猫	
122	θu:	A1	虎	tiger	老虎	

123	tɛu:ŋ	A2	象	elephant	象	
124	mɤj	A1	熊	bear	熊	
125	li:ŋ	A2	猿	monkey	猴子	
126	lɔk	DS2	鹿	deer	鹿	
127	na:n	C	ヨツメジカ	barking deer; muntjac	鹿子; 黄猄	学名: <i>Muntiacus muntjak</i> 、小さな角を持ち、吠えるように鳴く、アジアに生息する小型の鹿である。
128	mɤw kja:w	A1 B2	イノシシ	(wild) boar	野猪	
129	ɸu:n	C	カワウソ	otter	水獺	
130	tʰo:	B1	ノウサギ	rabbit	兔子	
131	ɔ̃m	B2	センザンコウ (穿山甲)	pangolin	穿山甲	
132	nɤw	A1	ネズミ	mouse, rat	老鼠	
133	kaj	B1	鶏	chicken	鸡	
134	kaj po:	B1 B2	雄鶏	cock	公鸡	
135	kaj me:	B1 B2	(経産)雌鶏	hen (laying)	母鸡 (未下蛋的)	

136	kaj k ^h u:n	B1 B1	(未産)雌鶏	hen (not laying)	母鸡 (生过蛋的)	
137	nok kaj	DS2 A1	キジ	pheasant	雉; 野鸡	
138	pjat	DS1	アヒル	duck	鸭子	
139	pjat pu:n	DS1 B1	マガモ	dabbling duck	水鸭; 野鸭	学名: <i>Anas platyrhynchos</i>
140	pxn	B2	ガチョウ	goose	鹅	
141	nok	DS2	鳥	bird	鸟	
142	lam	B2	タカ	grey hawk	老鹰	学名: <i>Buteo plagiatus</i>
143	k ^h wi:n	C	ハイタカ (鵟)	eurasian sparrowhawk	鵟鷹; 雀鷹	学名: <i>Accipiter nisus</i>
144	lam kɣm	B2 C	フクロウ	owl	猫头鷹	日本では縁起の良い鳥であるが、チワンでフクロウは縁起の悪い鳥で、鳴き声は不吉な兆しと考えられている。
145	nok pe:k	DS2 DL2	コモンシャコ (鸚鵡)	chinese francolin	鸚鵡	学名: <i>Francolinus pintadeanus</i>

146	nək kɾw	DS2 A1	キジバト	Streptopelia	斑鳩	学名: <i>Streptopelia orientalis</i>
147	nək ka: tɛak	DS2 A1 DS1	カササギ	eurasian magpie	喜鵲	学名: <i>Pica pica</i>
148	ka:	A1	カラス	crow	乌鸦	学名: <i>Corvus violaceus</i> 、縁起の悪い鳥と考えられている。
149	nək ke:w	DS2 B1	ハッカチョウ (八哥鳥)	crested myna	八哥	学名: <i>Acridotheres cristatellus</i>
150	nək tɛo:k	DS2 DL1	スズメ	eurasian tree sparrow	麻雀	学名: <i>Passer montanus</i>
151	nək ʔe:n	DS2 B1	ツバメ	barn swallow	燕子	学名: <i>Hirundo rustica</i>
152	ka: ɣa:w	A1 A2	コウモリ	bat	蝙蝠	学名: <i>Chiroptera Blumenbach</i>
153	lo:ŋ	A2	竜	dragon	龙	
154	ŋɾw	A2	蛇	snake	蛇	
155	ka: fɿj	A1 A2	蝶	butterfly	蝴蝶	
156	koŋ kwø:	C B2	トンボ	dragonfly	蜻蜓	
157	tɛi: ða:w	B1 A1	クモ	spider	蜘蛛	
158	kan ma:	C A1	カマキリ	mantis	螳螂	
159	tɛi: ðe:p	B1 B2	ムカデ	centipede	蜈蚣	
160	tɛi: ði:ŋ	B1 B2	コオロギ	cricket	蟋蟀	

161	ji:ŋ ho:j	A1 C	ホタル	firefly	萤火虫	
162	mwat	DS1	アリ	ant	蚂蚁	
163	mwat k ^h a:w	DS2 A1	シロアリ	white ant	白蚁	
164	jo:j	B2	セミ	cicada	蝉	
165	θak	DS1	バッタ	grasshopper	蚱蜢	
166	tu: nu:m	A1 B2	バッタの幼虫	rice grasshopper larva	禾虾[生活在稻田里的尖头蚂蚱]	稲の収穫の季節によく見られる。食糧が不足していた時代には、蛋白源として、焼いたり揚げたりして食べた。
167	p ^h jɤŋ	C	ハチ	bee	蜜蜂	
168	to:	B1	スズメバチ	hornet	马蜂	
169	p ^h e:n	A1	アシナガバチ	wasp	黄蜂	
170	me:ŋ ke:ŋ	A2 A2	カメムシ	stink bug	臭昆虫; 椿象 (臭大虫)	
171	ðe:ŋ ðɤt	A2 DS1	糞虫、フンコロガシ	dung beetle	屎壳郎; 蜣螂	
172	me:ŋ	A2	ハエ	chrysomya rufifacies; fly	苍蝇	

173	me:ŋ mɤm	A2 A2	アブ	horse fly	牛虻	
174	ɲoŋ	A2	蚊	mosquito	蚊子	
175	me:ŋ ði:n	A2 B2	ヌカカ (糠蚊)	midge	墨蚊; 蠓	
176	no:n ɲa:ŋ	A1 C	毛虫	carpenterworm	毛毛虫	
177	mat	DS1	ノミ	flea	跳蚤	
178	tu: lu:t	A1 DL2	ナンキンムシ、 トコジラミ	bed bug	臭虫	学名: <i>Cimex lectularius</i>
179	mm	A2	シラミ	sucking louse	虱子	量詞「tu:」を前に付けて使うことが多い。
180	tʰaw	A1	アタマジラミ	head louse	头虱	
181	ɣaj kaj	A2 B1	ニワトリダニ、 ワクモ	fowl mite	鸡虱	学名: <i>Dermanyssus gallinae</i>
182	no:n	A1	虫	insect	虫	
183	ɸu:n	A2	ミミズ	earthworm	蚯蚓	
184	kap	DS1	カエル	frog	青蛙; 田鸡	
185	ði:t	DL1	小さなカエル	little frog	小青蛙	
186	pa:ŋ prw	C B1	ヒキガエル	toad	癞蛤蟆; 蟾蜍	
187	lok to:ŋ	DS1 B2	オタマジャクシ	polliwog	蝌蚪	

188	koŋ	C	エビ	shrimp	虾	
189	ŋu:	A2	小エビ	small shrimp	小虾	
190	pxw	A1	カニ	crab	螃蟹	
191	yo:j na:	A1 A2	タニシ	pond snail	螺蛳; 田螺	
192	tu: p ^h a:	A1 A1	カメ	tortoise	乌龟	
193	tu: kwɤj	A1 A1	スッポン	softshell turtle	团鱼; 鳖; 水鱼	
194	pja:	A1	魚	fish	鱼	
195	pja: wa:n	A1 C	草魚	grass carp	草鱼	学名: <i>Ctenopharyngodon idellus</i> 、 中国原産のコイ科の淡水 魚である。
196	pja: dɔk	A1 DS1	ナマズ	catfish	鲶鱼	
197	pja: dɔk ha:k	A1 DS1 DL1	(養殖の) ナマズ	clarias fuscus	塘角鱼[胡子鱼]	[ta:ŋA2 ko:A2 ji:A2]と も言う。
198	pja: lwaj	A1 A1	タウナギ	Asian swamp eel	黄鱔; 鱔鱼	

199	pja: tɛt	A1 DS1	ドジョウ	weather loach; weatherfish	泥鰱	
200	tu: pi:ŋ	A1 A1	ヒル	leech	水蛭; 蚂蝗	
201	ko:k va:j	DL1 A2	牛の角	ox horn	牛角	
202.1	ljap	DS1	(馬以外の動物の) ひづめ	hoof	蹄 (除马蹄外)	
202.2	taj ma:	A2 C	馬蹄	horse hoof	蹄[马蹄]	
203	tɕa:j	B1	(家禽、鳥類の) 爪	fangernail	爪 (禽类的)	
204	tʰa:ŋ	A1	尾、しっぽ	tail	尾巴	
205	kʰwɤn	A1	毛	hair; feather	毛	
206	pik	DS1	翼	wing	翅膀	
207	ho:n kaj	A1 B1	(雄鶏の) とさか	cockscornb	鸡冠	
208	tauŋ ka j	A1 B1	鶏の砂嚢、砂肝	gizzard	鸡胗	
209	ni:ŋ	A1	素嚢	crop	嗉子	ニワトリ、アヒルなどの食道の下にある消化器官である。

210	kjap pja:	DS1 A1	うろこ	fish scale	鱼鳞	
211	hu:k pja:	DL1 A1	えら	fish gill	鱼鳃	
212	ka:ŋ pja:	C A1	魚の小骨	fish bone	鱼刺	
213	pi:n pja:	B1 A1	(魚の) ひれ	fish fin	鱼鳍	
214	maj	C	木	tree	树	
215	maj tɕu:ŋ	C A1	マツ	pine tree	松树	学名: <i>Pinus</i>
216	maj ðaj	C A2	ガジュマル	banyan tree	榕树	学名: <i>Ficus microcarpa</i> Linn. f.
217	maj ðaw	C A1	カエデ	maple tree	枫树	学名: <i>Acer</i> 、食用染料として使用する。チワンでは生の楓の葉っぱで米を黒く染めて食べる習慣がある。
218	ko: maj mi:n	A1 C A2	キワタノキ (木棉の木)	cotton tree	木棉树	学名: <i>Bobax ceiba</i>
219	maj li:n	C B2	センダン (梅檀)	bead tree	苦楝树	学名: <i>Melia azedarach</i>

220	ɸɔŋ	A2	森	frost; woods	树林	土山の森を指す
221	ŋa:	B2	木の枝、小枝	branch; twig	树枝	[ŋi:ŋB2]とも言う。
222	la:k	DL2	根	root	根	
223	ŋa:	A2	(種から出た) 芽	seed sprout	芽 (種子～)	「種が芽を出す」は [ŋa:tDL2 ŋa:A2]と言う。
224	no:t	DL2	(木の) 芽	tree bud	芽 (樹～)	「木が芽を出す」は [ʔo:kDL1 no:t DL2]と 言う。
225	kʰaw	A1	藤	wistaria	藤	
226.1	ɸauɥ	A2	葉	leaf	叶子 (泛指)	
226.2	to:ŋ	A1	大きい葉	broad leaf	叶子 (专指阔叶)	
227	ɸjo:k	DL1	花	flower	花	
228	ki:w ɸjo:k	C DL1	蕾	(flower) bud	花蕾	
229	ma:k	DL1	果物	fruit	果子	
230	hu:j	B1	(ウメ・モモな どの果実の) 核、 種	pit; stone	核; 果核	
231	fan	A2	種	seed	种子	
232.1	pu: tʰaw	A2 A2	ブドウ	grape	葡萄	

232.2	ma:k ʔit	DL1 DS1	実が小さいノブドウ (野葡萄)	wild grape (smaller than grape)	野葡萄 (比一般葡萄小)	学名: <i>Ampelopsis glandulosa</i> var
232.3	ma:k ʔit va:j	DL1 DS1 A2	実が大きいノブドウ (野葡萄)	wild grape (bigger than grape)	野葡萄 (比一般葡萄大)	
233.1	pa: tea:w	B1 B1	バショウ	Chinese banana	芭蕉	学名: <i>Musa basjoo</i> Musa
233.2	kju:j	C	バナナ	banana	香蕉	
234	ma:k tei:	DL1 A1	ライチ	lichee	荔枝	学名: <i>Litchi chinensis</i>
235	ma:k ŋa:n	DL1 B2	リュウガン (竜眼、龍眼)	longan	龙眼果	学名: <i>Dimocarpus longana</i> Lour
236.1	po: lo:	A1 A2	パイナップル	pineapple	凤梨; 地菠萝	学名: <i>Ananas comosus</i> (Linn.) Merr.
236.2	po: lo: maj	A1 A2 C	ハラミツ (波羅蜜)	jack fruit	凤梨; 树菠萝	学名: <i>Artocarpus heterophyllus</i> Lam.
237.1	ma:k tʰaj	DL1 B1	クリ	chestnut	栗子; 板栗	学名: <i>Castanea crenata</i>
237.2	ma:k tʰaj pʰja:	DL1 B1 A1	シナグリ (支那栗)	chinese chestnut	毛栗	学名: <i>Castanea mollissima</i> , 小さく甘い果実を付ける。
238	ma:k pʰaŋ	DL1 A1	桃	peach	桃子	
239	ma:k man	DL1 C	スモモ	chinese plum	李子 (泛称)	学名: <i>Prunus salicina</i>
240	ma:k lxj	DL1 A2	梨 (の実)	pear	梨子	

241	ma:k fu:ŋ	DL1 A2	ゴレンシ（五斂子）	starfruit	杨桃果	学名 : <i>Averrhoa carambola</i> L.
242	ma:k pa:ŋ	DL1 A2	ブンタン（文旦）	citrus grandis	柚子	学名: <i>Citrus maxima</i> 、中国では「柚子」と言うが、日本で言う「ユズ（柚子、学名: <i>Citrus junos</i> ）」と異なる品種である。
243	ma:k ka:m to:ŋ	DL1 A1 C	ダイダイ（橙）	bitter orange	橙子	学名: <i>Citrus aurantium</i>
244	ma:k ka:m	DL1 A1	ウンシュウミカン（温州蜜柑）	satsuma, orange	橘子; 柑子	学名: <i>Citrus unshiu</i>
245	ʔo:j	C	サトウキビ	sugar cane	甘蔗	学名: <i>Saccharum officinarum</i> 、果物として食用にする。
246	ko: p ^h am	A1 A1	ウキクサ	duckweed	浮萍	学名: <i>Spirodela polyrhiza</i>
247	ja:	A2	草	grass	草	
248	ko: ya:	A1 A2	チガヤ(茅)	cogongrass	茅草	学名 : <i>Imperata cylindrica</i> (L.) P.Beauv.
249.1	ko: ɔ̌:m	A1 B1	リュウキュウアイ（琉球藍）	<i>Strobilanthes cusia</i>	蓝靛草（大叶的）	学名 : <i>Baphicacanthus cusia</i> (Nees) Bremek、染料（藍）や健康食品などとして用いられる。葉っぱが大きい。

249.2	ko: ða:m	A1 B1	タイワンコマツ ナギ	true indigo	蓝靛草（小叶的）	学名: <i>Indigofera tinctoria</i> 、 染料（藍）として用いられ る。葉っぱは小さい。
250	ko: kwɾt	A1 DS1	ワラビ	bracken	蕨草	学名: <i>Pteridium aquilinum</i> <i>var.</i>
251	ma:k ka:k	DL1 DL1	トウシキミ（唐 檳）	chinese anise	八角	学名: <i>Illicium verum</i> Hook.f.
252	teo:p maj	DL1 C	キクラゲ	wood ear mushroom	木耳	学名: <i>Auricularia auricula- juda</i>
253	teo:p tɛɾj	DL1 C	キノコ	mushroom	菌; 菌子; 蘑菇	
254	p ^h a:j	C	綿花	cotton fiber, raw cotton	棉花	
255	ko: jat	A1 DS2	コウマ（黄麻）	<i>Corchorus capsularis</i>	黄麻	学名: <i>Corchorus capsularis</i> <i>L.</i>
256	ko: pa:n	A1 B1	ナンバンカラム シ（南蛮芋）	false nettle	苳麻	学名: <i>Boehmeria nivea</i> (L.) <i>Gaudich</i>
257	ko: ʔo:	A1 A2	アシ	common reed	芦苇	学名: <i>Phragmites australis</i>
258	maj p ^h e:w; maj me:	C A1; C A2	竹	bamboo	竹子	
259	no: maj	B1 C	タケノコ	bamboo shoot	竹笋	
260	na:m	A1	（植物の）とげ	thorn	刺（植物上の）	
261	k ^h aw	C	稲	rice	稻子	

262	kja:	C	稲の苗	rice seedling	秧	
263	ðu:ŋ	A2	(穀物の) 穂	cereal ear	穗儿	
264	kʰaw ko:k	C DL1	粳米	unhulled rice	谷粒 (米中の～)	粳のついた米。米の精製過程は粳米 (もみごめ) > 玄米 > 白米 (精米) と 3 段階に分かれる。
265	fa:ŋ	A2	稲わら	rice straw	稻草	
266	vaŋ	A1	ヒエ	tares	稗子	学名: <i>Echinochloa frumentacea</i>
267	kʰaw ɲɯɥ	C B2	トウモロコシ	corn	玉米	
268	me:k	DL2	小麦	wheat	小麦	
269	me:k ma:	DL1 C	モロコシ	great millet, sorghum	高粱	学名: <i>Sorghum bicolor</i> 、別名はコーリャン (高粱)。
270	kʰaw pʰa:ŋ	C C	粟	millet	小米	学名: <i>Echinochloa esculenta</i> (A. Braun) H. Scholz
271	tʰu:	B1	豆	bean	豆子	
272	tʰu: ðaŋ	B1 C	大豆	soybean	黄豆	
273	tʰu:dām	B1 A2	黒豆	black bean	黑豆	
274	ŋa:	A2	ゴマ	sesame	芝麻	学名: <i>Sesamum indicum</i>
275	tʰu: tɯm	B1 A1	ピーナッツ、落花生	peanut	花生	

276	p ^h jak	DS1	野菜、青物	vegetables	蔬菜	
277	p ^h jak ka:t	DS1 DL1	カラシナ	mustards	芥菜	学名: <i>Brassica juncea</i>
278	k ^h u:	A1	ナス	eggplant	茄子	学名: <i>Solanum melongena</i>
279	p ^h jak ke:ŋ	DS1 B2	エンダイブ	endive	苦马菜（苣荬菜）	学名: <i>Cichorium endivia</i>
280	p ^h jak ɣɤm	DS1 A1	ヒユ科の植物の一種	Amaranthus tricolor	苋菜	学名: <i>Amaranthus tricolor</i>
281	p ^h jak ke:p	DS1 DL1	ニラ	chinese chive	韭菜	学名: <i>Allium tuberosum</i> 、単独で[ke:pDL1]と言うことが多い。
282	tɛ ^h o:ŋ	A1	ネギ	onion	葱	
283	θo:j	B1	ニンニク	garlic	蒜	学名: <i>Allium sativum</i>
284	k ^h ɪŋ	A1	ショウガ	ginger	姜	学名: <i>Zingiber officinale</i>
285	tɛuk ke:w	DS1 A1	トウガラシ	hot pepper	辣椒	学名: <i>Capsicum annuum</i>
286	kwa:	A1	ウリ	melon; gourd	瓜	
287	tɛ ^h e: kwa:	A2 B1	冬瓜	waxgourd; whitegourd	冬瓜	学名: <i>Benincasa hispida</i>
288	kwa:	A1	カボチャ	pumpkin	南瓜	
289	p ^h e:ŋ	A1	キュウリ	cucumber	黄瓜	
290	kwø:	A1	ヘチマ	sponge gourd	丝瓜	学名: <i>Luffa cylindrica (L.) Roem.</i>
291	ðu:k ðaj	DL2 B1	ニガウリ	bitter gourd	苦瓜	学名: <i>Momordica charantia var. pavel</i>

292	ma:k kwa: ko:	DL1 A1 A1	パパイヤ	papaya; papaw; pawpaw	木瓜	学名: <i>Carica papaya</i> L.
293	θɤu ɓuŋ	A2 C	サツマイモ	sweet potato	甘薯; 红薯; 白薯	学名: <i>Ipomoea batatas</i>
294	man min	A2 A2	キャッサバ	cassava	木薯	学名: <i>Manihot esculenta</i>
295	p ^h ju:k	DL1	タロイモ	taro	芋头	
296	p ^h ju:k taj ma:	DL1 A2 C	シログワイ	water chestnut	马蹄; 荸荠	学名: <i>Heleocharis dulcis</i> (Burm. f.) Trin.
297	θɤu ku:	A2 B1	クワイ	arrowhead	慈姑	
298	ma:k ɓaw	DL1 C	ユウガオ	bottle gourd	葫芦	学名: <i>Lagenaria siceraria</i> (Molina) Standl
299	le:n ŋɤw	A2 A1	レンコン	lotus root	藕; 莲藕	
300	ma:k la:fak	DL1 A2 DS2	ダイコン	radich	萝卜	
301	d̪a:ŋ	A2	体、身体	body	身体	
302	t ^h u:	A1	頭、頭部	head	头	
303	na: pja:k	C DL1	額、前額部	forehead	额头	

304	ʔok ʔaj	DS1 B1	脳、脳髄	brain	脑髓	
305	tʰu: pʰjɤm	A1 A1	頭髮	head hair	头发	
306	na:	C	顔	face	脸	
307	ðɤw	A1	耳	ears	耳朵	
308	tʰa:	A1	目	eyes	眼睛	
309	hu:j tʰa:	B1 A1	眼球	eyeball	眼珠	
310	d̪a:ŋ	A2	鼻	nose	鼻子	
311	pa:k	DL1	口	mouth	嘴巴	
312	pʰi:n pa:k	B1 DL1	唇	lips	嘴唇	
313	mɤm	B2	あごひげ	beard	胡子	
314	pʰi:n pa:k ti:ŋ	B1 DL1 A2	上あご	upper jaw	上顎; 上颌	
315	kʰe:w	C	歯	tooth	牙齿	
316	kʰe:w va:j	C A2	臼歯	molars	大牙; 槽牙; 臼牙	
317	kʰe:w pa:k tɤw	C DL1 A1	前歯	front tooth	门牙	
318	hu:k	DL1	歯茎	gingiva; gum	牙龈; 牙床	

319	tauŋ ka:ŋ	B1 A2	下あご	chin; lower jaw	下巴; 下颌	
320	lm	C	舌	tongue	舌头	
321	lm kaj	C B1	のどちんこ、口蓋垂	uvula	小舌	
322	θa:j yo:	A1 A2	のど	throat	喉咙	
323	yo:	A2	首	neck	颈; 脖子	
324.1	ʃa:m yo:	B1 A2	首の後ろ側	back neck	后颈	
324.2	ðaŋ ma:	A2 A1	うなじ、首すじ	nape	后颈窝	
325	ʃa:	B1	肩	shoulder	肩膀	
326	laŋ	A1	背中	back	背	
327	ʔɤk	DS1	胸	chest	胸膛; 胸脯	
328	ðɔk ðe:	DS2 C	腋の下	armpit	腋下	
329	nu:	B1	乳房	breast	乳房	
330	to:ŋ	C	腹	belly	肚子	
331	dɔk dɤj	DS1 A2	へそ	navel, belly button	肚脐	

332	θa:j dʊ:	C A2	へその緒	umbilical cord	脐带	
333	ða:ŋ	A2	腰	waist	腰	[ji:wA1]とも言う。
334	kʰe:n	A1	腕	arm	胳膊; 臂	
335	kɔk θo:k	DS2 DL1	ひじ	elbow	肘	
336	mɯɥ	A2	手	hand	手	
337	kja:ŋ pa: mɯɥ	A1 B1 A2	掌 (てのひら)	palm	手心	
338	lɔk mɯɥ	DS1 A2	(手の)指	finger	手指	
339	me:mɯɥ	A2 A2	(手の)親指	thumb	拇指	
340	lɔk mɯɥ taw	DS1 A2 A2	人さし指	index finger	食指	
341	ljap mɯɥ	DS2 A2	指の爪	fingernail	指甲	
342	kwi:n	A2	握りこぶし	fist	拳头	
343	kʰa:	A1	足	foot	脚	
344	pa:ŋ kʰa:	B1 A1	足の裏	sole, foot bottom	脚掌; 脚板	
345	θɯn kʰa:	C A1	踵 (かかと)	heel	脚后跟; 脚跟	
346	pɯw kʰa:	A1 A1	踝 (くるぶし)	ankle	脚踝; 踝子骨	
347	lɔk kʰa:	DS1 A1	足の指	toes	脚趾; 脚指头	
348	tʰu: kʰaw	A1 B1	ひざ	kneecap; knee	膝盖	

349	k ^h a:	A1	足（全体）	leg	腿	[koŋB1]とも言う。
350	kɤm	B1	尻、臀部	hips, buttocks, gluteal region	屁股	
351	ma:k t ^h am	DL1 A1	辜丸	testicle	辜丸	
352	θim taw	A1 A2	心臟	heart	心脏	[θim A1]単独では「こころ」を指す。
353	pɤt	DS1	肺(臓)	lung	肺	
354	tap	DS1	肝臓	liver	肝	
355	ɸɤj	A2	胆嚢	gall bladder	胆	
356	ma:k ji:w	DL1 A2	腎臓	kidney	肾; 腰子	
357	to:ŋ	C	胃	stomach	胃	漢語の「胃 wèi」からの借用語。
358	θaj	C	腸(全体)	bowel	肠子	
359	θaj ke:	C A1	大腸	large intestine	大肠	直訳は「古い腸」。
360	ji:n	A2	筋	muscle	筋	
361	lu:t	DL2	血、血液	blood	血	「lu:t(血) ɸa:j (死ぬ)」(死んだ血)は「うっ血」を指す。
362	na:ŋ nu:	A1 C	皮膚	skin	皮肤	直訳は「(人間の)肉の皮」。

363	dɔk	DS1	骨	bone	骨头	
364	dɔk ʰe:	DS1 C	ろっ骨	rib; costa	肋骨	
365.1	tʰam	A1 A1	陰茎、ペニス	penis	男阴; 阴茎	
365.2	vaj	A2	男性器	male genital organ	男性生殖器	
366.1	pa:k hi:	DL1 A1	(女性器の)外陰部	vulva	女阴; 阴蒂	
366.2	hi:	A1	女性器	female genital organ	女性生殖器官	
367	mɔk	DS2	鼻水	nasal mucus	鼻涕	
368.1	na:j	A2	唾液、つば	saliva	口水	
368.2	na:j ɔu:	A2 B2	よだれ	drool; drivel	口水	無意識に垂れる唾液、よだれが垂れる。
369	tʰu:	B1	汗	sweat, sudor	汗	
370	kʰi:	C	大便	faeces; excrement	屎	
371	ne:w	B2	尿、小便	urine	尿	
372	twat	DS1	屁	fart, breaking wind	屁	
373	maj	B1	ほくろ	nevus; mole	痣	
374	kɔn tʰa:j	A2 A1	死体	corpse	尸体	
375	ɲaw	B1	しわ	wrinkles	皱纹	
376	kɔŋ tɕo:	A1 C	父方の曾祖父	(paternal) great grandfather	曾祖父	

377	po: tɕo:	A2 C	父方の曾祖母	(paternal) great-grandmother	曾祖母	
378	kɔŋ	A1	父方の祖父	(paternal) grandfather	祖父	
379	po:	A2	父方の祖母	(paternal) grandmother	祖母	
380	po:me:ʔo:k	B2 B2 DL1	父母	parents	父母	
381	po:ʔo:k	B2 DL1	父	father	父亲	[la:wC ke:B1]とも言う。
382	me:ʔo:k	B2 DL1	母	mother	母亲	[me:B2 ma:B1]、[la:wC ja:B2]とも言う。
383	po:me:	B2 B2	夫婦	husband and wife, married couple, man and wife	夫妻; 夫妇 (他称, 对称)	
384	po:	B2	夫	husband	丈夫	
385	me:	B2	妻	wife	妻子	
386	; pxj ɬa:w	B2 B1	兄	elder brother	兄; 哥哥	[ko:A1]とも言う。。
387	me:θa:w	B2 C	兄嫁、嫂	elder brother's wife	嫂子	
388	no:ŋ ɬa:w	C B1	弟	younger brother	弟弟	
389	no:ŋ lu:	C A2	弟の嫁	sister-in-law(younger brother's wife)	弟媳	
390	pa:; ʔa:	C A2	兄弟の妻、相嫁	wives of brothers	妯娌	
391	pxj no:ŋ ɬa:w	B2 C B1	兄弟	brother	兄弟	
392	pxj θa:w	B2 A1	姉	elder sister	姐姐	[tɕe:A1]とも言う。。
393	no:ŋ θa:w	C A1	妹	younger sister	妹妹	

394	lok ɬa:w	DS1 B1	息子	son	儿子	俗な言い方では[lokDS1 pja:]と言う。
395	lok lu:	DS1 B2	息子の妻、嫁	daughter-in-law	儿媳	
396	lok θa:w	DS1 A1	娘	daughter	女儿	
397	lok kʰu:j	DS1 A1	娘の夫、婿	son-in-law	女婿	
398.1	la:n	A1	孫（男女問わず）	grandchild	孙（不分性別）	
398.2	la:n ɬa:w	A1 B1	（男の）孫	grandson	孙子	
398.3	la:n θa:w	A1 A1	孫娘	granddaughter	孙女	
399	lok lm	DS1 C	ひ孫	great-grandson; great-grandchild	曾孙	
400	po: je:	B2 C	伯父（父の兄）	father's elder brother; paternal uncle	伯父	
401	pa:	C	伯母（父の兄の妻）	wife of father's elder brother; aunt-in-law	伯母	
402	ʔa:w	B1	叔父（父の弟）	father's younger brother; paternal uncle	叔父; 叔叔	
403	teʰam	C	叔母（父の弟の妻）	wife of father's younger brother; aunt-in-law	叔母; 婶子	
404	la:n ɬa:w	A1 B1	甥（兄弟の息子）	nephew	侄儿; 侄子	

405	pa:	C	伯母（父の姉）	father's elder sister (married); paternal aunt	姑母[父之姐]	
406	je:	C	伯父（父の姉の夫）	husband of paternal aunt; uncle-in-law	姑父[父姐之夫]	
407	mu:	B1	叔母（父の妹）	father's younger sister(married)	姑母[父之妹]	
408	ko: tɛu:ŋ	A1 C	叔父（父の妹の夫）	the husband of one's father's younger sister paternal aunt; uncle-in-law	姑父[父妹之夫]	
409	pa:	C	伯母（母の姉）	mother's elder sister; maternal aunt	姨母[母之姐]	
410	loŋ kʰu:j	A2 A1	叔父（母の姉の夫）	husband of maternal aunt; uncle-in-law	姨夫[母姐之夫]	
411	na:	B2	叔母（母の妹）	mother's younger sister; maternal aunt	姨母[母之妹]	
412	na: kʰu:j	B2 A1	叔父（母の妹の夫）	husband of maternal aunt; uncle-in-law	姨父[母妹之夫]	
413	kɔŋ ta:	A1 B1	外祖父	(maternal) grandfather	外祖父; 外公	
414	po: ta:j	A2 B1	外祖母	(maternal) grandmother	外祖母; 外婆	
415	loŋ	A2	伯父（母の兄）	mother's elder brother; maternal uncle	舅父[母之兄]	
416	fu:	C	叔父（母の弟）	mother's younger brother; maternal uncle	舅父[母之弟]	

417	pa:	C	叔母（母の兄の妻）	wife of maternal uncle; aunt-in-law	舅母[母兄之妻]	
418	na:lu:	B2 A2	叔母（母の弟の妻）	wife of maternal uncle; aunt-in-law	舅母[母弟之妻]	
419	la:n va:j θe:ŋ	A1 B2 A1	甥（姉妹の息子）	sister's son; nephew	外甥	
420	la:n va:j θe:ŋ	A1 B2 A1	外孫（娘の息子）	daughter's son (grandson)	外孙	
421	kɤn	A1	人、人間	human being	人	
422	t o:ŋ kja:	A1 A1	主人（客に対する）	master	主人	
423	kʰe:k	DL1	客、ゲスト	guest	客人	
424	tu:j po:	A2 B2	男性	man	男人	
425	tu:j me:	A2 B2	女性	woman	女人	
426	tʰu: ma:	A1 C	若者	young people	年轻人	
427	θa:w	A1	少女、女の子	girl	少女	
428	ʃa:w	B1	少年、男の子	boy	男青年	
429	me: mo:j	B2 A2	仲人	matchmaker	媒人	
430	lɔk ʔe:n ʔi:	DS1 A2 A1	赤ちゃん	baby	婴儿	
431	lɔk ʔe:n	DS1 A2	子ども	child	小孩	

432	po: maj	B2 A2	男やもめ	widower	鰥夫	
433	me: maj	B2 A2	やもめ	widow	寡妇	
434	lok pja:	DS1 C	孤児	orphan	孤儿	
435	hjo: θɿŋ	A2 B1	学生	student	学生	
436	θaj fɿw	B1 B2	師匠、親方、特殊な技能を持つ人に呼びかける時の敬称	master of a trade	师傅	
437	paŋ jaw	A2 C	友達	friend	朋友	
438	kʰo:j	C	召使い、使用人	servant	奴婢	
439	la:w tɕu:ŋ maj	C B1 C	大工	carpenter	木匠	
440	la:w vɿn ljak	C C DS1	鍛冶屋、蹄鉄工	blacksmith	铁匠	
441	ʔu:k	DL1	ばか、愚か者	fool; simpleton	傻子	[kɿnA2 ʔauC] あるいは [paŋA2 teʰwat] とも言う。
442	ki:ŋ taw	A2 B2	泥棒	thief	贼	「万引き、スリ」を [la:wC lakDS2] と言う。
443	vu: taj	A2 B1	皇帝	king emperor	皇帝	
444	la:w taw	C B2	官僚	officer bureaucrat	官	[kwanA1] とも言う。
445	pmj	A1	兵士	soldier	兵	

446	kʰi:n tɕuŋ	A2 C	庶民	people	百姓	
447	ðu:n	A2	家屋	house	房屋	
448	θaw	B1	かまど	kitchen range	灶	
449	kɪŋ	A2	三脚	tripot	三脚架	
450	tɕn ya:	A2 A2	あばら屋	hut	茅草房	
451	θu:n	A1	庭、庭園	vegetable garden	园子	
452	laŋ mo:	B2 A2	牛の囲い	cattle pen	牛栏	
453	yo:k mɔw	DL1 A1	豚小屋	pigsty	猪圈	
454	ðu:ŋ nɔk	A2 DS1	鳥の巢	bird's nest	鸟窝	
455	ðo:ŋ kaj	B1 B1	鶏舎	chicken coop	鸡笼	
456	lja:ŋ	A2	梁（はり）	beam	梁	
457	θi:w	A1	柱	pillar	柱子	
458	ɸwaj	A2	階段	upper storey	楼	
459	tɕw	A1	ドア、門	door	门	
460	ho:j	A1	石灰	lime	石灰	
461	ŋwa:	C	かわら	tile	瓦	

462	tei:n	A1	レンガ	brick	砖	
463	ji:w ho:j	A2 A1	石灰窯	lime kiln	窑 (石灰窑)	石灰石 (炭酸カルシウム) の焼成によって生石灰を生産する窯。
464	teɪŋ	A2	壁	wall	墙	
465	k ^h a: lo:	A1 B2	道、道路	road	路	
466	te ^h e:	A1	車	car; vehicle	车	
467	taw	A1	おみこし、椅子 駕籠	sedan (chair)	轿子	箱型の駕籠。棒を渡し、その前後を人が担ぐ。
468	ki:w	A2	橋	bridge	桥	
469	lu:	A2	船	boat; ship	船	
470	ka:w lu:	A1 A2	いかだ、浮き台	raft	木排	
471	θu: pi:w	C A1	単衣	unlined garment	单衣	
472	θu: to:ŋ	C B2	綿入れの衣服	cotton-padded clothes	棉衣	
473	θu: kja:k	C DL1	打ち衣 (袖なし)	lined jacket	夹衣	
474	pu:ŋ	A2	蓑 (みの)	rain cape of leaves	蓑衣	
475	k ^h e: n θu:	A1 C	(衣服の) 袖	sleeves	袖子	

476	naw	C	ボタン	button	扣子	
477	taj	B2	ポケット、袋	pocket	口袋	
478	k ^h wa:	B1	ズボン	trousers	裤子	
479	θaj k ^h wa:	A1 B1	ベルト	waist belt	裤带	
480	kwø:n	B2	スカート	skirt	裙子	
481	vɔj kwɔn	A2 A2	エプロン	apron	围裙	「食事用ミニエプロン」 を [ta:pDL1 ʔɤkDS1] と 言う。
482	ɣa:j	A2	靴	shoes	鞋	
483	ɣa:j fa:ŋ	A2 A2	草鞋（わらじ）	straw sandals	草鞋	
484	ɣa:j k ^h ok	A2 DS1	木履（きぐつ、ぽ っくり）	wooden clogs	木板鞋	
485	p ^h a:j	C	布	cloth	布	
486	ma:t	DL2	靴下	socks	袜子	
487	ɲɔɥ	B2	真珠	pearl	珠子（装饰品）	「真珠の首飾り」は[θo:jC] と言う。
488	p ^h a:	C	布団	quilt	被子	
489	fok	DS1	むしろ、ござ	mat	席子	
490	ma:n t ^h u:	A1 A1	枕	pillow	枕头	

491	θxt	DS1	蚊帳	mostquit net	蚊帳	
492	tɤw	A2	帽子	hat	帽子	
493	ma:w pap te ^h e:	B2 DS1' A2	笠	bamboo hat	斗笠	笹の葉と竹で編む。形状は大体丸型で、頭部はボール型のものと尖ったものがある。
494	p ^h jo:k mɤu	DL1 A2	指輪	ring	戒指	
495	kim mɤu	A2 A2	腕輪、ブレスレット	bracelet	手鐲	
496	θo:j θɤw	A2 A1	イヤリング、耳飾り	earring	耳环	
497	t ^h u:j	C	お椀、茶碗	bowl	碗	
498	θiŋ		食器棚	kitchen cupboard	碗柜	
499	tɤw	B1	箸	chopsticks	筷子	
500	he:k	DL1	鍋	frying pan	锅（炒菜锅）	料理を炒める時に使う鍋やフライパンなどを指す。
501.1	ti:ŋ ko:	C B1	鼎の鍋	cooking vessel with two loop handles	鼎锅	鉄製。
501.2	mo:	C	鼎の鍋	cooking vessel with two loop handles	鼎锅	アルミ製。

502	fɯn	A2	薪	firewood	柴	
503	p ^h a:	A1	鍋のふた	cover	锅盖	
504	hu:	A2	水瓶、やかん	kettle; pot	壺	取っ手と口が付いた容器。
505	pi:ŋ	A2	瓶、ボトル	bottle	瓶子	瓶、ボトルに入ったものを数える助数詞としても使う。例えば、「水3本」は「θa:mA1 (三) pi:ŋA2 (瓶、ボトル) namC (水)」と言う。
506.1	ti:p	DL2	小皿	small dish	碟子	
506.2	pa:n	A2	皿	dish	碟子; 盘子	
507	pe:w	A2	ひしゃく	wooden dipper	瓢 (水瓢)	
508.1	ku:n	B1	壺、缶	jar; jug	罐子	アルミ缶等に似た形状の (サイズはもっと大きい) 口と底が同じ大きさの容器。壺や缶に入った物を数える助数詞としても使う。

508.2	pʰi:t	DL1	壺	jar; jug	罐子	口は狭く腹が大きい容器。酒、漬物などを保存するのに用いる。
509.1	ka:ŋ	A1	大甕	large jar; vat	缸	口が広く背がやや高い容器。水、食糧などを保存するのに用いる。
509.2	ʔa:ŋ	B1	甕	large jar; vat	缸	サイズは大甕より小さく、底が口よりも広い容器。
510	pɤn	A2	盥（たらい）	basin	盆	
511	tɔŋ	C	バケツ	water bucket	桶	
512	ðɤŋ	A1	篩（ふるい）	sieve; sifter	筛子	竹、笹などを細かく格子状に編んで作った農具。粉または粒状のものをその大きさによって選り分けるのに用いる。
513	dʊŋ	C	箕（み）、唐箕	winnowing basket	簸箕	穀類を風で煽って殻、塵などを取り除く農具。
514	pja:	C	包丁	kitchen knife	菜刀	
515	mɪk	DS1	ナイフ	knife; dagger	小刀	
516	kʰi:ŋ	A1	まな板	chopping block	砧板	
517	tɕo:ŋ	A2	机、テーブル	table; desk	桌子	
518	taŋ	B1	腰かけ	stool; bench	凳子	

519	taŋ kwɔt	DS1	(背もたれのあ る) 椅子	chair	椅子	
520	dɯaj	A2	はしご	ladder	梯子	
521	θa: pat	A1 DS1	竹ぼうき	broom	掃帚	
522.1	θa:ŋ	A2	床(とこ)、寝台、 ベッド	bed	床	
522.2	mo:ŋ	C	床(とこ)、寝台、 ベッド	bed	床	522.1 番と同義。
523	kwxj	B2	箆笥	wardrobe	衣櫃	
524	θu:ŋ	A1	箱、トランク	chest; box; case	箱子	
525.1	lo:	A2	(竹などで編ん だ) かご	large bamboo basket	簍筐	丈夫で分厚く、隙間がほ とんどない。525.3 番より サイズが大きい場合があ る。細かい物を入れる農 具として使用される。
525.2	pi:t	DL2	(竹などで編ん だ) かご	large bamboo basket	簍筐	隙間があり、やや大きめ な物(トウモロコシ、カボ チャなど)を入れる農具 として使用される。
525.3	teaw	C	(竹などで編ん だ) かご	large bamboo basket	簍筐	隙間がほとんどなく、お 米や粉類等、細かい物を

						入れる農具として使用される。
526	ɸu:k	DL1	竹筒	bamboo tube	竹筒	
527	ki:ŋ	B1	鏡	mirror	镜子	魔除けのために、鏡と鋏を家の戸の上に掛ける習慣がある。
528	kɤn θu:j na:	A1 B1 C	タオル	towel	毛巾	
529	vɤj	A1	櫛	comb	梳子	
530	θo:	A1	すき櫛	fine-toothed comb	篦子	目の細かい櫛。
531	vɤj	A2	扇子、うちわ	fan	扇子	
532	kjuu:ŋ	C	傘	umbrella	伞	
533	tɕ ^h a:t	DL1	刷毛、ブラシ	brush	刷子	
534	tɕ ^h at	DS1	ペンキ	paint; lacquer	油漆	
535	ka:w	A1	ゴム	rubber; glue	胶	
536	k ^h ɪm	A1	針	needle	针	
537	maj	A1	糸	thread	线	
538	θaj	A1	帯、ベルト	belt; ribbon; band	帶子	
539	ke:w	A2	鋏（はさみ）	scissors	剪子	

540	teu:k	DL2	紐	string	绳子	
541	teu:k jat	DL2 DS2	麻縄	ropes	麻绳	
542	la:n	A1	艫 綱（ともづな）、もやい	cable	缆	船尾にあつて、船を陸に繋ぎ止める綱。
543	ɬa:k ʔi:n	DL1 A2	煙管、パイプ	pipe	烟斗	
544	la:j ho:	A2 A1	マッチ	matches	火柴	
545	txŋ	B1	照明、電灯	lamp	灯	
546	txŋ loŋ	A1 A2	ちょうちん	lantern	灯笼	
547	la:p	DL2	ろうそく	candle	蜡烛	
548	taw	C	つえ	walking stick	拐杖	
549	θa:w	C	竹竿	bamboo pole	竹竿	
550	teəŋ	B2	はかり	steelyard	称	
551	ðwa:	C	錠	lock	锁	
552	θwɔj ðwa:	A2 C	カギ	keys	钥匙	
553	ʔa:n ma:	B1 C	馬の鞍	saddle	马鞍	

554	pi:n	A1	むち	whip	鞭子	
555	tɕu:k va:j	DL1 A2	手綱	reins	牛绳	
556	ʔe:k	DL1	牛のくびき	yoke	牛轡	
557	kɔŋ	A1	弓	bow	弓	
558	tei:n	B1	矢	arrow	箭	
559	ma:k ðo:k	DL2 DL1	槍	lance; spear	茅	
560	pʰa:w	B1	鉄砲	gun	枪	
561.1	pʰa:w ti:n	B1 C	ピストル	pistol	手枪	561.1 番とほぼ同義であるが、短い銃を指す場合がある。
561.2	po:k	DL2	ピストル	pistol	手枪	
562	θu: ta:n	A1 C	弾丸、銃弾	bullet	子弹	
563	tʰaj	A1	犁（すき）	plough	犁	牛、馬に引かせて犁先で地中を切り進み、へら（撥土板）で土塊を返して砕く農具。

564	pa:k t ^h aj	DL1 A1	犁の刃	ploughshare	犁铧	
565	p ^h ur:	A1	熊手	harrow	耙子	
566	ku:k	DL1	鋤(すき)、鍬(くわ) に似た農具	hoe	锄头	
567	ko:n	C	水車	waterwheel	水车	
568	ka:n	A2	天秤棒	carrying pole	扁担	
569	pja: k ^h o:	C A1	なた	knife	柴刀	
570	li:m	A2	鎌	sickle	镰刀	
571	ðɔk	DS2	臼	mortar	臼	
572	mu:	B2	挽き臼	mill	磨	円形の下臼(雄臼)の上で上臼(雌臼)を回転させ、上臼の穴から供給される大豆などを砕く道具。
573	θa:k	DL1	杵	trip-hammer (for husking rice)	碓	
574	mu: nam	B2 C	水力を利用した挽き臼	water-powered roller	水碾	
575	te ^h e: ʔi:		紡ぎ車、糸車	spinning wheel	纺纱车	

576	tʰok	DS1	織機	loom	织布机	
577	ðoŋ pja:		魚籠、魚を入れる容器	fish basket	鱼篓	
578	va:ŋ pja:	A1 A1	漁網	net	渔网	
579	ðjat	DS1	釣り針	hook	钓钩	
580	fɤw	B1	斧	axe	斧头	
581	kɯɥ	B1	鋸 (のこぎり)	saw	锯子	
582	pʰa:w	B1	鉋 (かんな)	plane	刨子	
583	θi:w	B1	鑿 (のみ)	chisel	凿子	
584	tɕwɯj	B1	錐 (きり)	awl	锥子	
585	tɕa:w	B1	やすり	file	锉子	
586	tɕʰwɯj	A2	金づち、ハンマー	hammer	锤子	
587	kɯm	A2	ペンチ、やつとこ	pincers	钳子	

588	fɯŋ θja:ŋ	B1 B1	ふいご	bellows	风箱	
589	te:ŋ	A1	釘	nail	钉子	
590	pe:n	C	板	plank	板子	
591	pʰjo:k	DL1	竹ひご	thin bamboo strip	篾条	
592	fauŋ	B2	市、市場	country fair	市集（圩）	三日に一回、定期市が開かれる。
593	ka:j	A1	街	street	街	
594	ŋɣn	A2	お金、金銭	money; cash	钱	
595	lu: j	A1	銅銭	copper coin	铜钱	
596	li θi:	C A2	利息	interest	利息	
597	tɕʰu:j	B2	税金	tax	税	
598	pɿt	DS1	筆、ペン	pen	笔	
599	θa:	A1	紙	paper	纸	
600	mɿk	DS2	墨	ink	墨	
601	ji:n mək	B2 DS2	硯	inkstone	砚台	
602	jan	B1	印刷する	seal	印	

603	tei:θɯɯ	B2 A1	字、文字	character	字	
604	θɯɯ	A1	本	book	书	
605	tu:ve:k	A2 DL2	絵	picture	画	[tu:A2 hwa:C]とも言う。
606	θɯɯ lik	A1 DS1	暦、カレンダー	almanac	通书（历书）	
607	θɯɯ	B1	手紙	letter	信	
608	θu:n pu:n	B1 A2	算盤	abacus	算盘	
609	te ^h rk	DS1	物差し	rule; ruler	尺子	
610	kɯj	A2	旗	flag	旗子	
611	kɯj	A2	囲碁、将棋など	chess	棋	
612	ko:	B1	歌、歌謡	song	歌	
613	θɯj	B1	民謡	folk song	民歌	
614	te ^h u:ŋ	B1	劇、芝居、曲芸	play	戏	
615	ko: θaj	C B2	物語、民話	story	故事	
616	teuŋ	A1	時計	clock	钟	
617	li:ŋ	A2	鈴	bell	铃	

618			シンバル	cymbals	钹	
619	la:	A2	銅鑼	gong	锣	
620	kjo:ŋ	A1	太鼓	drum	鼓	
621	kjo:ŋ tɔŋ	A1 A2	青銅製の太鼓	bronze drum	铜鼓	青銅で作られた片面の太鼓である。
622			二胡	a two-stringed bowed instrument	二胡	
623	px: kɪŋ	A2 B1	北京（地名）	Beijing	北京	中華人民共和国の首都である。
624	tɕʰi:ŋ	A2	街、都市	city; town	城	
625	kwa:ŋ θi:	A1 B1	広西（地名）	Guangxi	广西	広西チワン族自治区の略称である。
626	nam ni:ŋ	A2 A2	南寧市（地名）	Nanning	南宁	中華人民共和国広西チワン族自治区の首府である。歴史的な簡称は邕（ヨウ）だが、近年緑化が進んでいることから緑城とも言われる。
627	ɸa:n	C	村、村落	village	村子	
628	tɔŋ	B2	平地	flat land between	垌场	

629	kɤn kʰe:k	A2 A1	漢民族	Han nationality	汉族	
630	kɤn tʰo:	A2 C	チワン族	Zhuang nationality	壮族	
631	θi:n	A1	神	god; deity	神	
632	pʰɤj	A1	鬼	ghost	鬼	
633	kʰwan	A1	魂	soul; spirit	魂魄	
634	mi:w	B2	廟	temple	庙	
635	tʰa:	A2	塔	pagoda	塔	
636	mo:	B2	墓	grave; tomb	坟墓	
637	ji:ŋ	A1	線香	incense	香 (香燭)	
638	pɪŋ	B2	病氣	disease	病	
639	kaw ðaj	C A2	マラリア	malaria	虐病	
640	kʰɤn tʰo:k	C DL1	天然痘	smallpox	天花	
641	haw	C	ハンセン病	leprosy	麻風	
642	tʰa: fa:ŋ kaj	A1 A2 B1	夜盲症	night blindness	夜盲	
643	ða:t	DL1	傷跡	sore; skin ulcer	疤	
644	no:ŋ	A1	膿	pus	脓	
645	ðt	DS1	疥癬	scabies	疥瘡	

646	kja:k lɤj	DL1 A2	白癬	ringworm	癬	
647	tɕʰɪt pa:ŋ	DS1 C	あせも	prickly heat	痱子	
648	yo: ʔa:j	A2 A2	甲状腺腫	goitre	甲状腺肿（大脖子病）	
649	ða:	B2	悪疫、疫病	pestilence	瘟疫（指禽畜）	
650	ja:	A2	薬	medicine	药	
651	kʰaw	C	米	rice	米	
652	kʰaw nu:	C A1	もち米	glutinous rice	糯米	
653	nam laj	C A2	重湯	rice water	米汤	
654	nu:	B1	母乳、ミルク	milk	奶水	
655	kʰaw	C	ご飯	meal; (cooked) rice	饭	
656	kʰaw maj	C B1	お焦げ	rice crust	锅巴	
657	tɕuk teaw	DS1 C	朝食	breakfast	早饭	
658	ŋa:j	A2	昼食	luntch	午饭	

659	pjaw	A2	夕食	supper	晚饭	
660	teok	DS1	粥	congee	粥	
661	fan	C	ビーフン、米粉 麺	rice-flour noodles	米粉	米粉を主原料にした麺である。
662	mi:n	B2	麺	noodle	面条	小麦粉を主原料にした麺である。
663	ji:	A2	餅	glutinous rice cake	糰粑	もち米で作った餅である。
664.1	k ^h aw tɯm	C C	粽	a pyramid-shaped dumpling made of glutinous rice wrapped in bamboo leaves	粽子	もち米、緑豆、豚肉などを原料にし、バナナの葉あるいは大きな葉っぱで包んで、お酒、五香粉、塩などの調味料を入れて作られる。日本の「あくまき」に似た円筒形のものを作るが、サイズは40センチメートル程度までの巨大な「枕の粽」もある。なお、端午の節句に草木灰の灰汁で作るあくまきもある。

664.2	k ^h aw tɯm ɗaŋ	C C B1	灰汁巻き、あく まき	alkaline cake wrapped in bamboo leaves	碱粽	
665	ka:w	A1	糕、こなもち	cake	糕	
666	pe:ŋ	C	ビスケット、ク ッキー	cooky, biscuit	饼	
667	pjak	DS1	野菜	vegetable; dishes	菜	
668	maj	B1	肉	meat	肉	
669	maj tɕi:n	B1 A2	赤身肉	lean meat	瘦肉	
670	maj la:p	B1 DL2	燻製した肉	cured meat	腊肉	
671	la:w	A2	油	oil	油	
672	la:w mɯw	A2 A1	豚脂	lard; pork fat	猪油	
673	la:w va:j	A2 A2	牛脂	beef fat	牛油	
674	la:w p ^h ak	A2 DS1	(ラードを作る のに用いる) 豚 の腹部の厚い板 状の脂肪	leaf fat	板油	
675	kju:	A2	塩	salt	盐	
676	mɯj	B1	酢	vinegar	醋	
677	law	C	酒	wine; liquor; spirits	酒	
678	law va:n	C A1	甘酒	glutinous rice wine	甜酒	

679	law ja:	C A2	薬酒	yeast for brewing rice wine	酒药	
680	tʰu:ŋ	A1	砂糖	suger	糖	
681	tʰu:ŋ pʰjɤŋ	A1 C	蜂蜜	honey	蜂蜜	
682	ta: fɤw	A2 B2	豆腐	bean curd	豆腐	
683	ðaj	B1	卵	egg	蛋	
684	mjo:n ðaj	A2 B1	(卵の) 黄身、卵黄	yolk	蛋黄	
685	tɕa:	A2	お茶	tea	茶	
686	ʔi:n	A2	タバコ	cigarette	烟	
687	ðam	A2	もみ殻	chaff	细糠	
688	ðe:p	DL2	米の外皮	husk (of rice)	谷壳	
689	ki:	C	糞	excrement; faeces	粪	
690.1	kʰu:n	B1	肥料	fertilizer	肥料	動物の糞で出来た有機肥料である。
690.2	fɤj ljaw	A2 B1	肥料	fertilizer	肥料	化学肥料である。
691	pjaw	B2	草木灰	plant ash	草木灰	草や木を燃焼させた後の灰である。 カリウムと石灰分を含む肥料になる。

692	na: jɔw	B1 A2	(搾油後の種子 を円形に固めた 肥料・飼料用 の) 油かす	peanut cake	油枯(油餅)	
693	ŋauŋ	B2	澱、沈澱物	sediment	沉淀物	
694	de:t	DL1	太陽の光	sunlight	阳光	
695	ŋaw	A2	影、人影	shadow	影子	
696.1	θɔ:	A2	色、色彩	colour	颜色	
696.2	θak	DS1	色、色彩	colour	颜色	
697	ðo:j	A2	足跡	footprint	脚印	
698	va:	B2	言葉	language; words	话	
699	hi:ŋ	A1	音、声	sound	声音	
700	pʰan	A1	夢	dream	梦	
701	θi:ŋ	B1	姓、名字	surname	姓	
702.1	hu:	B1	物	thing	东西	
702.2	toŋ θaj	A1 A1	物	thing	东西	

703.1	kɔŋ tɕoː	B1 A2	仕事	job	工作	農作業を除いた一般的な仕事。
703.2	kɔŋ	A1	仕事、農作業	job	工作	肉体労働を指す。
704	ðeːn	A2	力、体力	strength	力气	
705	paːn faː	C A2	方法	way; measure	办法	
706	mɤj taw	B2 B2	味、味わい	taste	味道	
707	pʰjaːk	DL1	日に曝す	to sun	晒	
708	faː dɑŋ	A2	雷が鳴る	it thunders	打雷	
709.1	faː mjaɸ	C DS2	雷が落ちる	to lightning	闪电	
709.2	faː pʰeːk	C DL1	雷が落ちる	to lightning	闪电	
710	tɔk	DS1	(雨が) 降る	it rains	下 (雨)	
711	ðwiːt	DL2	びしょぬれにする	to drench	淋	
712	kʰɤn	C	(水位が) 上がる	to rise	水 (涨)	
713	lwaj	A1	(水が) 流れる	to flow	水 (流)	
714	jat	DS1	(水が) 飛び散る、跳ねる	to spatter	水 (溅)	

715	tʰu:m	C	水浸しになる、 冠水する	to flood; to inundate	水（淹）	
716	ki:t	DL1	氷結する、氷が 張る	to freeze	結（氷）	
717	tɕu:ŋ	B1	膨脹する	to expand	膨脹	
718	ve:w	B2	（唇、茶碗など の）欠けたところ、 裂け目	to break up (the upper lip)	缺（唇）	
719	va:w	B2	（包丁などの） 欠けたところ、 裂け目	to breach	（刀）缺口	
720	pʰe:k	DL1	割れる	to split open	裂开	
721	liŋ	C	転がる	to roll (down)	滾（下来）	
722	dɔ:k	DL1	朽ちる	rotten	朽	
723	tak	DS1	（物体を）断つ、 折る	to break	断（棍子断）	
724	kʰa:t	DL1	（紐が）切れる	to snap	断（绳子断）	
725	fɿw	A2	浮く	to float	浮	
726	tɕʰam	A2	沈む	to sink	沉	

727	tɔk	DS1	落ちる、落下する	to fall; to drop	掉（落下）	
728	pan	B1	回転する、ぐるぐる回る	to spin	旋转	
729	p ^h uŋ	C	ぶつかる、当たる	to run into	碰	
730.1	lɤm	C	倒れる	to fall	（树）倒下	
730.2	taw	B1	倒れる	to fall	（树）倒下	
731	kɤn	B2	崩れる、崩壊する	to collapse	崩塌	
732	ho:ŋ	A1	鳴らす	to sound	响	
733	ka:	A2	（骨が喉などに）刺さる、引っかかる	to get stuck in one's throat	鲠（骨鲠喉）	
734	lɤn	B1	（髪の毛が）抜ける	to fall off; to lose	脱发（头发掉）	
735	fɯ:t	DL2	溢れる	to spill over	溢	
736	lu:	B2	漏れる	to leak	漏（雨）	
737	tɪp	DS1'	（液体が）滴る、垂れる	to drip	滴	

738	ku:n	C	沸かす、沸騰する	to boil	沸（水开）	
739.1	ku:	C	（物を）凝り固 まらせる	to congeal	凝结	
739.2	ki:t	DL1	（物を）凝り固 まらせる	to congeal	凝结	
740	joŋ	A2	溶かす	to melt	溶化	
741	fa:t mo:t	DL1 DL1	黴びる	to go mouldy	发霉	
742	mi:ŋ	C	錆びる	to get rusty	生锈	
743	tam	A2	（体の一部が凹 凸のあるものに 触れて）嫌な気 持ちがする、傷 がつく	(of sth.hard)press against	硌（石头硌脚）	
744	ŋe:n	C	かじる、かじっ て食べる	to gnaw	啃（骨头）	
745	kʰap	DS1	咬む	to bite	咬	
746	ðo:ŋ	C	怒鳴る、喚く、が なる	to roar	吼叫	
747	ðo:n	B2	（馬が）嘶く	to neigh	（马）嘶	

748	haw	B1	吠える	to bark	吠	
749	k ^h an	A1	(鶏などが) 鳴く	to crow	(公鸡) 啼	
750	ðo:ŋ	C	(牛などが) 叫ぶ	to low	(牛) 叫	
751	ɾwa:n	A2	這う	to crawl	爬 (在地上爬)	四つん這いになって...に進む。
752	ðm	A2	飛ぶ	to fly	飞	
753	tɛɾm	B2	(ばねのように急にすばやく) 跳ぶ、はねる	to spring	(老虎) 扑	
754	ye:w	C	巻く、巻きつく	to twine	(蛇) 缠绕	
755.1	pa:j	C	(牛が泥水に体を) 浸す	to soak	(牛) 浸泡 (水)	
755.2	ma:	B1	(液体につけて) ふやかす、浸す	to soak	(东西) 浸泡 (水)	
756	na:t	DL1	(針・刺毛などで) 刺す	to sting	(蜂) 蛰 (人)	
757	ya:j	A2	糸をつむぐ	to spin	(蚕) 吐 (丝)	

758	tu:k	DL1	啄む	to peck	啄（樹）	
759.1	tɔk	DS1	（動物が子を） 産む	to give birth to; to birth	生（牛生仔）	[loŋ A2]とも言う。
759.2	θe:ŋ	A1	（子を）産む	to give birth to; to birth	生（孩子）	
760	fak	DS2	（卵を）孵す、 （卵が）孵る	to hatch	孵	
761	pi:n	B1	...に変化する	to turn into	（蛹）変（蛾）	
762	kʰɤn	C	（草を）生やす	to grow	长（长满草）	
763.1	ŋa:t	DL2	（種の）芽が出 る	to sprout	发芽（种子等）	
763.2	ʃu:t	DL1	（樹の）芽が出 る	to sprout	发芽（树木等）	
764	kʰaj	A1	花開く	to blossom	开（花）	
765	pɪn	A2	実を結ぶ	to bear (fruit)	结（果子）	
766.1	tɔk	DS1	（葉が地面に） 落ちる	to fall (leaves)	（树叶）落	
766.2	lɤn	B1	（葉が）落ちる	to fall (leaves)	（树叶）落	

766.3	lu:t	DL1	(葉が木から) 落ちる	to fall (leaves)	(树叶) 落	
767	naw	B2	腐る	to rot	(果子) 烂	
768	teɽuɿ	B2	はい、そうだ	to be; yes	是	
769	te ^h wɽj	A2	(...に) 似てい る; (ある事物・ 状; にたとえ) まるで...のよう である; あたか も...のようであ る	to be like; to resemble	像 (似)	
770	mɽj	A2	有る	to have	有	
771	po: mɽj	B2 A2	(所有・存在を 否定して) ない	not to have	没有	
772	ma:	A2	来る	to come	来	
773	pɽj	A1	行く	to go	去	
774	te:w ma:	B2 A2	帰ってくる	to come back	回来	
775	fa:n pɽj	A1 A1	帰っていく、戻 っていく	to go back	回去	
776	ʔo:k	DL1	外に出る	to go out	出	

777	k ^h a:w	C	入ってくる	to come in	进	
778	k ^h ɤn	C	上がる	to go up	上 (山)	
779	lo:ŋ	A2	下りる	to go down	下 (山)	
780	t ^h ɤŋ	A1	着く、到着する	to arrive at	到	
781	ha:	A1	間もなく...する、すぐに...する	to be going to	将要	「未来、将来」を[tɕu:ŋA1 ma: A2]と言う。
782	k ^h ɤŋ	B1	同意する、肯ずる	to agree to; to be willing to	肯	
783	je:n ʔi:	A2 B1	喜んで...する; ...する気がある; ...したがる	to be willing to	愿意	
784	ka:m	C	思いきってする	to dare	敢	
785	t ^h i:n	A1	知る	to know	知道	
786	t ^h i:n na:	A1 A2	知り合いである	to know each other; to be acquainted with	认识	
787	kɤj daj	B1 A2	覚えている、記憶している	to remember	记得	
788	lɤm	A2	忘れる	to forget	忘记	

789	njat	DS1	愛する	to love	爱	
790	df:p	DL1	かわいがる	to love dearly	疼爱	
791	θi:n	B1	信じる	to believe	信 (相信)	
792	ɲan	B2	認める	to admit	承认	
793	tʰɔŋ ʔi:	A2 C	同意する、賛成する	to agree	同意	
794	θu:ŋ ; nam	A2 ; B1	(...と)思う、考える	to think	想	
795	tu:n	B1	当てる	to guess	猜	
796	tei:k	DL1	食に卑しい、さ もしい、がつが つする	greedy for food	馋 (吃)	
797	tea:ŋ	A2	嫌がる	to dislike	嫌	
798	naw	B1	恨む	to hate	恨	
799.1	hɤj dān	B1 B1	怒る、腹を立て る	to be angry	生气	
799.2	kɪk	DS1	怒る、腹を立て る	to be angry	生气	

800	vi:n	B1	非難する、とがめる	to blame	埋怨	
801	kwa:j	B1	(責任などを) とがめる, 責める, 非難する	to blame	怪 (他)	
802	hap	DS1'	脅かす、怖がらせる	to frighten	吓唬	
803	la:w	A1	恐れる、怖がる	to fear	怕	
804	jwa:n	A2	動悸がする、びっくりする	to palpitate	惊跳	
805	pɪn pr:ŋ	A2 B2	病気になる	to fall ill	生病	
806	ja:	A2	治療する	to cure; to heal	医治	
807	ʔaj	A2	咳をする	to cough	咳嗽	
808	ða:k	DL2	吐く、嘔吐する	to vomit	呕吐	
809	θan	A2	寒くてふるえる	to shiver	发抖	
810	ða:ŋ	A2	呻く、唸る	to moan	呻吟	
811	fɔk	DS2	浮腫む	to swell	肿	
812	fa:t pa:k	DL2 DL2	気がふれる、気が狂う	to go mad	发疯	
813	tʰaj	A1	死ぬ	to die	死	

814	paŋ	A2	生きている	alive	活	
815	ʔu:n	C	(顔を)上に向ける	to face upward	仰 (头)	
816	ŋwak	DS1	うなずく	to nod	点 (头)	
817	te:m	B2	枕する	to rest the head on	枕 (枕头)	
818	ðu:	A1	笑う	to laugh; to smile	笑	
819	haj	C	泣く	to cry	哭	
820	ka:ŋ	C	話す	to speak	说 (讲)	
821.1	ya:	C	告げる、知らせる	to tell	告诉	
821.2	lɤn	B2	告げる、知らせる	to tell	告诉	
822	k ^h am	B1	尋ねる、質問する	to ask	问	
823	ta:p ʔŋ	DL1 B1	答える、返事をする	to reply	答	
824	θaŋ	B1	言いつける、指図する	to tell; to instruct	吩咐	
825	ka:w	B1	訴える、非難する	to accuse	控告	

826	te ^h o:k	DL1	(悪い事をするように) 仕向ける、扇動する、唆す	to instigate	怂恿	
827	tei:w	A1	呼びかける、呼ぶ	to call	叫	
828	tei:w	A1	大声で叫ぶ	to shout	喊	
829	te ^h u:ŋ	B1	歌う	to sing	唱	
830.1	ɲam	B2	(一人で民謡を) 歌う	to sing (a folk song)	唱 (壮歌)	
830.2	ɬɤk	DS1	(歌の掛け合いで) 歌う	to sing (a folk song) to one another	唱 (对歌)	
831	vi:n	B1	勧告する、いさめる	to advise	劝	
832	te ^h aw	B1	(幼い子供などの) 機嫌をとる、あやす	to coax	哄	
833	mja:p	DL2	騙す	to cheat	骗	
834	jam	A2	(真実・事実を) 隠す	to conceal; to hide	瞒	
835	t ^h a:n hɤj	B1 B1	ため息をつく	to sigh	叹气	
836.1	to: dā:	A2 B1	口げんかをする	to quarrel	吵架	

836.2	to: ɸjak	A2 DS1	口げんかをする	to quarrel	吵架	
837.1	da:	B1	叱る	to swear; to abuse	骂	
837.2	ɸjak	B1 DS1	叱る	to swear; to abuse	骂	
838	to:k	DL2	読む、音読する	to read	读	
839.1	po:j	C	暗記する、暗唱する	to recite (lessons)	背 (书)	
839.2	ni:n	B2	暗唱する	to recite (lessons)	背 (书)	
840	ʔa:	C	(口を) 開く	to open (mouth)	张 (嘴)	
841	hap	DS1	(口を) 閉じる	to shut (mouth)	闭 (嘴)	
842	km	A1	飲む	to drink	喝 (水)	
843.1	km	A1	(酒を)飲む	to drink (wine)	喝 (酒)	
843.2	ɸam	B1	(酒を)飲む	to drink (wine)	喝 (酒)	
844	km	A1	食べる	to eat	吃	
845	teim	A2	味わう、試食する	to taste	尝味	

846	ke:w	C	(奥歯でよく)噛む	to chew	嚼	
847.1	dʃɪn	A2	吞み込む	to swallow	吞	
847.2	tʰɪɪn	B1	丸ごとに吞み込む	to swallow	吞	
848.1	pʰu:	A2	(唾を)吐く、吐き出す	to spit	吐 (口水)	
848.2	ɣa:j	A2	(物を)吐き出す	to spit	吐 (东西)	
849	ʔɪm	A2	口に含む	to keep in the mouth	含	
850	km kʰu:	A1 A2	いびきをかく	to snore	打鼾	
851	ha:w lɪm	A1 A2	あくびをする	to yawn	打呵欠	
852	ʃu:n	C	口をすすぐ、うがいをする	to rinse; to gargle	漱 (口)	
853.1	pʰu:	A2	噴出する、湧出する	to spurt	喷 (水)	
853.2	pʰɪn	C	(水を)噴き出す	to spurt	喷 (水)	
854	dʃwat	DS1	吸う、吸入する	to smoke; to inhale	吸 (烟)	
855	ʔi:t	DL1	伸ばす	to stretch	伸 (舌头)	
856	tɛɣp	DS1	接吻する	to kiss	吻	

857	lɤj	A2	舐める	to lick	舔	
858	tɕʰak ʔu:k	DS1 DL1	しゃっくりをする	to hiccup	打噎	
859	le:	A2	読む、見る	to read; to see	看 (书)	
860	han	A1	見える、会える	to see	见	
861	pi:m	B1	臨む	to look over	望	
862	kaw	B1	見開く、目を大きく見張る	to stare	瞪	
863	jap	DS1	瞬く	to blink	眨	
864	lwxj	A1	(涙を) 流す	to shed (tears)	流 (泪)	
865	mja:w	A2	狙いをつける	to aim	瞄准	
866	ti:ŋ	B2	聞く	to hear	听	
867.1	ti:ŋ han	B2 A1	聞こえる	to hear	听见	
867.2	ti:ŋ tʰi:n	B2 A1	聞き取れる	be able to hear	听懂	
868	tɕʰɪp	DS1	嗅ぐ	to smell; to sniff	闻	
869	fɯ:	B1	鼻をかむ	to blow (one's nose)	擤 (鼻涕)	
870	naŋ	A2	座る	to sit down	坐	
871	ʔi:t pak	DL1 A2	休む、休息する	to rest	休息	

872	maj no:n	A2 A2	居眠りをする	to doze off; to snooze	打瞌睡	
873	no:n	A2	眠る	to sleep	睡	
874	no:n dfak	A2 DS1	ぐっすり眠っている	to sleep deeply	睡着	
875	p ^h an han	A1 A1	夢を見る	to dream	做梦	
876	θi:ŋ	C	目を覚ます	to wake up	醒	
877	maw	A2	(酒に) 酔う	drunk	醉	
878	tɤn	B1	起きる、起床する	to get up	起床	
879	kɤm	C	屈む、からだを前方に折り曲げる	to bow; to bend down	弯腰	
880	hwat	DS1	(人・動物の肢体が) 丸くなる	to roll up	蜷缩	
881	jɤw	B1	住む	to live; to dwell	住	
882	nak	DS2	止まる、停止する	to stop	停	
883.1	daŋ	B1	待つ	to wait	等候	
883.2	te:	B1	待つ	to wait	等候	
884	ko:	A2	隠れる	to hide (oneself)	躲	

885	ko:	A2	(雨・風など自分に不利なものを) 避ける	to seek shelter from the rain	避雨	
886	pi:n	A1	登る	to climb	爬 (树)	
887	kwa:	B1	渡る	to cross; to pass	过 (桥)	
888	pxj li:w	A1 B2	遊びに行く	to play	玩耍	
889	txk	DS1	(バスケットボール、ピンポンなどで) 球を打つ	to play ball	打球	
890.1	ʔa:p nam	DL1 C	泳ぐ	to swim	游泳	
890.2	va:j nam	C C	泳ぐ	to swim	游泳	
891	dām	A2	潜る	to dive	潜水	
892	lɣm	A2	転ぶ	to fall down	跌倒	
893	ʔi:ŋ	A2	もたれる	to lean against	靠 (墙)	
894	teo:j	B2	助ける、手伝う	to help	帮	
895	ti:ŋ	C	取って代わる	to replace	代替	
896	p ^h uŋ	C	会う、出会う	to meet	遇见	

897	to: pja:k	A2 DL2	別れる	to leave each other	分別	
898	ke:m	A1	追う	to follow	跟	
899	p ^h aj	B1	派遣する	to send	派	
900	ðap	A2	出迎える	to meet; to welcome	迎接	
901	pu:n	B2	付き添う	to accompany	陪伴	
902	to:ŋ lo:	A1 B2	道に迷う、迷子になる	to lose one's way	迷路	
903	va:n kɔŋ	A1 A1	角を曲がる	to turn a corner	转弯	
904.1	ye:w	C	回り道する	to make a detour	绕(路)	
904.2	kwa:ŋ	C	回り道する	to make a detour	绕(路)	
905	yo:	A1	乞う	to beg	讨 (饭)	
906.1	hap	DS1'	脅かす	to threaten	威胁	
906.2	k ^h ja:	B1	脅す、脅迫する	to threaten	威胁; 恐吓	
907	lak	DS2	盗む	to steal	偷	
908	tɕ ^h u:ŋ	C	強奪する、奪う	to seize	抢	

909	fa:m	B2	犯す、違背する	to violate	犯（法）	
910	ɲu:ŋ	B2	大目に見る、許す	to forgive	饶恕	
911	θo:n	A1	教える	to teach	教	
912	hjo:k	DL2	学ぶ	to learn	学	
913.1	ha:	A1	捜す	to find	找	
913.2	tʰa:ŋ	B1	捜す	to find	找	
914	te:p	DL2	追う、追跡する	to run after	追	
915	te:p	DL2	追い払う、駆逐する	to drive away	赶（走）	
916	la:n	A2	阻止する、阻む	to block; to stop	阻挡	
917	ta:j	C	（物を）帯びる、身につける	to bring	带（东西）	
918	tʰɣɯ	A1	（子供と赤ちゃんの）世話をする、面倒を見る	to look after	带（小孩）	
919	lo:ŋ	B2	（服を）着る	to wear; to put on	穿（衣）	
920	tʰɣm	A2	（帽を）かぶる	to wear (a hat)	戴（帽）	
921	tʰɣɯ	A1	（耳飾りを）つける	to wear (earings)	戴（耳环）	

922	θu:ŋ	A1	入れ歯をする	to insert (an artificial tooth)	镶 (牙)	
923	ke:	C	(衣服を) 脱ぐ	to take off (clothes)	脱 (衣)	
924	ke: ka:ŋ	C B2	裸にする	to be naked	裸体	
925	pu:n	A1	(物を) 持ち運ぶ	to take away	搬 (东西)	
926	ʃe:k	DL1	肩に担ぐ	to shoulder	扛	
927	tʰa:m	A1	(2人以上で一緒に物を) 持ち上げる	to carry	抬	
928	tʰa:p	DL1	天秤棒で物を担ぐ	to carry on the shoulder with a pole	挑	
929	ti:	B1	(子供や赤ちゃんを) 背負う	to carry on the back	背 (小孩)	
930	ʃe:k	DL1	(物を) 背負う	to carry; to bear	背 (东西)	
931	kʰwɤj	B1	(馬に) 乗る	to ride	骑	
932	vɤj	A2	囲む、包囲する	to encircle	包围	
933	he:n	A1	警護する、警守する	to guard	看守	

934	ɲaw ɲe:	B1 B1	いざなう、誘惑する	to lure	引诱	
935	ɬɤk hi:n	DS1 A1	獵をする	to hunt	打猎	
936.1	kap	DS2	(魚を) 捕る	to fish	捕 (魚)	
936.2	ɬɤk	DS1	(魚を) 捕る	to fish	捕 (魚)	
937	teo:p	DL1	(魚などを) 釣る	to angle	钓 (魚)	
938	ði:ŋ	A1	(炉を囲んで) 暖をとる	to warm oneself by a fire	烤 (火)	
939	ɖa:ŋ	A2	(物が) 焼ける、燃える	to burn	烧	
940	ti:m	C	明かりを灯す	to light (a lamp)	点 (灯)	
941	ɖap	DS1	明かりを消す	to put out	熄 (灯)	
942	lu:k	DL2	選び出す	to select	挑选	
943	ʔaw	A2	もらう、受け取る	to receive	要	
944	hɤuɥ	C	あげる、やる	to give	给	
945	ke:k	DL1	隔てる、区切る	to divide	隔开	

946	p ^h ɤw	A1	(頭を) 洗う	to shampoo	洗 (頭)	
947	θu:j	B1	(顔を) 洗う	to wash (face)	洗 (脸)	
948	θu:j	B1	(野菜を) 洗う	to wash (vegetables)	洗 (菜)	
949	θak	DS2	(衣服を) 洗う、洗濯する	to wash (clothes) ; to laundry (clothes)	洗 (衣服)	
950	θu:j	B1	(体を) 洗う、シャワーを浴びる	to take a bath; to take a shower	洗澡	
951	la:ŋ	C	(鍋を) 洗う	to clean (a pot)	洗 (锅)	
952	p ^h ja:k	DL1	(洗濯物を) 干す	to dry in the air; to hang out (the laundry) to dry	晾 (衣物)	
953	law	A2	残す	to reserve	留 (给他)	
954	po:n	C	口に食べ物を運ぶ	to feed	喂 (小孩)	
955	k ^h wɤn	A1	(動物を) 飼育する, 餌をやる	to raise; to feed	喂 (猪)	
956	tea:p	DL1	(砂を) 混ぜる、攪拌する	to mix	搀 (沙子)	
957.1	tei:w	B1	(鏡に) 映す	to look in the mirror	照 (镜子)	

957.2	le:	A2	(鏡に) 映す	to look in the mirror	照 (镜子)	
958	te:m	B2	敷く	to put sth.under sth .else to raise it	垫 (高)	
959	te:n	A2	(土を) 盛る	to hill; to fill	填 (土)	
960	ʔa:t	DL2	(上から) 重しを加える	to press	压	
961	taŋ	C	直立する	to erect	竖 (起来)	
962	te ^h e:k	DL1	取りはずす、分解する	to disassemble	拆	
963	ham	A1	埋める	to cave up; to bury	埋	
964	ho:j	C	ぶらさげる	to hang	挂	
965	ne:m	A1	貼る	to stick	贴	
966	θaw	A1	取り戻す	to retrieve; to receive	收 (回来)	
967	θo:ŋ	B1	送る	to deliver	送	
968	kwat	DS1	手招きする	to beckon	招 (手)	
969	pat	DS2	(手を) 振る	to wave; to swing	摆 (手)	
970	ðaw	B1	揺れ動く	to shake	摇 (树)	

971	tewɤj	C	指し示す	to point to	指（給人看）	
972	jaw	C	（手を）挙げる	to raise (hand)	举(手)	
973	kam	A1	持つ、取る	to take; to hold	拿	
974	to: ko:t	A2 DL1	抱き合う	to hug; to embrace	拥抱	
975	ʔɤm	C	手で包むように かかえる	to hold in the arms	抱（小孩）	
976	kam	A1	握る	to hold; to grasp	握（刀）	
977	vit	DS1	無くす、失う	to throw away; to miss	丢掉	
978	jaŋ	A2	石を投げる	to throw	掷石头	
979	kjap	DS1	（落ちているもの を）拾う、拾い 取る	to pick up	捡（拾）	
980	pʰa:t	DL1	（くっついて いるものを）も ぎ取る、剥ぎ取 る	to break off with the fingers and thumb	掰	
981	tap	DS1	拍手する、叩く	to clap; to pat	拍（手）	

982	ko:p	DL1	捧げる	to hold in both hands	捧	
983	ɲan	A2	押さえつける	to cover with hand	捂（嘴巴）	「口を封じる」ことを [foŋA1]と言う。
984	fu:	A2	支える	to support with the hand	扶	
985	tean	C	捏ねる	to knead with the fingers	捏	
986	ɲan	C	押す、押さえる	to push down	按	
987	nan	C	搔く	to scratch an itch	抓痒	
988	ðwa:t	DL1	つねる	to scratch the face	抓（脸）	
989	hat	DS1	する、やる	to do	做	
990	tean	C	（物を）指で捻 る	to twist with the fingers	捻（用手指）	
991	p ^h an	C	（縄を）作る、綯 う	to make a rope (to rub with the hands)	搓（绳）	
992	t ^h u:j	A1	押す	to push	推	
993.1	la:k	A1	引っ張る	to pull; to draw	拉	
993.2	lɤt	DL2	引っ張る	to pull; to draw	拉	
994	la:k	DL2	（重いものを） ずるずる引っ張 る	to drag	拖（箱子）	
995	ta:n	A2	弾く	to flip with the finger	弹（用指弹）	

996	jo:k	DL1	(指先・棒先で 勢いよく) 突く、 刺す、突き刺す	to jab; to poke	戳	
997	ɬit	DS1	摘む、指先でつ まんで取る	to pick; to pluck	摘 (花)	
998	k ^h aj		(かぶせてある ものを) 取る、開 ける	to uncover	揭开	
999	kwi:n	C	巻く	to roll up	卷 (衣服)	
1000	mək	DS2	(手や道具を突 っ込んで中に入 っているものを 外へ) 取り出す、 探り出す	to draw out	掏 (衣服)	
1001	lək	DS1	(毛髪・羽根を) 抜く、抜き取る	to pull out (the feathers)	拔 (大把地拔鸡毛)	
1002	je:k	DL1	(布・紙・着物な どを) ずたずた に) 引き裂く、破 る	to tear	扯破 (衣裳)	
1003	tap	DS1	(門を) 叩く	to knock	敲 (門)	
1004	k ^h aj	A1	(門を) 開く	to open	开 (門)	

1005	teoŋ	A1	(牛を) 牽く	to lead (an ox)	牽 (牛)	
1006	ðaw	B1	(衣服を) 振る	to shake	抖 (衣服)	
1007	pap	DS2	畳む	to fold	折叠	
1008	tɔp	DS2	打つ、殴る	to beat; to fight	打 (一般的打)	
1009.1	tam	A1	拳骨で打つ	to punch	打 (用拳头)	
1009.2	lo:j	A2	拳骨で打つ	to punch	打 (用拳头)	
1010	p ^h e:	A1	平手で打つ	to slap	打 (用掌)	
1011.1	ʔa:m	C	棒・杖で打つ	to flog	打 (用棍子)	
1011.2	ɬu:p	DL1	棒・杖で強く叩く	to flog	打 (用棍子)	
1012	fat	DS2	鞭で打つ	to whip	打 (用鞭子)	
1013	kap	DS2	逮捕する	to arrest	捉 (贼)	
1014	kap	DS2	(動物などを) 捕まえる	to catch	捕 (鼠)	
1015	pjo:j	B1	釈放する、自由にする	to release	释放	
1016	pɔŋ	A2	(手を) 離す	to put down	放 (下)	
1017.1	lɔp	DS1	(物に) 触れる	to touch ; to stroke	摸	

1017.2	mo:	B1	(物に) 触れる	to touch ; to stroke	摸	
1018	fat	DS2	振り回して脱水する	to swing	甩 (干)	
1019	ya:t	DL2	結ぶ、繋ぎ止める	to tie; to bundle	捆	
1020	ʃe:n	A2	包む	to wrap	包	
1021	ke:	C	(結んだものを) ほどく、取り外す	to untie	解开	
1022	jo:	A2	隠す	to hide	藏 (东西)	
1023	po:k	DL1	剥く	to peel; to bark	剥 (树皮)	
1024	p ^h u:	A1	おさげを結う	to plait	编 (辫子)	
1025	ʃa:k	DL1	木を切り倒す	to chop	砍 (树)	
1026	t ^h aj	B1	剃る	to shave	剃(头)	
1027	p ^h a:n	A1	ものの先を細く鋭くする、尖らせる	to sharpen	削 (尖)	
1028	ŋi:n	A2	こする	to rub	磨(墨)	

1029	p ^h ɯn	A1	研ぐ	to grind; to sharppen	磨 (刀)	
1030	mu:	B2	(米を) 碾臼で ひく	to grind	磨 (米)	
1031	tam	A1	(米を) 臼でつ く	to pound; to pestle	舂 (米)	
1032	ŋa:n	A2	(米を) 臼で挽 いて粉にする	to mill; to grind with a poller	碾 (米)	
1033	ðɯŋ	A1	(砂利・穀物な どを) 目の粗い 篩でふるい分け る	to sieve; to sift; to riddle	篩	
1034	p ^h at	DS1	(砂利・穀物な どを) ふるい分 ける	to sieve; to riddle	簸 (米)	
1035	ða:w	A1	計る	to measure	量 (布, 米)	
1036	ta:k	DL2	測量する	to survey	測量	
1037	nɪp	DS1	(箸で料理を) 挟む	to pick up (with chopsticks)	夹 (菜)	
1038	ka:w	A1	櫓をこいで船を 進める	to paddle; to row	划 (船)	
1039.1	k ^h a:ŋ	A1	(傘を) 広げる	to open (an umbrella)	撑(傘)	

1039.2	te ^h a:m	C	(傘を) 持つ	to hold up (an umbrella)	撐(傘)	
1040	ŋa:w	C	こじ開ける	to prize (open, up)	撬	
1041	vɤj	A1	(櫛で) 髪をすく、とかす、髪を整える	to comb	梳 (头)	
1042	te ^h a:p	DL2	挿入する	to stick in; to insert	插 (进縫隙)	
1043	tjat	DS1	(はさみで) 切る	to cut; to trim	剪	
1044.1	te ^h o:k	DL2	針で刺す	to prick	扎(用针孔)	
1044.2	pak	DS1	針で刺す	to prick	扎(用针孔)	
1045	tɤp	DS1	割って開く	to crack	砸 (核桃)	
1046	vɤj	A2	扇ぐ	to fan	扇 (扇子)	
1047	θwa:	C	施錠する	to lock	锁 (门)	
1048.1	k ^h e:k	DL1	(判を) 彫る、刻印する	to engrave	刻 (图章)	
1048.2	θi:w	B1	彫刻する	to sculpture	雕刻	

1049	ve:	B2	描く	to draw; to paint	画	
1050	ʔwat	DS1	塞ぐ	to clog; to stop	塞	
1051	kɤp	DS2	(蓋を) 締める、 蓋をする、覆う	to cover; to lid to slid	盖 (锅盖)	
1052	hɤm	B1	(布団を) かける、 覆いかぶせる	to cover up	盖 (被子)	
1053	tea:m	C	(鶏を) 伏せ籠 に入れる	to cover chickens with a bamboo basket	罩 (鸡)	
1054	jaŋ	A2	撃つ、発射する、 射る	to shoot	射击	
1055	vɤn	C	(太鼓を) 打つ	to beat a drum	打 (鼓)	
1056	θi:	C	書く	to write	写	
1057	ma:t	DL2	(布・タオルで) 拭く	to wipe	擦 (桌子)	
1058	pat	DS1	(床を) 掃く、掃 除する	to sweep the floor	扫 (地)	
1059	kwa:t	DL1	(ごみを) 取り すくう	to scoop up	撮 (垃圾)	
1060	dɪŋ	B1	(容器をひっくり返して) 中に	to pour	倒 (出来)	

			ある物を全部外へ出す			
1061.1	p ^h a:t	DL1	水を飛ばす	to splash	泼（水）	
1061.2	po:	C	水を飛ばす	to splash	泼（水）	
1062.1	jak	DS2	（塩・唐辛子などを）付ける	to dip in	蘸（盐; 辣椒）	付けて食べること。
1062.2	ji:p	DL2	（塩・唐辛子などを）ちょっと浸す	to slightly dip in	蘸（盐; 辣椒）	料理の下準備をする時、塩・醤油・唐辛子などに軽く浸すこと。
1062.3	team	B1	（塩・唐辛子などに）漬ける	to dip in	蘸（盐; 辣椒）	満遍なく浸すこと。
1063	ji:n	A2	立つ	to stand up	站（起来）	
1064	dfi:ŋ	B1	爪先で立つ	to tiptoe	踮(起脚)	
1065	tam	B2	足を踏み鳴らす	to stamp one's foot	跺（脚）	
1066	naŋ jo:ŋ	B2 B1	うずくまる、しゃがむ	to squat	蹲	
1067	t ^h ɪk	DS1	蹴る	to kick	踢	
1068	t ^h i:w	B1	跳ぶ、跳ねる、跳び上がる	to jump	跳	

1069.1	ʔi:p	DL2	踏む、踏みつける	to step on	踩	
1069.2	nap	DS2	踏む、踏みつける	to step on	踩	
1070	ja:m	B1	跨ぐ、跨る	to stride over	跨（沟）	
1071	p ^h ja:j	C	歩く	to walk	走	
1072.1	t ^h u:t nxj	A1 DL1	逃げる	to escape; to flee	逃走	
1072.2	nxj	A1	逃走する	to escape; to flee	逃走	
1073	t ^h u:t	DL1	脱出する	to succeed in escaping	逃脱	
1074	le:n	B2	走る	to run	跑	
1075	t ^h o:j	B1	後ろに下がる、 後へ退く	to retreat	退	
1076	kwxj	B2	跪く	to kneel	跪	
1077.1	hat	DS1	（家を）建てる	to build	建（房）	
1077.2	tei:ŋ	C	（家を）建てる	to build	建（房）	
1078	θauq	B1	修繕する、修理 する	to repair	修理	
1079	tɕ ^h aj	B1	（煉瓦を）積む	to lay bricks	砌（砖）	
1080	kr:	B1	（鋸で）挽いて 切る	to saw	锯（棍子）	

1081	teu:	B1	穴をあける	to drill	钻 (孔)	
1082	to:k	DL1	(釘を) 打つ	to nail	钉 (钉子)	
1083	p ^h ɔŋ	A1	金物の修繕をする	to mend	补 (锅)	
1084	ka:ŋ	A1	(綿を) 打つ	to fluff cotton	弹 (棉花)	
1085	t ^h o:t	DL1	くるくる回す	to spin	纺 (线)	
1086	teɪk	DS1	(布を) 織る	to weave	织 (布)	
1087	njap	DS1	(衣服を)縫う	to sew	缝 (衣)	
1088	p ^h ɔŋ	A1	(材料を添えて 破損したものを) 繕う、継ぎは ぎする	to mend	补 (衣)	
1089	jo:m	A2	染める	to dye	染 (布)	
1090	θe:w	B1	刺繡をする	to embroider	绣(花)	
1091	tea:w	B1	油を搾る	to press; to extract	榨 (油)	
1092	tea:	B2	汁を絞る	to press (sugar cane)	榨 (蔗)	

1093.1	θi:w	A1	(酒を) じゅく りと蒸留する	to boil for a long time	熬 (酒)	
1093.2	tɛu:ŋ	A1	(酒を) 造る	to brew sake	酿 (酒)	
1094.1	pa:	B2	(竹を) (ぴりっ と) 切り裂く	to break (a bamboo strip)	破 (竹箴)	
1094.2	li:	B2	(切り裂かれた 竹を) 小さく引 き裂く	to break (a bamboo strip)	破 (竹箴)	
1095	kwat	DS2	曲げる	to bend	弯 (用火烤弯)	
1096	θa:n	A1	(筵を) 編む	to weave a mat	编 (草席)	
1097	ku:k	DL1	(くわで) 耕す	to hoe	锄 (地)	
1098	vat	DS2	(溝・井戸など を) 掘る	to dig	挖 (水沟)	
1099	pu:n	A2	作物の根元に土 寄せする、培う	to hill up	培 (土)	
1100	tʰɥɥ	A1	(田を) 耕す	to plough	犁 (田)	
1101	pʰu:	A1	(まぐわで) 土 をならす	to harrow	耙 (田)	
1102	lu:k	DL2	(種を) 選ぶ	to select seeds	选 (种)	

1103	ðwa:n	B1	(種を) 撒く	to sow seeds	撒 (種)	
1104	tɕaj	A1	植樹する	to plant	種 (樹)	
1105	kʰaŋ	B1	(田へ水を) 汲み入れる	to irrigate (a paddy field)	戽 (水)	
1106.1	lam	A2	(水が上から下へ) 注ぐ、降り注ぐ、ぬらす	to water	澆 (水)	
1106.2	ɬɤk	DS1	植木などに水をあたえる	to water	澆 (水)	
1107	mja:j	A2	畝間の雑草を取り除く、中耕する	to weed	耘 (田)	
1108	ve:	A2	(手・道具で水などの液体を) すくい上げる、掬ぶ	to dredge up	撈	
1109	lɔk	DS1	除草する; 引っ張り出す	to weed; to pull up	拔 (草)	
1110	kwø:	C	(草・稲・麦などを) 刈る	to cut	割 (禾)	
1111	fa:t	DL2	(稲・麦などを) 打つ	to thresh	打 (谷)	

1112	tɕu:ŋ	C	(人を) 養う、(動物を) 飼育する	to raise	养 (鸡)	
1113	he:n	A1	牛を放し飼いにする	to graze; to depasture to herd; to tend	牧 (牛)	
1114	to:k	DL1	手綱を引く	to tie up	栓 (马)	
1115	ðaŋ	A1	(家畜を) 囲いの中に入れる	to lock up	圈 (牲口)	
1116.1	ko:	B1	火をおこす	to make a fire; to light a fire; to tend the kitchen kitchen fire	烧火 (生火)	
1116.2	d̪aŋ	A2	焚き火をする	to make a fire; to light a fire; to tend the kitchen kitchen fire	烧火 (生火)	
1117	paw	B1	吹いて火を起こす	to blow	吹 (火)	
1118	θu:j	B1	米をとぐ	to wash (rice)	淘 (米)	
1119.1	tɕɯŋ	C	(蓋を閉めずに短時間で) 煮る	to cook	煮	
1119.1	tɕɯm	C	煮る	to cook	煮	
1120	tɕu:ŋ	A1	蒸す	to steam	蒸	

1121	te ^h e:w	C	炒める	to fry; to stir-fry	炒 (菜)	
1122	tse:n	A1	焼く	to fry	煎 (魚)	
1123.1	tea:w	B1	油で揚げる	to deep-fry	炸 (魚)	
1123.2	tea:	C	油で揚げる	to deep-fry	炸 (魚)	
1124.1	ʔu:n	B1	煮込む	to stew	炖 (肉)	
1124.2	tu:n	C	煮込む	to stew	炖 (肉)	
1124.3	pak	pak	とろ火で煮る、 薬を煎じる	to stew	炖 (肉) ; 熬 (药)	
1125	piŋ	A2	熱灰の中に入れて 焼く	to bake in charcoal fire and ashes	煨 (在炭火里)	
1126.1	tak	DS1	(ひしゃくなど で) 掬う	to ladle out	舀	
1126.2	va:t	DL1	(水びしゃくで 水などを) 汲む	to ladle out	舀	
1127	k ^h i:k	DL1	(木を) 割る	to split (logs)	劈 (柴)	
1128.1	te ^h e:t	DL1	(野菜を) 切る	to cut; to slice	切 (菜)	
1128.2	te ^h o:n	B1	(野菜を) 薄く、 細かく切る	to cut; to slice	切 (菜)	

1129	mak	DS2	(肉を) 刻む	to chop; to mince	剁 (肉)	
1130.1	pa:w	A2	(髭を) 剃る	to shave	刮 (毛)	
1130.2	t ^h aj	B1	(髪の毛を) 剃る	to shave	刮 (毛)	
1131.1	k ^h a:	C	殺す	to kill; to butcher butcher	杀 (鸡)	
1131.2	t ^h u:	A1	捌く	to dress	剖 (鸡)	
1132	lu:k	DL2	湯通しする、煮沸消毒する	to scald	烫	
1133.1	ʔɤp	DS1	漬物にする	to salt; to pickle	腌	
1133.2	ðe:p	DS1	浅漬けにする	to salt; to pickle	腌	
1134	θɤu	C	買う	to buy	买	
1135	k ^h aj	A1	売る	to sell	卖	
1136	ko:	B1	雇う、雇用する	to hire; to employ	雇 (人)	
1137	θu:n	B1	計算する	to calculate	计算	
1138	tɪk	DS1	(算盤を) 弾く	to calculate (on an abacus)	打 (算盘)	

1139	kja:	A1	足す、加える	to add	加	
1140	ke:m	C	減算する、減らす	to subtract	減	
1141	te ^h i:ŋ	A2	乗算する	to multiply	乗	
1142	te ^h i:ŋ	A2	除算する	to divide	除	
1143	taj	C	値する、...の価値がある	to be worth	値 (多少钱)	
1144	te ^h an	B2	儲ける	to make a profit	赚	
1145	tei:t	DL2	損をする	to lose money in business transactions	赔 (钱)	[tewi:t DL2]とも言う。
1146.1	k ^h e:n	C	借金をする	to owe	欠 (钱)	
1146.2	te ^h e:ŋ	A1	借金をする	to owe	欠 (钱)	
1147	θi:	A1	掛けで買う	to buy on credit	赊	
1148	ʔa:t	DL2	担保に入れる、 抵当にする	to mortgage	押 (抵押)	
1149	t ^h o:j	B1	(担保・質草などを) 買い戻す	to redeem	赎	
1150	tso:	A1	賃借する	to rent; to lend	租	

1151	jɤm	A2	(金銭・物品などを) 借りる	to borrow; to lend	借	
1152	po:j	A2	返す	to give back	还	
1153	kja:w	A1	支払う	to pay	缴交	
1154	po:j	A2	弁償する、賠償する	to compensate	赔偿	
1155	ha:n	B1	倏約する、節約する	to save	节省	[tee:A2 jo:A2]とも言う。
1156	hi:ŋ	A2	勝つ	to win	赢	
1157	θɤuŋ	A1	負ける	to lose	输	
1158	kwø:n	B1	慣れている	to be used to; to accustom oneself to	惯 (习惯)	
1159	teuŋ	B1	(的に) 当てる	to hit the mark	中 (打中)	
1160.1	to:j	B1	正す	to right; to correct	对 (做对)	
1160.2	teo:ŋ	B1	違わない	right; correct	对 (做对)	
1161	yan	B2	褒める	to praise	赞扬	

1162	θi:	B2	試す	to try	试（一試）	
1163	hat pm	DS1 A2	達成する	to achieve	做成	
1164	t ^h a:	B1	誤る	to mistake	错（错了）	
1165	ka:j	C	変更する	to change	改（名）	
1166	de:ŋ	A2	赤、赤い	red	红	
1167	he:n	C	黄色、黄色い	yellow	黄	
1168	taw	B2	青、青い	blue	蓝	
1169	k ^h a:w	A1	白、白い	white	白	
1170	ɗam	A2	黒、黒い	black	黒	
1171	k ^h e:w	A1	緑色、緑色の	green	绿	
1172	kam	B1	紫、紫色の	purple	紫	
1173	mo:k	DL1	灰色、灰色の	grey	灰（色）	
1174	lɔk la:j	DS1 A2	カラフルな	colorful	花（花花绿绿）	
1175	ðoŋ	B2	明るい	bright,light	亮	
1176	ɗam	A2	暗い	dim	暗	
1177	ɗe:t	DL1	晴れた	fine; clear	晴	

1178	van	A1	甘い	sweet	甜	
1179	θɤm	A2	酸っぱい	sour	酸	
1180	kʰɤm	A1	苦い	bitter	苦	
1181	mɤn	B2	辛い	pepper-hot	辣	
1182	kʰan	B1	塩辛い	salty	咸	
1183	tɛɪt	DS1	(味が) 薄い	insipid	淡	
1184	θap	DS1	(味が) 渋い	astringent	涩	
1185	ho:m	A1	香りのよい、芳 しい	fragrant	香 (気味)	
1186	kʰi:w	A1	臭い	bad smell	臭	
1187	tea:w	A2	魚のような、生 臭い	fishy	腥	
1188.1	kʰi:w ne:w	A1 B2	小便臭い	pissy; rank (the smell of urine)	臊 (尿味)	
1188.2	kʰi:w ðaŋ	A1 B1	小便臭い	pissy; rank (the smell of urine)	臊 (尿味)	
1189	tɛɪk	DS2	まっすぐな、一 直線の	straight	直	
1190	kwat	DS1	曲がっている	crooked	弯	
1191	kʰwa:ŋ	A1	水平面の、平面 の	horizontal	横	

1192	lɔŋ	A1	大きい	big	大	
1193	θaj	B1	小さい	small	小	
1194	ðɤj	A2	長い	long	长	
1195	tɪn	C	短い	short	短	
1196	na:	A1	厚い	thick	厚	
1197	ɸa:ŋ	A2	薄い	thin	薄	
1198	mɤn	A2	丸い	round	圆	
1199	pe:	A2	平らな、平たい	flat	扁	
1200.1	θɤj tɤŋ	B1 B1	四角い	square	方	
1200.2	fɔŋ	A1	四角い	square	方	
1201	kwa:ŋ	C	広い	broad; wide	宽	
1202	kap	DS1	狭い	narrow	窄	
1203	θɔŋ	A1	(高さが) 高い	hight; tall	高	
1204	tam	B1	(高さが) 低い	short; low	矮	
1205	ɸɤp	DS1	凹む	concave	凹	
1206	θu:t	DL1	突き出ている	convex	凸	
1207	liŋ	B1	険しい	steep	陡 (山)	
1208	mja:k	DL2	滑る	smooth; slippery	滑	

1209	θi:m	C	尖る	pointed; sharp	尖	
1210	ke:ŋ	A2	歪む	crooked; slanting	歪（不正）	
1211	tɪm	A1	いっぱい、満杯の	full	満	
1212	lɪp	DS1	干からび縮んだ	shrivelled	瘪（不饱满）	
1213	θo:j	B1	粉碎する	to smash	碎（粉碎）	
1214	ke:n	B1	硬い	hard	硬	
1215	ʔo:n	B1	柔らかい	soft	软	
1216	ɲa:p	DL1	粘りのある、粘り強い	tough	韧	
1217	pʰjo:j	B1	もろい	fragile	脆	
1218	ka:n tɕiŋ	A1 B2	清潔な	clean	干净	
1219	ʔo: θo:j	A2 A2	不潔な	dirty	肮脏	
1220	to:k	DL2	有毒な	poisonous; toxic	毒	
1221	ɖāk	DS1	深い	deep	深（水）	
1222	ɖāk	DS1	（色の）濃い	dark	深（色）	
1223	tɕɪn	C	浅い	shallow	浅（水）	
1224	ta:n	C	（色が）薄い	light	浅（色）	

1225	θauɥ	A1	澄んだ	clear	清（水）	
1226	vam	A2	濁った	turbid	浊（水）	
1227	ɣɯm	A2	鋭い	sharp	快（锋利）	
1228	kɯm	A1	鈍い	blunt	钝	
1229	δoŋ	A2	ばさばさしている、ふわふわしている	loose; fluffy	松（土很松）	
1230	ðu:ŋ	B2	ゆるい	slack; loose	松（捆得松）	
1231	ðat	A2	きつい	tight	紧（捆紧）	
1232	ɲa:ŋ	B1	粗い	rough	粗（粗糙）	
1233	θaj	B1	細い	thin	细	
1234	kwɯt	DS2	（粥・泥・糊・汁などが）濃い	thick	稠（粥）	
1235	θauɥ	A1	（粥・泥・糊・汁などが）薄い	thin; watery	稀（粥）	
1236	ha:ŋ	B1	まばらな、間遠な	sparse	疏	

1237	t ^h xj	B1	ぎっしりと詰まっている、密な	thick; dense	密	
1238	k ^h auŋ	B1	乾く	dry	干（衣物）	
1239	he:w	B1	枯れる	withered	干枯（树木）	
1240	teɣp	DS1	湿った、湿気のある	wet; damp	湿	
1241	le:ŋ	C	雨が降らず、川や池、井戸の水が涸れる	drought	旱	
1242	ɬaw	A2	軽い	light	轻	
1243	nak	DS1	重い	heavy	重	
1244	laj	A1	多い、たくさん	many; much much	多	
1245	no:j	B1	少ない、少し	few; little	少	
1246	kwaj	A1	遠い	far	远	
1247	kjauŋ	C	近い	near	近	
1248	k ^h waj	B1	速い	quick; fast	快	
1249	ma:n	B2	遅い	slow	慢	
1250	teaw	C	早い	early	早	

1251	tei: taw	A2 A2	遅刻する	late	迟 (到)	
1251	θwaj	A1	(...するのが) 遅れる	late	迟	[動詞+θwajA1]は「...する のが遅れる」となる。
1252.1	yat	DS2	忙しい	busy	忙	
1252.2	ɲa:ŋ	B1	忙しい	busy	忙	
1253	va:ŋ	B1	暇な	not busy	空闲	
1254	ɬu:t	DL1	暑い	hot	热 (天气)	
1255	ɬu:t	DL1	熱い	hot; warm	热 (水)	
1256	ɬa:ŋ	C	寒い	cold	冷 (天气)	
1257.1	to:t	DL1	(水が) 冷たい	cold; chill	冷 (水)	
1257.2	kat	DS1	(爪先が) 冷た い	cold; chill	冷 (脚趾头)	
1258	lu:ŋ	A2	涼しい	cool	凉快	
1259	tʰaw	C	暖かい	warm	暖和	
1260	nwa:j	C	温かい	warm; lukewarm	温 (水)	
1261	ɣim	B1	腹いっぱい、満 腹な	full; satiated	饱	

1262	ja:k	DL1	飢えた、腹のへった	hungry	饿	
1263.1	ɸu:	B1	脂ぎった	fatty; greasy	膩	
1263.2	ɸu:	B1	飽きる	to get tired	膩	
1264	maj no:n	A2 A2	眠い	sleepy	困（欲睡）	
1265.1	ɸu:	C	疲れる	to get tired; to be tired	疲倦	
1265.2	pak	DS2	疲れる	to get tired; to be tired	疲倦	
1266	ɸu:	B1	退屈な	bored; vexed	烦闷	
1267	mu: lɤm	C A2	吐き気がする	nauseating	恶心	
1268	ka:w hi:ŋ	A1 C	楽しい	happy	高兴	
1269	ma:	B2	痺れる	numb	麻木	
1270	ɸo:t	DL1	目の不自由な、目が見えない	blind	瞎	
1271	nu:k	DL1	耳の不自由な、耳が聞こえない	deaf	聋	
1272	vam	C	口のきけない	dumb	哑	

1273	he:p	DL1	(声が) かすれ ている	hoarse	沙哑	
1274	ɬxuŋ	C	吃る	stutter	结巴	
1275	na: la; j	C A2	あばた面	pockmarked face	麻脸	
1276	ɲu:k		弱い	weak	弱	
1277	na:n	C	痒い	itch	痒	
1278	teap	DS1	痛い	painful	痛	
1279	daj	A2	良い	good	好	
1280	va:j		悪い、壊す	bad; ruin	坏	
1281	va:j	B2	(人が) 悪い	bad	坏 (人)	
1282	mauŋ	B1	新しい	new	新	
1283	kaw	B1	古い	old	旧	
1284	dip	DS1	生の	raw	生 (肉)	
1285	θok	DS1	熟の	cooked	熟 (肉)	
1286	θok	DS2	知り合い	acquaintance	熟 (人)	
1287	tean	A1	真実な	real; true	真	
1288	kja:	C	本物でない	false; fake	假	
1289	tei:n	B2	(値段が) 安い	cheap	便宜	

1290	pe:ŋ	A2	(値段が) 高い	expensive; dear	贵	
1291	kaw	B2	足りる	enough	够	
1292	kɪp	DS1	速い、迅速な	swift	急 (水流急)	
1293	tɪŋ	B2	静かな	quite	静	
1294.1	ŋa:j	B2	易い	easy	容易	
1294.2	jɔŋ jɔj	A2 B2	易い	easy	容易	
1295	ho:	C	難しい	difficult	难	
1296	man	B1	頑丈な	solid	结实 (桌子等)	
1297	pjaw	B1	空の	empty	空 (无物)	
1298	ɬɔw	B1	海綿状の、すかすかの	spongy	糠心 (菠萝)	古くなった大根、パイナップルなどの海綿状の芯。
1299	va:ŋ	B1	物寂しい	lonesome; bleak and barren	荒凉	
1300.1	lu:n	B2	不揃いである	irregular; in a mess	乱 (不整齐)	
1300.2	ɲoŋ	A2	不揃いである	irregular; in a mess	乱 (不整齐)	
1301	laŋ	A2	均一な	even	均匀	

1302	pm mɤj	A2 A2	金持ちの、裕福な	rich	富	
1303	ho:	C	貧しい	poor	穷	
1304	ðaj le:	C A2	醜い	ugly	丑	
1305	ke:	B1	年取った、老年の	old	老	
1306.1	ʔo:n	B1	若い	young	幼	
1306.2	ʔe:ŋ	A2	幼い	young	幼	
1307	pɤj	A2	太っている	fat	胖	
1308	he:w	B1	痩せている	thin	瘦 (人)	
1309	kwa:j	A1	行儀のよい	well-behaved (child)	乖	
1310	ða:n	C	怠惰な	lazy	懒	
1311.1	te ^h ŋ mŋ	A1 A2	聡明な	intelligent	聪明	
1311.2	θja:ŋ	C	聡明な、悪賢い	intelligent:smart; sly	聪明; 狡猾	
1312.1	ma:n	A2	わんぱくな	naughty	顽皮	
1312.2	je:	B2	わんぱくな	naughty	顽皮	

1313.1	ŋwa:ŋ	B2	愚かな、ばかな	stupid	愚蠢	
1313.2	ʔu:k	DL1	愚かな、ばかな	stupid	愚蠢	
1313.3	ɣɾw	C	愚かな、ばかな	stupid	愚蠢	
1314.1	mat mɤj	DS1 A1	けちな	stingy	吝嗇	
1314.2	ke:n te ^h i:n	A1 A2	けちな	stingy	吝嗇	
1315.1	to:k	DL2	凶暴な	fierce	凶狠	
1315.2	ðaj	C	凶暴な	fierce	凶狠	
1316.1	de:u	A2	一、唯一	one; solitary	一	
1316.2	ʔjat	DS1	一	one	一	
1317	θo:ŋ	A1	二	two	二	
1318	θa:m	A1	三	three	三	
1319	θɤj	B1	四	four	四	
1320	ha:	C	五	five	五	
1321	ðɔk	DS1	六	six	六	
1322	teat	DS1	七	seven	七	
1323	pe:t	DL1	八	eight	八	
1324	kaw	C	九	nine	九	
1325	θɪp	DS1	十	ten	十	
1326	θɪp ʔjat	DS1 DS1	十一	eleven	十一	

1327	θɪp ɲɤj	DS1 B2	十二	twelve	十二	
1328	θɪp θa:m	DS1 A1	十三	thirteen	十三	
1329	θɪp θɤj	DS1 B1	十四	fourteen	十四	
1330	θɪp ha:	DS1 C	十五	fifteen	十五	
1331	θɪp ɔ̃ɔk	DS1 DS1	十六	sixteen	十六	
1332	θɪp teat	DS1 DS1	十七	seventeen	十七	
1333	θɪp pe:t	DS1 DL1	十八	eighteen	十八	
1334	θɪp kaw	DS1 C	十九	nineteen	十九	
1335	ɲi: θɪp	B2 DS1	二十	twenty	二十	
1336	ha: θɪp	C DS1	五十	fifty	五十	
1337	pa:k	DL1	百	one hundred	百	
1338	te ^h i:n	A1	千	one thousand	千	
1339	fa:n	A2	万	ten thousand	万	
1340	lɪŋ	A2	零	zero	零	
1341	taj ʔjat	B2 DS1	第一	the first	第一	
1342	taj ɲɤj	B2 B2	第二	the second	第二	
1343	taj θa:m	B2 A1	第三	the third	第三	
1344.1	pjo:ŋ	B2	半分	half	半	
1344.2	pu:n	B1	(1 時間、1 斤 の) 半分	a half of (an hour; jin)	半 (小时; 斤等)	
1345	pjo:ŋ la:j	B2 A1	過半数、大部分	more than half	一大半	

1346	pjo:ŋ no:j	B2 B1	半分以下、小半分	less than half	一小半	
1347	ʔi: də:w	C A2	ちょっと、少しばかり	a little; a bit	一点儿	
1348.1	ki:	C	いくらかの、いくつかの、	some; a few	一些	
1348.2	ʃa:ŋ	C	少し、いくつかの、	some; a few	一些	
1349	ki:	C	いくつかの、	several; a small number of	几	
1350	tei:ŋ də:w	A2 A2	1 割	one tenth	一成	
1351	pe:t tei:t	DL1 DL1	2 割引、値段の 80%	a reduction of twenty percent; eighty percent	八折	
1352	li:	C	里 (り)、長さの単位	li, a Chinese unit of length (= 1/2 kilometre)	里	「1 里」は 500 メートルである。
1353	teu:	B2	丈 (じょう)、長さの単位	zhang ,a unit of length (= 3/3 metres)	丈	1 丈 (市丈) は約 3.333 メートルである。1 丈は 10 尺と定義されている。
1354	te ^h rk	DS1	尺 (しゃく)、長さの単位	chi,a shaku (=30.3 cm).	尺	1 尺 (市尺) は 1 丈 (市丈) の 10 分の 1 で、約 0.3333 メートルである。1 尺 は 10 寸と定義されている。

1355	te ^h o:n	B1	寸 (すん)、長さの単位	cun, a unit of length (=1/3 decimetre)	寸	「1 尺」の 10 分の 1 で、約 0.03333 メートルである。
1356	fan	A1	分 (ふん)、面積の単位	fen, a unit of area (=0.00667 hectares)	分 (指面積)	「1 亩」の 10 分の 1 で、約 66.7 平方メートルである。「1 分」は 10 厘と定義されている。
1357	θxm	A1	両手を左右に伸ばした長さ	arm span; length of stretched arms	度 (兩臂平伸之距)	
1358	kxn	A1	斤 (きん)、重さの単位	jin, a unit of weight (=1/2 kilogram)	斤	「1 斤」は 10 両と定義されている。500 グラムである。
1359	ða:ŋ	A2	両 (りょう)、重さの単位	liang , a unit of weight (=50 grams)	兩	「1 斤」(500 グラム) の 10 分の 1 で、50 グラムである。
1360.1	tse:n	A2	重量の単位で、' 兩' の 10 分の 1	5 grams	钱 (指重量)	1'钱'は 5 グラムである。
1360.2	ŋxn	A2	お金、金銭	money; cash	钱	
1361.1	li:	A1	厘 (りん)、貨幣の単位	0.05 grams	厘 (指钱)	1 厘は 10 銭の 10 分の 1 である。

1361.2	lxj	A2	厘 (りん)、尺貫法における長さの単位	li, a unit of area (=0.000667 hectares)	厘 (指面积)	「1 分」の 10 分の 1 で、約 0.003333 メートルである。
1362	man	A1	中華人民共和国の通貨単位	the monetary unit of China	元 yuan	
1363	kxn	A2	人に用いる助数詞	clf. for men	个 (一個人)	
1364	ʔan	A2	茶碗に用いる助数詞	clf. for bowls	个 (一个碗)	
1365	tu:	A1	鶏などの生き物に用いる助数詞	clf. for chickens	只 (一只鸡)	
1366	ko:	A1	木などの植物に用いる助数詞	clf. for trees	棵 (一棵树)	
1367.1	te:w	A2	棒のような細長い物に用いる助数詞	clf. for stick-like substances	根 (一根棍子)	
1367.2	thɛ:w	A1	棒のような細長い物に用いる助数詞	clf. for stick-like substances	根 (一根棍子)	
1368	mat	DS2	米のような粒状の物に用いる助数詞	clf. for grains (cereal)	粒 (一粒米)	

1369	k ^h o:n	C	石などの重い塊 に用いる助数詞	clf. for rocks	块 (一块石头)	
1370	p ^h e:n	B1	布のような薄い 物に用いる助数 詞	clf. for pieces (of cloth)	块 (一块布)	
1371	ʔan	A2	山に用いる助数 詞	clf. for mountains	座 (一座山)	
1372	tei:	A1	ペンに用いる助 数詞	clf. for pens	支 (一支笔)	
1373	ku:ŋ	B2	建物の柱の間隔 に用いる助数詞	clf. for rooms (intervals between posts)	间 (一间屋子)	建物の柱の間隔を 1 間と する
1374	ʔan	A2	家屋・建物の数 を数える助数 詞、軒 (けん)	clf. for houses	所 (一所房子)	
1375	ðu:ŋ	A2	服に用いる助数 詞	clf. for jackets	件 (一件衣服)	
1376	ðu:ŋ	A2	ズボンに用いる 助数詞	clf. for trousers pairs	条 (一条裤子)	
1377	te:w	A2	紐に用いる助数 詞	clf. for ropes	条 (一条绳子)	
1378	tɪp	DS1'	しずくに用いる 助数詞	clf. for drops (of water)	滴 (一滴水)	

1379	tea:ŋ	A2	層に用いる助数詞	clf. for layers; storeys layer; storey	层 (一层皮)	
1380	lu:ŋ	B1	一列に植えられたトウモロコシに用いる助数詞	clf. for corn lines; rows line; row	行 (一行玉米)	
1381	tea:t	DL1	積み重ねた紙幣に用いる助数詞	clf. for piled bills	叠 (一叠人民币)	
1382	ɬauŋ	A2	紙状のような物質に用いる助数詞	clf. for paper-like (sheety) substances	张 (一张纸)	
1383	ʔan	A2	机、テーブルに用いる助数詞	clf. for tables	张 (一张桌子)	
1384	poŋ	A2	一輪の花を表す助数詞	clf. for flowers	朵 (一朵花)	
1385	kat	DS1'	ひとくぎりの木材を表す助数詞	clf. for sections (of wood)	段 (一段木头)	
1386	ɬak	DS1	水田に用いる助数詞	clf. for paddy fields	丘 (一丘田)	
1387	p ^h at	DS1	一疋の布を表す助数詞	clf. for cloth bolts	匹 (一匹布)	
1388	tɕ ^h e:k	DL1	冊、本に用いる助数詞	clf. for books	本 (一本书)	

1389	te:w	A2	歌に用いる助数詞	clf. for songs	首（一首歌）	
1390	va:m	A2	句や文に用いる助数詞	clf. for phrases or sentence	句（一句话）	
1391.1	ða:	B1	雨が降る回数に用いる助数詞	clf. for rainfalls	阵（一阵雨）	降る時間が短いにわか雨
1391.2	tɕu:ŋ	A2	雨が降る回数に用いる助数詞	clf. for rainfalls	阵（一阵雨）	降る時間がやや長い雨
1392.1	taj	B2	世代に用いる助数詞	clf. for generations	代（一代人）	
1392.2	tɕʰaj	B1	世代に用いる助数詞	clf. for generations	代（一代人）	
1393	kɾw	B2	靴のペアに用いる助数詞	clf. for shoes pairs	双（一双鞋）	
1394	kʰa:	A1	片方の靴に用いる助数詞	clf. for shoes (single)	只（一只鞋）	
1395	ʃo:ŋ	A2	群れに用いる助数詞	clf. for flocks	群（一群羊）	
1396	mat	DS1	筒で量る物に用いる助数詞	clf. for rice measured with a bamboo cylinder	筒（一筒米）	
1397	yo:p	DL2	腕長で計る距離に用いる助数詞	arm span around; finger span	围（一围粗）	

1398	tʰa:p	DL1	天びん棒で担ぐ 物に用いる助数 詞	bucket	挑（一担东西）	
1399	ko:p	DL1	両手でひとすく いする物に用い る助数詞	a double handful	捧（一捧米）	
1400	kam	A1	物に用いる助数 詞、ひと握り	handful	把（一把米）	
1401	pʰi:n	B1	壁に用いる助数 詞	clf. for walls	堵（一堵墙）	
1402	tɕo:ŋ tʰaw	A1 A2	…時間	hour	钟头（一个钟头）	
1403	ti:m	C	…時	o'clock	点钟（五点钟开会）	
1404.1	paj	A2	…度、…回	time	次（去一次）	
1404.2	lu:k	DL1	…度、…回	time	次（去一次）	
1405.1	tɕu:k	DL1	一回の叱責	time	顿（骂一顿）	
1405.1	to:n	B1	1 食(分)	time; meal	顿（吃一顿）	[to:nB1]とも言う。
1406	dɪ:w	A2	一眠り	time; a sleep	觉（睡一觉）	
1407	ja:m	B1	一步	step	步（一步）	

1408	ŋo:	B2	私	I	我	
1409	ni:	B2	あなた、君	you	你	
1410	te:	A1	彼、彼女	he; she	他; 她	
1411	ðaw	A2	私たち	we	我们	
1412	mo: ðaw	C A2	私たち	we	咱们	
1413	mo: ni:	C B2	あなたたち	you	你们	
1414	mo: te:	C B2	彼ら、彼女ら	they; they (females)	他们	
1415	ka:w ŋo:	B2 B2	私の	my	我的	
1416	ka:w ni:	B2 B2	あなたの	your	你的	
1417	ka:w te:	B2 A1	彼の、彼のもの	his	他的	
1418.1	ɖa:ŋ ŋo:	A2 B2	自分自身、自分	oneself	自己	
1418.2	θu: ki:	A2 A1	自分自身、自分	oneself	自己	
1419.1	kɤn na:j	A2 A2	他の人	others	别人	
1419.2	mo: kɤn	C A2	他の人	others	别人	
1420	kɤn ne:	A2 B2	この、こちらの (人)	this (man)	这 (这个人)	

1421	ʔi:n ne:	C B2	ここ	here	这里	話し手がいるところ、その近くを指して「ここに[で]」の意を表す。
1422	ka:w ne:	B2 B2	これらの	these	这些	
1423	ka:w te:	B2 A1	その、あの	that	那些（那是什么）	
1424	kʁn te:	A2 A1	その、あの(人)	that (man)	那（那个人）	
1425	ʔi: te:	C A1	そこ、あそこ	there	那里	話し手から離れた場所を指して「そこに」という意味を表す。
1426	pi:n ne:	C B2	このように	in this way	这样（这样做）	
1427	pi:n te:	C A1	あのように	in that way	那样（那样做）	
1428	tʃj na:j	B2 A2	別の所、よそ	another place	别处	
1429	taŋ kʁn	B1	各自	each ; every	各（人）	「ひとりひとりの人」は[mo:jA2 kʁnB1]と言う。
1430	mo:j	A2	毎...、...ごと	each ; every	每（人）	
1431.1	ka: ɖau	B2 A2	だれ	who	谁	
1431.2	kʁn hau	A2 A1	だれ	who	谁	

1432	ka: ðaŋ	B2 A1	どんな...	what	什么	
1433	haʊ	A1	どちら、どれ	which	哪（哪条路）	
1434	ʔi: haʊ	C A1	どこ	where	哪里（在哪里）	
1435	pi:ðʊʊ	C A2	どのように	how (to do)	怎样（做）	
1436	kj: la:j	C A1	いくら、いくつ	how many; how much	多少	
1437	tɛwɤj	C	(数・量・程度など)もっとも多い、最大多数の、最大量の、最高の	most	最（最高）	[tɛɤjC]とも言う。
1438	θja:ŋ ta:ŋ	B1 B1	非常な、極めて	extreme	极（极好）	
1439	tʰaj	C	...すぎる	too	太（太小）	[tʰa:jC]とも言う。
1440	ŋa:m ŋa:m	B1 B1	ちょうど	just	刚刚（满十岁）	
1441	ŋa:m	B1	ちょうど今	just now	刚才（看见他）	
1442	ko:n	B1	先に	first	先（你先去）	
1443	laŋ	A1	その後で	later; afterwards	后（去）	
1444	tɔk laŋ	DS1 A1	最後に	at last	最后（他们走了）	

1445	teaw	B2	ただ...だけが (...する)	only; right	就（他就来了）	
1446	to:	B2	あらゆる、すべての	all	都（大家都去了）	
1447	ko:	B2	...も	also; too	也（他也去了）	
1448	teaj	B1	再び、また	again	再（再看一下）	
1449	te:w	B2	再び、また	also; again	又（又来了）	
1450	taŋ	A2	全体の、すべての	whole	全（全村人）	
1451	kja:n	B1	ただ...だけの	only	只（只有一个人）	
1452	pe:k	DL2	...したにも関わらず無駄である	in vain; for nothing	白（白走一趟）	
1453	mɤj	A2	...しない	not; no	不	
1453	ja:	A2	...しない	not; no	不	
1454	po:ja:	B2 A2	...してはならない	don't; shouldn't	不要（别）	
1455	teaŋ	A2	まだ...ない	did not; not yet; have never	没有（尚未）	
1456.1	te ^h aw	C	...と...	and	和（我和你）	
1456.2	teaj	A2	...と...	and	和（我和你）	
1457.1	vak tee:	DS1 A1	あるいは	or	或者	[ho:A2 tse: A1] とも言う。

1457.2	te ^h a:	C	あるいは	or	或者	
1458	vɔj	B2	... するために	for; in order to	为了（你）	
1459	vi:t	DL2	...すればするほど...	the more...the more	越	
1460.1	ŋaj	A2	...に批判される	be criticized	挨（批评）	
1460.2	tauŋ	A2	...に批判される	be criticized	挨（批评）	
1461	hu:n	A1	...（場所）から	from	从（南宁来）	運動・移動などの出発点を表わす。
1462	ji:ŋ	B1	...に向けて	forward	向（前看）	
1463	to:j	B1	...（誰）に	to	对（我对他说）	
1464	kwa:	B1	...よりも	than	比（他比你高）	「X+ 形容詞+[kwa:B1]+Y」は「XはYよりも+形容詞」という意味である。
1465	pi:	C	...より	than	比（高过）	「X+[pi:C]+Y+形容詞」は「XはYより+形容詞」という意味である。

付録 5

本付録は 2004 語の名詞を収録している。収録されている語彙は『広西民族語言方音詞彙』（広西壮族自治区少数民族言語文字工作委员会 2008）をもとに、対応する龍茗方言の語彙を筆者が加えたものである。意味分野ごとに並べられており、番号と中国語の欄は先行研究によるものである。それ以外は筆者による。見出しを以下に示す。

番号	日本語	英語	中国語
1～117	天体、地理	nature, earth	天象、地理
118～161	鉱物及び無生物	mineral and inanimate object	矿物及其他无生命物
162～358	方位、時間	locality, time	方位、时间
359～642	動物	animals	动物
643～961	植物	plants	植物
962～1154	親族、身体、生理	kinship, ody, physiology	亲属、身体、生理
1155～1247	親族の呼称	kinship terminology	亲属称谓
1248～1397	人の呼び方	a person's appellation	人的称谓
1398～1507	居住、建築	residence; building	居住、建筑
1508～1639	衣服	clothing	服饰
1640～1866	生活用品、武器	daily commodities; arms	生活用具、武器
1867～1989	生産用具	production tooling	生产用具
1990～2004	経済	economy	经济

付録 5

番号	龍茗方言	声調	日本語	英語	中国語	備考
1	fa:	C	天（地に対して）	the sky; the heaven	天	
2	ti:ŋ fa:	A2 C	空	the sky; the air	天空	
3	tʰa: van	A1 A2	太陽	the sun	太阳	
4	d̪e:t	DL1	日光	sunshine	阳光	
5	kwaŋ tʰa: van	A2 A1 A2	日のかさ	solar halo	日暈	
6	ha:j	A1	月	the moon	月亮	
7	kwaŋ ha:j	A2 A1	月のかさ	lunar halo	月暈	
8	ðoŋ ha:j	B2 A1	月光	moonlight	月光	
9	d̪a:w	A2	星	star	星星	
10	d̪a:w θa: pat	A2 A1 DS1	彗星	comet	彗星	「流星」"shooting star"を [d̪a:wA2 pɤjA1 tɛɽwC] と言う。
11	ta: fa:	B2 C	銀河	the Milky Way	天河	
12	nɤm va:	A2 A2	虹	rainbow	虹	
13	vɤn pʰa:	A2 B1	雲	cloud	云	
14	vɤn pʰa: d̪am	A2 B1 C	暗雲	dark cloud	乌云	
15	vɤn pʰa: kʰa:w	A2 B1 A1	白雲	white cloud	白云	

16	hɤj	B1	空氣	air	空气	[kʰɔŋB1 kʰi:C]とも言う。
17	fa: ɖaŋ	C A2	雷	thunder	雷	
18	po: fa:	B2 A2	雷神	thunder god	雷公	
19	lɤm	A2	風	wind	风	
20	lɤm loŋ	A2 A1	強風	strong wind	狂风	
21	lɤm ke:w	A2 C	旋風	tourbillion	旋风	
22	lɤm ɔaj	A2 B1	そよ風	breeze	微风	
23	pi:ŋ	B1	冰	ice	冰	
24	tʰjap	DS1	雹	hail	冰雹	
25	θe:	A2	雪	snow	雪	
26	naj	A1	霜	frost	霜	
27	nam	C	水	water	水	
28	nam pʰɤn	C A1	雨水	rainwater	雨水	
29	nam tɕam	C C	冷水	cold water	冰水；凉水	
30	nam tɕam	C C	生水	unboiled water	生水	
31	nam kwɤn	C B1	沸騰水	boiling water	开水	
32	mat nam	DS2 C	水の雫	waterdrop	水珠	
33	nam θauɥ	C A1	清らかな水	pure water	清水	
34	nam ʔo: θo:j	C A2 A1	污水	soil water;dirty water	脏水	
35	nam vam	C A2	濁り水	turbid water	浊水	

36	p ^h ɣn	A1	雨	rain	雨	
37	p ^h ɣn mo:n	A1 B1	霧雨	drizzle	毛毛雨	[p ^h ɣn mɣn]とも言う。
38	p ^h ɣn ða:	A1 B1	にわか雨	shower	阵雨	
39	p ^h ɣn luŋ	A1 A1	豪雨	torrential rain	暴雨	
40	p ^h ɣn mo:ŋ	A1 A1	降り続く雨	continous rain	连绵雨	
41	mat p ^h ɣn	DS2 A1	雨の雫	raindrop	雨点	
42	mo:k	DL1	霧	fog	霧	
43	na:j	A2	露	dewdrop	露	
44	fa: mja:p	C DS1	稲妻	lightning	闪电	
45	tɤj	B2	大地	the earth	地（天～）	
46	na: tɤj	C B2	地面	the earth's surface	地面	
47	tɪ:ŋ tɤj	A2 B2	地上	above the ground	地上	
48	tauŋ tɤj	C B2	地下	underground	地下	
49	tɤj kja:j	B2 C	土地の境界	border line	地界	
50	tɤj ɲa:	B2 C	草原	grassland	草地	[tɕ ^h a:wA1 je:nA2]とも言う。
51	tɤm tɤj	A1 B2	土地	land	土地[指疆域]	
52	ða:j lŋ	B2 B1	傾斜地	inclined land	坡地	
53	tɤj laj ðaj	B2 B2 A2	開墾されていない土地	wasteland	荒地	

54	ða:j p ^h ja:	B2 A1	山地	mountainous region	山地	
55	txj pi:ŋ	B2 A2	平地	flat land	平地	
56	p ^h ja:	A1	山	mountain	山	
57	pja:j p ^h ja:	A1 A1	頂上	top of a mountain	山顶	
58	pjo:ŋ p ^h ja:	B2 A1	山腹	mountainside	山腰	
59	kək p ^h ja:	DS1 A1	麓	the foot of a hill	山脚	
60	ke:w p ^h ja:	B1 A1	山間の窪地	bowl-shaped depression between mountains	山坳	
61	jɪn p ^h ja:	A2 A1	尾根、山の背、山の 脊梁	mountain ridge	山脊	
62	lu:k	DL2	谷	valley	山谷	
63	po: pja:	A2 A1	小山	hill	小山包	
64	p ^h ja:	A1	岩山	stone hill;rocky hill	石山	
65	ðo:ŋ	C	土の山	earth hill;soil heap	土山	
66	ta:t	DL1	懸崖	cliff	悬崖	
67	li:ŋ	B1	坂	slope	坡	
68	li:ŋ tɛɪk	B1 DS1	急な坂	steep slope	陡坡	
69	li:ŋ tɛ ^h e:	B1 A2	坂道	slope way	斜坡	
70	ŋu:m	A2	洞穴	cave	洞；山洞	
71	ðo:ŋ	B2	洞窟	cave	洞；窟窿	

72	k ^h ɣm	A1	窪み	pit	坑	
73	k ^h ɣm va:j pa:j	A1 A2 C	泥の水たまり	puddle of muddy water	牛练塘；牛滚塘	
74	k ^h ɣm pa:m	A1 B2	小さい泥沼	mud pit	小泥坑	
75	ha:j	C	海	sea	海	
76	hu:	A2	湖	lake	湖	
77	ta:	B2	川	river	河	
78	mu:ŋ	A1	小川	brook	溪	
79	ye:n ta:	A2 B2	河岸	river bank	河岸	
80	pan ta:	A2 B2	川辺	river side	河边	
81	t ^h ɣm	A1	池	pond	池塘	
82	mu:ŋ	A1	溝	ditch	沟；水沟	人工的に作った溝。 自然に出来た溝は [lu:ŋB1 namC] と言 う。
83	p ^h a:j	A1	ダム	dam	水坝	
84	nam ta:t	C DL1	滝	waterfall	瀑布	
85	tɕj nam tɕn	B2 C C	砂浜	sandy beach	浅水滩	
86	po: la:ŋ	B1 C	波	wave	波浪	
87	nam ke:w ʔwat	C C DS1	渦	whirlpool	漩涡	
88	ðaŋ	A2	淵	pool;deep pool	潭	

89	p ^h u:k	DL1	泡	bubble	泡沫	
90	po:p	DL1	水の泡	bubble in water	水泡（水面上の）	
91	ja:j nam	A2 C	水蒸気	steam	水蒸气	
92	tei:ŋ	C	井戸	well	井；水井	
93	fo:	B1	泉	spring	泉	
94	fo: nam t ^h aw	B1 C C	温泉	hot spring	温泉	
95	fo: ɸɯn	B1 C	噴水	fountain	喷泉	
96	pa:m	B2	泥	silt;mud	泥；稀泥；淤泥	
97	naj	A2	どろりとしたコンクリートの液体	concrete paste	泥（制砖瓦用）	
98	tɯm	A1	土	soil	土	
99	mo:ŋ	A1	埃	dust	尘土	
100	tɯm ha:w	A1 C	乾いた土	dry soil	干土	
101	tɯm θa:j	A1 A2	砂土	sandy soil	沙土	
102	tɯm he:n	A1 C	黄土	loess	黄土	
103	na:	A2	水田	paddy rice field	田；水田	
104	na: le:ŋ	C	畑（水が引けない）	dry farmland	旱田[望天田]	
105	na: pa:m	A2 B2	湿田	wet paddy	烂泥田	
106	na: tɯn	A2 B2	段々畑	terraced fields	梯田	
107	na: kja:	A2 C	苗畑	rice seedling bed	秧田	

108	te: na:	A2 A2	畦道	footpath between paddy fields	田埂	
109	ðaj	B2	灌溉のできない乾燥地	arid land	地；旱地	
110	tʰm	A1	石	stone	石头	
111	tʰm la:n	A1 C	川の中の玉石	cobblestone	鹅卵石	
112	tʰm θa:j	A1 A2	砂利	pebble	沙砾	
113	θa:j	A2	砂	sand	沙子	
114	tɕʰa: tʰa:n; ɕa: tʰa:n	B1 C	海辺、浜辺	seashore; beach	沙滩	
115	ðe:k tʰm	DL2 A1	石と石の間に出来た溝、石の割れ目	crack of stone	石缝	
116	ðe:ŋ tɕm	DL2 A1	土の割れ目	crack of ground	土缝	
117	ma: tʰɕw	A1 A2	埠頭	quay (pier)	渡口；码头	
118	kʰwa:ŋ	C	鉱物	minerals	矿物	
119	kɪm	A1	金	gold	金	
120	ŋɕn	A2	銀	silver	银	
121	t ɕŋ	A2	銅	copper	铜	
122	ljak	DS1	鍛鉄	wrought iron	铁（熟鉄）	
123	kʰa:ŋ	A1	銑鉄	pig iron	铁（生鉄）	
124	θik	DS1	ブリキ	tin	锡	

125	ka:ŋ	B1	鋼鉄	steel	钢	
126	je:n	A2	鉛	lead	铅	[te ^h e:nB2]とも言う。
127	mɤj	A2	石炭	coal	煤	
128	te ^h wɤj ji:n	A1 A2	水銀	mercury	水银	
129	li:	A1	アルミ	aluminum	铝	
130	ti:	C	アンチモン	antimony	锑	
131	ljɤw va:ŋ	A2 A2	硫黄	sulphur	硫磺	
132	to:ŋ k ^h e:w	A2 A1	緑青(銅の錆)	verdigris	铜绿	
133	θi:k ka:w	DL2 A1	石膏	plaster	石膏	
134	moŋ	A1	マンガン	manganese	锰	
135	θi:w	A1	硝石	saltpeter	硝	
136	nam ɖaŋ	C B1	アルカリ水	alkaline water	碱水	あく(灰汁) まきを 作るためのアルカリ 水で、植物を燃やした 灰を水に溶かした もの。
137	pe:k fa:n	DL1 A2	明礬(みょうばん)	alum	明矾；白矾	
138	mɤŋ	C	鉄錆	iron rust	铁锈	
139	li:n faj	B2 C	燧石,火打ち石	flint	火石；燧石	
140	ɟɤɥ	B2	玉(ぎょく)	gemstone	玉石	
141	te ^h wɤj tɕi:ŋ	A1 B1	水晶	crystal	水晶	

142	po: li:	A1 A1	ガラス	glass	玻璃	
143	tʰm pa:w	A1 C	宝石	jewel	宝石	
144	jɤw	A2	油（機械用）	oil	油（机器用的）	
145	kʰi: jɤw	C A2	ガソリン	gasoline	汽油	
146	ki: jɤw	A1 A2	エンジン油	engine oil	机油	
147	jɤw tsuɥ	A2 A1	灯油	lamp oil	煤油	[mɤjA2 jɤwA2]とも言う。
148	tɕʰa:j jɤw	A2 A2	ディーゼル油	diesel fuel	柴油	
149	faj	A2	火	fire	火	
150	tʰa:n faj	B1 A2	おき火	live charcoal	火炭（正燃的）	
151	tʰa:n mɤj	B1 C	黒錆	black rust	火炭（不燃的）	
152	tʰa:n	B1	木炭	charcoal;wood coal	炭；木炭	
153	fa:n faj	C A2	火口(ほくち)	tinder	火种	
154	van faj	C A2	煙	smoke	火烟	
155	pja:j faj	A1 A2	炎、火炎	flame	火苗；火焰	
156	va: faj	A1 A2	火花、火の粉	spark	火星	
157	pjaw	B2	灰殻、灰燼(熱くない状態)	ash	火灰（已无火）	
158	pjaw dɛ:ŋ	B2 A2	灰殻、灰燼(熱い状態)	hot ash	火灰（还有火）	
159	faj pʰɤj	A2 A1	きつね火、鬼火	will-o'-the wisp	磷火	

160	p ^h jaw ða:	B1 B1	すす、煤煙	soot	煤烟子（粘在厨房墙壁上的烟灰）	
161	mɤj he:k	C DL1	鍋の底のすす	soot on the bottom of a pan	煤烟子（粘在锅底上的烟灰）	
162	tɤj fu:ŋ	B2 A1	場所	place	地方	
163	to:ŋ	A1	東	east	东	
164	θɤj	A1	西	west	西	
165	na:m	C	南	south	南	
166	pak	DS1'	北	north	北	[pɤ:B2]とも言う。
167	nu:	A1	上	top	上	「【動詞】（上に）上る」"go up to"を[k ^h ɤnC]と言う。
168	ɬu:ŋ nu:	C A1	上部、上側	the upper part;the top of	上面	[ɬu:ŋC ti:ŋC]とも言う。
169	kɤj	C	下	bottom	下	
170	ɬu:ŋ tau	C C	下部、下側	the lower part	下面	[ɬu:ŋC kɤjC]とも言う。
171	to: k ^h ɤn	A2 C	...より以上のもの	more than; above; over	以上	
172	to: lo:ŋ	A2 A2	...より以下のもの	less than; below; under	以下	
173	ɬau	A2	内部	inside	内	
174	no:k	DL2	外部	outside	外	

175	nam no:k	C DL2	外側	outside; exterior; outward	外面	
176	kja:ŋ	A1	中	inside	里	
177	nam d̪aʊ	C A2	内側	inside; interior; inward	里面	
178	nam na:	C C	前、前方	front	前面	
179	to:j na:	B1 C	目の前	under one's nose;before one's eyes	面前	
180	nam laŋ	C A1	後ろ	back;behind	后面	
181	ɸu:ŋ laŋ	C A1	裏側	the reverse side	背面	
182	laŋ	A 1	背中	back	背后	
183	ɸu:ŋ na:	C C	正面	front	正面	
184	ɸu:ŋ laŋ	C A 1	裏、裏目	reverse side	反面	
185	ɸu:ŋ ye:n	C A2	側面	side face	側面	
186	to:j na:	B1 C	向こう側	opposite	对面	
187	tauʊ	C	...の下に、...の真下 に	under	底下	
188	θwa:	A 1	右	the right	右	
189	ɸu:ŋ θwa:	C A 1	右側	the right side	右边	
190	θwa:j	C	左	the left	左	
191	ɸu:ŋ θwa:j	C C	左側	the left side	左边	

192	ye:n	A2	隣	near by position adjacency;next	旁边	
193	tʰu:	A 1	端（物の両端）	the ends of	端（物的两端）	
194	pja:j	A 1	端（物の先）	the tip of	端（尖～）	
195	ti:ŋ kja:ŋ	B1 A1	中間	centre; middle	中间	
196	pjo:ŋ lo:	B2 B2	中途	halfway	半路	
197	pan ye:n	A2 A2	近所	neighborhood	附近	
198	θɤj pu:n ye:n	B1 B2 A2	周囲、四面	round	周围	
199	ko:k	DL1	角（かど）、隅	corner	角落	
200	kja:j	C	境界線	boundary line	界线	
201	muu: kʰa: ko:n	B2 A 1 B1	昔、かつて	once upon a time	从前	
202	kʰa: ko:n	A 1 B1	以前、すでに	before; a long time ago	以前	
203	tɔk laŋ	DS1 A1	その後で、後になっ て	after;afterwards	以后	
204	tɕŋ ne:	C B2	今、現在	now; at present	现在	
205	tɕŋ ne:	C B2	現時点	at present; at the moment	目前	
206	tɔk laŋ	DS1 A1	それから、その後で	afterwards; later; then	后来	
207	θa:w ma:	B2 A2	最近、近ごろ、この ごろ	recently	近来	[θa:wB2 ne: B2]とも 言う。
208	to: mɤu	A2 C	過去	(in the) past	过去	

209	pjok	DS1	将来	(in the) future	将来	
210	ʔi: kək ʔjat	C C	最初	prime; initial; first	最初	
211	pɪŋ teu:ŋ	A2 A2	普段	usual; ordinary	平时	[pɪŋA2 θɤjA2]とも言う。
212	θɤj	A2	時、ちょっと(の間)	moment	时候	
213	te ^h ɤn	B1	春	spring	春	
214	hja:	C	夏	summer	夏	
215	te ^h ɤw	B1	秋	autumn	秋	[ɕɤwA1]とも言う。
216	to:ŋ	A1	冬	winter	冬	
217	pɤj	A1	年	year	年	
218	pɤj	A1	歳	age	岁 (年～)	
219	pɤj kwa:	A1 B1	去年	last year	去年	
220	pɤj kja:j	A1 A1	一昨年	the year before last	前年	
221	pɤj kjɤw	A1 C	一昨々年	two years before last	大前年	
222	pɤj ne:	A1 B2	今年	this year	今年	
223	pɤj na:	A1 C	来年	next year	明年	
224	pɤj laŋ	A1 A1	再来年	the year after next	后年	
225	pɤj laj	A1 B1	再来年の次の年	three years from now	大后年	
226	to: pɤj	A2 A1	行く年、旧年	the old year	往年	
227	pɤj ɲɤn	A1 B2	うるう年	leap year	闰年	

228	pxj te:	A1 A1	あの頃、その昔、当時	in those days	当年	
229	ŋo: ŋu:t tɕʰo: ŋo:	C DL2 A1 C	端午の節句（旧暦の五月五日）	the dragon boat festival (the 5th day of the 5th lunar month)	端午节	
230	tɕat ŋu:t θɪp θɪj	DS1 DL2 DS1 B1	中元節（先祖や亡くなった肉親を祭る）	hungry ghost festival	中元节	旧暦の七月十四日
231	pe:t ŋu:t θɪp ha:	DL1 DL2 DS1 C	中秋節（旧暦の八月十五日）	the mid-autumn festival (15th day of the 8th lunar month)	中秋节	
232	ɣa:m dɔp	B2 DS1	大晦日（旧正月）	New Year Eve	除夕	
233	ɬu:n tɕi:ŋ	A2 A1	旧正月	Lunar New Year	春节	
234	tɕi:t	DL1	祝日、祭日	festival (day)	节；节日	
235	ɬu:n	A2	(暦の上の)月	month	月（月份）	
236	ɬu:n tɕi:ŋ	A2 A1	正月	New Year	正月	
237	ɬu:n tɕi:ŋ	A2 A1	一月（旧暦）	the first month of the lunar year	一月	"January"「一月」は [ji:A2 je:A2]と言う。
238	ɬu:n ɲɪj	A2 B2	二月（旧暦）	the second month of the lunar year	二月	"February"「二月」は [ʔɻ:C je:A2]と言う。
239	θa:m ŋu:t	A1 DL2	三月（旧暦）	the third month of the lunar year	三月	"March"「三月」は [θa:nB1 je:A2]と言 う。

240	θɔj ɲu:t	B1 DL2	四月（旧暦）	the fourth month of the lunar year	四月	"April"「四月」は [θu:B1 je:A2]と言 う。
241	ŋo: ɲu:t	C DL2	五月（旧暦）	the fifth month of the lunar year	五月	"May"「五月」は [ʔu:A1 je:A2]と言 う。
242	lɔk ɲu:t	DS2 DL2	六月（旧暦）	the sixth month of the lunar year	六月	"June"「六月」は [lu:A2 je:A2]と言 う。
243	teat ɲu:t	DS1 DL2	七月（旧暦）	the seventh month of the lunar year	七月	"July"「七月」は [te ^{hi} :A2 je:A2]と言 う。
244	pe:t ɲu:t	DL1 DL2	八月（旧暦）	the eighth month of the lunar year	八月	"August"「八月」は [pa:A2 je:A2]と言 う。
245	kaw ɲu:t	C DL2	九月（旧暦）	the ninth month of the lunar year	九月	"September"「九月」 は[kjɤw A1 je:A2]と言 う。
246	teip ɲu:t	DS2 DL2	十月（旧暦）	the tenth month of the lunar year	十月	"October"「十月」は [θu:A2 je:A2]と言 う。
247	tei: ʔit	B2 DS1	十一月（旧暦）	the eleventh month of the lunar year	十一月	"November"「十一 月」[θu:A2 ji:A2 je:A2]はと言う。

248	ɸu:n la:p	A2 DL2	十二月 (旧暦)	the twelfth month of the lunar year	腊月	"December" 「十二月」 [θu:A2 ʔɾ:C je:A2]はと言う。
249	ɸu:n lu:ŋ	A2 A1	31 日の太陽月	a solar month of 31 days	大月 (农历)	
250	ɸu:n θaj	A2 B1	30 日の太陽月	a solar month of 30 days	小月 (农历)	
251	təo: ki:	A1 C	上旬	first ten days of month	上旬	
252	θip ki:	DS1 C	中旬	second ten days of a month	中旬	
253	ɲi: ki:	B2 C	下旬	later part of a month	下旬	
254	van	A2	(暦の上の)日	day	天 ; 日	
255	van ne:	A2 B2	今日	today	今天	
256	van va:	A2 A2	昨日	yesterday	昨天	
257	van θɤn	A2 A2	一昨日	the day before yesterday	前天	
258	to:j van	B1 A2	一昨昨日	three days ago	大前天	
259	van pjok	A2 DS1	明日	tomorrow	明天	
260	van hɤq	A2 A2	明後日	the day after tomorrow	后天	
261	to:j van	B1 A2	明明後日	three days from now	大后天	
262	θi:ŋ kʰi:	B1 A2	週、1 週間、7 日間	week	星期	[tɕɤwB1]とも言う。
263	θi:ŋ kʰi: ji:	B1 A2 A2	月曜日	Monday	星期一	

264	θi:ŋ kʰi: ʔɤ:	B1 A2 C	火曜日	Tuesday	星期二	
265	θi:ŋ kʰi: θa:n	B1 A2 B1	水曜日	Wednesday	星期三	
266	θi:ŋ kʰi: θu:	B1 A2 C	木曜日	Thursday	星期四	
267	θi:ŋ kʰi: ʔu:	B1 A2 A1	金曜日	Friday	星期五	
268	θi:ŋ kʰi: lu:	B1 A2 A2	土曜日	Saturday	星期六	
269	li: paj	A1 C	日曜日	Sunday	星期天	
270	van fauŋ	A2 B2	定期市の立つ日、市日	market day	圩日；集日	3 日間に 1 日である。
271	van ɗa:j	A2 A2	市日ではない日	non-market day	闲日（非圩日）	
272	van jɤw ɗa:j	A2 B1 A2	休日	holiday	闲日（泛指）	
273	to:j van laŋ	B1 A2 A1	明明後日の次の日	four days from now	大大后天（紧接着大后天之后的第一天）	
274	van ɣo:j	A2 B2	土地の神様を祭る日	the day to worship the god of the land	社日（祭土地神的日子）	
275	van ɣam	A2 B2	日夜	day and night	日夜	
276	ɸu:n van	A2 A2	生活、日々（時間をさす）	life; livelihood	日月（指时间）	
277	ʔa: van	A2 A2	昼間	daytime	白天	
278	ʔa: ɣɤn	A2 A2	夜間	nighttime	夜里	
279	nauŋ teaw	A2 C	早朝	(early) morning	早晨	
280	la:j la:	A2 C	夜明け	daybreak、dawn	黎明	

281	ʔa: nau	A2 A1	午前、昼前	morning	上午	[tɕʰa:ŋC ʔu: A1]とも言う。
282	θɕj ɲa:j	A2 A2	昼ごろ	around noon	中午	[tɕo:ŋB1 ʔu: A1]とも言う。
283	θɕj le:n	A2 A2	午後	afternoon	下午	
284	ʔa: ɣam	A2 B2	夜	evening;night	晚上	
285	kja:ŋ ɣɤn	A1 A2	真夜中	midnight	午夜；半夜	
286	kja:ŋ ɣɤn	A1 A2	深夜	late at night	深夜（下半夜）	
287	kʰaw ɣam	C A2	夕方	twilight	傍晚	
288	θɕp dɤm	DS2 A2	日暮れ	dusk	黄昏	
289	θɕj	A2	時間	time	时间	[tɕʰi:A2 ke:nB1]とも言う。
290	tɕo:ŋ tʰaw	A1 A2	～時間	hour	小时	
291	ti:m	C	～時	hour	点（小时）	[ti:mC tɕo:ŋA1]とも言う。
292	fan	A1	分	minute	分（时间单位）	
293	mja:w	A1	秒	second	秒	
294	tɕʰo: ʔjat	A1 DS1	新年の初日、毎月の初日（旧暦）	the beginning of new year;first day of chinese lunar calendar (of a lunar month)	初一	

295	te ^h o: ɲɤj	A1 B2	新年の 2 日目、毎月 の 2 日目 (旧暦)	the second day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初二	
296	te ^h o: θam	A1 A1	新年の 3 日目、毎月 の 3 日目 (旧暦)	the third day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初三	
297	te ^h o: θɤj	A1 B1	新年の 4 日目、毎月 の 4 日目 (旧暦)	the fourth day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初四	
298	te ^h o: ha:	A1 C	新年の 5 日目、毎月 の 5 日目 (旧暦)	the fifth day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初五	
299	te ^h o: ɔɔk	A1 DS1	新年の 6 日目 毎月 の 6 日目 (旧暦)	the sixth day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初六	

300	te ^h o: teat	A1 DS1	新年の 7 日目、毎月 の 7 日目 (旧暦)	the seventh day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初七	
301	te ^h o: pe:t	A1 DL1	新年の 8 日目、毎月 の 8 日目 (旧暦)	the eighth day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初八	
302	te ^h o: kaw	A1 C	新年の 9 日目、毎月 の 9 日目 (旧暦)	the ninth day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初九	
303	te ^h o: θip	A1 DS1	新年の 10 日目、毎月 の 10 日目 (旧暦)	the tenth day of the New Year ;of every month (of a lunar month)	初十	
304	θip ha:	DS1 C	十五日 (旧暦)	the fifteenth day of the New Year ;the fifteenth day (of a lunar month)	十五 (阴历)	

305	θip ðək	DS1 DS1	十六日 (旧歴)	the sixteenth day of the New Year;the fifteenth day (of a lunar month)	十六 (阴历)	
306	van d̪ap	A1 DS1	三十日 (旧歴)	last day of the Year ;thirtieth day of the month	三十 (阴历)	[θamA1 θipDS1]とも言う。
307	kja:	A2	十干の甲	the first of the ten heavenly stems	甲 (天干第一)	
308	ji:	A2	十干の乙	the second of the ten heavenly stems	乙 (天干第二)	
309	pi:ŋ	A1	十干の丙	the third of the ten heavenly stems	丙 (天干第三)	
310	ti:ŋ	A1	十干の丁	the fourth of the ten heavenly stems	丁 (天干第四)	
311	hu:	B1	十干の戊	the fifth of the ten heavenly stems	戊 (天干第五)	
312	ki:	A1	十干の己	the sixth of the ten heavenly stems	己 (天干第六)	
313	kɤŋ	B1	十干の庚	the seventh of the ten heavenly stems	庚 (天干第七)	
314	θm	B1	十干の辛	the eighth of the ten heavenly stems	辛 (天干第八)	

315	jin	B1	十干の壬	the ninth of the ten heavenly stems	壬（天干第九）	
316	k ^h wɿj	A2	十干の癸	the tenth of the ten heavenly stems	癸（天干第十）	
317	tɛɿj	C	十二支の子	Rat (zodiac)	子（地支第一）	
318	tɛ ^h aw	B1	十二支の丑	Ox (zodiac)	丑（地支第二）	
319	ji:n	A2	十二支の寅	Tiger (zodiac)	寅（地支第三）	
320	maw	B1	十二支の卯	Hare (zodiac)	卯（地支第四）	
321	θm	A2	十二支の辰	Dragon(zodiac)	辰（地支第五）	
322	tɛɿj	B2	十二支の巳	Serpent(zodiac)	巳（地支第六）	
323	ŋo:	B1	十二支の午	Horse(zodiac)	午（地支第七）	
324	mɿj	B2	十二支の未	Sheep(zodiac)	未（地支第八）	
325	θan	A1	十二支の申	Monkey (zodiac)	申（地支第九）	
326	jaw	C	十二支の酉	Cock (zodiac)	酉（地支第十）	
327	θɿt	DS1	十二支の戌	Dog (zodiac)	戌（地支第十一）	
328	ɣaj	B2	十二支の亥	Boar (zodiac)	亥（地支第十二）	
329	ko:n	B1	先に	first	先	
330	laŋ	A1	後ろに	behind; back	后	
331	tɛok ke:	DS1 B1	古代	ancient times	古代；古时	
332	tɛɿŋ ne:	C B2	現代	modern times; nowadays	現代	

333	tean dɛ:w	B1 A2	少しの間	a little while	一会儿；一瞬间	[ʔi:C teanB1 dɛ:wA2]或いは[ʔi:C dɛ:wA2]とも言う。
334	tɛi:t	DL1	二十四節気	Solar term	节气	
335	lap tɛʰɯŋ	DS2 B1	二十四節気の立春	beginning of spring (1st solar term)	立春	
336	pʰɯŋ nam	A1 C	二十四節気の雨水	rain water (2nd solar term)	雨水	
337	kɯŋ tɛɪk	A1 DS1	二十四節気の啓蟄	the waking of insects (3rd solar term)	惊蛰	
338	tɛʰɯŋ fɯŋ	B1 B1	二十四節気の春分	the spring equinox (4th solar term)	春分	

339	te ^{hi} :ŋ mi:ŋ	B1 A2	二十四節気の清明	pure brightness (5th solar term)	清明	[te^{hi}:ŋA1 mi:ŋA2]と 言う場合も有る。中 国の祝日、清明節は 祖先の墓を参り、草 むしりをして墓を掃 除する日であり、 「掃墓節」とも呼ば れた。毎年の4月5 日である。なお、チ ワン族の伝統的な 「掃墓節」は旧暦の3 月3日である。お花 や草などで染めた五 色（白、赤、紫、黄 色い、黒などの五 色、家庭によって色 の差異がある）のも ち米を食べる習慣が ある。さらに、その 日歌の掛け合いを行 う地域もある。チワ ン族にとって年に一
-----	--------------------------	-------	----------	----------------------------------	----	---

						度だけの大切なお祭りである。
340	ku: ʔɤ:	B1 B1	二十四節気の穀雨	grain rain (6th solar term)	谷雨	
341	lap ja:	DS2 B2	二十四節気の立夏	beginning of summer (7th solar term)	立夏	
342	θju: mu:n	C B2	二十四節気の小満	grain full (8th solar term)	小満	
343	moŋ teoŋ	A2 B1	二十四節気の芒種	grain in ear (9th solar term)	芒种	
344	ja: teɤj	B2 B1	二十四節気の夏至	the summer solstice (10th solar term)	夏至	

345	θja:w te ^h i: (ei:)	A1 A1	二十四節気の小暑	slight heat (11th solar term)	小暑	
346	ta: te ^h i: (ei:)	C A1	二十四節気の大暑	great heat (12th solar term)	大暑	
347	lap te ^h ɣw	DS2 B1	二十四節気の立秋	beginning of autumn (13th solar term)	立秋	
348	te ^h i: te ^h i:	A1 A1	二十四節気の処暑	the limit of heat (14th solar term)	処暑	
349	pe:k lo:	DL2 B2	二十四節気の白露	white dew (15th solar term)	白露	
350	te ^h ɣw fan	A1 A1	二十四節気の秋分	the autumnal equinox (16th solar term)	秋分	
351	ɣa:n lo:	A2 B2	二十四節気の寒露	cold dew (17th solar term)	寒露	
352	θo:ŋ kja:ŋ	B1 B1	二十四節気の霜降	frost descent (18th solar term)	降霜	
353	lap to:ŋ	A2 A1	二十四節気の立冬	beginning of winter (19th solar term)	立冬	
354	θja:w θe:	A1 A2	二十四節気的小雪	slight snow (20th solar term)	小雪	
355	ta: θe:	C A2	二十四節気の大雪	great snow (21st solar term)	大雪	

356	to:ŋ tɛɣj	A1 B1	二十四節気の冬至	the winter solstice (22nd solar term)	冬至	
357	θja:w ha:n	A1 A2	二十四節気の小寒	slight cold (23rd solar term)	小寒	
358	ta: ha:n	C A2	二十四節気の大寒	great cold (24th solar term)	大寒	
359	mo:	A2	牛	cattle	牛	
360	mo:	A2	黄牛	yellow cattle	黄牛	
361	va:j	A2	水牛	water buffalo	水牛	
362	mo: va:j tɜk	A2 A2 DS2	雄牛	bull; ox	公牛 (一般的)	
363	mo: va:j ji:m	A2 A2 A2	(去勢された) 雄牛	(castrated) ox	公牛 (阉过的)	
364	mo: va:j θe:ŋ	A2 A2 A1	繁殖用雄牛、種牛	bull	公牛 (配种的)	
365	mo: tɜk	A2 DS2	雄の子牛	bull calf	小公黄牛	
366	va:j tɜk	A2 DS2	雄の子水牛	water buffalo calf	小公水牛	
367	mo: va:j me:	A2 A2 B2	雌牛	cow	母牛	
368	mo: va:j me:	A2 A2 B2	(経産) 雌牛	cow (parous)	母牛 (已生崽的)	
369	mo: va:j θɜu	A2 A2 B1	(未産) 雌牛	cow (nonparous)	母牛 (未生过崽的)	
370	mo: va:j man	A2 A2 A1	(生殖能力がない) 雌牛	cow (agenesia)	母牛 (无生殖力的)	
371	mo: man	A2 A1	(生殖能力がない) 雌の黄牛	female yellow cattle (agenesia)	母黄牛 (无生殖力的)	

372	va:j man	A2 A1	(生殖能力がない) 雌の水牛	female water buffalo (agenesia)	母水牛 (无生殖力的)	
373	ma:	C	馬	horse	马	
374	ma: me:	C B2	(経産) 雌馬	mare (parous)	母马 (已生崽的)	
375	ma: θɤu	C B1	(未産) 雌馬	mare (nonparous)	母马 (未生过崽的)	
376	ma: to:ŋ	C B2	野生の馬	wild horse	野马	
377	ma: tɤk	C DS2	雄馬	male horse	公马	
378	ma: θe:ŋ	C A1	種馬	stud horse	种公马	
379	tu: li:	B1	ロバ (驢馬)	donkey	驴	
380	tu: lo:	A2	ラバ (騾馬)	hinny	骡子	
381	6e:	C	羊	sheep	羊	
382	6e: po:	C B2	雄羊	ram	公羊	
383	6e: me:	C B2	(経産) 雌羊	ewe (parous)	母羊 (已生崽的)	
384	6e: θɤu	C B1	(未産) 雌羊	ewe (nonparous)	母羊 (未生过崽的)	
385	6e:	C	ヤギ (山羊)	goat	山羊	
386	6e: ɲoŋ	C A2	メンヨウ (綿羊)	sheep (for wool)	绵羊	[me:nA2 ja:ŋA2]とも言う。
387	mɤw	A1	豚	pig	猪	
388	mɤw ji:m	A1 A2	(去勢された) 雄豚	barrow	公猪 (阉过的)	
389	mɤw po:	A1 B2	雄豚	boar	公猪 (一般的)	
390	mɤw fan	A1 A2	繁殖用雌豚	breeding femal pig	公猪 (配种的)	

391	mɿw me:	A1 B2	(経産) 雌豚	sow (parous)	母猪 (已生崽的)	
392	mɿw θɿu	A1 B1	(未産) 雌豚	sow (nonparous)	母猪 (未生过崽的)	
393	ma:	A1	犬	dog	狗	
394	ma: θɿu	A1 B1	(未産) 雌犬	female dog (nonparous)	母狗 (未生过崽的)	
395	ma: me:	A1 B2	(経産) 雌犬	female dog (parous)	母狗 (已生崽的)	
396	ma: po:	A1 B2	雄犬	male dog	公狗	
397	ma: pa:k	A1 DL2	狂犬	mad dog	疯狗	
398	ma: hm	A1 A1	狩猎犬	hunting dog	猎狗	[hmA1 ma:A1]は「狐」である。
399	me:w	A2	猫	cat	猫	
400	me:w po:	A2 B2	雄猫	male cat	公猫	
401	me:w me:	A2 B2	(経産) 雌猫	female cat (parous)	母猫 (已生崽的)	
402	me:w θɿu	A2 B1	(未産) 雌猫	female cat (nonparous)	母猫 (未生过崽的)	
403	mo: hi:n	C A1	野獣	wild beast	野兽	
404	θu:	A1	虎	tiger	老虎	
405	θu: po:	A1 B2	雄虎	male tiger	公老虎	
406	θu: me:	A1 B2	(経産) 雌虎	female tiger (parous)	母老虎 (已生崽的)	
407	θu: θɿu	A1 B1	(未産) 雌虎	female tiger (nonparous)	母老虎 (未生过崽的)	

408	θu: θu:	A1 B1	ライオン	lion	獅子	
409	tɕu:ŋ	A2	象	elephant	象	
410	mɕj	A1	熊	bear	熊	
411	mɕj nam	A1 A2	黒熊	Asiatic black bear	狗熊；黒熊	
412	pa:w	A1 C	ヒョウ	leopard	豹子	
413	ka:ŋ	A2	オランウータン	orangutan	猩猩	
414	li:ŋ	A2	サル	monkey	猴子	
415	lɔk	DS2	鹿	deer	鹿	
416	na:n	C	赤麂	barking deer	鹿子；黄猄	学名: <i>Muntiacus muntjak</i> 、小さな角を持ち、小さな角を持ち、吠えるようになく、アジアに生息する小型の鹿。
417	mɕw kja:w	A1 B2	イノシシ	(wild) boar	野猪	
418	tu: to:n	A1 A1	ハリネズミ	hedgehog	刺猬	
419	tu: mi:n	A1 C	ヤマアラシ	porcupine	豪猪；箭猪	
420	kwaŋ	A1	ジャコウジカ（麝香鹿）	musk deer	麝	
421	la:ŋ	A2	オオカミ	wolf	狼	
422	me:w to:ŋ	A1 B2	ヤマネコ	wildcat	野猫	
423	hm ma:	A1 A1	キツネ	fox	狐狸	

424	ma: θu:ŋ	A1 A1	イタチ	yellow weasel	黄鼠狼	悪臭がある。
425	tu: mo:ŋ	A1 A2	ハクビシン（白鼻 芯）	Paguma larvata	果子狸	
426	ðu:n	C	カワウソ	otter	水獺	
427	tʰo:	B1	ノウサギ	hare	兔子	
428	tʰo: ðu:n	B1 A2	イエウサギ	rabbit	家兔	
429	ðm	B2	センザンコウ（穿山 甲）	pangolin	穿山甲	
430	tɕo:n	C	リス	squirrel	松鼠	
431	nɯw	A1	ネズミ	mouse; rat	老鼠	
432	nɯw pʰja:	A1 A1	ヤマネ（山鼠）	loir	山鼠	
433	ʔwɯn	C	モグラ	mole	鼯鼠；盲鼠	
434	tu: ɬa:ŋ	A1 B1	ムササビ（鼯鼠）	flying squirrel	鼯鼠；飞虎	
435	tu: mo:ŋ	A1 A2	ハクビシン（白鼻 芯）	fox (pale face)	白面狸	同 425
436	hm me:w	A1 A2	オオヤマネコ	lynx	野狸	
437	nɯŋ ma: nɯŋ mɯw	A2 A1; A2 A1	耳が聞こえないユニ ークな動物、日本名 不詳		聋狗[有两种，一种似 狗；一种似猪，耳聋]	山には[nɯŋA2 ma:A1] （犬に似ていて耳が 聞こえない動物）と [nɯŋA2 mɯwA1]（豚に 似ていて耳が聞こえ ない動物）があると

						伝えられてきたが、 筆者を含む村のハン ターたちは一度も狩 れたことがない。
438	kaj	B1	鶏	chicken	鸡	
439	kaj po:	B1 B2	雄鶏	cock	公鸡	
440	kaj 0e:ŋ	B1 A1	(鳴き始めたばかり の) 若い雄鶏	cockerel	小公鸡 (刚会啼)	
441	kaj me:	B1 B2	(産卵した) めんど り	hen (laying)	母鸡 (生过蛋的)	
442	kaj k ^h u:ŋ	B1 B1	(未産卵の) めんど り	hen (not laying)	母鸡 (未生过蛋的)	
443	kaj to:n	B1 A1	(去勢して太らせ た) 食用の雄鶏	capon	阉鸡	
444	nok kaj	DS2 A1	キジ	pheasant	雉; 野鸡	
445	kaj na:	B1 A2	クイナ	crake	秧鸡	
446	kaj ma:n	B1 B1	(しっかりと去勢さ れていない) 雄鶏	capon (uncompleted)	阉鸡 (未阉净的)	
447	kaj fan ʔi:	B1 A2 A1	(小さい) 種鳥	breeding bird (small)	小种鸡	
448	kaj fan lu:ŋ	B1 A2 A1	(大きい) 種鳥	breeding bird (big)	大种鸡	
449	pjat	DS1	アヒル	duck	鸭子	
450	pjat k ^h u:ŋ	DS1 B1	(産卵) 雌のカモ	female duck (laying)	母鸭 (未生过蛋的)	

451	pjat me:	DS1 B2	(未産卵) 雌のカモ	female duck (not laying)	母鴨 (已生过蛋的)	
452	pjat pu:n	DS1 B1	マガモ (真鴨)	dabbling duck	水鴨 ; 野鴨	学名: <i>Anas platyrhynchos</i>
453	pjat le:ŋ	DS1 C	ノバリケン	muscovy duck	旱鴨 ; 西洋鴨	学名: <i>Cairina moschata</i> 、[θi:B1 ja:ŋA2 ja:B2]とも言う。ノバリケンを家禽化したものがバリケンである。
454	pɣn	B2	ガチョウ	domestic goosedomestic goose	鵞	学名: <i>Anser cygnoides domestica</i>
455	pɣn po:	B2 B2	雄のガチョウ	male goose	公鵞	
456	pɣn kʰu:ŋ	B2 B1	(未産卵) 雌のガチョウ	female goose (not laying)	母鵞 (未生过蛋的)	
457	pɣn me:	B2 B2	(産卵) 雌のガチョウ	female goose (laying)	母鵞 (已生蛋的)	
458	ha:n fa:	B1 A2	ハクチョウ	whooper swan	天鵞	学名: <i>Cygnus cygnus</i>
459	nɔk	DS2	鳥	bird	鸟	
460	nɔk po:	DS2 B2	雄の鳥	male bird	雄鸟	
461	nɔk me:	DS2 B2	雌の鳥	female bird	雌鸟	
462	tu: ha:n	B1	ガン、カリ (雁)	goose	雁	学名: <i>Anser</i>

463	ji: ji:ŋ	A2 A2	カワウ (河鵜、川鵜)	great cormorant	鸕鷀 ; 鱼鷹	学名: <i>Phalacrocorax carbo</i>
464	nək pe:k lo:	DS2 DL2 B2	サギ (鷺)	snowy heron	白鷺	学名: <i>Egretta</i>
465	nək je:n ja:ŋ	DS2 B1 B1	オシドリ (鴛鴦)	mandarin duck	鸳鸯	学名: <i>Aix galericulata</i>
466	nək tu:k pja:	DS2 DL1 A1	カワセミ (魚狗、川蟬)	kingfisher	翠鳥 ; 鱼狗	学名: <i>Alcedo atthis</i>
467	nək kɾw ʔa:p	DS2 A1 DL1	ドバト (土鳩)	rock pigeon	鸽子	学名: <i>Columba livia</i>
468	lam	B2	タカ (鷹)	grey hawk	老鷹	学名: <i>Buteo plagiatus</i>
469	kʰwi:n	C	ハイタカ (鵟)	eurasian sparrowhawk	鵟鷹 ; 雀鷹	学名: <i>Accipiter nisus</i>
470	nək pe:k	DS2 DL2	コモンシャコ (鷓鴣)	Chinese francolin	鷓鴣	学名: <i>Francolinus pintadeanus</i>
471	nək kɾw	DS2 A1	キジバト (雉鳩)	Streptopelia	斑鳩	学名: <i>Streptopelia orientalis</i>
472	nək ku: ku:	DS2 A1 B2	カッコウ (郭公)	common cuckoo	布谷鳥 ; 杜鹃	学名: <i>Cuculus canorus</i>
473	nək tɕo:k maj	DS2 DL1 C	キツツキ科 (啄木鳥)	woodpecker	啄木鳥	学名: <i>Picidae</i>
474	nək ka: teak	DS2 A1 DS1	カササギ (鵲)	eurasian magpie	喜鵲	学名: <i>Pica pica</i>
475	ka:	A1	カラス	crow	乌鸦	学名: <i>Corvus violaceus</i>
476	nək ke:w	DS2 B1	ハッカチョウ (八哥鳥)	crested myna	八哥	学名: <i>Acridotheres cristatellus</i>
477	nək tɕo:k	DS2 DL1	スズメ	eurasian tree sparrow	麻雀	学名: <i>Passer montanus</i>
478	nək ʔe:n	DS2 B1	ツバメ (燕)	barn swallow	燕子	学名: <i>Hirundo rustica</i>

479	nək va: mɤj	DS2 A1 A2	ガビチョウ (画眉鳥)	Chinese hwamei	画眉鸟	学名: <i>Garrulax canorus</i>
480	ka: ɣa:w	A1 A2	コウモリ (蝙蝠)	bat	蝙蝠	
481	fɯŋ	B2	鳳凰	Chinese phoenix	凤凰	
482	nək ko:t	DS2 DL2	バンケン (蕃鵒)	greater coucal	红毛鸡	学名: <i>Centropus sinensis</i>
483	pe:k ha:k	DL2 DL2	ツル (鶴)	crane	鹤	学名: <i>Gruidae</i>
484	nək ku: vak	DS2 B2 DS1'	ウズラ (鶉)	quail coturnix	鹌鹑	学名: <i>Coturnix japonica</i>
485	ɬa:k me:w	DL1 A2	ヨタカ (夜鷹)	Japanese goatsucker	夜鷹	学名: <i>Caprimulgus indicus</i>
486	nək he:n	DS2 C	コウライウグイス (高麗鶯、黄鳥)	black-naped oriole	黄莺 ; 黄鹂	学名: <i>Oriols chiness</i>
487	nək fan pʰjak	DS2 A2 DS1	メジロ (目白)	Japanese white-eye	绿豆鸟	学名: <i>Zosterops japonicus</i>
488	ka: ja:k	A1 DL1	キレンジャク (黄連雀)	bohemian waxwing	太平鸟 ; 红屁股鸟	学名: <i>Bombycilla garrulus</i>
489	lam kɤm	B2 C	フクロウ (梟)	owl	猫头鹰	
490	lo:ŋ	A2	竜	dragon	龙	
491	ŋu:k	DL2	鰐	crocodile	蛟龙	
492	mo: pɤj	A2 A2	トカゲ	lizard	蜥蜴	
493	ŋaw ɔ̃u:n	A2 A2	ヤモリ	house gecko	壁虎	

494	tu: θi:t	A1 DL2	サソリ (蝎)	scorpion	蝎子	学名: <i>Scorpiones</i> 、猛毒がある。山でめったに見かけた事がないが、町の市場から購入できる。アルコール度の高い酒に入れて薬用酒を作る。かつて、筆者の祖父は関節痛、リウマチの治療などに用いた。
495	ŋɔw	A2	蛇	snake	蛇	
496	ta:ŋ	B2	ビルマニシキヘビ (緬甸錦蛇)	burmese python ; python molurus bivittatus	蟒蛇；南蛇	学名: <i>Python bivittatus Kuhl</i> 、無毒で毒牙はないが、多数の鋭い歯を有するのでかまれると重傷を負うことがある。
497	ŋɔw tɛ ^h wɔj fɔŋ	A2 A1 B1	コブラ	cobra	眼镜蛇；吹风蛇	学名: <i>Elapidae</i> 、有毒。

498	ŋɣw kʰo:t ɓoŋ	A2 DL1 C	マルオアマガサ (丸尾雨傘)	bungarus fasciatus	金包铁 ; 金环蛇	学名: <i>Bungarus fasciatus</i> 、有毒。毒性はアマガサヘビ (雨傘蛇) より弱いと伝われる。[kamA1 pa:wA1 ti:tDL1]とも言う。
499	ŋɣw kʰo:t ɓoŋ	A2 DL1 C	アマガサヘビ (雨傘蛇)	bungarus multicinctus	银包蛇 ; 银环蛇	学名: <i>Bungarus multicinctus</i> 、有毒。マルオアマガサ (丸尾雨傘) より毒性が強いと伝われる。[ŋanA2 pa:wA1 ti:tDL1]とも言う。
500	ŋɣw ɗi:t	A2 DL1	草花蛇	checkered keelback	草花蛇	学名: <i>Xenochrophis piscator</i> 、背中には枯れた草のような茶色の模様がある。水際に出没することが多い。無毒。
501	ŋɣw θa:m θi:n	A2 A1 B1	シマヘビ (縞蛇)	(three) lined snake	三线蛇	学名: <i>Elaphe rufodorsata</i> 、通常は淡黄色の体色に、3本の

						白い縦縞模様が入る。無毒。
502	ŋɿw k ^h e:w	A2 A1	タイワンアオハブ	Chinese green tree viper	青竹蛇	学名: <i>Trimeresurus stejnegeri Schmidt</i> 、マムシ亜科に属する毒蛇の一種。
503	ŋɿw la:j k ^h a:w	A2 A2 A1	ヒャッポダ (百歩蛇)	deinagkistrodon acutus	白花蛇	学名: <i>Deinagkistrodon</i> 、咬まれたら、5 歩歩かないうちに死ぬと言われる毒蛇。中国では五歩蛇と呼ばれることもある。また、頭部の形状から尖吻蝮とも呼ばれる。龍茗では[ʔu:A1 pu:C tɕ ^h e:A2]とも言う。
504	ŋɿw nam	A2 C	ミギワヘビ (水際蛇)	water snake	水蛇	学名: <i>Natrix annularis Hallowell</i> 、無毒。
505	ŋɿw faj	A2 A2	アカマダラ (赤斑)	Dinodon rufozonatum	赤练蛇	学名: <i>Lycodon rufozonatus</i> 、無毒の蛇

						であるが、臭い匂いを放つ。
506	no:n	A1	虫	insect	虫	虫の総称である。
507	ka: fɤj	A1 A2	蝶	butterfly	蝴蝶	
508	p ^h a: maw	B1 B2	蛾	moth	蛾子；螟蛾	
509	koŋ kwø:	C B2	トンボ	dragonfly	蜻蜓	
510	tei: ða:w	B1 A1	クモ	spider	蜘蛛	
511	tu: ni:ŋ	A1 B1	アメンボ	water strider	水黽	
512	θa:p	DL1	ゴキブリ	cockroach	蟑螂	
513	tei: ðe:p	B1 B2	ムカデ	centipede	蜈蚣	
514	no:n ja:ŋ	A1 C	毛虫	caterpillar	毛毛虫	
515	tei: ði:ŋ	B1 B2	コオロギ	cricket	蟋蟀	
516	tak tɤn	DS1 C	キリギリス	tettigoniidae	蝈蝈	
517	ji:ŋ ho:j	A1 C	ホタル	firefly	萤火虫	
518	ɲoŋ	A2	蚊	mosquito	蚊	
519	mwat k ^h a:w	DS2 A1	シロアリ	white ant	白蚁	
520	mwat dɛ:ŋ	DS2 A2	赤蟻	red ant	红蚁	
521	tu: tam t ^h ɔk	A1 B1 DS1	クツワムシ	Mecopoda elongata	纺织娘	
522	tu: ɲo:j	A1 B2	蟬	cicala; cicada	蝉	
523	kan ma:	C A1	カマキリ	mantis	螳螂	

524	θak	DS1	バッタ	grasshopper	蚱蜢	
525	tu: ja:ŋ	A1 B2	イナゴ	locust	蝗虫	
526	pʰjɤŋ	C	ハチ	bee	蜜蜂	
527	pʰjɤŋ me:	C B2	女王バチ	queen bee	蜂王	
528	pʰe:n	A1	アシナガバチ	polistes wasp	黄蜂	
529	to:	B1	スズメバチ	hornet	马蜂	
530	me:ŋ pɤw	A2 B2	タイワンタケクマバチ	bamboo bee	竹蜂	
531	tu: nu:m	A1 B2	バッタの幼虫	rice grasshopper larva	禾虾[生活在稻田里的尖头蚂蚱]	
532	me:ŋ jaj	A2 A2	ジガバチ	digger wasp	蝼蛄	
533	me:ŋ to:m ki:	A2 C C	カゲロウ	mayfly	蜉蝣	
534	ŋap ɲɤɥ	DS1 B2	ケラ	mole cricket	蝼蛄；土狗	
535	me:ŋ ke:ŋ	A2 A2	カメムシ（椿象、亀虫）	stink bug	臭昆虫	
536	6e:ŋ 6ɤt	A2 DS1	糞虫	dung beetle	屎壳郎	
537	tu: wa:t	A1 DL1	テントウムシ	ladybug; ladybird	瓢虫	
538	va:j tɕe:	A2 A1	カミキリムシ	longicorn beetle	天牛	別称:天牛（てんぎゅう）
539	ka:w pjo:ŋ	B1 A1	ハエトリグモ	jumping spider	蝇虎	
540	me:ŋ	A2	ハエ	Chrysomya rufifacies; fly	苍蝇	

541	me:ŋ k ^h e:w	A2 A1	アオバエ	Aldrichina grahami; blowfly	緑頭蝇	
542	me:ŋ mɔm	A2 A2	アブ (虻)	horse fly	牛虻	
543	ta:w tɪŋ	B2 B2	ボウフラ	wiggle tail	子孓	
544	me:ŋ dām	A2 C	ブユ	black fly	墨蚊	
545	ŋan	B1	アブラムシ (蚜虫)	aphid	蚜虫	学名: <i>Aphidoidea</i>
546	mo:t	DL2	キクイムシ	woodengraver; bark beetle	蛀虫 (总称)	
547	tewa:n	B1	ヒラタキクイムシ	powder-post beetles	蛀木虫	
548	mo:t k ^h aw	DL2 C	米食い虫、ココクゾ ウムシ	rice weevil	蛀米虫	
549	mat	DS1	ノミ	flea	跳蚤	
550	tu: lu:t	A1 DL2	ナンキンムシ (床 虱)	Bed bug	臭虫	学名: <i>Cimex lectularius</i>
551	mɪn	A2	シラミ	Sucking louse	虱子	
552	t ^h aw	A1	アタマジラミ	Head louse	头虱	
553	ɣaj kaj	A2 B1	ニワトリダニ、ワク モ	fowl mite	鸡虱	学名: <i>Dermanyssus gallinae</i>
554	t ^h jat va:j	DS1 A2	マダニ	Ixodes ricinus	牛虱	
555	ɣo:j	A1	カタツムリ	snail	蜗牛	
556	tu: na:j ma:	A1 A2 A1	コウラナメクジ	limax	蛞蝓; 鼻涕虫	

557	tu: ni:ŋ	A1 B1	ゲンゴロウ (源五郎)	predaceous diving beetle	龙虱	
558	no:n k ^h a:w	A1 A1	ウジ (蛆)	maggot	蛆	蛆虫、ハエの幼虫である。
559	tea:m	A2	カイコ	silkworm	蚕	
560	tea:m maj teu:ŋ	A2 C A1	クスサン (樟蚕の幼虫)	caligula japonica	樟树蚕	
561	te:	B2	回虫	ascarid	蛔虫	
562	dū:n	A2	ミミズ	earthworm	蚯蚓	
563	ði:t	DL1	小さいカエル	little frog	小青蛙	
564	kap	DS1	カエル	frog	青蛙 ; 田鸡	
565	pa:ŋ prw	C B1	ヒキガエル	toad	癞蛤蟆 ; 蟾蜍	
566	kap ta:ŋ	A1 B1	アカガエル	brown frog	山蛙	別名:ヤマガエル
567	ʔoŋ ʔa:ŋ	B2 B2	ウシガエル	bullfrog	牛蛙[形似蛤蟆, 春季雨后叫声沉重]	[kapDS1 fa:nA1]とも言う。
568	lok to:ŋ	DS1 B2	オタマジャクシ	polliwog	蝌蚪	
569	kap po:	DS1 B2	成人の雄蛙	adult male frog	大雄蛙	
570	ði:t po:	DL1 B2	小さい雄蛙	small male frog	小雄蛙	
571	koŋ	C	エビ	shrimp	虾	
572	ŋu:	A2	小エビ	small shrimp	小虾	
573	koŋ lu:ŋ	C A1	(大きな) エビ	prawn	大虾	

574	pɤw	A1	カニ	crab	螃蟹	
575	kɪp pʰjo:	DS1 B1	ハマグリ	clam	蚌	
576	kjap pʰjo:j	DS1 DL1	ハマグリの貝殻	clamshell	蚌壳	
577	ɣo:j na:	A1 A2	タニシ	pond snail	螺蛳;田螺	
578	tu: pʰa:	A1 A1	カメ	tortoise	乌龟	
579	tu: kwɔj	A1 A1	スッポン	softshell turtle	团鱼 ; 鳖 ; 水鱼	
580	pja:	A1	魚	fish	鱼	
581	pja: nwaj	A1 A2	コイ (鯉)	carp	鲤鱼	
582	pja: lo: fɔj ji:	A2 B1 A2	フナ (鮒)	crucian	鲫鱼	
583	pja: wa:n	A1 C	草魚	grass carp	草鱼	
584	pja: wa: wa: ji:	A1 A2 A2 A2	サンショウウオ (山 椒魚)	giant salamander	娃娃鱼	
585	pja: kim ɲɔɥ	A1 A1 A2	キンギョ (金魚)	goldfish	金鱼	
586	pja: tʰu: taw	A1 A1 A2	コクレン (黒鯪)	bighead carp	鱮鱼 ; 大头鱼	学名 : <i>Hypophthalmichthys nobilis</i>
587	ta:ŋ ko: ji:	A2 A2 A2	人工養殖のナマズ	catfish	塘角鱼[胡子鱼]	
588	pja: la:j	A1 A2	ライギョ (雷魚)	snakehead mullet	乌鯰;花鱼;斑花鱼	
589	pja: dɔk	A1 DS1	ナマズ	catfish	鲇鱼	
590	pja: lwaj	A1 A1	タウナギ (田鰻)	Asian swamp eel	黄鳝	

591	pja: tɛt	A1 DS1	ドジョウ	weather loach ; weatherfish	泥鰍	
592	pja: pjan	A1 B1	トゲウナギ	Spiny eel	刺鰍	
593	pja: pe:k	A1 DL2	ハクレン（白鰱）	silver carp	鲢鱼	
594	pja: li:ŋ ji:	A1 A2 A2	ケンヒー（鰻魚）	Cirrhinus molitorella	鰻鱼	
595	pja: kɾuŋ	A1 B1	ケツギョ（鰻魚）	Siniperca chuatsi	鰻鱼;柱鱼	
596	pja: ʔi:n	A1 C	コウライギギ（高麗 義義）	Korean bullhead	骨鱼	ナマズ目ギギ科の魚
597	pja: te: ji:	A1 A2 A2	カレイ（鰈）	flatfish; flounder	鰈鱼；菩萨鱼	
598	tu: pi:ŋ	A1 A1	ヒル（蛭）	leech	水蛭；蚂蝗	
599	ko:k	DL1	（ウシ・シカ・ヤギ などの）角	horn	角；兽角	
600	ko:k va:j	DL1 A2	牛の角	ox horn	牛角	
601	naŋ va:j	A1 A2	牛皮	cowhide	牛皮	
602	ji:n va:j	A2 A2	牛筋	beef muscle	牛筋	[ŋawA2 namA2]とも言う。
603	no:k mo:	DL1 A2	牛の背中のコブ	ox hump	牛背峰	
604	vxj mo:	A2 A2	牛の喉の垂れ肉	jowl	牛颈垂皮	
605	taj ma:	A2 C	馬蹄	horse hoof	蹄[马蹄]	
606	ljap	DS1	ひづめ	hoof	蹄（除马蹄外）	
607	tea:j	B1	指のつめ（家禽、鳥 類）	finger nail	爪（禽类的）	

608	tʰa:ŋ	A1	(動物の) 尾	tail	尾巴	
609	kʰwɔn tɕo:ŋ ma:	A1 A1 C	馬のたてがみ	horse mane	马鬃	
610	kʰwɔn tɕo:ŋ mɔw	A1 A1 A1	豚毛	(hog) bristles	猪鬃	
611	kʰwɔn	A1	毛	hair	毛	
612	kʰwɔn	A1	羽毛	feather; plume	羽毛	
613	kʰwɔn ɬɔw	A1 B1	(家禽の) 下毛	undercoat (of poultry)	短毛[禽类换毛后长出来的…]	
614	pik	DS1	翼	wing	翅膀	
615	kʰwɔn pik	A1 DS1	(鳥の翼や尾の長い) 羽根	plume	翎	
616	kʰwɔn ho:n	A1 A1	冠羽	crest (feathers)	羽冠	
617	ho:n kaj	A1 B1	(おんどりの) とさか	cockscornb	鸡冠	
618	ɬɔŋ kaj	A2 B1	鳥類の雄の頬(ほお)から首にかけて垂れる肉質の隆起	wattle (of a bird's neck)	鸡垂冠	
619	tauŋ	A1	砂肝	gizzard	胗; 肫	
620	pu:k tauŋ kaj	DL1 A1 B1	鶏の砂肝の内壁	chicken gizzard inner wall	鸡内金	
621	ni:ŋ	A1	素囊	crop ingluvies	嗦囊	
622	ko:k	DL1	触角	antenna	触角	
623	kjap pja:	DS1 A1	魚のうろこ	fish scale	鱼鳞	

624	hu:k pja:	DL1 A1	(魚の) えら	fish gill	鱼鳃	
625	po:p pja:	DL2 A1	魚の浮き袋	fish air bladder	鱼鳔	
626	ka:ŋ pja:	C A1	魚の骨	fish bone	鱼刺	
627	pi:n pja:	B1 A1	(魚の) ひれ	fish fin	鱼鳍	
628	ðu:ŋ tɕi: ða:w	A2 B1 A1	クモの網	spider web	蜘蛛网	
629	ʔan pʰa:j tɕa:m	A2 C A2	蚕の繭	silkworm cocoon	蚕茧	
630	la:j	A2	蜂の針	bee sting	蜂刺	
631	kʰo:ŋ tɕʰo:	A1 A2	クジャク (孔雀)	peafowl	孔雀	学名: <i>Pavo</i>
632	ðu:ŋ nək	A2 DS2	鳥の巢	bird nest	鸟巢	
633	tɕok θe:ŋ	DS1 A1	家畜	domestic animal	牲畜	
634	ji:m va:j	A2 A2	水牛を去勢する	castrate a water buffalo	阉水牛	
635	ji:m mo:	A2 A2	黄牛を去勢する	castrate an amber-colored cow	阉黄牛	
636	ji:m ma:	A2 C	馬を去勢する	castrate a horse	阉马	
637	ji:m ɬe:	A2 C	羊を去勢する	castrate a sheep	阉羊	
638	va:j tʰɯŋ na:	A2 A1 A2	役牛 (田畑を耕すのに使う牛)	water buffalo for plowing	耕牛	
639	mo: ʔaw nu:	A2 A2 B1	乳牛	milk cow; dairy cattle	乳牛 ; 奶牛	
640	kwɤn ɲoŋ	A1 A2	絨毛	fine hair	绒毛	
641	to:ŋ tɕʰe:k θɯŋ	C DL1 A1	牛の胃 (反すうする前に使う)	tripe (be used before ruminating)	粗胃 (反刍类)	

642	to:ŋ ki:	C C	牛の胃（反すうした後に使う）	tripe (be used after ruminating)	细胃（反刍类）	
643	maj	C	樹木	tree	树	
644	dō:ŋ maj	C C	森林	forest	森林	
645	p ^h ja: maj	A1 C	山林	mountain forest	山林	
646	maj pe:k	C DL2	イトスギ（糸杉）	cypress	柏树	学名: <i>Cupressus</i>
647	maj teu:ŋ	C A1	マツ（松）	pine tree	松树	学名: <i>Pinus</i>
648	jɤw maj teu:ŋ	A2 C A1	松脂、ロジン	rosin	松香	
649	ɬau maj teu:ŋ	A2 C A1	松葉	pine needle	松针	
650	maj teu:ŋ pe:k	C A1 DL1	スギ（杉）	cedar	杉树	学名: <i>Cryptomeria japonica</i> 、[majC te ^h a:B1 mu:A2]とも言う。
651	naŋ maj teu:ŋ pe:k	A1 C A1 DL1	スギ皮	cedar bark	杉树皮	[naŋA1 majC te ^h a:B1 mu:A2]とも言う。
652	maj teu:ŋ	C A1	クスノキ（樟）	camphor tree	樟树	学名: <i>Cinnamomum camphora</i>
653	tea:ŋ na:w	C A1	樟脳	camphor	樟脑	
654	maj ɔaw	C A1	カエデ（楓）	maple tree	枫树	学名: <i>Acer</i> 、食用染料として使用する。チワンでは生の楓の葉っぱで米を黒く染め

						て食べる習慣がある。
655	maj ljɔw	C A1	ヤナギ（柳）	willow	柳树	学名: <i>Salix babylonica</i>
656	maj ðak	C DS2	ウルシ（漆）	lacquer tree	漆樹	学名: <i>Toxicodendron vernicifluum</i> 、アレルギー性接触性皮膚炎を起こしやすい木である。人によっては、ウルシに触れなくても、近くを通っただけでかぶれを起こす。また、ウルシの木が燃えた場合、その煙を吸い込むと呼吸困難となり、非常に危険である。

657	maj ðak p ^h ja:	C DS2 A1	ハゼノキ（欘の木、 黄欘の木）	wax tree	野漆树	学名: <i>Toxicodendron succedaneum</i> 、血止め 薬や解毒剤の効果が あると伝われ、毒蛇 に咬まれた時の救急 薬として使用する。 一方、ハゼノキには 微毒が有り、ウルシ と同じようなアレルギー性接触性皮膚炎 を起こす。しかし、 十分に乾燥させた場 合、元々アレルギー を持つ人が木を触っ てもアレルギーが起 こしにくくなると言 われている。
658	maj hu:ŋ	C A1	シュロ（棕櫚、棕 梔）	Chinese windmill palm	棕树；棕榈	学名: <i>Trachycarpus fortunei</i> <i>Trachycarpus</i>
659	naŋ maj hu:ŋ	A1 C A1	シュロの皮	palm bark	棕皮	シュロの皮をそのま ま束ねて箒として使 用する。
660	ko: mu:n	A1 C	クワ（桑）	mulberry	桑树	学名: <i>Morus</i>

661	maj θɤj k ^h a:w	C B2 A1	ニワウルシ（庭漆）	ailanthus altissima	臭椿树	学名: <i>Ailanthus altissima</i> 、別名はシンジュ（神樹）である。
662	maj θɤj	C B2	チャンチン（香椿）	toona sinensis	香椿树	学名: <i>Toona sinensis</i> 、その芽はピンク色で、美味である。
663	maj kjaw	C A1	アブラギリ（油桐）	tung tree	油桐树	学名: <i>Vernicia cordata</i>
664	ma:k kjaw	DL1 A1	アブラギリの実	tung nut	桐果	
665	jɤw maj kjaw	A2 C A1	桐油	tung oil	桐油	
666	maj to:ŋ	C A2	アオギリ（青桐、梧桐）	phoenix tree	梧桐	学名: <i>Firmiana simplex</i>
667	ko: maj mi:n	A1 C A2	キワタ（木棉）	cotton tree	木棉树	学名: <i>Bobax ceiba</i>
668	maj mi:n	C A2	コットン	cotton	木棉	
669	maj li:n	C B2	センダン（梅檀）	bead tree	苦楝树	学名: <i>Melia azedarach</i>
670	maj p ^h a:k	C DL1	ヤドリギ（宿木、寄生木）	mistletoe	寄生树	学名: <i>Viscum album</i>
671	maj va:j	C A2	エンジュ（槐）	locust tree	槐树	学名: <i>Styphnolobium japonicum</i>
672	maj ðaj	C A2	榕樹	Indian laurel	大叶榕树	学名: <i>Ficus microcarpa</i> Linn. f.

673	maj ɔaj ɬauθ ɔaj	C A2 A2 B1	ガジュマル（細葉 榕）	figus microcarpa	小叶榕树	学名: <i>Ficus microcarpa</i>
674	ko: ma:k lɔj	A1 DL1 A2	梨の木	Chinese pear	梨树	学名: <i>Pyrus pyrifolia</i>
675	ko: ma:k lɔj ko:t	A1 DL1 A2 DL2	マメナシ（豆梨）の 木	callery pear	野梨树	学名: <i>Pyrus calleryana</i> <i>Decne</i>
676	maj naŋ na:	C A1 A1	アオギリ科の樹木	Sterculia pexa	九层皮树	漢語名:家麻樹、タイ 名:ໂປ໊ກ໊ກ、学名 : <i>Sterculia pexa</i>
677	maj ji:n	C C	シナノキ科の樹木	tiliaceae	栲木	学名: <i>Excentrodendron</i> <i>hsienmu</i>
678	naŋ maj	A1 C	木の皮	bark; rind	树皮	
679	pja:j maj	A1 C	樹木の枝の先端	tree branch tip	树梢	
680	kan maj	C C	木の主茎	tree stem	树干	
681	po:m maj	B1 C	木の瘤、節	tree knot	树疙瘩[树眼]	[tʰa:A1 maj C]とも言 う。
682	ŋa: maj	B2 C	（木の）枝	branch	树桠杈	
683	kwɔn maj	B1 C	木の幹	tree trunk	树莛	
684	ja:ŋ maj	A2 C	樹脂	resin	树浆；树脂；树胶	
685	la:k	DL2	（植物の）根	root (of a plant)	根	
686	kɔk la:k	DS1 DL2	主根	main root	主根	
687	la:k ɔɔj	DL2 A1	ひげ根	fibrous root	须根	
688	kan	C	茎	stem (of a plant)	茎	

689	no:t	DL2	(木の) 芽	tree bud	芽 (樹～)	「芽を出す」を [ʔo:kDL1 no:t DL2] と言う。
690	ŋa:	A1	(種の) 芽	seed sprout	芽 (種子～)	「種が芽を出す」を [ŋa:tDL2 ŋa:A2]と言 う。
691	ɬau	A2	葉	leaf	叶子 (泛指)	
692	to:ŋ	A1	大きい葉	broad leaf	叶子 (专指阔叶)	
693	ji:n ɬau maj	A2 A2 C	葉脈	leaf vein	叶脉	
694	ɬjo:k	DL1	花	flower	花	
695	ki:w ɬjo:k	C DL1	蕾	(flower) bud	花蕾	
696	li:m ɬjo:k	B1 DL1	花卉	petal	花瓣	
697	po:m	B1	(ウリ・果実など の) へた	stalk end	蒂	実が枝や茎につく部 分である。
698	kʰaw	A1	藤	wistaria	藤	
699	ma:k	DL1	果物	fruit	果子	
700	hu:j	B1	(ウメ・モモなどの 果実の核の中にあ る) 仁	kernel	核 ; 果核	
701	fan	A2	ナッツ、堅果の仁	nut	仁 ; 果仁	
702	fan	A2	種	seed	种子	
703	pu: tʰaw	A2 A2	ブドウ	grape	葡萄	

704	ma:k ʔit	DL1 DS1	実が小さいノブドウ (野葡萄)	wild grape (smaller than grape)	野葡萄 (比一般葡萄 小)	学名: <i>Ampelopsis glandulosa var</i>
705	ma:k ʔit va:j	DL1 DS1 A2	実が大きいノブドウ (野葡萄)	wild grape (bigger than grape)	野葡萄 (比一般葡萄 大)	
706	ko: pa: tea:w	A1 B1 B1	バショウ (芭蕉) の 木	the Chinese banana tree	芭蕉树	
707	pa: tea:w	B1 B1	バショウ (芭蕉)	Chinese banana	芭蕉	学名: <i>Musa basjoo</i> <i>Musa</i>
708	ko: kju:j	A1 C	バナナの木	banana tree	香蕉树	
709	kju:j	C	バナナ	banana	香蕉	
710	kju:j kaj	C B1	ミニバナナ	miniature banana	鸡蕉	
711	kju:j va:j	C A2	大きいバナナ (少し 酸味がある)	big banana	牛蕉[大种芭蕉]	
712	kju:j p ^h ja:	C A1	野生のバナナ	wild banana	野芭蕉	
713	ma:k t ^h aj	DL1 B1	クリ (栗)	chestnut	栗子 ; 板栗	学名: <i>Castanea crenata</i>
714	ma:k t ^h aj p ^h ja:	DL1 B1 A1	シナグリ (支那栗)	chinese chestnut	毛栗	学名: <i>Castanea mollissima</i> 、小さく甘 い果実を付ける。
715	ma:k p ^h aŋ	DL1 A1	桃	peach	桃子	
716	ma:k mo:j	DL1 A2	梅の実	Japanese apricot	梅子	学名: <i>Prunus mume</i>
717	ja:ŋ mɤj lu:ŋ	A2 A2 A1	実が大きいヤマモモ (楊梅)	arbutus	杨梅 (大的)	

718	ja:ŋ mɤj θaj	A2 A2 B1	実が小さいヤマモモ (楊梅)	arbutus	杨梅 (小的)	
719	ja:ŋ mɤj	A2 A2	ヤマモモ (楊梅)	myrica	杨梅 (泛称)	学名: <i>Myrica rubra</i>
720	ma:k θaj	DL1 B2	柿 (の実)	persimmon	柿子	「渋柿」を[ma:kDL1 minC]と言う。
721	ma:k man	DL1 C	スモモ	Chinese plum	李子 (泛称)	学名: <i>Prunus salicina</i>
722	ma:k nim	DL1 A1	テンニンカ (天人 花)	myrtle	桃金娘 ; 稔子	学名: <i>Rhodomyrtus tomentosa</i> 、中国では 「桃金娘」と言う が、日本の図鑑では テンニンカの漢名を 「桃金娘」としてい る。花はピンク色で 美しく、熟した果実 は紫黒色で芳香を有 し食べられる。
723	ma:k pʰi: pʰa:	DL1 A1 A2	ビワ (枇杷)	loquat	枇杷	学名: <i>Eriobotrya japonica</i>
724	ma:k pa:ŋ	DL1 A2	ブンタン (文旦)	citrus grandis	柚子	学名: <i>Citrus maxima</i> 、 中国では「柚子」と 言うが、日本で言う 「ユズ (柚子、学名

						: <i>Citrus junos</i>) 」と異なる品種である。
725	ma:k ka:m to:ŋ	DL1 A1 C	ダイダイ (橙)	bitter orange	橙子	学名: <i>Citrus aurantium</i>
726	ma:k ka:m	DL1 A1	ウンシュウミカン (温州蜜柑)	satsuma; orange	橘子	学名: <i>Citrus unshiu</i>
727	ma:k te ^{hi} : law	DL1 A2 A2	ザクロ (石榴、柘榴)	pomegranate	石榴	学名: <i>Punica granatum</i>
728	ma:k ka:m p ^{he} :w	DL1 A1 C	コウジ (柑子)	orange	柑子	学名: <i>Citrus leiocarpa</i>
729	ma:k lɤj	DL1 A2	梨 (の実)	pear	梨子	
730	ma:k lɤj ko:t	DL1 A2 DL2	マメナシの実	callery pear	野梨果	学名: <i>Pyrus calleryana</i>
731	ʔo:j	C	サトウキビ (砂糖黍)	sugar cane	甘蔗	学名: <i>Saccharum officinarum</i> 、果物として食用する。
732	ʔo:j t ^{hu} :ŋ	C A1	サトウキビの一種	sugar cane	糖蔗	学名: <i>Saccharum officinarum</i> の1種、細長い形状を有し、砂糖作り専用の品種である。肉が硬いために、普段は生のままで食べない。

733	ʔo:j dām	C A2	黒いサトウキビ	black sugar cane	果蔗[黒蔗]	学名: <i>Saccharum sinensis</i> Roxb、皮が黒いサトウキビである。
734	hɿ: tʰa:w	A2 A2	クルミ（胡桃、山胡桃）の総称	walnut	核桃（泛称）	学名: <i>Juglans</i>
735	hɿ: tʰa:w	A2 A2	（殻が厚く実が少ない）クルミ	walnut	核桃（壳硬肉少）	
736	hɿ: tʰa:w	A2 A2	（殻が薄く実が厚い）クルミ	walnut	核桃（皮薄肉厚）	
737	ma:k tɕa:w	DL1 A1	ナツメ（棗）	jujube	枣	学名: <i>Ziziphus jujuba</i>
738	pi:n la:ŋ	B1 A2	ビンロウ（檳榔）	betel palm	檳榔	学名: <i>Areca catechu</i>
739	ma:k mat		ワンピ（黄皮）	wampee	黄皮果	学名: <i>Clausena lansium</i>
740	ma:k mat	DL1 DS2	実が小さいワンピ（黄皮）	small wampee	小黄皮果	
741	ma:k mat lɿj	DL1 DS2 B2	山ワンピ	mountain wampee	山黄皮果	学名: <i>Clausena excavata</i> Burm.f、果実は小型で独特な香りがして調味料や薬材として使われる。
742	jɿw ka:n la:n	A2 A1 A1	オリーブ	olive	油橄榄	学名: <i>olea europaea</i> L) olive

743	ka:n la:n	A1 A1	カンラン (橄欖)	chiner oive	橄欖	学名: <i>Canarium album</i> (<i>Lour.</i>) <i>Raeusch.</i>
744	hɤ: ka:n la:n	A2 A1 A1	オリーブの別称	olive	黒橄欖	学名: <i>olea europaea</i> <i>L)</i> <i>olive</i>
745	ma:k mja:	DL1 A2	チャンチンモドキ (香椿擬)	choerospondias axillaris	五眼果; 人面果	学名: <i>Choerospondias</i> <i>axillaris</i> (<i>Roxb.</i>) <i>Burt</i> <i>et Hill.</i>
746	po: lo:	A1 A2	パイナップル	pineapple	鳳梨; 地菠薐	学名: <i>Ananas comosus</i> (<i>Linn.</i>) <i>Merr.</i>
747	po: lo: maj	A1 A2 C	パラミツ (波羅蜜)	jack fruit	鳳梨; 樹菠薐	学名: <i>Artocarpus</i> <i>heterophyllus</i> <i>Lam.</i>
748	ma:k ŋa:n	DL1 B2	リュウガン (竜眼、 龍眼)	longan	龍眼果	学名: <i>Dimocarpus</i> <i>longgana</i> <i>Lour</i>
749	ma:k θo:	DL1 B1	レモン (檸檬)	lemon	檸檬	学名: <i>Citrus limon</i>
750	jɤw ka:n ko:	A2 B1 DL1	ユカン (油柑)	amalika	牛甘果	学名: <i>Phyllanthus</i> <i>emblica</i> <i>L</i>
751	ma:k ko:j	DL1 A1	ナニワイバラ (難波 茨)	cherokee rose	金櫻果	学名: <i>Rosa laevigata</i> <i>Michx.</i>
752	ma:k dā:w θi:n	DL1 A2 A1	カニステル	canistel	仙桃果; 扁桃果	学名: <i>Pouteria</i> <i>campechiana</i> 、果肉が 卵の黄身にそっく り。

753	ma:k fu:ŋ	DL1 A2	ゴレンシ (五鯰子)	starfruit	杨桃果	学名: <i>Averrhoa carambola</i> L.
754	ma:k pɣp	DL1 DS1	オオイタビ	ficus pumila	凉粉果	学名: <i>Ficus pumila</i> Linn.
755	ŋjɣw na:j ko:	A2 A1 A1	スターアップル	star apple	牛奶果	学名: <i>Chrysophyllum cainito</i>
756	ko: ŋa: ha:j	A2 A1	ヒマワリ (向日葵)	sunflower	向日葵	学名: <i>Helianthus annuus</i> 、[hja:ŋA2 ji:A2 kwɣjA2]とも言う。
757	ji:ŋ ta:w	B1 A2	サクランボ (桜桃)	cherry	櫻桃 ; 思桃	学名: <i>Cerasus pseudocerasus</i>
758	ko: p ^h am	A1 A1	ウキクサ (浮草)	duckweed	浮萍	学名: <i>Spirodela polyrhiza</i>
759	ʁa:w	C	ユウガオ (夕顔)	lagenaria siceraria	小葫芦	学名: <i>Lagenaria siceraria</i> var. <i>hispida</i>
760	tɛ ^h a:ŋ p ^h u:	B1 A1	アヤメ (菖蒲)	sweet flag	菖蒲	学名: <i>Acorus calamus</i>
761	ʁjo:k kɪm ŋɣn	DL1 A1 A2	スイカズラ (吸い葛)	honeysuckle	金银花	学名: <i>Lonicera japonica</i>
762	va:ŋ kaj	A2 A1	クチナシ (梔子、山梔子)	gardenia	黄栀子	学名: <i>Gardenia jasminoides</i> f. <i>grandiflora</i> .

763	ʔu: po:j tei:	A1 C A1	ヌルデ（白膠木）	Chinese sumac	五倍子	学名: <i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>
764	pjak taj ma:	DS1 A2 C	オオバコ（大葉子）	plantago	车前草	学名: <i>Plantago asiatica</i> L.、中国では車前草（しゃぜんそう）と呼ぶ。
765	pjak ke:ŋ	DS1 B2	タンポポ（蒲公英）	dandelion	蒲公英	学名: <i>Taraxacum officinale</i>
766	ja:	A2	草	grass	草	
767	ja:	A2	雑草	weed	杂草	
768	ko: ya:	A1 A2	チガヤ（茅草）	cogongrass	茅草	学名: <i>Imperata cylindrica</i> (L.) P.Beauv.)
769	ko: fok	A1 DS1	ウキヤガラ（浮矢幹）	scirpus yagara	席草	学名: <i>Bolboschoenus fluviatilis</i>
770	ja:ŋa:j	A2 B2	ヨモギ（蓬）	artemisia princeps	艾草	学名: <i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>
771	ko: ʔi:n	A1 A2	タバコ（煙草）	tobacco plant	烟；烟草	学名: <i>Nicotiana tabacum</i>

772	ko: ðo:m	A1 B1	リュウキュウアイ (琉球藍)	<i>Strobilanthes cusia</i>	藍靛草 (大叶的)	学名: <i>Baphicacanthus cusia</i> (Nees) <i>Bremek</i> 、染料 (藍) や健康食品などとして用いられる。葉っぱが大きい。
773	ko: ða:m	A1 B1	タイワンコマツナギ (木藍)	true indigo	藍靛草 (小叶的)	学名: <i>Indigofera tinctoria</i> 、染料 (藍) として用いられる。葉っぱは小さい。
774	ko: kwɾt	A1 DS1	ワラビ (蕨)	bracken	蕨草	学名: <i>Pteridium aquilinum</i> var.
775	ko: ʔe:m	A1 A2	ススキ (芒)	pampas grass	芭芒	学名: <i>Miscanthus sinensis</i>
776	ko: ʔe:m	A1 A2	(大きい) ススキ (芒)	tall pampas grass	大芭芒	かつて子供の遊びに 欠かせない存在であ った。筆者はその稈 を使って傘、馬、お みこしなどを編んで 遊んでいた。
777	ko: ðe:m	A1 A1	(小さい) ススキ (芒)	tall pampas grass	小芭芒	

778	ma:k ka:k	DL1 DL1	トウシキミ (唐檣)	chinese anise	八角	学名: <i>Illicium verum</i> <i>Hook.f.</i>
779	po: ʔo:	A2 A1	ハッカ (薄荷)	mint	薄荷	学名: <i>Mentha</i> <i>haplocalyx Briq.</i>
780	ja:kʰi:θo:	A2 C A1	シソ (紫蘇)	beefsteak plant	紫苏	学名: <i>Perilla frutescens</i> <i>var. crispata</i>
781	kʰwɔj hja:ŋ	A2 B1	フェンネル (茴香)	fennel	茴香	学名: <i>Foeniculum</i> <i>vulgare</i>
782	tɕo:p tɕɔj	DL1 C	キノコ	mushroom	菌	
783	hja:ŋ ku:	B1 B1	シイタケ (椎茸)	shiitake mushroom	香菇 ; 冬菇	学名: <i>Lentinula edodes</i>
784	tɕo:p maj	DL1 C	キクラゲ (木耳)	wood ear mushroom	木耳	学名: <i>Auricularia</i> <i>auricula-judae</i>
785	tɕo:p kʰa:w	DL1 A1	シロキクラゲ (白木耳)	snow fungus	银耳	学名: <i>Tremella</i> <i>fuciformis</i>
786	tap taj	DS2 A2	コケ	moss	青苔	学名: <i>Marchantiophyta</i>
787	ko: pʰa:j	A1 C	カポック (の木)	kapok tree	棉花树	学名: <i>Ceiba pentandra</i>
788	pʰa:j	C	綿花	cotton fiber; raw cotton	棉花	
789	ma:k pʰa:j	DL1 C	綿実	cotton seed	棉桃	
790	ko: jat	A1 DS2	コウマ (黄麻)	<i>Corchorus capsularis</i>	黄麻	学名: <i>Corchorus</i> <i>capsularis L.</i>
791	ko: pa:n	A1 B1	ナンバンカラムシ	false nettle	苧麻	学名: <i>Boehmeria nivea</i> (<i>L.</i>) <i>Gaudich</i>

792	maj ma:k ðo:ŋ	C DL1 B2	トウゴマ (唐胡麻)	castor oil plant	蓖麻树	学名: <i>Ricinus communis</i> L.
793	ma:k ðo:ŋ	DL1 B2	トウゴマの種子	castor-oil plant seed	蓖麻子	
794	ko: ʔo:	A1 A2	アシ (葦、芦)	common reed	芦苇	学名: <i>Phragmites australis</i>
795	pu:k ta:k	DL1 DL1	チクシ (竹紙)	bamboo inner skin	竹膜	竹の幹の内側にある 薄い皮
796	maj p ^h e:w; maj me:	C A1; C A2	竹	bamboo	竹子	
797	no: maj	B1 C	タケノコ	bamboo shoot	竹笋	
798	tam na:	C B1	竹の皮	bamboo sheath	竹壳	たけのこの表面をお おっている皮、乾燥 して扇子として使う こともある。
799	t ^h a: maj p ^h e:w	A1 C A1	竹の節	bamboo joint	竹节	
800	maj tɔk	A1 DS1	モウソウチク (孟宗 竹)	moso bamboo (<i>Phyllostachys pubescens</i>)	毛竹 ; 南竹	学名: <i>Phyllostachys pubescens</i> Mazel ex H. de Lehaie. 竹の子を食用とする。
801	maj p ^h e:w	C A1	シチク (刺竹)	thorny bamboo	刺竹	学名: <i>Bambusa stenostachya</i> Hackel.

802	maj me: he:n	C A2 C	竹の一種、皮は黄色 っぽい竹	gold bamboo	金竹	漢語名:金竹、学名: <i>Phyllostachys sulphurea</i> (Carr.) A. et C. Riv.
803	maj t ^h wa:ŋ	C A1	マダケ (真竹)	giant timber bamboo	真竹 ; 钓鱼竿	学名: <i>Phyllostachys bambusoides</i> 、釣り棒 として使うことが多い。竹の子は若干の 甘みがあり、食用と する。
804	maj me: va:n	C A2 A1	竹の一種、竹の子が 甘い竹	sweet bamboo	甜竹	漢語名:黄甜竹、甜 竹、学名: <i>Acidosasa edulis</i> (T. H. Wen) T. H. Wen
805	maj p ^h e:w d ^u k	C A1 DS1	竹の一種	<i>Bambusa pervariabilis</i>	撑篙竹	漢語名:撑篙竹、学名 : <i>Bambusa pervariabilis</i> McClure、竹材が堅い ため、天秤棒として 使用する。竹の子は 渋味や苦味が有り、 塩付けなどで食用す る。

806	maj ta:n	C A2	ハチク (淡竹)	bambusa chungii	单竹 ; 丹竹	漢語名:单竹、学名: <i>Bambusa cerosissima McClure</i> 、緑色で白粉がある。竹材は粽を巻く時の紐、家具や工芸用、竹の子は食用とする。
807	kwaj mi:n̩ teu:	A1 A2 A2	コウチク (光竹)	light bamboo	薄皮竹	学名: <i>Qiongzhusa luzhiensis</i> 、家具や工芸用、竹の子は食用とする。村に元々ない竹で、筆者の祖父は貴州省から移殖した。
808	maj ko:n	C A1	ササ (笹)	bamboo grass	山竹	学名: <i>Bambusoideae</i>
809	θa:w	C	竹竿	bamboo pole	竹竿	
810	pʰjo:k	DL1	竹ひご	bamboo stick	竹箴	竹の茎を細かく割って作られた細い棒である。
811	pʰju:	A1	竹の外皮	bamboo outer skin	箴青	
812	ta:k	DL1	竹の外皮を取り去った残りの部分	stripped bamboo	箴黄	
813	na:m	A1	(植物の) 棘	splinter; thorn; prickle	刺 (植物上の)	

814	θi:n	C	割った竹の縁に出る 棘	splinter in cut-edge of bamboo	刺（竹木边缘上的）	
815	ko: k ^h aw	A1 C	農作物	crops; farm product	庄稼	
816	k ^h aw	C	稲	rice	稻子	
817	kja:	C	稲の苗	rice seedling	秧	
818	ko: kja:	A1 C	穀物の苗	cereal seedling	禾苗	
819	tea:w tea:w	A1 C	早場米、早稲	early rice	早稻	
820	va:n tea:w	A1 C	遅場米、晩稲	late rice	晚稻	
821	k ^h aw ðaj	C B2	陸稲（りくとう / お かぼ）	upland rice	旱稻	畑で栽培される稲で ある。
822	k ^h aw ɬu:t	C DL1	藁（ひこばえ）	rice tiller	再生稻	稲の切り株から生え た稲である。
823	ðu:ŋ	A2	（穀物の）穂	cereal ear	穗	
824	laɟ k ^h aw	A2 C	稲の芒（のぎ）	rice awn	谷芒	
825	k ^h aw ko:k	C DL1	もみ殻のついた黍 （きび）	unhulled millet	谷子[脱壳后就是小米]	学名: <i>Panicum miliaceum</i>
826	k ^h aw ko:k	C DL1	粳米	unhulled rice	谷粒（米中的～）	粳のついた米であ る。米の精製過程は 粳米（もみごめ）＞ 玄米＞白米（精米） と3段階に分かれる が、粳米（もみご

						め)は[k ^h awC ko:kDL1]に入る。
827	k ^h aw pɾw	C A2	秕 (しいな)	empty rice grain;immature rice grain	秕子	殻ばかりで実のない 米である。
828	fa:ŋ	A2	稲わら	rice straw	稻草	
829	ɲo:t fa:ŋ	DL1 A2	稲わらの芯	rice straw core	稻芯	
830	k ^h aw ɲɾɯ	C B2	トウモロコシ	corn	玉米	
831	maw k ^h aw ɲɾɯ	A2 C B2	トウモロコシの穂軸	corn cob	玉米芯	
832	faw k ^h aw ɲɾɯ	B2 C B2	トウモロコシの雄花	male corn flower	天花[玉米的雄花穗]	
833	mɾm k ^h aw ɲɾɯ	B2 C B2	トウモロコシのひげ	corn mustache	玉米须	
834	kan k ^h aw ɲɾɯ	C C B2	トウモロコシの茎	cornstalk	玉米秆	
835	me:k	DL2	麦	wheat	麦子	
836	me:k θa:j	DL2 B1	コムギ (小麦)	wheat	小麦	学名: <i>Triticum aestivum</i> 、一般的には パンコムギを指す。
837	me:k ta:w	DL2 A2	オオムギ (大麦)	barley	大麦	学名: <i>Hordeum vulgare</i>
838	je:n mɾ:	B1 A2	エンバク (燕麦)	oat	燕麦	学名: <i>Avena sativa</i>
839	me:k θa:m ko:k	DL2 A1 DL1	蕎麦 (そば)	buckwheat	芥麦:三角麦	

840	me:k ma:	DL1 C	モロコシ (蜀黍、唐黍)	great millet; sorghum	高粱	学名: <i>Sorghum bicolor</i> 、別名はコーリャン (高粱; Gāoliang) である。
841	k ^h aw p ^h a:ŋ	C C	あわ (粟)	millet	小米	学名: <i>Echinochloa esculenta</i> (A. Braun) H. Scholz
842	laɰ me:k	A2 DL2	麦の芒 (のぎ)	wheat awn	麦芒	
843	t ^h u:	B1	豆	bean	豆子	
844	t ^h u: ðaŋ	B1 C	大豆	soybean	黄豆	
845	t ^h u: ja:ŋ	B1 B1	ナタマメ (鉋豆)	sword bean	刀豆	学名: <i>Canavalia gladiata</i>
846	va:n tɾw	A1 B1	エンドウ (豌豆)	pea	豌豆	学名: <i>Pisum sativum</i> L.
847	t ^h u: me:w	B1 A2	ソラマメ (蚕豆、空豆)	broad bean ; fava bean	蚕豆; 胡豆	学名: <i>Vicia faba</i>
848	t ^h u: k ^h aw k ^h a:w	B1 C A1	うずら豆	mottled kidney bean	白饭豆	インゲンマメの一種である。
849	t ^h u: k ^h aw ðam	B1 C A2	黒豆	black soybean	黑饭豆	学名: <i>Glycinemax</i> (L.) merr
850	t ^h u: ðu:	B1 A2	タケアズキ	ricebean	红饭豆	学名: <i>Vigna umbellata</i>
851	tu: p ^h ak	B1 DS1	新鮮なインゲンマメ	fresh kidney bean	豆角	

852	tu: k ^h e:w	B1 A1	リョクトウ (緑豆)	mung bean	绿豆	学名: <i>Vigna radiata</i> (Linn.) Wilczek.
853	tu: k ^h aw	B1 C	アズキ (小豆)	adzuki bean,small red bean ; mexican bean	小豆	学名: <i>Vigna angularis</i>
854	θu: ki: tɾw	C C C	インゲンマメ (隠元 豆)	kidney bean	四季豆	学名: <i>Phaseolus</i> <i>vulgaris</i>
855	tu: ŋa:t	A2 DL2	もやし	bean sprout	豆芽	
856	tu: p ^h ak	B1 DS1	豆のさや	pea-pod	豆莢	
857	t ^h u: tɾm	B1 A1	ピーナッツ、落花生	peanut	花生	
858	p ^h jak	DS1	野菜(物)、青物	vegetables	蔬菜	
859	ka:j la:n pa:w	C A2 A1	キャベツ	cabbage	卷心菜	
860	p ^h jak ɬu:k faj	DS1 DL1 A2	白菜の一種	Chinese cabbage	卷筒青	日本の白菜より細長 い。
861	p ^h jak pa:w	DS1 A1	ハクサイ (白菜)	Chinese cabbage	大白菜	学名: <i>Brassica rapa</i> var. <i>pekinensis</i>
862	lok p ^h jak pa:w	DS1 DS1 A1	小型の白菜、あるいは白菜の苗	seedling of Chinese cabbage	小白菜	
863	p ^h jak ka:t	DS1 DL1	カラシナ (芥子菜)	mustards	芥菜	学名: <i>Brassica juncea</i>
864	po: tɛ ^h a:j	B1 C	ホウレンソウ (菠薐 草)	spinach	菠菜	学名: <i>Spinacia oleracea</i>
865	ma:k ɲoŋ	DL1 A2	トマト	tomato	西红柿:蕃茄	学名: <i>Solanum</i> <i>lycopersicum</i>

866	k ^h u:	A1	ナス（茄子）	eggplant	茄子	学名: <i>Solanum melongena</i>
867	p ^h jak ke:ŋ	DS1 B2	エンダイブ	endive	苦马菜	学名: <i>Cichorium endivia</i>
868	p ^h jak ɣɯm	DS1 A1	ヒユ科の植物	Amaranthus tricolor	苋菜	学名: <i>Amaranthus tricolor</i>
869	jɣw tɕ ^h a:j	A2 C	アブラナ（油菜）	rapeseed	芸薹;油菜	学名: <i>Brassica napus L.</i>
870	no:t p ^h jak	B2 DS1	アブラナの花茎（花のみをつける茎）	rapeseed stem	菜薹	花のみをつける茎。
871	p ^h jak to:ŋ ha:w	DS1 A2 A1	シュンギク（春菊）	crown daisy	茼蒿	学名: <i>Glebionis coronaria</i>
872	p ^h jak ɬo:ŋ ɬɣw	DS1 C B1	ヨウサイ（蕹菜）	Ipomoea aquatica	空心菜	学名: <i>Ipomoea aquatica</i> 、中国語で空心菜（コンシンツァイ、拼音:kōngxīncài）や通菜（トンツァイ、拼音: tōngcài）とも呼ばれ、「空心菜」の日本語読みでクウシンサイとも言う。
873	p ^h jak ke:p	DS1 DL1	ニラ（韭）	chinese chive	韭菜	学名: <i>Allium tuberosum</i> 、単独で

						[ke:pDL1]と使うことが多い。
874	tei:n te ^h a:j	B1 C	ワスレグサ属の植物	hemerocallis	黄花菜；金针菜	学名: <i>Hemerocallis citrina Baroni</i> 、 [hwaŋA2 hwa:B1 te ^h a:jB1]とも言う。
875	p ^h jak k ^h e:w	DS1 A1	青菜（緑色の葉菜の総称）	greenstuff	青菜	
876	k ^h wɔj hjaŋ	A1 B1	パクチー	Chinese parsley	香菜	学名: <i>Coriandrum sativum L.</i>
877	p ^h jak ho:m	DS1 A1	コリアンダー	coriander	芫荽	学名: <i>Coriandrum sativum L.</i> 、「コリアンダー」と「パクチー」は同じ植物。日本では香辛料として種子や葉を乾燥させてパウダー状にしたものを「コリアンダー」、葉を生のまま野菜として使用する場合に「パクチー」と呼ぶことが多い。

878	ɲaw pʰi: tɕʰo:j	A2 B2 B2	フダンソウ（不断草）	spanish beet	牛皮菜	学名: <i>Beta vulgaris var. cicla</i> (L.) K.Koch、フダンナ（不断菜）、恭菜、唐萵苣、スイスチャードとも呼ぶ。
879	pʰjak tɕe:	DS1 B2	野菜の漬物の総称	pickled vegetables	泡菜	野菜を塩水で漬け込んだもの。発酵させるため、独特の風味（酸味）がある。
880	θo:j tɔŋ	B1 B2	ノビル（野蒜）	wild rocambole	苦蒜；野葱	学名: <i>Allium macrostemon</i>
881	θo:j	B1	ニンニク（蒜）	garlic	蒜	学名: <i>Allium sativum</i>
882	ɲo:t θo:j	DL1 B1	ニンニクの花茎	garlic flower stalk	蒜薹	
883	kʰŋ	A1	ショウガ（生姜）	ginger	姜	学名: <i>Zingiber officinale</i>
884	tɕok ke:w	DS1 A1	トウガラシ（唐辛子）	hot pepper	辣椒	学名: <i>Capsicum annuum</i>
885	tɕʰa:j tɕa:w	C B1	ピーマン	pimento	菜椒	学名: <i>Capsicum annuum var. grossum</i>

886	teuk ke:w me:k	DS1 A1 DL2	トウガラシの一種	hot pepper	指天椒	広西チワン族自治区 崇左市天等県で栽培 される辛みの強いト ウガラシで、上向き に実がなる事から 「指天椒」と呼ばれ る。[tei:A1 tʰe:nB1 tea:wB1]とも言う。
887	tvŋ loŋ tea:w	A1 A2 A1	シネンセ種の植物	Capsicum chinense	灯笼辣椒	学名: <i>Capsicum chinense</i> 、強い辛味が ある。
888	teuk ke:w ðɣj	DS1 A1 A2	トウガラシの一種	hot pepper	长椒	形が細長い。
889	yo: tei:w dām	A2 A1 A2	黒いコショウ（胡 椒）	black pepper	黑胡椒	学名: <i>Piper nigrum</i>
890	yo: tei:w kʰa:w	A2 A1 A1	白いコショウ（胡 椒）	white pepper	白胡椒	学名: <i>Piper nigrum</i>
891	hwa: teja:w	B1 B1	カホクザンショウ （華北山椒）	sichuan pepper	花椒	学名 : <i>Zanthoxylum bungeanu m</i>
892	ŋa:	A2	ゴマ（胡麻）	sesame	芝麻	学名: <i>Sesamum indicum</i>
893	kwa:	A1	カボチャ	pumpkin	瓜	
894	kwø: li:m	A1 B1	ヘチマの一種	a kind of sponge gourd	水瓜	

895	tɕʰe: kwa:	A2 B1	冬瓜	waxgourd ; whitegourd	冬瓜	学名: <i>Benincasa hispida</i>
896	kwa:	A1	カボチャ	pumpkin	南瓜	
897	pʰe:ŋ	A1	キュウリ	cucumber	黄瓜	
898	θaj kwa:	A1 A1	スイカ	watermelon	西瓜	
899	kwø:	A1	ヘチマ (糸瓜)	sponge gourd	丝瓜	学名: <i>Luffa cylindrica (L.) Roem.</i> 、乾燥したへちま繊維が食器洗い用のたわしとして使われている。
900	ma:k kwa: ko:	DL1 A1 A1	パパイヤ (蕃瓜樹)	papaya;papaw;pawpaw	木瓜	学名: <i>Carica papaya L.</i>
901	ðu:k ðaj	DL2 B1	ツルレイシ (蔓荔枝)	bitter gourd	苦瓜	学名: <i>Momordica charantia var. pavel</i> 、一般的にはニガウリ、ゴーヤーなどと呼ばれる。
902	kwa: he:n	A1 C	アンナンカラスウリ	Gymnopetalum chinense	金瓜	学名: <i>Gymnopetalum chinense (Lour.) Merr.</i>
903	hjo:ŋ kwa:	A1 A1	マクワウリ (真桑瓜)	Oriental melon	香瓜	学名: <i>Cucumis melo var. makuwa</i>
904	ðu: kwa:	A2 A1	ウリの種を包んだ部分	spongy matter around gourd seeds	瓜瓢囊 ; 瓜肠	

905	ðu: kwø:	A2 A1	乾燥した糸瓜、スポンジとして食器などを洗う。	dried sponge gourd	瓜络	スポンジとして食器などを洗うのに用いる
906	θɯɯ ka:t	A2 DL1	ヒカマ (葛芋)	Pachyrhizus erosus	凉薯	学名: <i>Pachyrhizus erosus</i>
907	θɯɯ ɓoŋ	A2 C	サツマイモ (薩摩芋)	sweet potato	甘薯 ; 红薯 ; 白薯	学名: <i>Ipomoea batatas</i>
908	θɯɯ ja: mɯm	A2 B2 C	ヤム芋	winged yam rhizome	毛薯	学名: <i>Rhizome of Winged Yam</i>
909	man min	A2 A2	キャッサバ	cassava	木薯	学名: <i>Manihot esculenta</i>
910	kʰaw θɯɯ ɓoŋ	A1 A2 C	サツマイモの蔓	sweet potato vine	红薯藤	
911	pʰju:k	DL1	タロイモ	taro	芋头	
912	ma: li:ŋ teʰi:	A1 A2 A2	ジャガイモ (馬鈴薯)	potato	马铃薯 ; 土豆 ; 洋芋	学名: <i>Solanum tuberosum L.</i>
913	pʰju:k taj ma:	DL1 A2 C	シログワイ (白慈姑)	water chestnut	马蹄 ; 荸荠	学名: <i>Heleocharis dulcis (Burm. f.) Trin.</i>
914	θɯɯ ku:	A2 B1	クワイ (慈姑)	arrowhead	慈姑	
915	ma:k ɓaw	DL1 C	ユウガオ (夕顔)	bottle gourd	葫芦	学名: <i>Lagenaria siceraria (Molina) Standl</i>
916	le:n ŋɯw	A2 A1	レンコン (蓮根)	lotus root	藕 ; 莲藕	

917	ma:k la: fak	DL1 A2 DS2	ダイコン (大根)	radich	萝卜	大根の総称である。
918	la: fak dɛ:ŋ	A2 DS2 A2	ニンジン (人参)	carrot	胡萝卜 ; 红萝卜	学名: <i>Daucus carota</i> <i>subsp. sativus</i>
919	la: fak kʰa:w	A2 DS2 A1	ダイコン (大根)	radich	白萝卜	学名: <i>Raphanus sativus</i> <i>var. longipinnatus</i>
920	la: fak la:p	A2 DS2 DL2	干しダイコン	dried radish	萝卜干	
921	pʰju:k mo:ŋ	DL1 B2	コンニャク (蒟蒻)	konjac	魔芋	学名: <i>Amorphophallus</i> <i>konjac</i>
922	kaj la:n	C A2	カイラン (芥藍)	Chinese kale	芥兰	学名: <i>Brassica oleracea</i> <i>var. alboglabra</i>
923	pʰjak ji:p ka:n	DS1 DL2 C	ステムレタス	celtuce	莴笋	学名: <i>Lactuca sativa var</i> <i>augustana</i>
924	ko: tea:	A1 A2	チャノキ (茶樹)	tea tree	茶	学名: <i>Camellia sinensis</i> <i>(L.) Kuntze</i>
925	mauq tea:	A2 A2	茶の葉	tea leaves	茶叶	
926	ma:k jɤw tea:	DL1 A2 A2	茶の実	tea fruit	茶子	
927	jɤw tea:	A2 A2	アブラツバキ (油 椿)	Camellia oleifera	油茶	学名: <i>Camellia oleifera</i>
928	mi:w kɔk ʔjat	A2 DS1 DS1	その時期の最初に収 穫した作物	the first harvested crops of the season	头造 ; 头苗	
929	ɕjo:k ho:n kaj	DL1 A1 B1	ケイトウ (鶏頭)	cockscorn	鸡冠花	学名: <i>Celosia cristata L.</i>

930	ɖjo:k le:n ŋɔw	DL1 A2 B1	ハス (蓮)	lotus	荷花	学名: <i>Nelumbo nucifera</i>
931	fan le:n ŋɔw	A2 A2 A1	ハスの実	lotus fruit	莲子	
932	ɖjo:k nɔm ko:j	DL1 A2 A1	ノイバラ (野茨)	multiflora rose	金櫻花 ; 野薔薇	学名: <i>Rosa multiflora</i> <i>Thunb.</i>
933	ɖjo:k mɔj kwɔj	DL1 A2 B1	バラの花	rose	玫瑰花	
934	ko: mɔj kwɔj	A1 A2 B1	(苗・株としての) バラ	rosa	薔薇 ; 野薔薇 (指植 株)	
935	ɖjo:k pʰjo:n	DL1 B1	ミツモウカ (密蒙 花)	buddleja officinalis flower	黄糯米花	学名: <i>Buddleja</i> <i>officinalis Maxim.</i>
936	ɖjo:k ljap mɔu	DL1 A2 A2	ヘンナ	mignonette tree	指甲花	学名: <i>Lawsonia inermis</i> <i>Linn.</i> 、指甲花 (シコ ウカ) とも言う。
937	ɖjo:k tu: ke:n	DL1 A2 B1	ツツジ (躑躅)	rose bay	杜鹃花	学名: <i>Rhododendron L.</i>
938	kʰaw ɖjo:k	A1 B1	アサガオ (朝顔)	morning glory	喇叭花 ; 牽牛花	学名: <i>Ipomoea nil</i>
939	ɖjo:k mu: ta:n	DL1 A1 B1	ボタン (牡丹)	tree peony	牡丹花	学名: <i>Paeonia</i> <i>suffruticosa</i>
940	ɖjo:k kʰu:	DL1 A2	キクの花	chrysanthemum	菊花	
941	θa:w jo:	A1 A2	シャクヤク (芍薬)	paeoniae radix; chinise poeny	芍药	学名: <i>Paeonia lactiflora</i> <i>Pall.</i>

942	la:n te ^h a:w	A2 A1	フジバカマ (蘭草)	thoroughwort	兰草	学名: <i>Eupatorium fortunei Turcz</i>
943	ko: kjam	A1 B1	アカネ (茜)	madder	茜草 ; 紫兰草	学名: <i>Rubia argyi</i> 、衣類や爪先を染める染料として使われる。
944	to:ŋ tei:ŋ	A1 A1	日本名不詳、粽を包むために使う大きな葉っぱ	<i>Phrynium capitatum</i> Willd.	粽粬叶	学名: <i>Phrynium capitatum Willd.</i>
945	nyŋ ko:t	A2 DL2	サボテン (仙人掌) の一種	cactus	仙人掌	
946	tu: teo:ŋ	A2 C	トチュウ (杜仲)	hardy rubber tree	杜仲	学名: <i>Eucommia ulmoides Eucommia</i>
947	pr: ho:	A2 A2	ユリ (百合)	lily	百合	学名: <i>Lilium</i>
948	te ^h a:w ko:	A1 A1	ソウカ (草果)	<i>Amomum tsao-ko</i>	草果	ショウガ科、学名: <i>Amomum tsao-ko Crevost et Lemarie</i> 、生薬に用いる。
949	pr: ko:	A2 A1	イチョウ (銀杏)	ginkgo	白果	学名: <i>Ginkgo biloba</i>
950	kɾw te ^h i:	A1 A1	クコ (枸杞)	Chinese matrimony vine	枸杞	学名: <i>Lycium chinense</i>
951	fan kɾw te ^h i:	A2 A1 A1	クコの実	goji berry	枸杞子	

952	pr: ki:	A2 A2	ビヤクキュウ (白 芩)	Bletilla striata	白芩	紫蘭の塊茎、学名 : <i>Bletilla striata</i> 、生薬 に用いる。
953	na: tʰa:ŋ ma:	A2 A1 A1	エノコログサ (狗尾 草)	green foxtail	马尾苋 ; 马尾仙	学名: <i>Setaria viridis</i>
954	na: kʰe:w ma:	C C C	スベリヒユ (滑莧)	parslane herb	马齿苋	学名: <i>Portulaca oleracea</i> 、[ma:A1 tɕʰi:A1 je:nA2]とも 言う。
955	nym va:	A2 A2	スナヅル (砂蔓)	sunazuru	菟丝子 ; 无根藤	学名: <i>Cassytha filiformis</i> L.
956	na: tʰu: dɛ:ŋ	C A1 A2	ウスベニニガナ	lilac tasselflower	一点红	きく科、学名: <i>Emilia sonchifolia</i> (L.) DC.
957	na: tʰu: kʰa:w	C A1 A1	オキナグサ (翁草)	pasqueflower	白头翁 (草名)	学名: <i>Pulsatilla chinensis</i> (Bunge) <i>Regel</i>
958	tea: la:t	A2 DL2	ゴシュユ (呉茱萸)	Euodia ruticarpa	茶辣	学名: <i>Tetradium ruticarpum</i> 、夏から秋 にかけて、未熟果実 を採集し、乾燥陰干 して生薬とする。 葉、果実ともに特有 の強い臭いを有す

						る。味は極めて苦く、辛味の強いものを良品とする
959	p ^h jak hɤm	DS1 A1	ホナガイヌビユ（穂長犬菟）	green amaranth	野苋	学名: <i>Amaranthus viridis</i>
960	θk hu:	DS1 A2	セッコク（石斛）	Dendrobium moniliforme	石斛	学名: <i>Dendrobium moniliforme</i>
961	t ^h e:n tɕ ^h i:	A2 A2	サンシチニンジン（三七人參）	Pseudoginseng	田七	学名: <i>Panax notoginseng</i> (Burk.) F.H.Chen、広西チワン族自治区の田陽、田東県で産する。
962	d̪a:ŋ	A2	体、身体	body	身体	
963	t ^h u:	A1	頭、頭部	head	头	
964	t ^h u: kjaʋ	A1 C	後頭部	the back side of head	后脑勺	
965	na: pja:k	C DL1	額、前額部	forehead	额头	
966	ʁa:k ʁaw	DL1 A2	泉門、ひよめき	fontanel	囟門	「赤ちゃんの泉門、ひよめき」を

						[ma:kDL1 mo:mB2]と 言う。
967	ʔok ʔaj	DS1 B1	脳、脳髄	brain	脑髓	
968	tʰu: pʰjɤm	A1 A1	頭髮	head hair	头发	
969	pʰjɤm vi:n	A1 B2	前髮	front hair	刘海儿	
970	kjaw	C	束髮	bun	髻；发髻	
971	pʰjɤm ye:n ðɤw	A1 A2 A1	鬢	hair on the temples	鬓发	
972	mo:j	A2	旋毛(つむじ)	hair whorl	发旋；头旋	
973	na:	C	顔	face	脸	
974	ke:p θe:	DL1 A1	こめかみ	temple	太阳穴	
975	ke:m	C	ほお	cheek	腮颊；腮	
976	ðɤw	A1	耳	ears	耳朵	
977	po:m ðɤw	B1 A1	耳たぶ	earlobe	耳垂	
978	tʰa:	A1	目	eyes	眼睛	[ma:kDL1 tʰa:A1]とも 言う。
979	pɤj tʰa:	A2 A1	まぶた	eyelid	眼皮	
980	tʰa: θo:ŋ pi:n	A1 A1 B1	二重まぶた	double eyelid	双眼皮	
981	tʰa: pi:n to:k	A1 B1 DL2	一重まぶた	single eyelid	单眼皮	
982	hu:j tʰa:	B1 A1	眼球	eyeball	眼珠	
983	ʔe:ŋ tʰa:	A2 A1	ひとみ、瞳孔	pupil	瞳仁；瞳孔	

984	k ^h wa:ŋ t ^h a:	B1 A1	目の縁	eye rim	眼眶	
985	kɣm t ^h a:	B1 A1	眼窩(がんか)	eye socket	眼窩	
986	k ^h wɣn tɛaw	A1 A2	まゆ毛	eyebrow	眉毛	
987	ka:p k ^h wɣn tɛaw	DL1 A1 A2	眉間	glabella	印堂	
988	k ^h wɣn t ^h a:	A1 A1	まつ毛	eyelash	睫毛	[ji:nC ta:ŋA2]とも言う。
989	ɗaŋ	A2	鼻	nose	鼻子	
990	ki:w ɗaŋ	A2 A2	鼻梁	nose bridge; nasal bridge	鼻梁	
991	pja:j ɗaŋ	A1 A2	鼻翼	ala nasi; nasal wing	鼻翅；鼻翼	
992	ðɣw ɗaŋ	A2 A2	鼻孔	nostril	鼻孔	
993	mok	DS1	鼻水	nasal mucus	鼻涕	
994	tɛa:w ɗaŋ	A2 A2	人中（鼻の下、上の唇にある窪み）	philtrum	人中	
995	pa:k	DL1	口	mouth	嘴	
996	p ^h i:n pa:k	B1 DL1	唇	lips	嘴唇	
997	mɣm	B2	あごひげ	beard	胡子	
998	mɣm θa:j kɪp	B2 A1 DS1	ほおひげ	whiskers	络腮胡子	
999	p ^h i:n pa:k ti:ŋ	B1 DL1 A2	上あご	upper jaw	上顎；上颌	
1000	tauŋ ka:ŋ	B1 A2	下あご	chin; lower jaw	下巴；下颌	

1001	kʰe:w	C	歯	tooth	牙齿	
1002	kʰe:w va:j	C A2	臼歯	molars	大牙；槽牙；臼牙	
1003	kʰe:w θu:	C A1	犬歯	canine tooth	犬牙	
1004	kʰe:w pa:k tɯw	C DL1 A1	前歯	front tooth	门牙	
1005	hu:k	DL1	歯茎	gingiva;gum	牙龈；牙床	
1006	kʰe:w nɯw	C A1	乳歯	deciduous tooth; baby tooth	乳牙	
1007	lm	C	舌	tongue	舌头	
1008	lm kaj	C B1	のどちんこ、口蓋垂	uvula	小舌	
1009	na: lm	C C	舌苔（ぜったい）	tongue coat; fur	舌苔	下の粘膜に生じるコ ケ状の付着物であ る。
1010	θa:j γo:	A1 A2	のど	throat	喉咙	
1011	ni:ŋ γo:	A1 A2	のどぼとけ	Adam's apple	喉结	
1012	γo:	A2	首	neck	颈:脖子	
1013	ðɯw γo:	A2 A2	食道	esophagus	食道	
1014	γo: hɔŋ	A2 B1	気管	trachea; air tube	气管	
1015	ðaŋ ma:	A2 A1	うなじ、首すじ	nape	后颈窝	
1016	ða:	B1	肩	shoulder	肩膀	
1017	θan laŋ	A1 A1	背中	back	脊；脊背	

1018	ʔɤk	DS1	胸	chest	胸膛；胸脯	
1019	ðɔk ðe:	DS2 C	腋の下	armpit	腋下	
1020	kʰwɤn ðɔk ðe:	A1 DS1 C	脇毛	armpit hair	腋毛	
1021	nu:	B1	乳房	breast	乳房	
1022	pa:k nu:	DL1 B1	(人間の)乳首	nipple	奶头	
1023	to:ŋ	C	腹	belly	肚子	
1024	dɔk dɤj	DS1 A2	へそ	navel; belly button	肚脐	
1025	θa:j dɯ:	C A2	へその緒	umbilical cord	脐带	
1026	to:ŋ	C	腹部、胃	belly; stomach	肚脯	
1027	ða:ŋ	A2	腰	waist	腰	[ji:wA1]とも言う。
1028	kʰe:n	A1	腕	arm	胳膊；臂	
1029	kɔk θo:k	DS2 DL1	ひじ	elbow	肘	
1030	mɤɥ	A2	手	hand	手	
1031	mɤɥ θwa:j	A2 C	左手	the left hand	左手	
1032	mɤɥ θwa:	A2 A1	右手	the right hand	右手	
1033	pa: mɤɥ	B1 A2	手の平	palm	手掌	
1034	la:ŋ mɤɥ	A1 A2	手の甲	back of the hand	手背	
1035	kja:ŋ pa: mɤɥ	A1 B1 A2	掌 (たなごころ)	palm	手心	
1036	ðo:j mɤɥ	A2 A2	手相、掌紋	palm print	手纹	
1037	ɣo: mɤɥ	A2 A2	手首	wrist	手腕	

1038	lok mɯɯ	DS1 A2	(手の)指	finger	手指	
1039	me: mɯɯ	A2 A2	(手の)親指	thumb	拇指	
1040	lok mɯɯ taw	DS1 A2 A2	人さし指	index finger	食指	
1041	lok mɯɯ kja:ŋ	DS1 A2 A1	中指	middle finger	中指	
1042	lok mɯɯ θɯj	DS1 A2 B1	薬指	ring finger	无名指	
1043	lok mɯɯ tʰa:ŋ	DS1 A2 A1	子指	little finger	小指	
1044	ðo:j mɯɯ	A2 A2	指紋	fingerprint	指纹	
1045	mɯɯ ve:	A2 A1	枝指（手の指が枝分 かれして、指の隣に 六本目の指があるこ と）	branch finger	双生手指；枝指	
1046	ljap mɯɯ	DS2 A2	指の爪	finger nail	指甲	
1047	kɔk ljap mɯɯ	DS1 DS2 A2	指の爪の根元	base of fingernail	月痕	
1048	nu: ma:	C C	肉刺（まめ）	blister; corn	肉刺	「ささくれ（さかむ け）」は[mɯɯA2 ja:nC]と言う。
1049	?an kɯj	A2 A1	実をとったあとの豆 の茎・葉・さやな ど。	bean harvest residue	萁	
1050	kʰo: mɯɯ	C A2	指の節(関節と関節の 間の部分)	knuckle	手指节	

1051	pɣm kʰo: mɣu	A1 C A2	指の関節	finger joint	手指弯曲后突起的指节处	
1052	ŋa:m me: mɣu	A2 B2 A2	親指と人さし指の間 (つぼの一つ)	part between the thumb and the index finger of hand	指叉；虎口	
1053	kwi:n	A2	握りこぶし	fist	拳头	
1054	lo: mɣu	A2 A2	渦状の指紋	stripe pattern at finger- tip	斗；螺[圓形的指纹]	
1055	kʰa:	A1	足	foot	脚	
1056	tau kʰa:	C A1	土踏まず	arch of foot	脚心	
1057	pa:ŋ kʰa:	B1 A1	足の裏	sole; foot bottom	脚掌；脚板	
1058	la:ŋ kʰa:	A1 A1	足の甲	instep	脚背	
1059	yo: kʰa:	A2 A1	足首	ankle	脚腕	
1060	lok kʰa:	DS1 A1	足の指	toes	脚趾；脚指头	
1061	θɣn kʰa:	C A1	踵	heel	脚后跟:脚跟	
1062	pɣw kʰa:	A1 A1	踝	ankle	脚踝:踝子骨	
1063	tʰu: kʰaw	A1 B1	ひざ	kneecap;knee	膝盖	
1064	pja:j kʰa:	A1 A1	つま先	toe	脚尖	
1065	kʰa:	A1	足（全体）	leg	腿	[koŋB1]とも言う。
1066	ta:ŋ kʰwa:	A2 B1	股の下	upper thighs	胯下	
1067	koŋ kʰa:	B1 A1	太腿	thigh	大腿	

1068	k ^h a: pɤj	A1 A1	脛	shin	小腿	膝からくるぶしまでの部分である。
1069	pɤj k ^h a: pɔŋ	A1 A1 B1	ふくらはぎ	calf	脚肚子	
1070	kɔŋ ki:w	C B1	ひかがみ	the hollow (back) of the knee	腘	ひざの裏のくぼんだところである。
1071	na: k ^h a:	C A1	脛骨の外側面	facies lateralis	脛前	
1072	kɤm	B1	尻、臀部	hips; buttocks; gluteal region	屁股	
1073	ðɤw k ^h i:	A2 C	肛門	anus	肛門	
1074	k ^h wɤn hi:	A1 A1	恥毛	hair of pubis	阴毛	
1075	t ^h am	A1	陰囊	scrotum	阴囊	
1076	ma:k t ^h am	DL1 A1	睾丸	testicle	睾丸	
1077	hi:	A1	女性性器	female genital organ	女性生殖器官	
1078	pa:k hi:	DL1 A1	(女性の)外陰部	vulva	女阴；阴蒂	
1079	k ^h wɤn hi:	A1 A1	女性の恥毛	pubic hair (female)	阴毛（女性的）	
1080	tɛi: t ^h am	A1 A1	陰茎、ペニス	penis	男阴；阴茎	
1081	t ^h u: vaj	A1 A2	陰茎龟头	glans penis	龟头	
1082	k ^h wɤn vaj	A1 A2	男性の恥毛	pubic hair (male)	阴毛（男性的）	
1083	vaj	A2	男性性器	male genital organ	男性生殖器	
1084	p ^h i:n pa:k hi:	B1 DL1 A1	陰唇	labia pudendi	阴唇	

1085	θim taw	A1 A2	心臟	heart	心	[θim A1]は「こころ」を指す。
1086	pɿt	DS1	肺臓	l u n g	肺	
1087	tap	DS1	肝臓	liver	肝	
1088	ɸɿj	A2	胆嚢	gall bladder	胆	
1089	ma:k ji:w	DL1 A2	腎臓	kidney	腎；腰子	
1090	ma:m	C	脾臓	spleen	脾	
1091	lok lɿm	DS1 A2	膵臓	pancreas	膵腺；横肝	
1092	to:ŋ	C	胃	stomach	胃	
1093	θaj	C	腸(全体)	bowel	腸子	
1094	θaj ke:	C A1	大腸	large intestine	大腸	
1095	θaj ʔo:	C B1	小腸	small intestine	小腸	
1096	θaj ɸɿt	C DS1	盲腸	caecum	盲腸	
1097	tʰaŋ θaj ɸɿt	A1 C DS1	虫垂	appendico; epityphlon	阑尾	
1098	pu:n ne:w	A2 B2	膀胱	(urinary) bladder	膀胱	
1099	ji:n	A2	筋	muscle	筋	
1100	lu:t	DL2	血、血液	blood	血	
1101	me:k	DL2	脈拍	pulse	脉搏	
1102	me:k lu:t	DL2 DL2	血管	blood vessel	血脉	
1103	na:ŋ nu:	A1 C	皮膚	skin	皮膚	

1104	k ^h wɿn ɓɿw	A1 B1	産毛	fine (downy) hair on the human body	寒毛	
1105	dɔk	DS1	骨	bone	骨头	
1106	ʔɔk ʔa:j dɔk	DS1 B1 DS1	骨髓	marrow	骨髓	[ku:A2 θɿjA1]とも言う。
1107	k ^h o: dɔk	B1 DS1	関節	joint	骨节	
1108	dɔk dā:ŋ	DS1 A2	筋骨	muscle and bone	筋骨	
1109	dɔk θan laŋ	DS1 A1 A1	背骨	backbone	脊梁骨；脊柱	
1110	dɔk dā:m	DS1 C	肩甲骨	shoulder blade	肩胛骨	
1111	t ^h aŋ dɔk θan laŋ	A1 DS1 A1 A1	腰椎	lumbar vertebra	腰椎	
1112	dɔk ɣe:ŋ	DS1 B2	手足の骨	limb bone	四肢骨；筒骨	[kwatDS1' t ^h ɔŋA2]とも言う。
1113	dɔk ke:m	DS1 C	ほお骨	cheekbone	颧骨	
1114	dɔk t ^h u:	DS1 A1	頭蓋骨	cranial bone; skull	头盖骨	
1115	dɔk ʔɿk	DS1 DS1	胸骨	breastbone	胸骨	
1116	dɔk tauɰ ka:ŋ	DS1 C A2	下顎の骨	lower jaw bone	下巴骨	
1117	dɔk dā:m ɣo:	DS1 C A2	鎖骨	collarbone	锁骨	
1118	dɔk kɔk k ^h a:	DS1 DS1 A1	寛骨	innominate bone	胯骨	
1119	dɔk k ^h a: pɿj	DS1 A1 A1	脛の骨	shin bone	胫骨	
1120	dɔk ʔo:	DS1 B1	軟骨	cartilage	软骨	

1121	nu:	B1	母乳	breast milk	奶汁	
1122	nam t ^h a:	C A1	涙	tear	眼泪	
1123	k ^h i: t ^h a:	C A1	目糞	eye mucus	眼屎	
1124	k ^h i: ðɿw	C A1	耳糞	earwax	耳屎	
1125	k ^h i: d̪aŋ	C A2	鼻糞	nasal mucus	鼻屎	
1126	na:j	A2	唾液、つば	saliva	口水	
1127	na:j nu:	A2 A1	唾、唾液	saliva,sputum	痰	
1128	t ^h u:	B1	汗	sweat; sudor	汗	
1129	naj t ^h u:	B2 B1	汗汚れ	stain with sweat	汗垢	
1130	k ^h i:	C	排泄物、糞便	faeces;excrement	屎	
1131	ne:w	B2	尿、小便	urine	尿	
1132	twat	DS1	屁	fart; breaking wind	屁	
1133	maj	B1	ほくろ	nevus ; mole	痣	
1134	tɔk ti:m	DS1 C	そばかす、しみ	freckle; spot	雀斑	
1135	ma:j	A1	(生まれつきの)あざ、 母斑	birthmark	胎记	
1136	kja:k h̥j	DL1 A2	汗のしみ	sweat stain	汗斑	
1137	ʔo:m	C	後産	secundina; afterbirth	胞衣	
1138	kɿn t ^h a:j	A2 A1	死体	dead body; body	尸体	
1139	tɿn tauq	B1 A1	(手足にできる) 胼 胝(たこ)	callositas	胼子	

1140	po:p	DL1	(摩擦による) 皮膚の 水ぶくれ	blister	水疱[脚板或手掌因摩擦 而起的]	
1141	ɲaw	B1	しわ	wrinkles	皱纹	
1142	na:ŋ tʰu:	A1 A1	頭皮	scalp	头皮	
1143	ɣaj	A2	(頭の)ふけ	scurf	头屑	
1144	tʰa:ŋ pi:n	A1 A1	編んだ髪、お下げ髪	braid	辮子	
1145	θaj lo:ŋ	C B2	米ソーセージ	rice-filled sausage	粉肠	豚の小腸に米汁(とぎ 汁)を入れて茹る。茹 でて熟させた後に、 表面を油で焦げめが 出るまでに焼き、タ レをつけて食べる。
1146	nam vaj	C A2	精液	semen	精液	
1147	θu: kɔŋ	A1 B1	子宮	uterus	子宫	
1148	he: ki:ŋ	A2 B1	月経	menses	月经	
1149	θim taw	A1 A2	心臓のある部位	precordium	心窝	
1150	ðu: dɔuɣ	A2 A2	内臓	viscera	内脏	
1151	me:k taw	DL2 A2	動脈	artery	动脉	
1152	me:k ti:ŋ	DL2 B2	静脈	vein	静脉	
1153	nam dɕj	C A2	(動物の)胆汁	gall	胆汁	
1154	tʰa: nu:	A1 C	毛穴	pore	汗孔；毛孔	
1155	kɔŋ tɔo:	A1 C	先祖、祖先	ancestor	祖先	

1156	ta:j laŋ	B2 A1	後代の人、子孫	future generations	后代	
1157	kəŋ tɛt	A1 DS1	高祖父、曾祖父の父	(paternal) great-great-grandfather	高祖	
1158	po: tɛt	A2 DS1	高祖母、曾祖父の母	(paternal) great-great-grandmother	高祖母	
1159	kəŋ tɛo:	A1 C	父方の曾祖父	(paternal) great grandfather	曾祖父	
1160	po: tɛo:	A2 C	父方の曾祖母	(paternal) great-grandmother	曾祖母	
1161	kəŋ	A1	父方の祖父	(paternal) grandfather	祖父	
1162	po:	A2	父方の祖母	(paternal) grandmother	祖母	
1163	po: me: ʔo:k	B2 B2 DL1	親、両親	parents	父母	
1164	po: ʔo:k	B2 DL1	父親	father	父亲	[la:wC ke:B1]とも言う。
1165	me: ʔo:k	B2 DL1	母親	mother	母亲	[me:B2 ma:B1]、 [la:wC ja:B2]とも言う。
1166	po: me:	B2 B2	夫妻	husband and wife; married couple; man and wife	夫妻 ; 夫妇 (他称, 对 称)	
1167	po:	B2	夫	husband	丈夫	
1168	me:	B2	妻	wife	妻子	

1169	pxj 6a:w	B2 B1	兄	elder brother	兄；哥哥	[ko:A1]とも言う。
1170	me: 0a:w	B2 C	兄嫁、嫂	elder brother's wife	嫂子	
1171	no:ŋ 6a:w	C B1	弟	younger brother	弟弟	
1172	no:ŋ lu:	C A2	弟の嫁	sister-in-law(younger brother's wife)	弟媳	
1173	pa: ; ʔa:	C A2	兄弟の妻、相嫁	wives of brothers	妯娌	
1174	pxj no:ŋ 6a:w	B2 C B1	兄弟	brother	兄弟	
1175	pxj no:ŋ 0a:w	B2 C A1	姉妹	sister	姐妹	
1176	pxj 0a:w	B2 A1	姉	elder sister	姐姐	[tee:A1]とも言う。
1177	pxj kʰu:j	B2 A1	姉婿	elder sister's husband	姐夫	[tee:C fu:B1]とも言う。
1178	no:ŋ 0a:w	C A1	妹	younger sister	妹妹	
1179	no:ŋ kʰu:j	C A1	妹の夫	younger sister's husband	妹夫	
1180	lok 6a:w	DS1 B1	息子	son	儿子	俗な言い方では [lokDS1 pja:j] と言う。
1181	lok lu:	DS1 B2	息子の妻、嫁	daughter-in-law	儿媳	
1182	lok	DS1	子女、子供	sons and daughters; children	儿女	
1183	lok 0a:w	DS1 A1	娘	daughter	女儿	
1184	lok kʰu:j	DS1 A1	娘の夫、婿	son-in-law	女婿	
1185	lok 6a:w pja:j	DS1 B1 A1	末っ子（息子）	youngest child (son)	满仔[最小的儿子]	

1186	lok θa:w pja:j	DS1 A1 A1	末っ子（娘）	youngest child (daughter)	满女[最小的女儿]	
1187	lok la:n	DS1 A1	子孫	descendant	子孙	
1188	la:n	A1	孫（男女問わず）	grandchild	孙（不分性别）	
1189	la:n 6a:w	A1 B1	孫息子	grandson	孙子	
1190	la:n lu:	A1 A2	孫の妻	grandson's wife	孙媳	
1191	la:n θa:w	A1 A1	孫娘	granddaughter	孙女	
1192	la:n k ^h u:j	A1 A1	孫娘の夫	granddaughter's husband	孙女婿	
1193	lok lm	DS1 C	ひ孫息子	great-grandson	曾孙	
1194	lok k ^h u:j lm	DS1 A1 C	ひ孫娘	great-granddaughter	曾孙女	
1195	lok lo:t	DS1 DL1	男の玄孫（やしゃ ご）	great-great-grandson	玄孙	
1196	po: je:	B2 C	伯父（父の兄）	father's elder brother; paternal uncle	伯父	
1197	pa:	C	伯母（父の兄の妻）	wife of father's elder brother; aunt-in-law	伯母	
1198	ʔa:w	B1	叔父（父の弟）	father's younger brother; paternal uncle	叔父；叔叔	
1199	tɛ ^h am	C	叔母（父の弟の妻）	wife of father's younger brother; aunt-in-law	叔母；婶子	
1200	lok 6a:w to:k	DS1 B1 DL2	ひとり息子	only son	独子	

1201	lok θa:w to:k	DS1 A1 DL2	ひとり娘	only daughter	独女	
1202	lok θa:w tɕu:ŋ	DS1 A1 C	養子	adopted child	抱养儿	
1203	lok ke:m me:	DS1 A1 B2	(再婚する女性の) 連れ子	former husband's son	随娘儿	
1204	pa: laŋ	A1 B1	継父	stepfather	继父	
1205	ma: laŋ	B1 A1	継母	stepmother	继母	
1206	pxj no:ŋ k ^{bu} :j	B2 C A1	姉妹の夫	husbands of sisters	连襟	
1207	me: ma: ɲan	B2 B1 B2	母子の誓いをした義理の母（血縁関係はない）	close girlfriend of mother	干妈	
1208	ke: la:w ɲan	B1 C B2	父子の誓いをした義理の父（血縁関係はない）	close boyfriend of father	干爹	
1209	lok ʁa:w ɲan	DS1 B1 B2	父子（母子）の誓いをした義理の息子（血縁関係はない）	son in custom	干儿子	
1210	lok θa:w ɲan	DS1 A1 B2	父子（母子）の誓いをした義理の娘（血縁関係はない）	daughter in custom	干女儿	
1211	ta:ŋ ko:	A2 A1	年上の男のいところ（父方の兄弟の息子）	elder male cousin (on the paternal side)	堂兄	

1212	ta:ŋ ti:	A2 B1	年下の男のいところ (父方の兄弟の息子)	younger male cousin (on the paternal side)	堂弟	
1213	ta:ŋ tee:	A2 A1	年上の女のいところ (父方の兄弟の息子)	elder female cousin (on the paternal side)	堂姐	
1214	ta:ŋ mɤj	A2 C	年下の女のいところ (父方の兄弟の息子)	younger female cousin (on the paternal side)	堂妹	
1215	la:n ɓa:w	A1 B1	甥	nephew	侄儿 ; 侄子	
1216	la:n θa:w	A1 A1	姪	niece	侄女	
1217	la:n lu:	A1 A2	甥の妻	nephew's wife	侄媳	
1218	la:n kʰu:j	A1 A1	姪の夫	niece's husband	侄女婿	
1219	pa:	C	伯母 (父の姉)	father's elder sister (married); paternal aunt	姑母[父之姐]	
1220	mu:	B1	叔母 (父の妹)	father's younger sister(married)	姑母[父之妹]	
1221	je:	C	伯父 (父の姉の夫)	husband of paternal aunte; uncle-in-law	姑父[父姐之夫]	
1222	ko: tɕu:ŋ	A1 C	叔父 (父の妹の夫)	the husband of one's father's younger sister	姑父[父妹之夫]	

				paternal aunt; uncle-in-law		
1223	pa:	C	伯母（母の姉）	mother's elder sister; maternal aunt	姨母[母之姐]	
1224	na:	B2	叔母（母の妹）	mother's younger sister; maternal aunt	姨母[母之妹]	
1225	loŋ k ^h u:j	A2 A1	叔父（母の姉の夫）	husband of maternal aunt; uncle-in-law	姨夫[母姐之夫]	
1226	na: k ^h u:j	B2 A1	叔父（母の妹の夫）	husband of maternal aunt; uncle-in-law	姨父[母妹之夫]	
1227	kɔŋ ta:	A1 B1	外祖父	(maternal) grandfather	外祖父；外公	
1228	po: ta:j	A2 B1	外祖母	(maternal) grandmother	外祖母；外婆	
1229	fu:	C	叔父（母の弟）	mother's younger brother; maternal uncle	舅父[母之弟]	
1230	loŋ	A2	伯父（母の兄）	mother's elder brother; maternal uncle	舅父[母之兄]	
1231	na: lu:	B2 A2	叔母（母の弟の妻）	wife of maternal uncle; aunt-in-law	舅母[母弟之妻]	
1232	pa:	C	叔母（母の兄の妻）	wife of maternal uncle; aunt-in-law	舅母[母兄之妻]	

1233	pja:w ko:	A1 A1	年上の男のいところ (母の兄弟姉妹の息子、父の姉妹の息子)	elder male cousin	表兄	
1234	pja:w θa:w	A1 C	年上のいところの妻	wife of elder cousin	表嫂	
1235	pja:w ti:	A1 C	年下の男のいところ (母の兄弟姉妹の息子、父の姉妹の息子)	younger male cousin (on the maternal side)	表弟	
1236	no:ŋ lu:	C A2	年下のいところの妻	younger male cousin's wife; cousin-in-law	表弟媳	
1237	la:n va:j θe:ŋ	A1 B2 A1	甥 (姉妹の息子)	sister's son; nephew	外甥	
1238	la:n θa:w va:j θe:ŋ	A1 A1 B2 A1	姪 (姉妹の娘)	sister's daughter; niece	外甥女	
1239	la:n va:j θe:ŋ	A1 B2 A1	外孫 (娘の息子)	daughter's son (grandson)	外孙	
1240	la:n θa:w va:j θe:ŋ	A1 A1 B2 A1	外孫 (娘の娘)	daughter's daughter (granddaughter)	外孙女	
1241	ke: prw	B1 B1	しゅうと、義父 (夫の父親)	husband's father; father-in-law	公公[夫之父]	
1242	me: ja:	B2 B2	しゅうとめ、義母 (夫の母親)	husband's mother; mother-in-law	婆婆[夫之母]	

1243	kəŋ ta:	A1 B1	しゅうと、義父、岳父（妻の父親）	wife's father; father-in-law	岳父[妻之父]	
1244	po: ta:j	A2 B1	しゅうとめ、義母、岳母（妻の母親）	wife's mother; mother-in-law	岳母[妻之母]	
1245	pvj no:ŋ	B2 C	一族、親戚	kinsfolk; relative	亲戚	[te ^h anA1 te ^h rkA1]とも言う。
1246	te ^h an kja:	A1 A1	花嫁または花婿の父	bride's or bridegroom's father	亲家（两亲家的男主人互称）	
1247	te ^h an kja:	A1 A1	花嫁または花婿の母	bride's or bridegroom's mother	亲家（两亲家的女主人互称）	
1248	kɤn	A2	人	human; people; person	人	
1249	teaw	A2	主人、雇い主	master	主人	
1250	k ^h o:j	C	（家庭の）使用人、召し使い	(domestic) servant	仆人	
1251	kɤn k ^h e:k	A2 DL1	客	guest	客人	
1252	pa:n	A1	世代	generation	輩；班輩	
1253	pa:n ke:	A1 B1	目上の人、年長者、上の世代の人	one's senior, elser	长辈	
1254	pa:n kɤn	A1 A2	等輩、同世代の人	the same generation, one's generation	平輩	

1255	pa:n ʔo:n	A1 B1	目下の人、若輩、下の世代の人	one's junior	晚辈	
1256	kəŋ ke:	A1 B1	老爺、老翁、おじいさん（子供が年配の男性を呼ぶ時の呼称）	old man	老翁；老公公[小孩称呼年老的男人]	
1257	ja: ke:	B2 B1	老婦人	elderly woman	老太太	
1258	kʁn ke:	A2 B1	老人、年寄り	aged	老人	
1259	kʁn loŋ	A2 A1	大人	adult	大人[成年人]	
1260	du:j po:	A2 B2	男性	man; male	男人	
1261	du:j me:	A2 B2	女性	woman; female	女人	
1262	lok ʔa:w	DS1 B1	（未婚の）青年男子	(unmarried)boy	青年男子（未婚）	
1263	lok ʔa:w	DS1 A1	（未婚の）青年女子	(unmarried)girl	青年女子（未婚）	
1264	kʰu:j mauŋ	A1 B1	新郎	bridegroom	新郎	
1265	lu: mauŋ	A2 B1	新婦	bride	新娘	
1266	paŋ jaw	A2 C	恋人	lover	情人	。
1267	nan paŋ jaw	A2 A2 C	（男性の）恋人	lover (male)	男情人	。
1268	ni: paŋ jaw	A2 A2 C	（女性の）恋人	lover (female) ; love	女情人	。
1269	me: mo:j	B2 A2	仲人業の女性	woman matchmaker; matchmaker lady	媒婆	
1270	po: kun	B2 B2	未婚男性、独身男性	bachelor	单身汉	

1271	lok ʔe:ŋ	DS1 A2	赤ちゃん、赤ん坊	baby	婴儿	
1272	lok ʔe:ŋ	DS1 A2	子供	child	儿童	
1273	lok ʔa:w tɕu:ŋ	DS1 B1	養子（男性）	adopted son	养子	
1274	lok ʔa:w tɕu:ŋ	DS1 A1	養女	adopted daughter	养女	
1275	me: lu: tɕu:ŋ	B1 A2 C	将来息子の妻となる 養女	girl raised as a future daughter-in-law	童养媳	
1276	kʰu:j kʰɯŋ ɔ̃u: n	A1 C A2	入婿、婿養子	husband adopted into wife's family	赘婿	
1277	lok pʰa:	DS1 A1	双子、双生児	twins	双胞胎	
1278	lok nam dɔ:k	DS1 C DL1	私生児	illegitimate child	私生子	
1279	po: ma:j	B2 C	男やもめ	widower	鳏夫	
1280	me: ma:j	B2 C	未亡人、寡婦	widow	寡妇	
1281	me: lu: ʔo:n	B2 A2 C	若奥さん、ヤングミ セス（既婚の若い女 性）	young married woman	少妇	
1282	lok pja:	DS1 C	孤児	orphan	孤儿	
1283	kɯŋ pan ke:n	A2 A2 A2	隣人	neighbour	邻居	
1284	ʔi: ʈɯŋ	B1 B1	医師、医者	doctor	医生	。
1285	ʔa:w	B1	男性に対しての「～ さん」に当たる敬称	mister (Mr.)	先生	
1286	hja:w tɕa:ŋ	C A1	校長、学長	schoolmaster; headmaster; president	校长	

1287	la:w θaj	C A1	先生、教師	teacher	老师	
1288	hjo: θɿŋ	A2 B1	学生	student	学生	
1289	θaj fɿw	B1 B2	師匠	instructor; professor	师傅	
1290	tʰu: ti:	A2 C	門人、弟子	disciple	徒弟	
1291	ŋɿn ji:n	B1 A2	恩人	benefactor	恩人	
1292	teaw kja:	A2 A1	仇敵	personal enemy	仇人	
1293	kɿn θok	A2 DS2	知人、知り合い	acquaintance	熟人	
1294	kɿn mɿj tʰi:n na:	A2 A2 A1 C	見知らぬ人、赤の他人	stranger	陌生人	
1295	ti: ji:n	A2 A2	敵	enemy	敌人	
1296	paŋ jaw	A2 C	友達、友人	friend	朋友	
1297	kʰo:j	C	奴隸	slave	奴隶	
1298	ti: ji:	C A1	地主	landowner	地主	
1299	kʰo:j po:	C B2	下男、（男性の）召し使い	servant(male)	男奴仆	
1300	kʰo:j me:	C B2	下女、（女性の）召し使い	servant(female)	女奴仆	
1301	kʰo:j	C	下婢	servant girl	丫鬟	
1302	tɛŋ wi:n	B1 A2	職人	artisan	匠人	
1303	kɿn θe:ŋ ʔɿj	A2 A1 B1	商人	trader	商人	
1304	la:w tɛʰi: θu:	C A2 B1	料理人	cook	厨师	

1305	la:w k ^h a: mɿw	C C A1	屠殺者、畜殺者	butcher; slaughterer	屠夫	
1306	la:w ka: lu:	C A1 A2	船頭、船の漕ぎ手	boatman	船夫	
1307	la:w t ^h a:m ki:w	C A1 B1	駕籠舁き、駕籠を担ぐ人夫	palanquin-bearer	轿夫	
1308	la:w tsk pja:	C DS1 A1	漁師、漁民	fisherman	漁夫	
1309	la:w to: fɿn	C A2 A2	きこり	wood cutter; woodman	樵夫	
1310	la:w t ^h ɿu t ^h a:p	C A1 DL1	荷担ぎ人夫	porter	挑夫	
1311	la:w t ^h ɿk hɿn	C DS1 A1	獵師	hunter	猎人	
1312	la:w ɲam θɿj	C B1 A1	歌手	singer	歌手	[la:w C tɛ ^h u:ŋA1 ko:B1] とも言う。
1313	k ^h aw va:	C B1	乞食	beggar	乞丐	
1314	la:w pu:n hu:	C B1 B1	行商人	peddler	小販	
1315	la:w k ^h a: kwø :	C A1 A2	跛行（軽度）	lameness(light)	跛子（軽度）	
1316	la:w k ^h a: pa:j	C A1 A1	跛行（中度）	lameness(moderate)	跛子（中度）	
1317	la:w k ^h a: pa:j	C A1 A1	跛行（重度）	lameness(severity)	跛子（重度）	
1318	kɿn va:m	C C	啞者	mute	啞巴	
1319	kɿn t ^h a: ɸo:t	C A1 DL1	盲人	blind	瞎子	
1320	kɿn ɸɿw dū:k	A2 A1 DL1	聾者	deaf	聋子	
1321	kɿn laŋ ko:	A2 A1 A2	脊柱後彎（症）	hunchback	駝子（重度）	

1322	kɤn laŋ hwat	A2 A1 DS1	猫背	stoop	駱子（軽度）	
1323	kɤn ʔu:k	A2 DL1	愚かな者、あほう、ばか	stupid	傻子	[kɤnA2 ŋɤwC]とも言う。
1324	la:w na: la:j	C A2 A2	痘痕面	pockfaced man/woman	麻子	
1325	kɤn pa:k	A2 DL1	狂人、気違い	crazy person	疯子	[la:w C 6a:B1] とも言う。
1326	la:w tʰu: dɔ:	C A1 B1	頭のはげた人、はげ	baldhead	秃子	
1327	kɤn ta:m	A2 B1	背の低い人、ちび	short person	矮子	
1328	kɤn pɤj	A2 A2	太った人、でぶ	fat person	胖子	
1329	kɤn dɤaj	A2 A2	善人、良い人	good person	好人	
1330	kɤn vaj	A2 B2	（品性が悪く悪事を働く）悪人	wicked person	坏人	
1331	kɤn ɔaj	A2 C	悪人	bad person	恶人	
1332	kɤn fa:m	A2 B2	犯罪者	criminal	犯人	
1333	koŋ θaj	A1 A1	祈禱師	conjuror	巫师	
1334	me: pɤt	B2 DS1	（女の）祈禱師、巫女	female conjuror	巫婆	
1335	la:w ta:w	C B2	道士（葬式の時に儀式を行う人）	monk	道公；道士	
1336	la:w teak tʰu:	C DS2 A1	匪賊の頭	bandit boss	匪首	
1337	teak	DS2	匪賊	bandit; brigand	土匪	[tʰu:A1 fɤjB1]とも言う。

1338	ki:ŋ ta:w	A2 B2	強盗	burglar	强盗	
1339	la:w lak	C DS2	泥棒	thief	贼	
1340	la:w lak	C DS2	すり	pickpocket	小偷；扒手	[tɕɿja2 lɿwB1]とも言う。
1341	me: kʰa:j hi:	B2 A1 A1	売春婦	prostitute	妓女；娼妓	
1342	la:w mja:p kɿn	C DL2 A2	詐欺師	swindler	骗子	
1343	kɿn mɿj ɿn	C A2 A2	金持ち	rich person	富翁；富人	
1344	kɿn ho:	A2 C	貧乏人	poor person; the poor	穷人	
1345	kɿn tʰa:n ho:n	A2 B1 C	足が不自由な人、半身不随の人	astasia-abasia	癱子	
1346	kɿn ða:n	A2 C	怠け者	idle fellow; lazy person	懶汉	
1347	ŋu:ŋ taj	A2 B1	皇帝	emperor; king of kings	皇帝	
1348	kwan	A1	役人	governmental official	官	
1349	pɿŋ	A1	兵士	common soldier	兵	
1350	ku:n pɿŋ	A1 A1	士官	military officer	军官	
1351	teu: θi:	A1 A2	主席	chairman	主席	東アジアの主に社会主義国において国家元首や政党の党首などの役職名として用いられている。
1352	tɕo:ŋ li:	A1 A1	総理	prime minister	总理	

1353	pu: tea:ŋ	C A1	(国務院の) 部長、 大臣	cabinet minister	部長	
1354	θxŋ tea:ŋ	A1 A1	省長、知事	governor(of province)	省长	
1355	tɛ ^h u: ki:	B1 C	(党組織の)書記	chief secretary	书记	
1356	he:n tea:ŋ	C A1	県長	governor of countycounty	县长	
1357	k ^h i: tea:ŋ	B1 A1	区長	head of ward	区长	
1358	hja:ŋ tea:ŋ	B1 B1	郷長 (行政区画 「郷」の責任者)	county head	乡长	
1359	tɛ ^h e: je:n	C A2	人民公社等の構成員	the people's communes members	社员	
1360	ta:ŋ je:n	A1 A2	(中国共産党の) 党 員	member of the Chinese Communist Party	党员	
1361	t ^h o:n je:n	A2 A2	(中国共産主義青年 団の) 団員	member of the Communist Youth League of China	团员	
1362	ka:n pu:	C C	公務員、幹部	public official; government employee	干部	
1363	k ^h m tɛoŋ	A2 C	大衆	people; the masses	群众	
1364	px: θi:ŋ	A2 C	庶民	ordinary people	百姓	
1365	ji:n mi:n	A2 A2	人民、国民	people	人民	
1366	kəŋ ji:n	B1 A2	労働者	worker	工人	

1367	noŋ min	A2 A2	農民	farmer	农民	
1368	ta:j pjaw	C A1	代表	representative partner	代表	
1369	mo: fa:n	A2 C	模範	example; model	模范	
1370	ji:ŋ hjo:ŋ	B1 A2	英雄	great person; hero	英雄	
1371	θaj tʰo:	A1 C	土司（元・明・清の時代、西南地区の少数民族の首長で世襲の官職を与えられた者、または官職を授けてその地の人民を支配させた制度）	tusi (system of appointing national minority hereditary headman in the Yuan; Ming and Qing Dynasties)	土司	中国王朝から元以後中国の南西諸民族に与えられた官職である。筆者の村では土司を「地元の神様」として祭る習慣がある。
1372	tei: ji:n	A1 C	主任、責任者、委員長	director; chairman; head	主任	
1373	pa:n tea:ŋ	B1 A1	級長	class president	班长	
1374	teu: tea:ŋ	A1 A1	グループのリーダー	group leader	组长	
1375	teʰa:ŋ tea:ŋ	A1 A1	工場長	plant manager	厂长	
1376	ki:ŋ li:	B1 A1	支配人、経営者、管理者	manager	经理	
1377	mi: teʰu:	C B1	秘書	secretary	秘书	
1378	tei: ki: fɿn θu:	A2 A2 C A1	熱心な活動家	enthusiastic activist	积极分子	
1379	je:n je:n	A1 A2	俳優	actor; actress	演员	
1380	kwan teʰoŋ	B1 C	観客、観衆	spectator	观众	

1381	təo: kja:	A2 B1	作家	writer	作家	
1382	ki: tɛʰi: je:n	C A2 C	技術者	technical person	技术员	
1383	koŋ tɛʰi:ŋ ɯu:	B1 C B1	エンジニア	engineer	工程师	
1384	tɛe:n kja:	B1 B1	専門家	specialist	专家	
1385	la:w ɯo:ŋ ɯm	C B1 B1	郵便集配人、郵便配 達人	postman	邮递员	
1386	hwa: mu: je:n	C C A2	電話オペレーター	telephone operator	话务员	
1387	la:w fɿj tʰu:	C A1 A1	理髪師、理容師	barber	理发师	[la:wC tʃatDS1 pʰjɿm A1]とも言う。
1388	ji:ŋ ne: je:n	A2 A2 A2	(小売店の)店員	shop assistant	营业员	
1389	kʰe:k	DL1	顧客	customer	顾客	
1390	ɯu: ki:	A1 A1	運転手	driver	司机	
1391	kʰwaj ki:	C C	会計係、計理士	accountant	会计	
1392	tɛʰu: na:	A2 A2	出納官、支払担当官	disbursing officer	出纳员	
1393	la:w pa:w ko:n	C A1 A1	倉庫・機器具管理人	storeman	保管员	
1394	kaj fa:ŋ ki:n	A1 C B1	人民解放軍	the Chinese People's Lliberation Army	解放军	
1395	mɿm pɿŋ	A1 B1	市民兵、民兵	militiaman	民兵	
1396	tɛʰe:n jɿw	C A1	戦友	comrade-in-arms; fellow soldier	战友	
1397	tʰoŋ tɛi:	A2 C	同じ主義・信条を持 つ者	political soulmate	同志	

1398	ðu:n	A2	家、家庭	home	家	
1399	ðu:n	A2	家、家屋	house	房屋	
1400	taj ðu:n	C A2	家屋の敷地、建築物の基礎	building foundation	房基	
1401	tiŋ ðu:n	A2 A2	屋根	roof; housetop	房頂	
1402	ðu:n	A1	(家・建物に隣接し、通例囲まれた)庭、中庭	garden; yard	院子	
1403	lu:n	B1	(建物のある)路地、小路	alley	巷子	
1404	vxj tɛŋ	A2 A2	(家や庭園を囲む)塀	fence; wall	围墙	
1405	ðu:n kaj	A1 B1	高床式住居のベランダ	the veranda of the raised flooring type house	干栏	チワン族の伝統的な高床式住居は柱や杭(くい)を利用して、床面を地表面よりも高くした形態である。地面よりも上部に位置する床面にはしごなどを使って出入りし、その入口の前に広めのベランダを作る。

1406	ʃa:n	C	故郷	hometown	家乡	
1407	pa:n ðu:n	A2 A2	隣人	neighbour	邻居	
1408	ðu:n tɯm	A2 A1	壁が泥土で作られた 建物	clay wall house	篁房	
1409	ðu:n to: no:n	A2 B1 A2	民宿	tourist home	路途中投宿的住家	
1410	kja:ŋ ðu:n	A1 A2	リビングルーム、一 般の家の広間とホー ル	living room; hall	厅堂	
1411	θu:m	C	寝室	bedroom	卧室	
1412	ðu:n ja:	A2 B2	(夫の) 実家	husband's parents' home	夫家	
1413	ðu:n taj	A2 B1	(妻の) 実家	wife's parets' home	娘家	
1414	fʊŋ	A2	部屋	room	房间	
1415	pa:n kɔŋ tɕʰi:	C B1 A2	オフィス、事務所	office	办公室	
1416	tɕʰa:ŋ tɕ:n	B1 C	商店、小売店	store	商店	
1417	tʰa:n	A1	店、雑貨店	shop	铺子	
1418	ja: mɯw	A2 C	(封建時代の中国に おける) 役所	government office in feudal China	衙門	
1419	ke:n la:w	A1 A2	刑務所	prison	监狱	
1420	tɕʰi: fʊ:ŋ	A2 A2	台所、厨房、キッ チン	kitchen	厨房	
1421	tɯn	A2	掘っ建て小屋	shack	棚子	

1422	kʰɤm kʰi:	A1 A1	手洗所、便所	washroom; toilet	厕所	
1423	tɛʰa:ŋ kʰaw	A1 C	穀物倉	granary	粮仓	
1424	θu:n pʰjak	A1 DS1	野菜畑、菜園	vegetable garden	菜园	
1425	tɛ: pa:	A2 A1	竹垣	bamboo fence	篱笆	
1426	la:ŋ va:j	B2 A2	牛柵	cattle pen	牛圈	
1427	la:ŋ ma:	B2 C	馬小屋	horse stable	马厩	
1428	ɣo:k mɤw	DL1 A1	豚小屋	pigpen	猪圈	
1429	ðo:ŋ kaj	B1 B1	鶏舎	chicken coop	鸡窝；鸡房	
1430	ðoŋ kaj	A2 B1	鳥のねぐら	roost	鸡窝[鸡下蛋的地方]	鶏舎の中の卵を産む場所である。
1431	tɛa:m kaj	C B1	鶏を囲む竹かご	bamboo basket for keeping chicken therein	鸡罩子	上部は細く、下部は太い円筒形、両端の口が閉じないである。
1432	ðoŋ nɔk	A2 DS2	鳥の巣	bird's nest	鸟窝	
1433	ðoŋ pʰjɤŋ		ミツバチの巣	honeycomb	蜜蜂窝	
1434	ðoŋ mwat	A2 DS2	アリの巣（アリ塚）	formicary	蚂蚁窝	
1435	ðoŋ mɤw	B1 A1	豚籠	bambooamboo basket for housing pig	猪笼	豚の体に合わせて作った細長い円筒形の竹籠である。

1436	ðɔŋ kaj	B1 B1	鶏籠	bamboo basket for housing chicken	鸡笼	鶏の体に合わせて作 った台型の竹籠であ る。
1437	ðɔŋ nɔk	B1 DS2	鳥籠	birdcage	鸟笼	
1438	tʰa:ŋ ɹwaj	A1 A2	軒	eaves	屋檐	
1439	ŋe:ŋ ti:w	A2 A2	(屋根の)棟	ridge	屋脊	
1440	lja:ŋ	A2	横げた	crossbeam	梁；横梁	
1441	ka:p tɔxj	DL1 C	母屋（もや）、母屋 材	purlin	桁条	
1442	θi:w	A1	柱	pillar	柱子	
1443	la:n ka:n	A2 B1	さく	paling	栅栏	
1444	law	C	建物、ビル；ビルの 1つ1つの階	building; floor	楼	
1445	tɹw	A1	ドア、門	door	门	
1446	pa:k tɹw	DL1 A1	(人の入れる)入り口、 戸口、玄関	entrance	门口	
1447	kwa:n tɹw	A1 A1	ドアストッパー、戸 当たり	door holder	门扣	
1448	ta:ŋ tɹw	C A1	(ドアの)敷居	doorsill	门槛	
1449	θwa: tɹw	C A1	(戸の)蝶番（ちょうつ がい）	hinge	门枢	
1450	pe:n tɹw	C A1	ドア厚板	door plank	门板	

1451	p ^h ja:k tɾw	DL1 A1	ドアのまぐさ	lintel (of a door)	门楣	
1452	kwø:n tɾw	A1 A1	(ドアの)かんぬき	bar	门闩	
1453	pa:j tɾw	A2 A1	(家屋の)番地表示板	address plate	门牌	
1454	to: na: tɾw	B1 C A1	(家の)正面玄関、表玄関	front door; main entrance	正门	
1455	tɾw kja:ŋ	A1 A1	脇門、通用門	side door	侧门	
1456	tɾw fɾn	A1 A2	柴の戸、柴の編み戸	brushwood gate	柴门	
1457	tɾw ljak	A1 DS1	鉄門	iron gate	铁门	
1458	θe: tɾw	C A1	ドアのかんぬきを固定する細長い（木の）棒	slim stick for locking bar	鬼锁；门机[控制门闩开关的小木块]	
1459	tɕ ^h wa:ŋ	B1	窓	window	窗户	
1460	k ^h wø:ŋ tɕ ^h wa:ŋ	B1 B1	窓の外枠	outer window frame	窗棂	
1461	k ^h wø:ŋ ta:ŋ	B1 B1	ドアや窓の縦枠	vertical frame of door or window	竖棂	
1462	k ^h wø:ŋ k ^h wa:ŋ	B1 A1	ドアや窓の横枠	horizontal frame of door or window	横棂	
1463	ho:j	A1	石灰	lime; calcium oxide	石灰	
1464	ŋwa:	C	かわら	tile	瓦	
1465	tei:n	A1	れんが	brick	砖	

1466	ji:w	A2	窯、炉	kiln	窑	れんがなどを焼いたりホップを乾燥させたりする窯である。
1467	tei:ŋ	A2	壁	wall	墙壁	
1468	tei:ŋ ŋe:n	A2 A2	切妻、妻壁	gable wall	山墙	
1469	tei:ŋ na:	A2 C	屋根の軒下の壁	wall under roof eaves	檐墙	
1470	te: pa:	A2 A1	イバラの枝や竹で編んだ壁	wall made of bramble and bamboo	墙（用荆条或者竹木编成的墙）	
1471	tei:ŋ naj	A2 A2	わらや竹、泥で作った壁	wall made of clay with straw and bamboo	墙（稻草、竹木和稀泥糊成的墙）	
1472	lo:	B2	道、道路	road	路	
1473	tʰe: lu:	A2 C	鉄道	railroad	铁路	
1474	kɔŋ lu:	B1 C	（自動車用の）道路	trafficway	公路	
1475	lo: pjak	B2 DS1	分かれ道、脇道	crossroad; side road	岔路	
1476	fɔj ki:	A1 A1	飛行機	airplane	飞机	
1477	tɕʰe:	A1	車	car	车子	
1478	ho: tɕʰe:	A1 B1	列車、汽車、電車	train	火车	
1479	kʰi: tɕʰe:	C B1	自動車	car; motor vehicle	汽车	
1480	to: la: kʰi:	B1 B1 B1	（農耕用）トラクター、牽引(自動)車	tractor	拖拉机	
1481	ta:n tɕʰe:	A1 A1	自転車	bicycle	自行车	
1482	ma: tɕʰe:	C A1	馬車	carriage	马车	

1483	lan tɕʰe:	A2 A1	車輪	wheel	车轮子	
1484	kan tɕʰe:	C A1	(馬車などの)ながえ、 かじ棒	shaft	车辕	
1485	θe: lan tɕʰe:	C A2 A1	車幅	vehicle width	车辐	
1486	tɕok tɕʰe:	DS2 A1	(車の)車軸	axle	车轴	
1487			リム（鉄道車両・自動車・オートバイ・自転車などの車輪を構成する部品の一つ、鉄製）	iron rim	车輞（铁制）	
1488			リム（馬車などの車輪を構成する部品の一つ、木製）	wood rim	车輞（木制）	
1489	θim lan	A1 A2	ハブ（車輪の中心部分）	center of the wheel	车毂	
1490	taw	B1	駕籠、輿	sedan (chair)	轿子	
1491	ki:w	A2	橋	bridge	桥	
1492	lu:	A2	船	boat	船	
1493	θa:	A2	竹のいかだ	bamboo raft	筏子；竹排	
1494	poŋ lu:	A2 A2	船の苫	roofing of a boat	船篷	
1495	ka:w lu:	A1 A2	(船の) 櫓	oar	船桨	

1496	θa:w tɕʰam lu:	C C A2	船を編むわら	rice straw material for boat making	船藁	
1497	fa:n	B1	(船の)帆	sail	帆	
1498	kan fa:n	C B1	帆柱、マスト	mast	桅杆	
1499	to:	A2	(船の)かじ、方向舵	rudder	舵	
1500	θa: ja:	A2 C	草のいかだ	grass raft	草排	
1501	kɣm kʰi:	A1 C	肥溜め	manure pit	粪坑	
1502	tea:n	A2	ベランダ、バルコニー、物干し台	balcony	阳台；晒台	[ja:ŋA2 tʰajA2]とも言う。
1503	kʰeŋ dɤwaj	B1 A2	階段	step	台阶	
1504	tʰwɤj ni:	A1 A2	セメント	cement	水泥	
1505	tʰi:n θo:j	A1 B1	割り石	ground stone	碎石	
1506	tʰi:n te:w	A1 A2	角型敷石	rectangular paving stone	石条	
1507	tʰi:n ho:j	A1 A1	石灰石	lime stone	石灰石	
1508	θu: kʰwa:	C A1	衣類、服	clothes	衣服	
1509	θu: pi:w	C A1	裏地を付けない服、単衣（ひとえ）	garment (jacket; clothes)	单衣	
1510	θu: to:ŋ	C B2	綿入れの服	cotton-padded clothes	棉衣	
1511	θu: ta:p	C DL1	裏地付きの服	lined garment	夹衣	
1512	θu: la:ŋ	C A1	セーター	sweater	毛衣	
1513	θu: kɣp	C A2	オーバーコート	overcoat	大衣	

1514	θu: naŋ	C A1	毛皮付きの服、革製の服	fur clothing	皮衣	
1515	θu: kap naŋ	C DS1 A1	毛皮の裏地がついた服	fur-lined jacket	皮袄	
1516	tɕʰa:ŋ pʰa:w	A2 A2	(あわせ、または綿入れの男性用の) 長い中国服	Chinese robe (for male)	长袍	
1517	θu: vxj θxŋ ʔi:	C C B1 B1	メリヤスの厚手のシャツ	sweat shirt	绒衣；卫生衣	
1518	ta:p ɬa:	DL1 B1	(女性用の) 肩掛け、ストール、ショール、ケープ	opera cape	披肩	
1519	pxj θm	C B1	ノースリーブ（前開きでない袖なし・半袖の服の総称）	sleeveless top	背心	
1520	pu:n	A2	蓑	straw rain cape	蓑衣	
1521	ja:w θu:	A2 C	襟	collar	衣领	
1522	θu: ja:w lu:ŋ	C A2 A1	幅の大きい襟	wide collar	大襟	
1523	θu: ja:w θaj	C A2 B1	幅の狭い襟	narrow collar	小襟	
1524	taj θu:	B2 C	(上着の) ポケット	coat pocket	衣兜；衣袋	
1525	taj kʰwa:	B2 B1	(ズボンの) ポケット	trouser(s) pocket	裤兜；裤袋	

1526	na:	C	(衣類等の) 表面 (おもてめん)	right side (of a garment or curtain etc.)	面儿	
1527	lɤj	C	(衣類等の) 裏地	inside lining (of a garment or curtain etc.)	里儿	
1528	pa:k kʰe:n θu:	DL1 A1 C	(シャツなどの)そで口	cuff	袖口	
1529	naw	C	(服の)ボタン	button	扣子	
1530	naw	DS1	スナップ、留め金	snap fastener; stud	按扣	
1531	naw pa:j	C C	布製のボタン	button made by cloth	布扣子	
1532	ðɤw naw	A2 C	ボタン穴	buttonhole	扣眼	
1533	dɔk θu:	DS1 A2	服の縫い目	seam of clothes	衣缝儿	
1534	pʰa:	C	布団	futon; bedding; mat	被子	
1535	tʰu: kʰwa:	A1 B1	ズボンのウェスト	waist of trousers	裤腰	
1536	ta:ŋ kʰwa:	A2 B1	ズボンのまち	crotch (of trousers)	裤裆	
1537	kʰa: kʰwa:	A2 B1	ズボンの筒 (脚の部 分)	trouser legs	裤管 ; 裤筒 ; 裤腿	
1538	tʰin kʰwa:	A1 B1	ズボンの裾	bottom of a trouser leg	裤脚	
1539	kʰwa: tm	B1 C	半ズボン	shorts	短裤[外裤, 不过膝盖 的]	
1540	kʰwa: kwɔt	B1 DS1	ズボン下、パンツ	underpants	裤衩儿	
1541	kʰwa: kʰaj ta:ŋ	B1 A1 A2	幼児の股割れズボン	open-seat pants for babies	开裆裤	

1542	k ^h wa: fɔŋ ta:ŋ	B1 A1 A2	幼児の股割れしない ズボン	unopen-seat pants for babies	封裆裤	
1543	k ^h wa: p ^h a:j	B1 C	綿入れズボン	cotton-padded trousers	棉裤	
1544	kwø:n	B2	スカート	skirt	裙子	
1545	θaj kwø:n	A1 B2	スカートの帯（サッ シュ）	sash of skirt	裙带	
1546	θaj k ^h wa:	A1 B1	ベルト、腰帶	belt	腰带	
1547	me:n tɪn	A2 A1	ゲートル、脚絆	puttee	裹腿	
1548	p ^h oŋ	A1	（衣類などの）継ぎ	patch	补丁	
1549	ŋa:j	A2	靴	shoes	鞋子	
1550	θaj ŋa:j	A2 A1	靴紐	shoestring	鞋带	
1551	ŋa:j ka:w	A2 A1	ゴム靴	rubber shoes	胶鞋	
1552	ŋa:j ɲa:	A2 C	草鞋（わらじ）	straw sandals	草鞋	
1553	ŋa:j paj	A2 C	布靴	cloth shoes	布鞋	
1554	ŋa:j me:n	A2 A2	綿入れ鞋	cotton-padded shoes	棉鞋	
1555	ŋa:j naŋ	A2 A1	革靴	leather shoes	皮鞋	
1556	ŋa:j ɸu:k	A2 DL1	ブーツ、長鞋	boots	靴子	
1557	lja:ŋ ŋa:j	A2 A2	（ゴム底の）サンダル	sandals	凉鞋	
1558	ŋa:j k ^h xp	A2 DS1	下駄	(wooden) clogs	木板鞋	
1559	ŋa:j t ^h e:t	A2 B2	スリッパ	slippers	拖鞋	
1560	ŋa:j tɛ ^h u:j	A2 C	雨靴	rain shoes	水鞋	

1561	ju:ŋ ŋa:j	B2 A2	靴の型	shoe pattern	鞋样	
1562	na: ŋa:j	C A2	靴の両側（底以外の部分）	upper (of a shoe)	鞋帮	
1563	taj ŋa:j	C A2	靴底	sole (of a shoe)	鞋底	
1564	ni:ŋ ŋa:j	A2 A2	製靴用の木型（形を保つため入れる）	shoe tree	鞋楦	
1565	pja:j ŋa:j	A1 A2	靴の爪先	shoe toe	鞋尖	
1566	ðɣw ŋa:j	A2 A2	靴のハト目穴	eyelet hole of shoes	鞋眼	
1567	θɣn ŋa:j	C A2	靴の踵	shoe heel	鞋后跟	
1568	te:m ŋa:j	B2 A2	靴の中敷	shoe-pad	鞋垫	
1569	ŋa:j tʰu: θi:m	A2 A1 C	爪先のとがった靴	pointed shoes	翘头鞋	
1570	ma:t	DL2	靴下	socks	袜子	
1571	ma:t pʰa:j	DL2 C	（布で作った手製の）靴下	knitted socks	袜子（用布自做的）	
1572	ma:t maj	DL2 B1	綿製の短い靴下	short cotton socks	线袜	
1573	ma:t mɣw	DL2 A2	手袋	gloves	手套	
1574	teaw tʰa:w	C C	袖カバー	sleeve protector	袖套	
1575	pʰa:j	C	布	cloth; fabric; textile	布	
1576	pʰa:j ɕjo:k	C DL1	更紗	printed cotton	花布	
1577	pʰa:j tʰo:	C C	手織りの伝統布	traditional handwoven cloth	土布	

1578	p ^h a:j t ^h a: tɛ ^h e:	C A1 A2	雲斎織	bombazinea twilled cloth	斜纹布	斜文織りの丈夫な木綿の布である。
1579	tɛɽw	A2	絹子（しゅす、薄くて柔らかい絹織物）	silk fabric	绸子	
1580	p ^h a:j t ^h a: tɛi:ŋ	C A1 B1	平織布	plain-woven cloth	平纹布	
1581	tɕŋ θm ŋoŋ	B1 B1 A2	コーデュロイ	corded velveteen	灯芯绒	
1582	pŋ ŋoŋ	A	綿フランネル	cotton flannel	平绒	
1583	p ^h a:j θɕt	C DS1	目が荒く柔らかいコットン(蚊帳に使う)	etamine	纱布；蚊帳布	
1584	p ^h a:j fa:n pu:	C C C	帆布	duck	帆布	
1585	jɽw pu:	A2 C	(厚手の綿の)油布、防水布	oilcloth	油布	
1586	ma: pu:	A2 C	目の粗い麻布	gunny (cloth)	麻布	
1587	to:n	C	サテン	satin	缎子	
1588	ni:	A2	羅紗（ラシャ）	woolen cloth	呢子	
1589	hɕj θu:	A2 B1	縁飾り、レース	decorative border	花边	
1590	tɛwɕj	C	ビーズ	bead	珠子	
1591	p ^h a:	C	綿入れ布団	cotton-padded bedding; futon	被子:棉被	
1592	lu:n p ^h a:	C C	綿の実の繊維	cotton fibre	棉絮；棉胎	
1593	na: p ^h a:	C C	布団表	front side of futon cover	被面	

1594	lɕj p ^h a:	C C	布団裏	back side of futon cover	被里	
1595	tuŋ p ^h a:	C C	布団カバー	futon cover	被套	
1596	tɕi:n	A1	毛布	blanket	毯子	
1597	fok	DS1	ござ	mat	席子	
1598	fok	B1	むしろ（折り畳みではなく巻くタイプの敷物）	grassmat	草席（可巻，不能折叠）	
1599	fok ʔo:n	DS1 B1	（折り畳み式の）柔らかい敷物	soft and foldable straw mat	软草席（可折叠的）	
1600	ɖoŋ	B1	竹あじろ	bamboo mat	竹席	
1601	ma:n t ^h u:	A1 A1	枕	pillow	枕头	
1602	tuŋ ma:n t ^h u:	C A1 A1	まくらカバー	pillowcase	枕套	
1603	kɤn ma:n t ^h u:	A1 A1 A1	枕タオル（カバーの上に掛ける）	pillow towel	枕巾	
1604	θim ma:n t ^h u	A1 A1 A1	枕の芯	pillow core	枕芯	
1605	θɤt	DS1	蚊帳	mosquito net	蚊帐	
1606	ma:w	B2	帽子	hat	帽子	夏用の帽子は[ma:wB2]、冬用の帽子は[tɤwA2]と言う。
1607	lin ma:w	C B2	帽子のつば	hat brim	帽檐	
1608	ðɤw tɤw	A1 A2	防寒帽の耳当	cap flaps	帽耳	

1609	tɿw naŋ	A2 B1	毛皮の帽子	fur cap	皮帽	
1610	ma:w me:k	B2 DL1	麦藁帽子	straw hat	草帽	
1611	ma:w pɿŋ	B2 A1	軍帽	army cap	军帽	
1612	ma:w tɕi:n	B2 B1	フェルト帽	felt cap	毡帽	
1613	ma:w do:ŋ	B2 A1	笠	bamboo hat	斗笠	
1614	kɿn tʰu:	A1 A1	頭巾	hood	头巾	
1615	kɿn θɿj tɿŋ	A1 B1 B1	(四角い) 頭巾	hood(rectangular)	头帕 (指方形的)	
1616	tɕʰaw kɿn	C A1	ハンカチ、手拭い	handkerchief	手巾	
1617	kɿn	A1	タオル	towel	面巾	
1618	vɿj ki:n	A2 B1	マフラー、襟巻き、 首巻き	neckerchief	围巾	
1619	kɿn tɕɿm ɣo:	A1 C A2	半襟 (首の周囲に付 ける装飾品)	neckpiece	围脖	
1620	da:	A2	おんぶひも	baby sling	背带 (背小孩用的)	
1621	θo:j	C	アクセサリー、装身 具	accessories	首饰	
1622	kʰwi:n mɿuŋ	A1 A2	指輪	(finger) ring	戒指	
1623	va:ŋ pʰjɿm	A1 A1	ヘアネット	hairnet	发网	
1624	ne:p pʰjɿm	DL1 A1	ヘアピン	hairpin	发夹	
1625	ka:w kʰu:	A1 A1	髪の毛を結ぶひも、 リボン	hair ribbon; hair tie	头绳	

1626	ki:m	A2	腕輪、ブレスレット	bracelet	手镯	
1627	te ^h aw pi:w	C A1	腕時計	wrist watch	手表	
1628	θo:j yo:	C A2	ネックレス、首飾り	necklace	项圈	
1629	θo:j ðɾw	C A1	イヤリング、耳飾り	earrings	耳环	
1630	te:m ba:	B2 B1	肩パッド	shoulder pad	垫肩	
1631	taj t ^h ak	B2 DS1	ショルダーバッグ、 肩掛けカバン	shoulder bag	挎包	
1632	ʔo:m	C	産着、おくるみ	clothes for a newborn baby	襁褓	
1633	ʔo:m ne:w	C B2	おむつ	diaper	尿片	
1634	ʔo:m	C	おくるみ（新生児に 巻きつけたタオル）	baby towel; swaddling towel	包布（包婴儿用的）	
1635	θa:j k ^h wa: na:ŋ	A1 B1 A1	革バンド	leather belt	皮带	
1636	t ^h u: k ^h wø:n	A1 B2	スカートのウエスト	waist of skirt	裙腰	
1637	yo:p ða:ŋ	B2 C	ウエスト	waist	腰围	
1638	li:n tɾw	A2 A1	ドアーカーテン	door curtain	门帘	
1639	te ^h a:ŋ le:n	B1 A2	カーテン	curtain	窗帘	
1640	θaw	B1	かまど	kitchen furnace; cooking stove	灶	
1641	pa:k θaw	DL1 B1	かまどの口	furnace opening	灶口	
1642	na: θaw	C B1	かまど上部の平らな 所	flat furnace top	灶台	

1643	ðɣw θaw	A2 B1	かまどの排煙口	furnace smoke exhaust	灶眼[灶后开的烟孔，可以放水壶]	
1644	tɔŋ	A1	煙突	chimney	烟囱	
1645	lu:	A2	炉	furnace	炉子	
1646	kʰɪp	DS1	金鉗（カナバサミ、火や炭をはさむ金属製の道具）	fire hook	火钳	
1647	maj pa:k faj	C DL2 C	火かき	poker	扒火棍	
1648	tʰu:j	C	茶碗	bowl	碗	
1649	ʔo:n	A1	丼	big bowl	大碗；海碗	
1650	ði:ŋ	A2	食器棚	kitchen cupboard	碗柜	
1651	kʰa: tʰu:j	A1 C	茶碗入れ籠	bowl basket	碗筐	
1652	ʃu:n tʰɣw	C B1	箸入れ	chopstick case	筷子筒	
1653	tʰɣw	B1	箸	chopsticks	筷子	
1654	ɖa:m	C	しゃもじ	rice-spoons	饭勺（竹，木制成的）	
1655	va:t	DL1	匙、レンゲ	spoon	粥勺	
1656	tɛjɣw lɣw	DL1 C	穴杓子、網杓子	strainer	漏勺	
1657	ɖa:m ljak	C DS1	フライ返し	food turner	锅铲	
1658	ti:ŋ ko:	C B1	大きくて深い鉄鍋	big deep iron pan	鼎锅	
1659	mo:	C	アルミ製の鍋	aluminium pan	铝锅	

1660	mo: t ^h aj	A1 A1	アルミ製の鍋の一種 (蓋付きで両側に取り っ手がある深い鍋)	deep aluminium pan provided with cover and side handles	铤锅	
1661	tɛ ^h a: ko:	B1 B1	土鍋	earthenware pot	砂锅	
1662	pe:w ja:	A1 A2	薬鍋	pan for brewing medicine	药罐	
1663	kja: mo:	B1 C	鍋掛	wok stand	锅架	
1664	kɨj	A2	三脚の鍋掛	tripod pan stand	铁三角架	
1665	pɨn faj	A2 C	火鉢	fire basket	火盆	
1666	ɬu:k faj	DL1 A2	火吹き棒	blowpipe	吹火筒	
1667	fɨn	A2	薪	firewood	柴；柴火；柴草	
1668	k ^h i:k fɨn	DL1 A2	薪割りをする、薪を 割る	chop firewood	劈柴	
1669	p ^h a:	A1	蓋	lid; cover	盖子	
1670	p ^h a: mo:	A1 C	鍋の蓋	pot lid	锅盖	
1671	p ^h a: t ^h u:t	A1 DL1	竹製の蓋	bamboo cover	竹盖	
1672	hu:	A2	(取っ手と口の付い た) 壺、ポット	pot	壺	
1673	hu: tea:	A2 A2	茶瓶、きゅうす、テ ィーポット	teapot	茶壶	
1674	hu: law	A2 C	酒壺	jar containing alcohol	酒壶	
1675	tɛo:k	DL1	コップ、湯飲み、杯	cup	杯子	

1676	tɛ ^h a: tɛo:ŋ	A2 A1	鉄製のコップ	iron cup	口盅	
1677	pɪŋ	A2	瓶	bottle	瓶子	
1678	p ^h a: pɪŋ	A1 A2	(瓶などの)栓	stopper	塞子	
1679	tɛ:ŋ	B1	小皿	small plate	碟子	
1680	pa:n	A2	大皿	dish	盘子	
1681	tu: ke:ŋ	A2 A1	匙、レンゲ	spoon	调羹	
1682	pe:w	A2	ひしゃく	dipper	瓢	
1683	la: lɤj	A2 A2	網じゃくし、ざる	sieve	笊篱	
1684	ʔo:m	A2	(広口の)瓶、壺	jar	坛子	
1685	p ^h i:t	DL1	(水・酒を入れる胴部の膨らんだ)甕	urn	瓮	
1686	ʔa:ŋ lu:ŋ	B1 A1	(大きめの) 壺、缶	big can shaped pot	罐子 (大的)	
1687	ʔa:ŋ ʔi:	B1 A1	(小さめの) 壺、缶	small can-shaped pot	罐子 (小的)	
1688	ka:ŋ	A1	甕、鉢(口が広くて底が小さい容器)	big vat	缸	
1689	ka:ŋ nam	A1 C	水甕	water vat	水缸	
1690	ðaj	A1	ご飯蒸し	rice steamer	甑子；蒸桶	
1691	θo:ŋ ðaj	A2 A1	蒸籠の底	rice steamer bottom	甑底；甑隔	
1692	pɤn	A2	鉢、洗面器	basin	盆子	
1693	pɤn maj	A2 C	木の鉢	wooden basin	木盆	
1694	pɤn θu:j na:	A2 B1 C	洗面器	washbasin	脸盆	

1695	tʰoŋ	C	桶、樽、バケツ	barrel; bucket	桶	
1696	tʰoŋ tʰe:	C A2	鉄の桶、バケツ、ドラム缶	metal bucket	铁桶	
1697	tʰoŋ maj	C C	木の桶、樽	wooden bucket	木桶	
1698	ko:p tʰoŋ	DL1 C	箍（たが）	hoop	箍(桶～)	桶(おけ)・樽(たる)などの周りにはめる竹や金属で作った輪状の締め具である。
1699	tauŋ tʰoŋ	C C	桶やバケツの底	bucket bottom	桶底	
1700	ðŋ	A1	箕（み、大きく円形で、物を干すのに用いる）	winnowing fan for for drying	大簸箕（圓形，晒谷用）	
1701	dŋ	C	箕（米をひるのに用いる）	winnowing fan for rice	簸箕（簸米用）	
1702	kxj θu:j kʰaw	A2 B1 C	米をとぐ竹製の箕やざる	bamboo-knitted strainer	筲箕(淘米、過濾用)	
1703	ðŋ	A1	竹製のふるい	bamboo-knitted sieve	筛子	
1704	dŋ kʰaw	C	米用のふるい	rice sieve	米筛	
1705	kxj	A1	泥の箕	winnowing fan of mud	泥箕	
1706	la:	A2	金属製ふるい（ふるいの一種、目が細かい）	metal sieve	罗筛	

1707	dɔŋ	B1	(竹で編んだ四角い) 物干しマット	bamboo-knitted mat for drying	晒席	
1708	ðaŋ	A2	(家畜の飼料・水などを入れる細長い)飼い葉桶	trough ; cistern	槽	
1709	ðaŋ mɔw	A2 A1	豚用の飼い葉桶	pig feed trough	猪槽	
1710	ðaŋ maj	A2 C	木製の飼い葉桶	wooden cistern	木槽	
1711	ðaŋ tʰm	A2 A1	石製の飼い葉桶	stone cistern	石槽	
1712	pja:	C	ナイフ	knife	刀	
1713	pja: pʰjak	C DS1	包丁	kitchen knife	菜刀	
1714	pja: θɪm	C C	短刀	dagger	尖刀 ; 匕首	
1715	mɪt fɔj tʰu:	C A1 A1	剃刀 (かみそり)	razor	剃头刀	
1716	pja: ʔi:n	C A2	ケシの実を割る為のナイフ	tobacco cutter (exclusively for cutting opium)	烟刀 (专用于割罂粟)	
1717	mɪt	DS1	(折りたたみ式の)ポケットナイフ	pocket knife	小刀	
1718	pja: tɕʰi:m	C A1	肉切包丁	butcher's knife	屠刀	
1719	pja: kʰo:	C A1	鉋 (なた)	firewood knife	柴刀	林業や狩猟などの山林で働く人々の用途に適した刃物の類である。枝打ち、木を

						削る、雑草を切り払う、動物を解体するなどの目的で使われる。
1720	ma:k tea:m	DL2 C	押し切り、まぐさ切り	hand push cutter	铡刀	
1721	li:m	A2	鎌	reaping hook	镰刀	
1722	pa:k pja:	DL1 C	刃、やいば	knife edge	刀刃	
1723	pja:j pja:	A1 C	刃先	knife point	刀尖	
1724	laŋ pja:	A1 C	刃物の峰	blunt knife-edge	刀背	
1725	p ^h ak pja:	B2 C	刃物のさや	sheath	刀鞘	
1726	kan pja:	C C	刃物の柄（つか）	knife handle	刀把	
1727	k ^h ŋ	A1	物切り台、まな板	chopping block	砧板	
1728	teo:ŋ	A2	机、テーブル	table; desk	桌子	
1729	taŋ	B1	（背もたれの無い） 椅子、腰掛け	backless chair	凳子	
1730	teo:ŋ θɤj ko:k	A2 B1 DL1	角テーブル	square table	方桌	
1731	teo:ŋ pe:t θi:n	A2 DL1 A1	大きな正方形のテーブル（一辺に2人ずつ計8人かけられる）	old-fashioned square table for eight people	八仙桌	
1732	teo:ŋ ki:n to:n	A2 A1 B1	食卓	dining table	饭桌	

1733	təo:ŋ maj me:	A2 C A2	竹製の食卓	bamboo dining table	竹飯桌	
1734	taŋ ðɤj	B1 A2	(背もたれのない) ベンチ、長椅子	bench	长凳	
1735	taŋ tam	B1 B1	(背もたれのない) 小さな椅子	small backless chair	矮脚小凳	
1736	taŋ tɤn	B1 B1	(背もたれのない) 草の腰掛け	grass chair	草凳	
1737	taŋ tɤn maj	B1 A1 C	太鼓状の木製腰掛け	drum formed wooden stool	木墩（作凳子用的）	
1738	taŋ	B1	椅子	seat; stool	椅子	
1739	ɸwaj	A2	梯	stairs; steps	梯子	
1740	θa:ŋ	A2	ベッド、寝台	bed	床	
1741	kja: θa:ŋ	B1 A2	ベッドの台	bedstead	床架	
1742	pe:n θa:ŋ		ベッドの板	bedplate	床板	
1743	fɔk θa:ŋ maj me:	DS1 A2 C A2	竹製のベッドのマットレス	bamboo bed mat	竹床垫	
1744	kwɤj	B2	戸棚、食器棚、タンス	cupboard; chest	柜子	
1745	to: tʰoŋ	A1 C	引き出し	drawer	抽屉	
1746	θu:ŋ	A1	箱	chest; case	箱子	
1747	pʰi: θja:ŋ	A2 B1	革製のトランク、スーツケース	leather trunk	皮箱	

1748	θu:ŋ maj	A1 C	木箱	wooden cases	木箱	
1749	yo:p	DL2	容器、箱、ケース	box	盒子	
1750	teaw	DL2	(竹で編んだ) 籠	bamboo basket	箩筐	
1751	pi:t	DL1	(竹で編んだ) 大きな籠、バスケット	large bamboo basket	大箩筐	
1752	la:m tʰi:w	A2 C	手提げ籠	handbasket	提篮	
1753	la:m	A2	籠	basket	篮子	
1754	bu:k	DL1	竹筒	bamboo tube	竹筒	
1755	bat	DS1	米を入れる筒	rice pipe	米筒	
1756	θa: pat	A1 DS1	ほうき	broom	扫帚	
1757	θa: pat maj m e:	A1 DS1 C A2	竹ぼうき	bamboo broom	竹扫帚	
1758	taj	B2	袋	bag	袋子	
1759	taj ma: ta:j	B2 A2 C	麻袋	gunny-bag; jute bag	麻袋	
1760	kɪŋ to:ŋ	B1 A2	銅鏡	bronze mirror	铜镜	
1761	kɪŋ tʰa:	B1 A1	メガネ	eyeglasses	眼镜	[je:nC tci:wB1]とも言う。
1762	yo:p kɪŋ tʰa:	DL1 B1 A1	眼鏡入れ	glass box	眼镜盒	
1763	vɔj	A1	櫛	comb	梳子	
1764	vɔj	A2	うちわ、扇子	fan	扇子	
1765	kju:ŋ	C	傘	umbrella	伞	

1766	tɛ ^h a:t	DL1	ブラシ	brush	刷子	
1767	ka:n	C	せっけん	soap	肥皂	
1768	hjo:ŋ ka:n	A1 C	化粧せっけん	toilet soap	香皂	
1769	k ^h im	A1	針	needle; prickle	针	医学用の「針」を [teamA1]と言う。
1770	k ^h im p ^h oŋ θu:	A1 A1 C	手縫い針	hand sewing needle	縫衣针	
1771	k ^h im p ^h oŋ ŋa:j	A1 A1 A2	布鞋を編むための針	shoe needle	纳鞋底针	
1772	k ^h im tɛ ^h e: ʔi:	A1 A1 A1	ミシン針	sewing machine needle	缝纫机针	
1773	pa:w k ^h im	A1 A1	裁縫道具一式	sewing kit	针线包	
1774	ti:ŋ k ^h im	C A1	(裁縫用の)指ぬき	thimble	顶针	
1775	k ^h aw team	A1 A1	安全ピン	safety pin	扣针	
1776	maj	A1	糸	thread	线	
1777	la:ŋ	A1	毛糸	knitting wool	毛线	
1778	pa:n	B1	麻糸	linen thread	麻线	
1779	θɔj	A1	絹糸	silk thread	丝线	
1780	θa:j	A1	紐	string; line	带子	
1781	ke:w	A2	はさみ	shears	剪刀	
1782	tɛu:k	DL2	縄、ロープ	rope	绳子	
1783	tɛu:k mɔm hoŋ	DL1 B2 A1	シュロ縄	coir rope	棕绳	
1784	tɛu:k pa:n	DL2 B1	麻縄	hemp rope	麻绳	

1785	θa:j kaj	C B1	鶏の腸に似た縄	chicken bowel-like rope	鸡肠带	
1786	kʰo:t	DL1	結び目	knot	疙瘩；结	
1787	kʰo:t tak	DL1 DS2	固結び、こま結び	hard knot; square knot	死结	
1788	kʰo:t ɸoŋ	DL1 C	引き解け結び、ひっこき(結び)	slipknot; slipper knot	活结	
1789	təŋ ʔi:n	A2 A2	パイプ	(tobacco) pipe	烟斗	
1790	ka:n təŋ ʔi:n	C A2 A2	煙管（きせる）	smoke tube	烟杆	
1791	pa:k ʔi:n	DL1 A2	シガレットホルダー （紙巻きタバコ用の 吸い口）	cigarette holder	烟嘴	
1792	kʰi: ʔi:n	C A2	ヤニ	tar	烟屎	
1793	ɸu:k ʔi:n	DL1 A2	水タバコ、水煙管、 水パイプ	bong	水烟筒	
1794	taj ʔi:n	B2 A2	タバコ袋（パイプ用 のタバコを入れる 袋）	pipe tobacco pouch	装烟袋	
1795	pu:ŋ faj	A2 A2	中に小さな火ばちを 置いた竹かご（こた つのように暖を取る	fire basket	火笼	

			為のもの)、手あぶり			
1796	la:j ho:	A2 A1	マッチ	match	火柴	
1797	txŋ	A1	ランプ	lamp	灯	
1798	tea:w txŋ	C A1	ランプの笠、ランプのほや	lampshade; lamp-chimney	灯罩	
1799	txŋ jɤw	A1 A2	石油ランプ	kerosene lamp	煤油灯	
1800	txŋ ma:	A1 C	手さげランプ、角灯	lantern	马灯	
1801	txŋ ki:ŋ	A1 B1	防風用ランプ、カンテラ	hurricane lamp	风灯[玻璃外罩, 内放煤油灯盏]	
1802	te ^h ɤw te:n	A1 C	(棒型の)懐中電灯	flashlight	电筒	
1803	te:n te ^h i:	C A2	電池	battery	电池	
1804	te:n txŋ	C A1	電灯; 電球	electric lamp	电灯	
1805	k ^h i: txŋ	C B1	ガス灯、ガスランプ	gas lamp	汽灯	
1806	mɤn txŋ	A1 A1	イグサ (藺草)	soft rush	灯草	学名:Juncus effusus L. var. decipens Buchen.
1807	txŋ lo:ŋ	A1 A2	提灯	chinese lantern	灯笼	
1808	la:p	DL2	ろうそく	candle	蜡烛 (照明用)	
1809	t ^h e:w maj	A1 C	(細長い)棒きれ、棒	stick	棍子	
1810	maj taw	C C	杖	walking stick	拐杖	

1811	teŋ	B2	天秤、はかり	balance	秤	
1812	tʰa: teŋ	A1 B2	竿秤の目盛り	beam mark	秤星	
1813	to: teŋ	A2 B2	竿秤の分銅	(balance) weight	秤砣	
1814	pa:n teŋ	A2 B2	はかり皿	scalepan	秤盤	
1815	kan teŋ	C B2	竿秤の竿	steelyard bar	秤杆	
1816	kʰo: teŋ	A1 B2	竿秤のフック	steelyard hook	秤钩	
1817	naw teŋ	C B2	竿秤の釣り手	steelyard holder	秤纽	
1818	θwa:	C	錠前	padlock	锁头	
1819	θwɤj	A2	鍵	key	钥匙	
1820	təo:k law	C	ひさげ（酒の量を測 る道具）	liquor scale	酒提子[酒的量具]	
1821	tɛjɤw lɤw	B1 C	漏斗（じょうご、ろ うと）	funnel	漏斗	
1822	ɬaw	C	ヒョウタン（瓢箪、 瓢簞）	gourd	耳子	学名:Lagenaria siceraria var. gourda、 容器として使う。
1823	tɛʰat	DS1	釉薬（うわぐすり）	glaze	釉	
1824	tɛʰi:	A2	磁器、磁器製品	porcelain	瓷	
1825	kɔŋ tɛi:	A1 B1	弩（おおゆみ、標的 を射る武器の一種）	crossbow	弩	
1826	kɔŋ	A1	弓	bow	弓	
1827	θi:n kɔŋ	A1 B1	弓弦（ゆみづる）	bowstring	弓弦	

1828	na:tei:	B1;B1	矢	arrow	箭	
1829	tʰu: tei:	A1 B1	矢の先端	arrowhead	箭头	
1830	kan tei: kɔŋ	C A1 B1	矢柄	arrow shaft	箭杆	
1831	taj tei: kɔŋ	B2 A1 B1	矢筒	quiver	箭袋	
1832	tʰa:n kɔŋ	A2 A1	(おもちゃの)ぱちんこ	catapult	弹弓	
1833	ðo:k	DL1	槍、投げ槍	spear	矛	
1834	ki:m	B1	劍	sword	剑	
1835	ki:m pa:w	B1 C	宝劍	treasured sword	宝剑	
1836	ma:w kʰa:ŋ	B1 A1	兜、ヘルメット	helmet	盔	
1837	ta:p kʰa:ŋ	DL1 A1	鎧;防護具	armor; armour	甲	
1838	pʰa:w	B1	拳銃	gun	枪	
1839	pʰa:w dʌ:ŋ	B1 A2	砲、大砲	artillery	炮	
1840	po:k	DL2	ピストル	pistol; handgun	手枪	
1841	pʰa:w ðɯj	B1 A2	ライフル銃、小銃	rifle	步枪	
1842	ki: kwa:n teʰa: ŋ	B1 B1 B1	機関銃、マシンガン	machine gun	机关枪	
1843	da:j pʰa:w	A2 B2	大砲	big gun	大炮	
1844	tea: jo:	C A2	弾薬	ammunition	子弹	
1845	ta:n kʰo:k	A2 DL2	薬莢 (やっきょう)	shell case	弹壳	
1846	ta:n tʰɯw	C A2	(小銃・ピストルなど の)銃弾、弾丸	bullet	子弹头	

1847	p ^h a:w dɔk	B1 DS2	猟銃	hunting gun	鸟枪	
1848	lxj ko:ŋ	A2 A1	雷管（猟銃の点火に 用いる道具）	percussion cap	火帽[鸟枪点火用]	
1849	ta:n te ^h a:	C A1	(猟銃の)散弾	shot	铁砂	
1850	ho: jo:	A1 A2	火薬	gunpowder	火药	
1851	tea: jo:	C A2	爆薬	explosive; high explosive	炸药	
1852	ti: lxj	C	地雷	land mine	地雷	
1853	tea:ŋ		竹、木あるいは藁で 作った穀物を保存す る大きな容器	big bamboo; wooden or straw container for storing cereals	囤	
1854	lap ti:	A1 B1	背負い籠、背負子 （しょいこ）	basket backpack	背篓	
1855	kan te ^h a:t	C B2	ブラシの柄	brush handle	刷把	
1856	ka:ŋ maj	A1 C	大きな樽	big wooden cask	皇缸[大木桶]	
1857	θa:k	DL1	長方形の木造餅臼	(wooden construction of the rectangle)rice cake mortar	粑粑槽	
1858	pɣn ka:ŋ	A2 A1	大きな甕	big pot	瓦缸	
1859	θa:w	B1	(金属または木製の、 細くてまっすぐな)棒	rod	棍子	
1860	no:n hu:	A1 A2	魔法瓶	hot water bottle	热水瓶	

1861	ki:ŋ	B1	鏡	mirror	镜子	
1862	tʰm pʰɯn	A1 A1	砥石	grind stone; hone	磨刀石	
1863	θa:t kʰɯn kaj	DL1 A1 B1	羽根はたき	feather duster	掸子	
1864	θwa: kʰa:	C A1	足枷	fetter	脚镣	
1865	θwa: ljak	C DS1	鉄鎖	iron chain	铁链子	
1866	kʰi:ŋ	A1	まな板	chopping board	菜墩	
1867	tʰaj	B1	犁（すき、牛馬などで牽引する耕耘用農機具の一つ）	plow	犁	
1868	pa:n tʰaj	C A1	耒底(いさり)、犁床（りしょう）	landside	犁板	
1869	pa:k tʰaj	DL1 A1	犁へら	plow spatula	犁镜	
1870	pja:j tʰaj	A1 A1	犁先	plow point	犁铧；犁头	
1871	ʔe:k	DL1	牛のくびき	yoke	牛轭	
1872	ʔe:k koŋ	DL1 C	尻枷（犁の牛に繋ぐ部分）	buttocks gyve	牛打脚	
1873	ðe:ŋ	C	農作物を食べられないように、牛や水牛の口に付ける竹の籠	cattle muzzle for preventing crops from animals	牛嘴笼	
1874	tɕu:k va:j	DL1 A2	牛用手綱	bridle; habenula	牛绳	
1875	tɕu:k dɔŋ va:j	DL2 A2 A2	牛用鼻輪	cattle leader	牛鼻环	
1876	ki:m dɔŋ	A2 A2	牛に装着する鼻環	nose rope for cattle	牛鼻绳	

1877	tɕu:k ʔe:k	DL2 DL1	尻枷と首木を繋ぐ縄	rope connecting buttocks gyve and restraint	牛打索[连接牛打脚与牛 轡的缆绳]	
1878	tɕʰa:n	C	踏み鋤（すき）	spade	锹	
1879	pʰu:	A1	水田用の牛鋤、牛鍬	horse-drawn or ox- drawn harrow provided with blades on horizontal bar (for rice field)	水耙	
1880	kja:w	C	熊手	rake	旱耙	
1881	tɕʰe: le:	A1 B2	米を干す時に使う熊 手	rake for drying rice	谷耙	
1882	kʰwa:	A1	竹製の熊手	bamboo rake	竹耙	
1883	kjaw	B1	針型歯付き熊手	spike-tooth rake	钉耙	
1884	ma:k ku:k	DL2 DL1	鍬（くわ）	hoe	锄头	
1885	ku:k tɕʰa: pʰa:	DL1 A1 A2	熊手付き鍬	hoe with rake	锄头耙	
1886	tɕʰap θu: kʰok	DS2 A2 DS1'	ピックハンマー	pick hammer	十字镐	
1887	kʰwa: θaj	A1 A2	砂熊手	sand rake	半月锄；沙耙	
1888	kʰwa: pʰa:	A1 A2	人歯型歯付き熊手	rake with human teeth- shaped teeth	齿锄	

1889	tɕʰa: pʰa: ɔ̃ɕj	A1 A2 A2	手押し鋤	scuffle hoe	板鋤	
1890	tɕʰa: pʰa: pʰe:	A1 A2 A2	唐鋤（とうぐわ、刃の幅が広い）	trench-hoe	挖鋤	
1891			水車（水力式）	water-driven waterwheel	水车（水力的）	
1892			水車（足踏式）	foot-operated waterwheel	水车（人力的）	
1893	tʰɔŋ to: nam	C A1 C	水車の水受け	waterwheel bucket	车水筒	
1894	pʰa: pʰe: fa:t kʰaw		穀竿（からざお）	flail	连枷	
1895	tʰɔŋ fa:t kʰaw	C DL2 C	脱穀桶	threshing bucket	打谷桶	
1896	ka:n	A2	天秤棒	carrying pole	扁担	
1897	ka:n θi:m	C	六尺棒	shoulder pole	尖扁担	
1898	maj tʰa:m	C A1	太い杖	thick stick	杠子	
1899	pi:t kʰwɔn	B2 B1	肥料桶	manure basket	粪箕	
1900	la: ki: tɕ	B1 A2 A1	ちり取り、ごみ取り	dustpan	撮箕	
1901	pa:w	B2	唐箕（とうみ、風力を起して穀物を 粃殻・玄米・塵などに選別するための農具）	winnower	风车[扇粮食用的器具]	
1902	ŋa:m tɕʰa:	A2 A1	(食卓用)フォーク	table fork	叉子	

1903	ŋa:m tɕʰa:	A2 A1	(農業用)熊手、またぐ わ	agricultural fork	禾叉	
1904	ʔan mu:	A2 B2	ひき臼	arrastra	磨子	
1905	pʰa: mu:	A1 B2	ひき臼の台	lower part of arrastra	磨盤	
1906	kʰe:w mu:	C B2	ひき臼の歯	tooth of arrastra	磨齒	
1907	θim mu:	A1 B2	ひき臼の中穴	middle hole of arrastra	磨心	
1908	kan mu:	C B2	ひき臼の持ち手	handle	磨柄	
1909	ʔan la:n kʰa:w	A2 B2 C	石うす、ローラー	millstone	碾子	
1910	ta:p lo:j	DL1 B1	(足で操作する) 臼	mortar to operate with a foot	碓[俗称脚碓]	
1911	kan ta:p lo:j	C DL1 B1	石臼の杵	mallet of stone mill	碓杆	
1912	ðɔk	DS2	大型の石臼	big stone mortar	碓窩	
1913	pe:n tɕi:ŋ	B1 A1	臼、石臼	mortar, stone mortar	臼；石臼	
1914	θa:k dɕ:k tɕi:ŋ	DL1 DL1 A2	土壁を作る際の型入 れ板	board model for making clay wall	舂墙板	
1915	θa:k	DL1	杵	pestle	木杵	臼と共に使い、おも に穀物の脱穀や粃す りなどに用いる道具 である。
1916	θa:k dɕ:k tɕi:ŋ	DL1 DL1 A2	土壁を作る際の叩き 棒	beating bar for making clay wall	墙杵	

1917	vɤn pe:n	C A2	(工事の時に床や壁を叩く) 木製のラケット	wooden racket	木拍[用来拍打地板、墙等的用具]	
1918	tʰo:k	DL1	紡ぎ車	spinning wheel	纺车	
1919	tʰok	DS1	織機	loom	土织布机	
1920	vɤj tam pʰaj	A1 B1 C	織物を織る時に使う櫛	weaving comb	织布梳	
1921	kʰi:m tam tʰok	A1 B1 DS1	針、縫い針、編み物針	needle	织布针	
1922	lɔ:t	DL2	糸巻きの枠	spool	纱管	
1923	ʔan tʰa:ŋ pʰaj	A2 A1 C	取巻台	thread guard of loom	绕纱架	
1924	pʰjau	B1	織機の杼(ひ)、シャトル	loom shuttle	梭子	織機の部品の一つ、両端が尖り、中には糸巻きの枠が入っている。織物を織るときに、経糸(たていと)の間に緯糸(よこいと)を通すのに使われる。
1925	pʰa:j kʰwa:ŋ	C A1	(織物を織るとき) 緯糸(よこいと)	weft yarn	纬线[编织品或织布机上的横线]	

1926	p ^h a:j ta:ŋ	C C	(織物を織るときの) 経糸 (たていと)	warp	经线[编织品或织布机上的纵线]	
1927	ʔan la:ŋ	A2 A1	糸玉	string ball	线团	
1928	lu: tɣk pja:	A2 DS1 A1	漁船	fishing boat	渔船	
1929	ma:k tɕ ^h ap pja:	DL2 DS1 A1	やす (柄ととげ付きの針を持つ道具で、魚を捕るのに使用される)	fishgig	鱼叉	
1930	θa:w ɕjat	C DS1	釣り竿	fishing pole	钓竿	
1931	ma:k ɕjat	DL1 DS1	釣り針	fishhook	鱼钩	
1932	maj tɕo:p pja:	A1 DL1 A1	釣り糸	fishline	钓线	
1933	hu: tɕo:p pja:	B1 DL1 A1	(釣り針、わなにつける)えさ	bait	鱼饵	
1934	po:p	DL1	釣り糸の浮き玉	cork on a fishing line floating ball	鱼漂	
1935	ðu:ŋ pja:	B1 A1	魚籠	fish basket	鱼篓	
1936	lm ðo:j pja:	A2 C A1	魚を吊るす為の縄	rope to hang fish	穿鱼索	
1937	va:ŋ pja:	A1 A1	(魚を捕えるために)魚網を投げる	cast net to catch fish	鱼网[指撒网]	
1938	tɕu:k va:ŋ pja:	DL2 A1	魚網の吊りひも	suspenders of fishing net	鱼网的纲绳	

1939	po:p la:m va:ŋ	DL1 B2 A1	魚網の浮き玉	floating ball of fishing net	鱼网漂	
1940			魚網を下げるペンダント	pendant for hanging fishing net	鱼网坠子	
1941			網の目	mesh	网孔	
1942	tɕu:k	DL2	ロープ(吊りひも)	rope slings	连接网坠的绳索	
1943	pe:n tɕɤm	B1 C	四手網	net	罾	1940 番を繋ぐ吊りひもである。
1944	θwaj	A2	筌（うえ、うけ、細い竹を編んで作った魚を捕るための道具）	bamboo tool for fishing	鱼筌	
1945	fa:k	DL2	竹製板材	bamboo board	竹板	
1946	ʔan tʰa:ŋ nɔk	A2 C DS2	馬の尾で作った鳥を捕らえる為の罾	fowling tool	雀套[用马尾制成的捕鸟活套]	
1947	tɕʰwɤj maj	A2 C	掛矢	wooden maul	大木捶	
1948	ma:k tɕʰwɤj to:k	DL2 A2 DL1	ランマ、タコ、突き棒	punner; rammer	夯	
1949	fɤw	B1	手おの	hatchet	斧头	
1950	fɤw	B1	まさかり	broad axe	板斧	
1951	ma:k kɤ:	DL2 B1	弓のこ	hacksaw	锯子	
1952	ma:k pa:w	DL2 A2	鉋（かんな）	carpenter plane	刨子	

1953	ma:k θi:w	DL2 B1	のみ、たがね	chisel	凿子	
1954	ma:k teu:n	DL2 B1	穴あけ機	drill	钻子	
1955	ma:k teaw	DL2 B1	平やすり	flat file	锉子	
1956	ʔa:k ma:	DL1 C	大工用作業台	carpentry wooden table	木马[木工用的木架]	
1957	mɔ:k taw	A2 B1	大工用墨目印	carpenter's ink marker	墨斗	
1958	maj mɔ:k	A1 DS2	大工用墨の線	line drawn with carpenter's ink marker	墨线	
1959	teu:j	B1	ハンマー、金槌	hammer	锤子	
1960	k'i:ŋ vɔ:n ljak	A1 A2 DS1	鉄床(かなとこ)	anvil	铁砧	
1961	kɪm	A2	ペンチ、やっところ、 トング (物をつまむ 道具)	tongs	钳子	
1962	ŋaw	A1	フック	hook	钩子 (用于悬挂东西)	
1963	fɔŋ θja:ŋ	B1 B1	ふいご	air box	风箱	
1964	θi:n	B1	鉄線	steel wire	铁线	
1965	te:ŋ	A1	(鉄の) 釘	iron nail	钉子 (铁的)	
1966	maj	C	(木の) 釘	wooden nail	木头 (木的)	
1967	pe:n	C	木の板	plank	木板	
1968	mɔ:n paw	B2 A2	鉋屑 (かんなくず)	wood shavings	刨花	
1969	mɔ:n kɔ:ŋ	B2 B1	おがくず	saw dust	锯末	

1970	maj θɤp	C DS1	(扉・たる・車輪などを固定する)くさび	chock	楔子[插在木器榫子縫里的小木片]	
1971	ma:k teu:n	DL1 B1	ほぞ	tenon	榫子	
1972	ki: kja:j	B1 C	機械	machine	机器	
1973	te ^h a: p ^h a:	A1 A2	小さな短い柄の鍬 (すき)	small short-handled hoe	薅锄	
1974	ma:k fɤw	DL1 B1	手おの	hatchet	镑斧; 镑子	
1975	te ^h wɤj to:k te:ŋ	A2 DL1 A1	金づち	nail hammer	钉锤	
1976	ja:ŋ ko: te ^h wɤj	A2 A2 A2	釘拔付きハンマー	claw hammer	羊角锤	
1977	kaŋ te ^h e:n	B1 B1	たがね、ドリルロッド	drill rod	钢钎	
1978	ma:k ne:p	DL2 DL1	ピンセット	tweezers	镊子	
1979	ki: ka:ŋ p ^h a:j	A1 A1 C	綿繰機	cotton ginning machine	轧花机	
1980	p ^h jaw tɤk hɪm	B1 DS1 A1	獵銃	shotgun	猎枪	
1981	pja: tɤk hɪm	C DS1 A1	獵に使う刀	hunting knife	猎刀	
1982	ðoŋ pa:k ma:		くつわ	bridle	马笼头 ; 轡头	
1983	teu:k ma:	DL2 C	手綱	rein	缰绳	
1984	ŋa:m ma:	A2 DL1 A2	くつわ	bit (of a bridle); snaffle	嚼子	
1985	pi:n ma:	A1 C	馬の鞭 (むち)	horsewhip	马鞭子	
1986	ʔo:n ma:	A1 C	馬の鞍 (くら)	saddle	马鞍	

1987	ʔi:p taŋ	DL1 B1	あぶみがね (乗馬の時に足を掛ける金具)	stirrup	马镫	
1988	ʔa:n ma:	B1 C	鞍敷き	saddle-cloth	鞍垫	
1989	kja: tʰo:	B1 A2	荷駄 (にだ)	horse-load	驮子[牲口驮着的货物]	
1990	ʔa:ŋ	A2	(地域の)市場	market	集市；圩场；街市	
1991	ŋɣn; tee:n	A2; A2	金(かね)、貨幣、通貨、金銭	money	钱	
1992	ŋɣn θa:	A2 A1	紙幣	paper money; bill	钞票	
1993	ŋɣn tʰaj	A2 A1	白銅貨	nickel coin	镍币[现代硬币]	
1994	man lu:j	A1 A1	銅貨	copper coin	铜板[铜圆]	
1995	to:ŋ tee:n	A2 A2	銅銭	copper cash	铜钱	
1996	ŋɣn koŋ	A2 A1	(肉体労働による時間・日・週決めの)賃金	wages	工钱	
1997	koŋ fan	A1 A1	労働点数 (労働量と報酬を計算する単位)	workpoints	工分	
1998	koŋ θu:	B1 B1	給料	pay; salary	工资	
1999	θe:ŋ ʔɣj	A1 B1	商売	business	生意	
2000	kja: tee:n	B1 A2	価格、値段	price	价钱	
2001	jiŋ ha:ŋ	A2 A2	銀行	bank	银行	
2002	li: θi:	C A2	利息	interest	利息	

2003	te ^h u:j	B2	税金	tax; taxation	税	
2004	nxj	C	借金	debt	债[债务]	